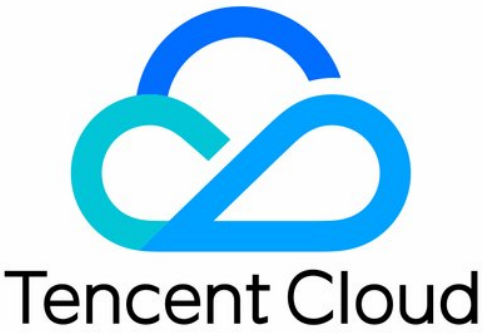
Cloud Virtual Machine

メンテナンスガイド

製品ドキュメント



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice

Tencent Cloud

All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

メンテナンスガイド
データディスクのマウント
データディスクの初期化（Windows CVM）
データディスクの初期化（Linux CVM）
LinuxがWindowsにリセットされたら元EXTタイプのデータディスクを読み込む
WindowsシステムをLinuxシステムに再インストールした後、元のNTFSタイプのデータディスクを読み書きする
環境設定
Linux電源管理設定
Linix CVMのetc/hosts設定を効率的に変更する方法
ソフトウェアのインストール
Tencent Cloudソフトウェアソースによるソフトウェアパッケージのダウンロードと更新の高速化
Ubuntu 環境で Apt-getを利用してソフトウェアをインストールする
CentOS環境でYUMを介してソフトウェアをインストール
openSUSE 環境で zypperを利用してソフトウェアをインストールする
CentOS 6 は YUM ソースを切り替えます
CentOS 8でのchronydサービスのインストール
カスタムデータ
カスタムデータ（Linux CVM）の設定
カスタムデータを設定する(Windows CVM)
Windows CVM Operations Manual
ファイルをアップロードする
ファイルを Windows のCVMにアップロードする
ソフトウェアのインストール
PHP をインストールして設定する
MySQL をインストールして構築する
IIS をインストールして構築する
データディスクをマウントする
Windows インスタンス：データディスクを初期化する
システム関連
システムのアクティブ化
システムアクティベーション
Windows Serverシステムアクティベーション
システム アップデート
システムのシャットダウン
高性能電源管理を設定する

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Windowsリカバリモード
Virtio ENIドライバーの更新
SID操作説明を修正する
VNC解像度の変更
Sysprepを使用してドメイン内のCVMの一意のSIDを維持する
Linuxインスタンスにatopモニタリングツールを使用する
Linuxインスタンスの基本的なカーネルパラメータの概要
Linux メンテナンス
ソフトウェアのインストール
CentOS 環境で YUMを利用してソフトウェアをインストールする
ファイルをアップロード/ダウンロードする
Windows の CVM は WinSCPを利用してファイルをアップロード/ダウンロードする
Windows のCVMが FTPを利用してファイルをアップロードする
データディスクをマウントする
Windows を Linux にリインストールした後、元NTFS 形式のデータディスクを読み書きする
その他
Linux CVMを設定して単一ユーザーモードに進む
レスキューモードの使用
複数ユーザーによるWindows CVMへのリモートログインを許可するように設定する
Cloud Virtual Machineのデフォルトのリモートポートの変更
インスタンスログイン記録の取得

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

メンテナンスガイド
データディスクのマウント
データディスクの初期化（Windows CVM）

最終更新日：：2020-10-10 11:49:21

シナリオ

CVMを購入または再インストールした後、データディスクをパーティション分割してフォーマットする必要があります。このドキュメントでは、Windows CVMのデータディスクのパーティション、フォーマット、およびその他の初期化操作を実行する方法について説明します。

注意事項

データディスクをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。データディスクにデータが含まれていないこと、または重要なデータがバックアップされていることを確認してください。
サービスの異常を回避するには、フォーマットする前に、CVMが外部サービスを停止していることを確認してください。

操作手順

ディスクの容量に応じて適切な操作手順を選択してください：
ディスク容量が2TB未満の場合、クラウドディスクの初期化（Windows）を行ってください。
ディスク容量が2TB以上の場合、クラウドディスクの初期化（Windows）を行ってください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データディスクの初期化（Linux CVM）

最終更新日：：2020-10-20 17:09:42

概要

このドキュメントでは、Linux CVMデータディスクでのフォーマット、パーティションおよびファイルシステムの作成などの初期化操作を実行する方法について説明します。

注意事項

フォーマットする前に、データディスクにデータがないこと、または重要なデータがバックアップされていることを確保してください。フォーマット後、データディスクに保存されているデータが削除されます。
フォーマットする前に、CVMが外部サービスの提供を停止していることを確認してください。

操作手順

ディスク容量に応じて適切な操作ガイドを選択してください。
ディスク容量が2TB未満の場合、クラウドディスクの初期化（Linux）をご参照ください。
ディスク容量が2TB以上の場合、 クラウドディスクの初期化（Linux）をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

LinuxがWindowsにリセットされたら元EXTタイプのデータディスクを読み込む

最終更新日：：2023-04-20 18:00:02

ユースケース

一般的に、Windowsファイルシステム形式はNTFSまたはFAT32であり、Linuxファイルシステムの形式はEXTシリーズです。OSをLinuxからWindowsに再インストールすると、OSタイプが変わりましたが、データディスクは元の形式のままです。再インストールされたシステムはデータディスクのファイルシステムにアクセスできなくなる可能性があります。元のデータを読み取るには、フォーマット変換ソフトウェアが必要になります。
このドキュメントでは、LinuxをWindowsに 再インストール した場合、CVMで元のLinuxシステムのデータディスクのデータを読み取る方法について説明します。

前提条件

Windowsに再インストールされたCVMにDiskInternals Linux Readerソフトウェアがインストールされています。
DiskInternals Linux Reader ソフトウェアのダウンロードリンク：`http://www.diskinternals.com/download/Linux_Reader.exe`
再インストール前にLinux CVMにマウントされたデータディスクには、vdb1とvdb2の2つのパーティションがあることが分かっています。下図に示すように、

```
Disk /dev/vdb: 21.5 GB, 21474836480 bytes
16 heads, 63 sectors/track, 41610 cylinders
Units = cylinders of 1008 * 512 = 516096 bytes
Sector size (logical/physical): 512 bytes / 512 bytes
I/O size (minimum/optimal): 512 bytes / 512 bytes
Disk identifier: 0x29cc8ca2

   Device Boot      Start         End      Blocks   Id  System
/dev/vdb1            2000       41610    19963944   83  Linux
/dev/vdb2               1        1999     1007464+  83  Linux
```

操作手順

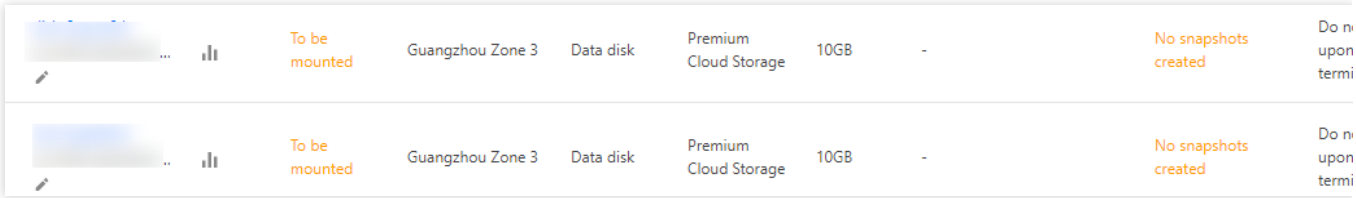
データディスクをマウントする

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ご注意：

データディスクがすでにマウントされている場合は、この手順をスキップできます。

1. Tencent Cloud CVMコンソール にログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで**クラウドディスク**を選択して、Cloud Block Storage管理画面に入ります。
3. 下図に示すように、システムが再インストールされたインスタンスを見つけ、右側の** More**>**Mount**をクリックします。



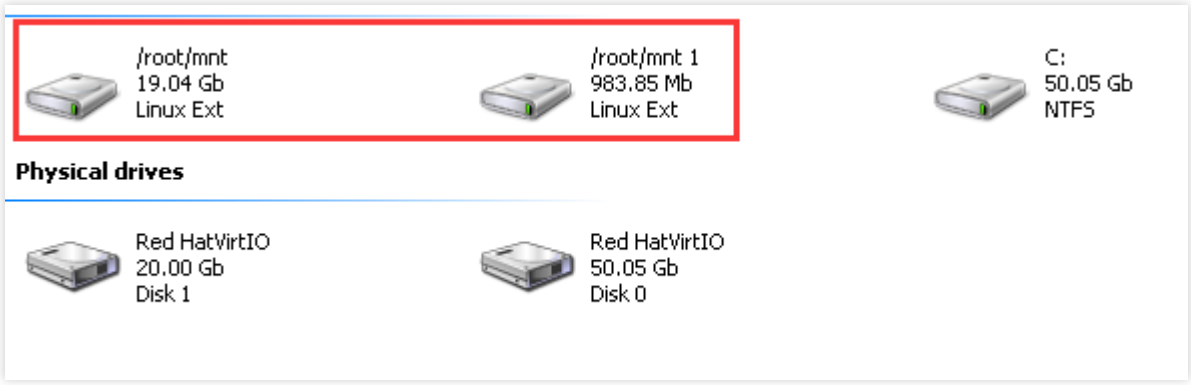
4. ポップアップウィンドウで、再インストールされたCVMを選択し、**Submit**をクリックします。

データディスク情報を確認する

1. DiskInternals Linux Readerソフトウェアを実行して、新しくマウントされたデータディスク情報を確認できます。下図に示すように、 `/root/mnt` と `/root/mnt1` は、再インストール前のLinux CVMデータディスクの2つのパーティションvdb1とvdb2です。

ご注意：

現時点では、Linuxデータディスクは読み取り専用です。このデータディスクをWindowsデータディスクとして読み書きする必要がある場合は、まず必要なファイルをバックアップし、Windows OSがサポートする標準タイプに再フォーマットします。詳細については、Windowsインスタンス：データディスクの初期化 をご参照ください。



2. ダブルクリックして `/root/mnt` ディレクトリに入り、コピーするファイルを右クリックし、**Save**を選択してファイルを保存します。下図に示すように、

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

WindowsシステムをLinuxシステムに再インストールした後、元のNTFSタイプのデータディスクを読み書きする

最終更新日：：2023-02-01 10:24:16

ユースケース

Windowsのファイルシステムは通常、NTFSまたは FAT32 形式を使用し、Linuxのファイルシステムは通常、EXT シリーズの形式を使用します。Cloud Virtual MachineのOSをWindowsからLinuxに再インストールした場合、OSのタイプは変更されましたが、CVM中のデータディスクが元のシステムで使用されている形式のままです。そのため、システムを再インストールした後、CVMがデータディスクファイルシステムにアクセスできない場合があります。このドキュメントはシステムを再インストールした後、Linux CVM上の元のWindowsシステムでデータディスクデータを読み取る方法について説明します。

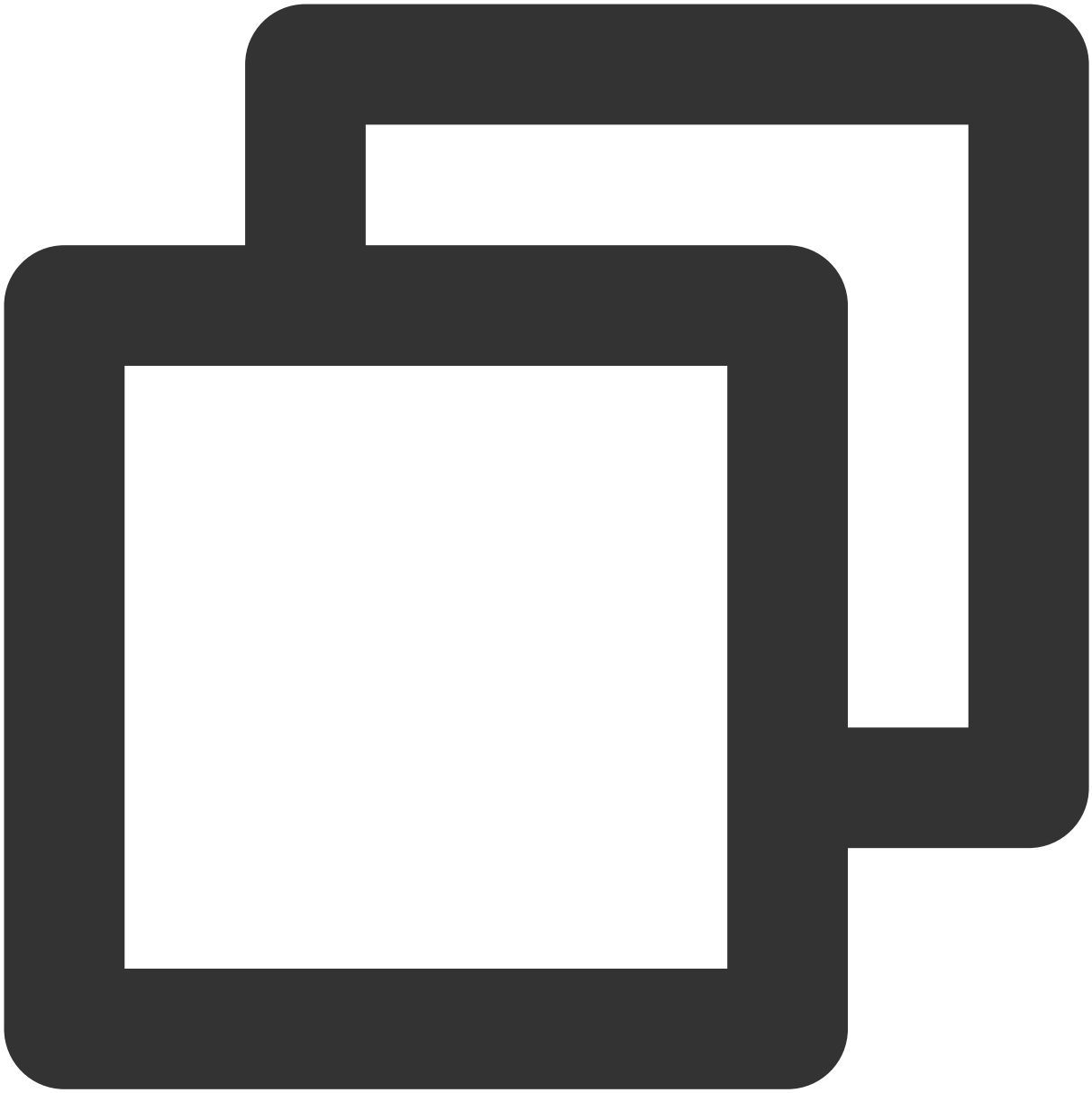
操作手順

LinuxサーバーでNTFS関連ソフトウェアをインストールする

1. 再インストールされた Linux CVMにログインします。
2. 以下のコマンドを実行して、ntfsprogsソフトウェアをインストールし、Linux CVMが NTFS ファイルシステムにアクセスできるようにします。

説明：
このドキュメントはCentOSシステムを例として説明します。Linuxシステムのインストールコマンドは異なっています。対応するインストールコマンドを使用してインストールしてください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum install  -y ntfsprogs
```

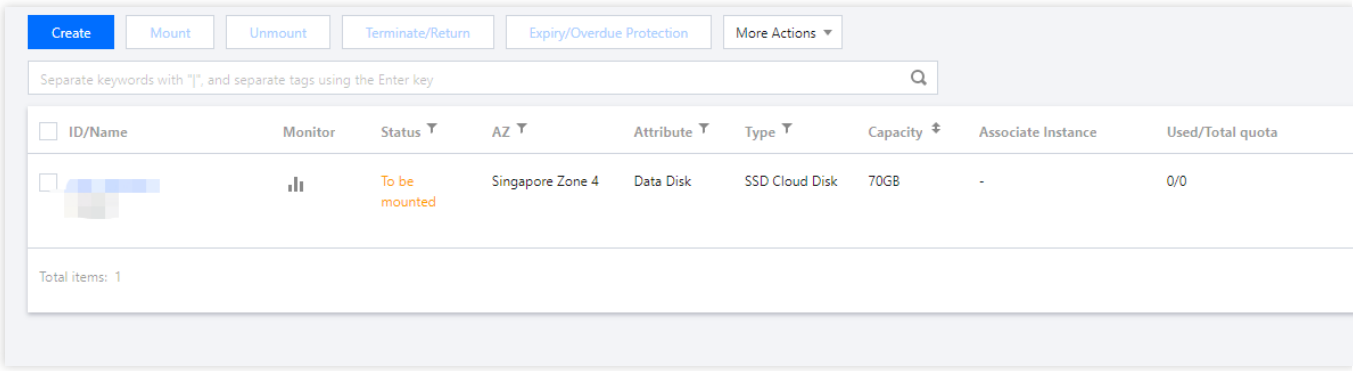
Windows CVMのデータディスクをLinux CVMにマウントする

説明：

Windows CVMのデータディスクがLinux CVMにマウントされた場合、この操作をスキップできます。
再インストールされたLinux CVMに新しいデータディスクをマウントするには、Cloud Block Storageを初期化 する必要があります。
1. CVMコンソール にログインします。

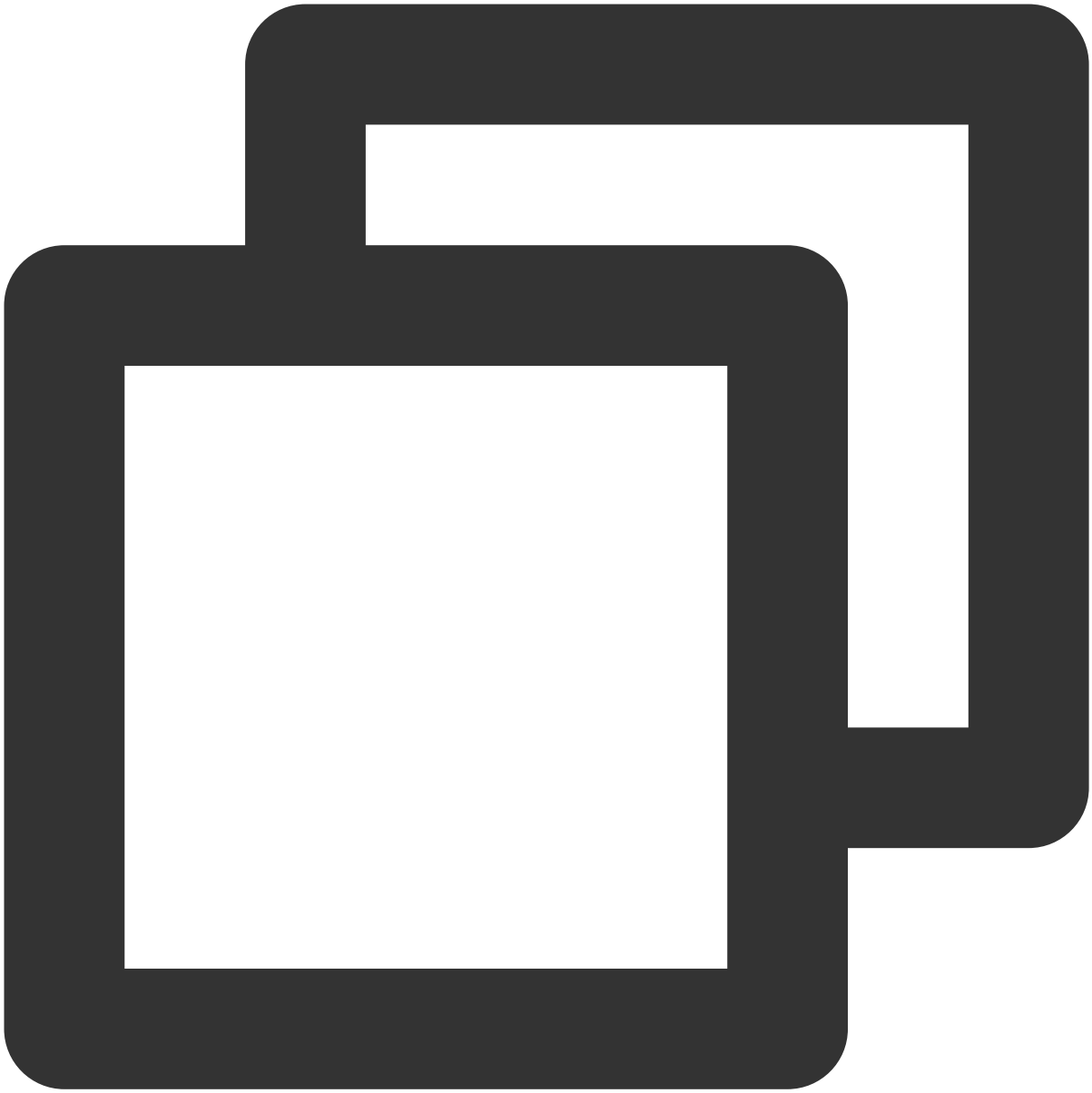
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. 左側のナビゲーションバーで、 **Cloud Block Storage** をクリックして、CBS管理画面に入ります。
3. マウントしたいWindowsデータディスクを選択し、**その他 > マウント**をクリックします。以下の通りです。



4. 表示された「インスタンスへのマウント」ウィンドウで、マウントしたいLinux CVMを選択し、**OK**をクリックします。
5. WindowsデータディスクをマウントしたLinux CVMにログインします。
6. 以下のコマンドを実行して、Windows CVMからマウントされたデータディスクを確認します。

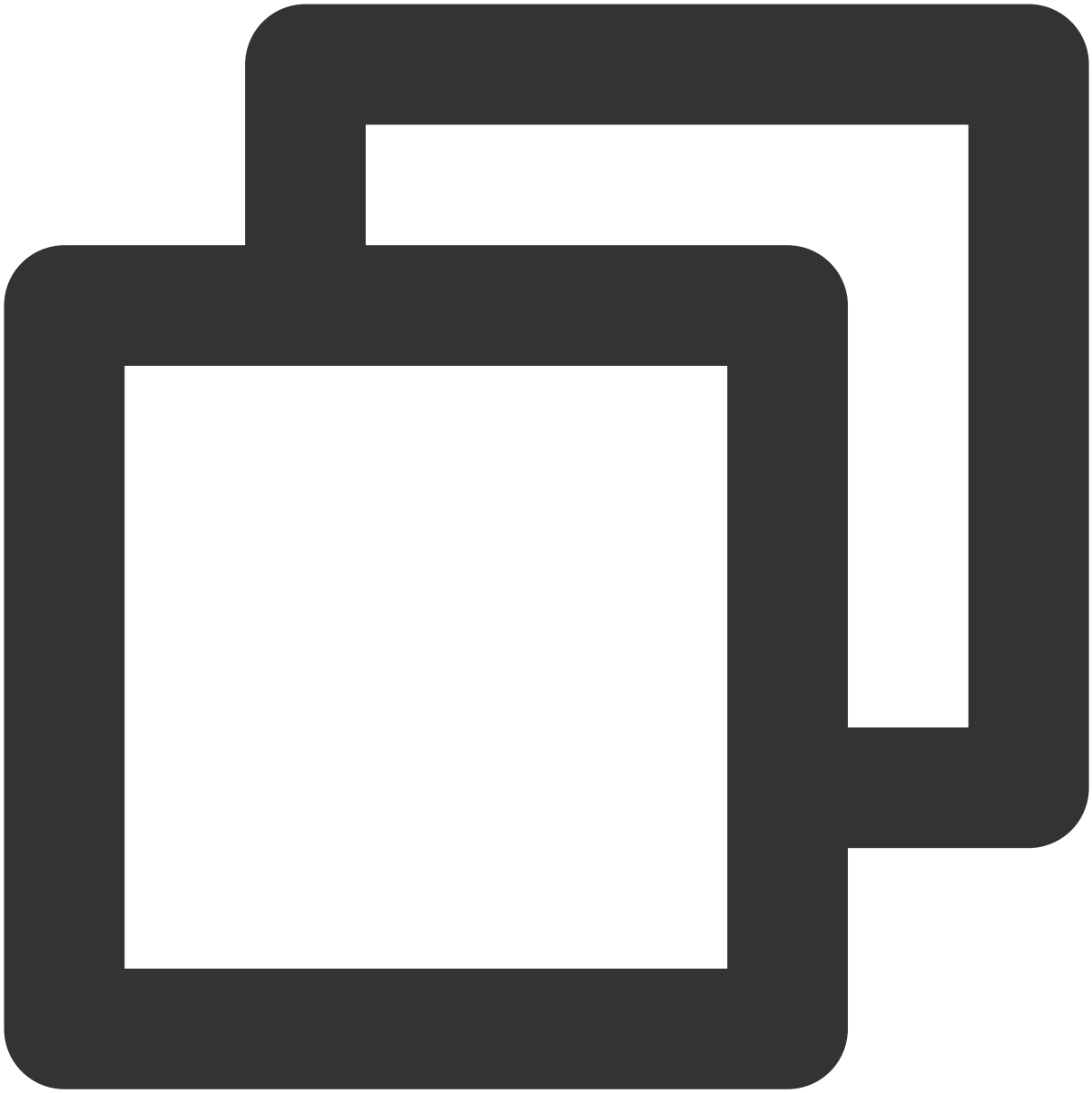
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
parted -l
```

次のような情報が返されます：

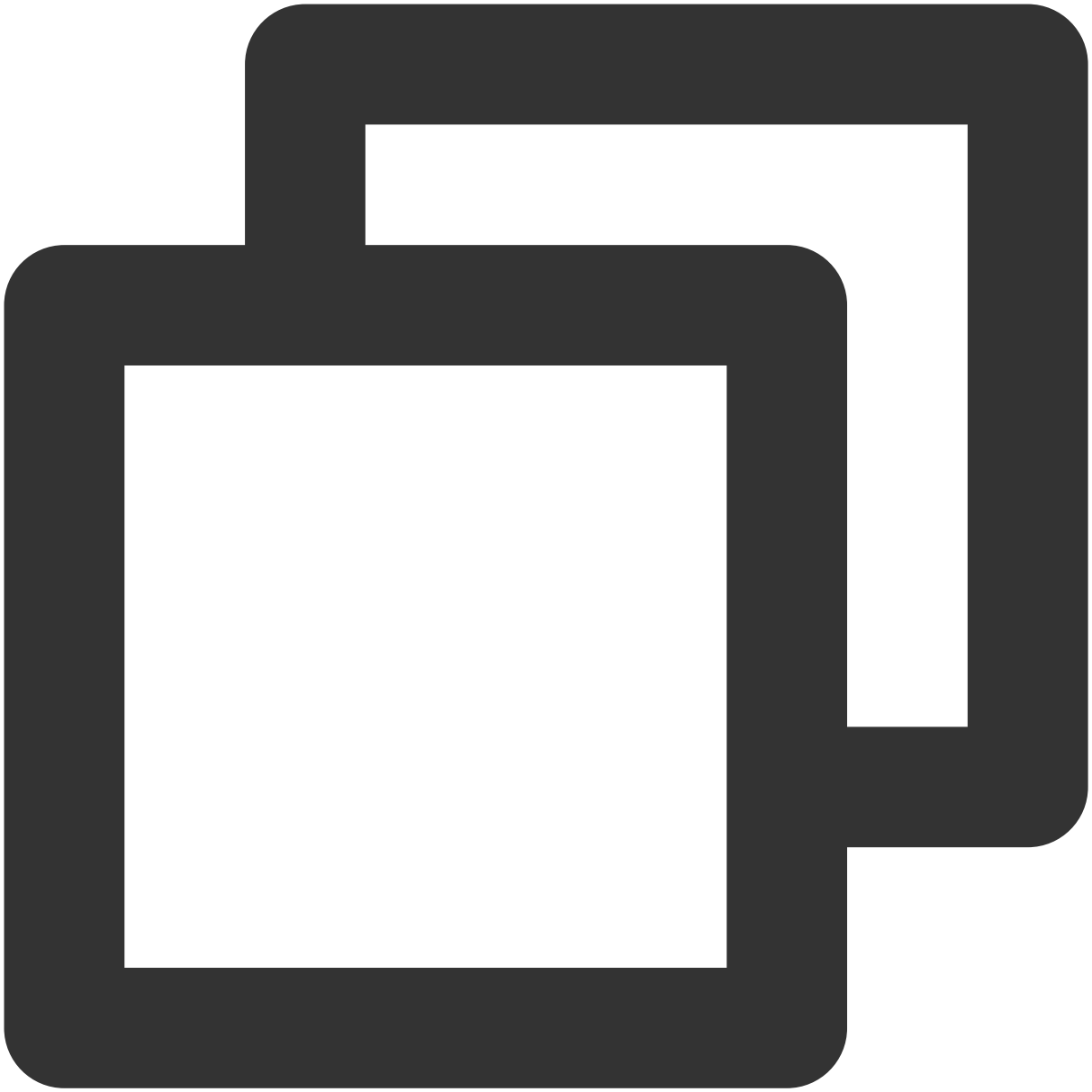
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
Model: Virtio Block Device (virtblk)
Disk /dev/vdb: 53.7GB
Sector size (logical/physical): 512B/512B
Partition Table: gpt
Disk Flags:
Number  Start   End     Size    File system  Name                          Flags
 1      17.4kB  134MB   134MB                Microsoft reserved partition  msftres
 2      135MB   53.7GB  53.6GB  ntfs         Basic data partition
```

7. 以下のコマンドを実行して、データディスクをマウントします。

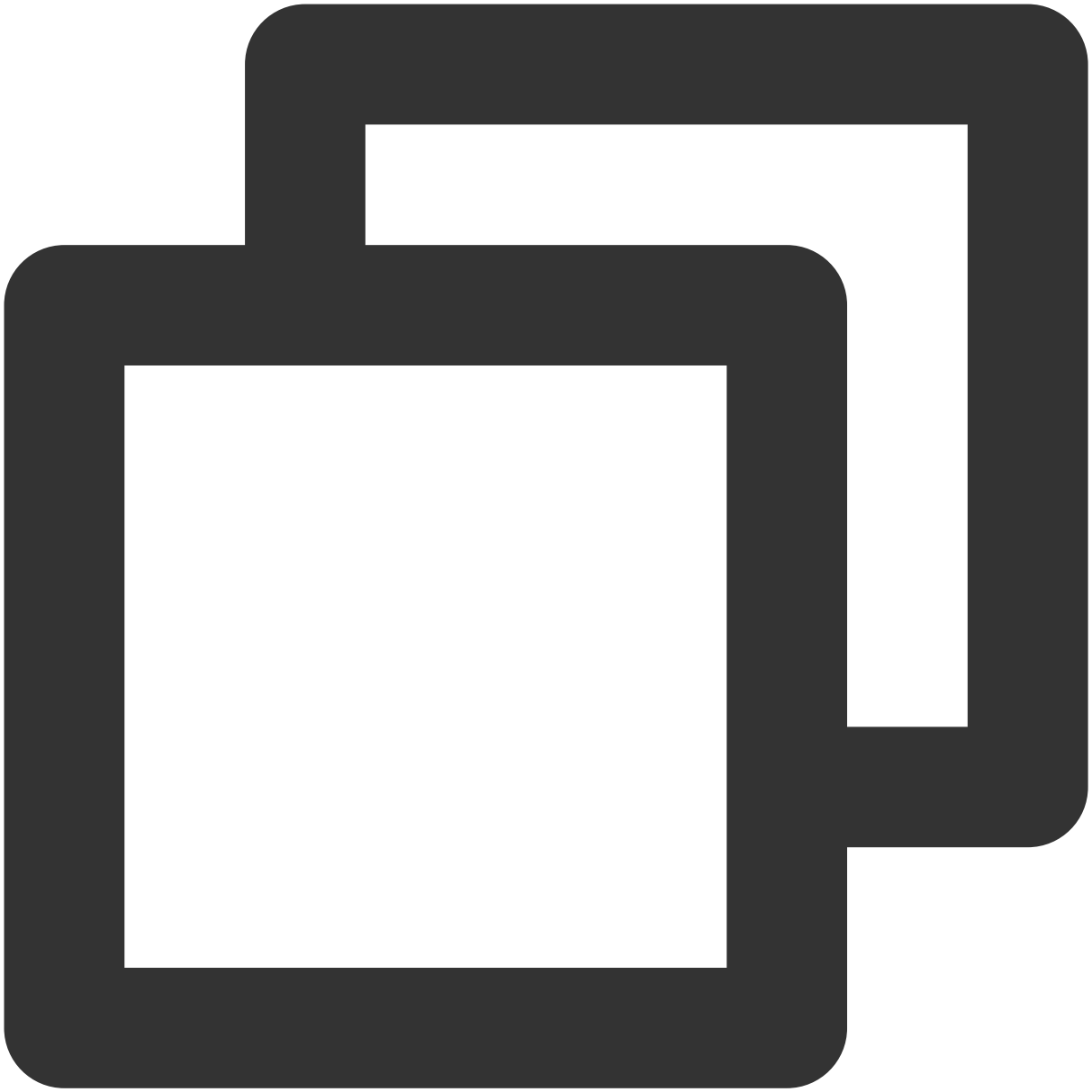
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
mount -t ntfs-3g データディスクのパス マウントポイント
```

例えば、パスが `/dev/vdb2` のデータディスクを `/mnt` にマウントする場合、以下のコマンドを実行してください：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
mount -t ntfs-3g /dev/vdb2 /mnt
```

現時点ではファイルシステムが識別できるため、 マウントされたデータディスクはLinuxシステムに直接読み書きできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

環境設定
Linux電源管理設定

最終更新日：：2020-03-03 17:30:34

操作シナリオ

x86サーバーには、**APM**（Advanced Power Management、高度な電源管理）と **ACPI**（Advanced Configuration and Power Interface、高度なコンフィグレーションと電源インターフェース）といった二つの電源管理方法があります。ACPIはIntel、Microsoftと東芝が共同で開発した電源管理規格で、コンピュータとデバイスを管理するための便利なインターフェースを提供します。一方、APMは電源管理の古い規格です。
LinuxはAPMとACPIを対応していますが、同時に両方を実行することができません。デフォルトでは、LinuxはACPIを実行します。Tencent CloudはACPI電源管理方法を使用することも推奨しています。
LinuxシステムではACPIの管理プログラムをインストールしないと、ソフトシャットダウン処理が失敗してしまいます。当該ドキュメントは、ACPIのインストール状況及びインストール手順の確認について説明します。

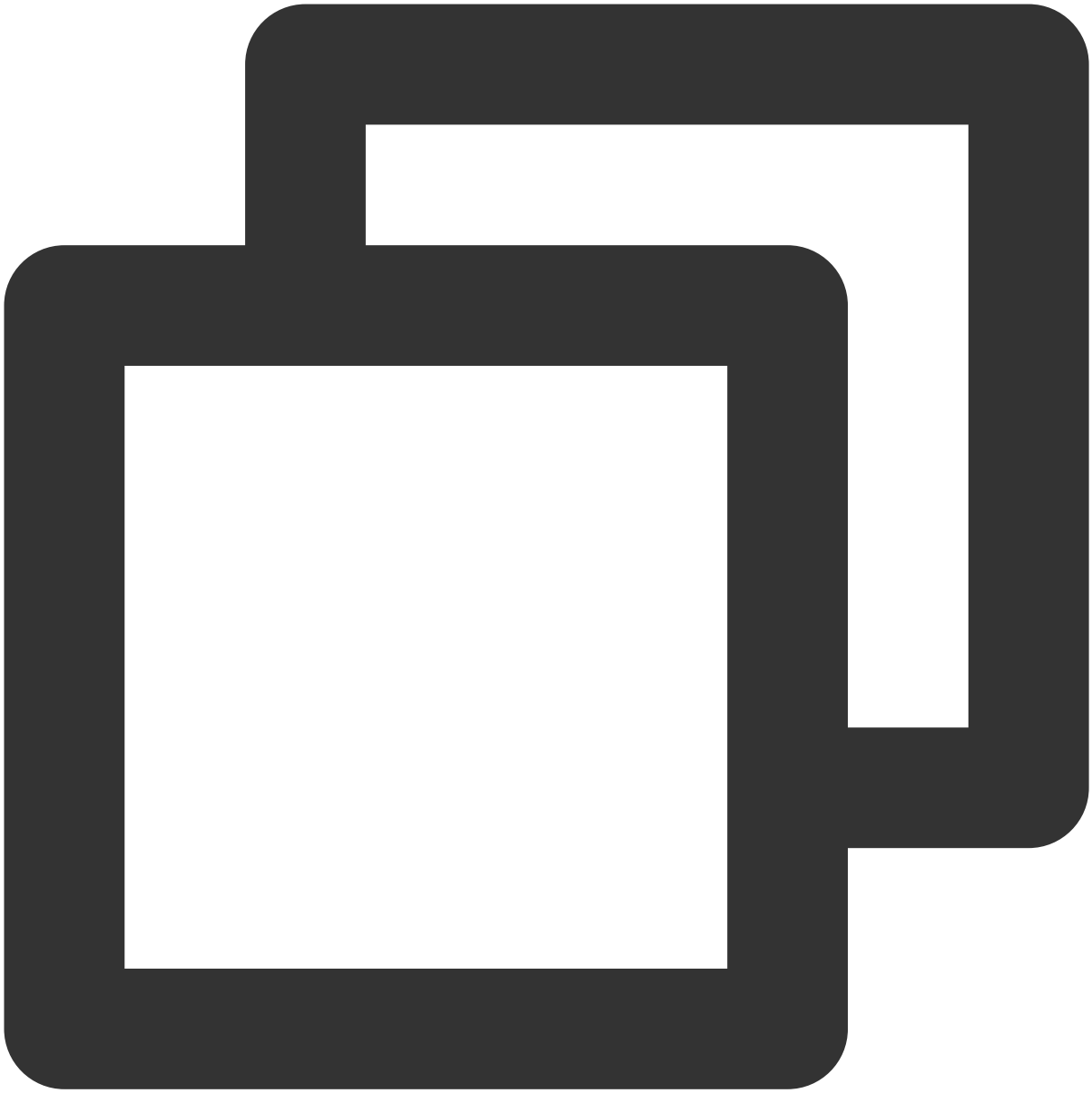
インストール説明

CoreOSシステムの場合、ACPIをインストールする必要がありません。

操作手順

1. 以下のコマンドを実行し、ACPIのインストールされているかどうかを確認します。

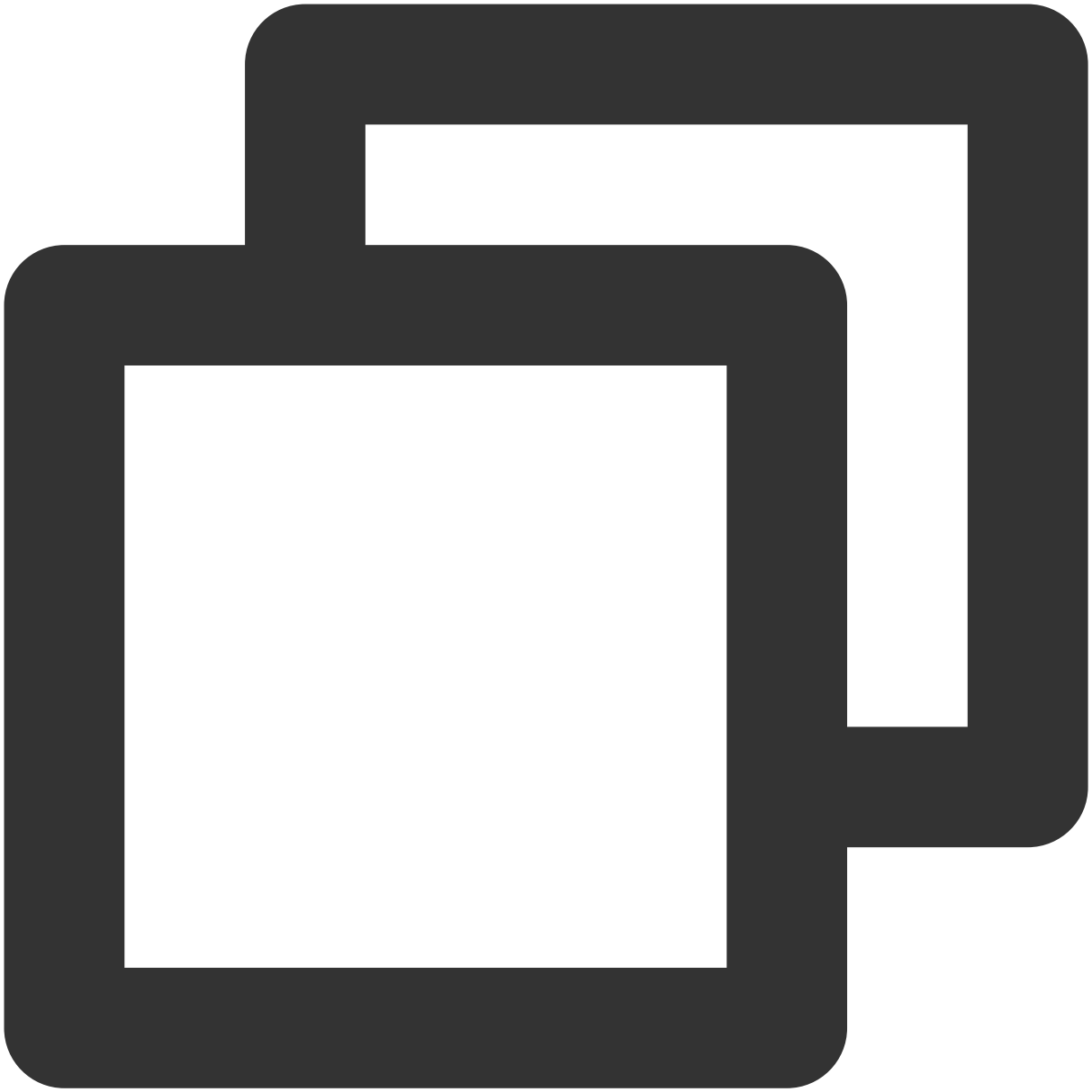
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
ps -ef|grep -w "acpid"|grep -v "grep"
```

該当のプロセスが存在しない場合、ACPIがインストールされていないことを示し、次のステップを実行してください。
該当のプロセスが存在する場合、ACPIがすでにインストール済みのため、タスクが完了です。
2. OS種類により、異なるのコマンドを実行し、ACPIをインストールします。
Ubuntu / Debianシステムの場合、次のコマンドを実行します。

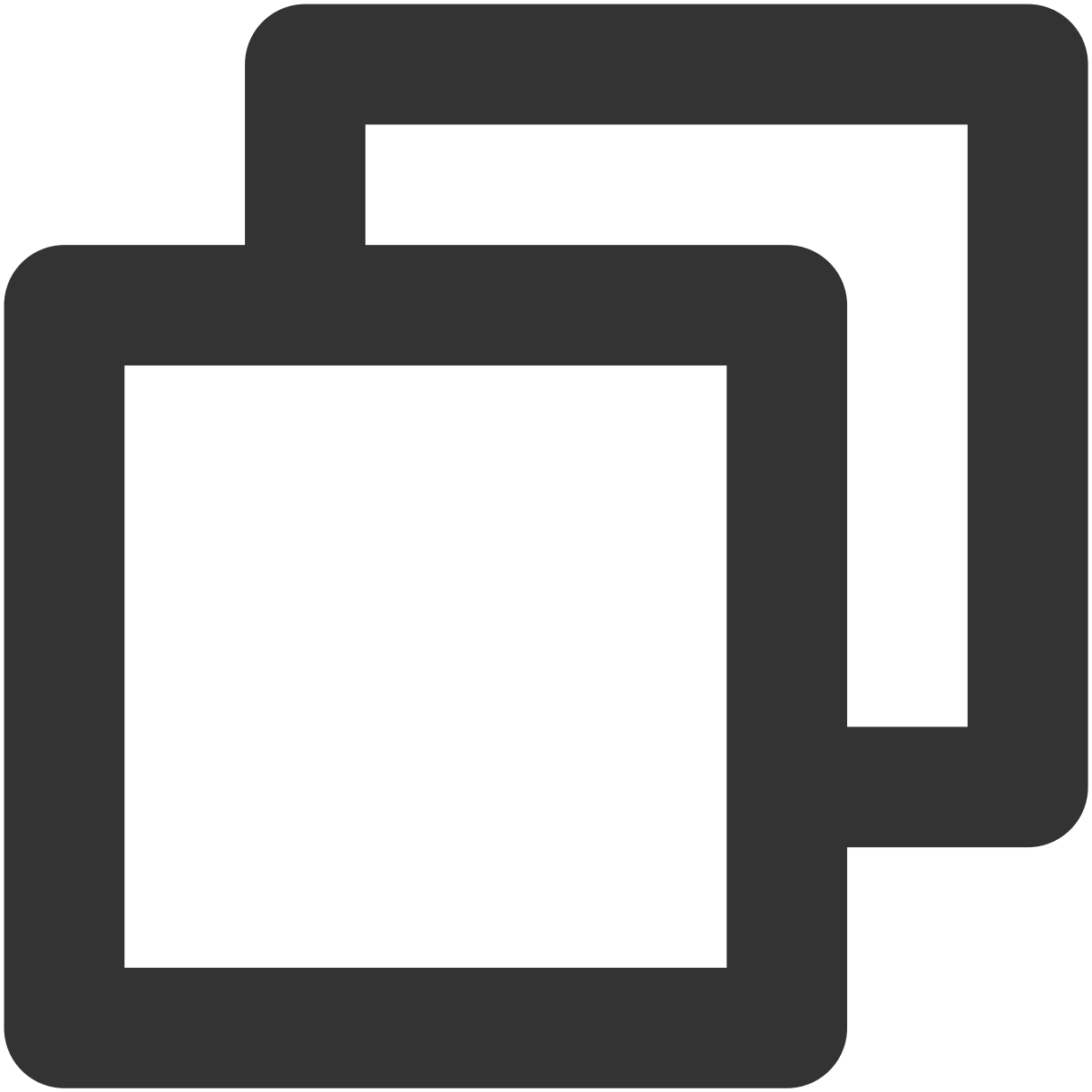
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-get install acpid
```

Redhat / CentOSシステムの場合、次のコマンドを実行します。

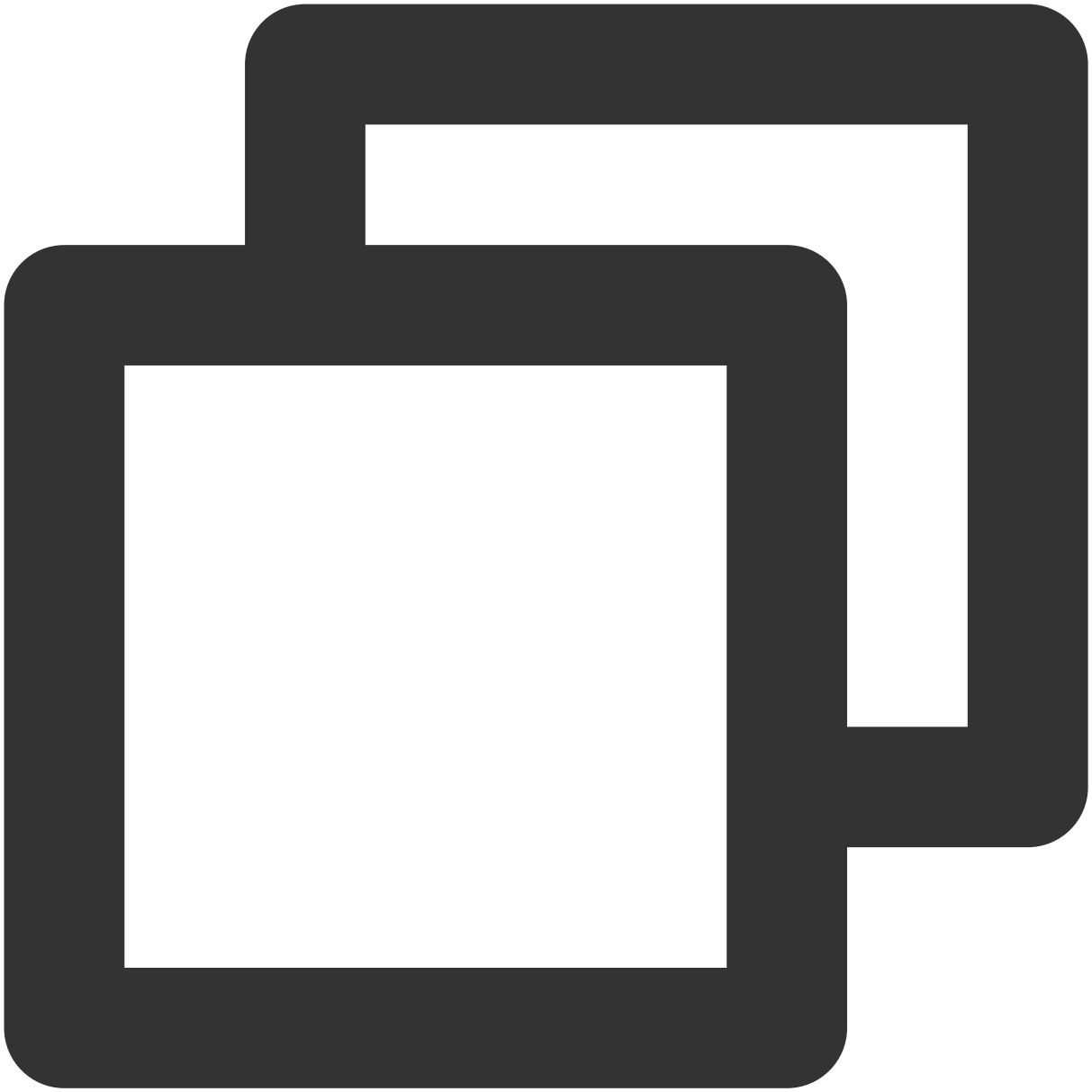
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum install acpid
```

SUSEシステムの場合、次のコマンドを実行します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
in apcid
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Linix CVMのetc/hosts設定を効率的に変更する方法

最終更新日：：2023-06-25 17:49:49

ユースケース

2018年3月1日以降、Tencent Cloudの公式サイトにより提供するLinuxパブリックイメージには、オープンソースツールCloud-Initがプリインストールされており、インスタンス上のすべての初期化操作は Cloud-Init 経由で行われるため、インスタンス内の操作がより透過的になります。詳細については、Cloud-Init をご参照ください。
Cloud-Init は**毎回起動**する時に `/etc/cloud/templates/hosts.${os_type}.tmpl` テンプレートに基づいて新しいファイル `/etc/hosts` を生成し、インスタンスの元の `/etc/hosts` ファイルを上書きします。 したがって、ユーザーがインスタンス内部に `/etc/hosts` 構成を手動で変更してインスタンスを再起動すると、`/etc/hosts` 構成が元のデフォルト構成に戻ることになりました。

前提条件

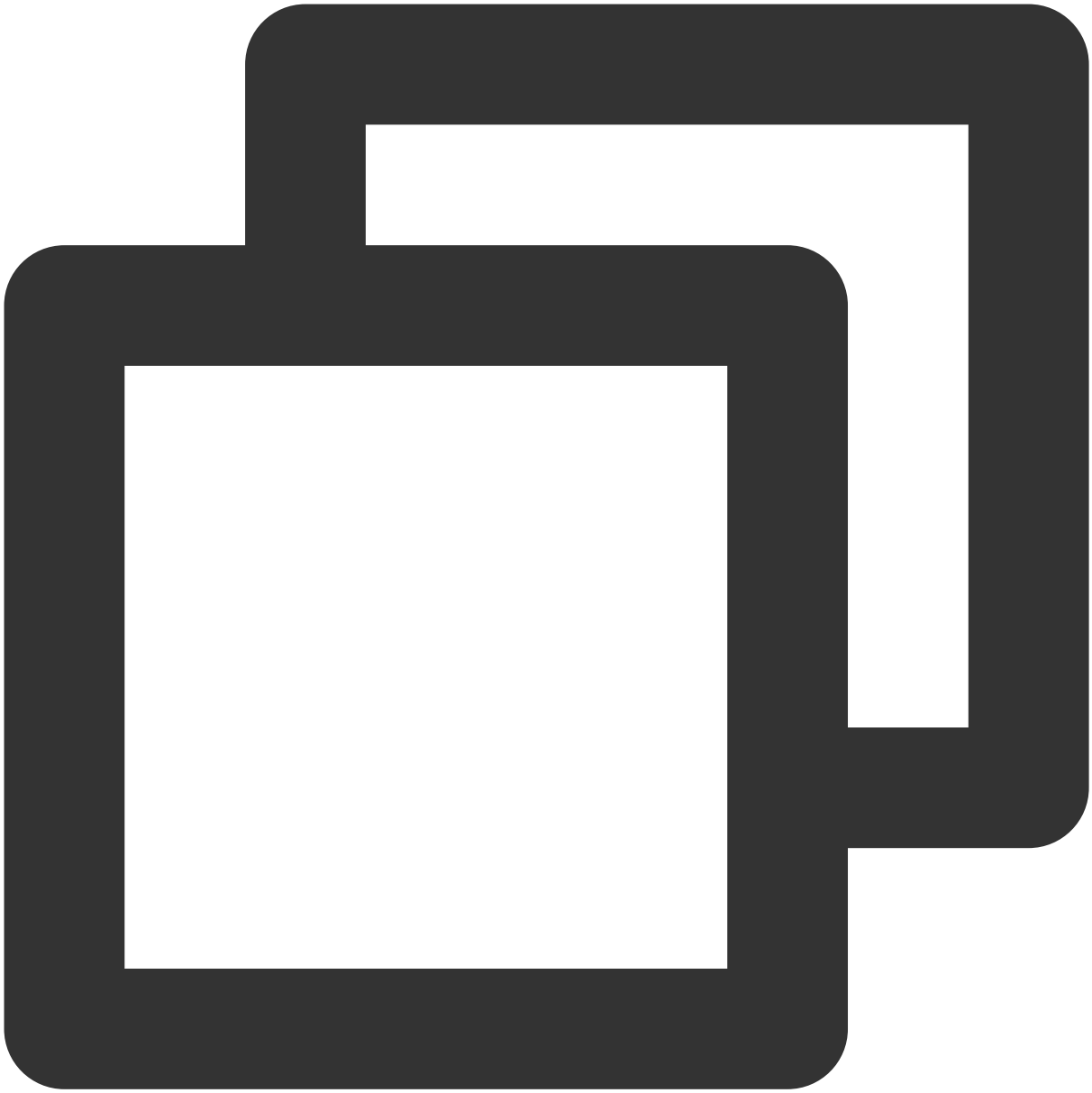
Tencent Cloudは、Cloud-Init の上書き操作を最適化しました。**2018年9月以降にパブリックイメージを使用して**作成されたインスタンスは、再起動後に `/etc/hosts` 構成が上書きされなくなりました。
2018 年 9 月より前に作成されたインスタンスの場合は、次の手順に従って変更します。

操作手順

ソリューション1

1. Linux CVMにログインします。
2. 次のコマンドを実行して、 `/etc/cloud/cloud.cfg` 構成ファイル中の `- update_etc_hosts` を `- ['update-etc-hosts', 'once-per-instance']` に変更します。

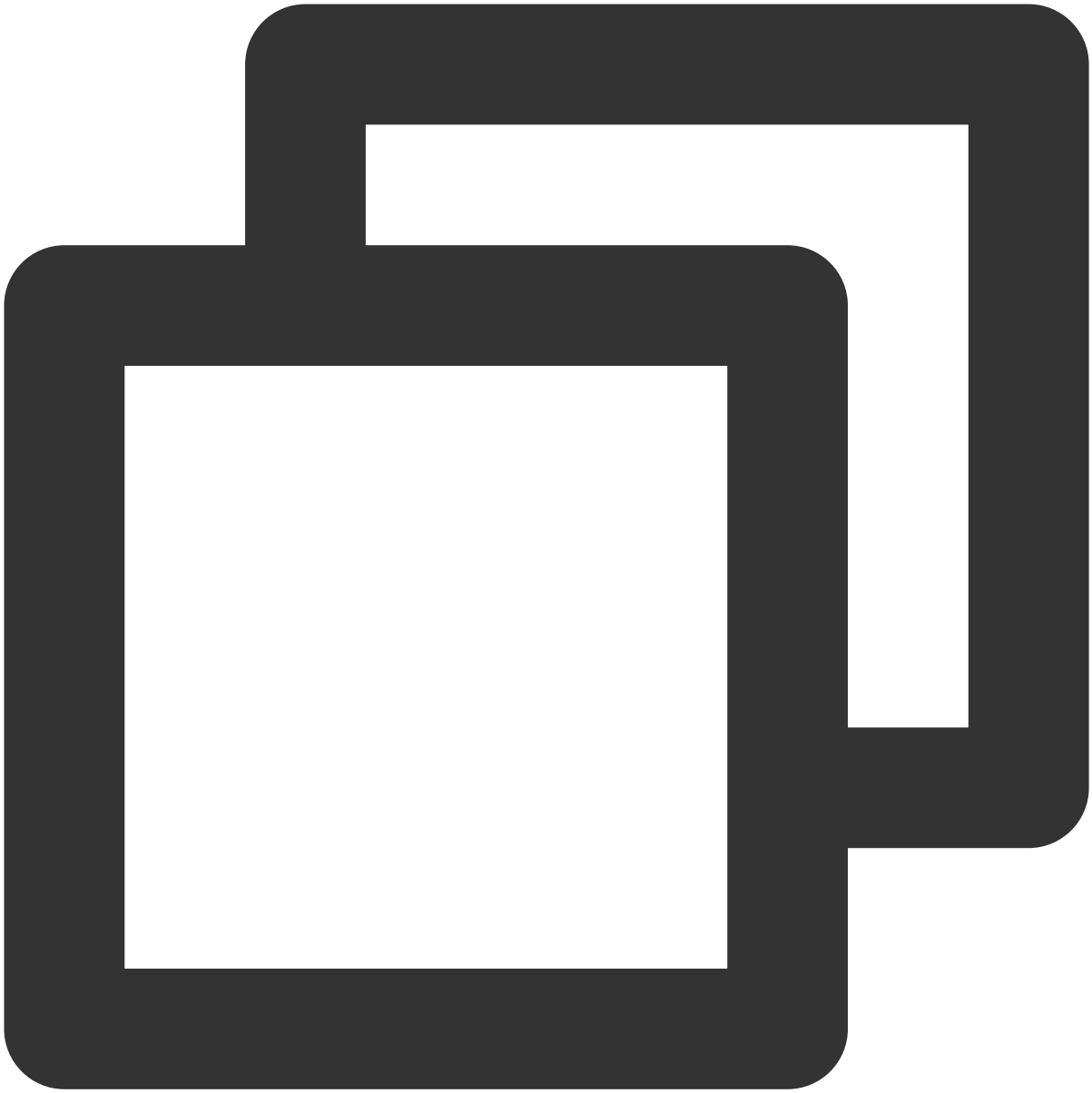
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sed -i "/update_etc_hosts/c \\ - ['update_etc_hosts', 'once-per-instance']" /etc/cl
```

3. 次のコマンドを実行して、 `/var/lib/cloud/instance/sem/` パスの下にconfig_update_etc_hostsファイルを作成します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
touch /var/lib/cloud/instance/sem/config_update_etc_hosts
```

ソリューション2

説明：

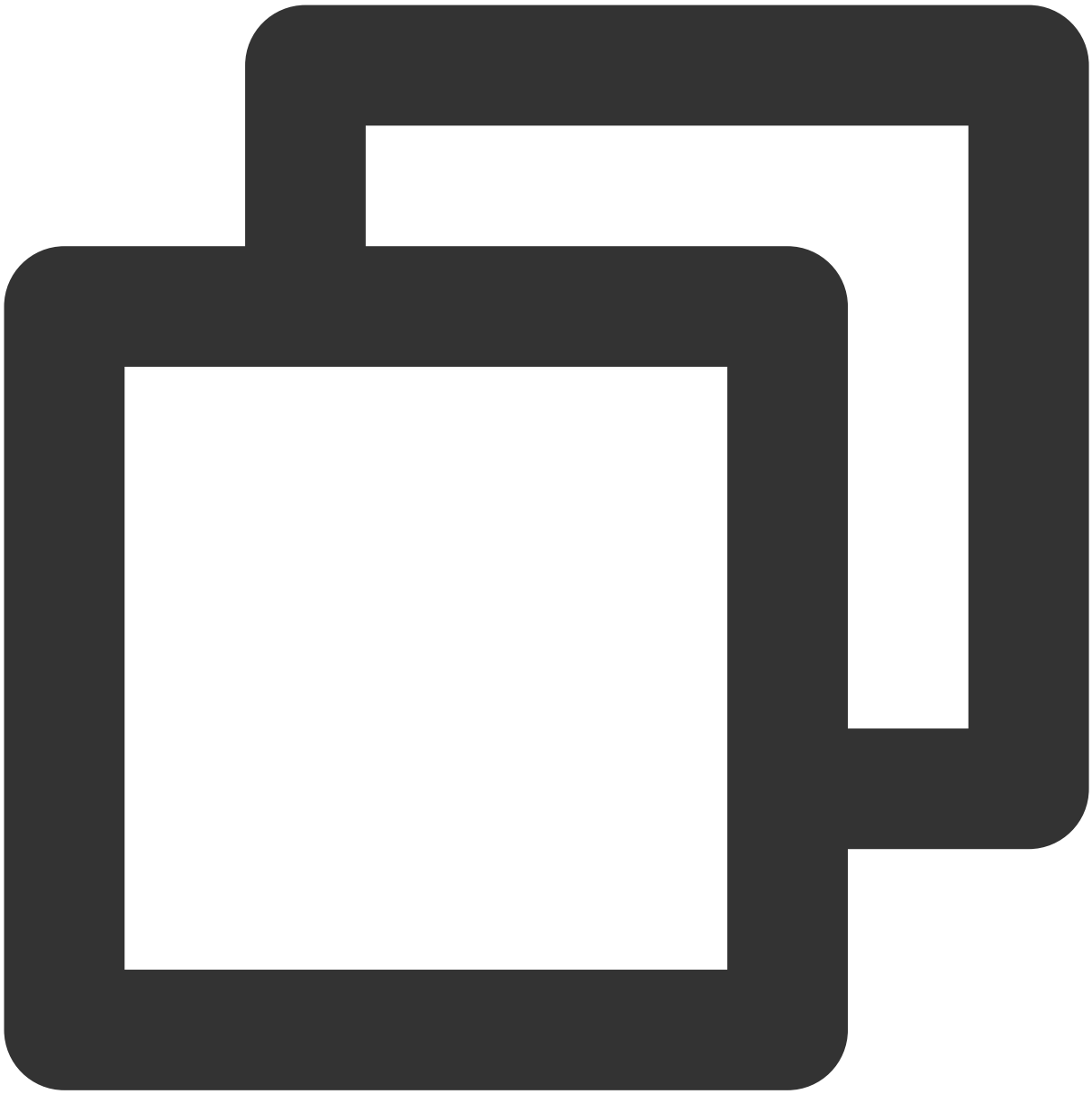
このソリューションでは、CentOS7.2 OSを例として説明します。

hostsテンプレートファイルのパスを取得する

1. Linux CVMにログインします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

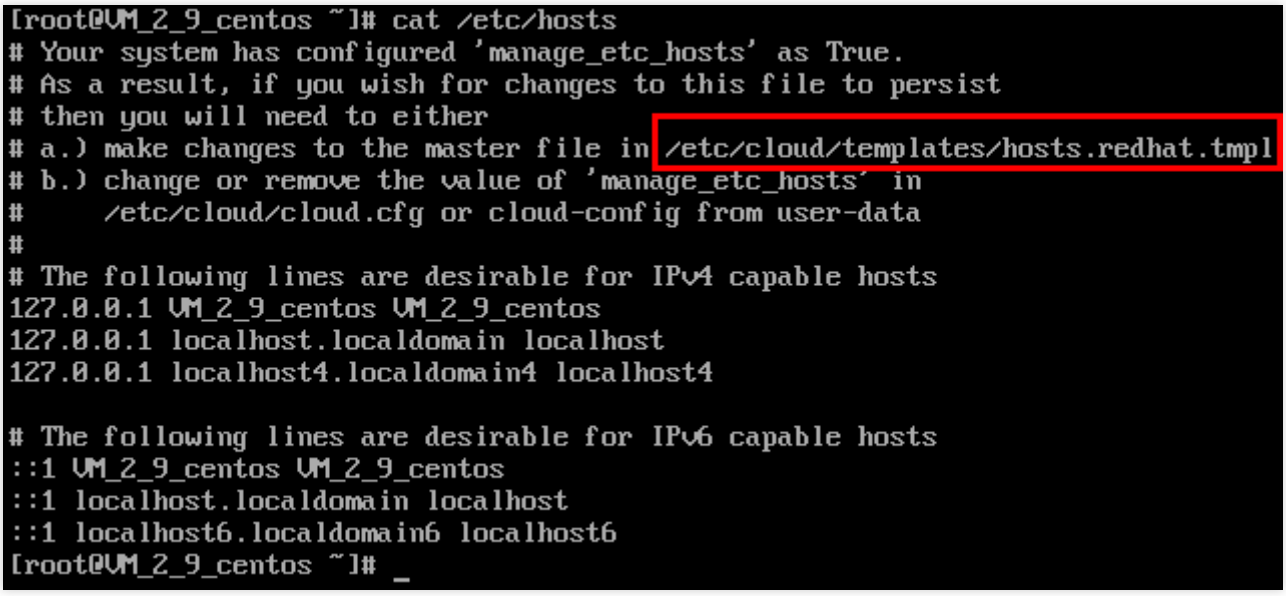
2. 次のコマンドを実行して、システムホストテンプレートファイルを確認します。



```
cat /etc/hosts
```

hosts テンプレート ファイルは次の図に示すとおりです：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



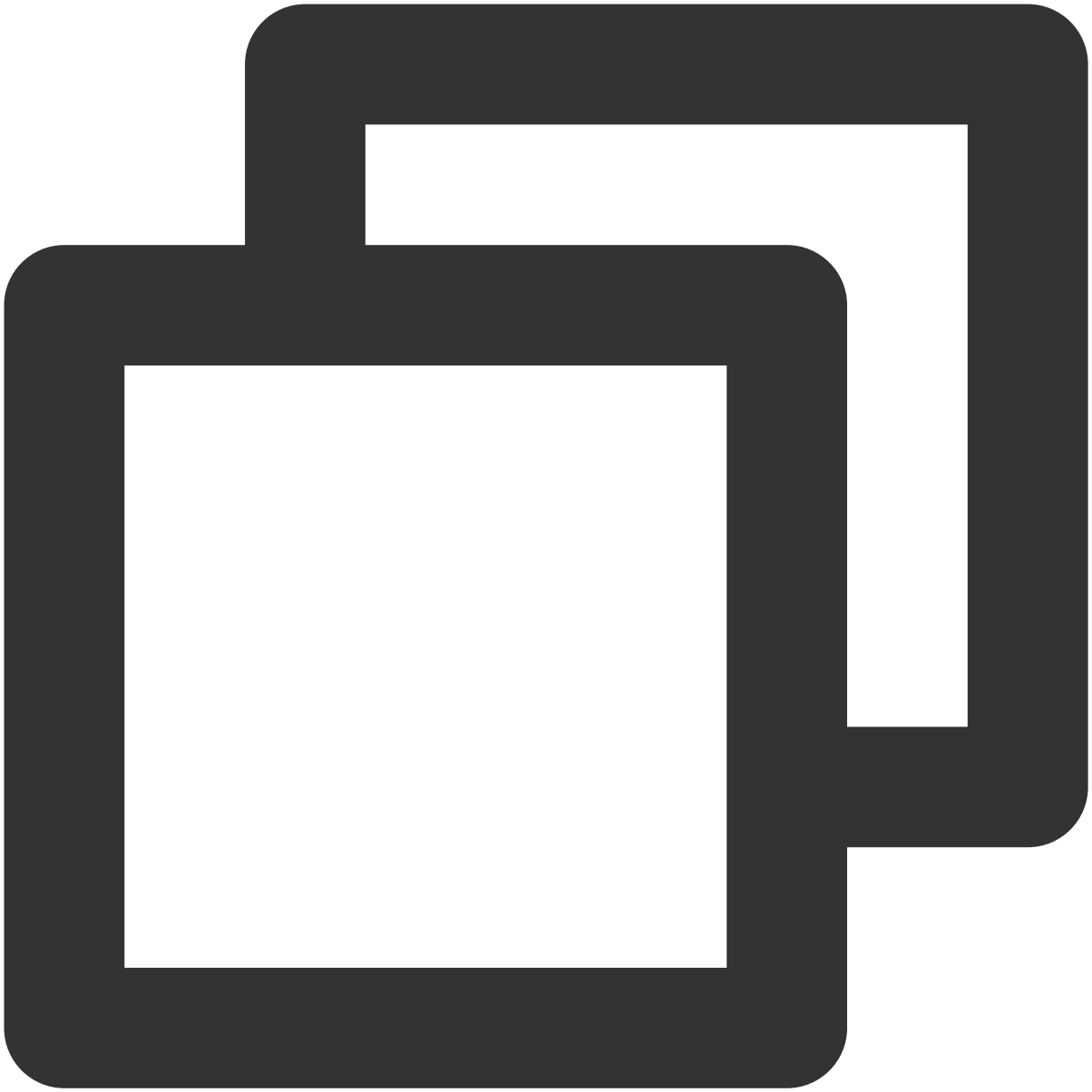
hosts テンプレートファイルを変更する

説明：

127.0.0.1 test test の追加を例として、必要に応じて、hostsテンプレートファイルおよび/etc/hosts ファイルを変更します。

1. 次のコマンドを実行して、 hosts テンプレートファイルを変更します。

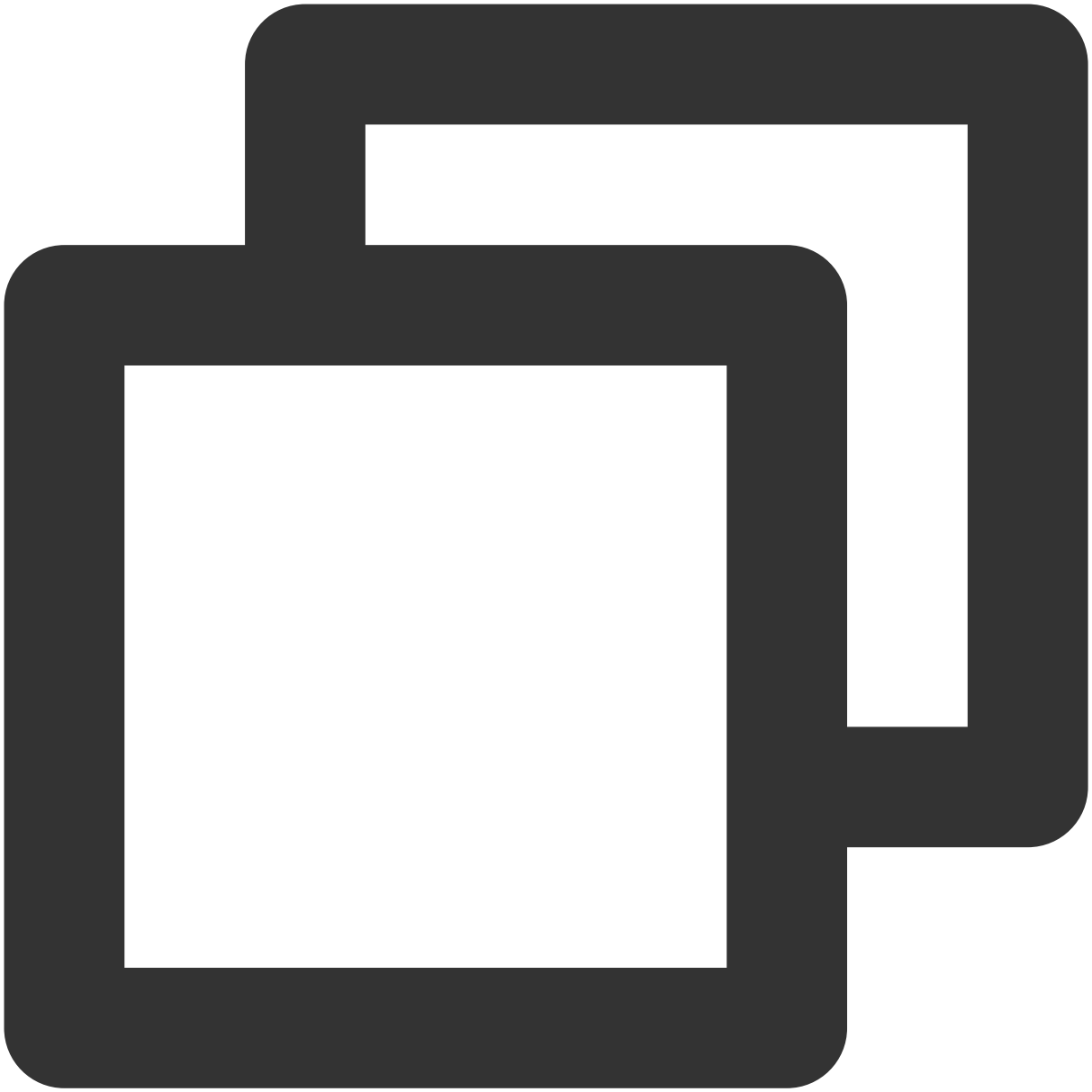
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/cloud/templates/hosts.redhat.tmpl
```

2. 「**i**」を押して、編集モードに切り替えます。
3. ファイルの最後に次の内容を入力します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



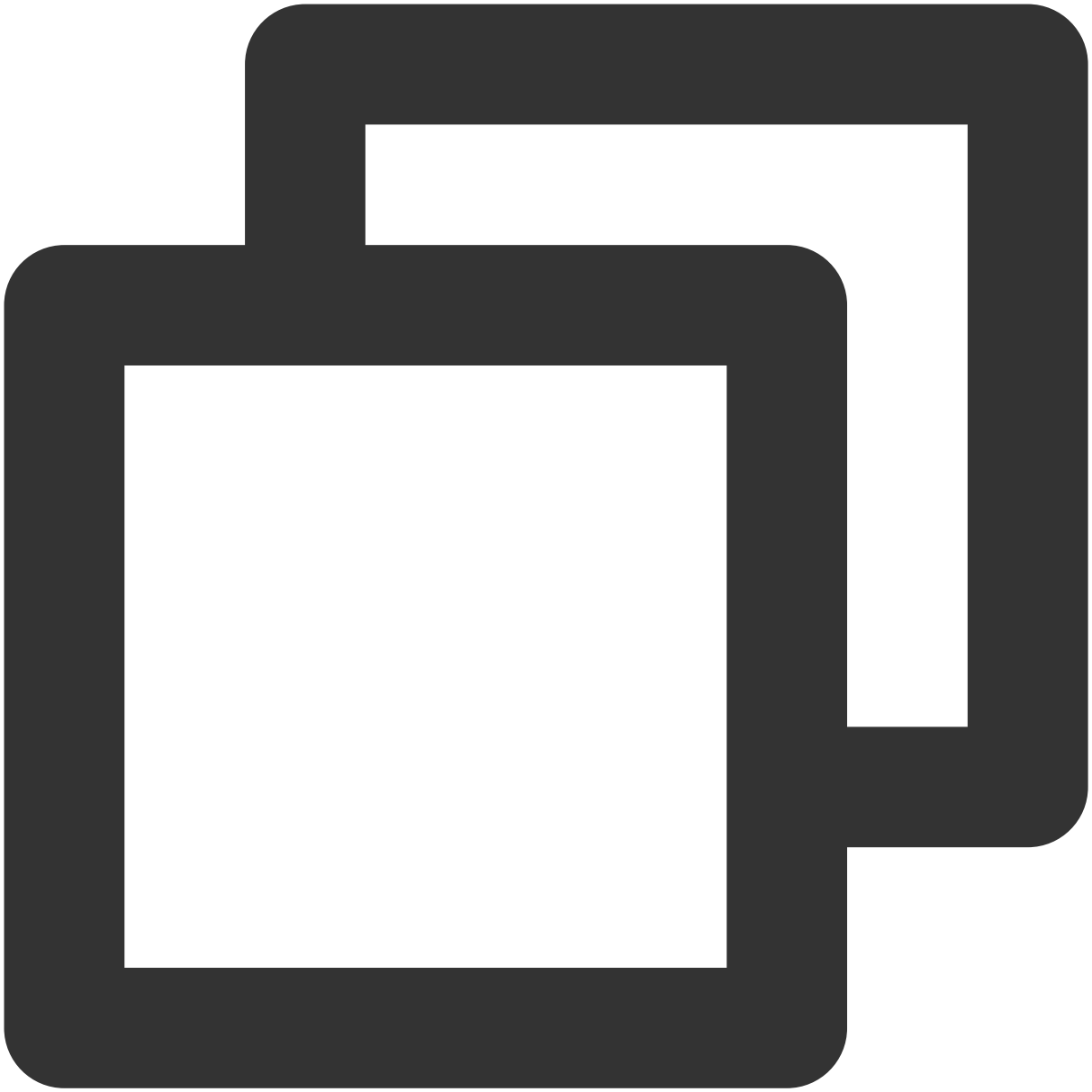
```
127.0.0.1 test test
```

4. 入力が完了したら、**Esc**キーを押して、「**:wq**」と入力し、ファイルを保存して戻ります。

/etc/hosts ファイルを変更する

1. 次のコマンドを実行して、 `/etc/hosts` ファイルを変更します。

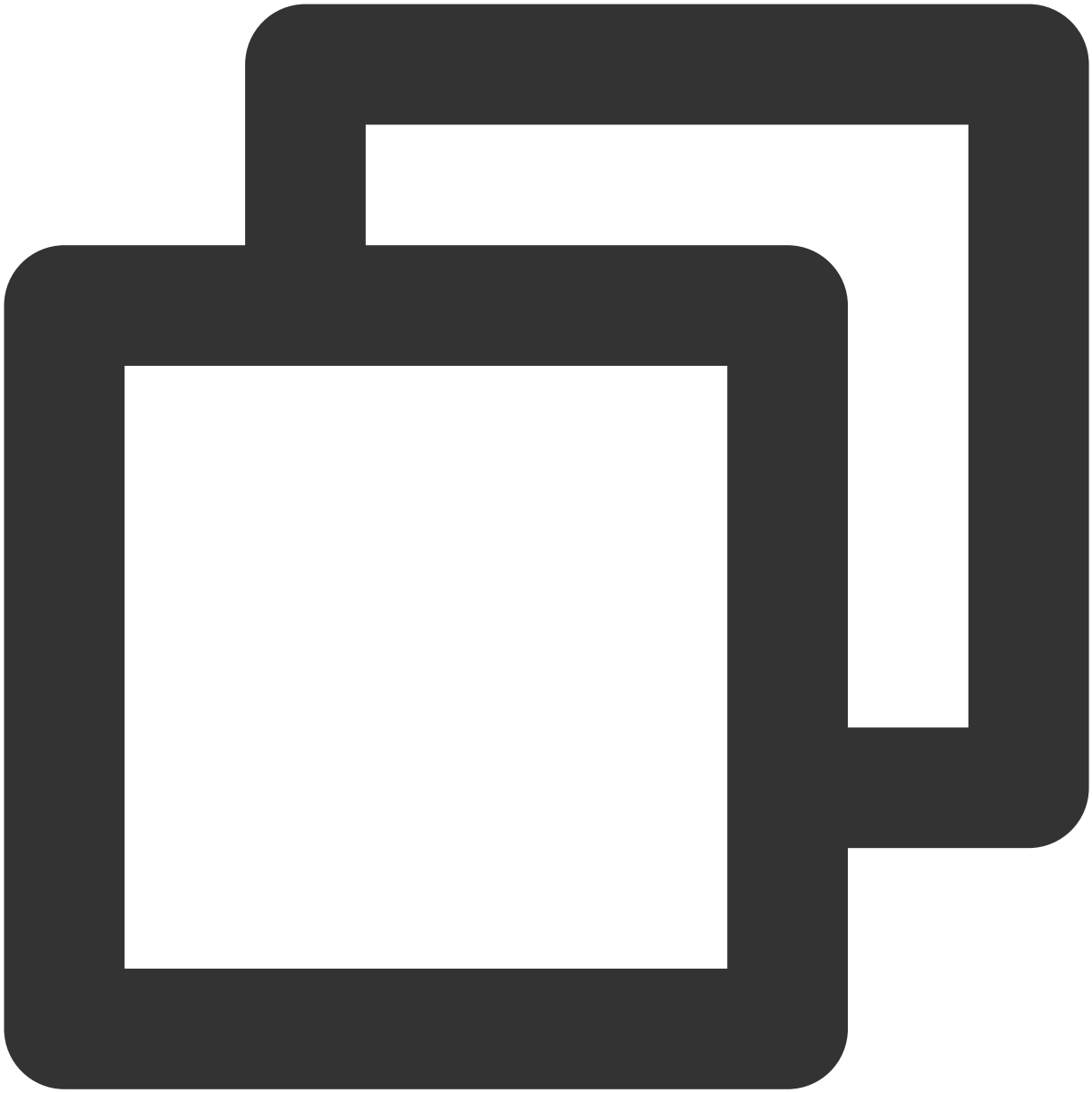
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/hosts
```

2. **i**を押して、編集モードに切り替えます。
3. ファイルの最後に次の内容を入力します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
127.0.0.1 test test
```

4. 入力が完了したら、**Esc**キーを押して、「**:wq**」と入力し、ファイルを保存して戻ります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ソフトウェアのインストール
Tencent Cloudソフトウェアソースによるソフトウェアパッケージのダウンロードと更新の高速化

最終更新日：：2023-02-01 10:21:53

ユースケース

ソフトウェアの依存関係をインストールするときに公式ソースへのアクセスが遅いという問題を解決するために、Tencent Cloudは一部のソフトウェアにキャッシュ機能を設定しました。Tencent Cloudのリポジトリを使用して、依存パッケージのインストール速度を改善することができます。ユーザーがサービスアーキテクチャを自由に構築できるように、Tencent Cloudのリポジトリはパブリックネットワークアクセスとプライベートネットワークアクセスをサポートしています。
パブリックネットワークアクセスのURL：`http://mirrors.tencent.com` です
プライベートネットワークアクセスのURL：`http://mirrors.tencentyun.com/` です
説明：
本ドキュメントは、Tencent Cloudのリポジトリのパブリックネットワークアクセスアドレスを例として、CVMでリポジトリを利用する方法をご紹介します。プライベートネットワーク方式でTencent Cloudのリポジトリにアクセスしたい場合、パブリックネットワークのURLを**プライベートネットワークのURLに変更してください**。
本ドキュメントに関わったTencent Cloudのリポジトリ URLは、ご参考のみであり、**Tencent Cloudのリポジトリ**から最新のURLを取得してください。

注意事項

Tencent Cloudのリポジトリは、毎日公式リポジトリから各ソフトウェアを一回同期させます。

前提条件

CVMにログインしました。

操作手順

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

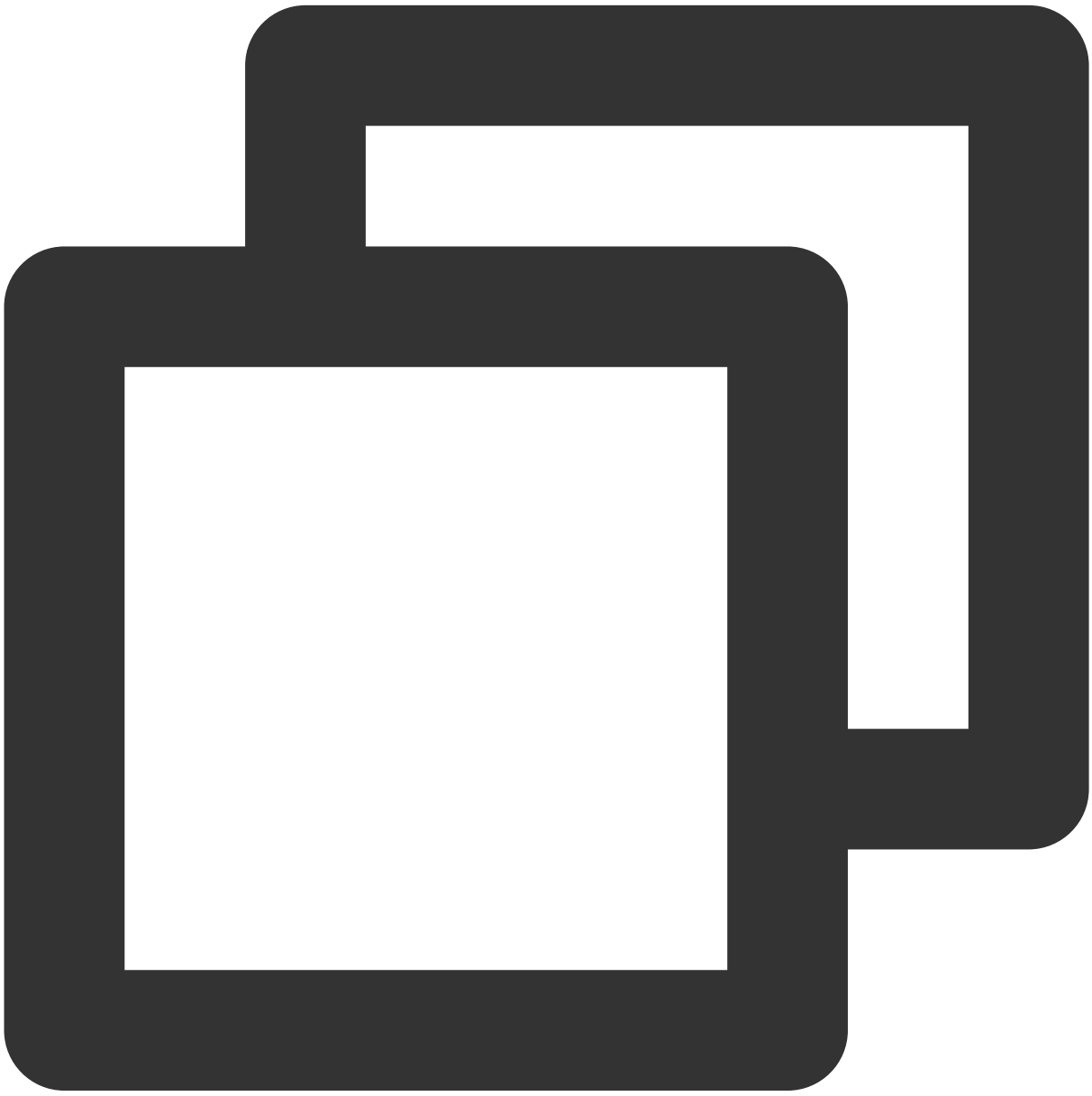
Tencent Cloudのイメージソースを利用してpipを加速する

ご注意：

利用する前に、お客様のCVMにPythonがインストールされたことを確認してください。

一時的にリポジトリのパスを利用する

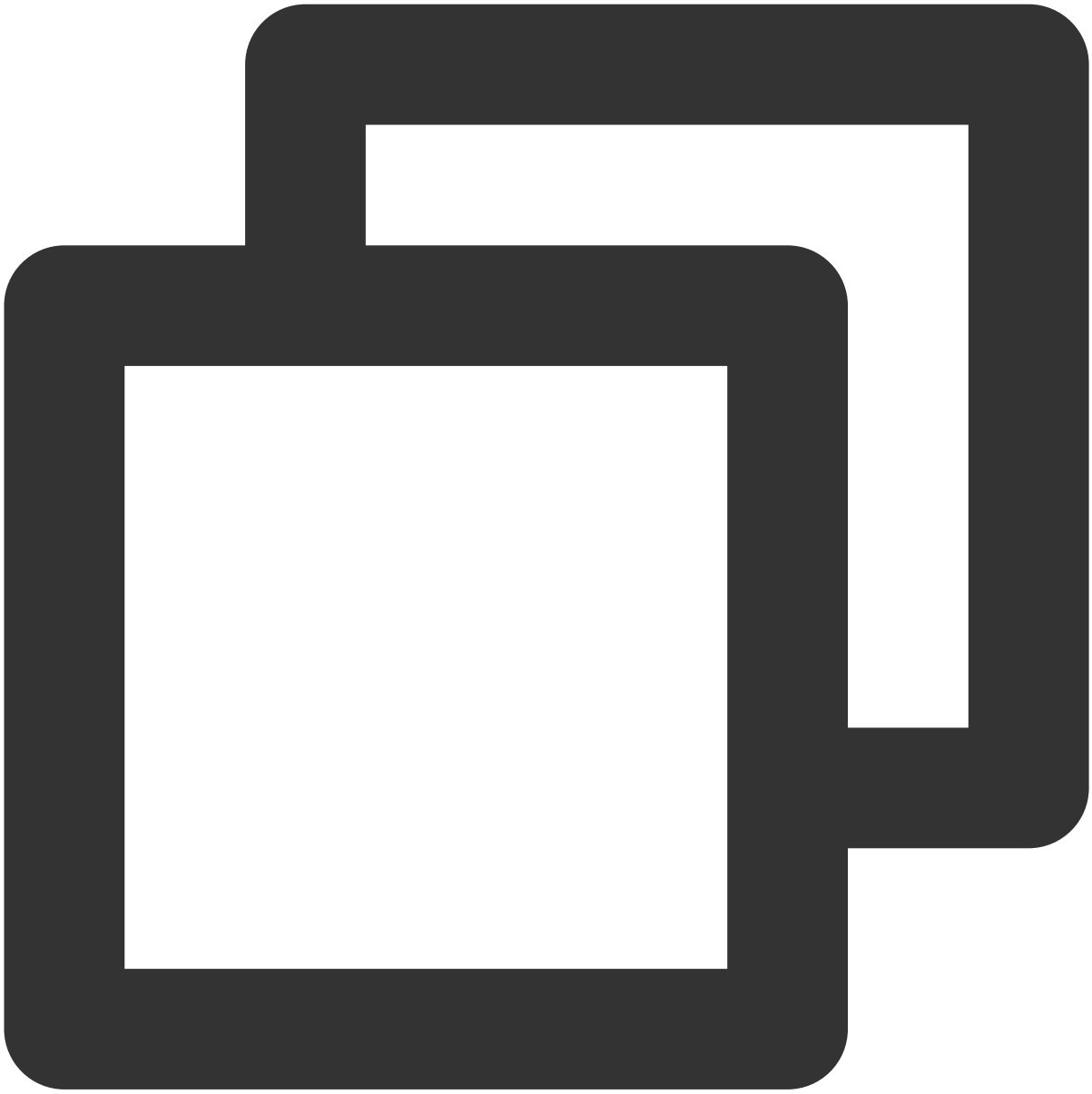
下記のコマンドを実行して、Tencent CloudのPyPIリポジトリを利用してpipをインストールします。



```
pip install pip -i  PyPI リポジトリのディレクトリ
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

例えば、17monipをインストールし、利用するPyPIリポジトリは `http://mirrors.tencent.com/pypi/simple` ディレクトリ配下にあるようにしたら、下記のコマンドを実行してください：

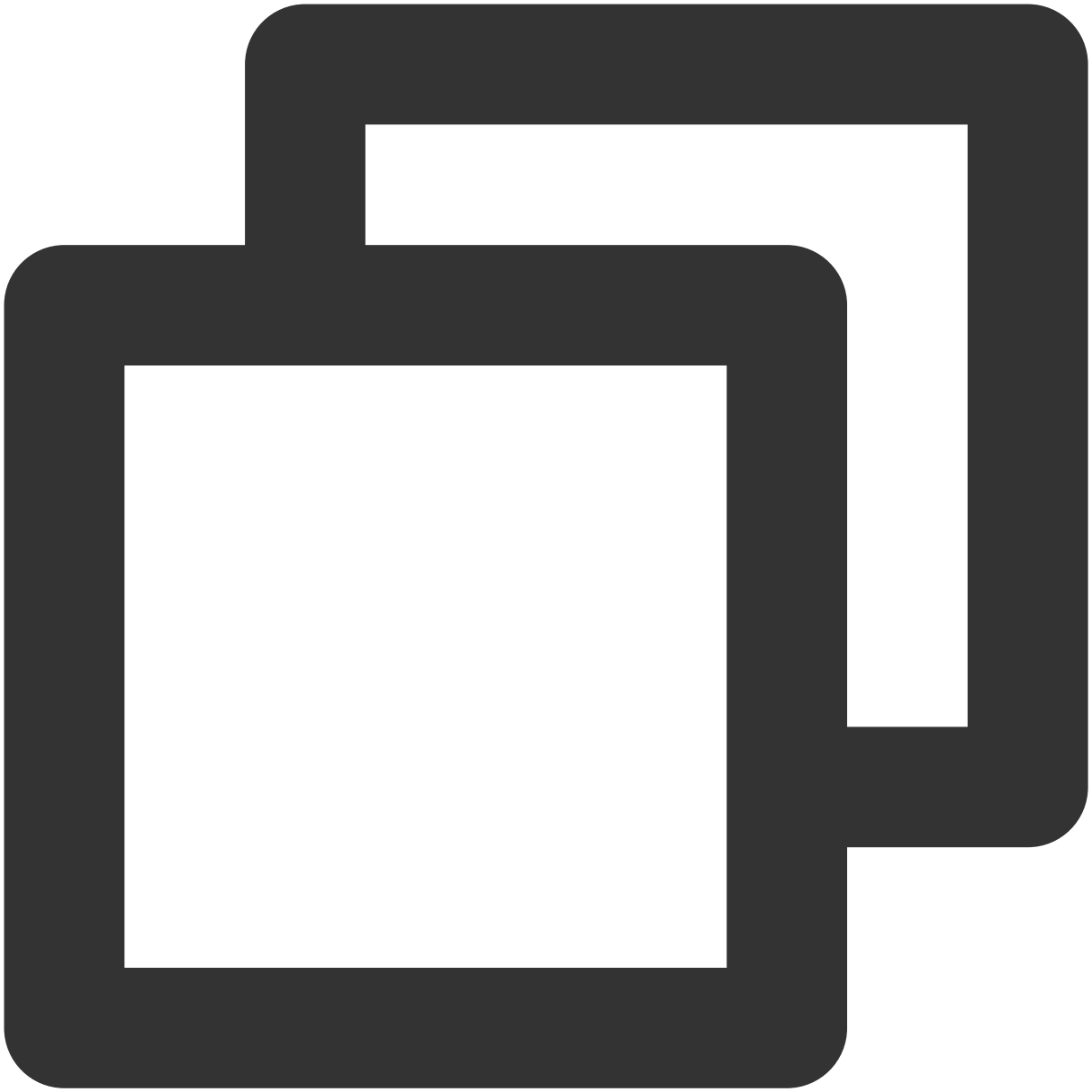


```
pip install 17monip -i http://mirrors.tencent.com/pypi/simple --trusted-host mirror
```

デフォルトリポジトリのパスを設定する

下記のコマンドを実行して、 `~/.pip/pip.conf` ファイルの `index-url` パラメータをTencent Cloud上のリポジトリのパスに変更します。

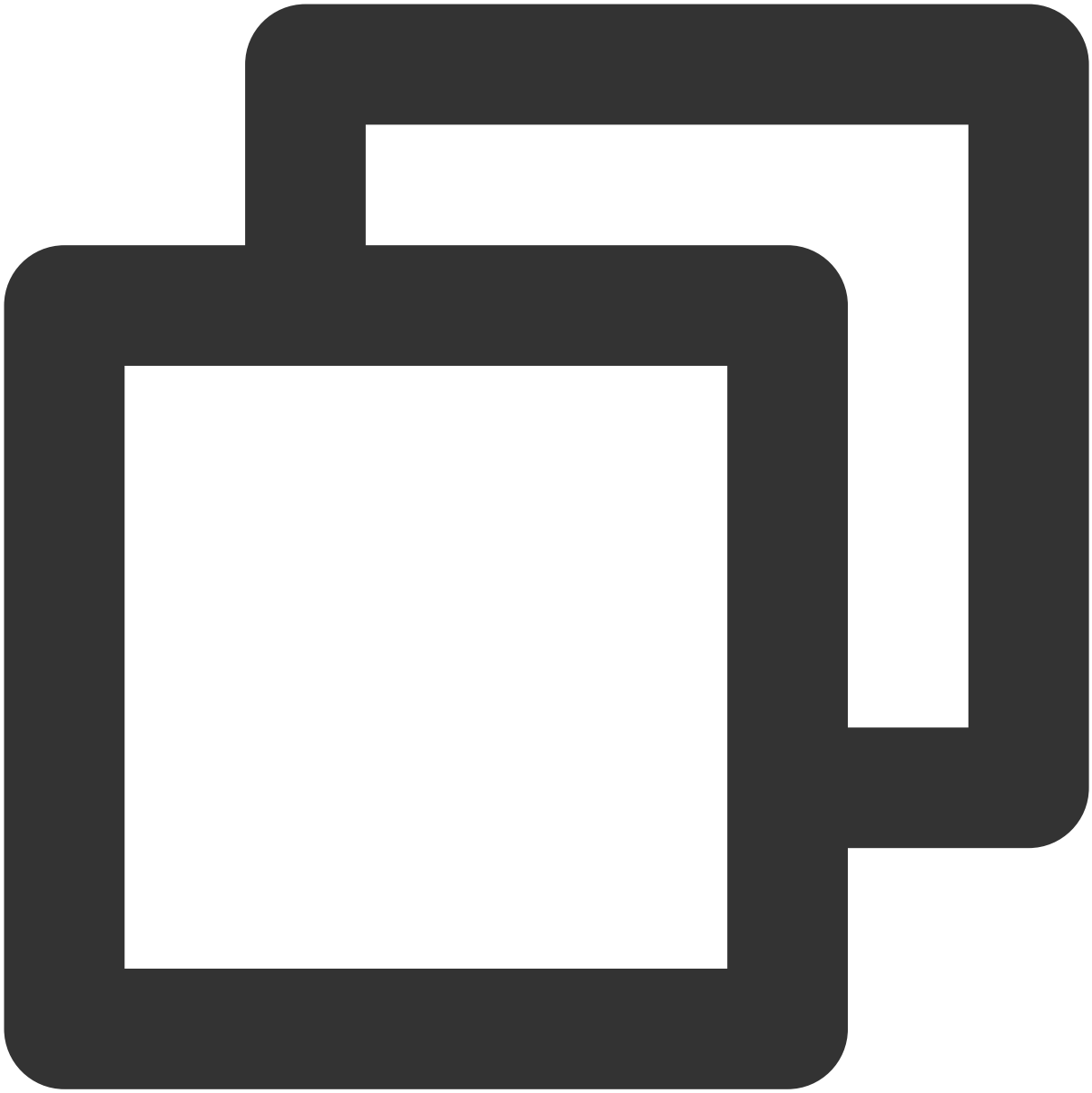
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
[global]
index-url = PyPIリポジトリのディレクトリ
trusted-host = パブリック/プライベートネットワークのURL
```

下記の例のように、利用するPyPIリポジトリは `http://mirrors.tencent.com/pypi/simple` ディレクトリ配下にあります。下記のコマンドを実行してください：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
[global]
index-url = http://mirrors.tencent.com/pypi/simple
trusted-host = mirrors.tencent.com
```

Tencent Cloudのイメージソースを利用してMavenを加速する

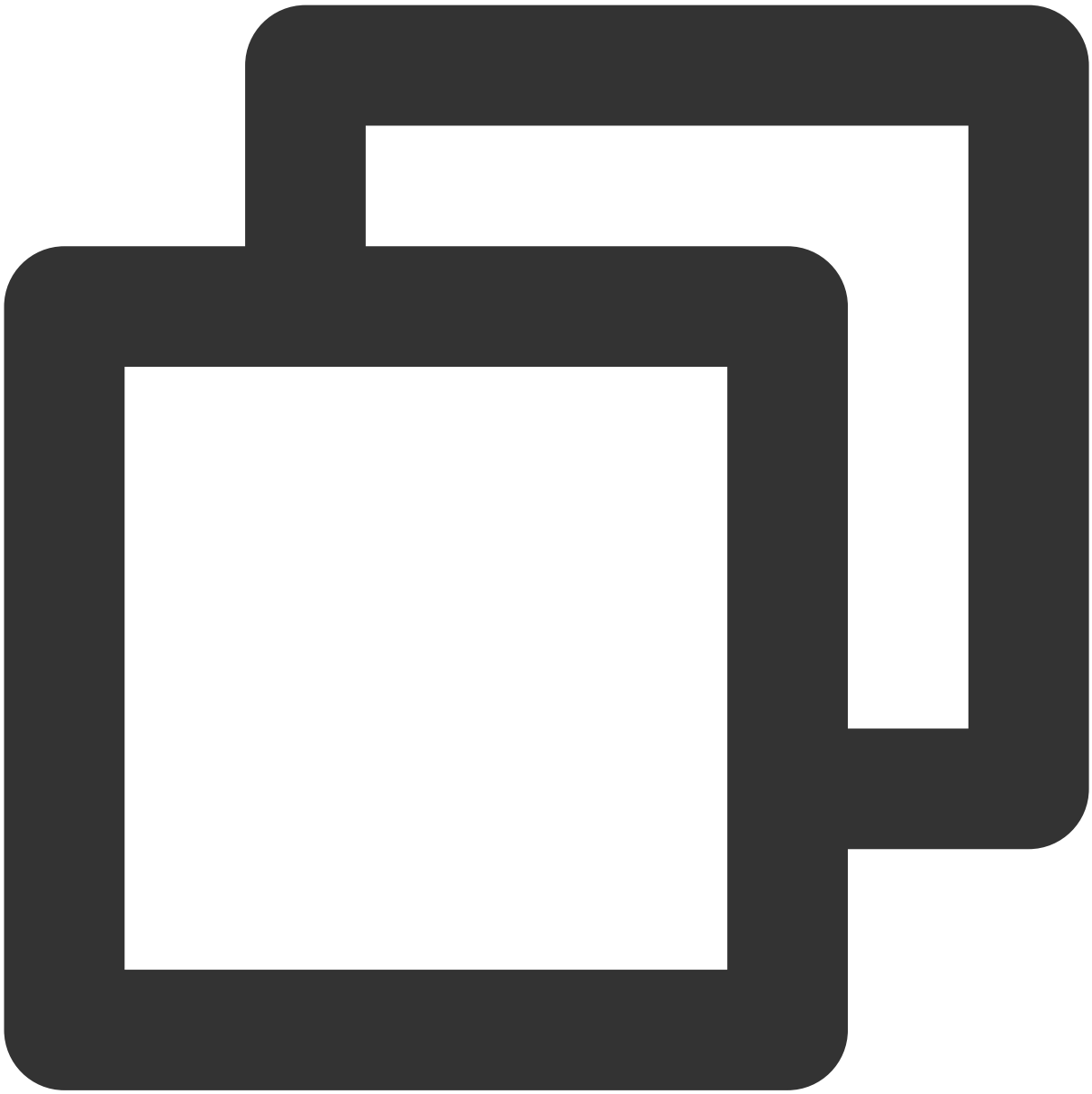
ご注意：

利用する前に、お客様のCVMにJDKとMavenがインストールされたことを確認してください。

1. Mavenの設定ファイル `settings.xml` を開きます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. `<mirrors>...</mirrors>` のコードブロックを見つけて、以下の内容を `<mirrors>...</mirrors>` コードブロックに設定します。



```
<mirror>
    <id>nexus-tencentyun</id>
    <mirrorOf>*</mirrorOf>
    <name>Nexus tencentyun</name>
    <url>http://mirrors.tencent.com/nexus/repository/maven-public/</url>
</mirror>
```

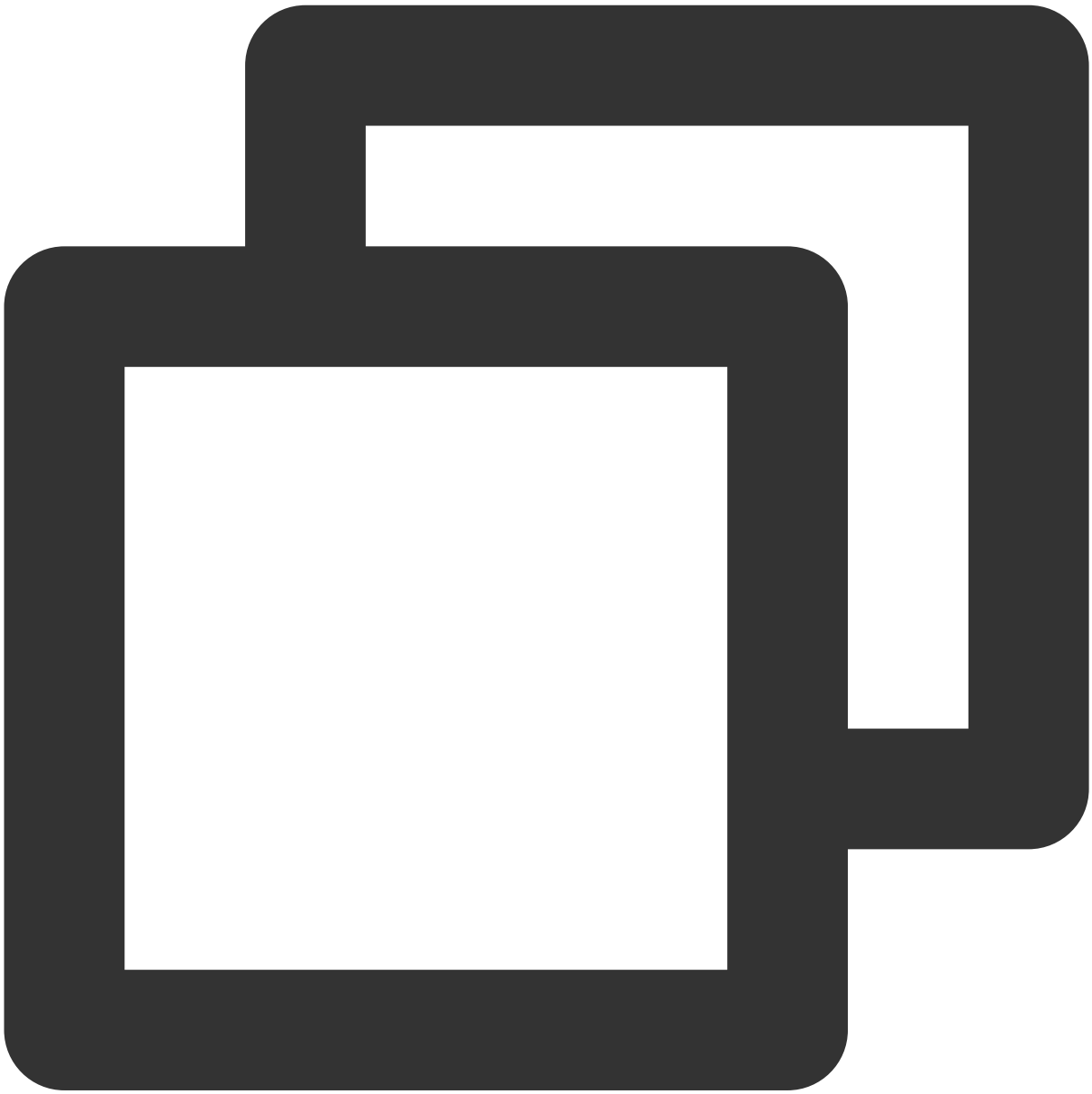
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Tencent Cloudのイメージソースを利用してNPMを加速する

ご注意：

利用する前に、お客様のCVMにNode.jsとNPMがインストールされたことを確認してください。

下記のコマンドを実行して、Tencent CloudのNPMリポジトリでNPMをインストールします。



```
npm config set registry http://mirrors.tencent.com/npm/
```

Tencent Cloudのイメージソースを利用してDockerを加速する

TKEクラスターにTencent Cloud上のDockerリポジトリを利用する

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

手動で設定する必要はありません。Tencent Kubernetes Engine(TKE)クラスターに、CVMのホストはノードを作成するとき、自動的にDockerサービスをインストールし、またTencent Cloudプライベートネットワークイメージを作成します。

CVMでTencent CloudのDockerリポジトリを利用する

ご注意：

利用する前に、お客様のCVMにDockerがインストールされたことを確認してください。

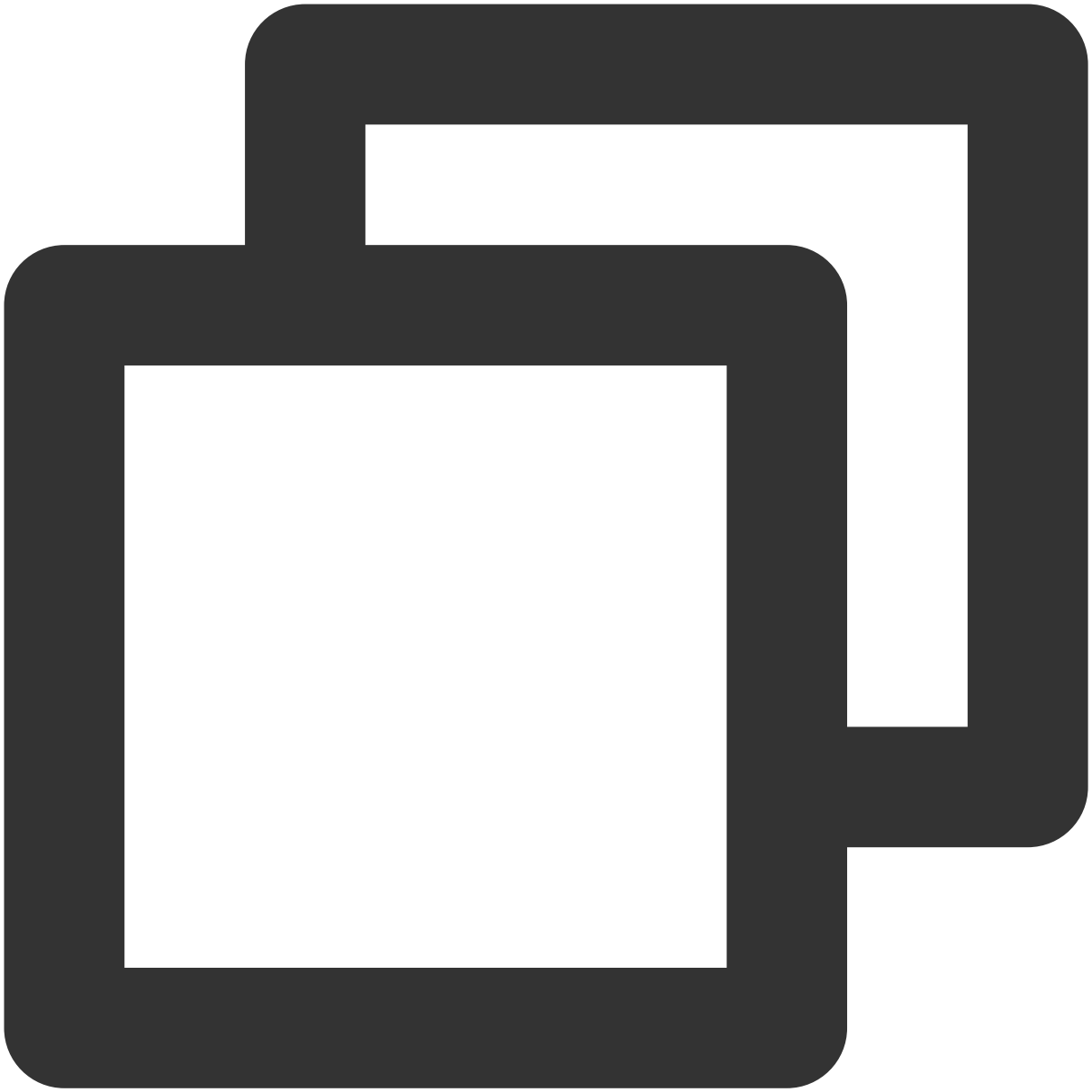
Docker Hub Mirror機能はDocker 1.3.2以降が必要です。1.3.2以降のDockerがインストールされていない場合、またはバージョンが古い場合、インストールまたはアップデートしてから利用してください。

CVMのOS種類により、最適な操作手順を選んでください。

Ubuntu 14.04、Debian、CentOS 6 、Fedora、openSUSEなどのOSに適用します。他のバージョンのOSの操作手順は若干異なります。

1.1 下記のコマンドを実行して、 設定ファイル `/etc/default/docker` を開きます。

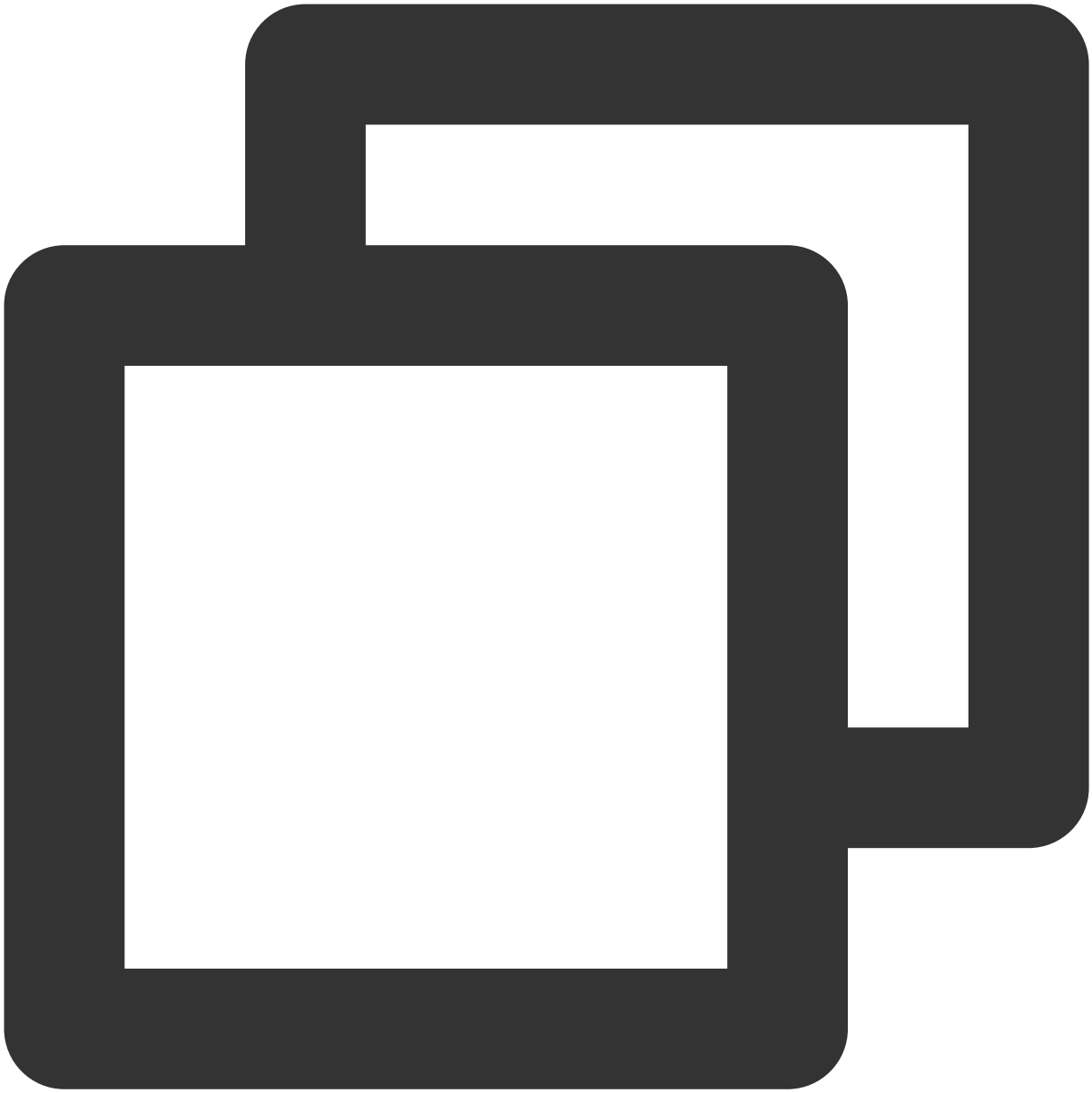
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/default/docker
```

1.2 **i**キーを押すと編集モードに切り替えます。下記の内容を追加して、保存してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

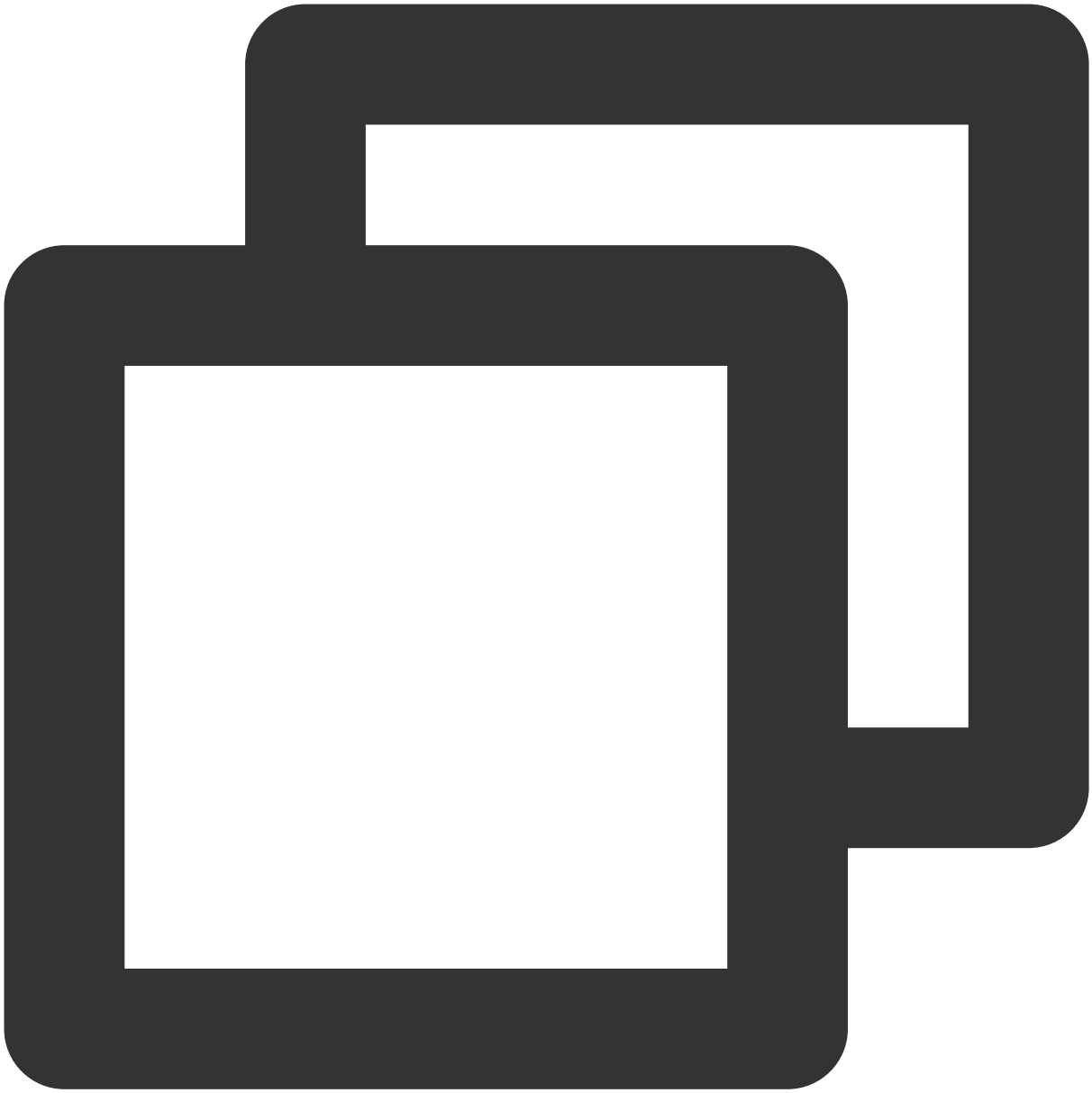


```
DOCKER_OPTS="--registry-mirror=https://mirror.ccs.tencentyun.com"
```

Centos 7 OSに適用する：

1.1 下記のコマンドを実行して、 設定ファイル `/etc/docker/daemon.json` を開きます。

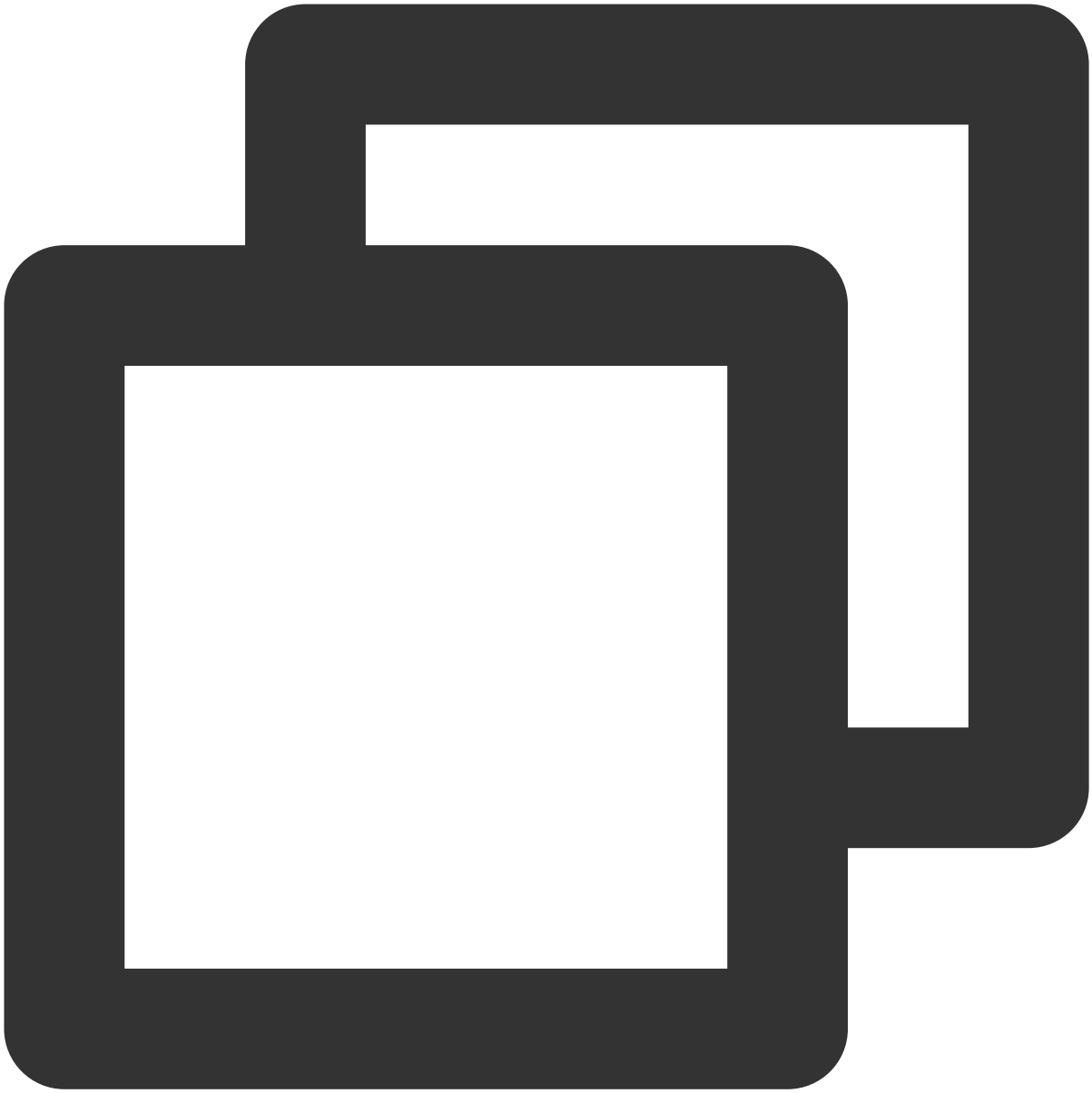
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/docker/daemon.json
```

1.2 **i**キーを押すと編集モードに切り替えます。下記の内容を追加して、保存してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

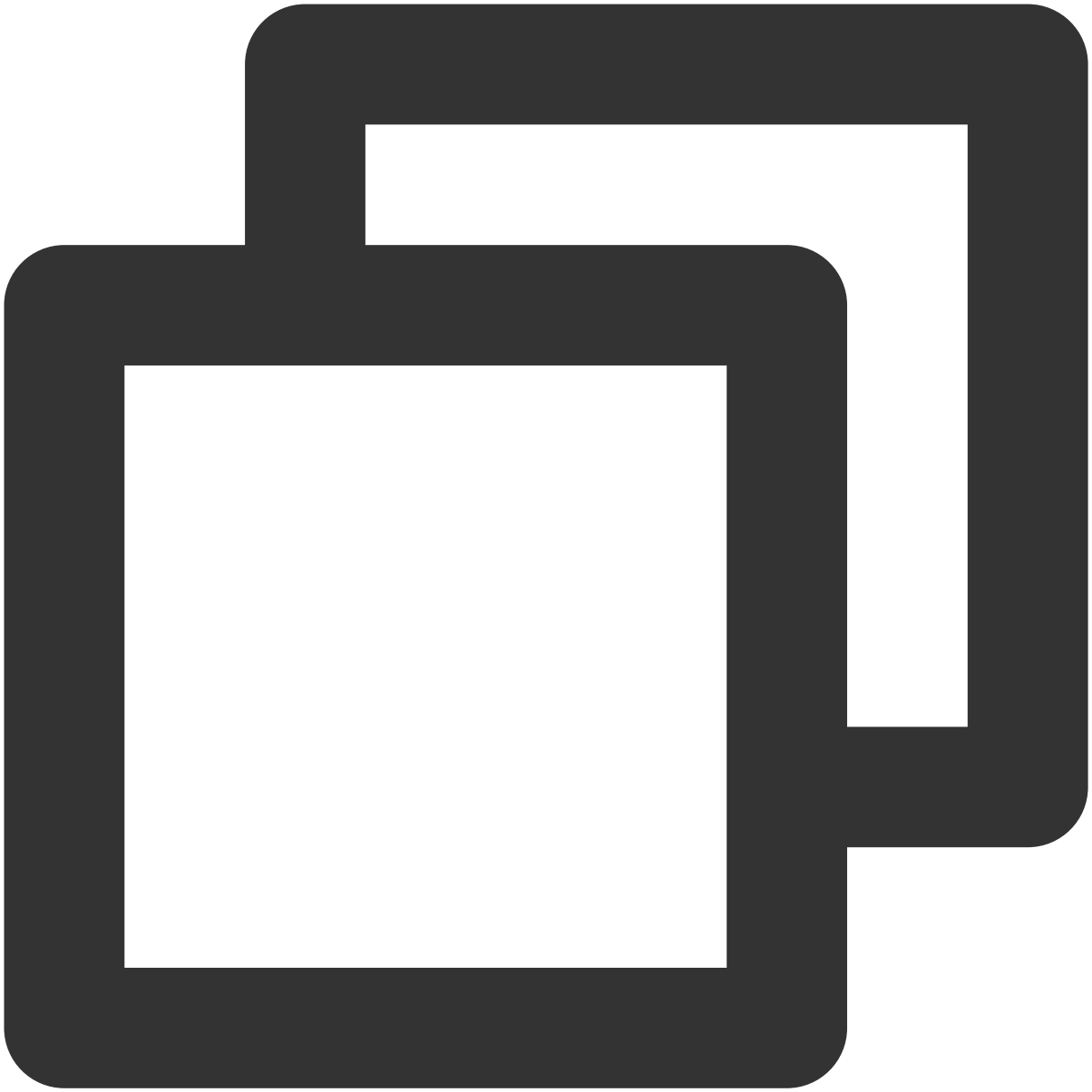


```
{
   "registry-mirrors": [
   "https://mirror.ccs.tencentyun.com"
  ]
}
```

既に Boot2Dockerをインストールした Windows OSに適用する：

1.1 Boot2Docker Start Shellに入り、下記のコマンドを実行してください：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo su echo "EXTRA_ARGS=\\"-registry-mirror=https://mirror.ccs.tencentyun.com\\""
```

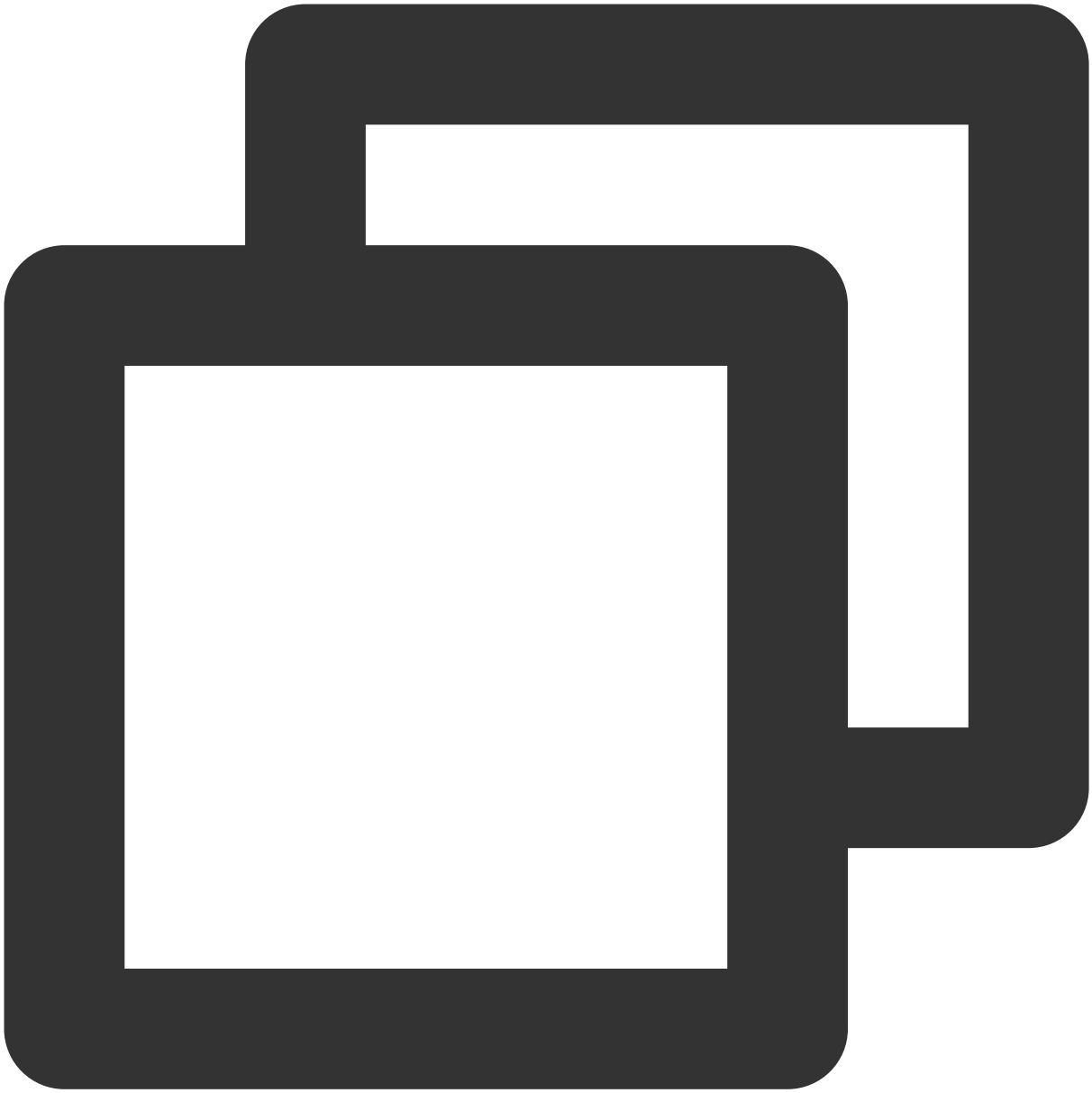
1.2 Boot2Dockerをリスタートします。

Tencent Cloudのイメージを利用してMariaDBを加速する

説明：

以下の操作手順は、CentOS 7を例として説明します。OSにより若干異なる操作手順があります。

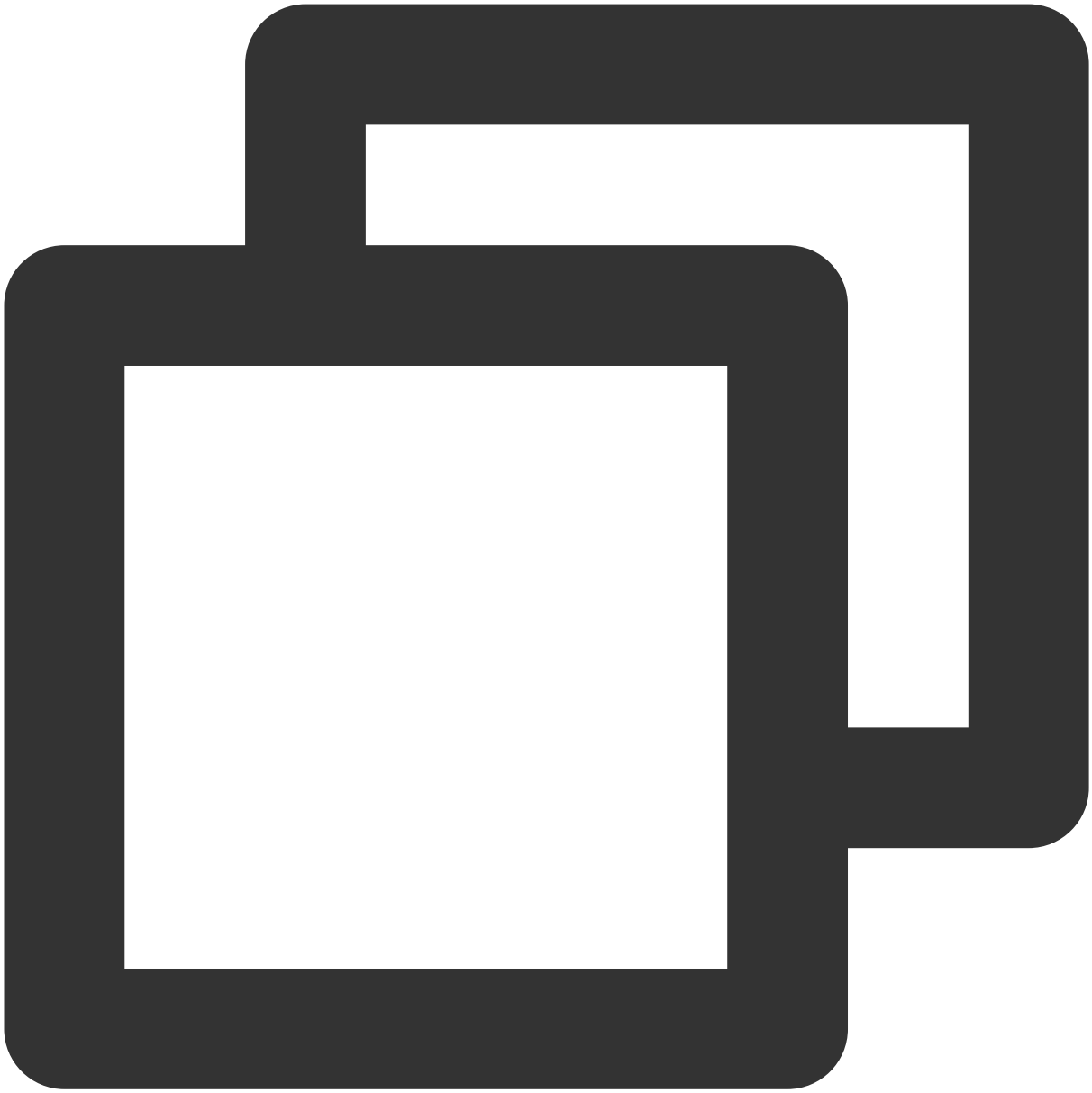
1. 下記のコマンドを実行して、 `/etc/yum.repos.d/` の下に `MariaDB.repo` ファイルを作成します。



```
vi /etc/yum.repos.d/MariaDB.repo
```

2. **i**キーを押すと編集モードに切り替えます。下記の内容を書き込み、保存してください。

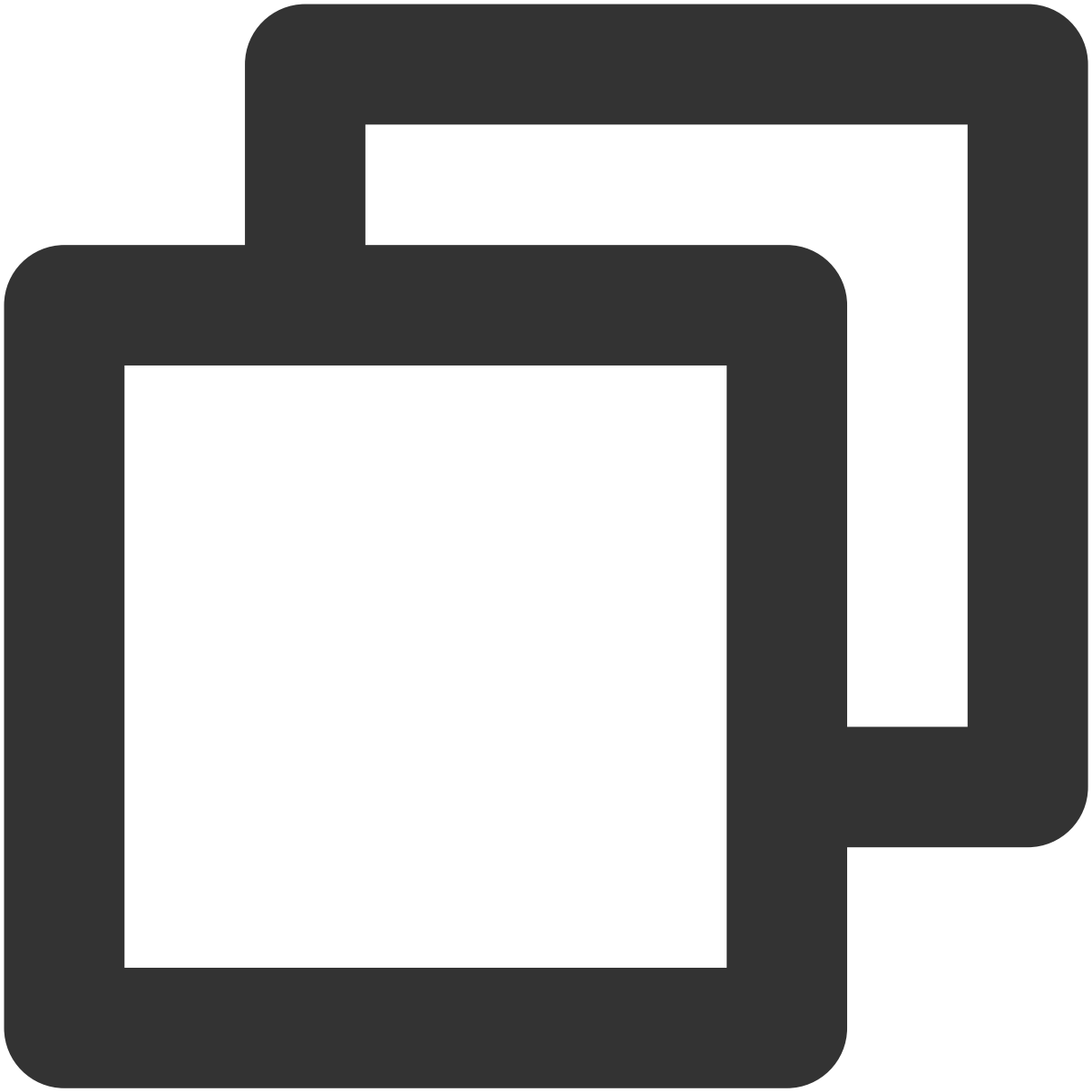
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
# MariaDB 10.2 CentOS7-amd64
[mariadb]
name = MariaDB
baseurl = http://mirrors.tencent.com/mariadb/yum/10.2/centos7-amd64/
gpgkey = http://mirrors.tencent.com/mariadb/yum/RPM-GPG-KEY-MariaDB
gpgcheck=1
```

3. 下記のコマンドを実行して、yumのキャッシュをクレンジングします。

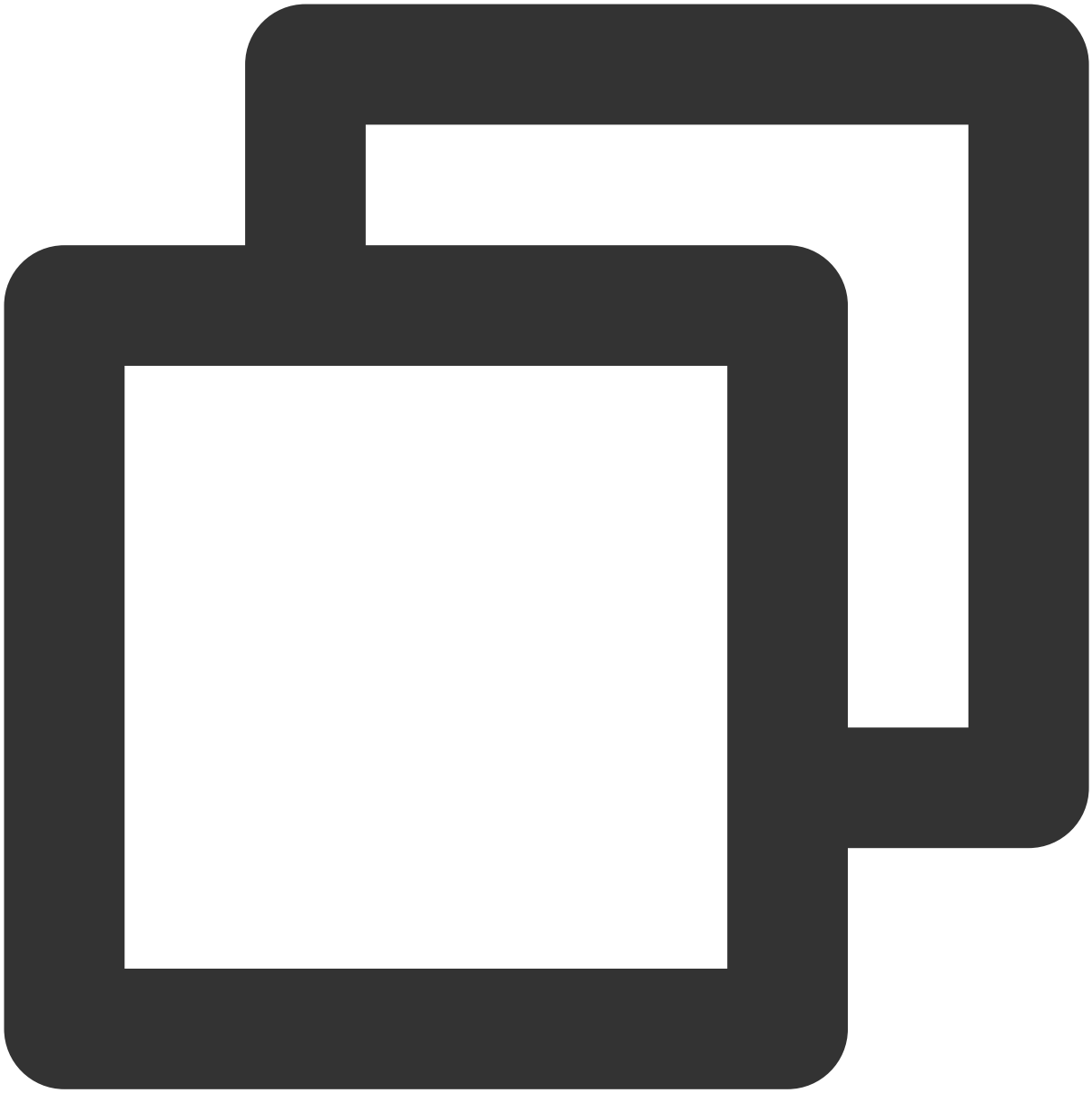
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum clean all
```

4. 下記のコマンドを実行して、MariaDBをインストールします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum install MariaDB-client MariaDB-server
```

Tencent Cloudのイメージを利用してMongoDBを加速する

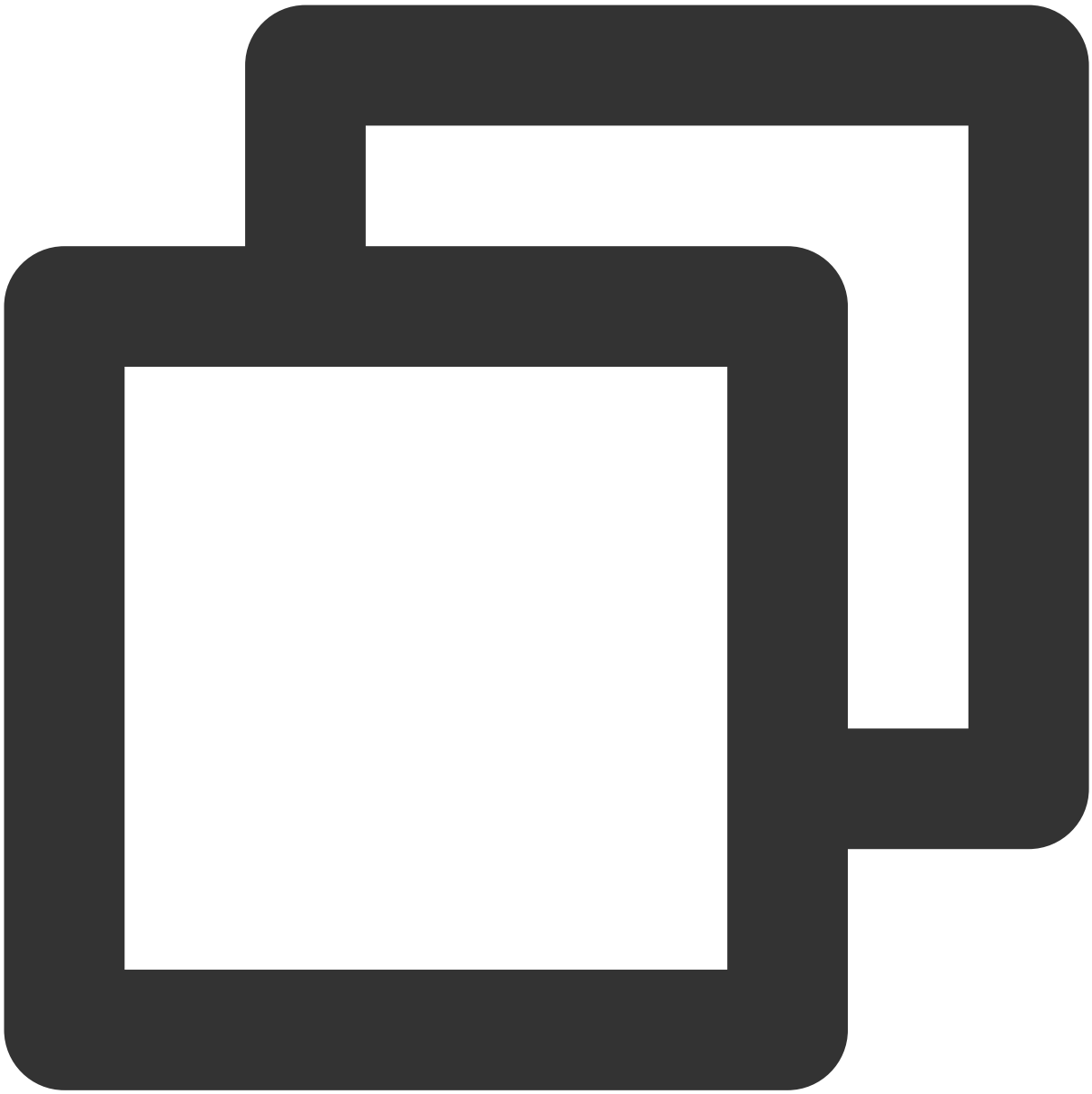
説明：

以下の操作手順は、MongoDB 4.0のインストールを例として説明します。その他のバージョンをインストールする際に、mirrorパス内のバージョン番号を変更してください。

CentOS及びRedhatシステムのCVMは、Tencent CloudのMongoDBリポジトリを利用する。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

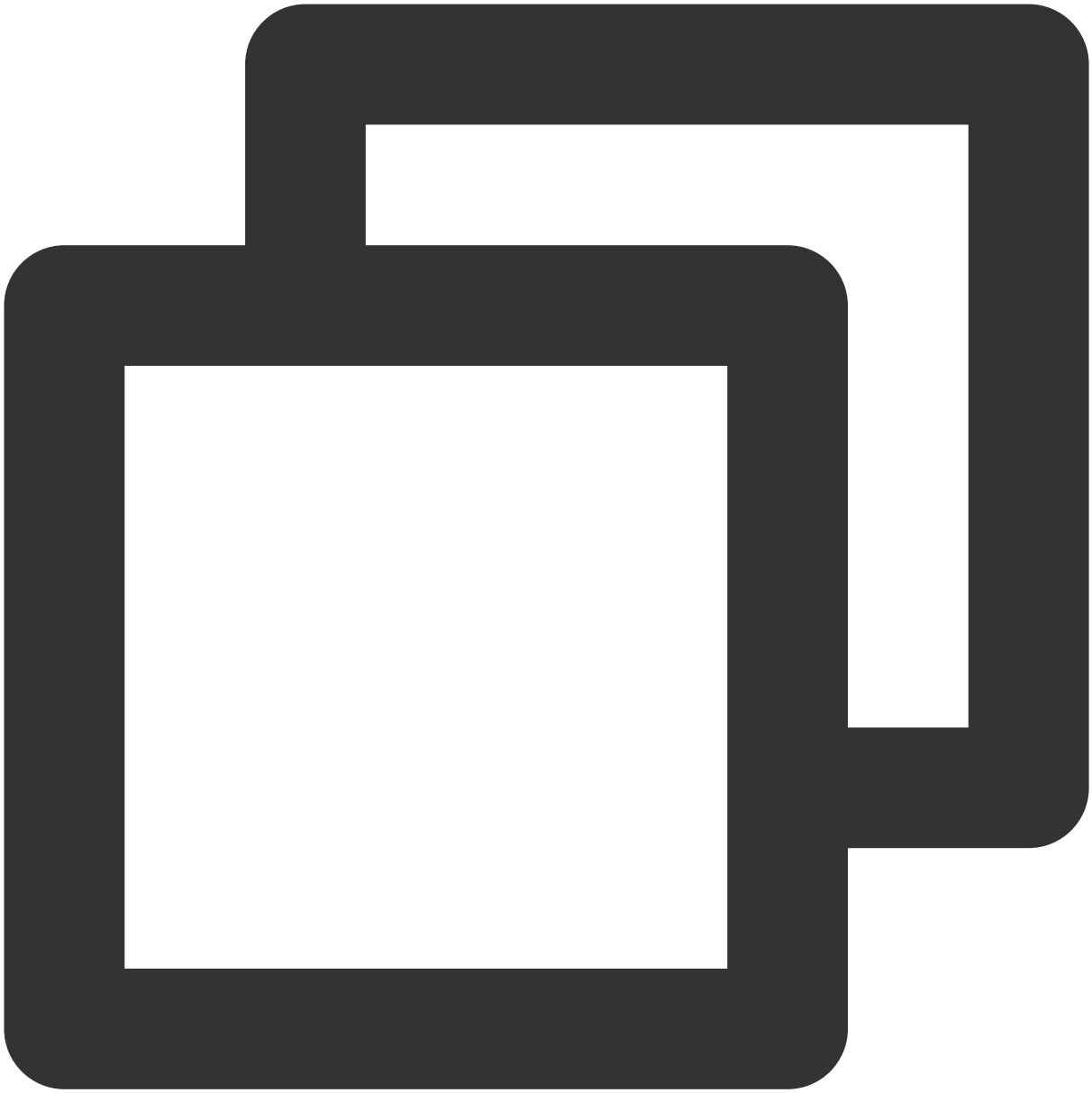
1. 下記のコマンドを実行して、 `/etc/yum.repos.d/mongodb.repo` ファイルを作成します。



```
vi /etc/yum.repos.d/mongodb.repo
```

2. **i**キーを押すと編集モードに切り替えます。下記の内容を書き込み、保存してください。

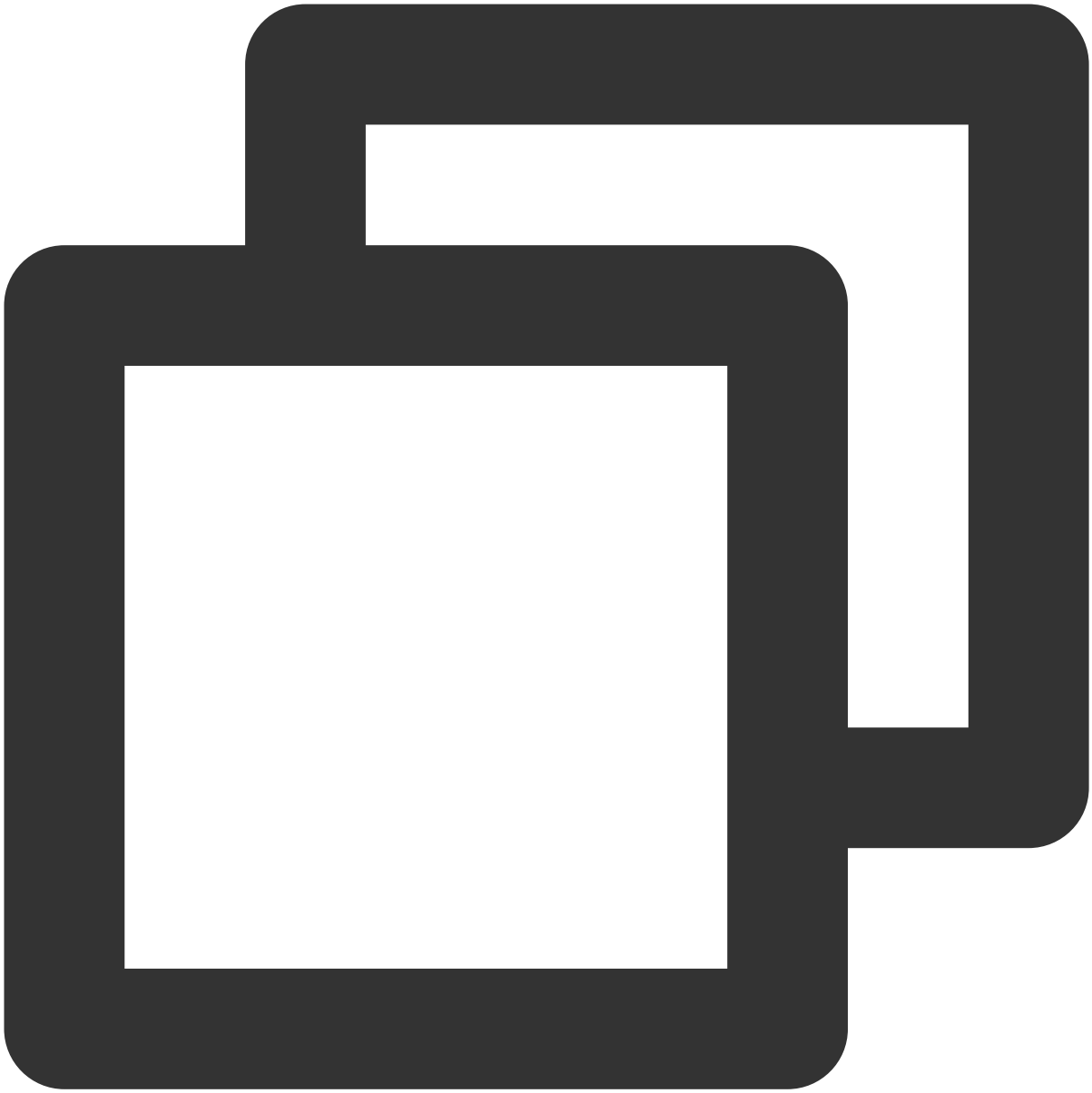
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
[mongodb-org-4.0]
name=MongoDB Repository
baseurl=http://mirrors.tencent.com/mongodb/yum/el7-4.0
gpgcheck=0
enabled=1
```

3. 下記のコマンドを実行して、MongoDBをインストールします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

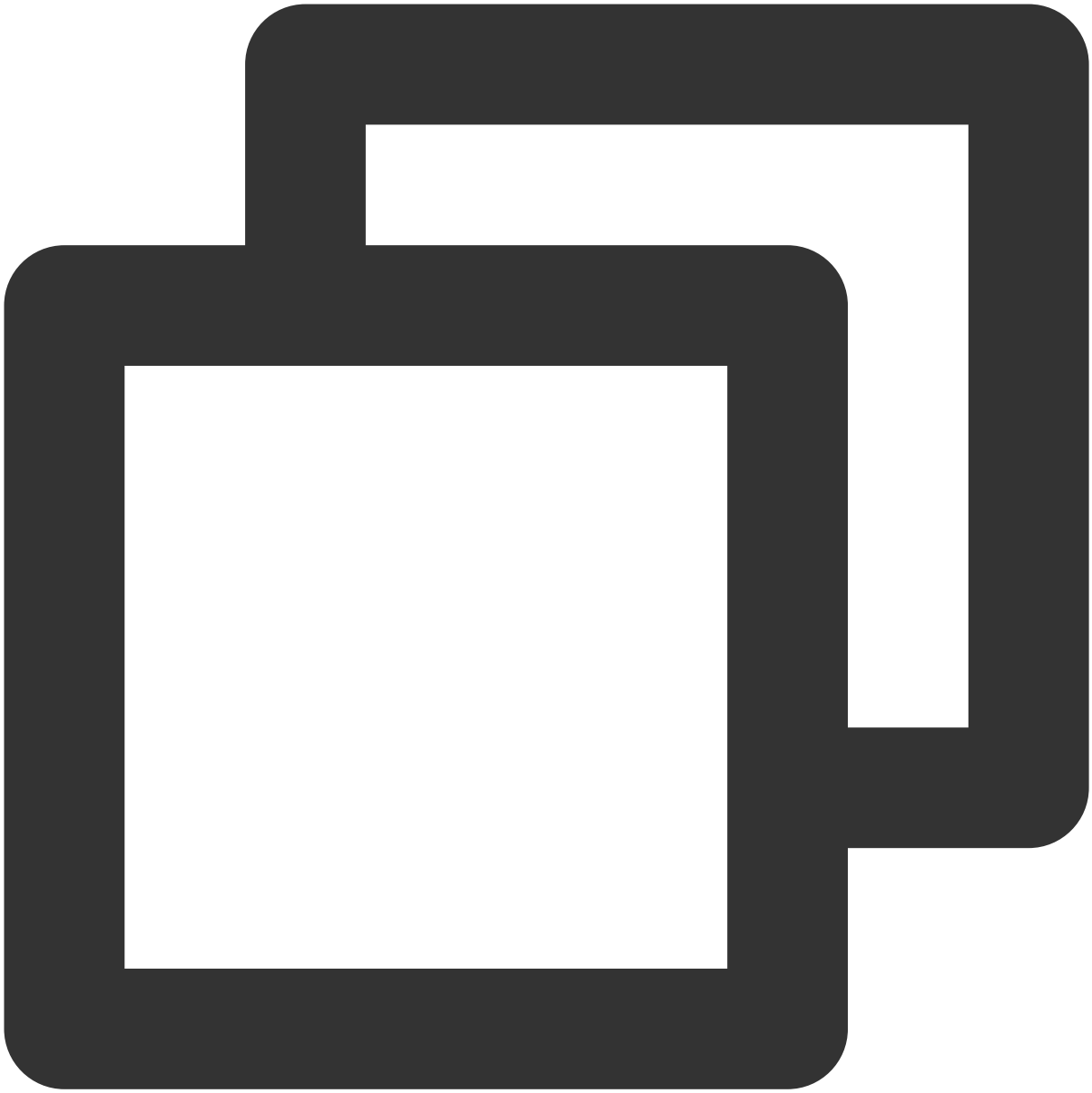


```
yum install -y mongodb-org
```

DebianシステムのCVMは、Tencent CloudのMongoDBリポジトリを利用する

1. Debianのバージョンにより、下記の該当のコマンドを実行して、MongoDB GPGのパブリックキーをインポートします。

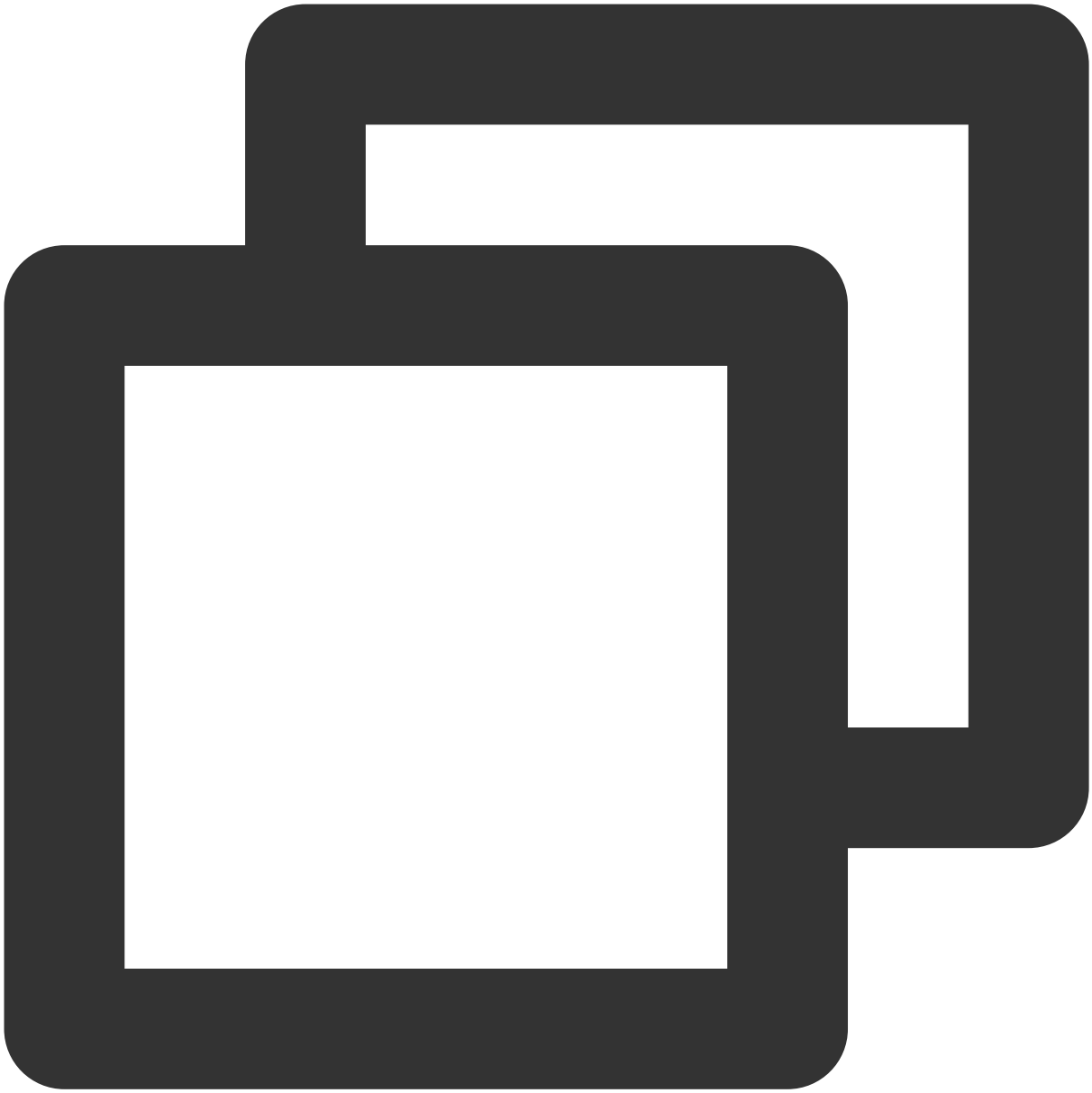
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-key adv --keyserver hkp://keyserver.ubuntu.com:80 --recv 68818C72E52529D4
```

2. 下記のコマンドを実行して、mirrorのパスを設定します。

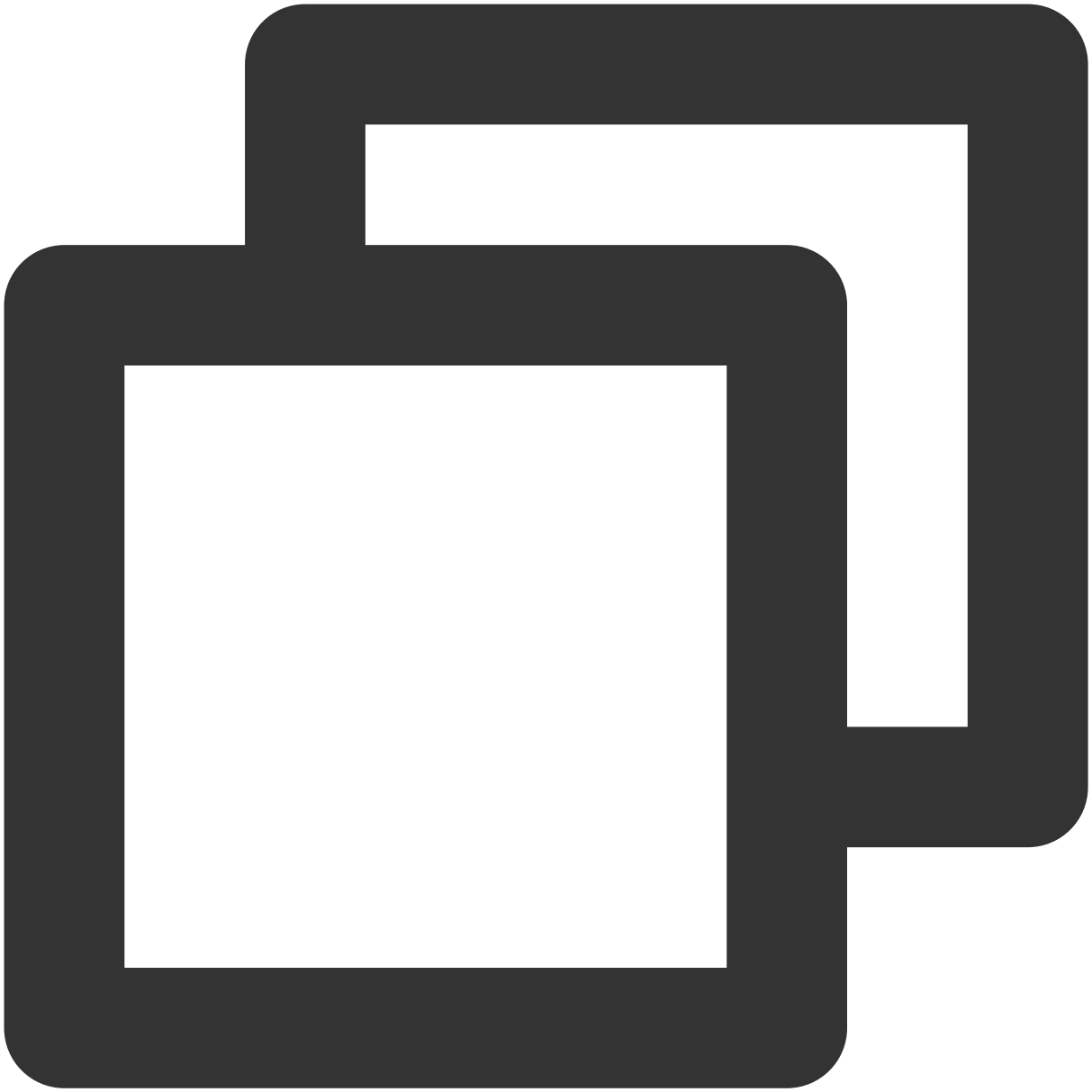
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
#Debian 8
echo "deb http://mirrors.tencent.com/mongodb/apt/debian jessie/mongodb-org/4.0 main
#Debian 9
echo "deb http://mirrors.tencent.com/mongodb/apt/debian stretch/mongodb-org/4.0 mai
```

3. 下記のコマンドを実行して、キャッシュをクレンジングします。

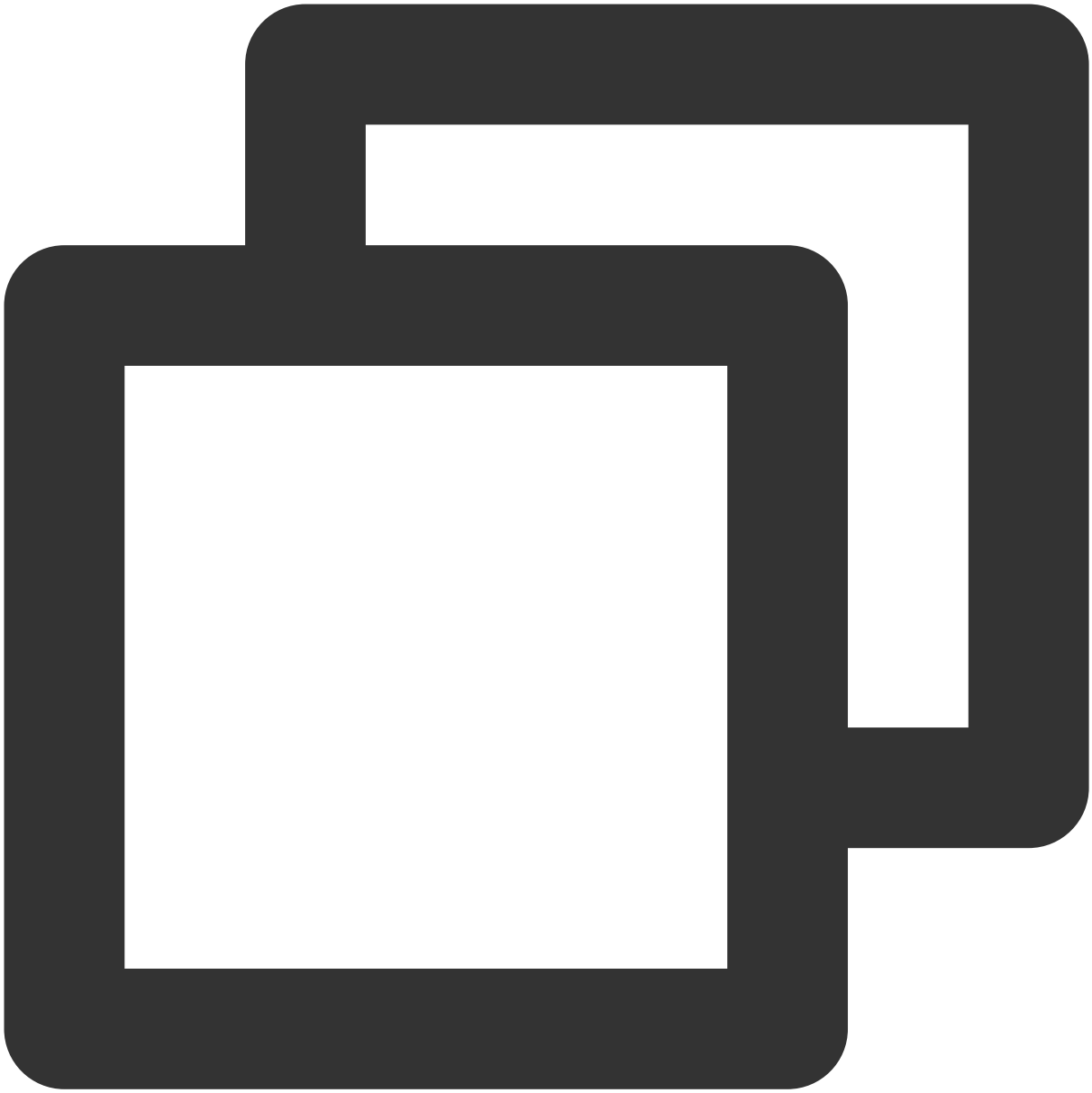
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-get clean all
```

4. 次のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージリストを更新します。

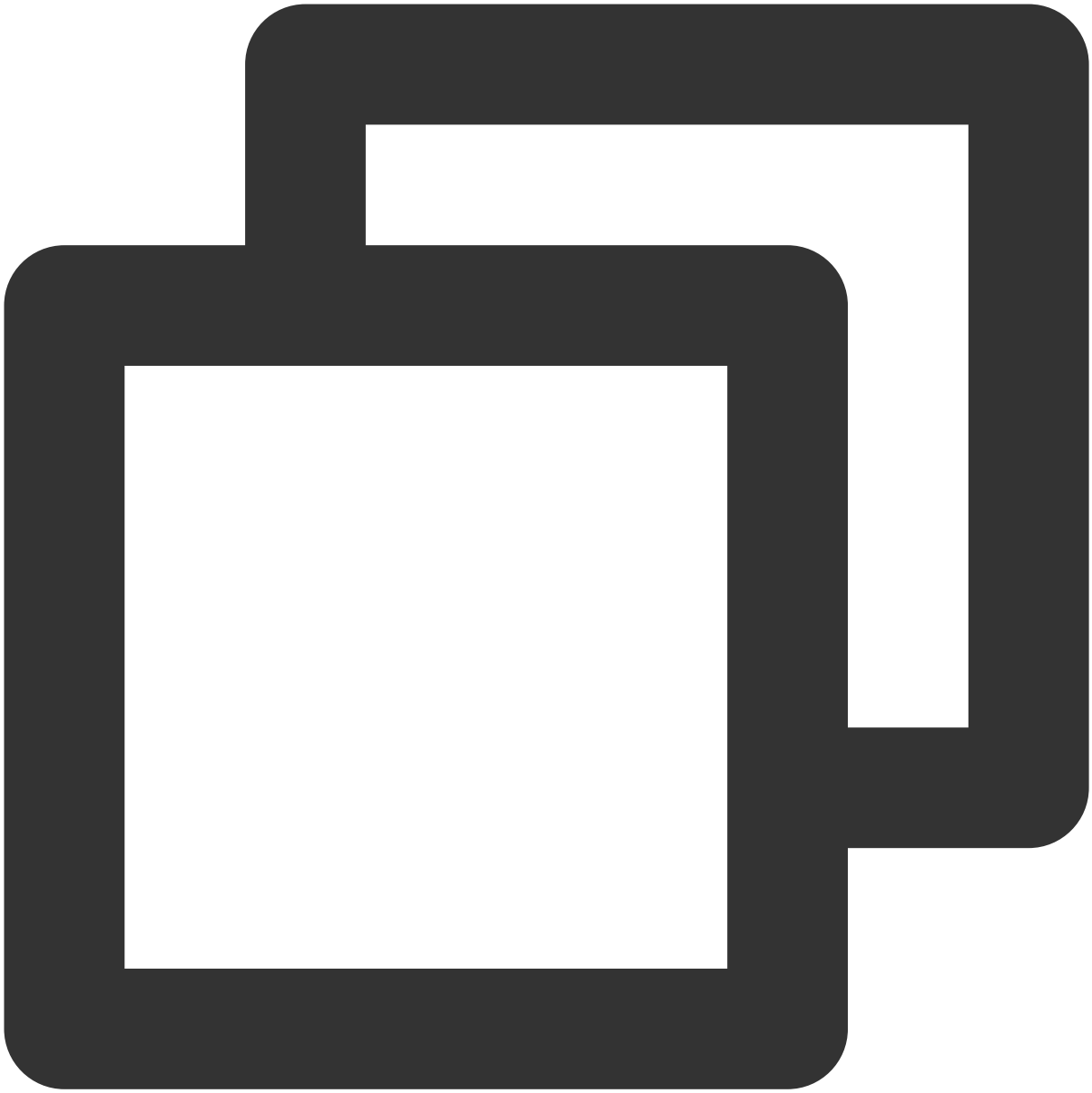
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-get update
```

5. 下記のコマンドを実行して、MongoDBをインストールします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

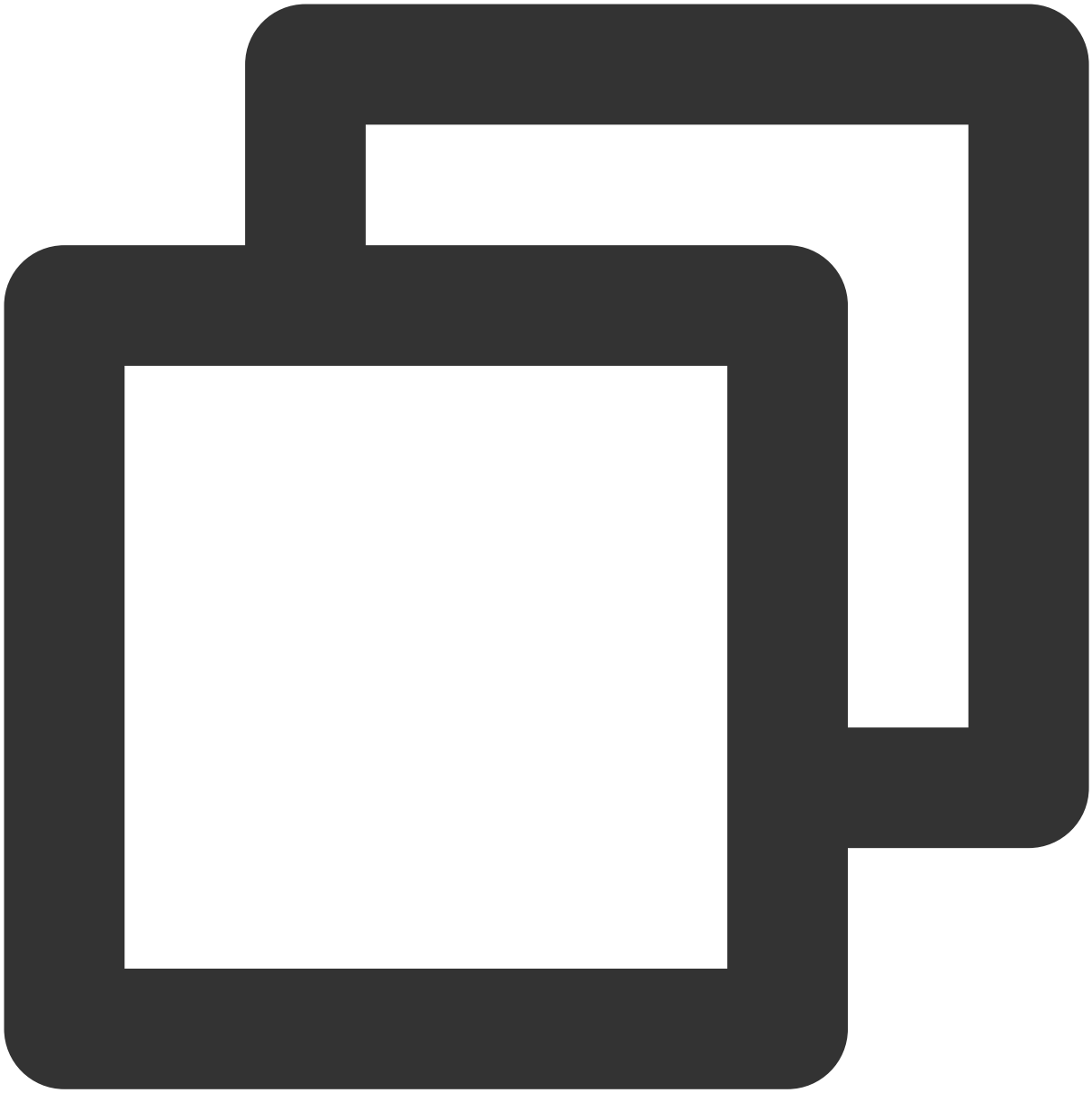


```
sudo apt-get install -y mongodb-org
```

UbuntuシステムのCVMは、Tencent CloudのMongoDBリポジトリを利用する

1. 下記のコマンドを実行して、MongoDB GPGのパブリックキーをインポートします。

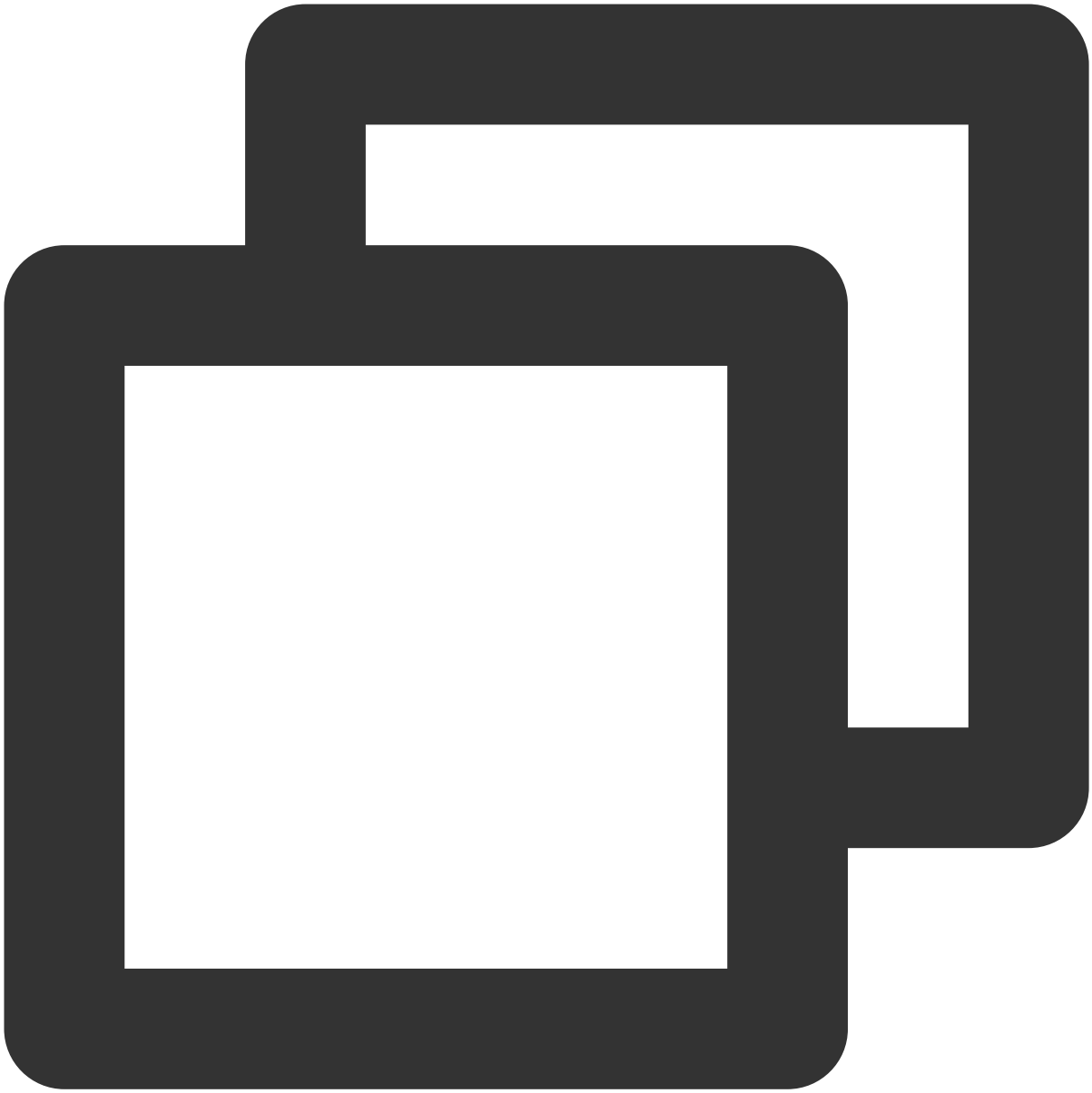
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-key adv --keyserver hkp://keyserver.ubuntu.com:80 --recv 68818C72E52529D4
```

2. 下記のコマンドを実行して、mirrorのパスを設定します。

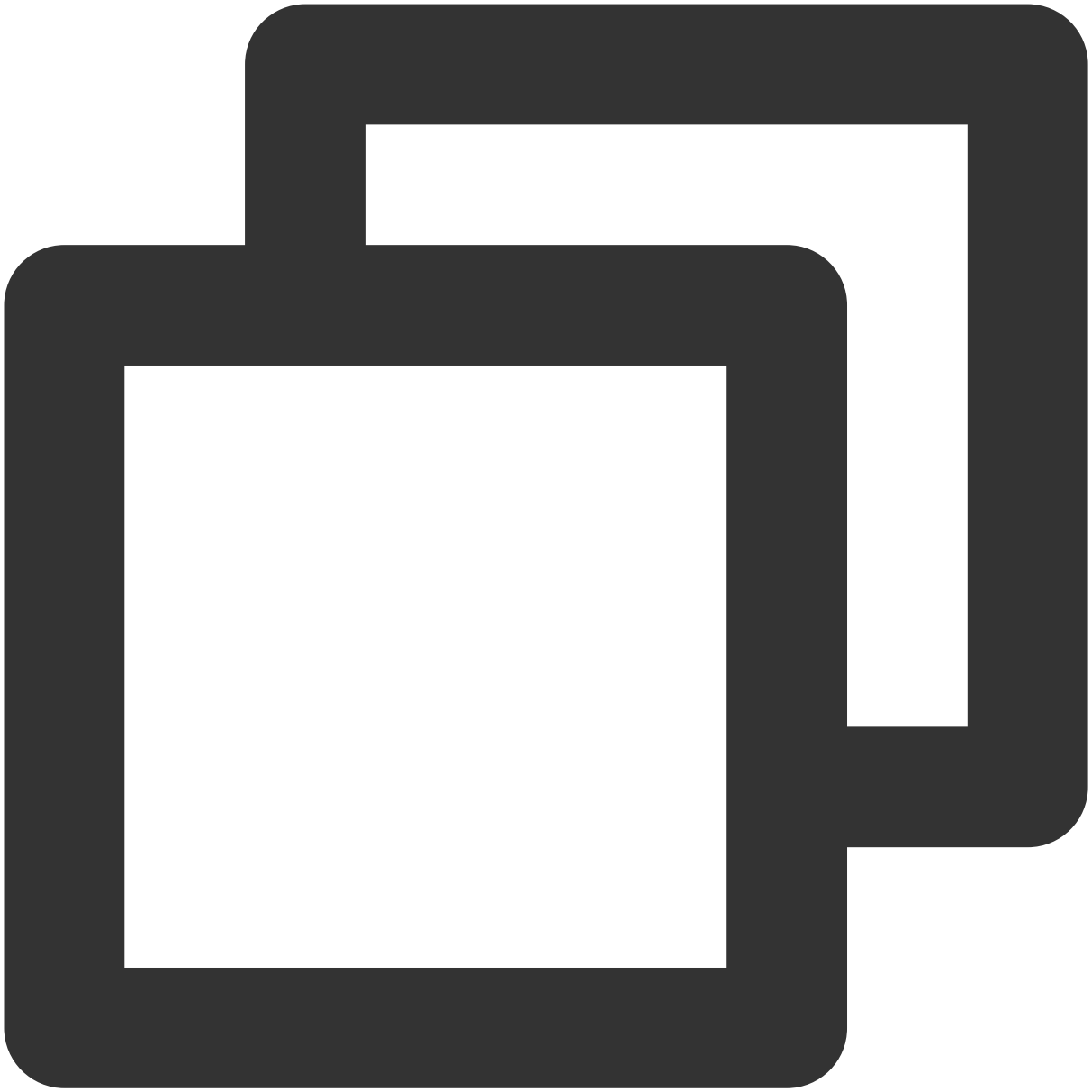
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
#Ubuntu 14.04
echo "deb [ arch=amd64 ] http://mirrors.tencent.com/mongodb/apt/ubuntu trusty/mongo
#Ubuntu 16.04
echo "deb [ arch=amd64 ] http://mirrors.tencent.com/mongodb/apt/ubuntu xenial/mongo
#Ubuntu 18.04
echo "deb [ arch=amd64 ] http://mirrors.tencent.com/mongodb/apt/ubuntu bionic/mongo
```

3. 下記のコマンドを実行して、キャッシュをクレンジングします。

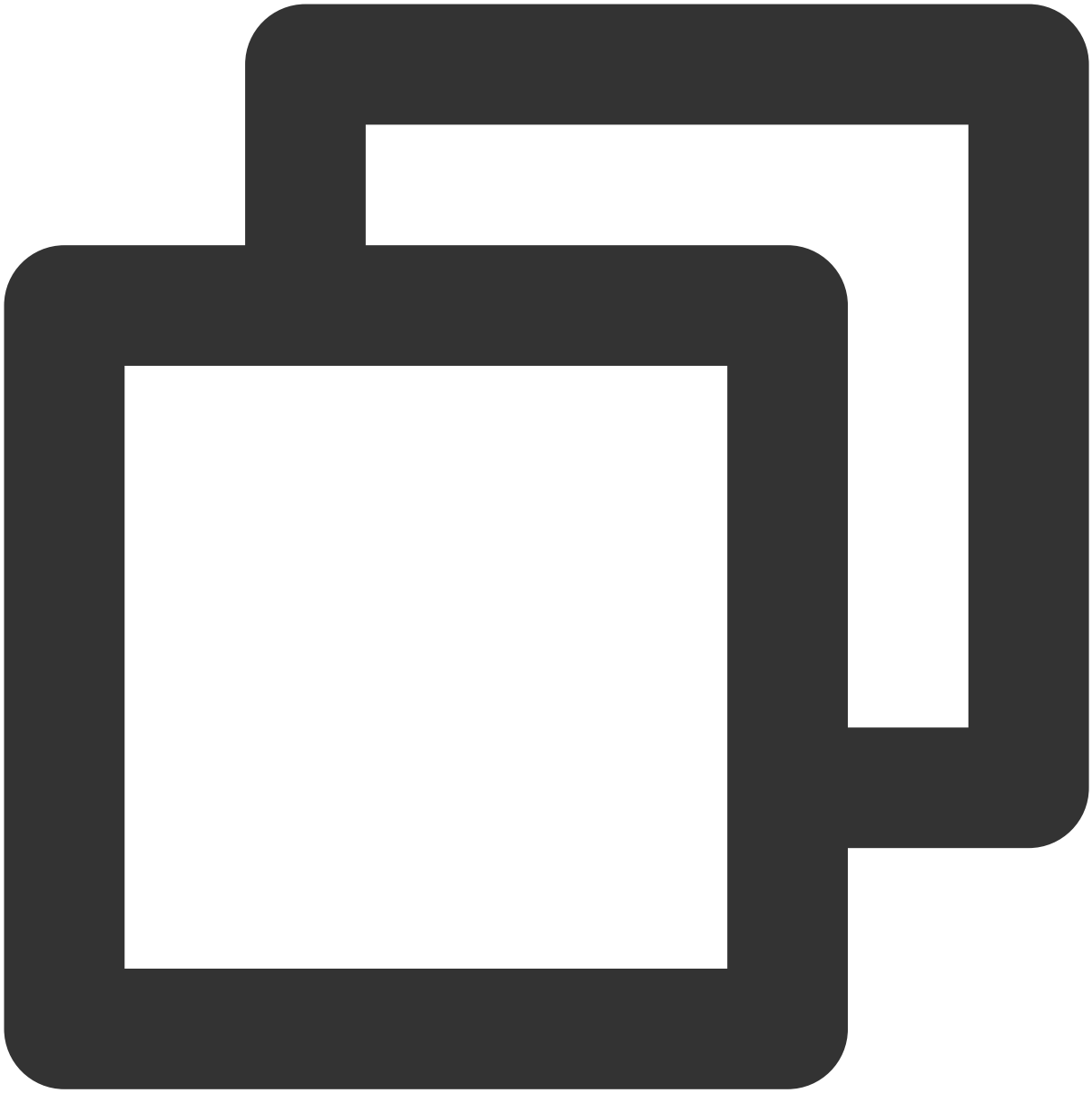
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-get clean all
```

4. 次のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージリストを更新します。

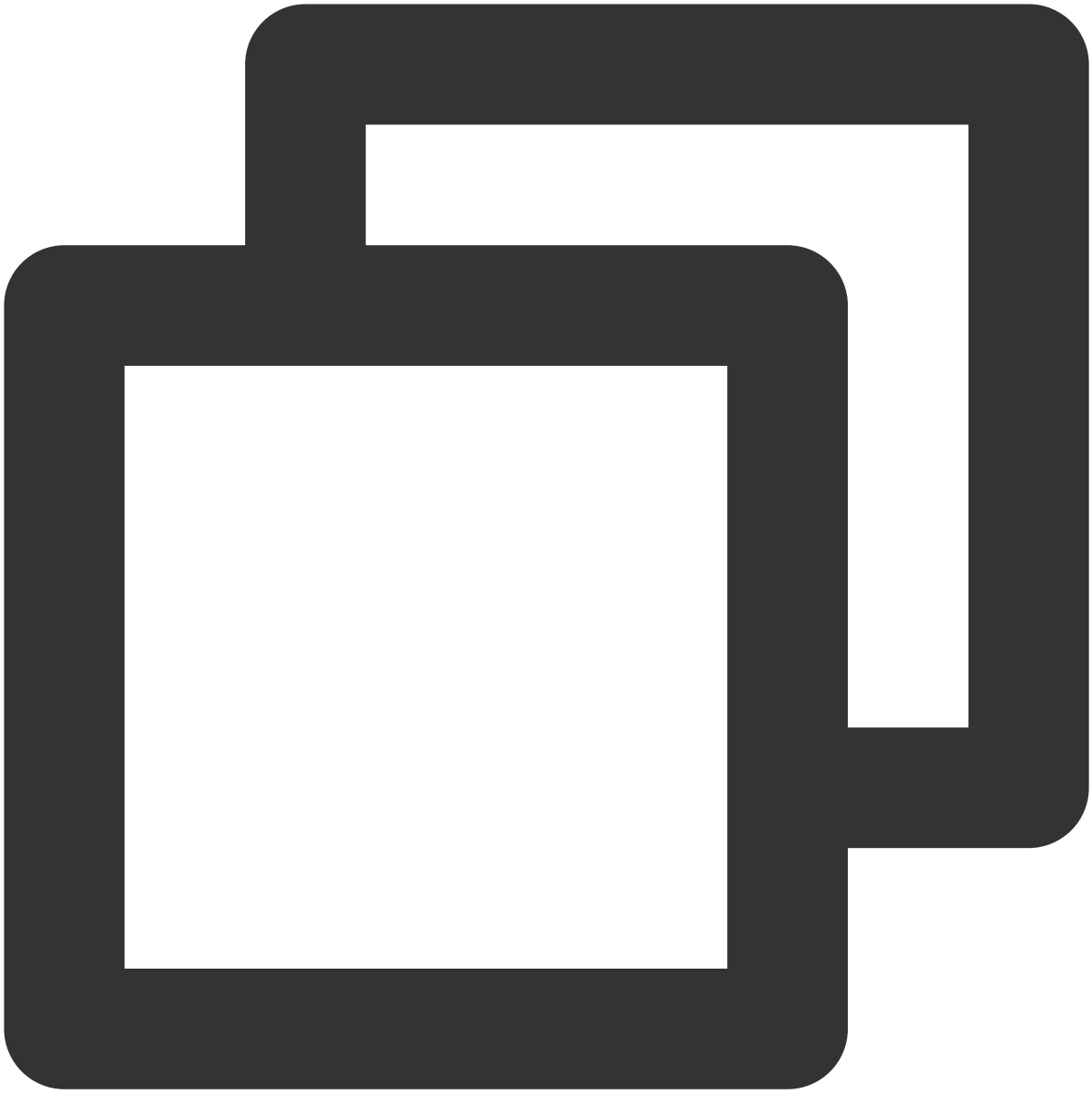
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-get update
```

5. 下記のコマンドを実行して、MongoDBをインストールします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



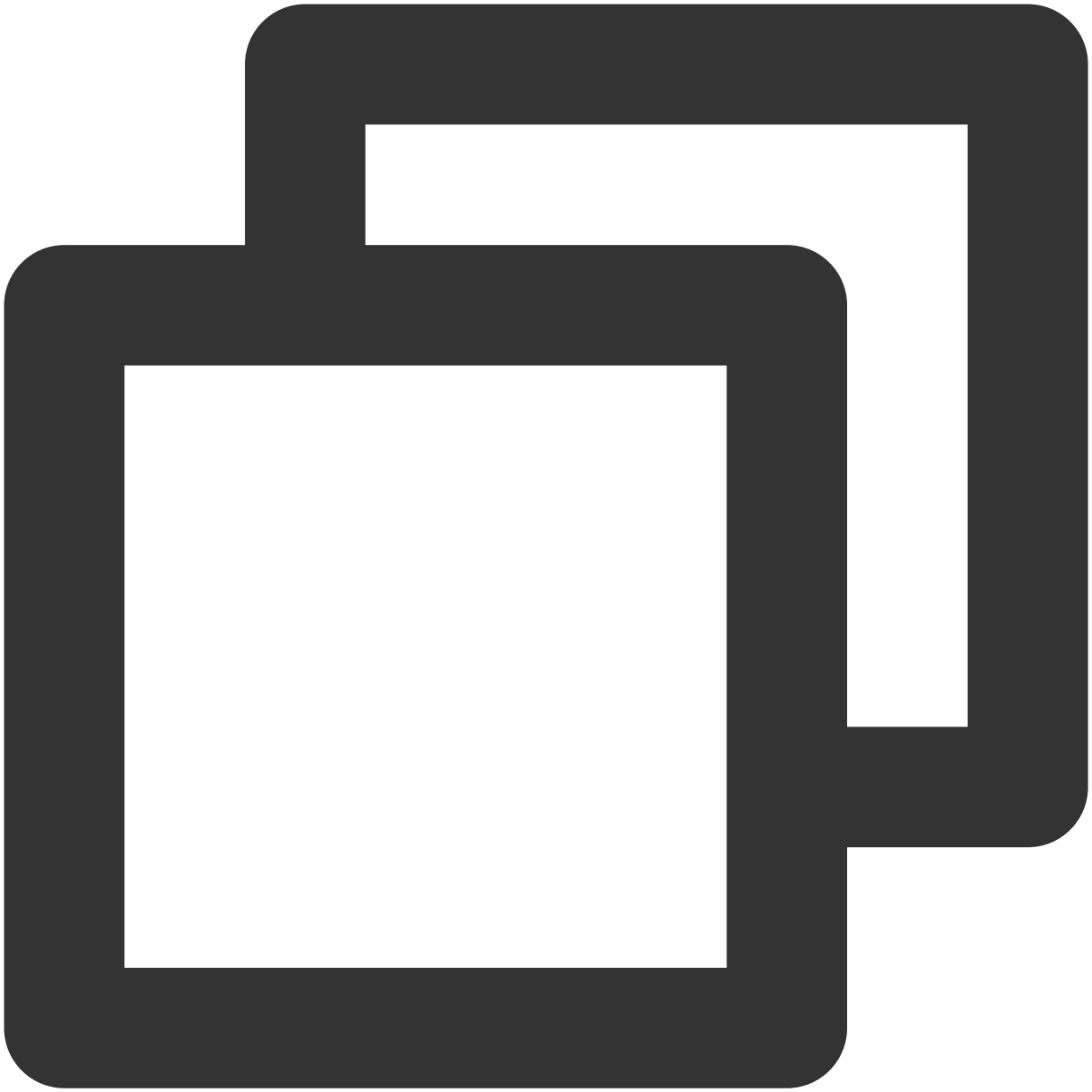
```
sudo apt-get install -y mongodb-org
```

Tencent Cloudのイメージソースを利用してRubygemsを加速する

ご注意：

利用する前に、お客様のCVMにRubyがインストールされたことを確認してください。
下記のコマンドを実行して、Rubygemsのソースアドレスを変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
gem source -r https://rubygems.org/
gem source -a http://mirrors.tencent.com/rubygems/
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Ubuntu 環境で Apt-getを利用してソフトウェアをインストールする

最終更新日：：2020-03-03 18:14:53

ユースケース

CVMでのソフトウェアインストールの効率を向上させると同時に、ソフトウェアのダウンロードとインストールのコストを削減するために、Tencent CloudはApt-getダウンロードソースを提供します。Ubuntu環境では、ユーザーがApt-getを利用してソフトウェアを迅速にインストールできます。Apt-getダウンロードソースの場合、ソフトウェアソースを追加する必要はありません。パッケージを直接インストールできます。

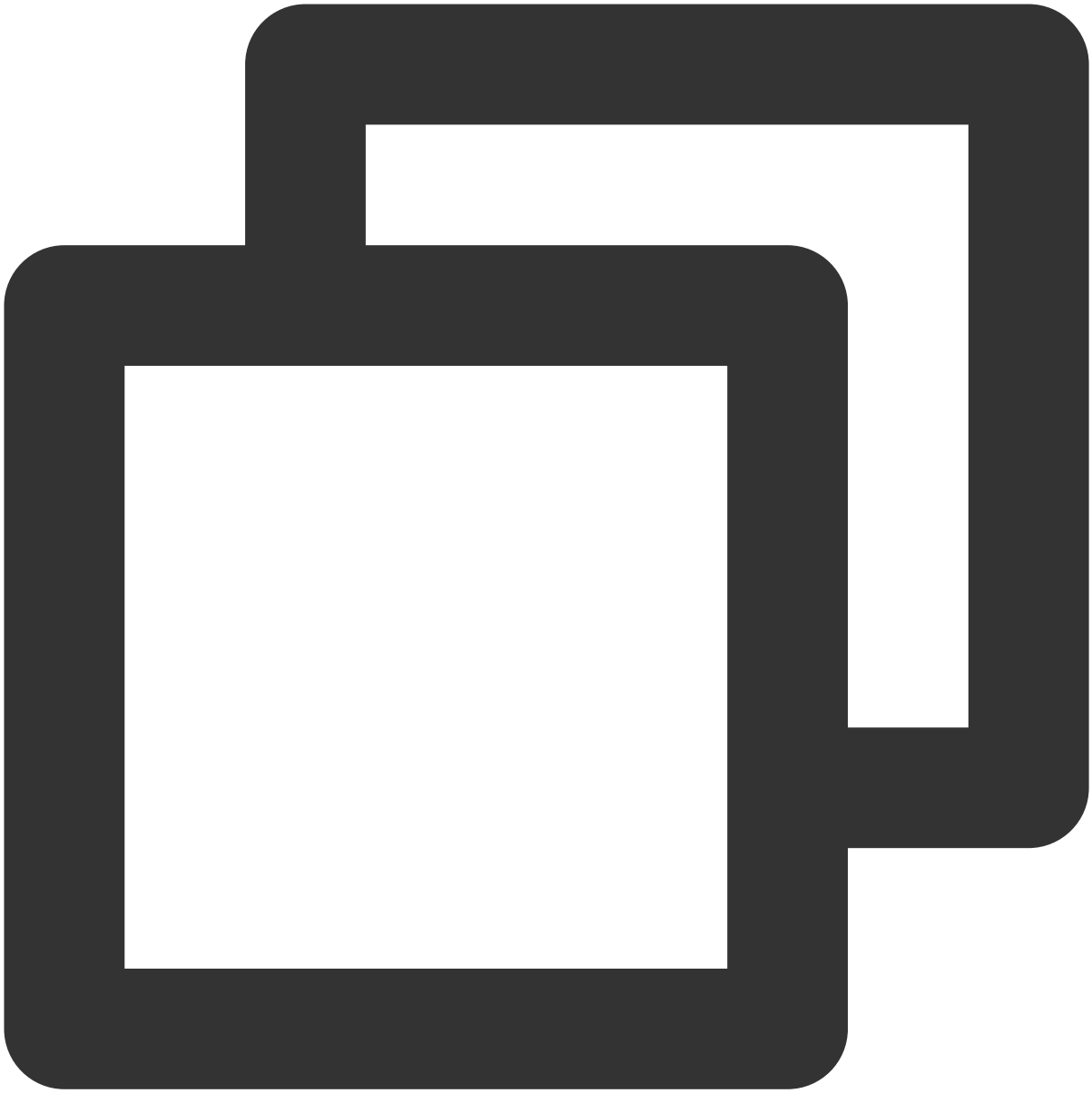
前提条件

OSがUbuntu12.04のCVMにログインします。

インストール可能なソフトウェアを確認する

次のコマンドを実行して、インストール可能なソフトウェアを確認します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

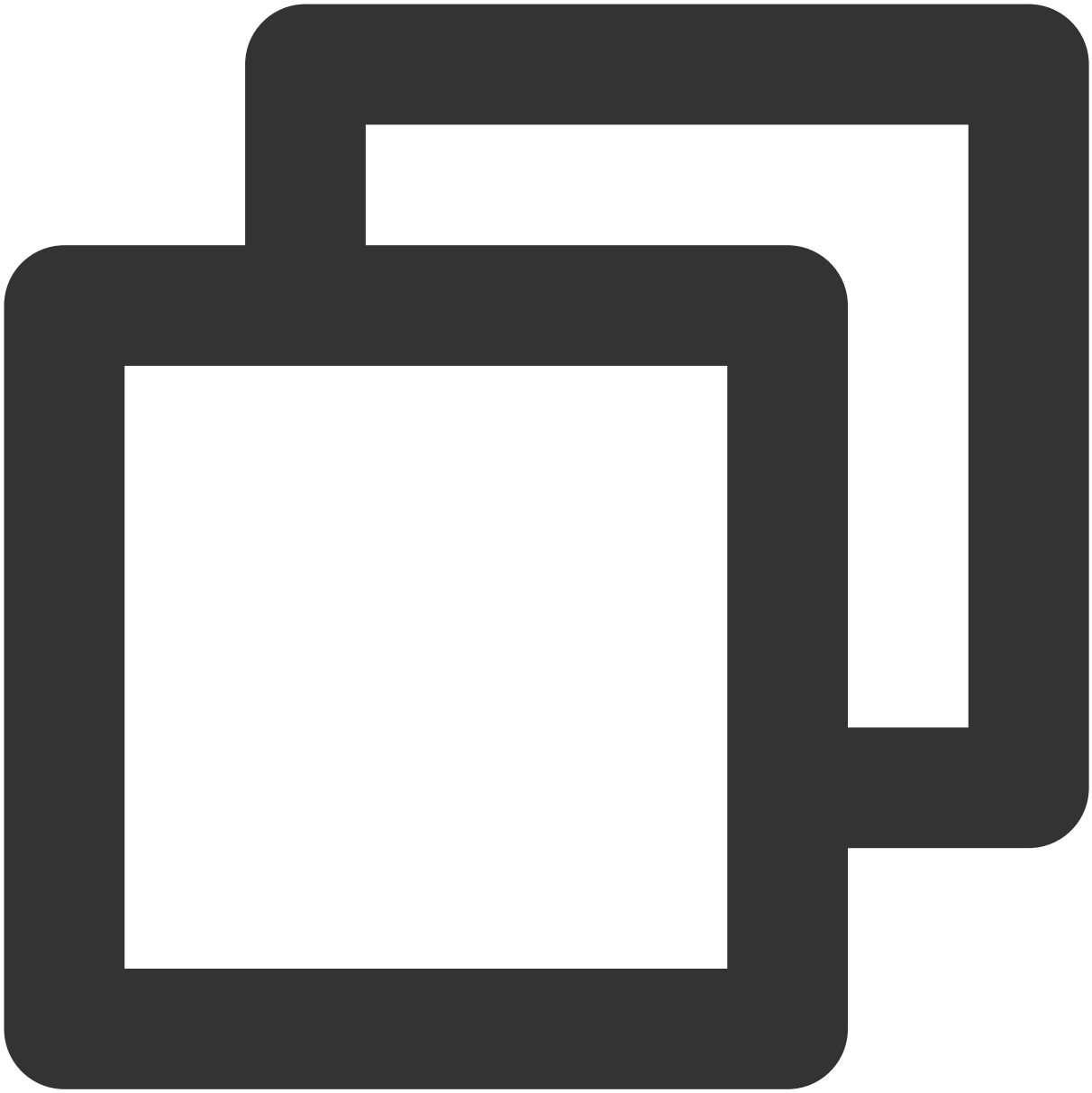


```
sudo apt-cache search all
```

ソフトウェアをインストールする

次のコマンドを実行して、Nginxをインストールします。

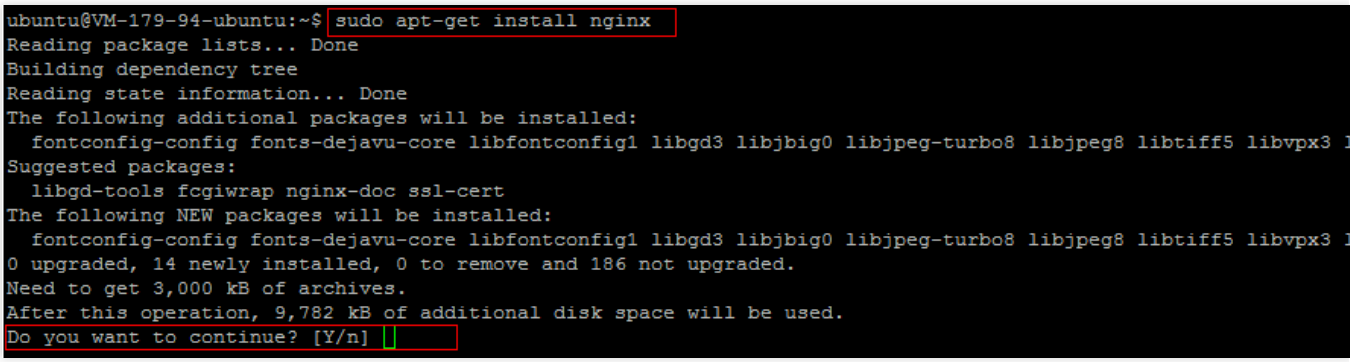
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo apt-get install nginx
```

ソフトウェア情報を確認したら、「Y」を入力してインストールに同意し、ソフトウェアのインストールが完了するまで待ちます。以下に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

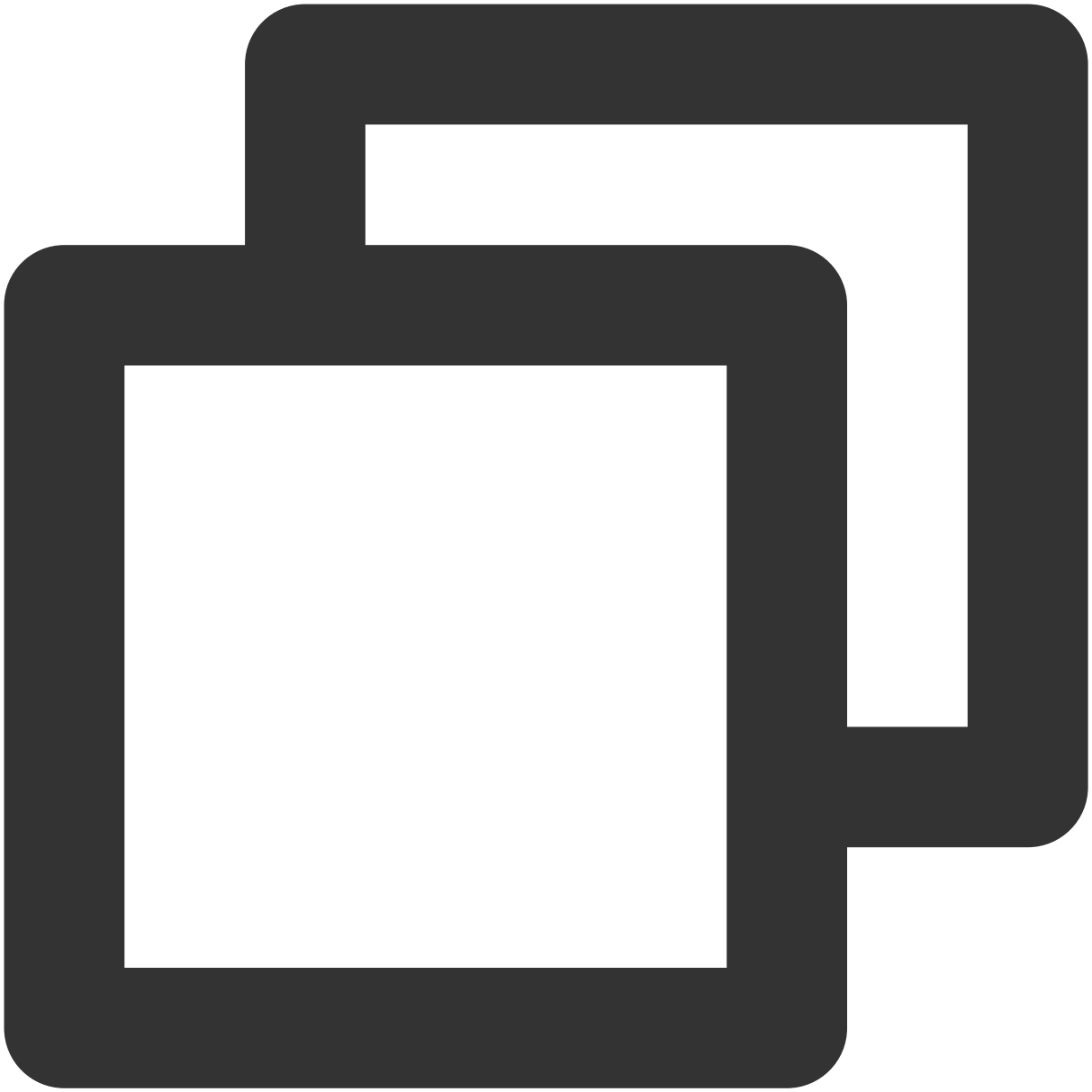


インストールされたソフトウェアの情報を確認する

ソフトウェアがインストールされた後、下記のコマンドでソフトウェアパッケージのインストールディレクトリ、パッケージ内のすべてのファイルを確認できます。

下記のコマンドでソフトウェアパッケージのバージョン情報を確認できます。

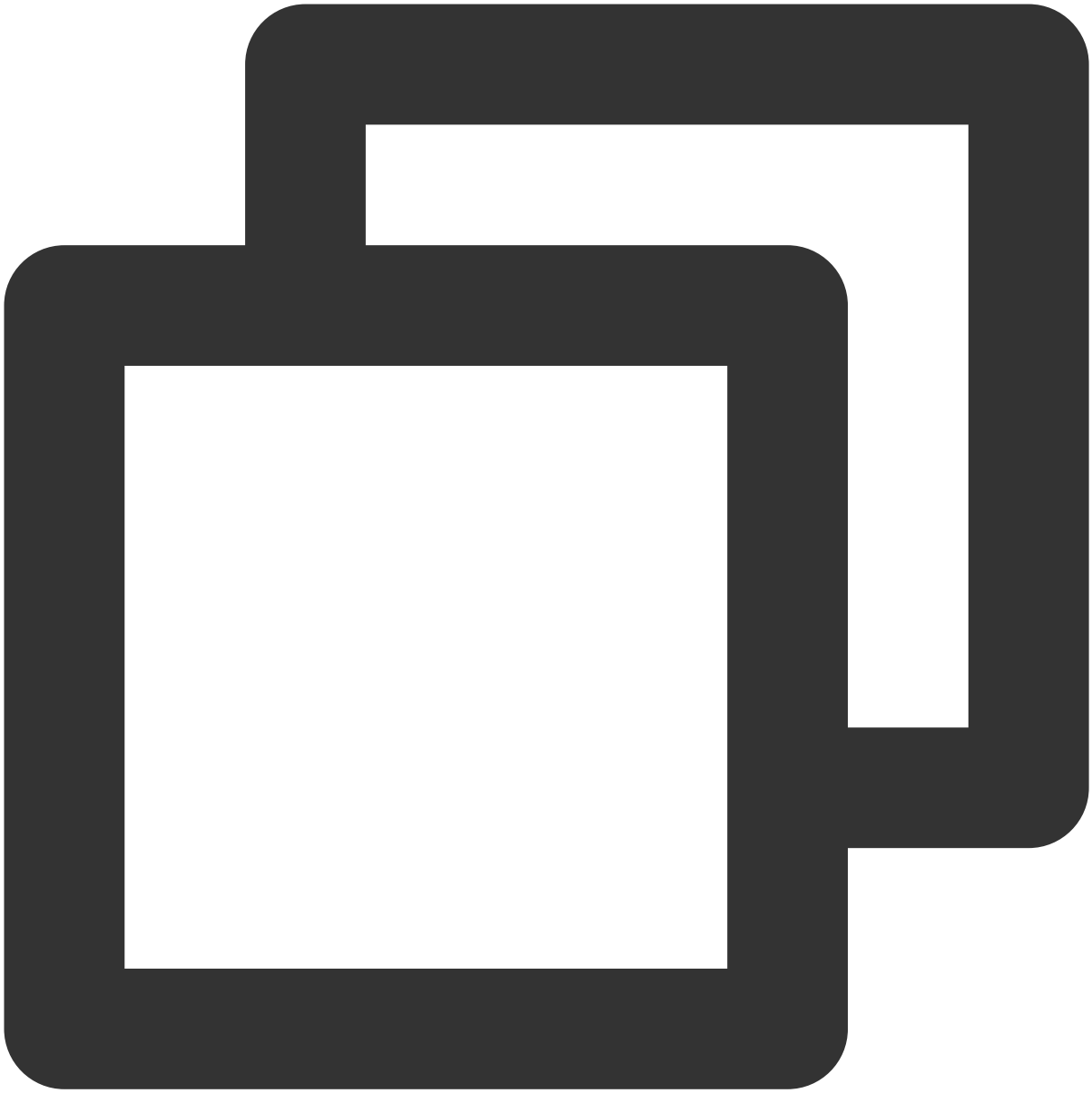
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo dpkg -L
```

次のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージのバージョン情報を表示します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
sudo dpkg -l ソフトウェア名
```

インストールされたNginx情報を表示します。以下に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
ubuntu@VM-179-94-ubuntu:~$ sudo dpkg -L nginx
/.
/usr
/usr/share
/usr/share/doc
/usr/share/doc/nginx
/usr/share/doc/nginx/copyright
/usr/share/doc/nginx/changelog.Debian.gz
ubuntu@VM-179-94-ubuntu:~$ sudo dpkg -l nginx
Desired=Unknown/Install/Remove/Purge/Hold
| Status=Not/Inst/Conf-files/Unpacked/halF-conf/Half-inst/trig-aWait/Trig-pend
|/ Err?=(none)/Reinst-required (Status,Err: uppercase=bad)
||/ Name                                Version               Architecture          Descri
+++-===================================-=====================-=====================-======
ii  nginx                               1.10.3-0ubuntu0.16.04. all                  small,
```

`

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CentOS環境でYUMを介してソフトウェアをインストール

最終更新日：：2020-10-20 17:08:22

シナリオ

ユーザーのCloud Virtual Machineにおけるソフトウェアのインストール効率を向上させ、ソフトウェアのダウンロードおよびインストールのコストを削減するため、Tencent CloudはYUMダウンロードソースを提供しています。CentOS環境では、ユーザーは `yum` コマンドを実行してソフトウェアを迅速にインストールできます。YUMのダウンロードソースの場合、ユーザーはソフトウェアソースを追加する必要がなく、直接ソフトウェアパッケージをインストールすることができます。

操作手順

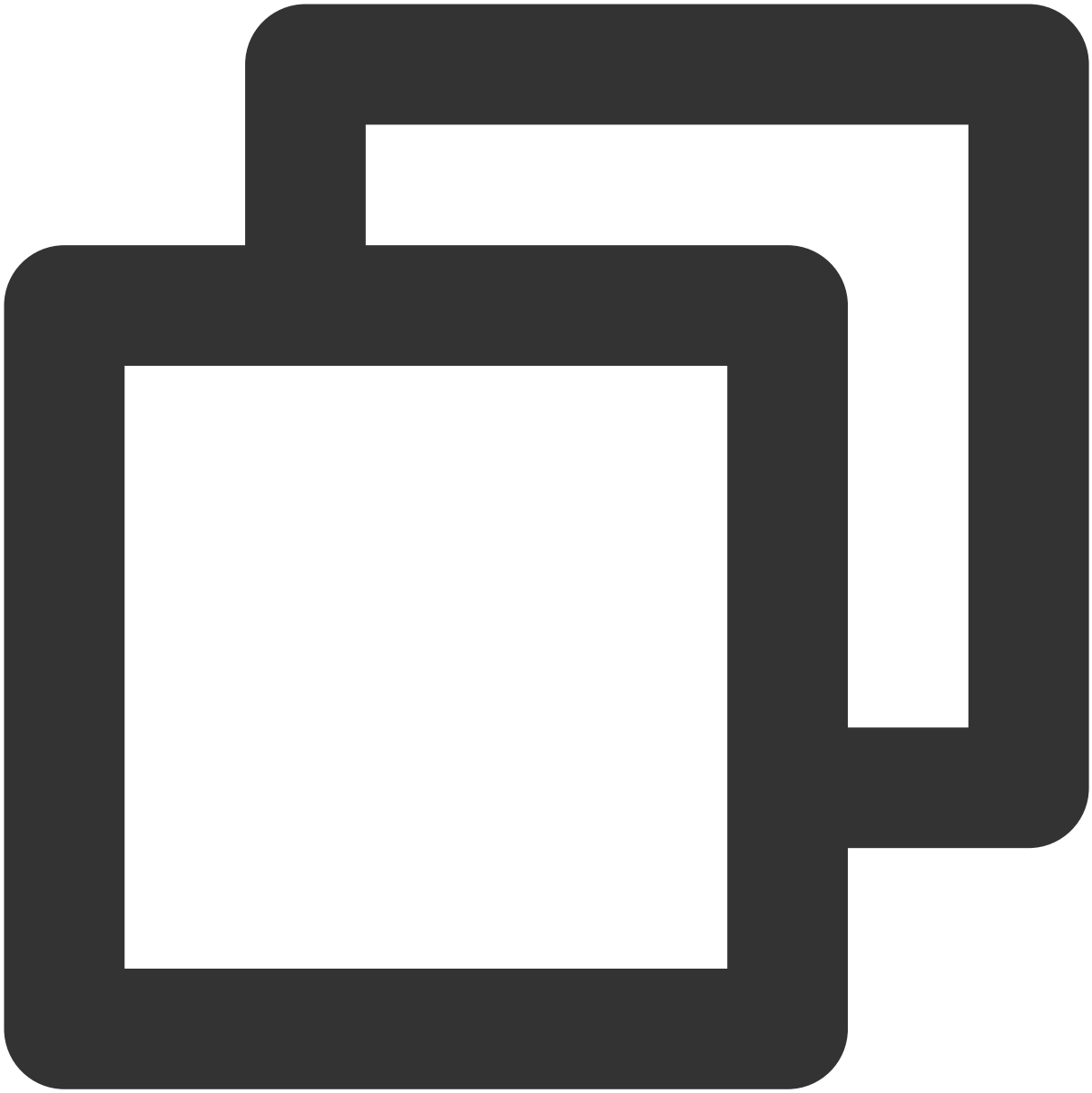
ソフトウェアのインストール

1. rootアカウントを使用して、CVMインスタンスにログインします。
2. 次のコマンドを実行して、ソフトウェアをインストールします。

説明：

CentOS 7以降、MariaDBはYUMソースにおいてデフォルトのデータベースインストールパッケージになりました。自身のOSがCentOS 7以降のバージョンの場合、 `yum` コマンドを使用してインストールされたMySQLは使用できなくなります。完全に互換性のあるMariaDBを使用するか、ここをクリックして下位のバージョンのMySQLのインストールを行うかを選択できます。

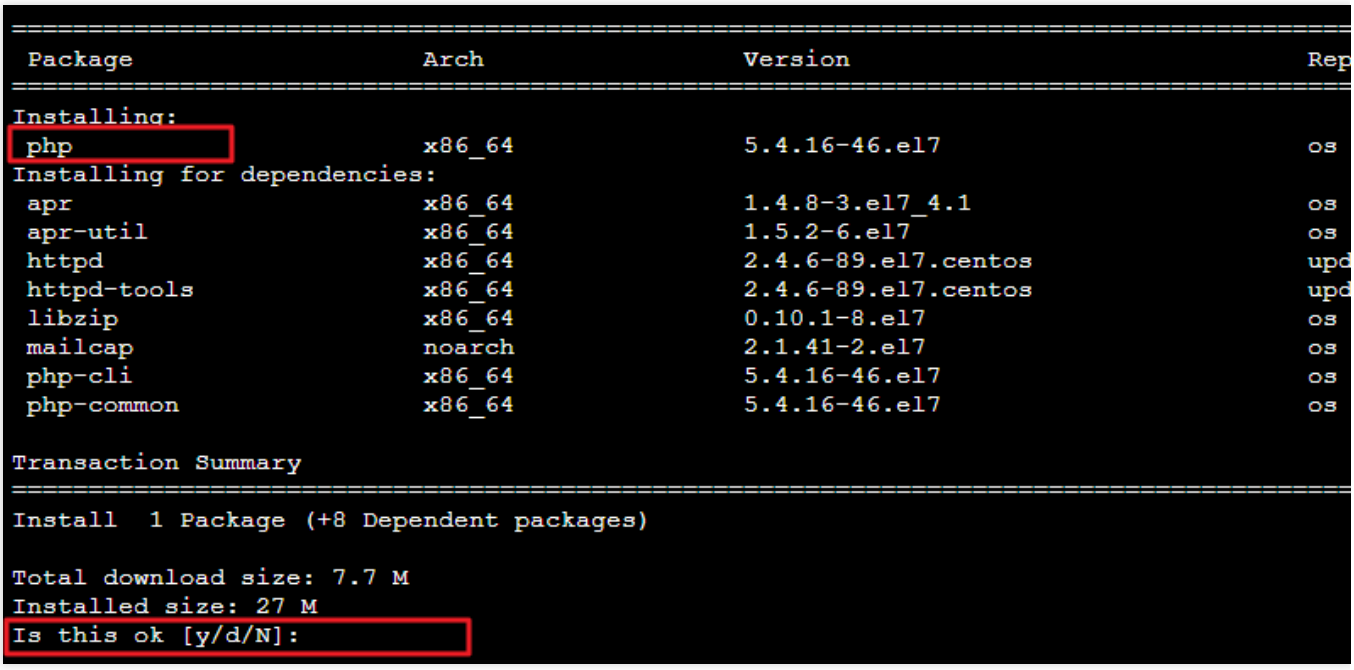
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum install software_name
```

ソフトウェアのインストールのプロセスにおいて、システムは関連するソフトウェアパッケージおよび依存関係を自動的に検索し、かつインターフェースで検索したソフトウェアパッケージが適切かどうかをユーザーに確認するよう促します。
例えば、 `yum install PHP` コマンドを実行して、PHPをインストールした後、インターフェースには下図のとおり表示されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

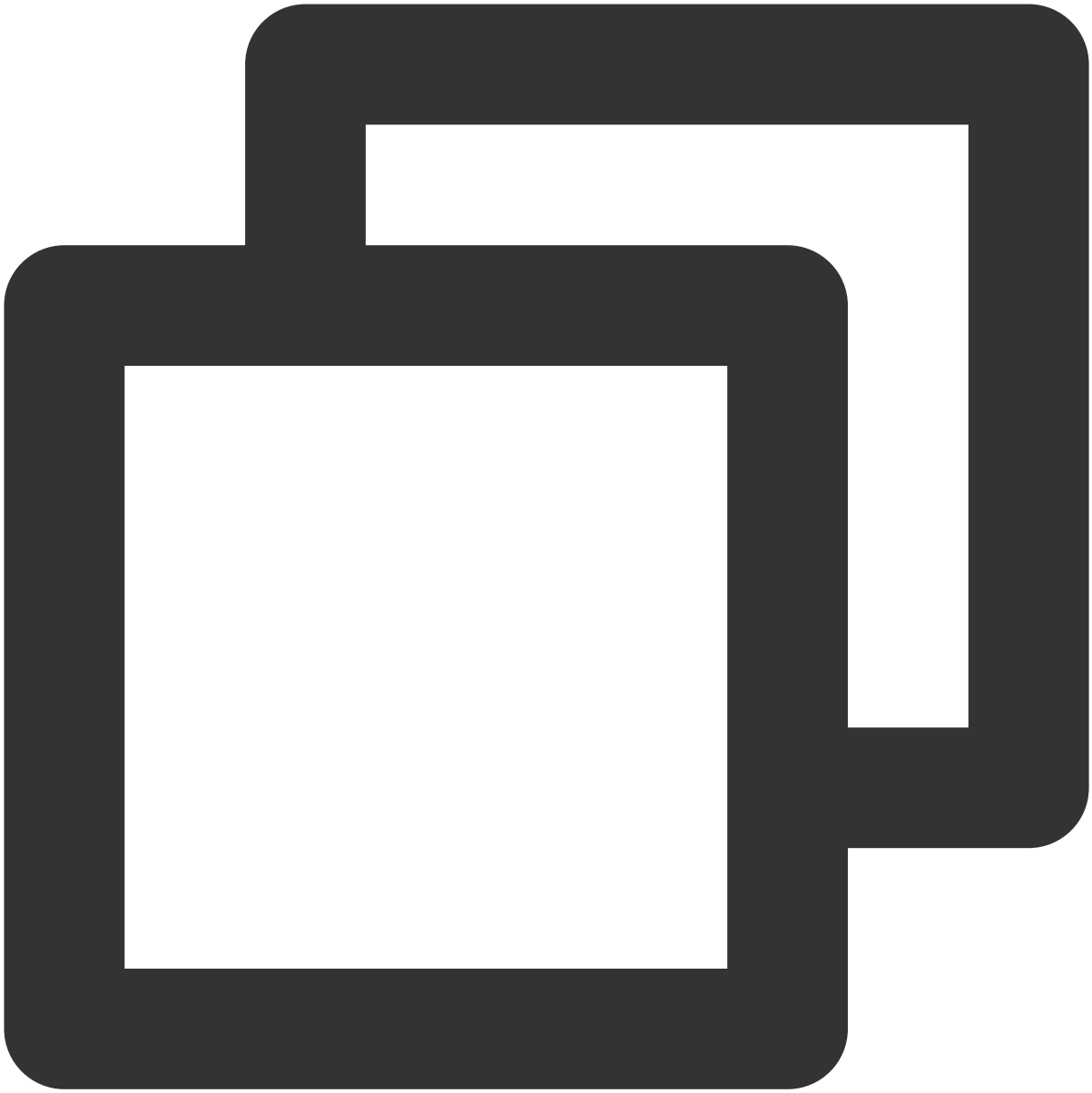


3. ソフトウェアパッケージが適切で誤りがないことを確認した後、 `y` を入力し、**Enter**キーを押すとソフトウェアのインストールが開始されます。
インターフェースで `Complete` と表示されると、インストールが完了します。下図の通りです。

インストールされたソフトウェア情報の確認

ソフトウェアのインストールが完了後、実際のニーズに応じて様々なコマンドを実行して情報を確認できます。
次のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージのインストールディレクトリを確認します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



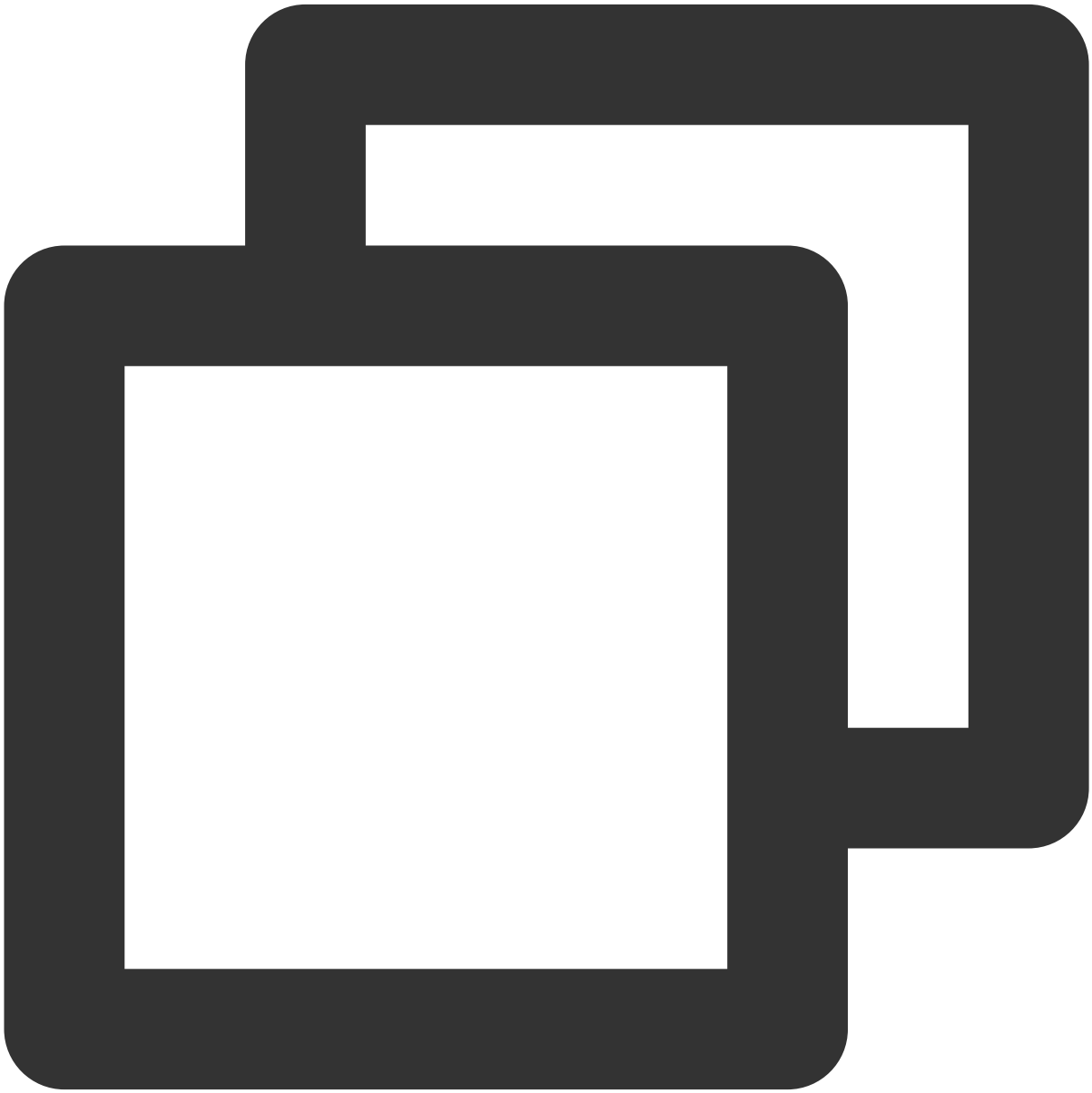
```
rpm -ql software name
```

例えば、`rpm -ql php` コマンドを実行して、PHPのインストールディレクトリを確認します。下図に示す通りです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
[root@VM_5_10_centos ~]# rpm -ql php
/etc/httpd/conf.d/php.conf
/etc/httpd/conf.modules.d/10-php.conf
/usr/lib64/httpd/modules/libphp5.so
/usr/share/httpd/icons/php.gif
/var/lib/php/session
[root@VM_5_10_centos ~]#
```

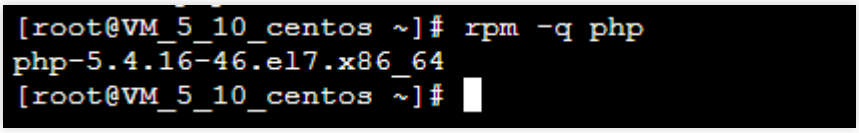
次のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージのバージョン情報を確認します。



```
rpm -q
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

例えば、`rpm -ql php` コマンドを実行して、PHPのバージョン情報を確認します。下図に示す通りです。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

openSUSE 環境で zypperを利用してソフトウェアをインストールする

最終更新日：：2021-12-27 15:56:13

ユースケース

CVMでのソフトウェアインストールの効率を向上させ、ソフトウェアのダウンロードとインストールのコストを削減するために、Tencent Cloudはzypper ダウンロードソースを提供します。openSUSE OSと一部 SLES CVMのユーザーはzypperを利用してソフトウェアをインストールできます。本ドキュメントは openSUSE OS を例に、zypper を利用して迅速なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

操作手順

ソフトウェアソースの確認

1. root アカウントを利用して、openSUSE OSのCVM にログインします。
2. `zypper service-list` または `zypper sl` コマンドを実行して、ソフトウェアソースの一覧を表示します。

例えば、 `zypper sl` コマンドを実行して、以下のような情報が返されます：

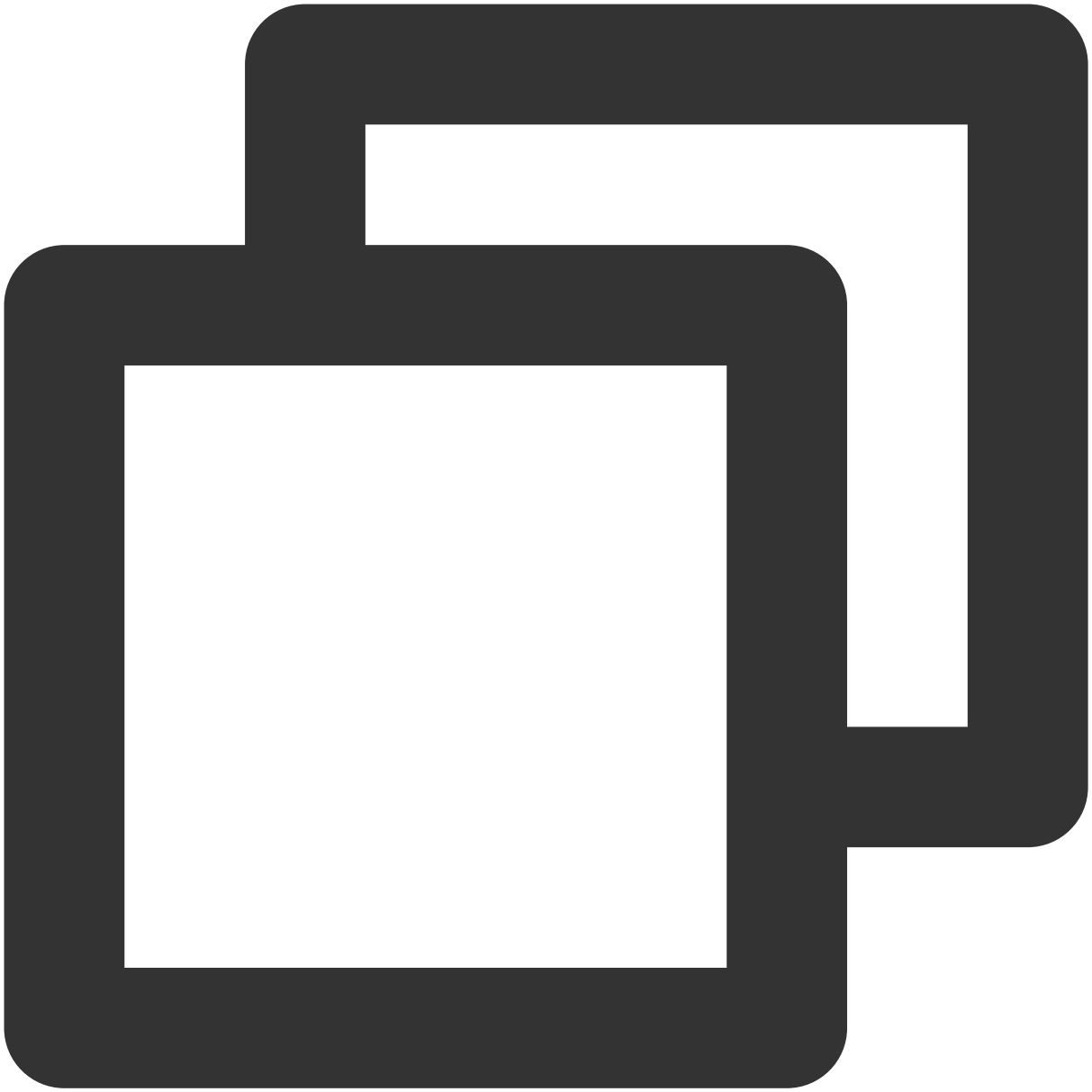
```
VM 5 10 suse:~ # zypper sl
# | Alias                          | Name                           | Enabled
--+--------------------------------+--------------------------------+---------
1 | openSUSE-42.3-Oss              | openSUSE-42.3-Oss              | Yes
2 | openSUSE-42.3-Update-Oss       | openSUSE-42.3-Update-Oss       | Yes
3 | openSUSE-42.3-Update-non-Oss   | openSUSE-42.3-Update-non-Oss   | No
4 | openSUSE-42.3-non-Oss          | openSUSE-42.3-non-Oss          | No
VM 5 10 suse:~ #
```

ソフトウェアパッケージのインストール

1. `zypper search` または `zypper se` コマンドを実行して、ソフトウェアパッケージを検索します。

例、ソフトウェアパッケージ「Nginx 」を検索する場合、実行するコマンドは以下の通り：

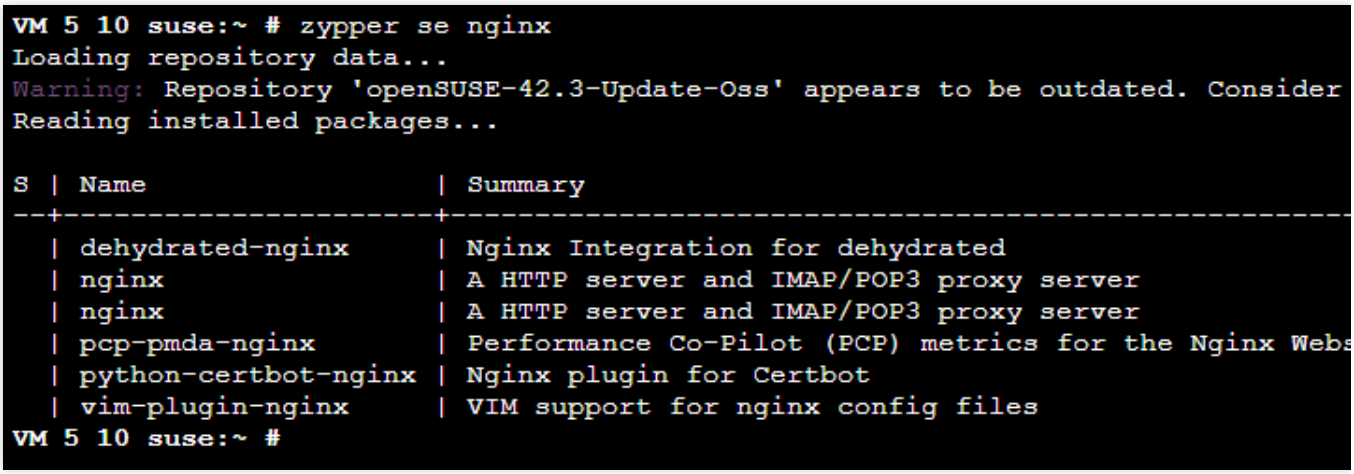
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
zypper se nginx
```

以下のような結果が返されます：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



2. 検索されたソフトウェアパッケージの名に従って、 `zypper install` または `zypper in` コマンドを実行して、ソフトウェアをインストールします。

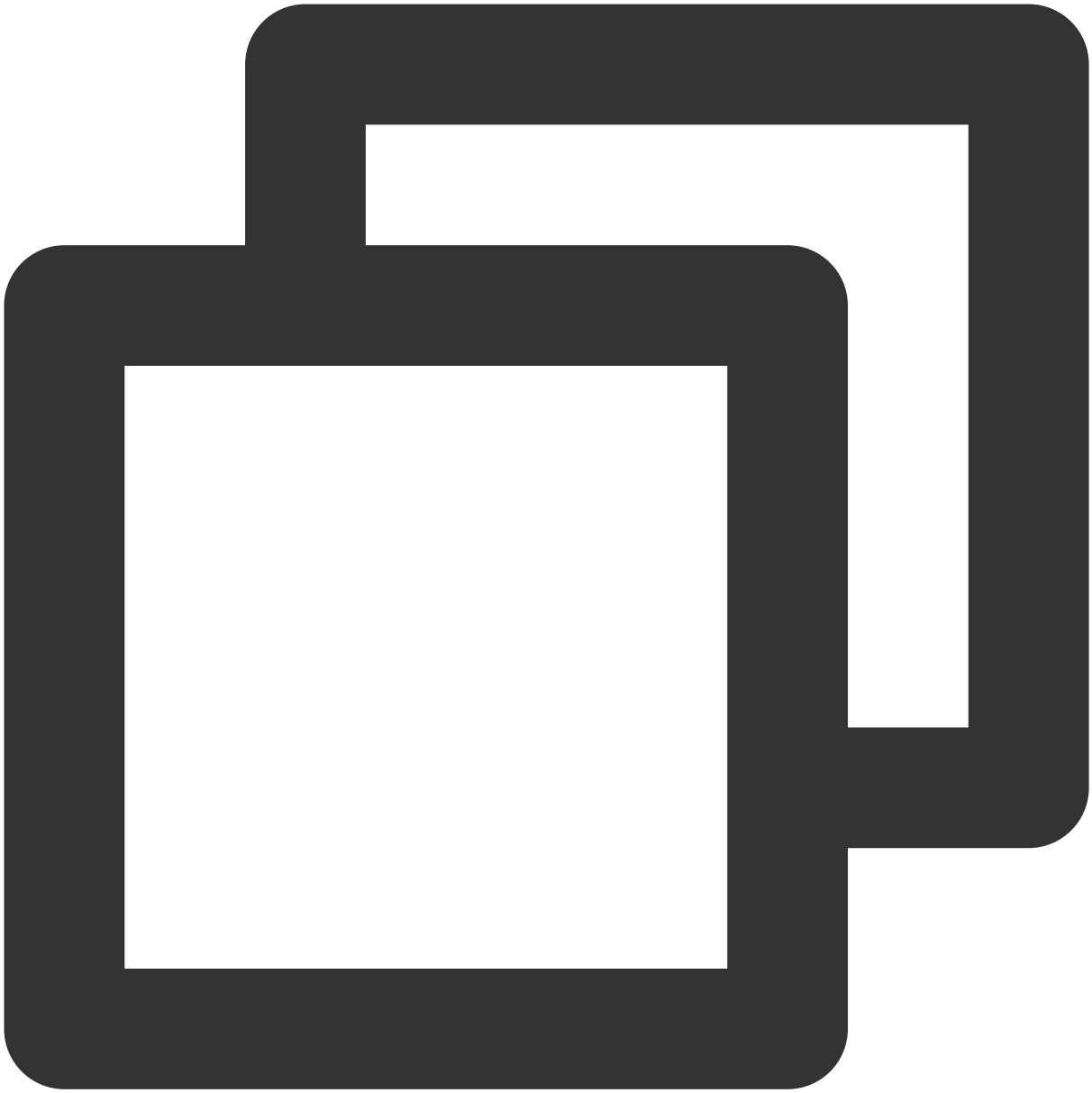
说明：

複数のソフトウェアをインストールする必要がある場合、ソフトウェアパッケージ名をスペースで区切ってください。

ソフトウェアをインストールする時に、依存パッケージが必要な場合、自動でダウンロードしてインストールし、手動で依存パッケージをインストールする必要がありません。

例えば、Nginxをインストールするには、実行するコマンドは以下の通り：

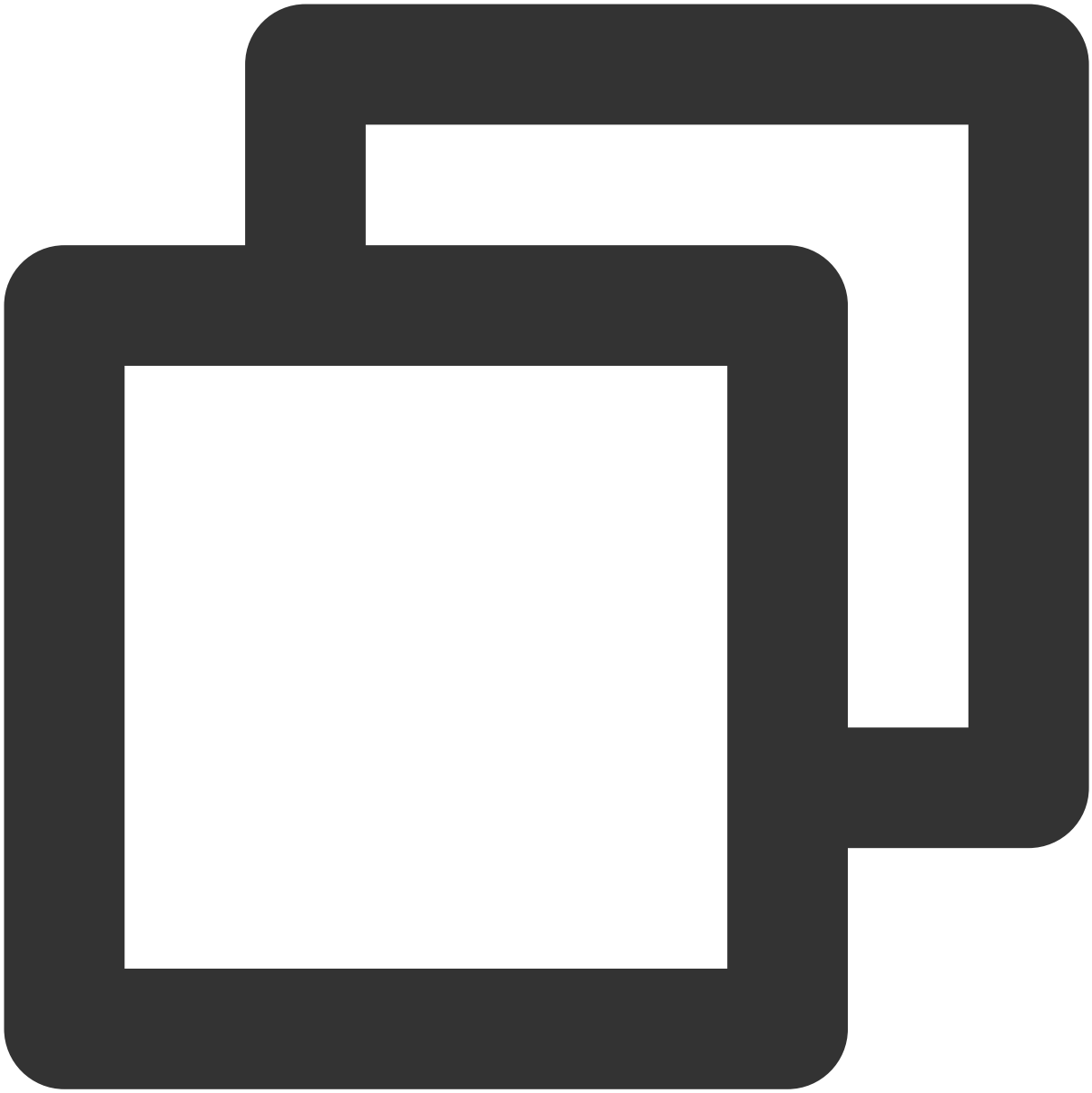
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
zypper install nginx
```

例えば：PHP と PHP-FPM等のソフトウェアをインストールすると、実行するコマンドは以下の通り：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

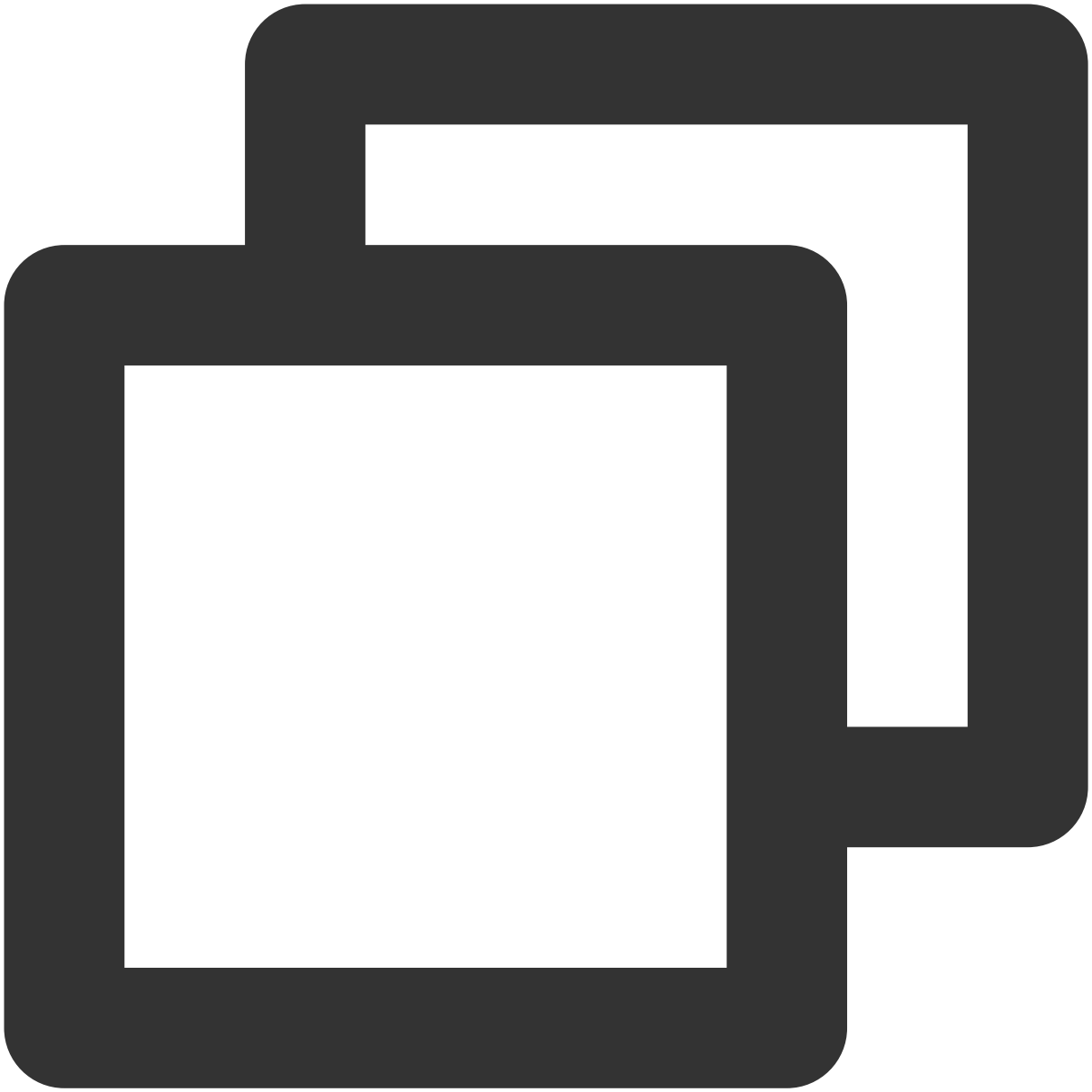


```
zypper install MySQL-server-community php5-mysql php5 php5-fpm
```

インストールされたソフトウェア情報の確認

1. ソフトウェアインストールが完了した後、以下のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージのインストールディレクトリの詳細を確認します。

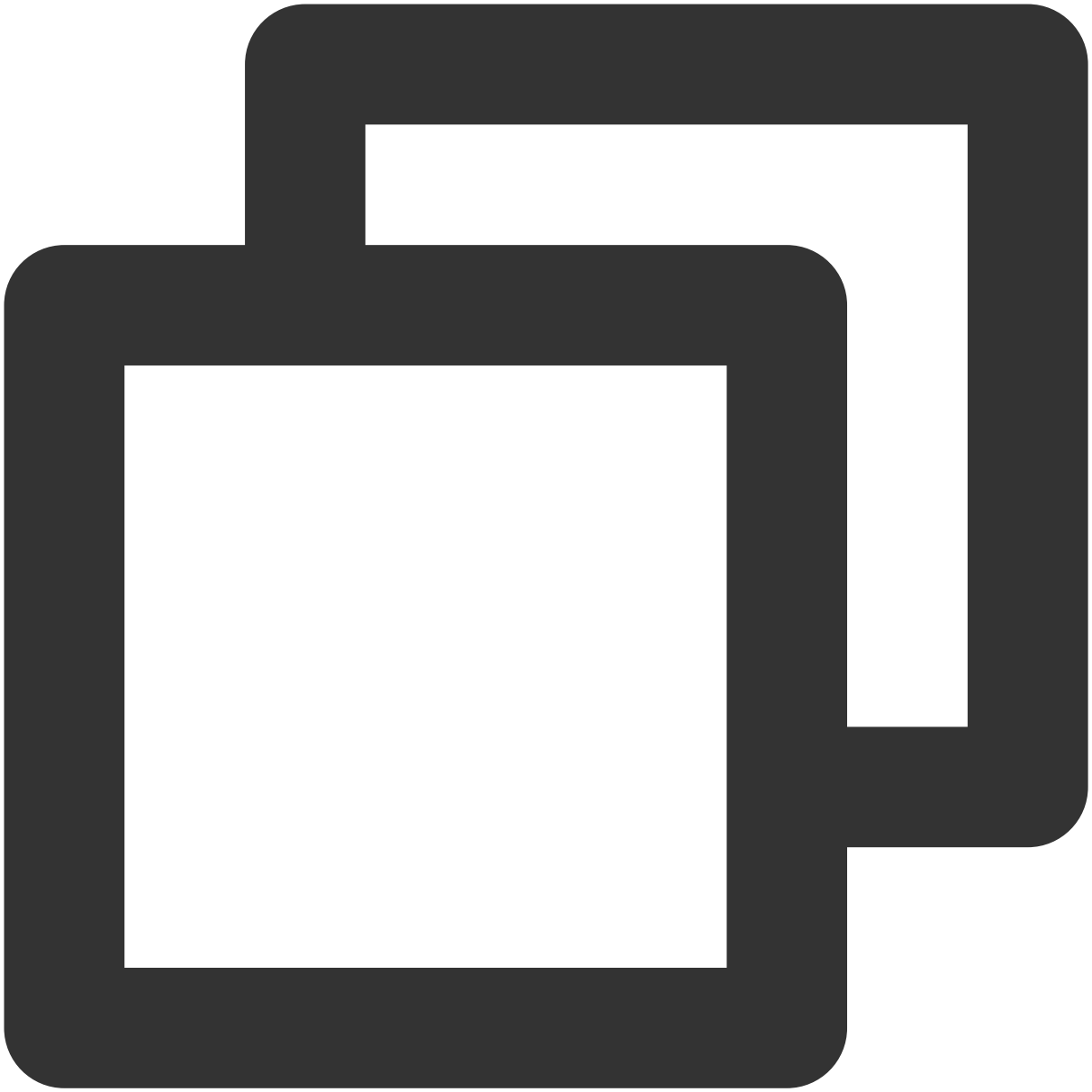
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
rpm -ql
```

例えば、ソフトウェアパッケージ「Nginx」のインストールディレクトリの詳細を確認するには、実行するコマンドは以下の通り：

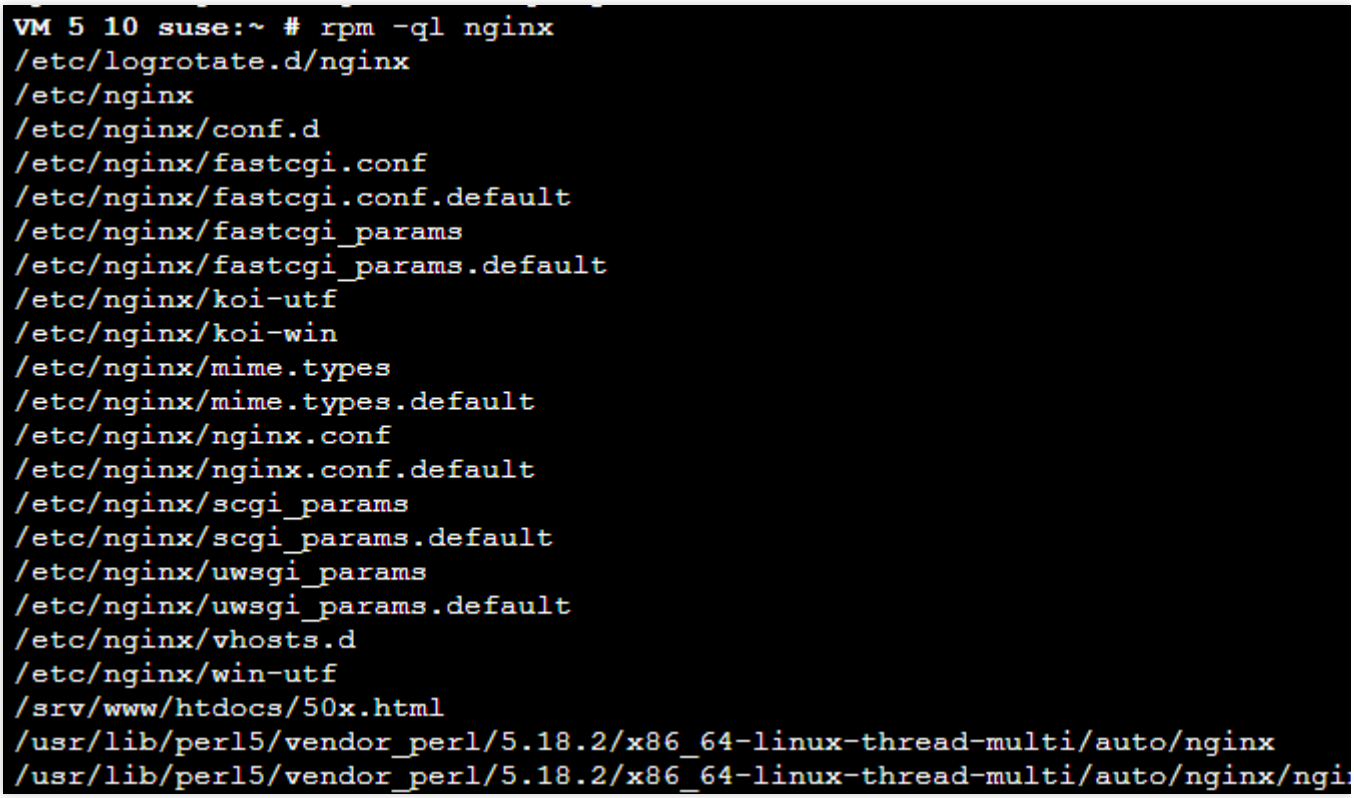
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
rpm -ql nginx
```

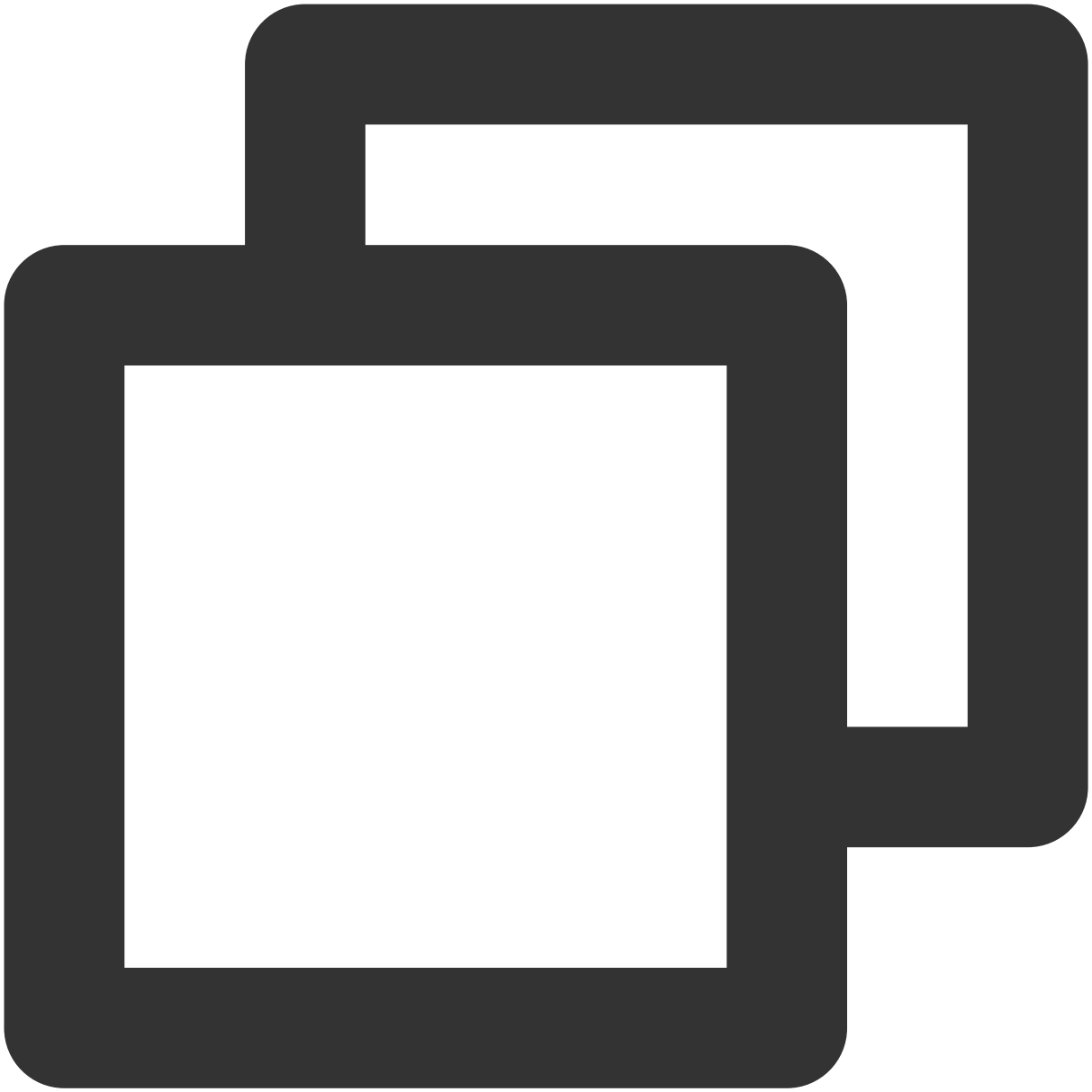
以下のような情報が返されます：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



2. 以下のコマンドを実行して、ソフトウェアパッケージのバージョン情報を確認します。

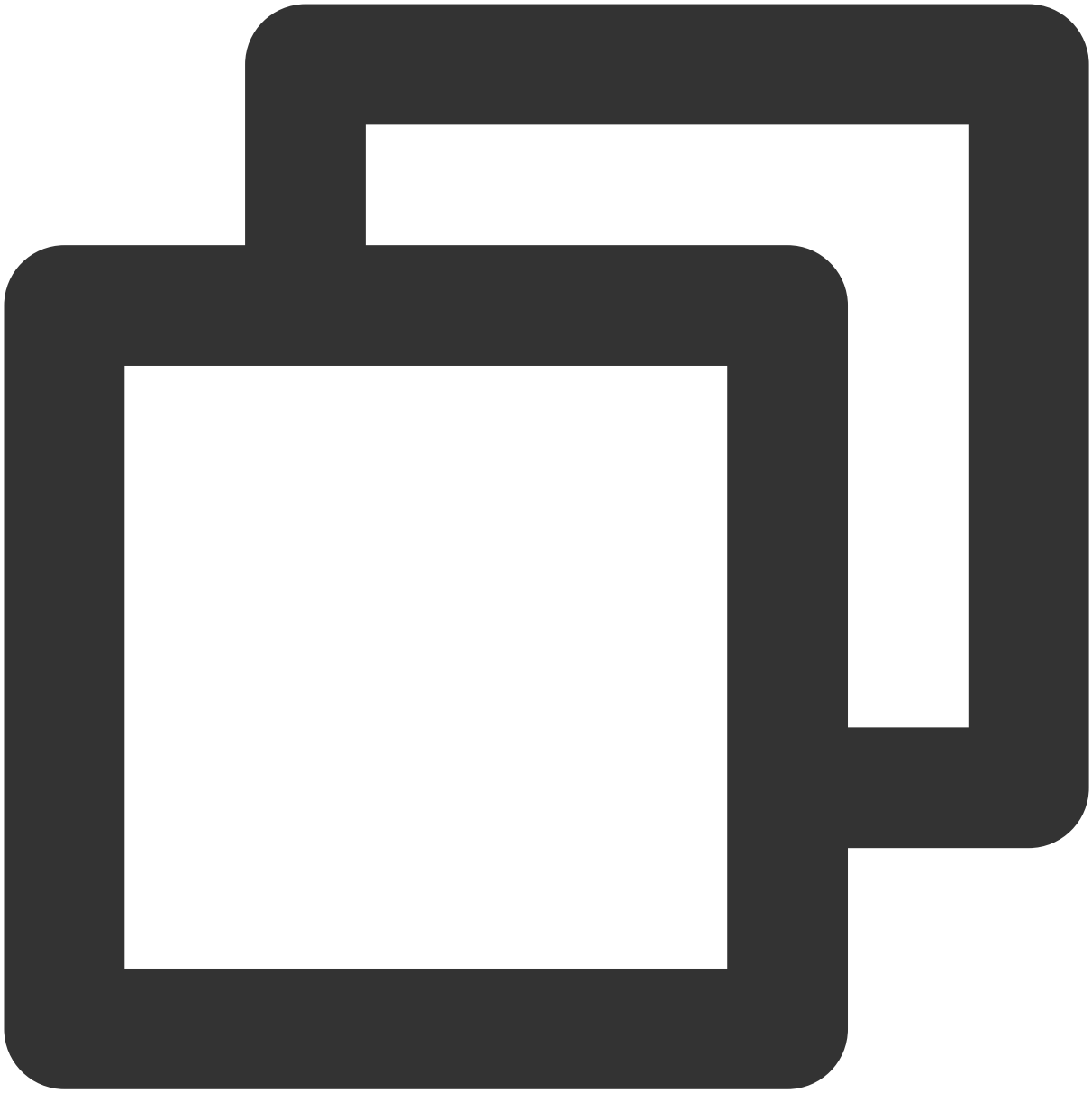
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
rpm -q
```

例えば、ソフトウェアパッケージ「Nginx」のバージョン情報を確認するには、実行するコマンドは以下の通り：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
rpm -q nginx
```

以下のような情報が返されます：

```
VM 5 10 suse:~ # rpm -q nginx
nginx-1.14.2-2.7.1.x86_64
VM 5 10 suse:~ #
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CentOS 6 は YUM ソースを切り替えます

最終更新日：：2022-06-29 11:38:27

操作背景

CentOS 6のオペレーティングシステムバージョンのサポート（EOL）は、2020年11月30日に終了しており、Linuxコミュニティでは当該オペレーティングシステムのバージョンを今後はサポートしません。コミュニティのルールに従い、CentOS 6のソースアドレス `http://mirror.centos.org/centos-6/` は削除され、第三者のミラーサイトからもCentOS 6のソースが削除されています。 `http://mirrors.tencent.com/` と `http://mirrors.tencentyun.com/` のソースをCentOS 6のソースに同期することができず、Tencent Cloudでデフォルト構成のCentOS 6のソースを使い続けるとエラーが発生します。

説明：

オペレーティングシステムをCentOS 7以上にアップグレードすることを推奨します。業務の繁忙期に、なおCentOS 6のオペレーティングシステム上のいくつかのインストールパッケージを使用する必要がある場合は、本文で提供する情報を基にCentOS 6のリポジトリを切り替えてください。

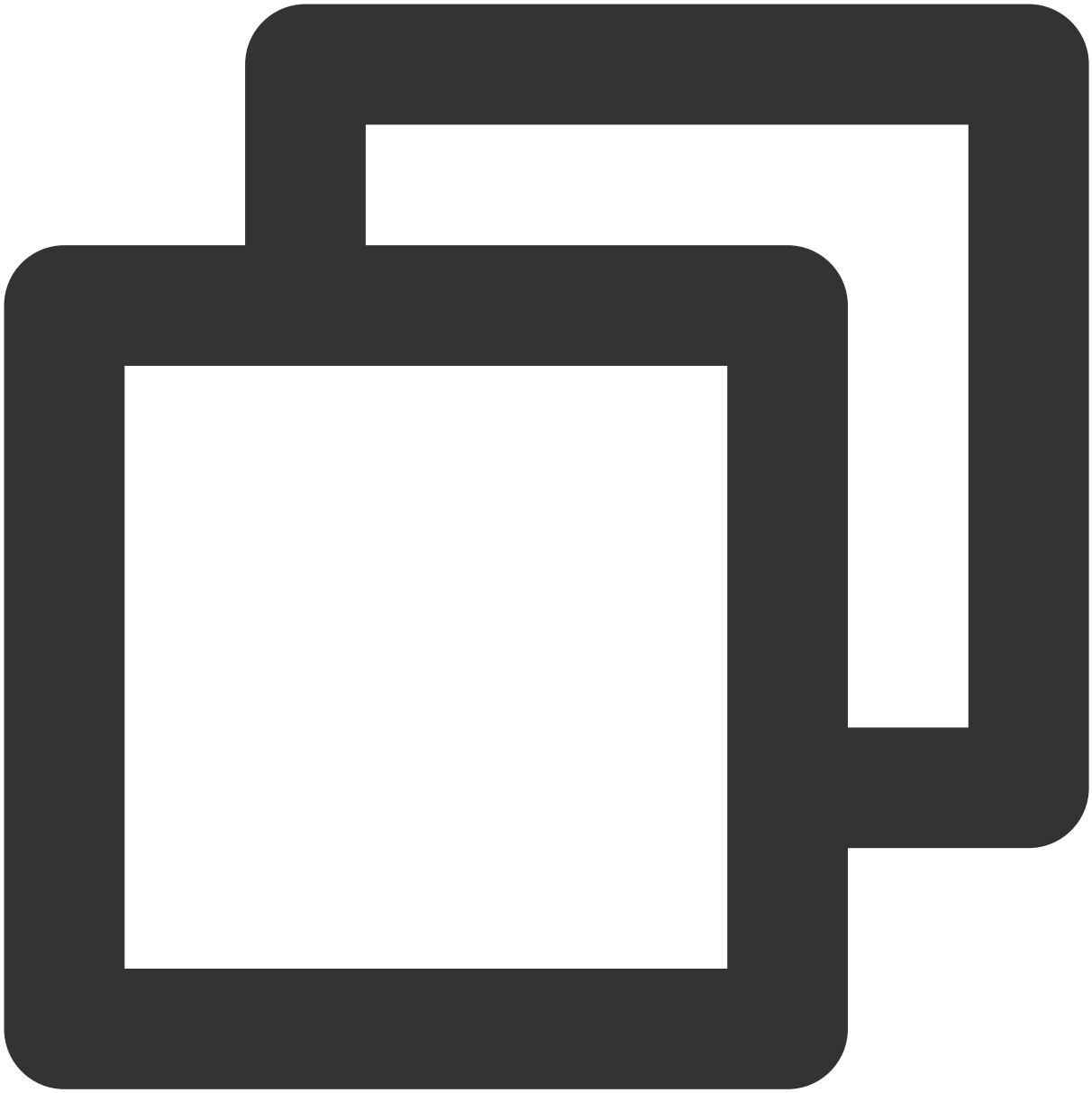
操作手順

1. 標準方式を使用してLinuxインスタンスにログイン（推奨）します。実際の操作方法に応じて、他のログイン方法を選択することもできます。

[リモートログインソフトウェアを使用してLinuxインスタンスにログイン]
(https://www.tencentcloud.com/document/product/213/32502)
[SSHを使用してLinuxインスタンスにログイン] (https://www.tencentcloud.com/document/product/213/32501)

2. 以下のコマンドを実行して、現在のオペレーティングシステムのCentOSバージョンを確認します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



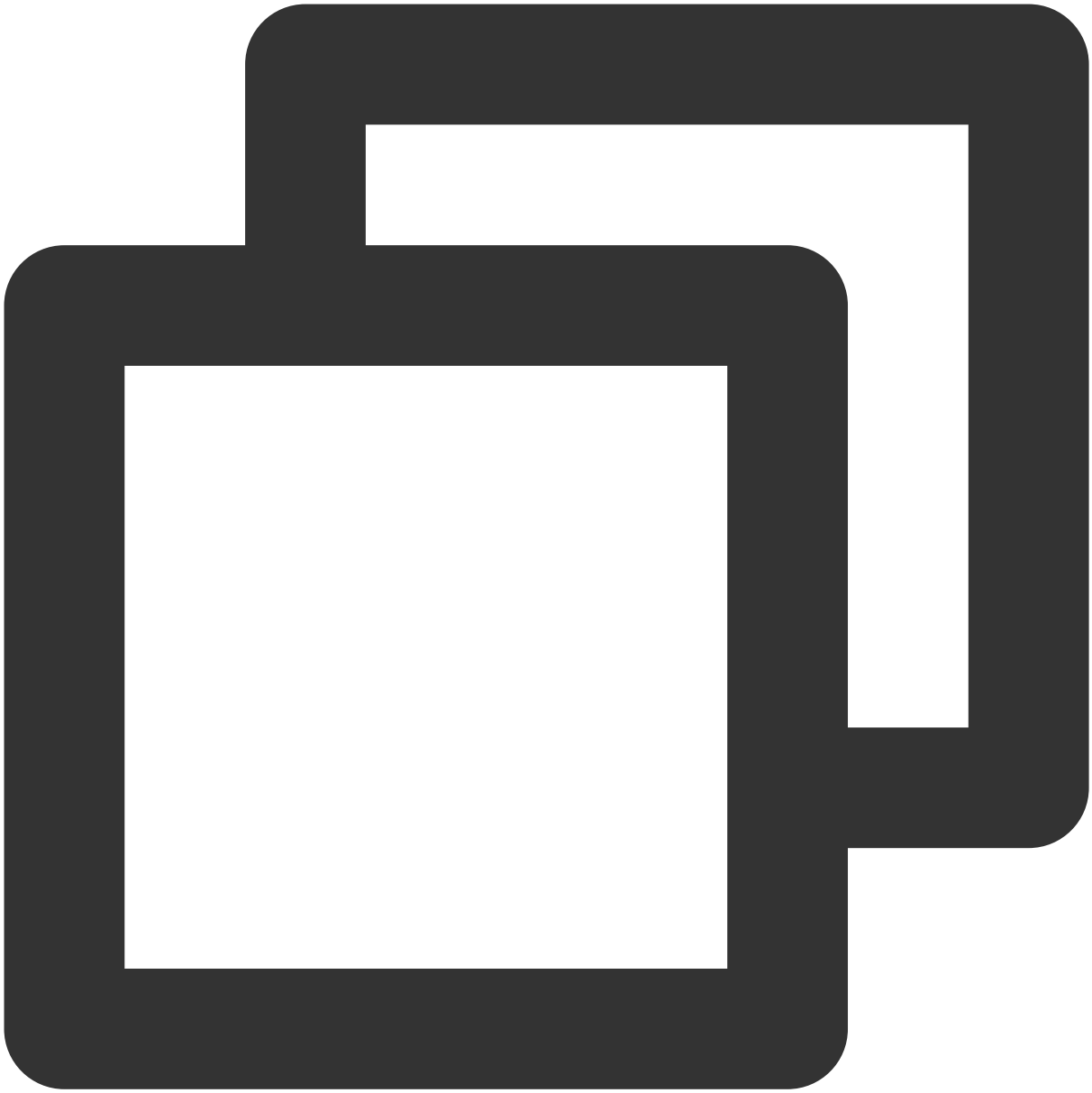
```
cat /etc/centos-release
```

返送結果が下図に示すとおりなら、現在のオペレーティングシステムバージョンがCentOS 6.9であることを示します。

```
[root@VM-2-14-centos ~]# cat /etc/centos-release
CentOS release 6.9 (Final)
```

3. 以下のコマンドを実行して、 `CentOS-Base.repo` ファイルを編集します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/yum.repos.d/CentOS-Base.repo
```

4. **i** を押して編集モードに入り、 CentOSバージョンおよびネットワーク環境に従ってbaseurlを修正します。

説明：

プライベートネットワークサービス および パブリックネットワークサービス を参照して、インスタンスが使用する必要のあるリポジトリを決定できます。

プライベートネットワークでアクセスするには： `http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.x/` リポジトリに切り替える必要があります。

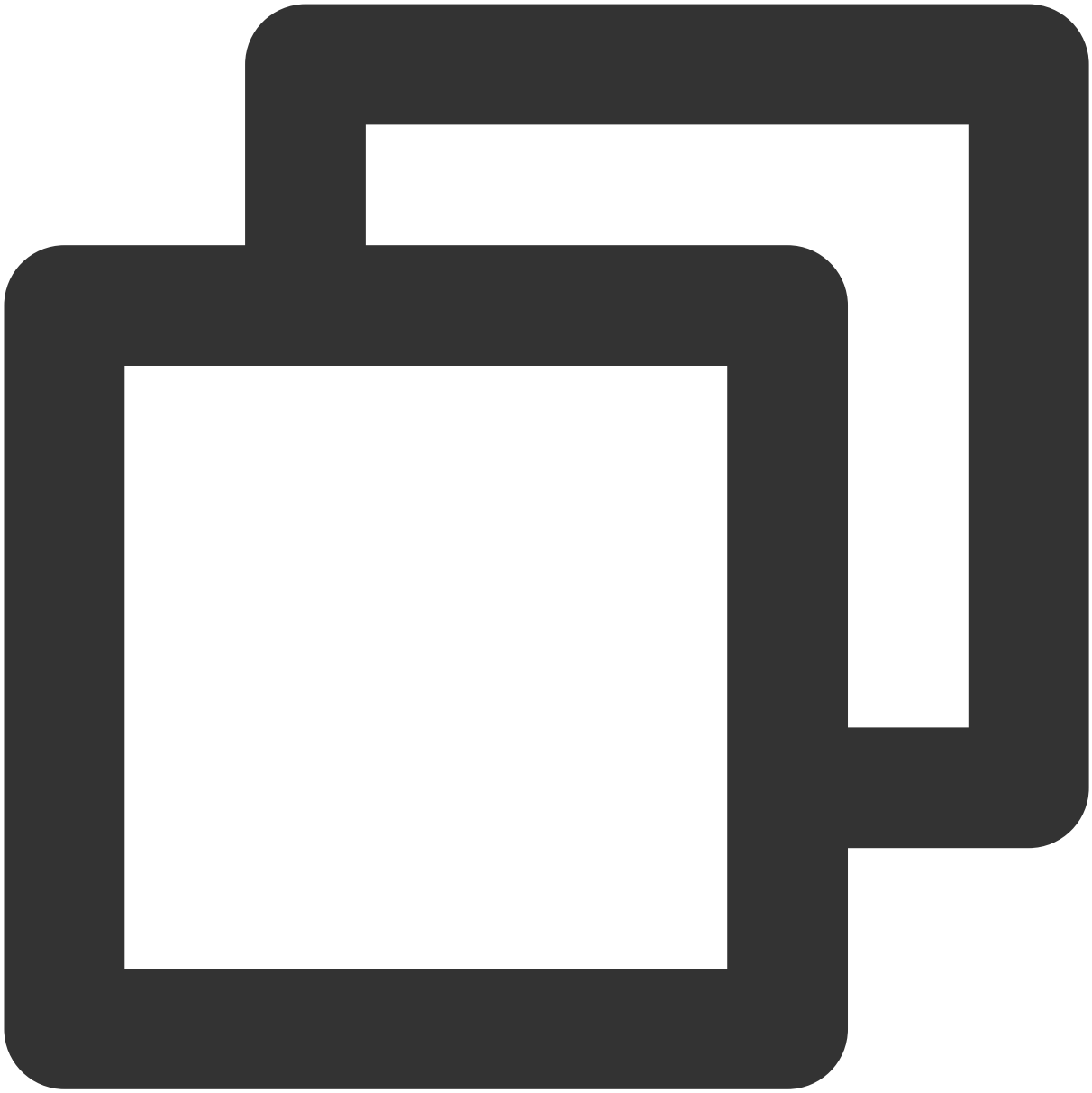
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

パブリックネットワークでアクセスするには：`http://mirrors.tencent.com/centos-vault/6.x/` リポジトリに切り替える必要があります。
ここでは、インスタンスオペレーティングシステムをCentOS 6.9として、プライベートネットワークのアクセス使用について例示します。修正完了後の `CentOS-Base.repo` ファイルは下図のとおりです。

```
[extras]
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/centos/RPM-GPG-KEY-CentO
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.9/extras
name=Qcloud centos extras - $basearch
[os]
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/centos/RPM-GPG-KEY-CentO
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.9/os/$ba
name=Qcloud centos os - $basearch
[updates]
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/centos/RPM-GPG-KEY-CentO
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.9/update
name=Qcloud centos updates - $basearch
```

設定は次のとおりで、必要に応じて取得できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

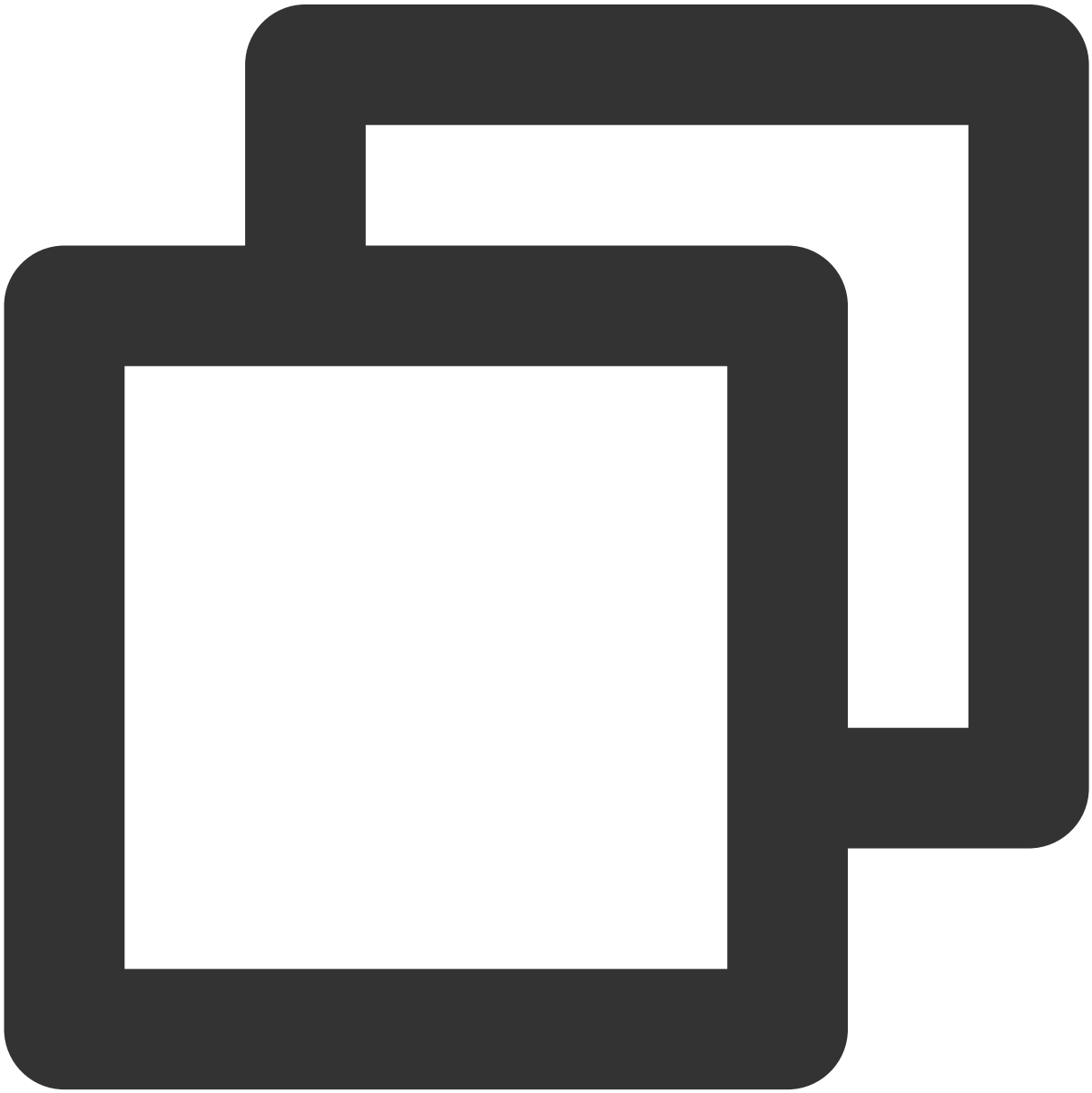


```
[extras]
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/centos/RPM-GPG-KEY-CentOS-6
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.9/extras/$basearch/
name=Qcloud centos extras - $basearch
[os]
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/centos/RPM-GPG-KEY-CentOS-6
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.9/os/$basearch/
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
name=Qcloud centos os - $basearch
[updates]
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/centos/RPM-GPG-KEY-CentOS-6
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/centos-vault/6.9/updates/$basearch/
name=Qcloud centos updates - $basearch
```

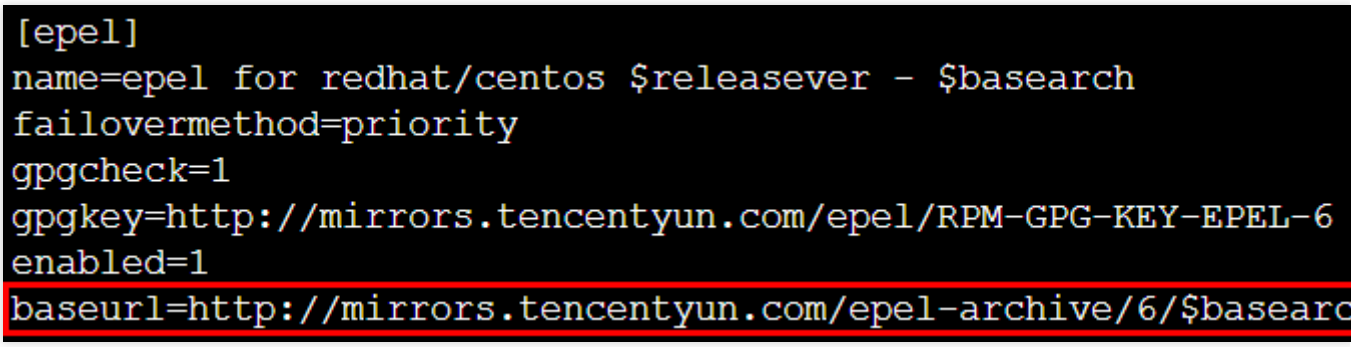
5. **ESC**を押して**:wq** と入力した後、**Enter** を押して修正を保存します。
6. 以下のコマンドを実行して、 `CentOS-Epel.repo` ファイルを修正します。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

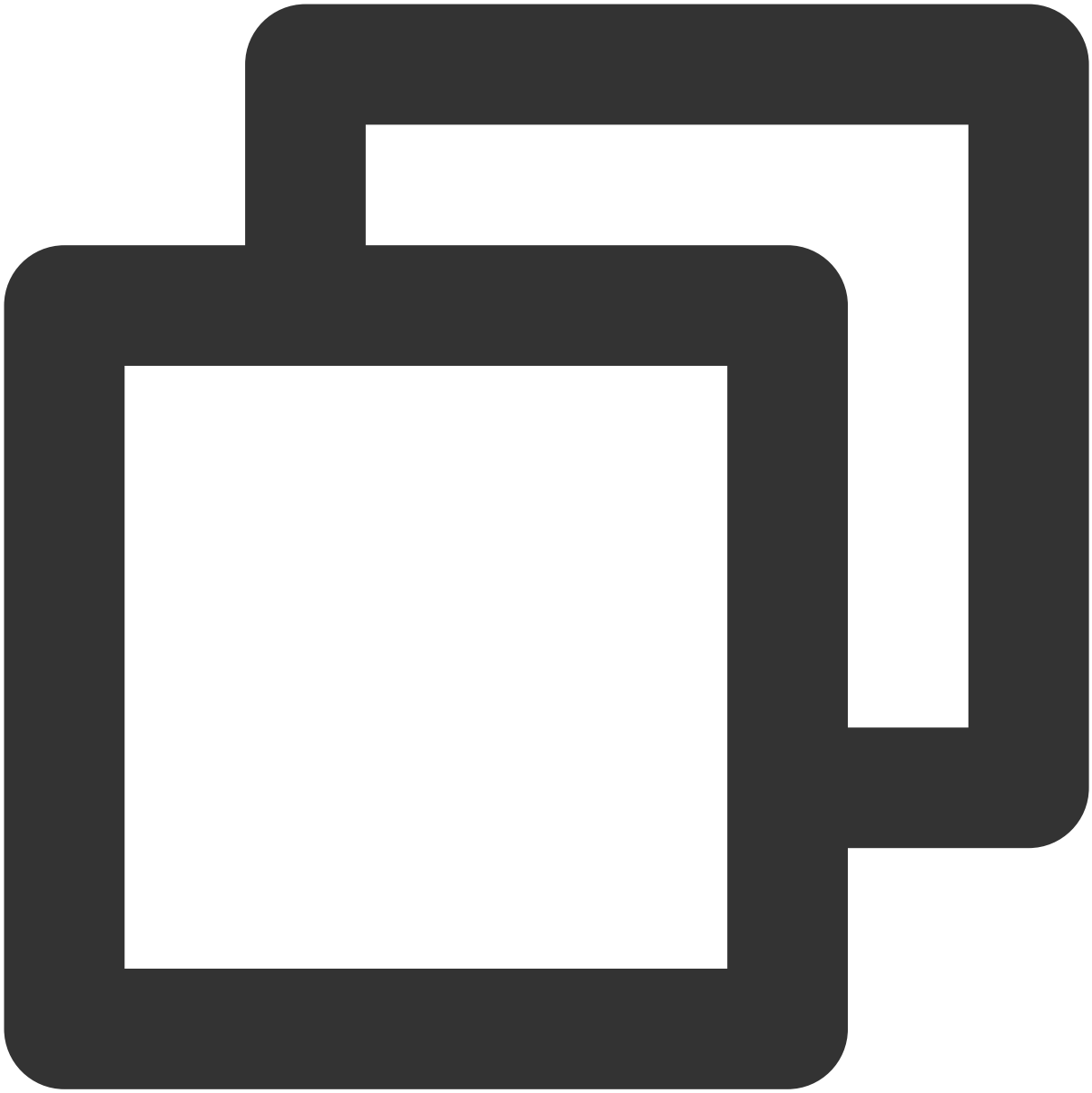
```
vim /etc/yum.repos.d/CentOS-Epel.repo
```

7. iを押して編集モードに入り、インスタンスネットワーク環境に基づきbaseurlを修正します。
ここでは、プライベートネットワークアクセスの使用を例に、
`baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/epel/$releasever/$basearch/` を
`baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/epel-archive/6/$basearch/` に修正します。修正が完了すると以下のようになります。



設定は次のとおりで、必要に応じて取得できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
[epel]
name=epel for redhat/centos $releasever - $basearch
failovermethod=priority
gpgcheck=1
gpgkey=http://mirrors.tencentyun.com/epel/RPM-GPG-KEY-EPEL-6
enabled=1
baseurl=http://mirrors.tencentyun.com/epel-archive/6/$basearch/
```

8. **ESC**を押して**:wq** と入力した後、 **Enter**を押して修正を保存します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

9. これでYUMリポジトリの切り替えが完了しました。 `yum install` コマンドを使用して必要なソフトウェアをインストールできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CentOS 8でのchronydサービスのインストール

最終更新日：：2021-05-20 10:56:10

操作シナリオ

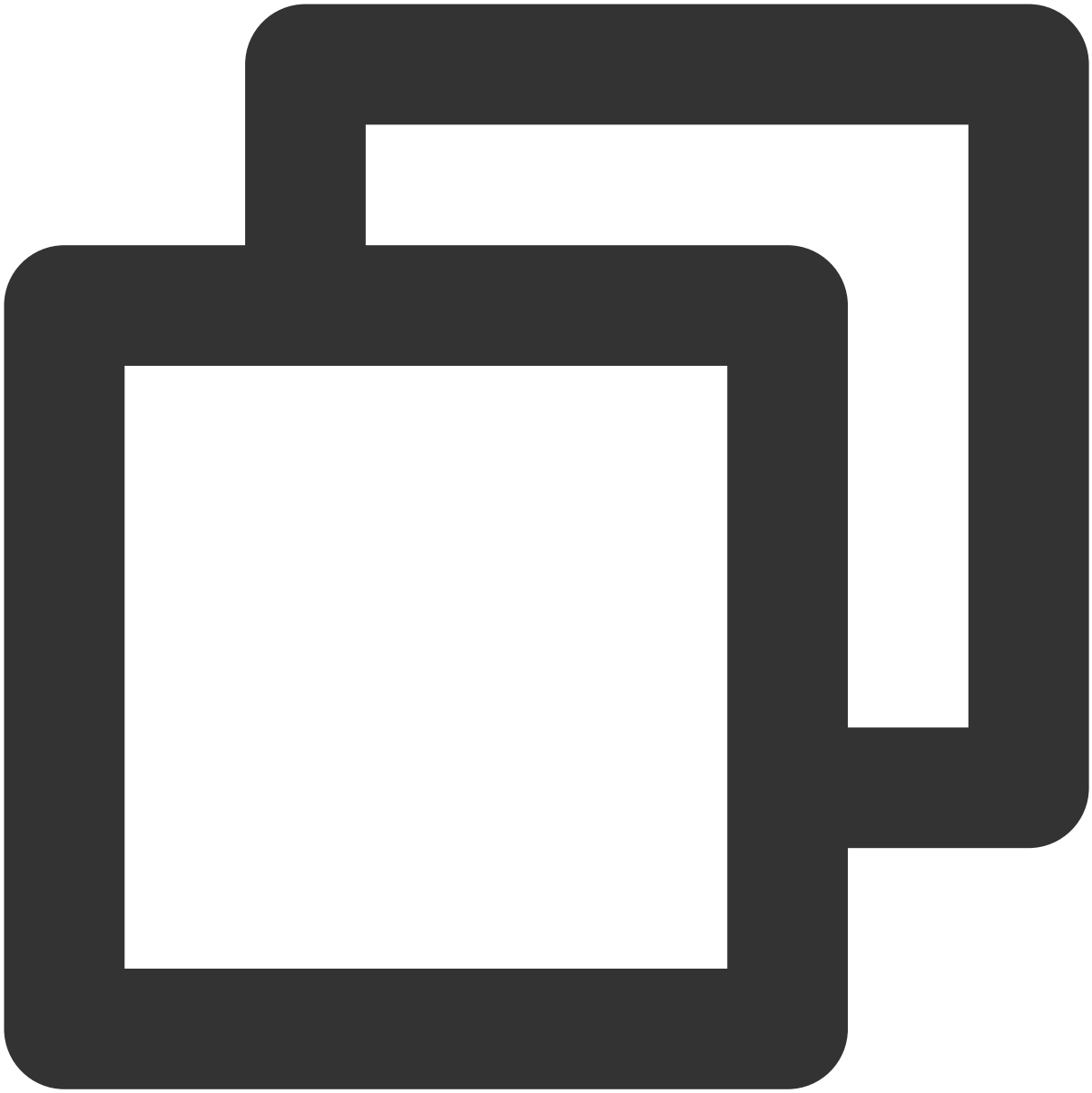
現在ネイティブCentOS 8はntpサービスのインストールをサポートしていません。このため時間が不正確になる問題が発生し、chronydを使用してタイムサービスを修正する必要があります。ここではCentOS 8オペレーティングシステムのTencent CVM上にchronydタイムサービスをインストールおよび設定する方法について説明いたします。

操作手順

chronydサービスのインストール設定

1. CVMインスタンスにログインします。詳細については、標準方式を使用してLinuxインスタンス（推奨）にログイン をご参照ください。
2. 以下のコマンドを実行して、chronydサービスをインストールします。

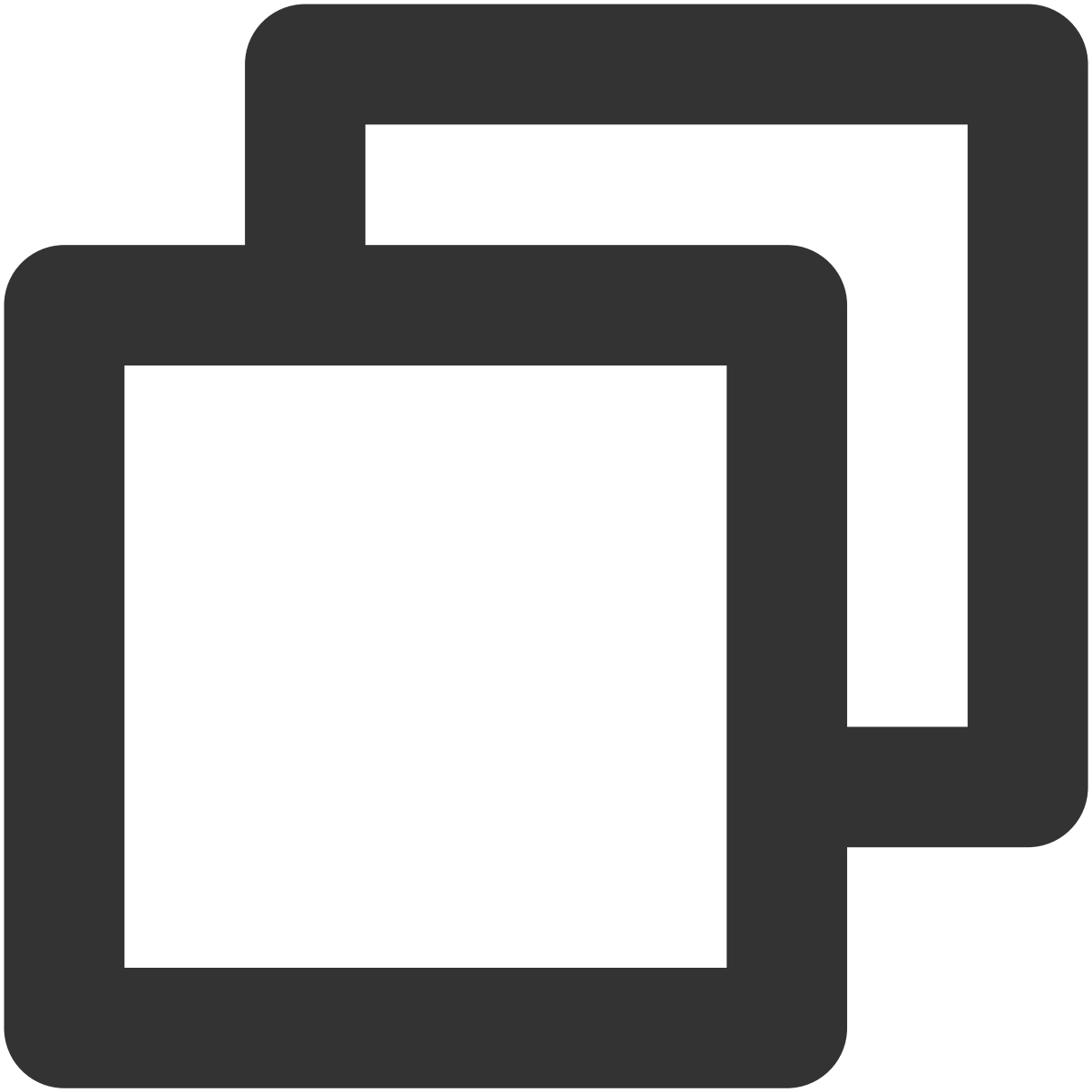
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum -y install chrony
```

3. 以下のコマンドを実行して、設定ファイル `chrony.conf` を修正します。

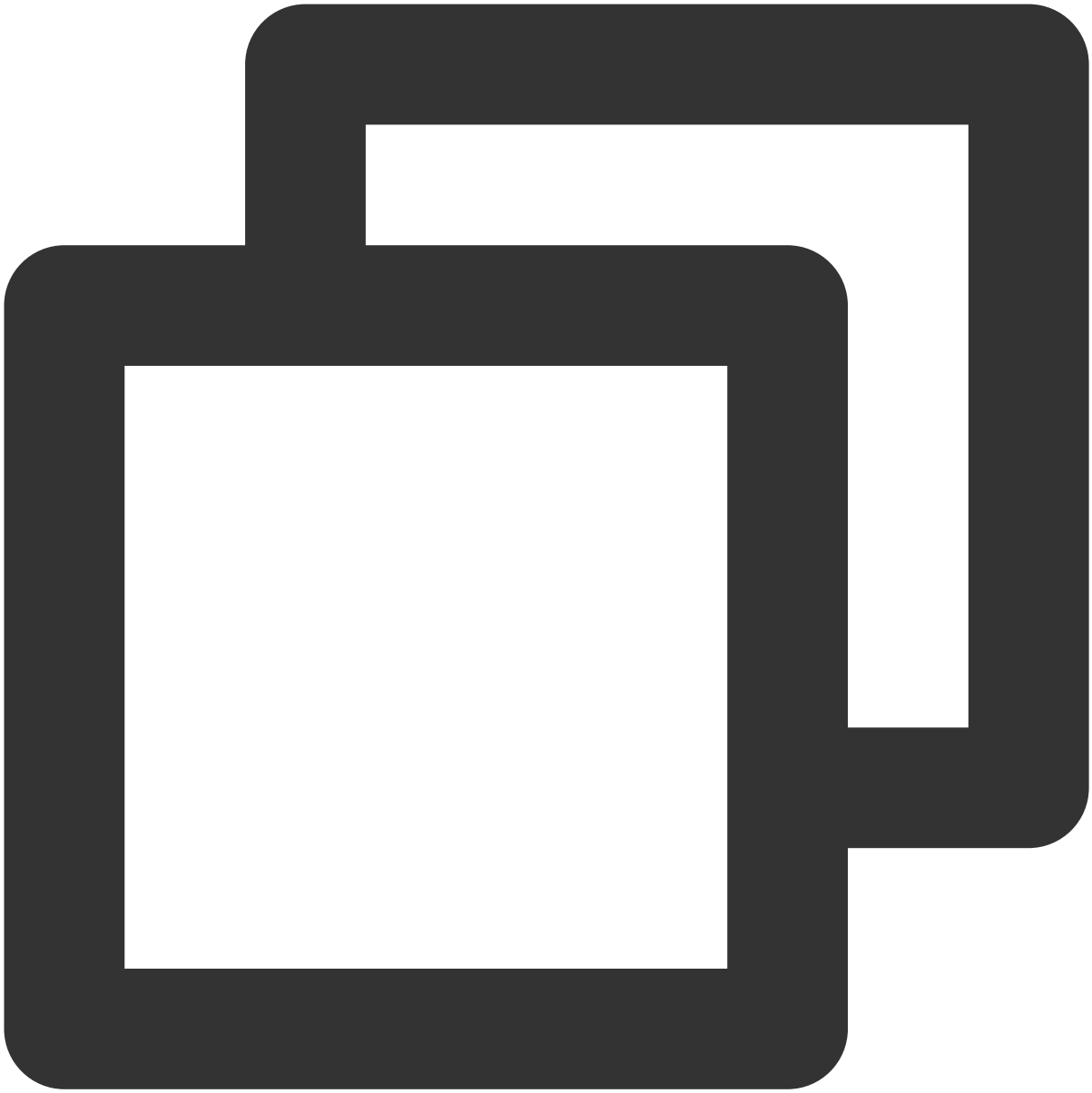
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/chrony.conf
```

4. **i**を押して編集モードに切り替え、 `#log measurements statistics tracking` の後に行を追加し、以下の内容を入力します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
server time1.tencentyun.com iburst
server time2.tencentyun.com iburst
server time3.tencentyun.com iburst
server time4.tencentyun.com iburst
server time5.tencentyun.com iburst
```

編集が完了すると以下のようになります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

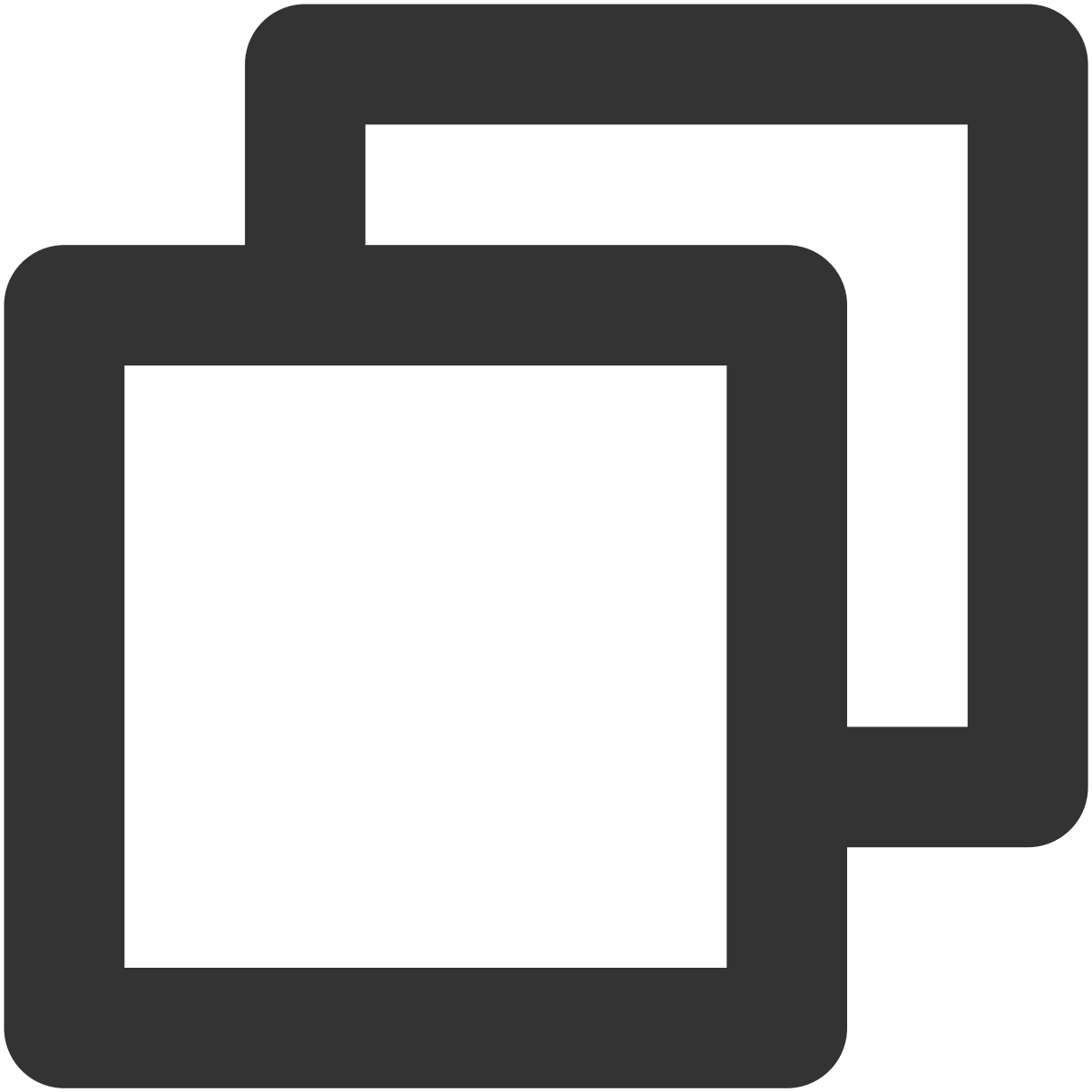
```
# Get TAI-UTC offset and leap seconds from the system tz dat
leapsectz right/UTC

# Specify directory for log files.
logdir /var/log/chrony

# Select which information is logged.
#log measurements statistics tracking
server time1.tencentyun.com iburst
server time2.tencentyun.com iburst
server time3.tencentyun.com iburst
server time4.tencentyun.com iburst
server time5.tencentyun.com iburst
```

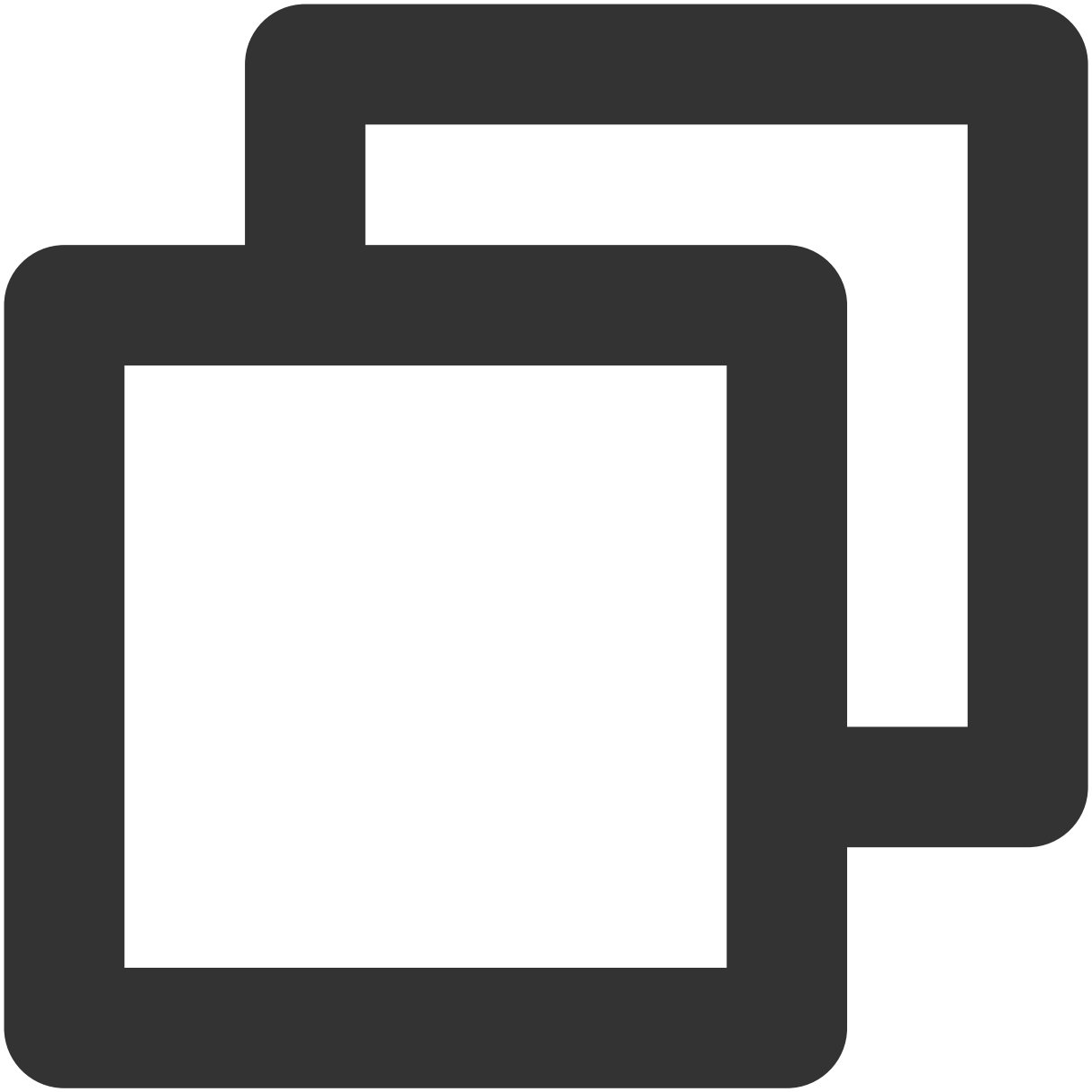
5. **Esc**を押し、**:wq**を入力して保存後、編集モードを終了します。
6. 以下のコマンドを順番に実行して、起動時に自動的に有効化され、サービスを再起動するように、chronydサービスを設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
systemctl restart chronyd
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

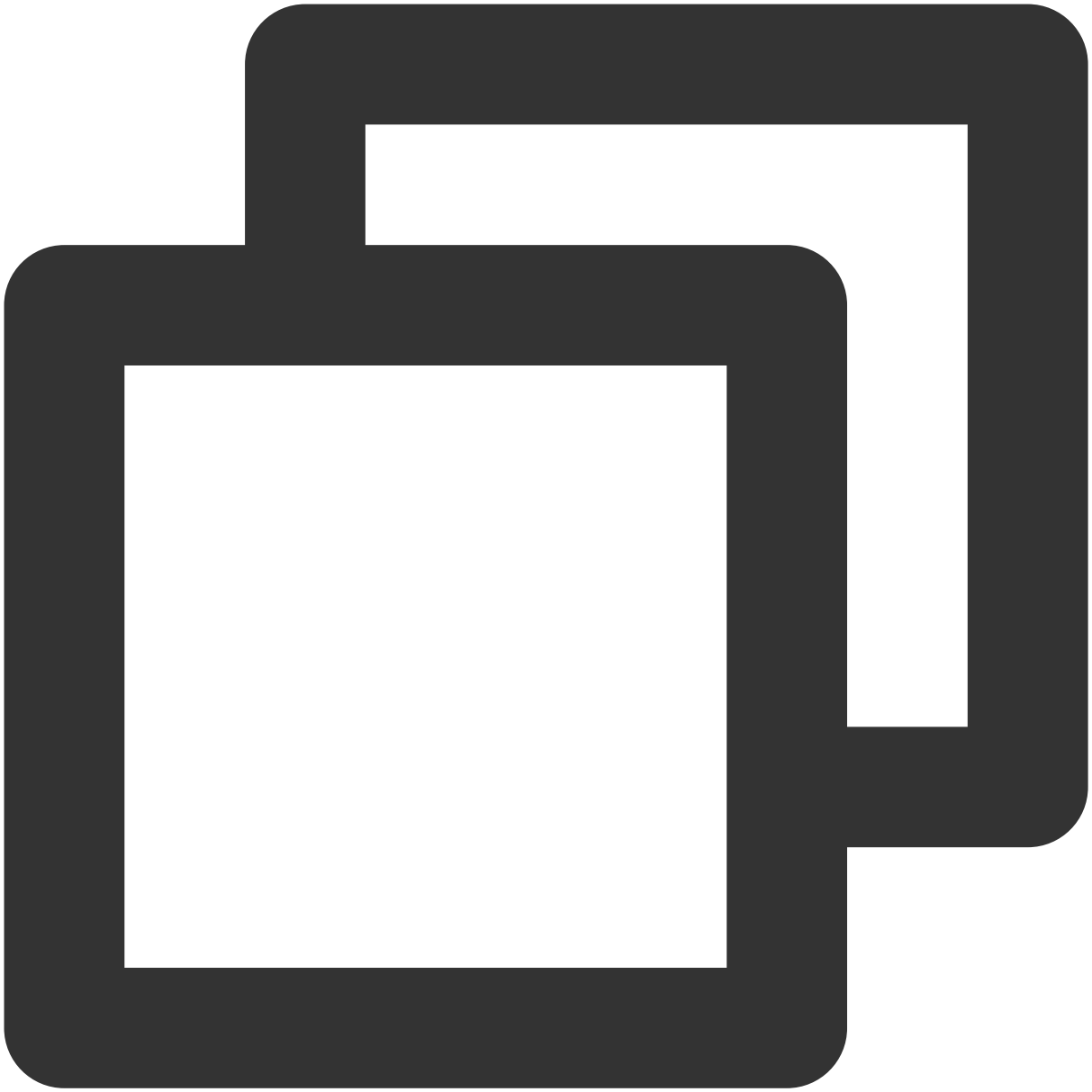


```
systemctl enable chronyd
```

サービス設定の確認

1. 以下のコマンドを実行して、時間が同期されるかどうか確認します。

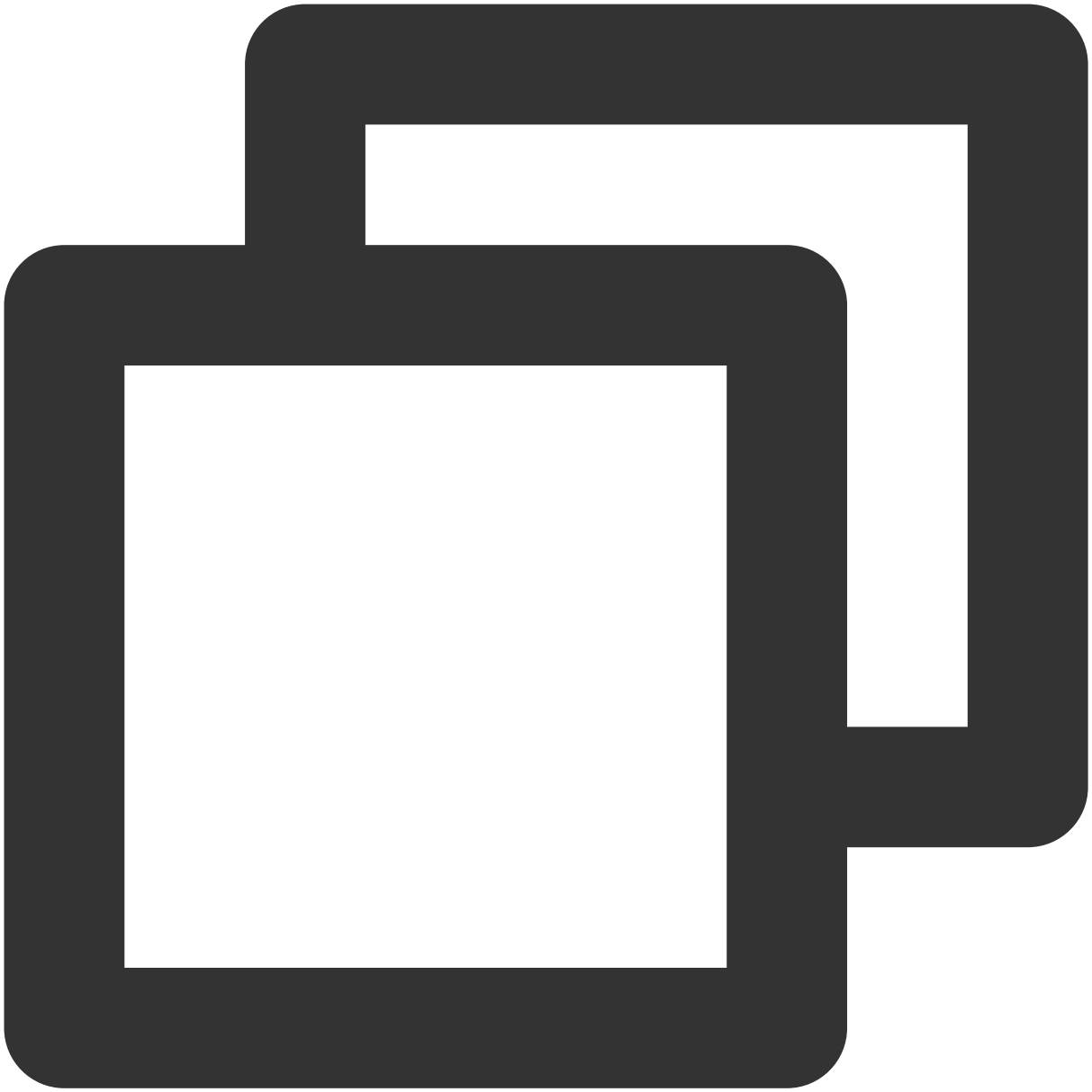
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
date
```

2. 以下のコマンドを実行して、時間同期ソースのステータスを表示します。

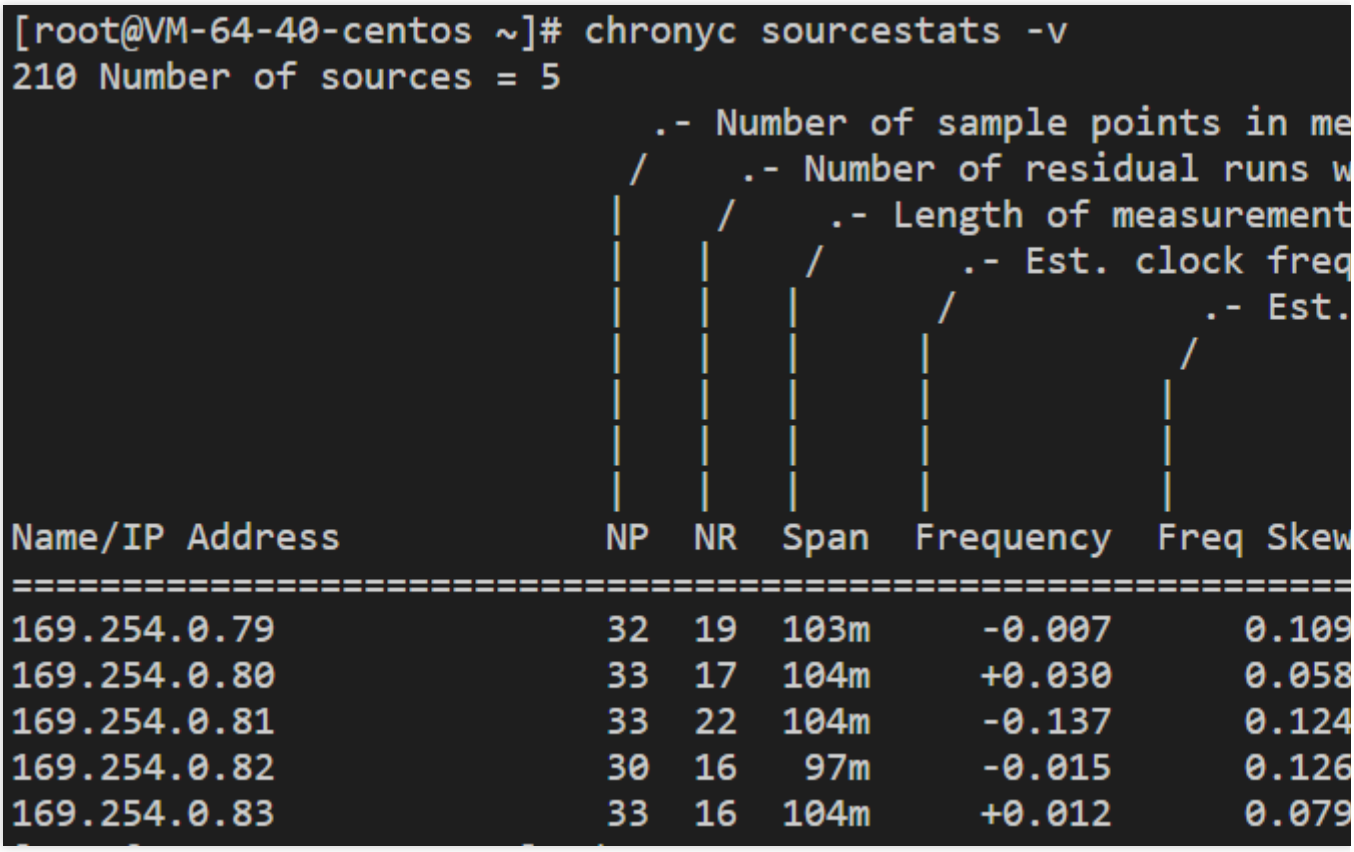
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
chronyc sourcestats -v
```

以下のような結果が表示される場合は、設定が成功したことを示します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



付録

よく使用するコマンド

コマンド	説明
chronyc sources -v	時間同期ソースを確認します。
chronyc sourcestats -v	時間同期ソースのステータスを確認します。
timedatectl set-local-rtc 1	ハードウェアの時間を設定します。ハードウェアの時間のデフォルトはUTCです。
timedatectl set-ntp yes	NTP時間同期を有効化します。
chronyc tracking	タイムサーバーを調整します。
chronyc -a makestep	システムクロックを強制的に同期します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

カスタムデータ
カスタムデータ（Linux CVM）の設定

最終更新日：：2022-09-01 17:36:39

操作シナリオ

Cloud Virtual Machine(CVM)を作成する際、**カスタムデータ**を指定することでインスタンスを設定できます。CVMの**初回起動**時には、カスタムデータがテキストとしてCVMに渡され、そのテキストが実行されます。一度に複数のCVMを購入した場合、カスタムデータはすべてのCVMを最初に起動したときにそのテキストが実行されます。このドキュメントでは、Linux CVMの初回起動時に、Shell形式のスクリプトを渡す場合を例に説明します。

注意事項

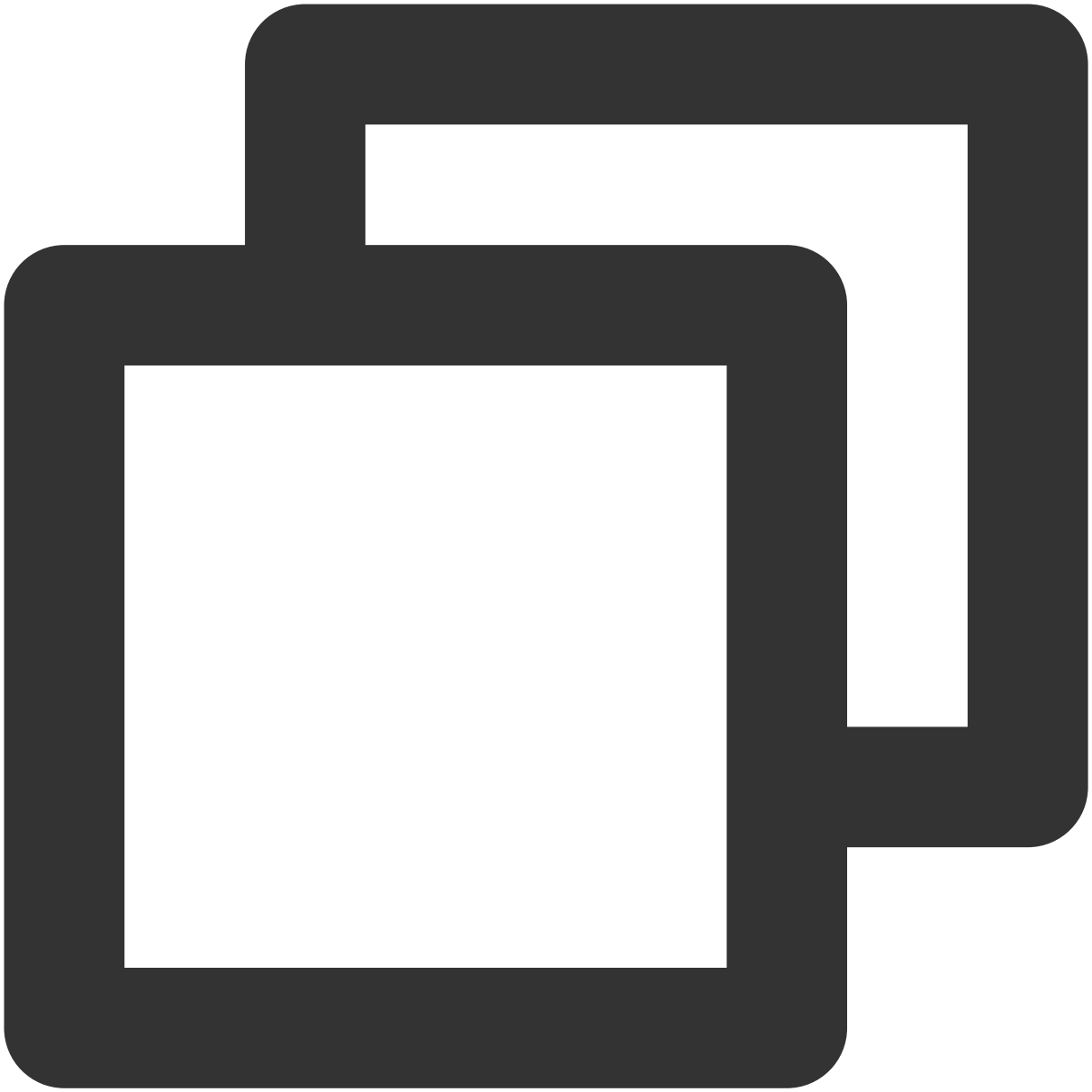
カスタマイズデータをサポートするLinux OSは、以下のとおりです。
64ビットのOS：CentOS 6.8 64ビット以上、Ubuntu Server 14.04.1 LTS 64ビット以上、suse42.3x86_64
32ビットのOS：CentOS 6.8 32ビット以上
CVMの初回起動時のみ、テキストを渡すことでコマンドを実行します。
渡されるテキストはBase64でエンコーディングされている必要があります。**Linux環境でエンコーディングを行い、フォーマットの非互換性を避けてください**。
rootアカウントを使用して、ユーザーデータによる入力テキストを実行します。スクリプトではsudoコマンドを使用しません。作成されたファイルはすべてrootに属します。root以外のユーザーにファイルアクセス権を許可する必要がある場合は、スクリプトで権限を変更してください。
起動時に、カスタマイズデータで指定されたタスクを実行すると、サーバーの起動時間が長くなります。数分待って、タスクの完了後にタスクが正常に実行されたかをテストすることをお勧めします。
この例では、Shellスクリプトは `#!` 文字、およびスクリプトを読み取るインタープリターへのパス（通常は `/bin/bash` ）で始まる必要があります。

操作手順

Shellスクリプトの作成

1. 次のコマンドを実行して、「script_text.sh」という名前のShellスクリプトファイルを作成します。

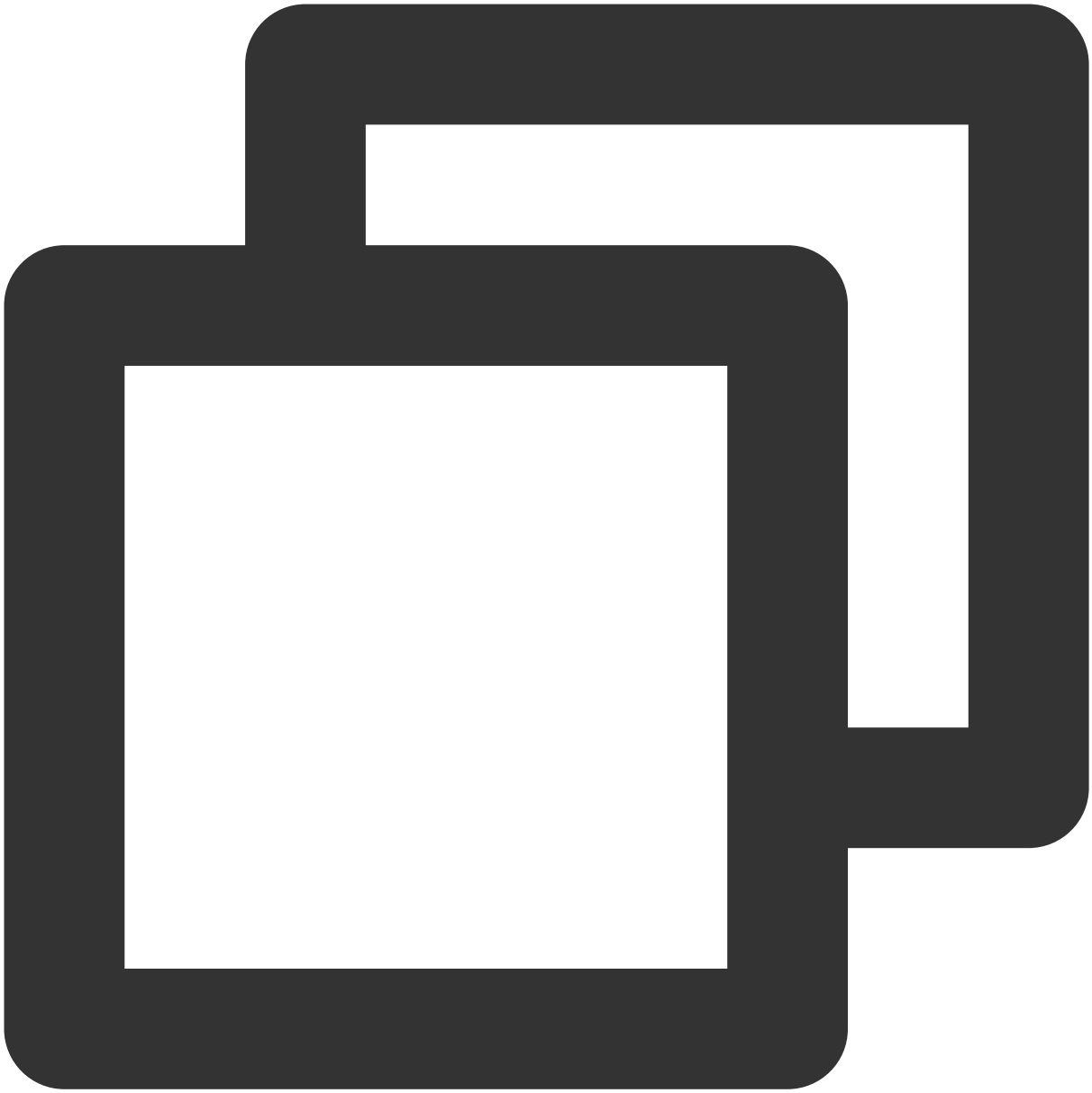
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vi script_text.sh
```

2. **i**を押して編集モードに切り替え、次の内容を参照し、「script_text.sh」スクリプトファイルに記述して保存します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
#!/bin/bash
echo "Hello Tencent Cloud."
```

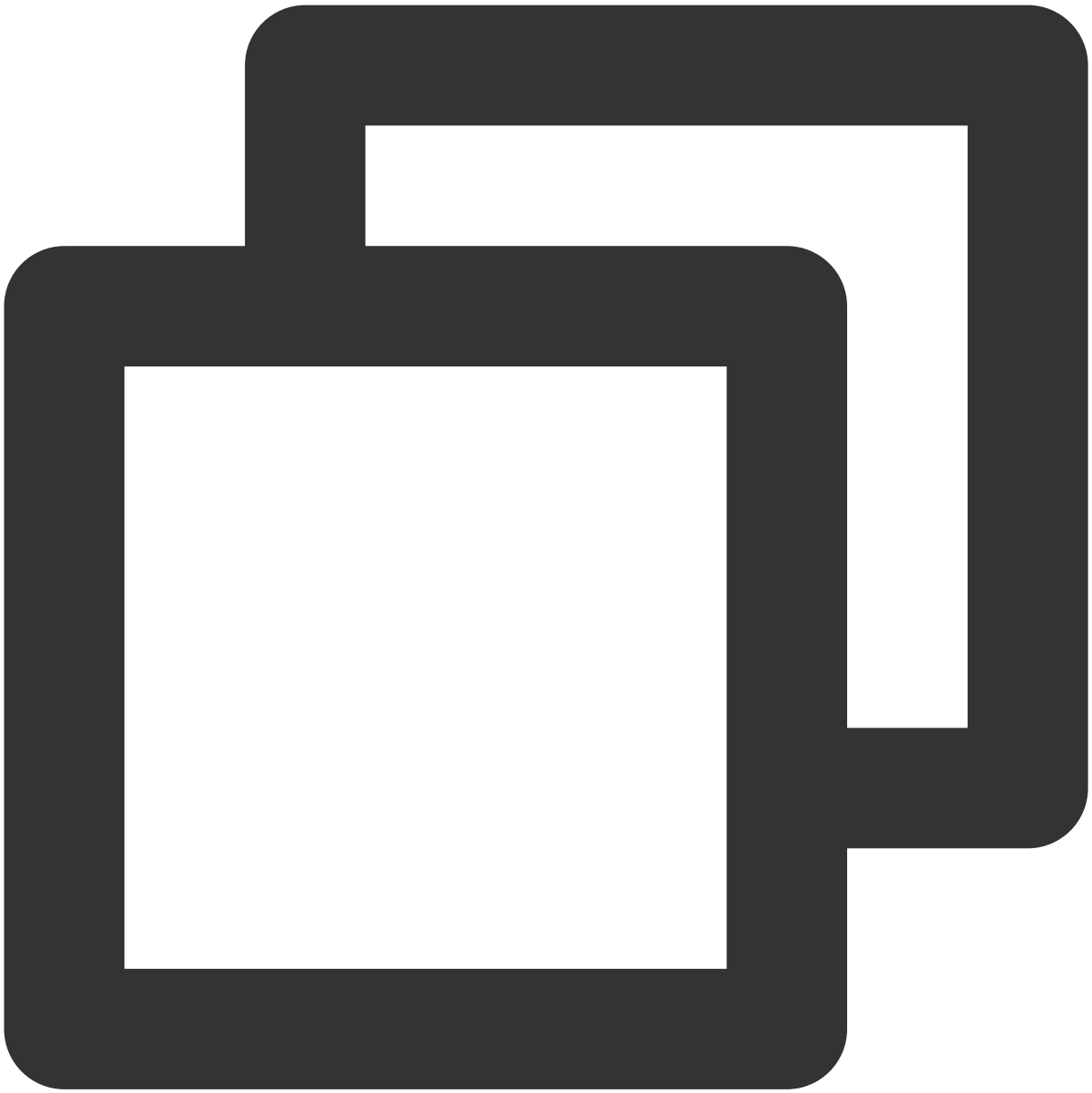
ご注意：

Shellスクリプトは必ず `#!` 文字およびスクリプトを読み取るインタープリターへのパス（通常は `/bin/bash` ）で始まる必要があります。Shellスクリプトの詳細については、Linux ドキュメントプロジェクト(tldp.org)の BASHのプログラミング方法。

Base64エンコードスクリプトを使用する

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

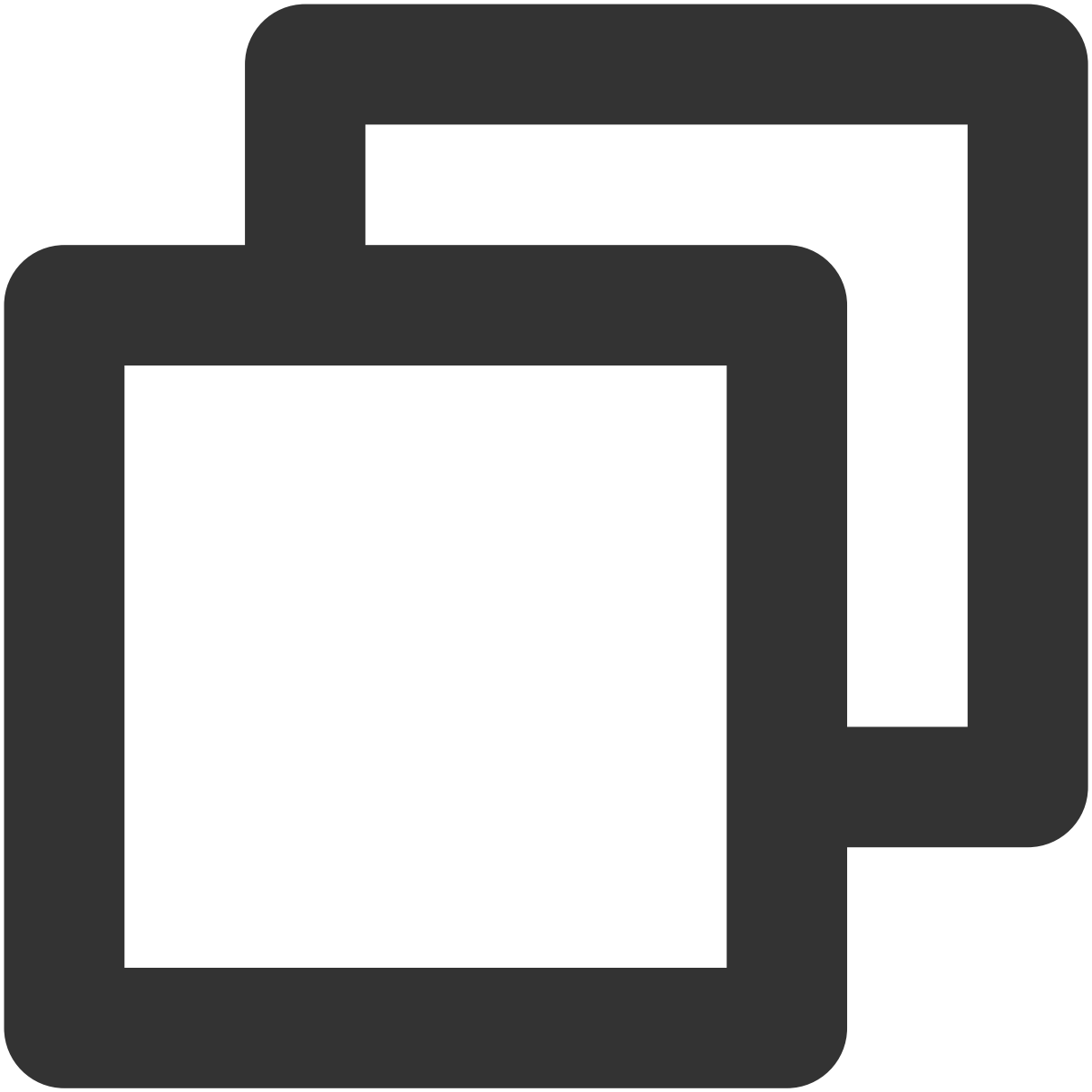
1. 次のコマンドを実行して、「script_text.sh」スクリプトファイルに対してBase64エンコード操作を実行します。



```
# スクリプトに対してBase64エンコーディング操作を実行する
base64 script_text.sh
```

以下の情報を返します。

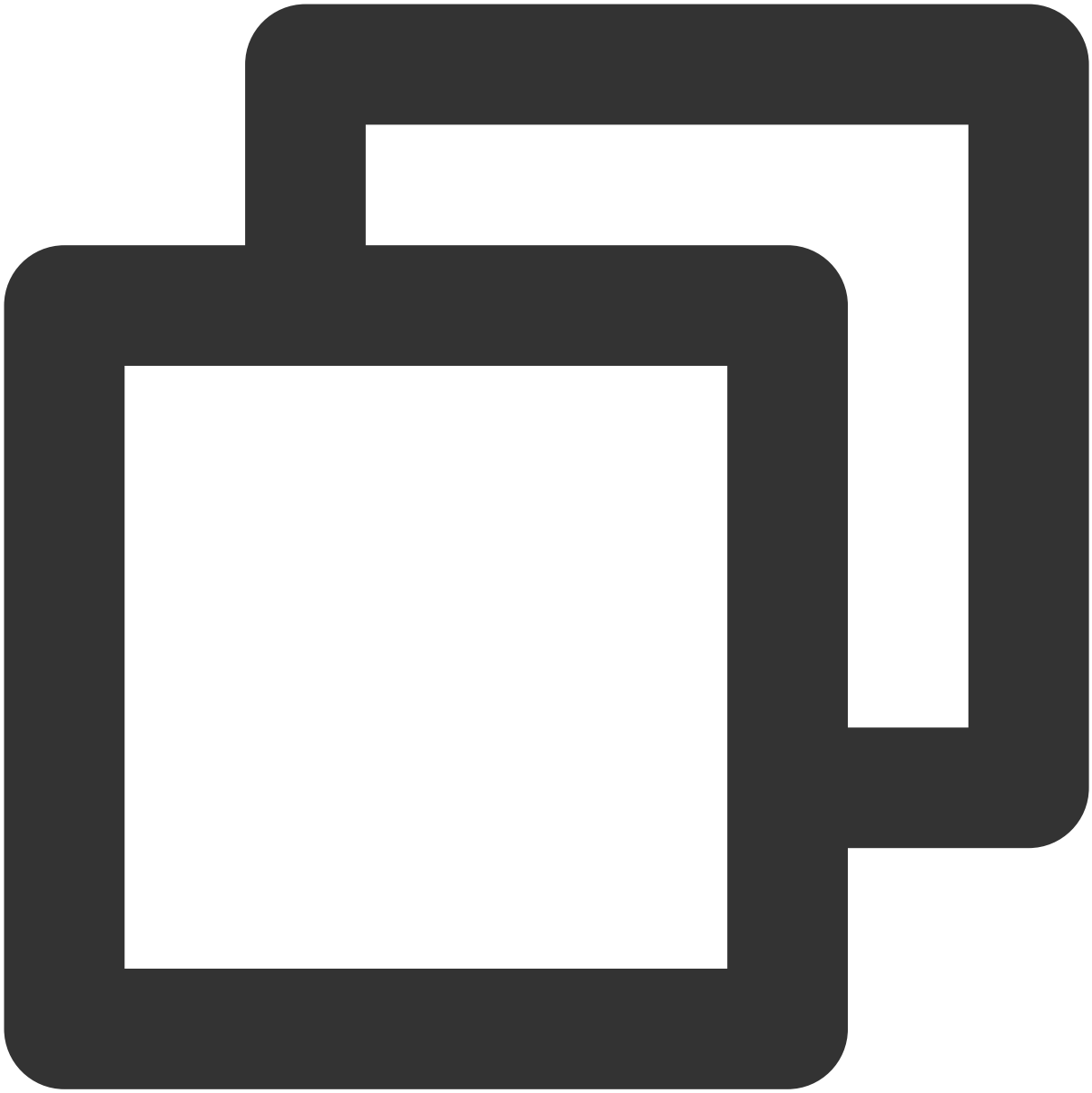
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
# エンコードされた結果
IyEvYmluL2Jhc2gKZWNobyAiSGVsbG8gVGVuY2VudCBDbG91ZC4iCg==
```

2. 次のコマンドを実行し、Base64でscript_textスクリプトファイルをエンコーディングして返された結果を検証します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



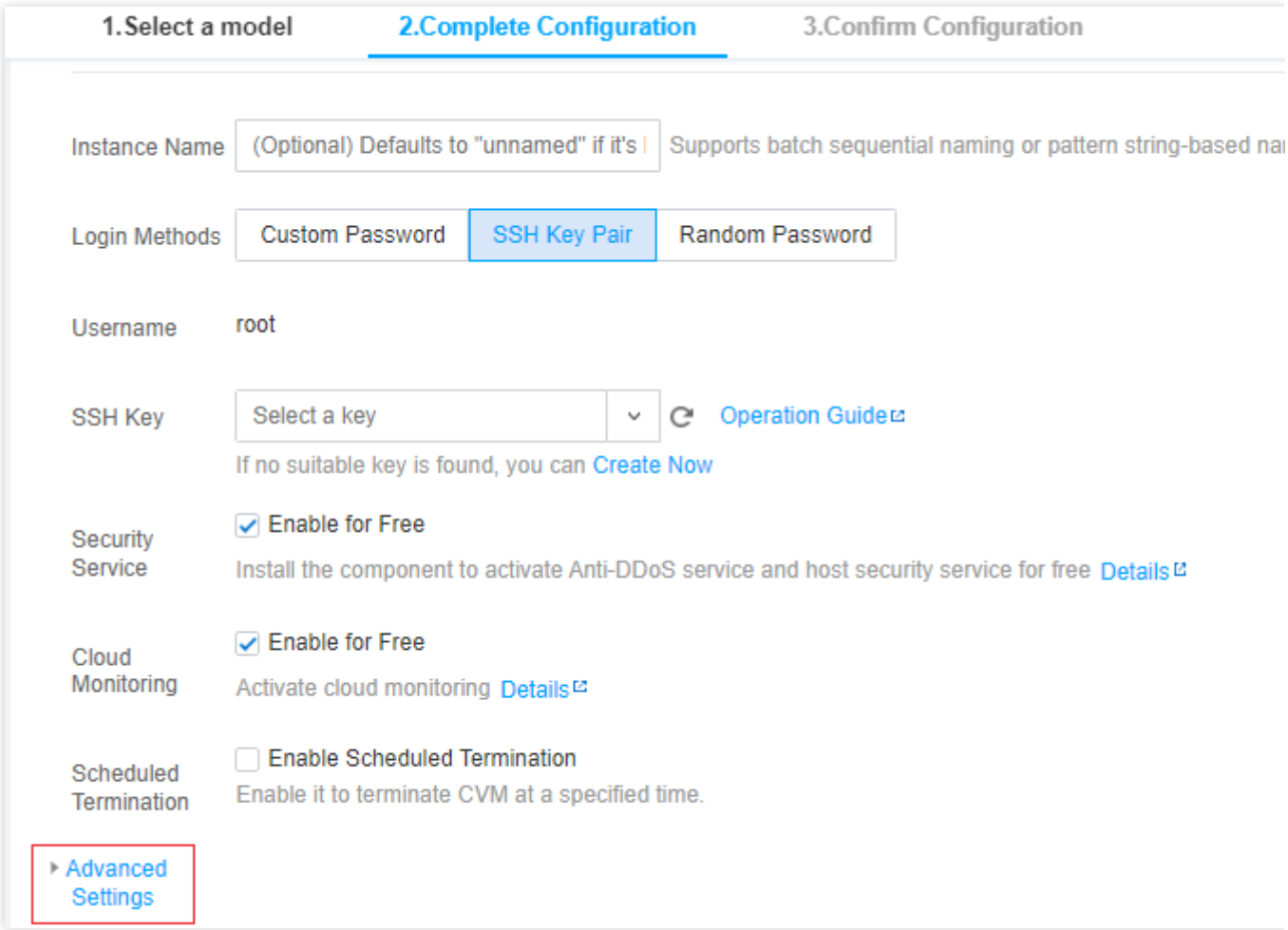
```
# 返された結果に対してBase64エンコーディングを実行し、実行が必要なコマンドかどうかを検証します。
echo "IyEvYmluL2Jhc2gKZWNobyAiSGVsbG8gVGVuY2VudCBDbG91ZC4iCg==" | base64 -d
```

テキストを渡す

インスタンスを起動するさまざまな方法を提供しています。主に次の2つの方法があり、実際のニーズに合わせてお選びください。
公式サイトまたはコンソールから渡す
APIから渡す

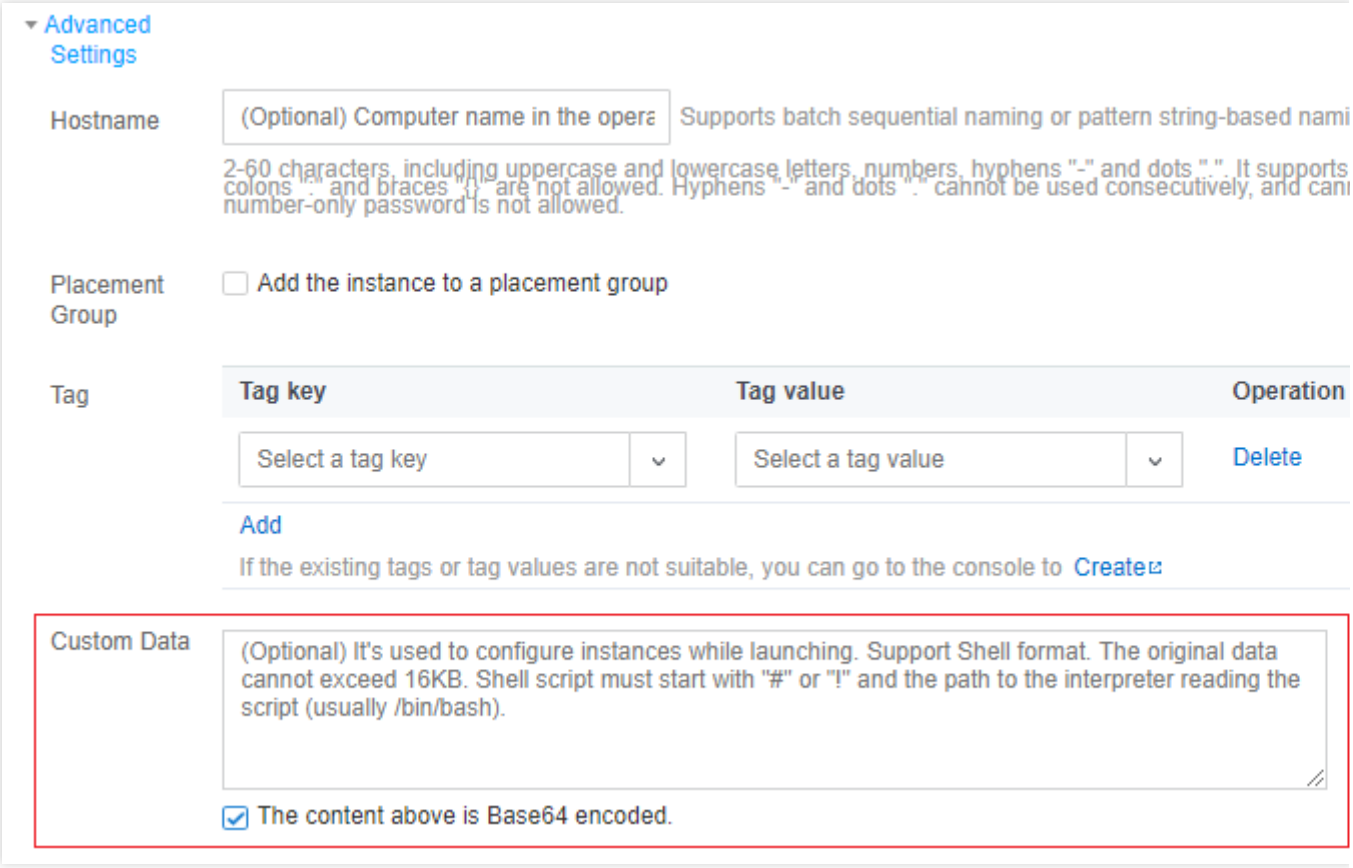
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. 下図に示すように、インスタンスの作成 を参照してインスタンスを購入し、「2.ホストの設定」のステップで**詳細設定**をクリックしてください。



2. 「高度な設定」の「カスタマイズデータ」 テキストボックス内に、 使用Base64コードスクリプト文件 を入力して返された結果は下図に示すとおりです。
たとえば、Base64でscript_textスクリプトファイルをエンコーディングして返された結果は `IyEvYmluL2Jhc2gKZWNobyAiSGVsbG8gVGVuY2VudCBDbG91ZC4iCg==` です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



3. 画面情報に従ってステップごとに操作し、CVMの作成を完了します。

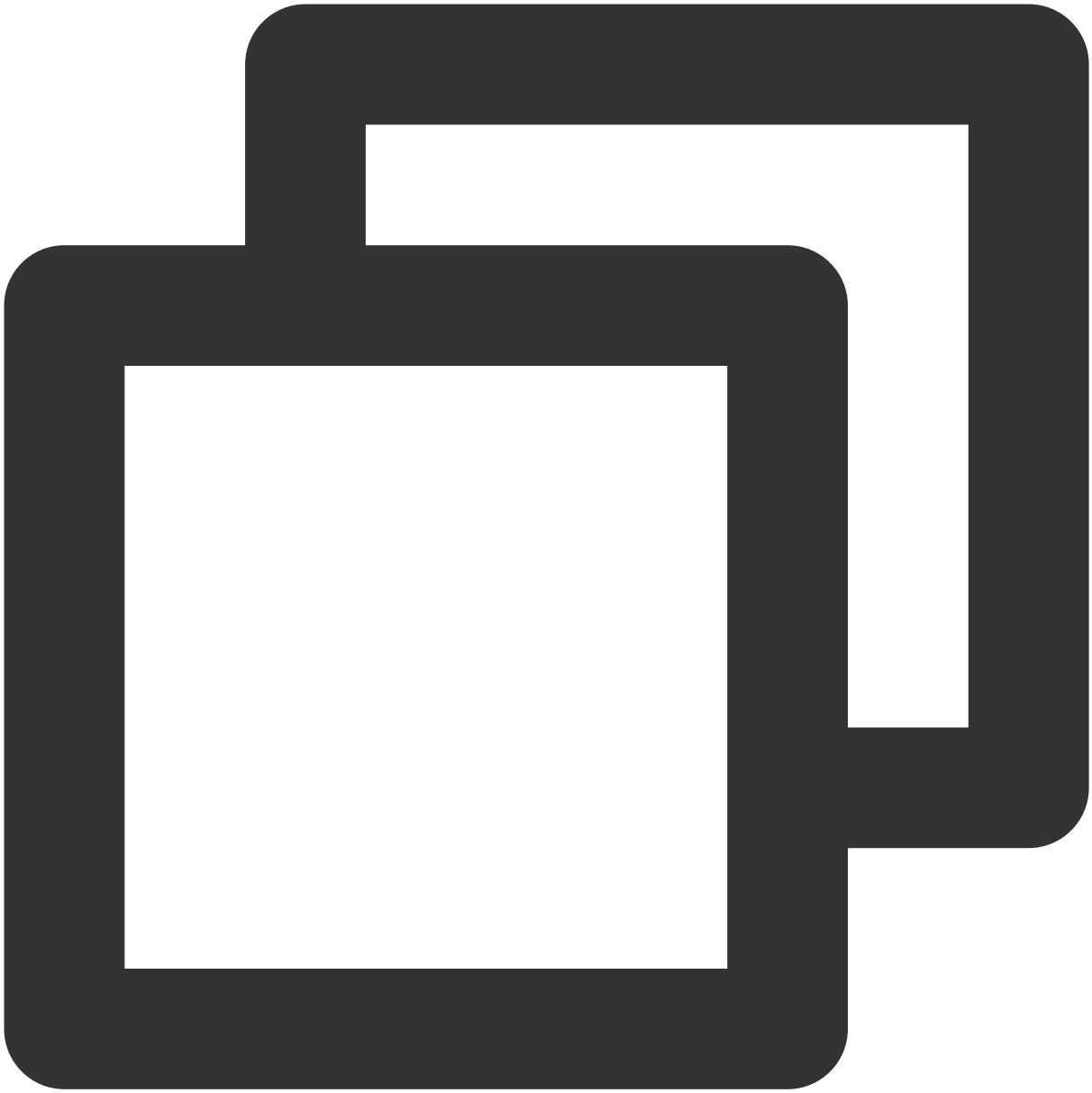
説明：

Tencent CVMはオープンソースソフトウェアcloud-initを介してスクリプトを実行します。cloud-initの詳細については cloud-init公式サイト をご参照ください。

APIを介してCVMを作成する場合、Base64でコードスクリプトファイルをエンコーディングする で返されたエンコーディング結果をRunInstancesインターフェースのUserDataパラメータに代入することにより、テキストを渡すことができます。

例えば、UserDataパラメータを持つCVMへのリクエストパラメータを作成する場合、以下のような例があります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

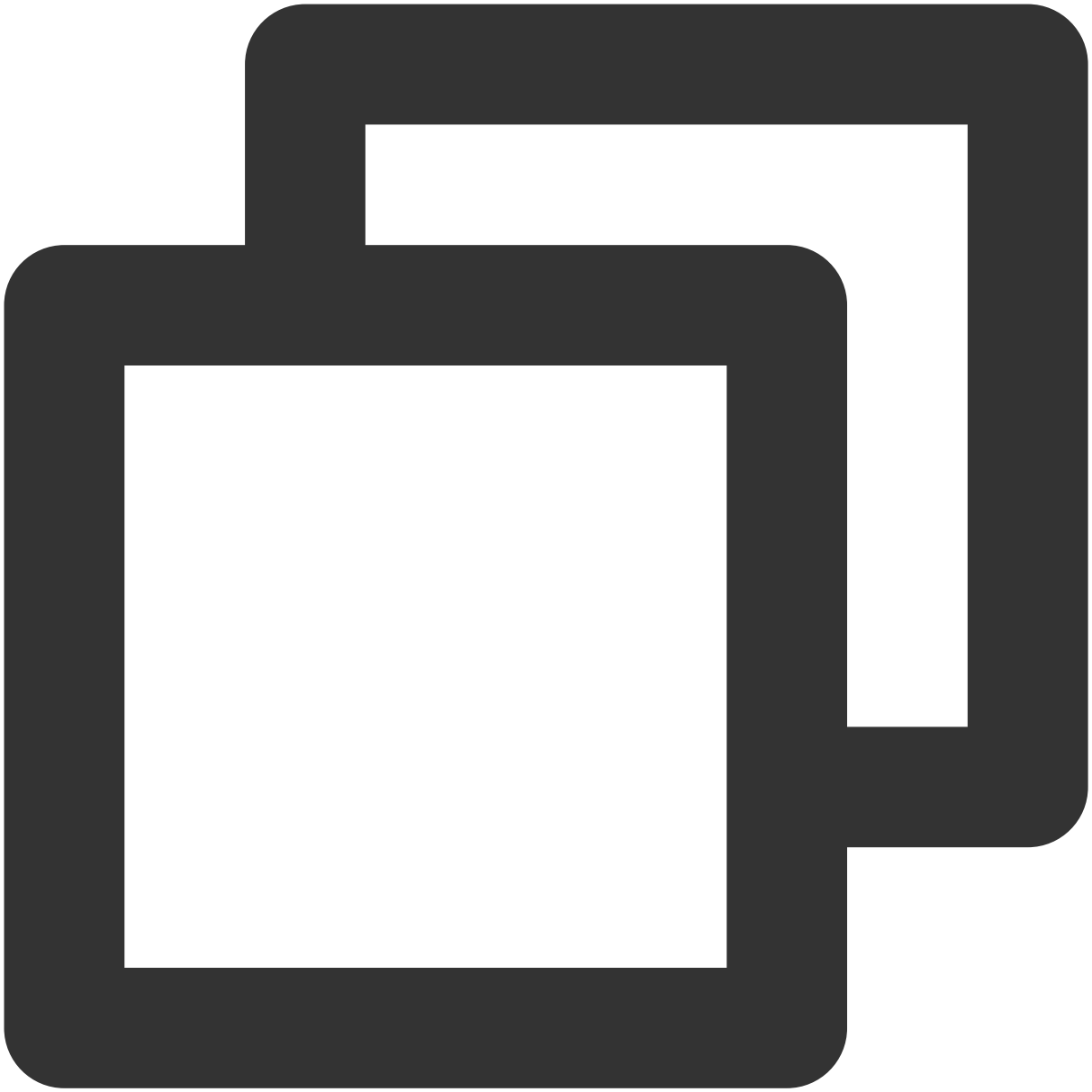


```
https://cvm.tencentcloudapi.com/?Action=RunInstances
  &Version=2017-03-12
  &Placement.Zone=ap-guangzhou-2
  &ImageId=img-pmqg1cw7
  &UserData=IyEvYmluL2Jhc2gKZWNobyAiSGVsbG8gVGVuY2VudCBDbG91ZC4iCg==
  &<パブリックリクエストパラメータ>
```

実行ログの確認

サーバーの作成に成功すると、次のコマンドを実行して、スクリプト実行ログを確認することができます：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
cat /var/log/cloud-init-output.log
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

カスタムデータを設定する(Windows CVM)

最終更新日：：2023-02-01 10:21:53

ユースケース

CVMを作成する時に、**カスタムデータ**を指定することでインスタンスを構成できます。CVMを**初回起動**する時に、カスタムデータがテキスト形式でCVMに渡され、実行されます。一度に複数台のCVMを購入する場合、カスタムデータは、すべてのCVMの初回起動時にこのテキストを実行します。
本書では、Windows CVMの初回起動時に、PowerShell形式のスクリプトを渡すことを例として説明します。

注意事項

カスタムデータをサポートするWindows OSには次のものが含まれています：
Windows Server 2019データセンター版 64ビット英語
Windows Server 2016データセンター版 64ビット英語
Windows Server 2012 R2データセンター版 64ビット英語
CVMの初回起動時のみ、テキストを渡すことでコマンドを実行します。
カスタムデータのコンテンツは、Base64コーディングの前に16KBを超えてはいけません。
カスタムデータはBase64エンコードによって渡されます。Base64ではないスクリプトファイルを直接コピーする場合は、「Base64形式のテキストとして入力」ボックスにチェックを入れないでください。
起動時に、カスタムデータで指定されたタスクを実行すると、サーバーの起動時間が長くなります。数分間待ってから、タスクが完了した後にタスクが正常に実行されたかどうかをテストすることをお勧めします。
この例では、<powershell></powershell>タグなどのPowerShellタグを使用してWindows PowerShellスクリプトを指定してください。

操作手順

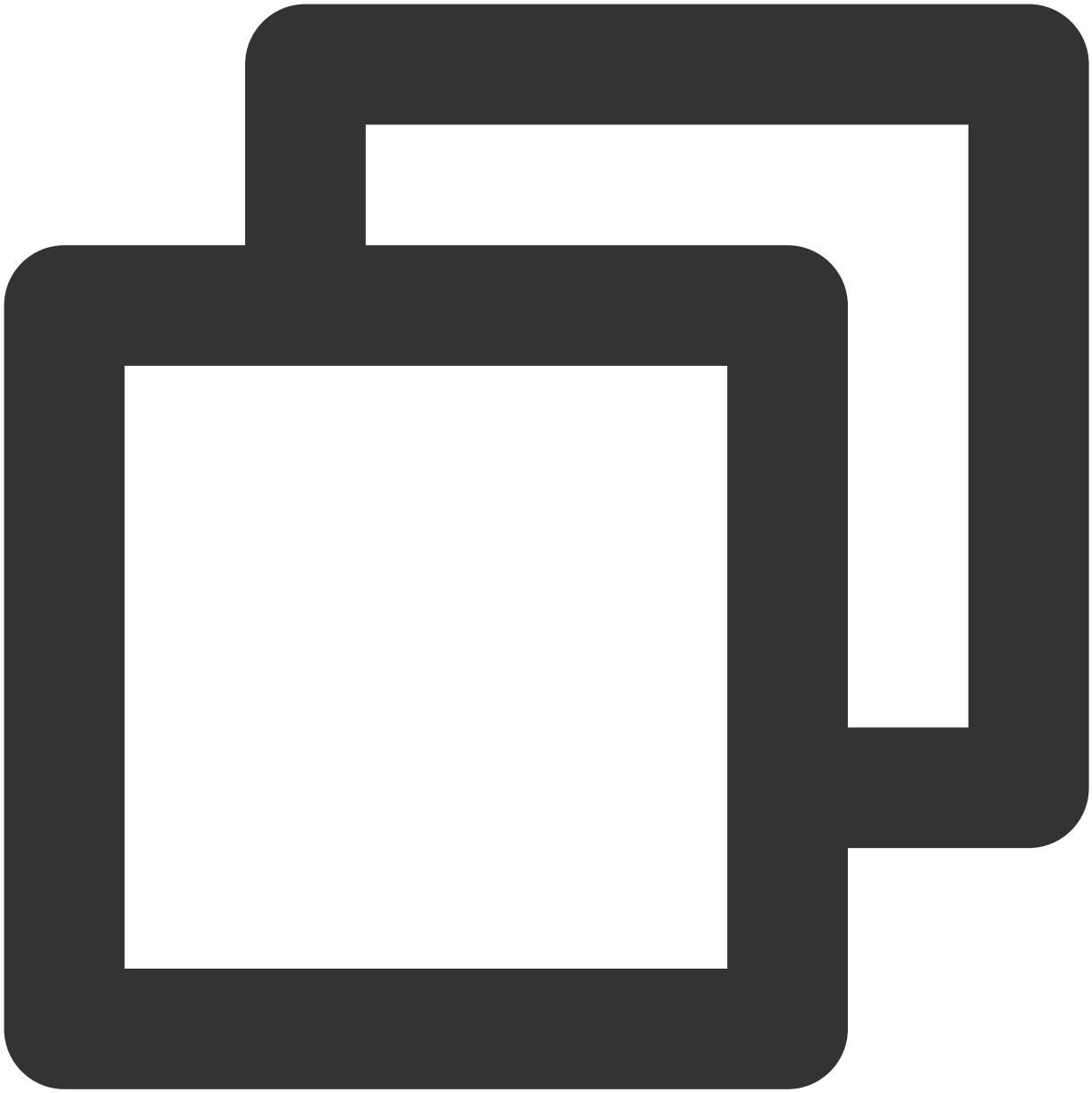
テキストを準備する

実際のニーズに応じてテキストを準備してください。

PowerShellスクリプト

PowerShellタグを使用して、1つのPowerShellスクリプトファイルを準備します。
たとえば、CVMのC:ドライブでコンテンツが「Hello Tencent Cloud.」である「tencentcloud.txt」ファイルを作成する必要がある場合、PowerShellタブを使用して次の内容を準備できます：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

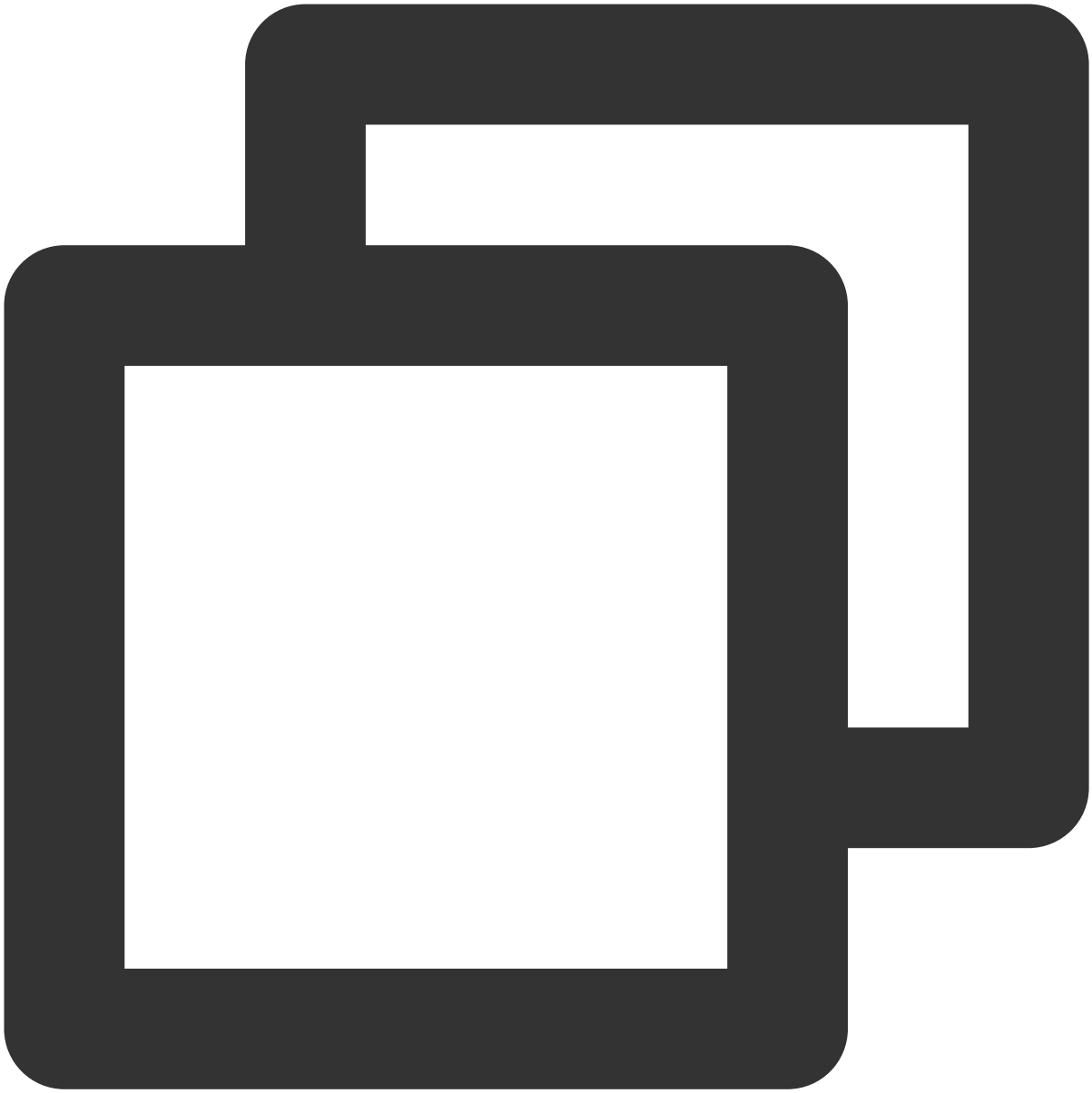


```
<powershell>
"Hello Tencent Cloud." | Out-File  C:\\tencentcloud.txt
</powershell>
```

Base64エンコードスクリプト

1. 次のコマンドを実行して、「script_text.ps1」という名前の PowerShellスクリプトファイルを作成します。

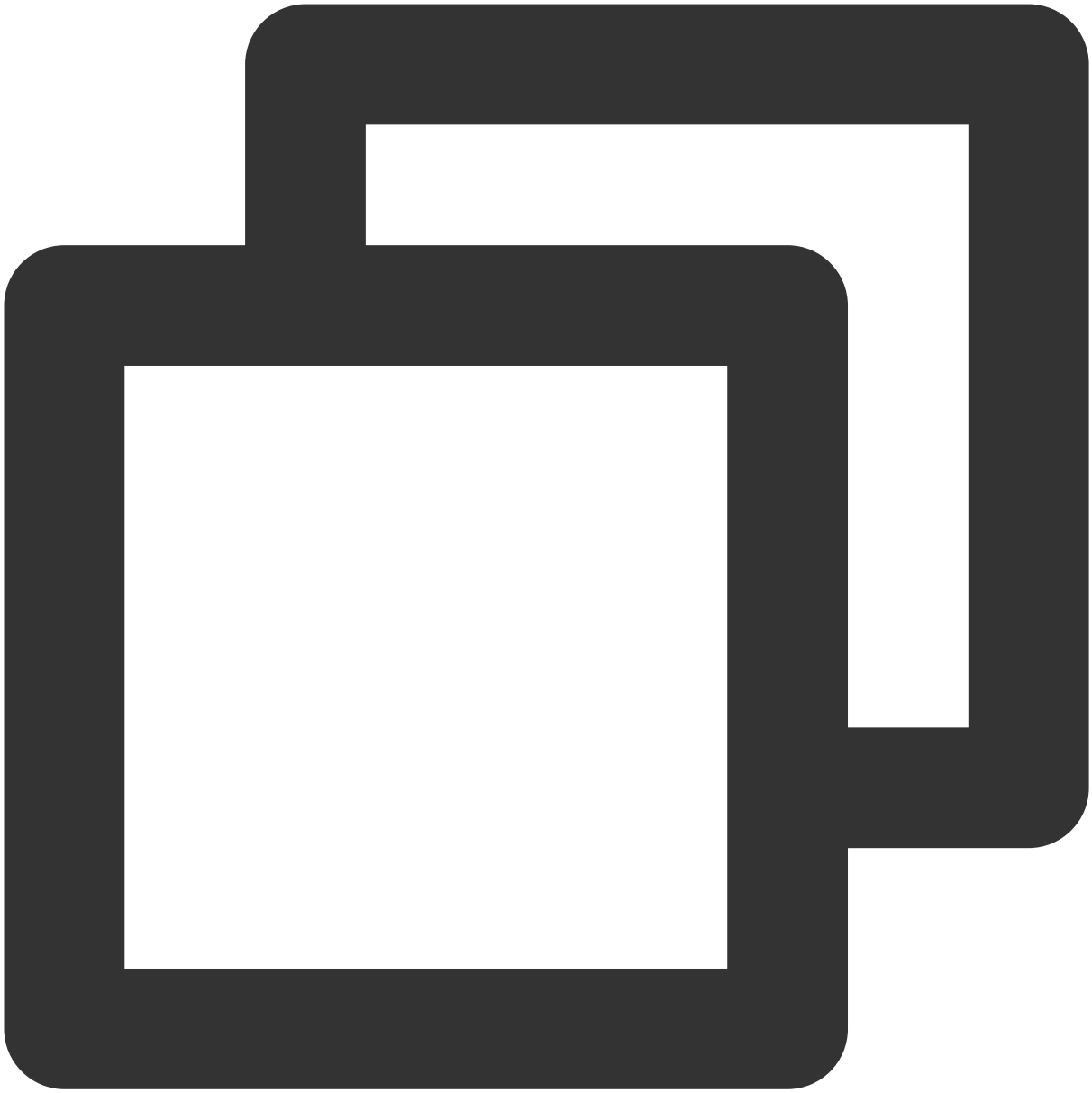
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vi script_text.ps1
```

2. **i**を押して編集モードに切り替え、次の内容を参照し、「script_text.ps1」スクリプトファイルに記述して保存します。

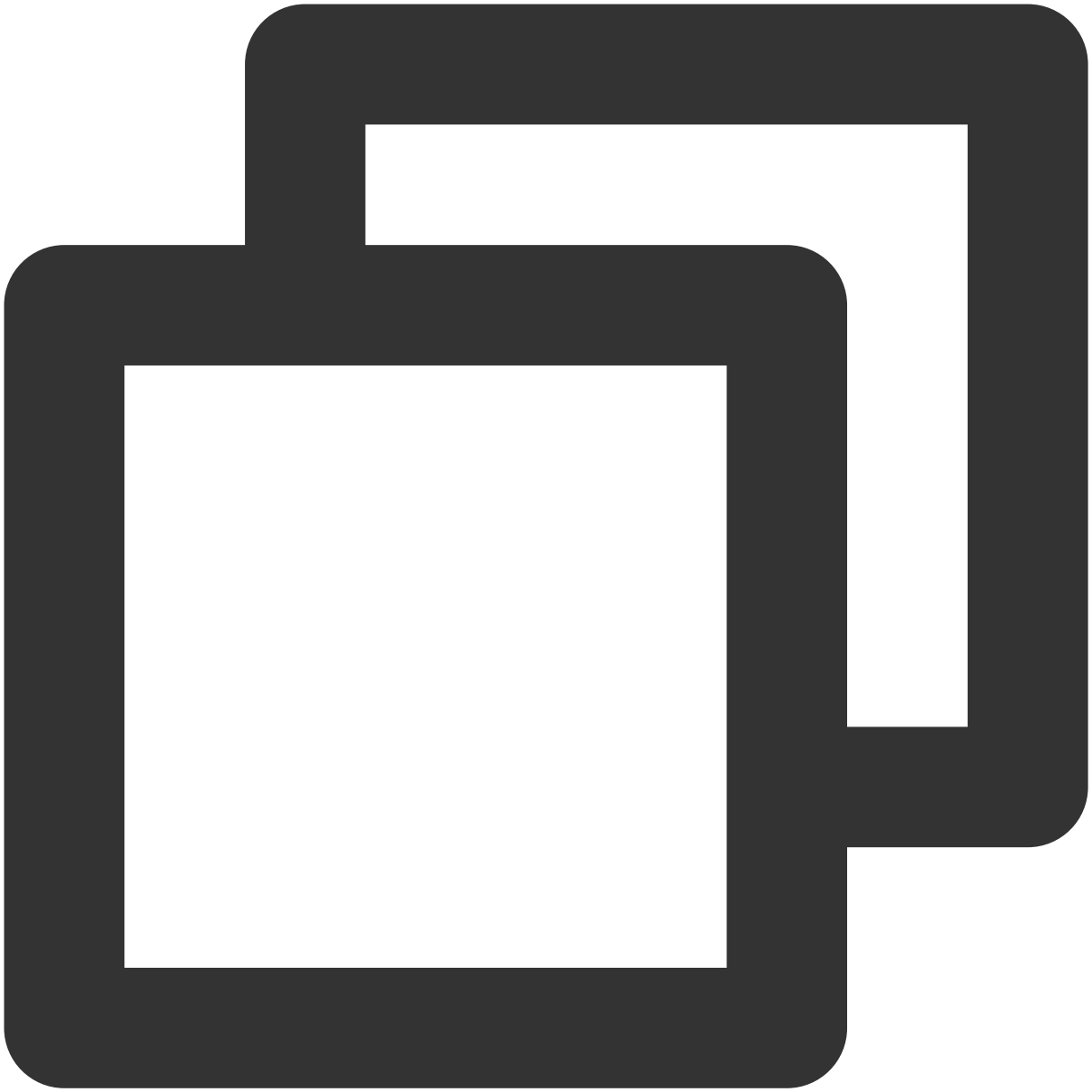
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
<powershell>
"Hello Tencent Cloud." | Out-File  C:\\tencentcloud.txt
</powershell>
```

3. 次のコマンドを実行して、「script_text.ps1」スクリプトファイルに対してBase64エンコーディング操作を実行します。

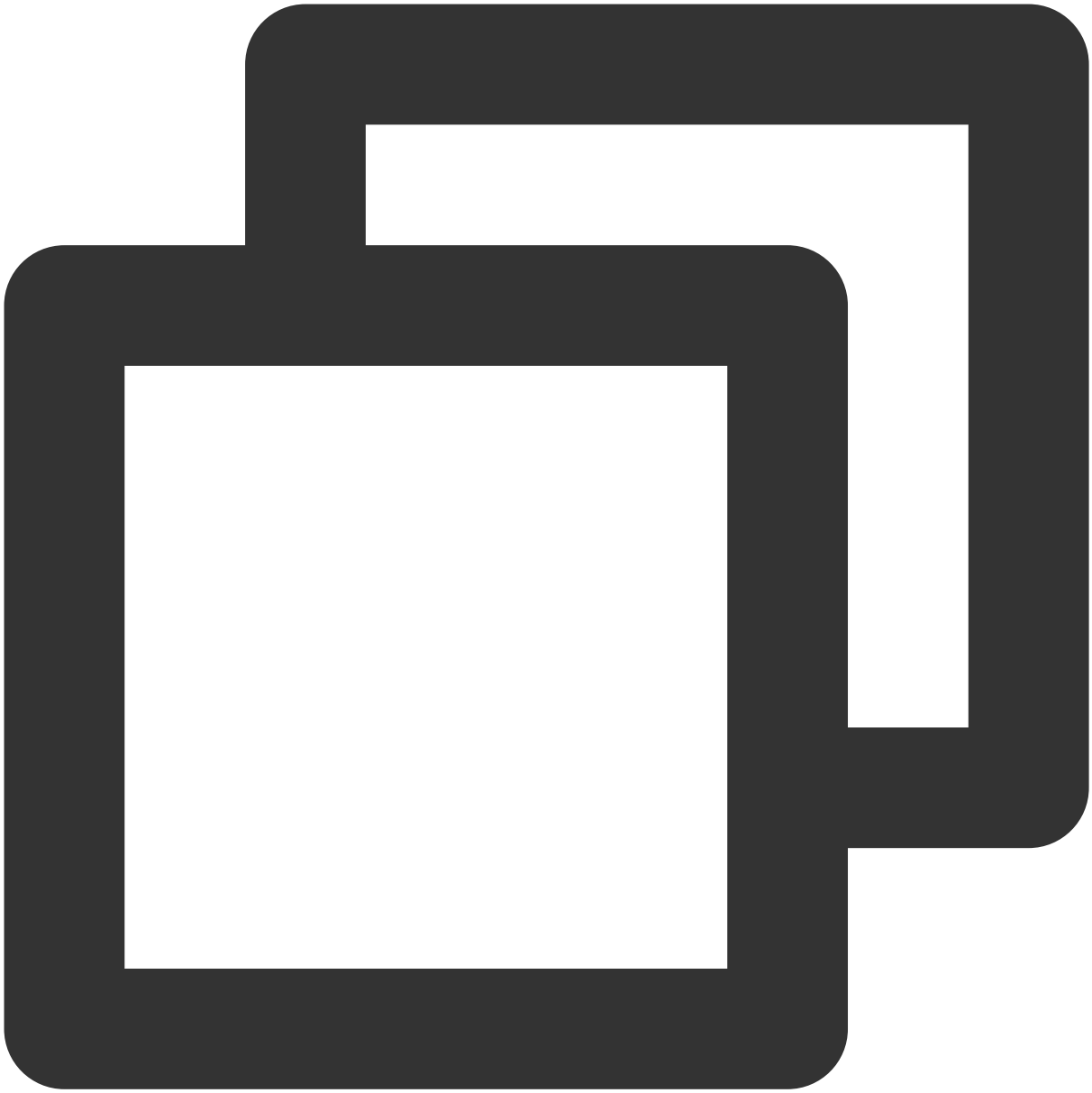
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
base64 script_text.ps1
```

次の情報が返されます：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



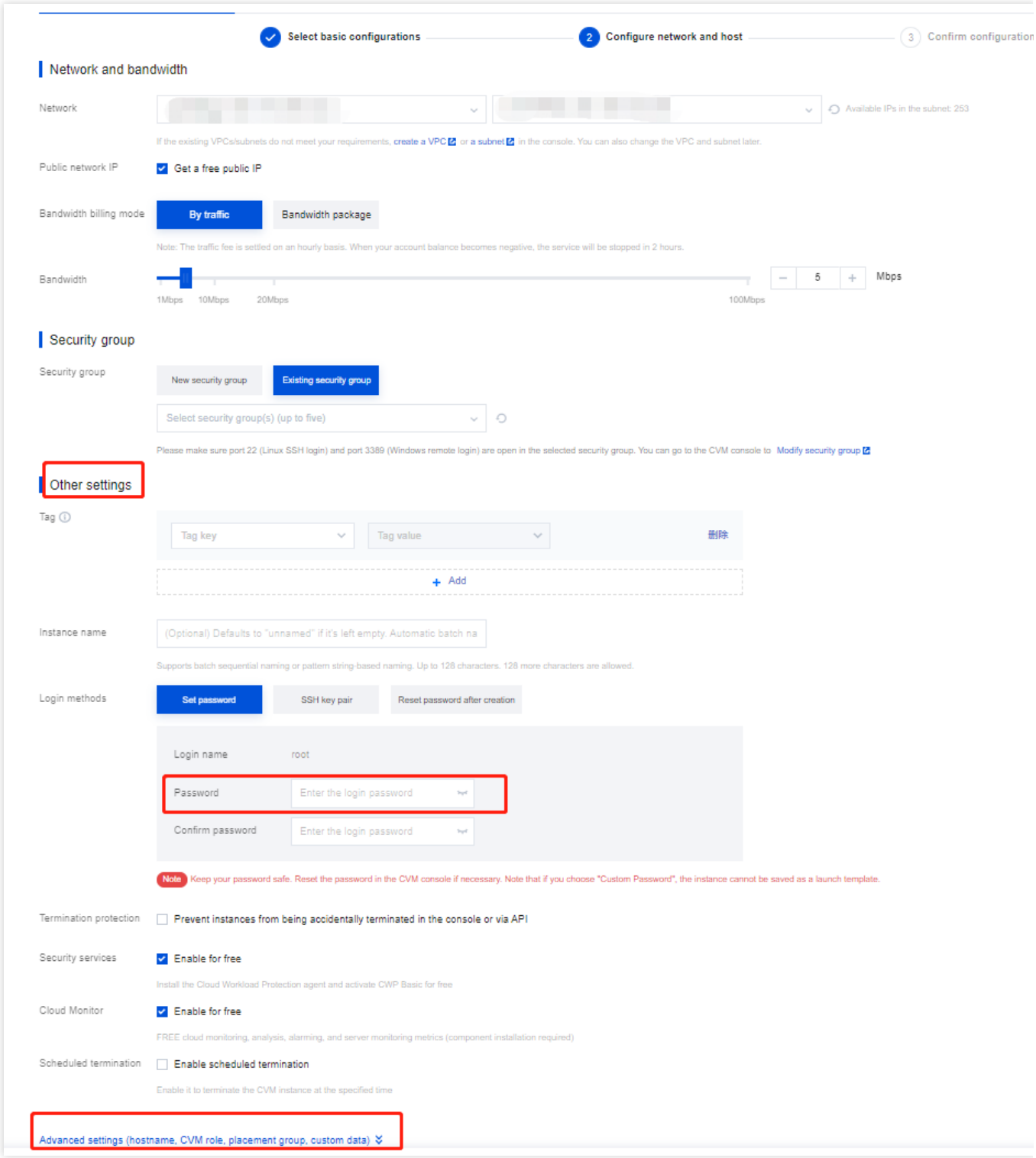
```
PHBvd2Vyc2hlbGw+CiJIZWxsbyBUZW5jZW50IENsb3VkLiIgfCBPdXQtRmlsZSAgQzpcdGVuY2VudGNsb3V
```

テキストを渡す

インスタンスを起動するさまざまな方法が提供されます。主に次の2つの方法があり、実際のニーズに応じて選択してください：
公式サイトまたはコンソールから渡す
APIから渡す

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. 下図に示すように、インスタンスの作成 を参照してインスタンスを購入し、「2.ネットワークとホストの設定」の**他の設定**から**詳細設定**をクリックしてください：

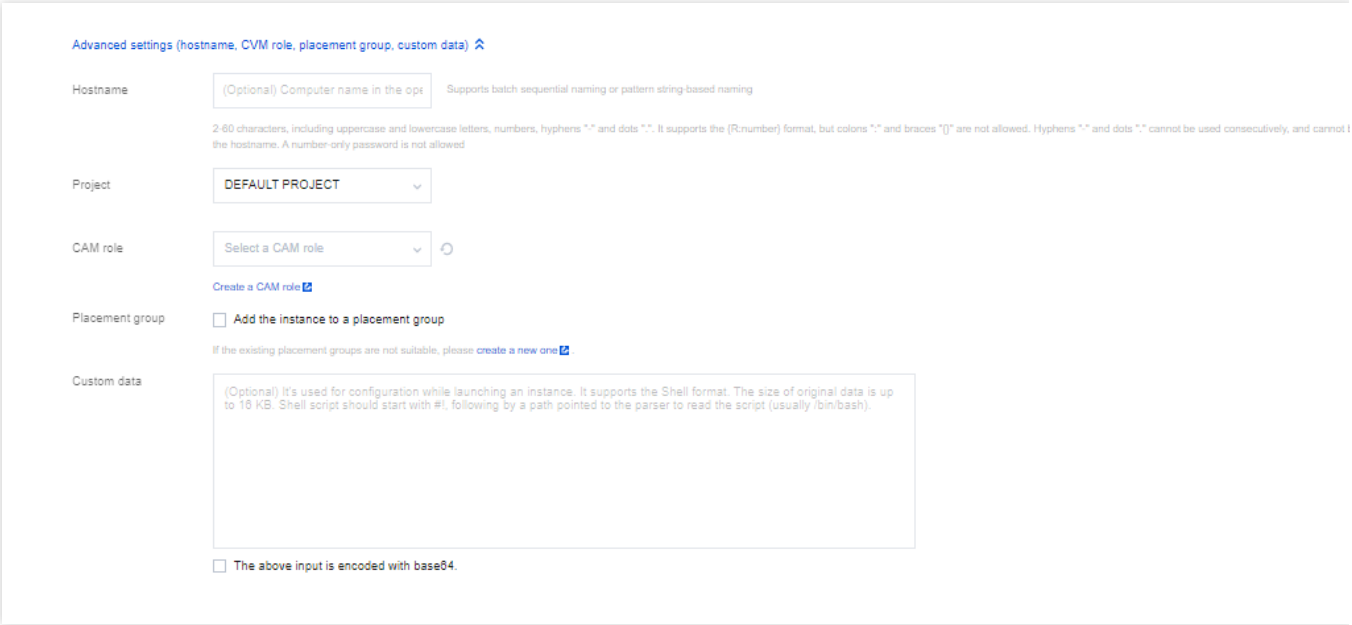


2. 「詳細設定」では、実際のニーズに応じて、「カスタムデータ」のテキストボックスに用意されたテキスト内容を入力します。

PowerShellスクリプト：PowerShell スクリプト を直接入力します。

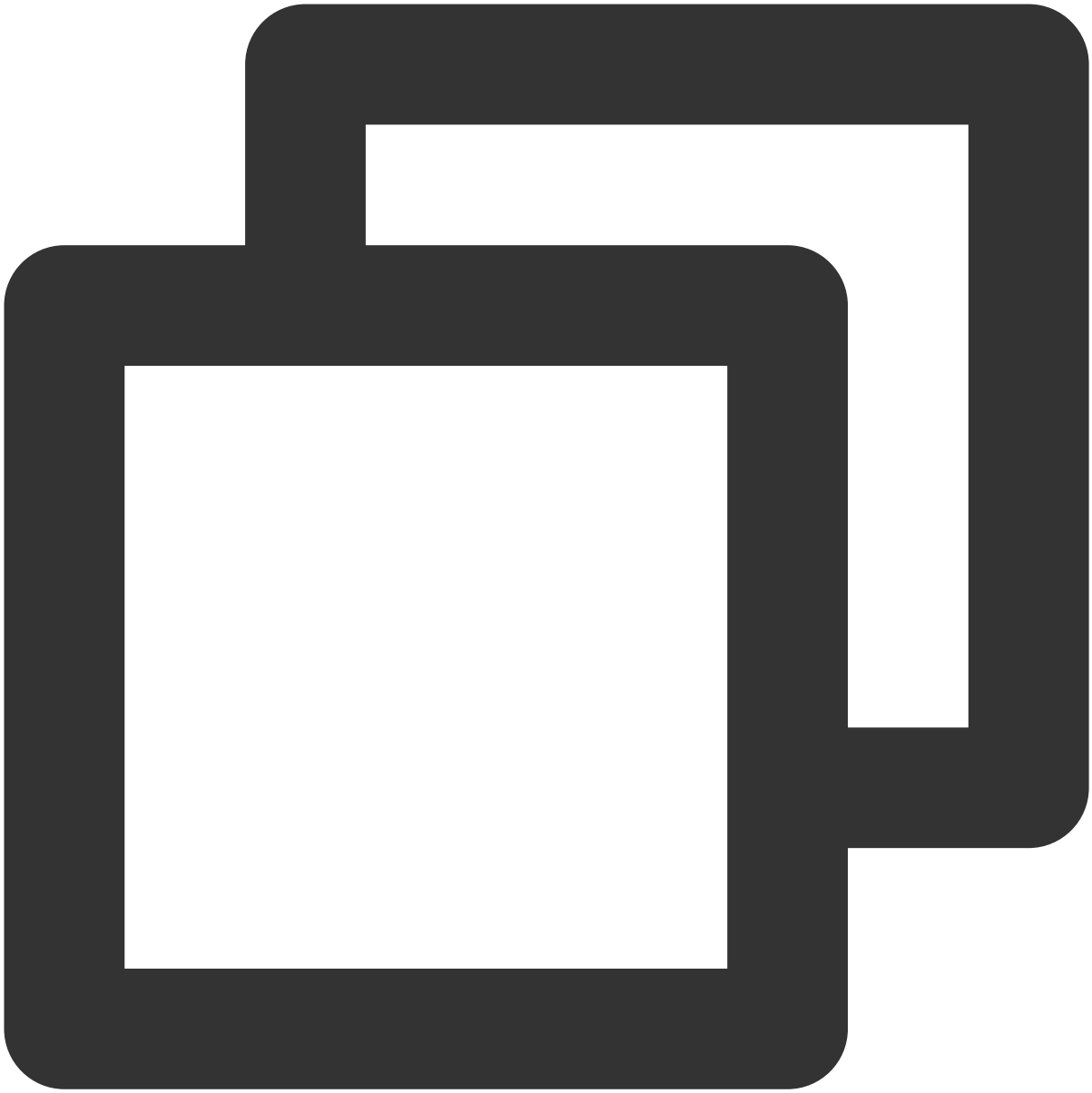
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Base64エンコードスクリプト：下図のように、まず「上記の入力はBase64エンコードを使用しています」にチェックを入れてから、Base64エンコードスクリプト を入力する必要があります：



3. 画面情報に従って逐次に操作し、CVMの作成を完了します。
APIを介してCVMを作成する場合、Base64コーディングスクリプト で返されたコーディング結果をRunInstancesインターフェースのUserDataパラメータに代入することにより、テキストを渡すことができます。
たとえば、UserDataパラメータ付きのCVMのリクエストパラメータを作成する場合、例は次のとおりです：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



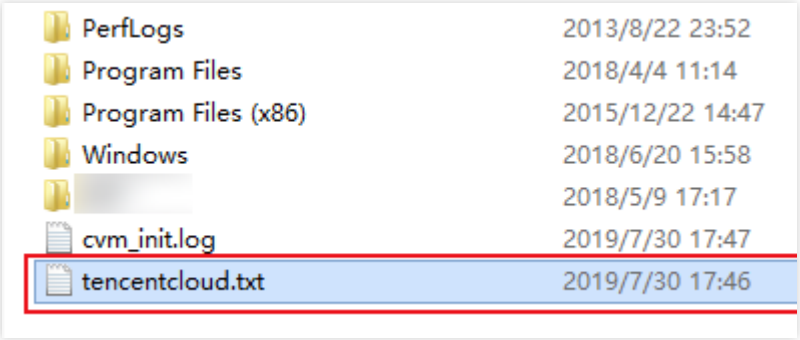
```
https://cvm.tencentcloudapi.com/?Action=RunInstances
&Version=2017-03-12
&Placement.Zone=ap-guangzhou-2
&ImageId=img-pmqg1cw7
&UserData=PHBvd2Vyc2hlbGw+CiJIZWxsbyBUZW5jZW50IENsb3VkLiIgfCBPdXQtRmlsZSAuXHRlbmNlb
&<パブリックリクエストパラメータ>
```

カスタムデータの設定を検証する

1. CVMにログインします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. OS画面で、 C:ドライブを開き、「tencentcloud.txt」テキストファイルがあるかどうかを確認します。
下図に示すように、 `tencentcloud.txt` テキストファイルが存在する場合、設定が成功したことを意味します：



実行ログの確認

`C:\\Program Files\\Cloudbase Solutions\\Cloudbase-Init\\log\\cloudbase-init.log` ファイルを確認すると、スクリプトの実行ログを取得できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Windows CVM Operations Manual
ファイルをアップロードする
ファイルを Windows のCVMにアップロードする

最終更新日：：2020-01-08 14:55:53

ユースケース

Windows CVMにファイルをアップロードする方法は通常MSTSCリモートデスクトップ接続（Microsoft Terminal Services Client）を使用することです。このドキュメントでは、ローカルWindowsコンピューターのリモートデスクトップ接続を使用して、Windows CVMにファイルをアップロードする方法を説明します。

前提条件

Windows CVM がパブリックネットワークにアクセスできることを確認してください。

操作手順

以下の手順はWindows 7 OSのローカルコンピューターを例として説明します。詳細な操作手順はOSによってわずかに異なります。

1. ローカルコンピューターで、ショートカットキー【Windows + R】を使用して、【実行】ウィンドウを開きます。
2. ポップアップされた【実行】ウィンドウで、** mstsc **を入力し、【OK】をクリックして、【リモートデスクトップ接続】ダイアログボックスを開きます。
3. 【リモートデスクトップ接続】ダイアログボックスで、CVMのパブリックIPアドレスを入力し、【オプション】をクリックします。
4. 【全般】タブで、CVMのパブリックIPアドレスとユーザー名Administratorを入力します。 以
5. 【ローカルリソース】タブを選択し、【詳細】をクリックします。
6. ポップアップされた【ローカルデバイスとリソース】ウィンドウで、【ドライバー】モジュールを選択し、Windows CVMにアップロードするファイルがあるローカルハードディスクを選択して、【OK】をクリックし

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ます。

7. ローカル設定が完了したら、【接続】をクリックして、Windows CVMにリモートログインします。
8. Windows CVMで、【スタート】>【コンピューター】をクリックして、CVMにマウントされたローカルディスクを確認できます。
9. ローカルディスクをダブルクリックして開き、コピー対象のローカルファイルをWindows CVMの他のディスクにコピーします。これで、ファイルのアップロード操作を完了します。
   例えば、ローカルディスク（E）からAファイルをWindows CVMのC：ドライブにコピーします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ソフトウェアのインストール
PHP をインストールして設定する

最終更新日：：2020-01-08 11:50:50

ユースケース

本ドキュメントはWindows Server 2012 R2 OS CVMを例として、Windows CVMでPHP 7.0及び以前のバージョン、またPHP 7.0以降のバージョンの設定方法をご紹介します。

前提条件

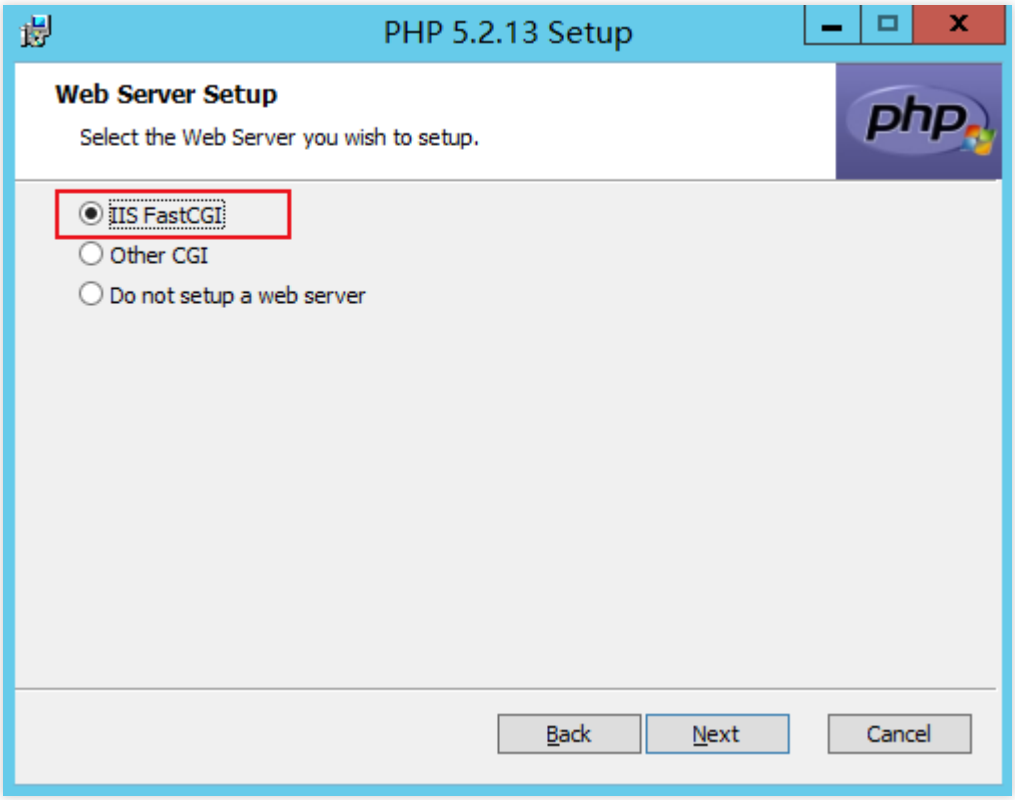
Windows CVMにログインし、またCVMにIIS ロールの追加及びインストールしました。詳細について、IISのインストールと設定 をご参照ください。
Windows CVMのパブリックIPアドレスを取得済みです。詳細について、 パブリックIPアドレスの取得 をご参照ください。

操作手順

PHP 7.0及び以前のバージョンをインストールする

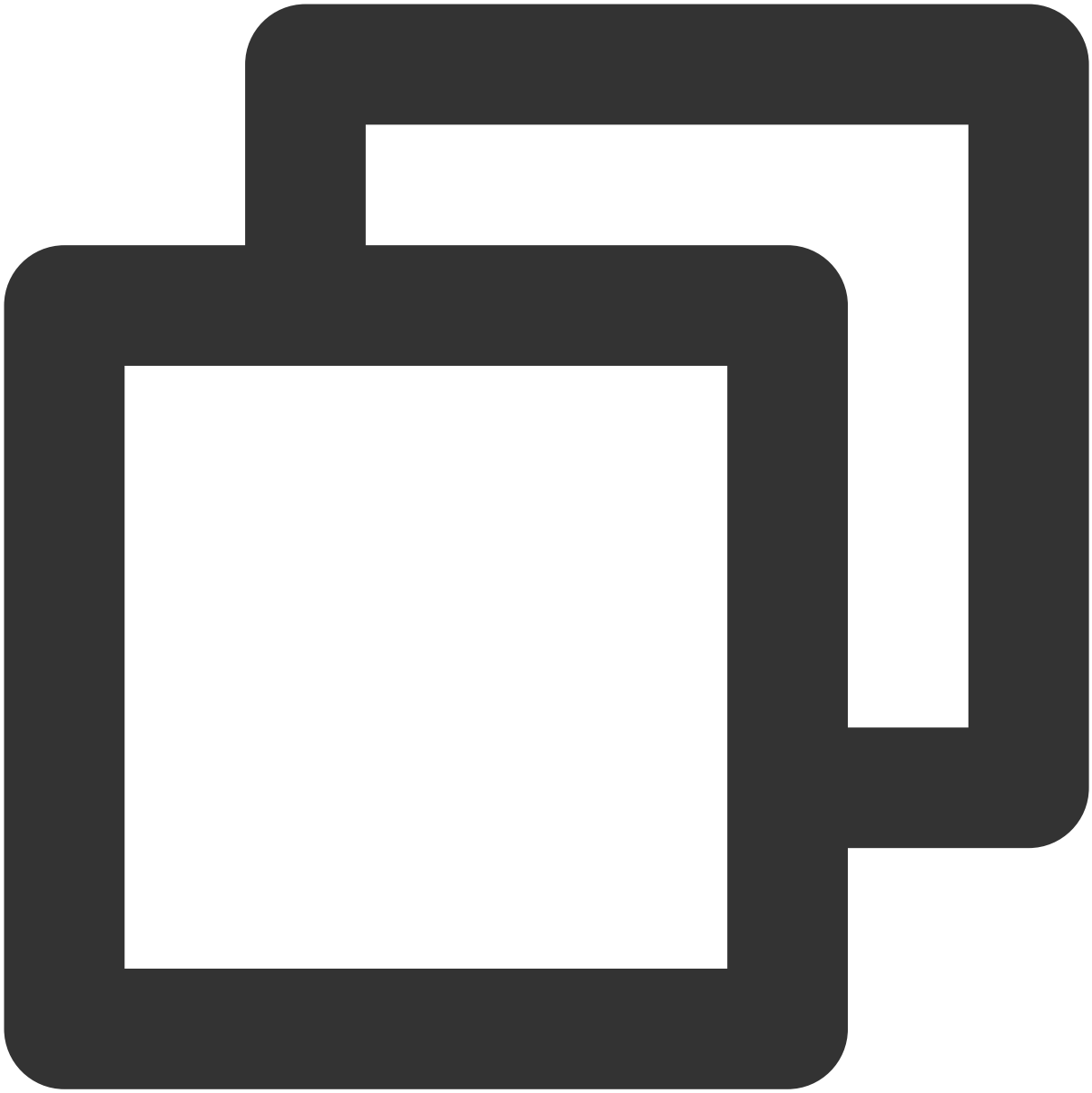
説明：
PHP 公式サイト はすでにPHP 7.0及び以前のバージョンのインストールパッケージのダウンロードサービスをご提供していません。PHP 7.0及び以前のバージョンを利用したい場合は、お客様自らCVMで検索してダウンロードするか、またはローカルでダウンロードしてから、CVMにアップロードすることもできます。どのようにWindows CVMにファイルをアップロードするかについては、Windows CVMへのファイルアップロード をご参照ください。以下の操作手順はPHP 5.2.13 バージョンを例として説明します。
1. CVMでPHPのインストールパッケージを開きます。
2. インストールインターフェースの指示により、【Next】をクリックします。
3. 「Web Server Setup」インターフェースで、【IIS FastCGI】を選択して、【Next】をクリックします。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



4. インストールインターフェースの指示により、PHPをインストールします。
5. `C:/inetpub/wwwroot` ディレクトリの配下で、PHPファイルを作成します。例えば、 `hello.php` のようなファイルを作成します。
6. 新しく作成された `hello.php` ファイルに、下記の内容を記入して保存します。

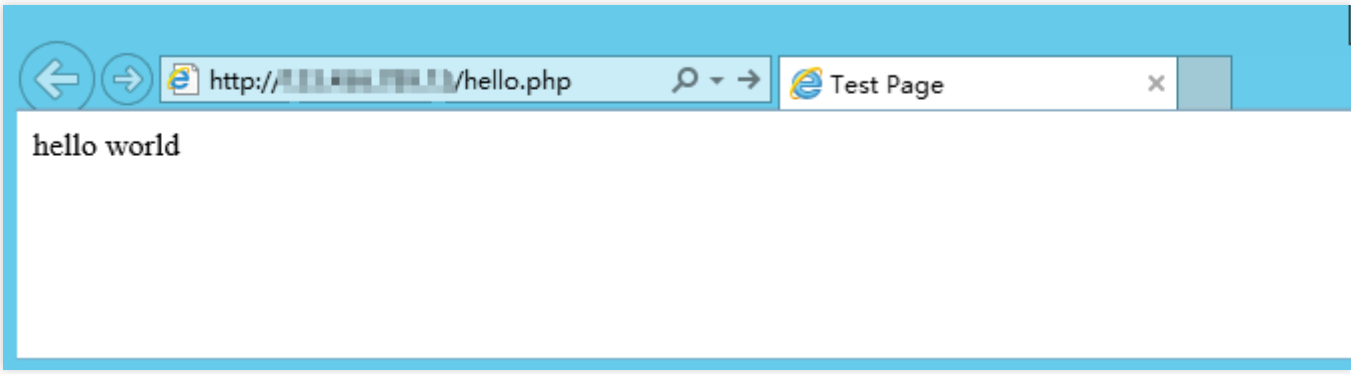
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
<?php
echo "<title>Test Page</title>";
echo "hello world";
?>
```

7. OSインターフェースで、ブラウザを開いて `http://Windows CVMのパブリックIPアドレス/hello.php` にアクセスして、環境設定が成功したかどうかを確認します。
以下のような画面が表示された場合、設定が成功しました：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



PHP 7.0以降のバージョンをインストールする

PHP 7.0以降のバージョンはzipファイルとdebug packの二種類の方式を通してインストールできます。以下の操作は、zip ファイル方式により、Windows Server 2012 R2環境でPHPのインストールを例として説明します。

ソフトウェアのダウンロード

1. CVMで、PHP 公式サイト にアクセスして、PHP zipのインストールパッケージをダウンロードします。下図に示すように：

説明：

IISでPHPを実行する際に、Non Thread Safeバージョンのx86インストールパッケージを選択する必要があります。お客様がWindows Server 32bit (x64)OSでPHPをインストールしたい場合は、IISをApacheに置き換え、Non Thread Safeバージョンのx64インストールパッケージを選択する必要があります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. ダウンロードしたPHPのインストールパッケージの名前により、 Visual C++ Redistributableのインストールパッケージをダウンロードしてインストールします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

PHPのインストールパッケージは、該当するVisual C++ Redistributableのインストールパッケージをダウンロードしてインストールします。下表に示すように：

PHPのインストールパッケージ名	Visual C++ Redistributable インストールパッケージのダウンロードURL
php-x.x.x-nts-Win32-VC16-x86.zip	Microsoft Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2019
php-x.x.x-nts-Win32-VC15-x86.zip	Microsoft Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2017
php-x.x.x-nts-Win32-VC14-x86.zip	Microsoft Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015

仮にダウンロードしたPHPのインストールパッケージの名前は `PHP-7.0.6-nts-Win32-VC14-x86.zip` とする場合は、Microsoft Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015のインストールパッケージをダウンロードして、インストールする必要があります。

インストールと設定

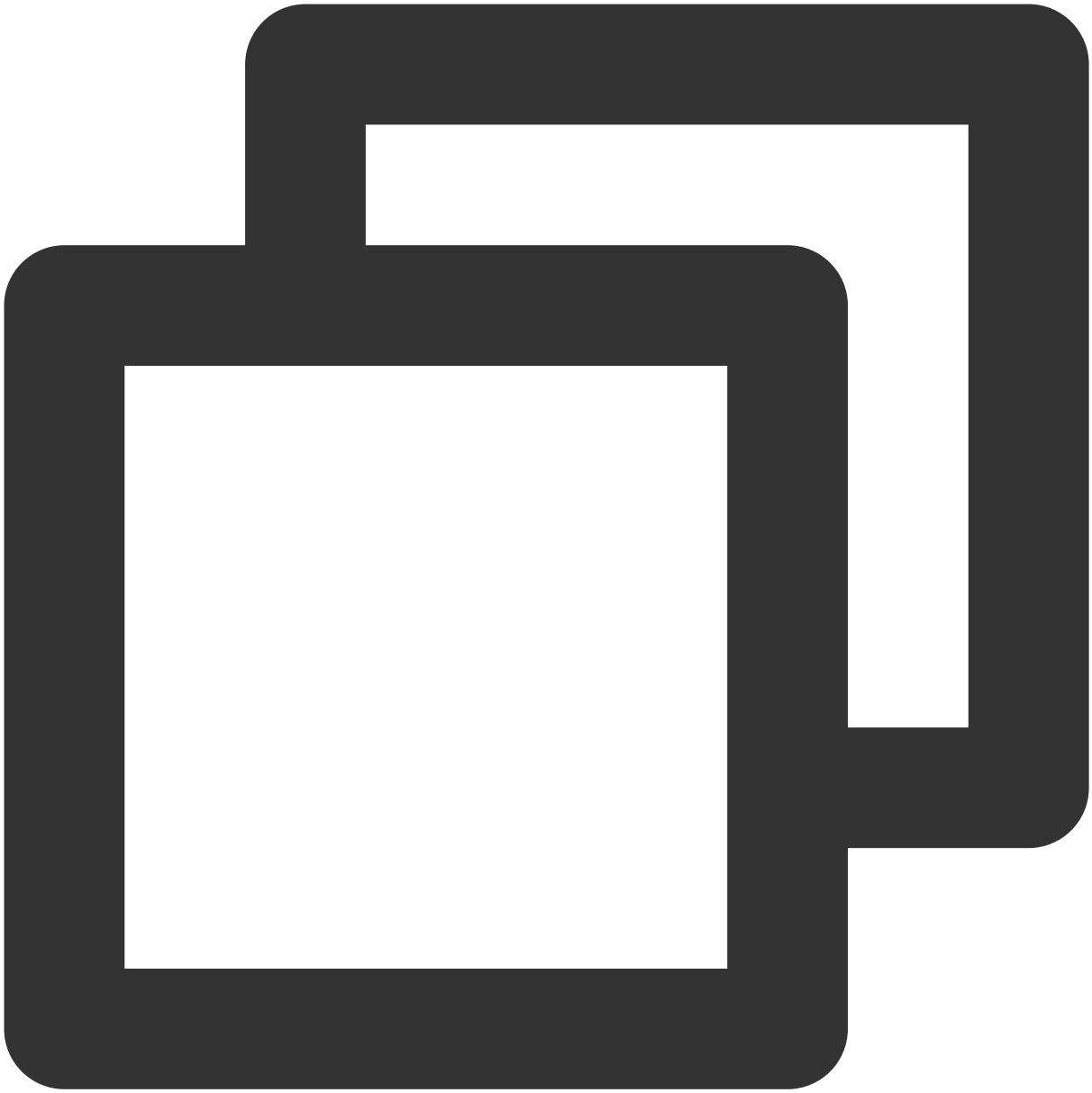
1. ダウンロードしたPHP zipのインストールパッケージを解凍します。例えば、 `C:\\PHP` ディレクトリの配下で解凍します。
2. `C:\\PHP` ディレクトリの配下に `php.ini-production` ファイルをコピーして、またそのファイルの拡張子を `.ini` （ `php.ini` にリネームする）に変更します。
3. OSインターフェースで、

をクリックして、サーバーマネージャーを開きます。
4. サーバーマネージャーの左側のナビゲーションバーで、【IIS】をクリックします。
5. 右側のIIS管理ウィンドウで、**サーバー**欄のサーバー名を右クリックして、**Internet Information Sevices (IIS) マネージャー**を選択します。
6. 開いた「Internet Information Sevices (IIS)マネージャー」ウィンドウで、左側のナビゲーションバーにあるサーバー名をクリックして、サーバーのホームページにアクセスします。下図に示すように：
例えば、10_141_9_72のサーバー名をクリックして、10_141_9_72のホームページにアクセスします。
7. **10_141_9_72 ホームページ**で、**ハンドラマッピング**をダブルクリックして、「ハンドラマッピング」管理インターフェースにアクセスします。
8. 右側の**操作**欄で、**マッピングモジュールの追加**をクリックして、「マッピングモジュールの追加」 ウィンドウを開きます。
9. 開いた「マッピングモジュールの追加」ウィンドウで、下記の情報を記入して、【OK】をクリックします。
主なパラメータ情報下記の通り：
リクエストパス： `*.php` を記入します。
モジュール：「FastCgiModule」を選択します。
実行可能ファイル：PHP zipインストールパッケージの中に、php-cgi.exeファイルを選択します。すなわち `C:\\PHP\\php-cgi.exe` です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

名称：カスタマイズです。例えば、FastCGIを入力します。
10. 表示されるダイアログボックスで、**はい**をクリックします。
11. 左側のナビゲーションバーにある10_141_9_72サーバー名をクリックして、10_141_9_72ホームページに戻ります。
12. **10_141_9_72 ホームページ**で、**デフォルトドキュメント**をダブルクリックして、「デフォルトドキュメント」管理インターフェースにアクセスします。
13. 右側の**操作**欄で、**追加**をクリックして、「デフォルトドキュメントの追加」ウィンドウを開きます。
14. 開いた「デフォルトドキュメントの追加」ウィンドウで、**名称**に `index.php` を記入して、【OK】をクリックします。
15. 左側のナビゲーションバーにある10_141_9_72サーバー名をクリックして、10_141_9_72ホームページに戻ります。
16. **10_141_9_72 ホームページ**で、**FastCGI 設定**をダブルクリックして、「FastCGI 設定」管理インターフェースにアクセスします。
17. 「FastCGI 設定」管理インターフェースで、FastCGI アプリケーションを選択して、**編集**をクリックします。
18. 開いた「FastCGI アプリケーションの編集」ウィンドウで、**ファイルの変更を監視する**を `php.ini` ファイルのパスとして設定します。
19. `C:\\inetpub\\wwwroot` ディレクトリの配下に、、PHPファイルを作成します。例えば、`index.php` のようなファイルを作成します。下図に示すように：
20. 新しく作成された `index.php` ファイルに、以下の内容を記入して保存します。

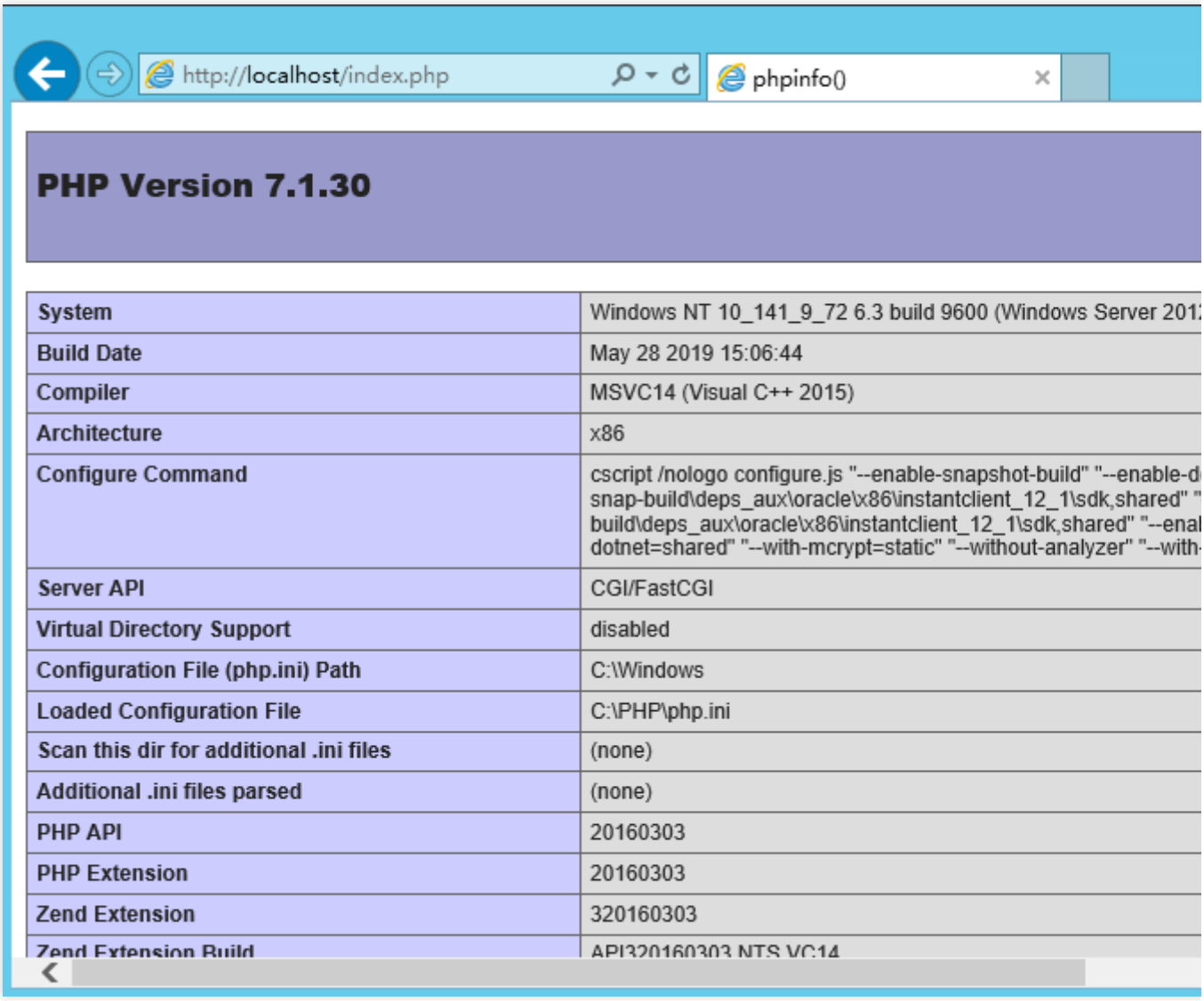
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
<?php
phpinfo();
?>
```

21. OSインターフェースで、ブラウザを開いて `http://localhost/index.php` にアクセスして、環境設定が成功したかどうかを確認します。
以下のような画面が表示された場合、設定が成功しました：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

MySQL をインストールして構築する

最終更新日：：2020-09-03 12:13:22

ユースケース

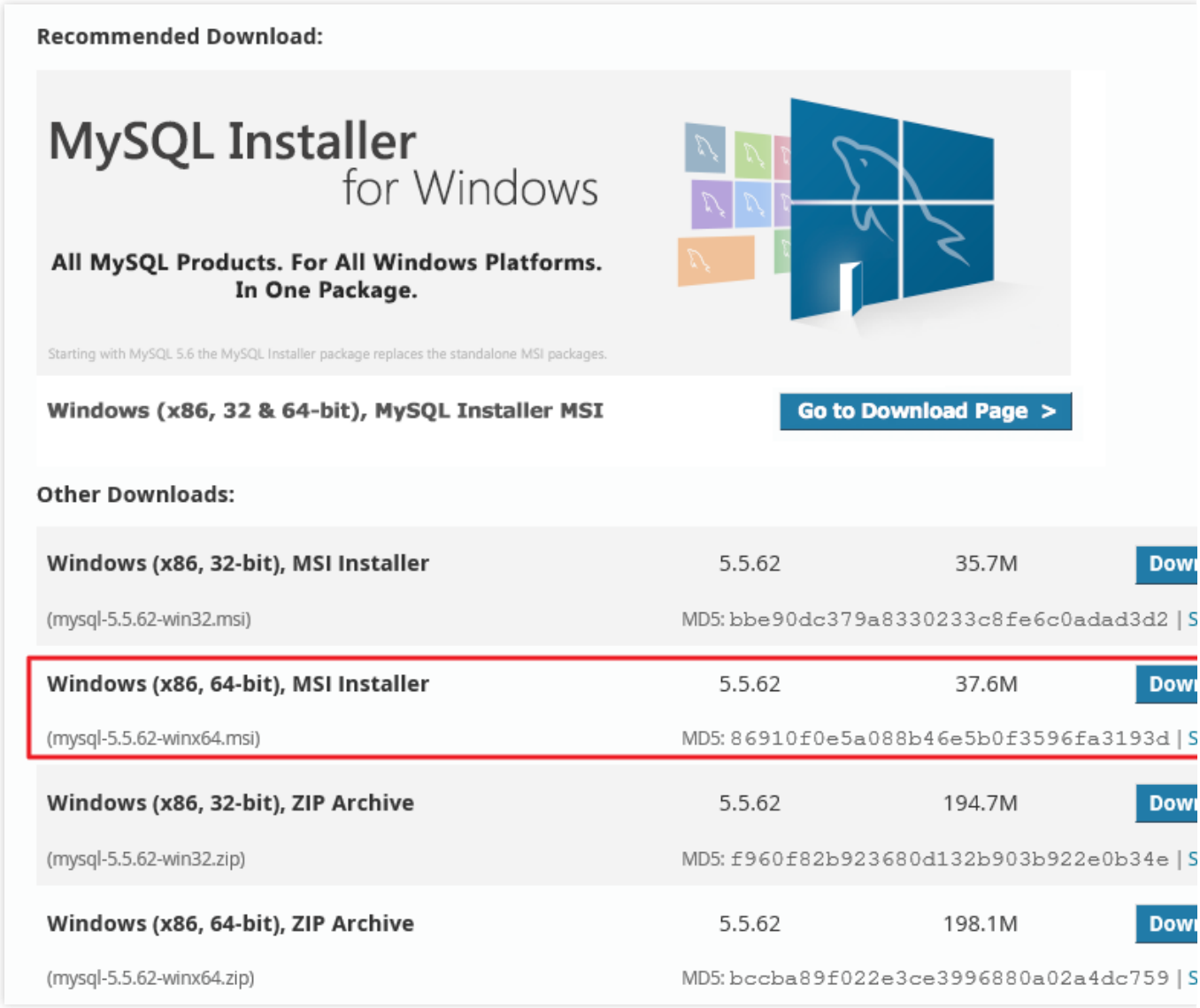
本ドキュメントでは、Windows Server 2012 R2 データセンターバージョン64ビット中国語版OSのCVMを例として、MySQL 5.5の構築を具体的な手順を紹介します。
通常Windows OSではSQL Serverデータベースを使用しますが、SQL Serverは有料製品であるため、利用者が自分で認証する必要があります。また、Tencent Cloud クラウドデータベース TencentDB for SQL Server インスタンス を購入することも可能です。

操作手順

MySQLインストールパッケージをダウンロードする

1. CVMにログインします。
2. CVMからブラウザを開き、`https://dev.mysql.com/downloads/mysql/5.5.html#downloads` にアクセスし、MySQLインストールパッケージをダウンロードします。下図に示すように：

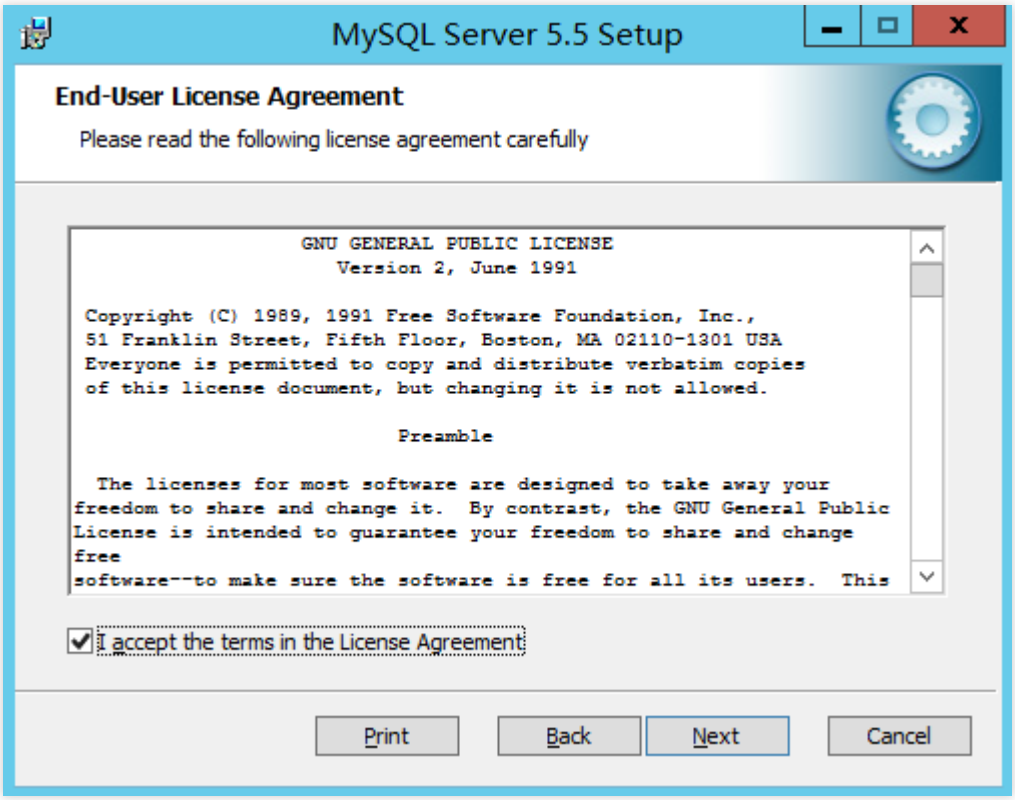
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



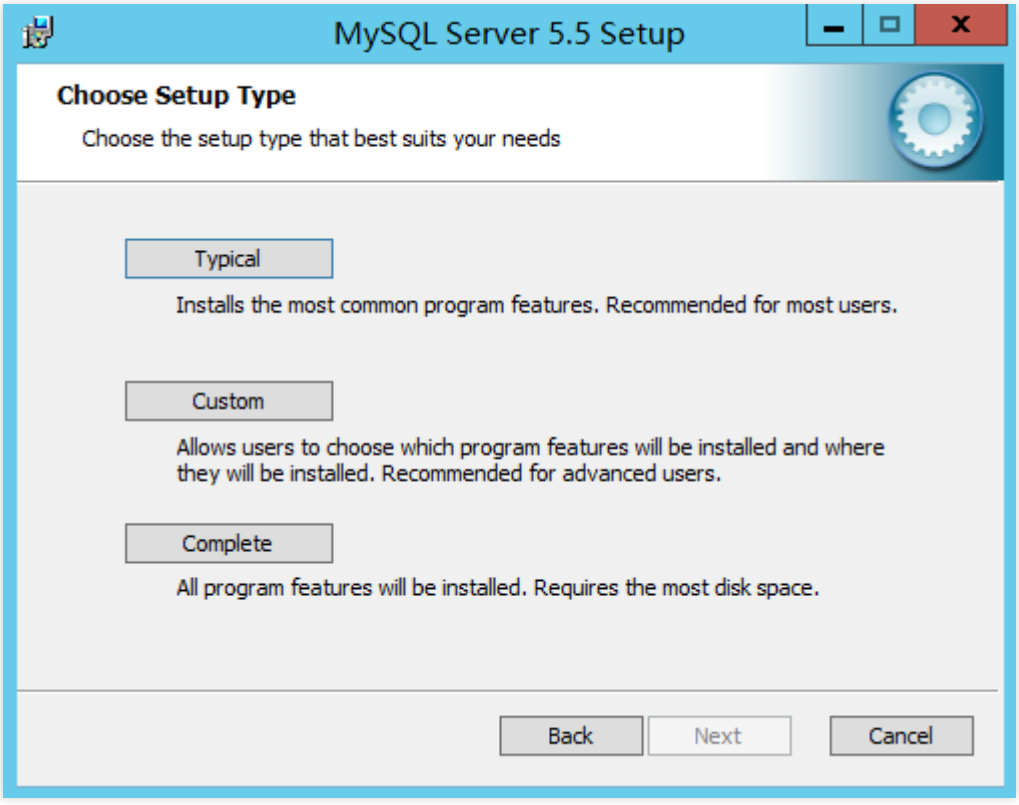
MySQLをインストールする

1. ダブルクリックしてMySQLインストールパッケージをを開き、「MySQL Server 5.5 Setup」のインストールインターフェースで【Next】をクリックします。
2. 【I accept the terms in the License Agreement】をチェックし、【Next】をクリックします。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

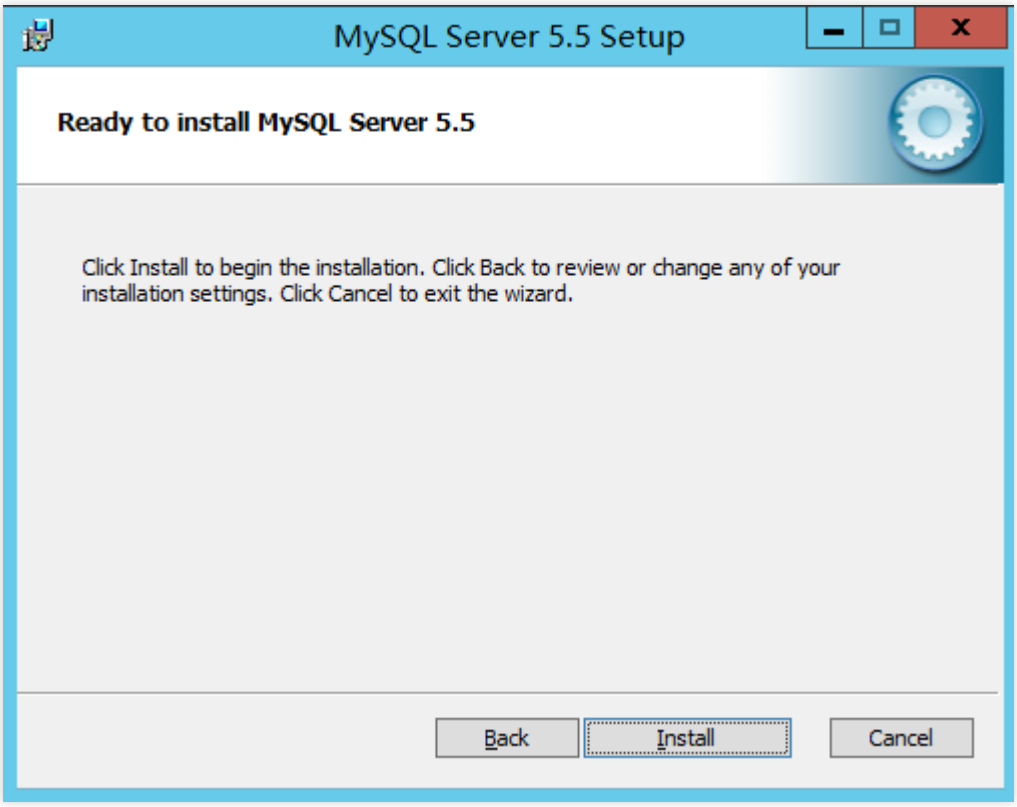


3. 【Typical】をクリックします。下図に示すように：
Typicalは、典型的なインストール方式を示します。



4. 【Install】をクリックし、MySQLをインストールします。下図に示すように：

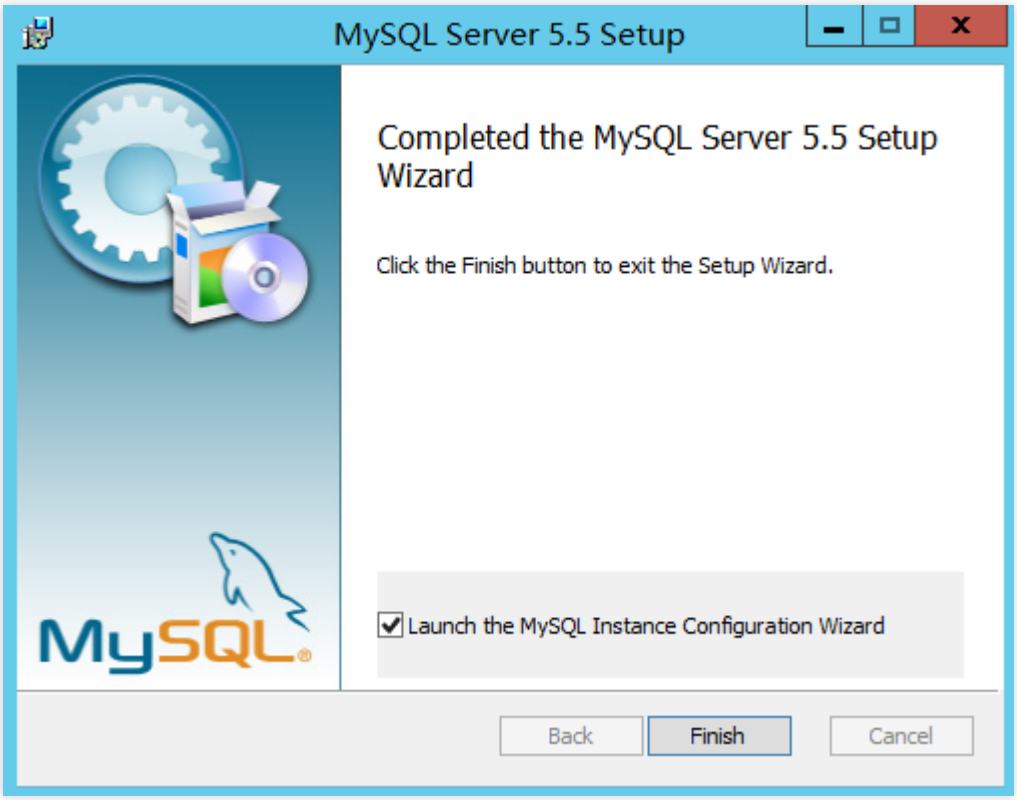
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



5. 【Luanch the MySQL Instance Configuration Wizard】をチェックし、【Finish】をクリックします。下図に示すように：

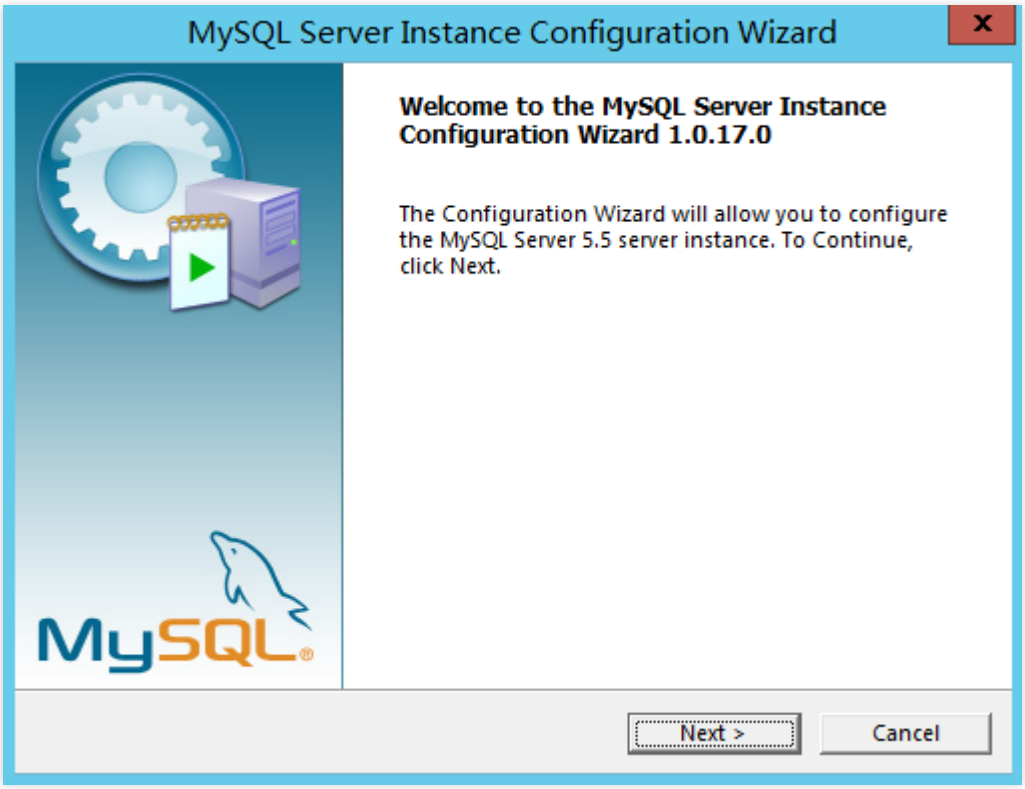
MySQLインストールウィンドウを閉じ、MySQLの構成ウィザードインターフェイスに入ります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



MySQLを構成する

1. MySQLの構成ウィザードインターフェイスで、【Next】をクリックします。下図に示すように：

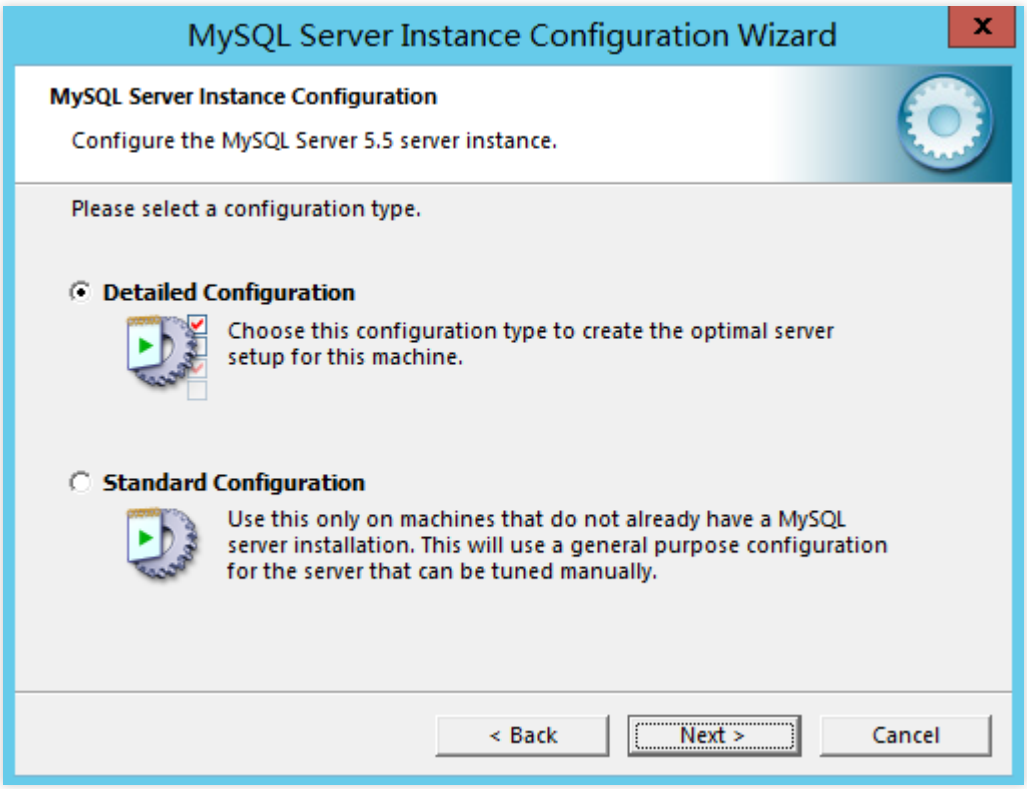


©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. 【Detailed Configuration】をチェックし、【Next】をクリックします。下図に示すように：

説明：

以下の手順は Detailed Configuration を例とします。



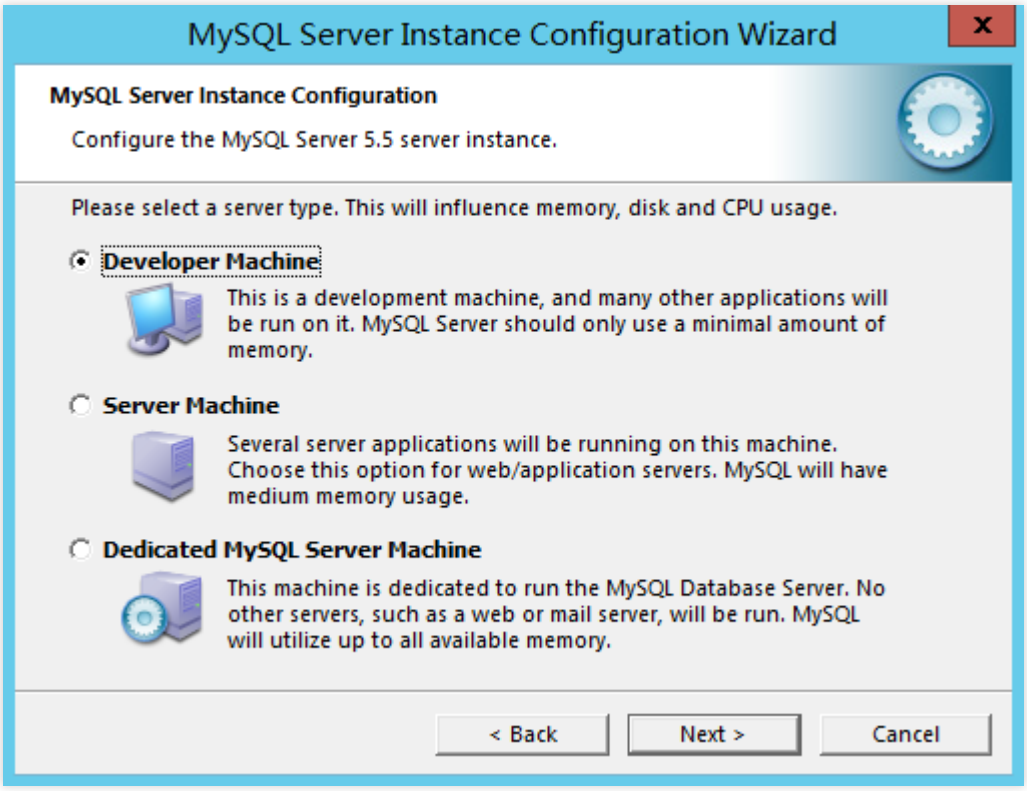
Detailed Configuration（詳細構成）はもっと細かい粒度でサーバーを構成したい上級ユーザーに適しています。Standard Configuration（標準構成）はMySQLをすばやく起動したいがサーバー構成を考慮することなくの新規ユーザーに適しています。ただし、標準構成はOSと交換性がない可能性があるため、詳細構成を選択することをお勧めします。

3. 【Developer Machine】を選択し、【Next】をクリックします。下図に示すように：

説明：

以下の手順は Developer Machine を例とします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



Developer Machine（開発者マシーン）は個人用デスクトップワークステーションの定番です。複数のデスクトップアプリケーションを同時に実行している場合、MySQLのサーバーがリソース使用率最小限の状態に構成します。

Server Machine（サーバーマシーン）はサーバーを意味します。MySQLサーバーはその他のアプリケーションと一緒に実行できます。例えば、FTP、email及びwebサーバー。MySQLサーバーが適切な比率でリソースを占める状態に構成します。

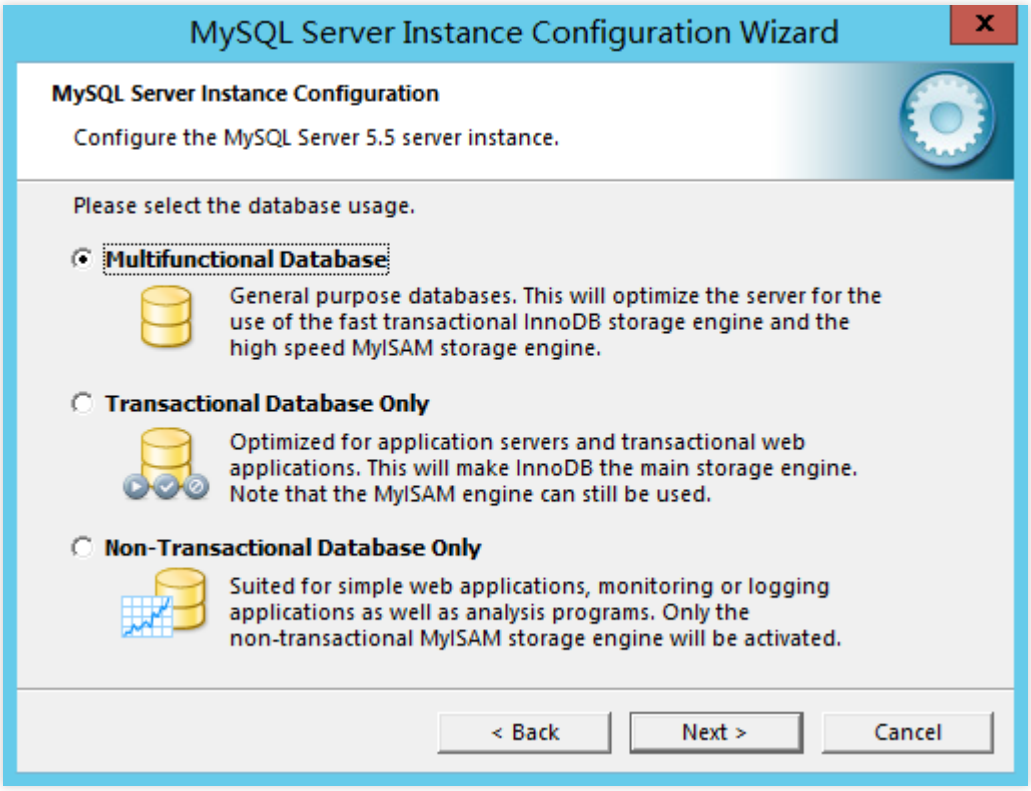
Dedicated MySQL Server Machine（MySQL専用サーバー）はMySQLサービスのみを実行するサーバーです。MySQLサーバーがすべてのリソースを使用できる状態に構成します。

4. 【Multifunctional Database】を選択し、【Next】をクリックします。下図に示すように：

説明：

以下の手順は Multifunctional Database を例とします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



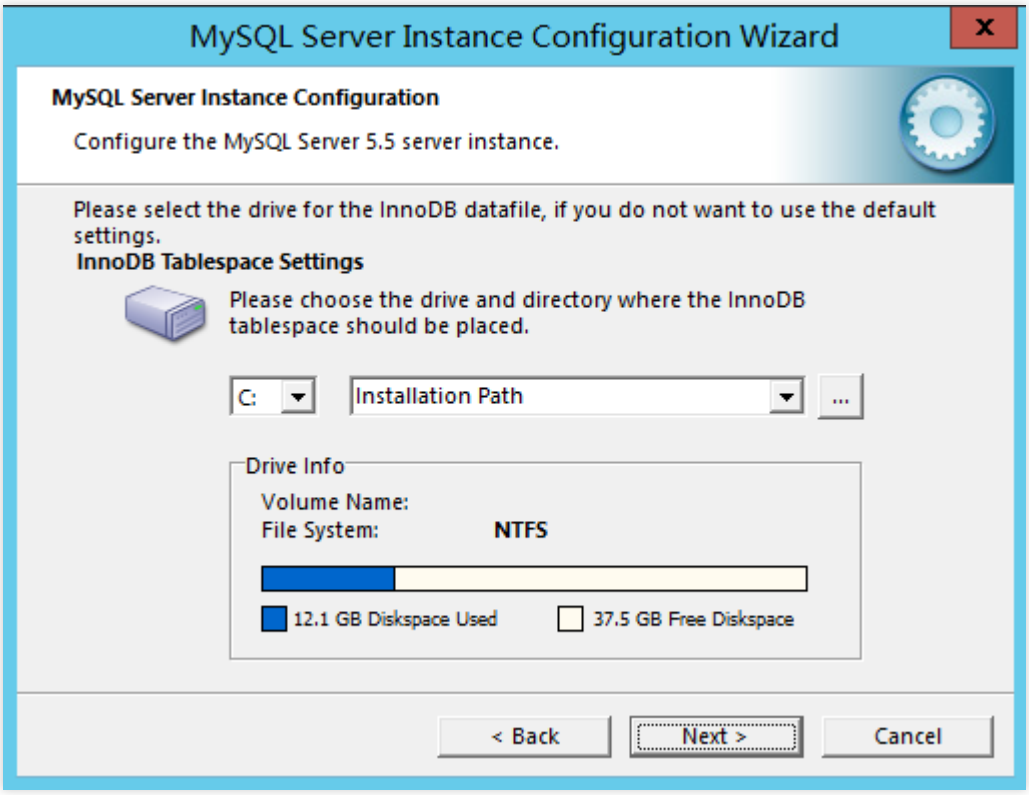
Multifunctional Database（マルチ機能データベース）はInnoDBとMyISAMストレージエンジンを同時に使用できます。また、2つのエンジンにリソースを均等にアサインするので、上記2つのストレージエンジンを頻繁に使用するユーザーにおすすめします。

Transactional Database Only（トランザクションのみを処理するデータベース）はInnoDBとMyISAMストレージエンジンを同時に使用しますが、ほとんどのサーバーリソースをInnoDBの方に割り当てられます。InnoDBを頻繁に使用し、偶にMyISAMを使用するユーザーにこちらの設定をおすすめします。

Non-Transactional Database Only（非トランザクションのみを処理するデータベース）はInnoDBストレージエンジンの使用を完全に禁止し、すべてのサーバーリソースをMyISAMの方に割り当てられます。InnoDBを利用しないユーザーにこちらの設定をおすすめします。

5. デフォルト設定のままにして、【Next】をクリックします。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

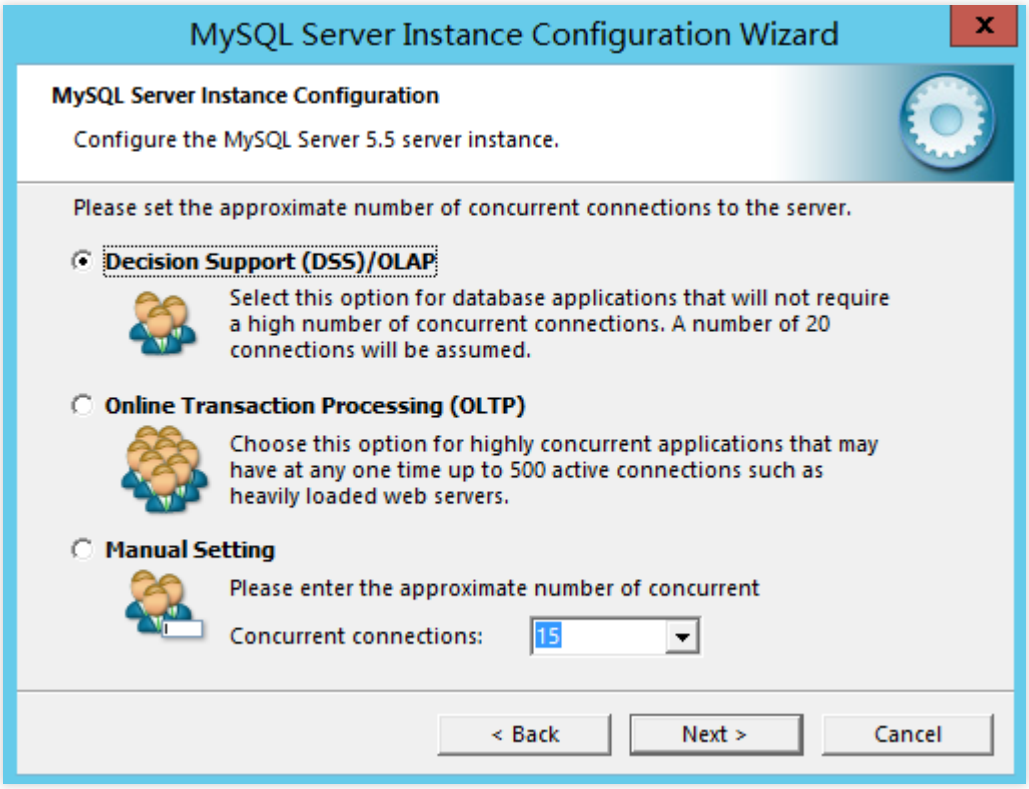


6. 【Decision Support (DSS)/OLAP】を選択し、【Next】をクリックします。下図に示すように：

説明：

以下の手順はDecision Support (DSS)/OLAPを例とします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



Decision Support (DSS)/OLAP（決定サポート）は大量の並列接続を必要としない状況に適しています。

Online Transaction Processing (OLTP)（オンライントランザクション処理）は大量の並列接続を必要とする状況に適しています。

Manual Setting（マニュアル設定）はサーバの並列接続最大数を手動で設定する場合に適しています。

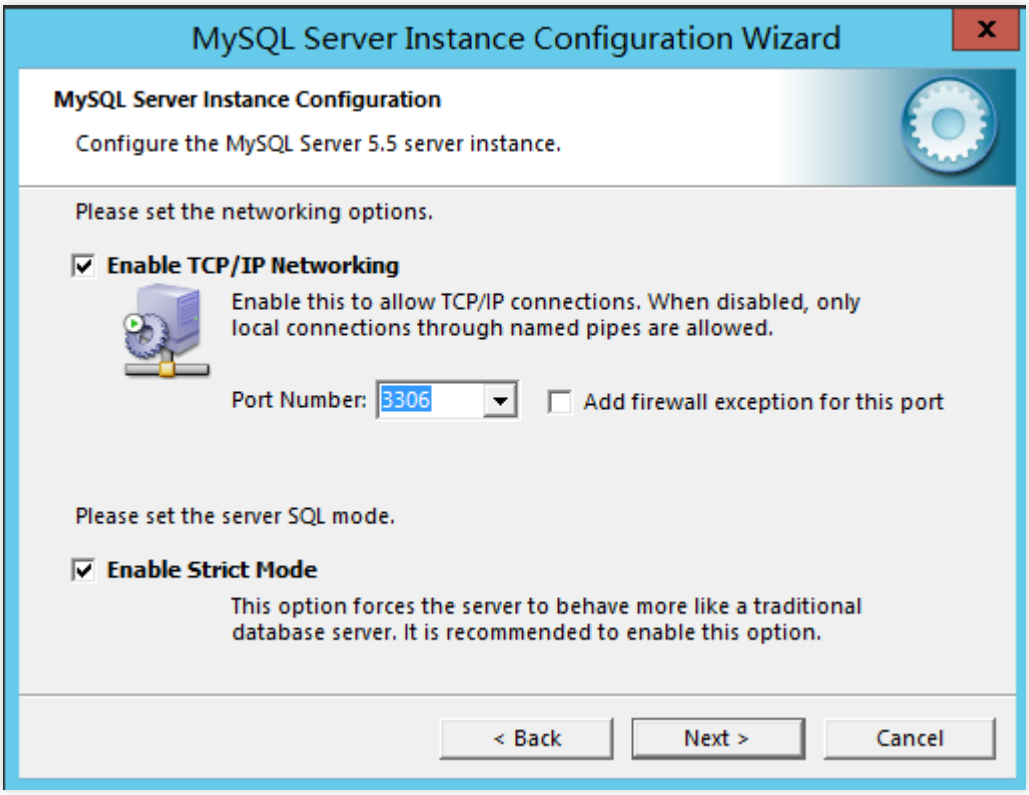
7. TCP/IPネットワークを設定し、MySQLサーバーに接続するポート番号を設定した後、【Next】をクリックします。下図に示すように：

説明：

デフォルトのままTCP/IPネットワークを有効にします。

デフォルトのまま3306ポートを使用します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

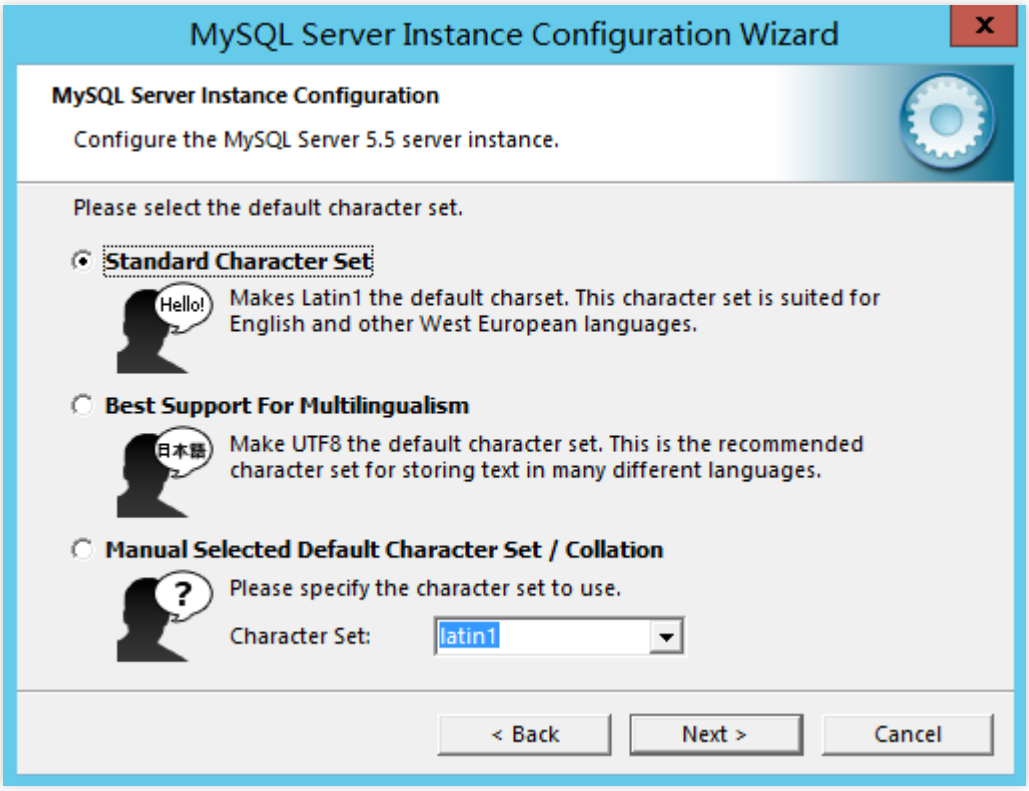


8. 【Standard Character Set】を選択し、【Next】をクリックします。下図に示すように：

説明：

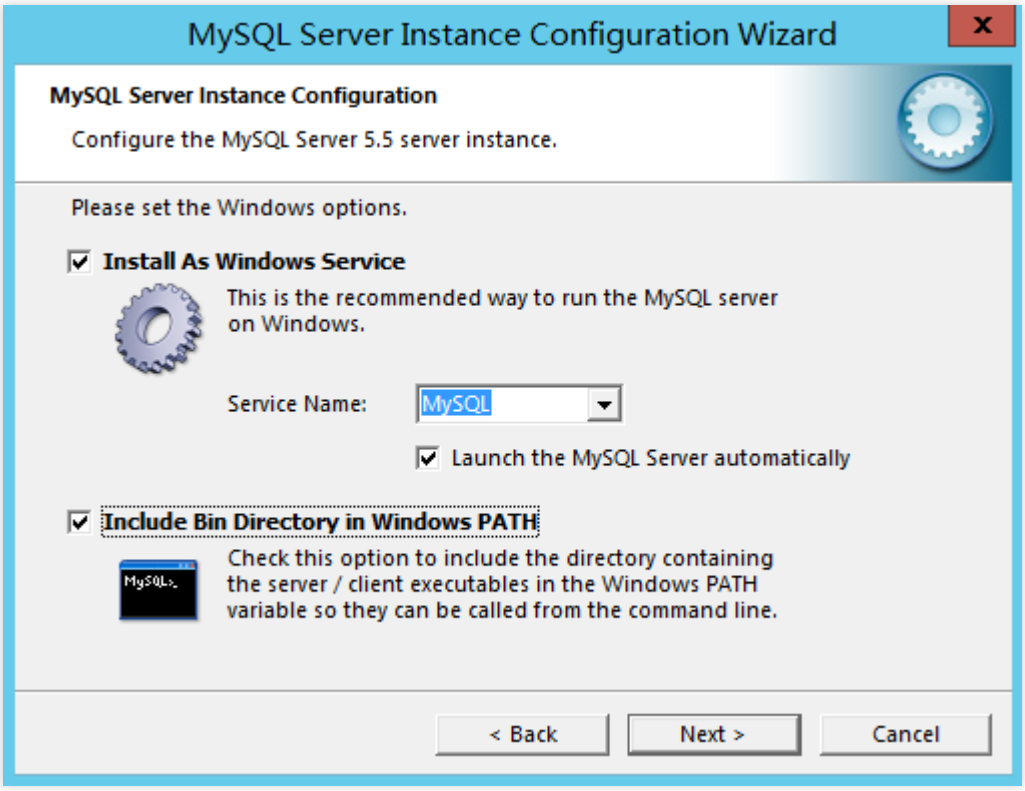
以下の手順はStandard Character Setを例とします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

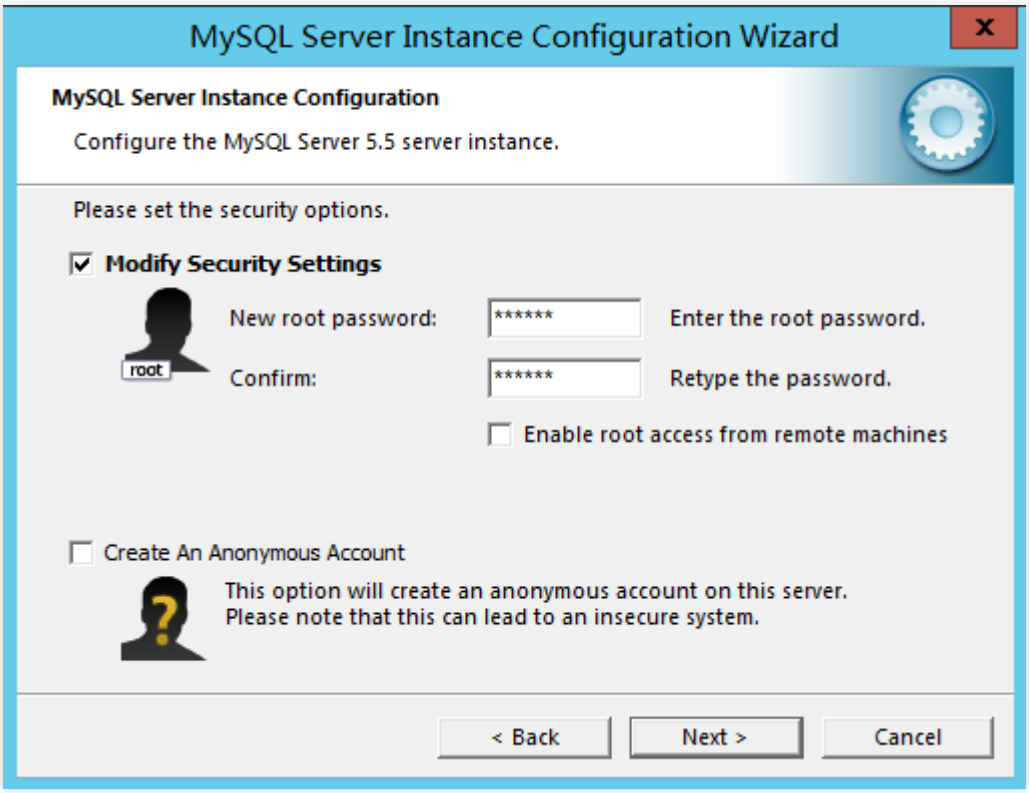


Standard Character Set（標準文字セット）、デフォルトではLatin1をサーバーの文字セットとします。
Best Support For Multilingualism（多言語サポート）、デフォルトではUTF8をサーバーの文字セットとします。
Manual Selected Default Character Set/Collation（マニュアル設定/校正規則）プルダウンからご希望の文字セットを選択してください。
9. 【Install As Windows Service】と【Include Bin Directory in Windows PATH】をチェックし、【Next】をクリックします。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

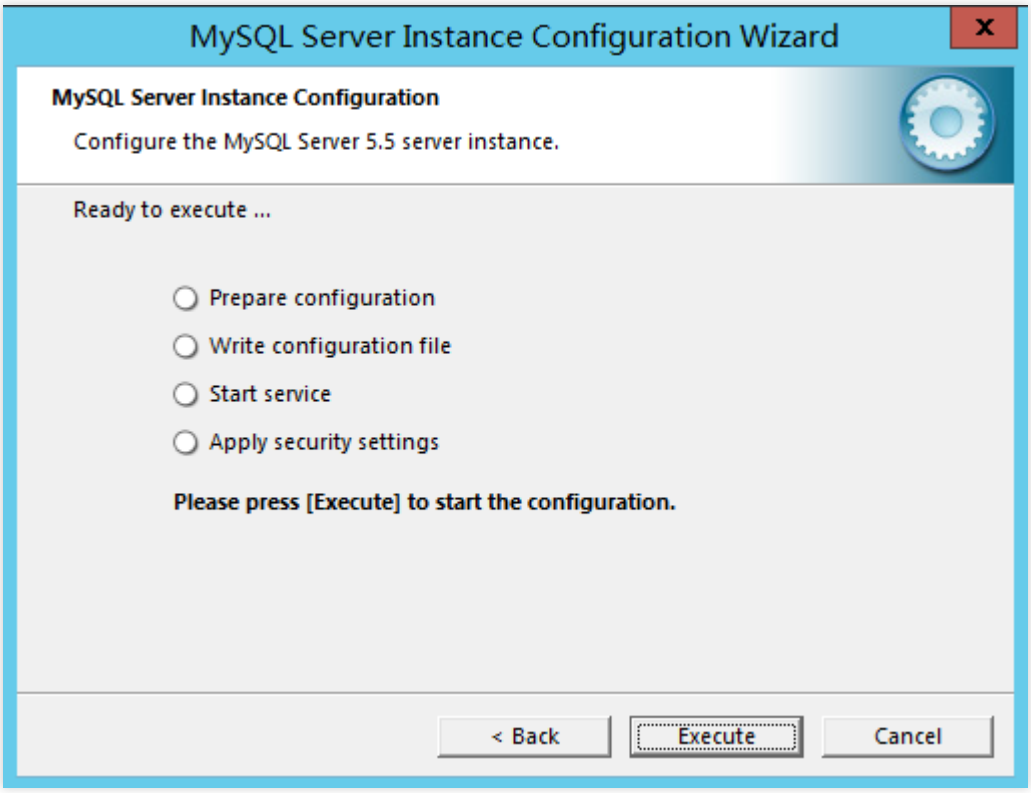


10. rootのパスワードを設定し、【Next】をクリックします。下図に示すように：



11. 【Execute】をクリックし、MySQLの構成を開始します。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



12. 【Finish】をクリックし、構成を完了させます。

MySQLのインストールが成功したかを確認する

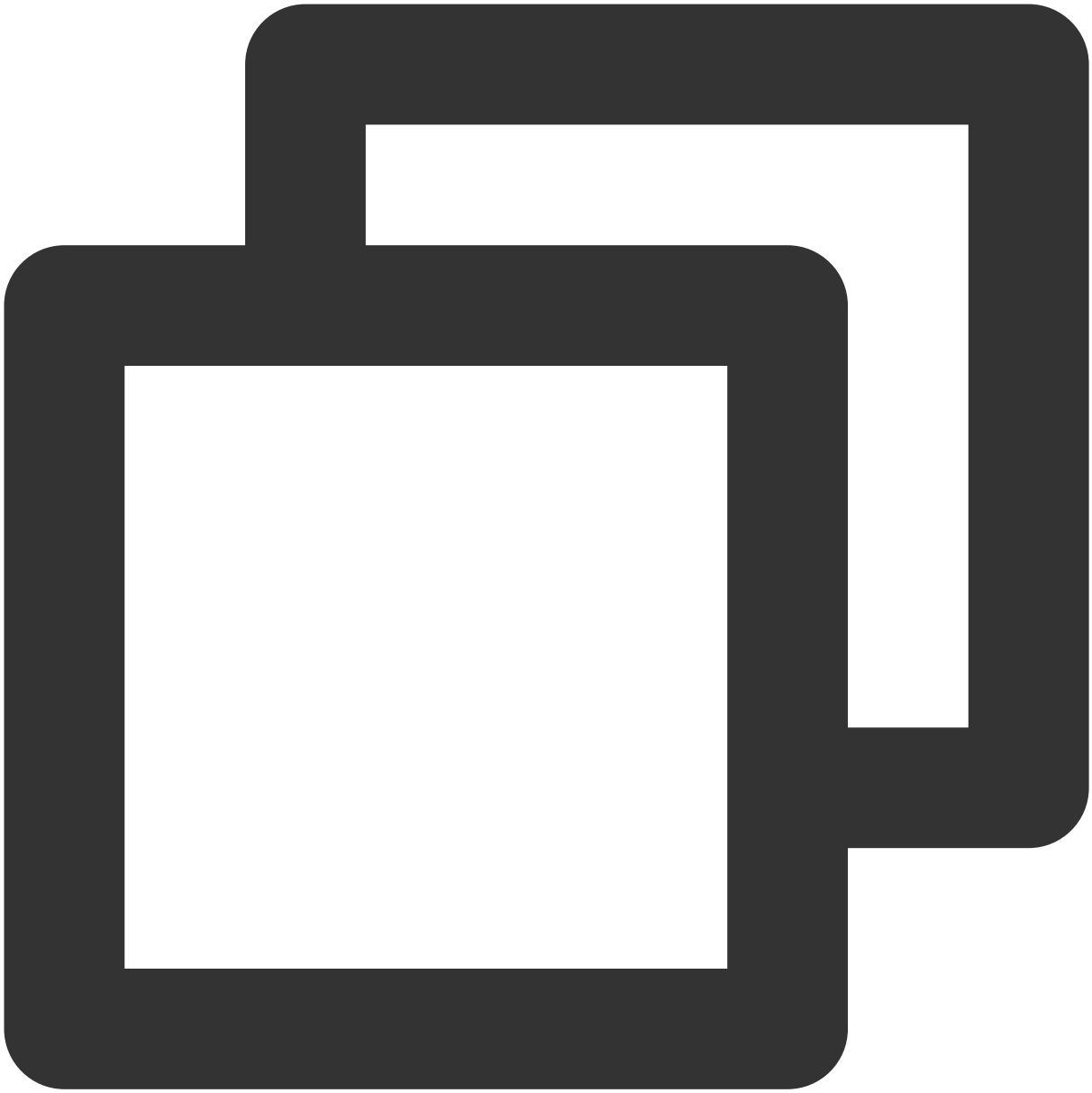
1. OSのインターフェースで、**実行**

>を右クリックし、実行ボックスを開きます。

2. 実行ボックスに**cmd**を入力し、**Enter**を押すと管理者コマンドフレームが開きます。

3. 管理者コマンドフレームで以下のコマンドを実行します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
mysql -u root -p
```

4. rootのパスワードを入力し、**Enter**を押して、MySQLにログインします。

以下の画面情報が表示すると、インストールと構成は成功したことを示します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

IIS をインストールして構築する

最終更新日：：2020-01-08 11:52:55

ユースケース

本ドキュメントはWindows Server 2012 R2 OS及びWindows Server 2008 OSを例として、どのようにWindows CVMでIISロールを追加・インストールすることをご紹介します。

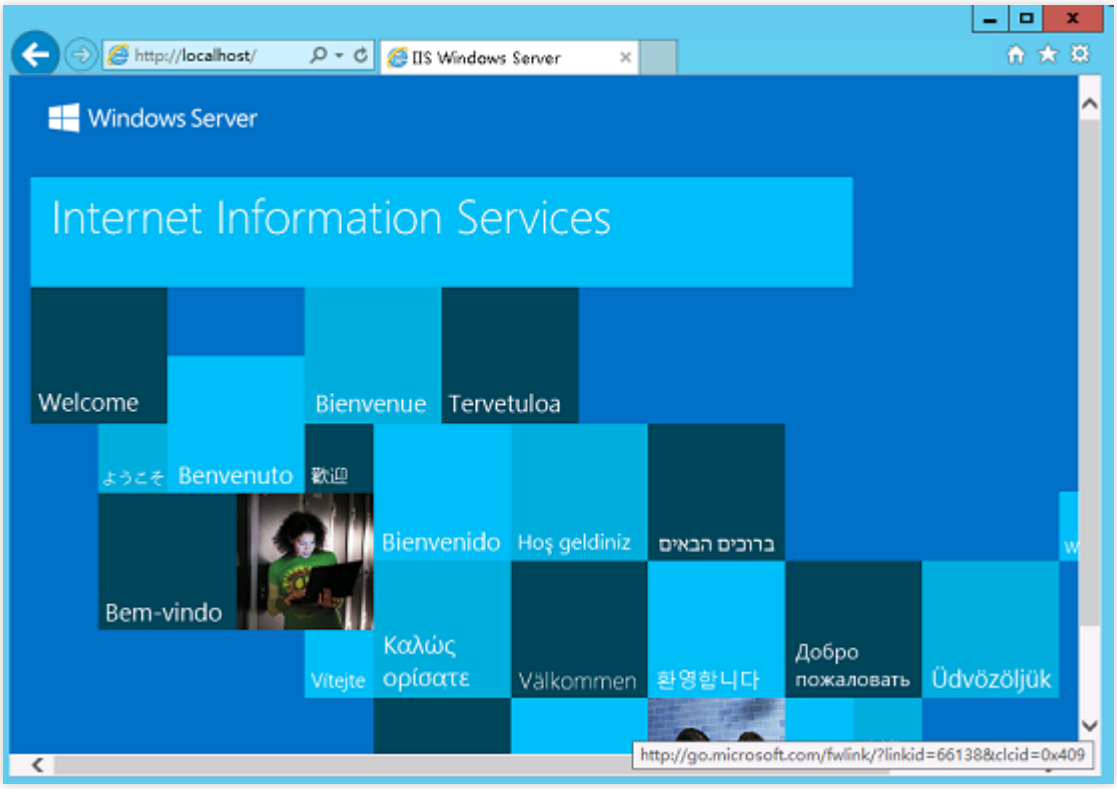
操作手順

Windows Server 2012 R2 OS

1. Windows CVM にログインします。
2. OSのインターフェースで、

をクリックして、サーバーマネージャーを開きます。
3. **ロールと機能の追加**をクリックして、「ロールと機能の追加ガイド」ウィンドウが表示されます。
4. 「ロールと機能の追加ガイド」ウィンドウで、**次へ**をクリックします。
5. 「インストールタイプの選択」インターフェースで、**ロールまたは機能に基づくインストール**を選択して、2回続けて**次へ**をクリックしてください。
6. 「サーバーロールの選択」インターフェースで、**Web サーバー(IIS)**をチェックします。
「Webサーバー(IIS) に必要な機能を追加する」ダイアログボックスが表示されます。
7. 「Webサーバー(IIS) に必要な機能を追加する」ダイアログボックスで、**機能の追加**をクリックします。
8. **次へ**をクリックします。
9. 「機能の選択」インターフェースで、**.NET Framework 3.5 機能**をチェックして、2回続けて**次へ**をクリックしてください。
10. 「ロールサービスの選択」インターフェースで、**CGI** をチェックして、**次へ**をクリックします。
11. インストール情報を確認し、**インストール**をクリックして、インストール完了するまで待ちます。
12. インストールが完了した後、CVMのブラウザで `http://localhost/` にアクセスして、IISのインストールが成功したかどうかを検証します。
以下のようなインターフェースが表示されたら、インストールは成功しました。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

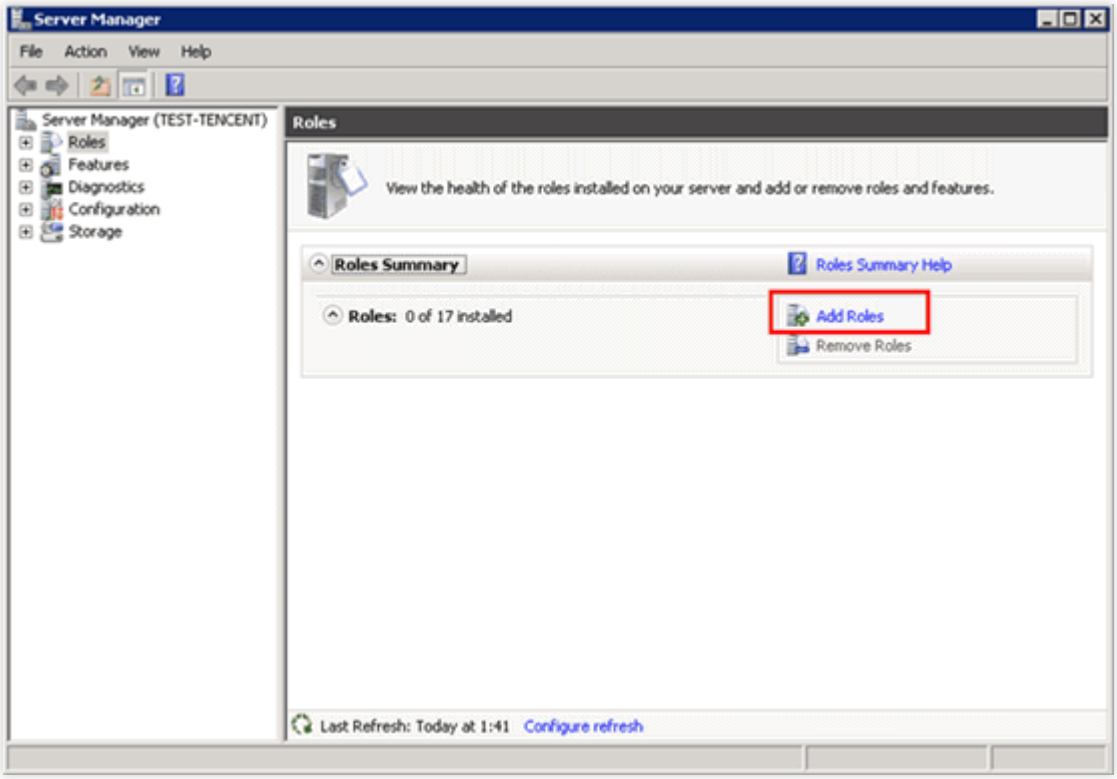


Windows Server 2008 OS

1. Windows CVM にログインします。
2. OSのインターフェースで、

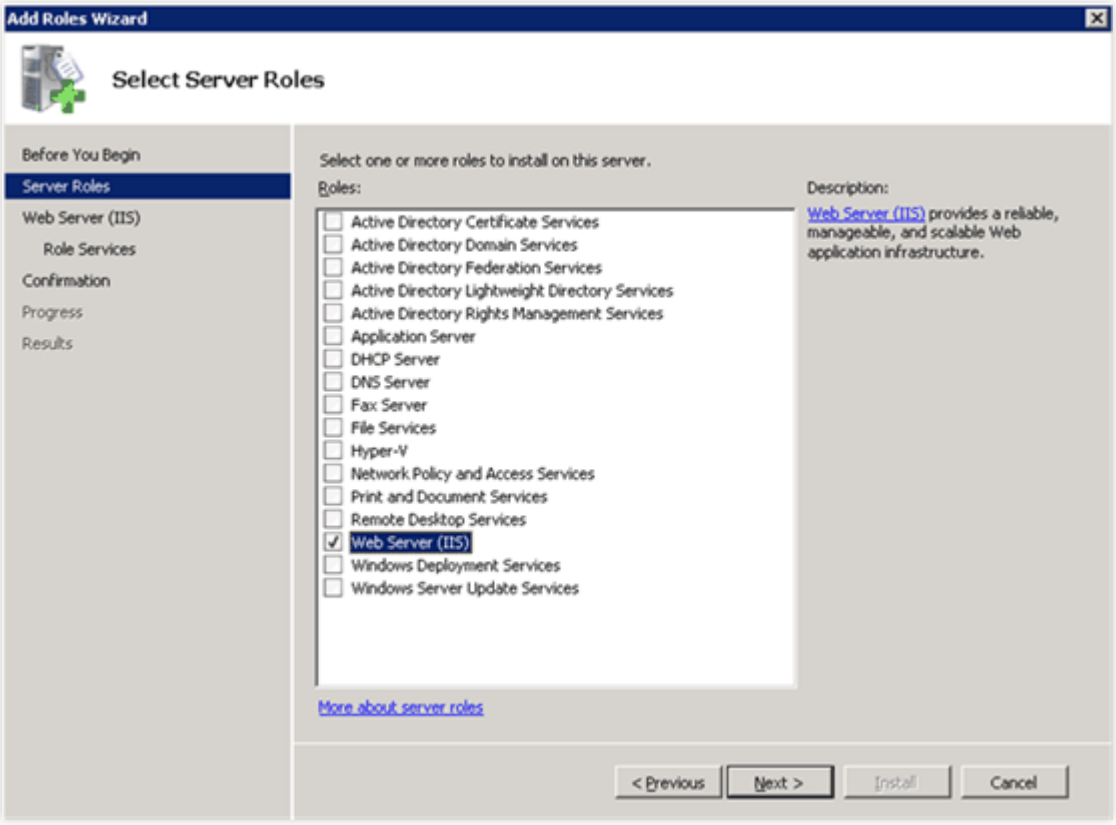
をクリックして、サーバーマネージャーを開きます。
3. 左側のナビゲーションバーで、**ロール**を選択して、右側のウィンドウで**ロールの追加**をクリックします。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



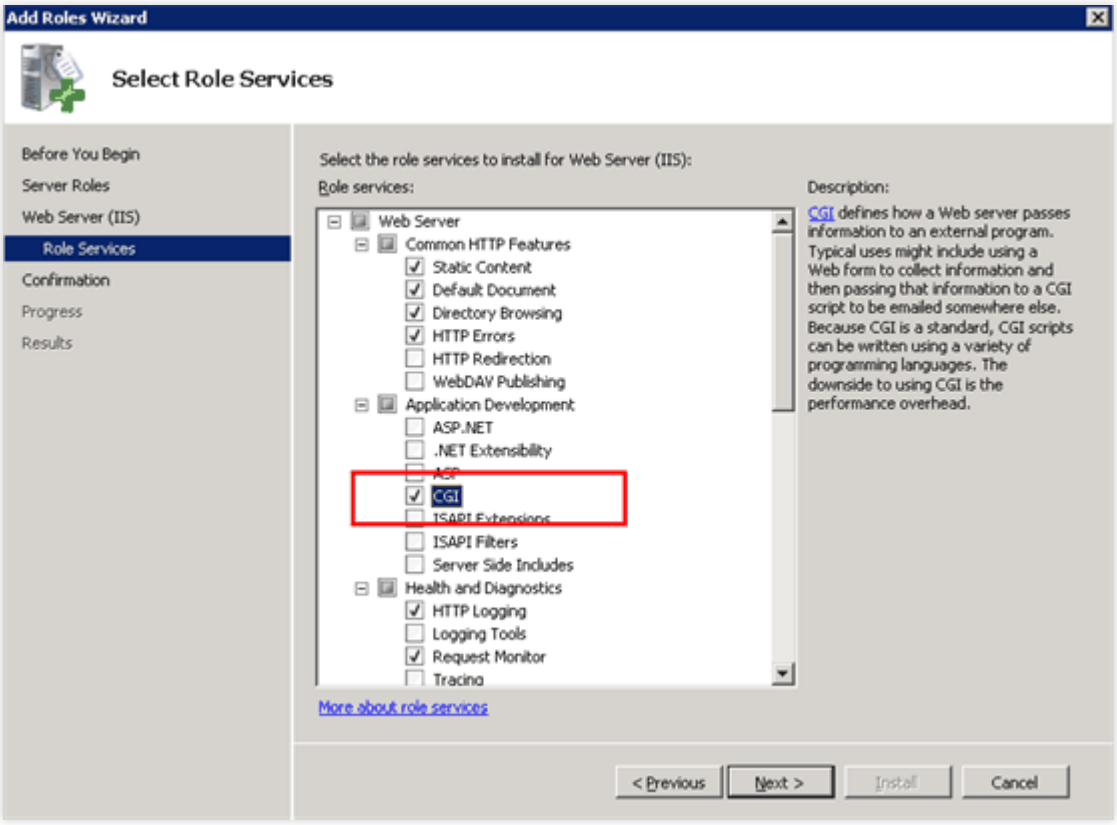
4. 開いた「ロールの追加ガイド」ウィンドウで、**次へ**をクリックします。
5. 「サーバーロールの選択」インターフェースで、**Webサーバー(IIS)**をチェックして、2回続けて**次へ**をクリックしてください。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



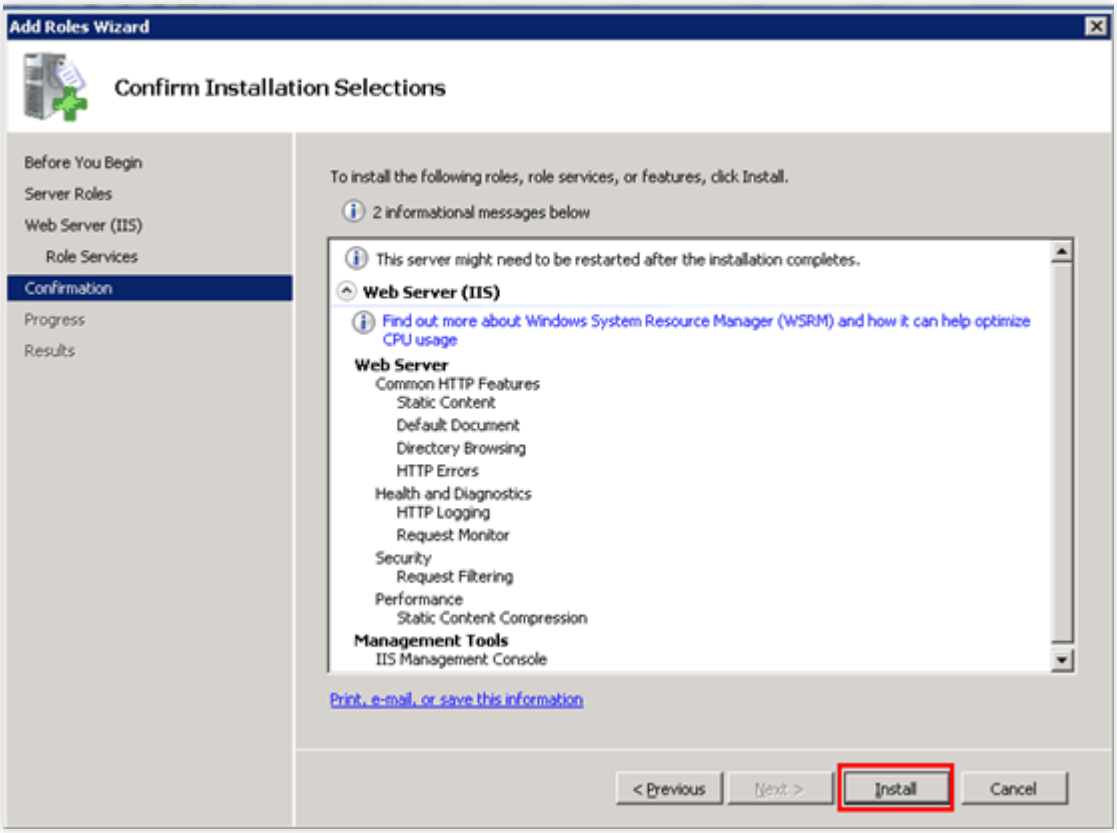
6. 「ロールサービスの選択」インターフェースで、**CGI** をチェックして、**次へ**をクリックします。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



7. インストール情報を確認し、**インストール**をクリックして、インストール完了するまで待ちます。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



8. インストールが完了した後、CVMのブラウザで `http://localhost/` にアクセスして、IISのインストールが成功したかどうかを検証します。
以下のようなインターフェースが表示されたら、インストールは成功しました。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データディスクをマウントする Windows インスタンス：データディスクを初期化する

最終更新日：：2020-01-08 11:52:18

ユースケース

CVMを購入またはリインストールした後、データディスクのパーティションとフォーマットする必要があります。このドキュメントでは、Windows CVMのデータディスクのパーティション、フォーマットなどの初期化操作を実行する方法について説明します。

注意事項

データディスクをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。データディスクにデータがないか、重要なデータがバックアップされていることを確認してください。
サービスの異常を回避するには、フォーマットする前にCVMの外部へのサービスが停止されていることを確認してください。

操作手順

ディスクの容量に応じて適切な操作手順を選択してください：
ディスク容量が2TB未満の場合、Cloud Block Storageの初期化（Windows）を行ってください。
ディスク容量が2TB以上の場合、Cloud Block Storage の初期化（Windows）を行ってください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

システム関連
システムのアクティブ化
システムアクティベーション

最終更新日：：2023-01-09 17:46:44

ユースケース

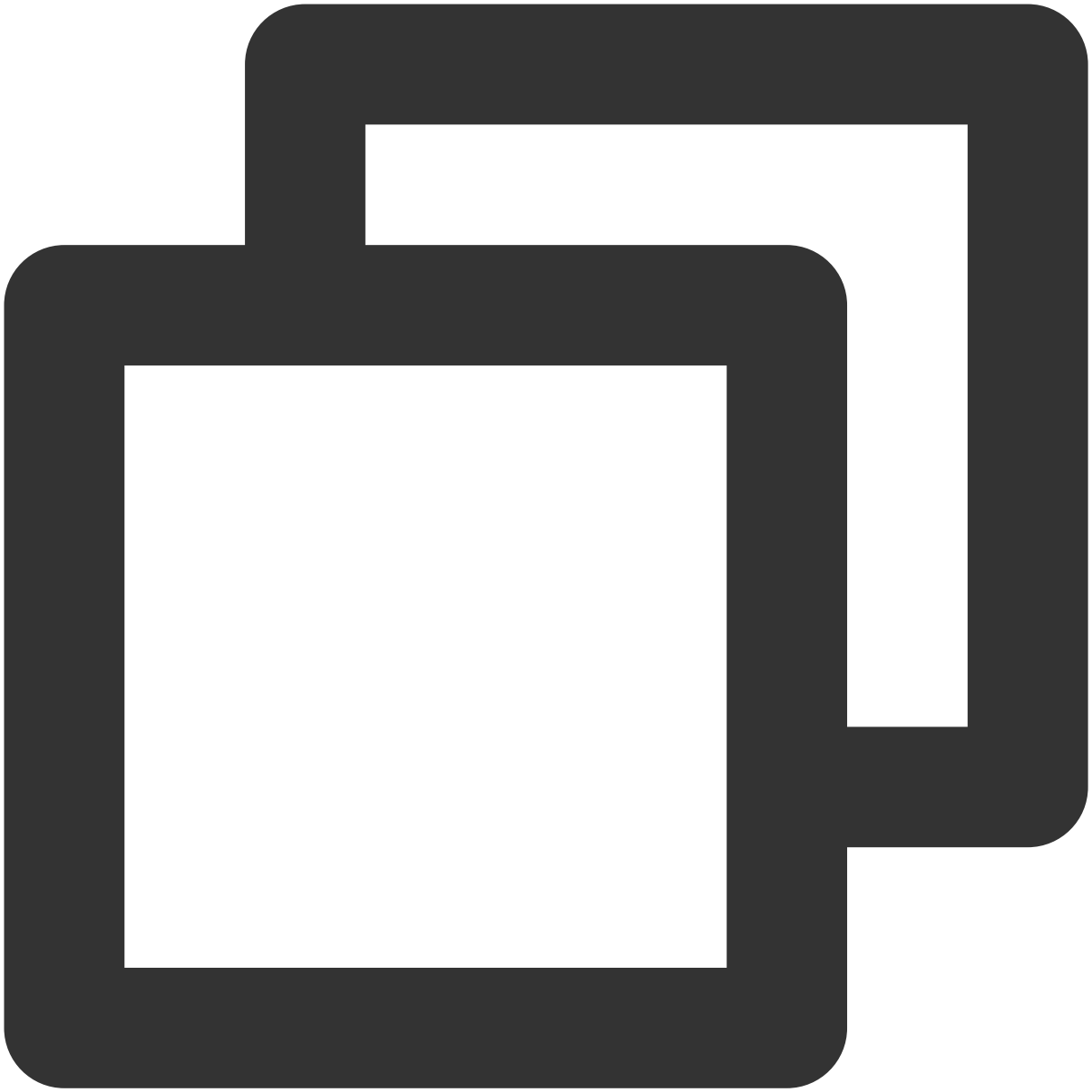
このドキュメントでは、Windows Cloud Virtual Machine (CVM)のOSを有効にする方法について説明します。
説明：
このドキュメントは、Tencent Cloudが提供するWindows Serverパブリックイメージのみに対応し、カスタマイズイメージまたは外部からインポートされたイメージはこのドキュメントのアクティブ化方法を使用することができません。

操作手順

1. Windows CVMにログインします。詳細については、標準方式を使用してWindowsインスタンスにログイン をご参照ください。
2. OSのデスクトップの左下部の

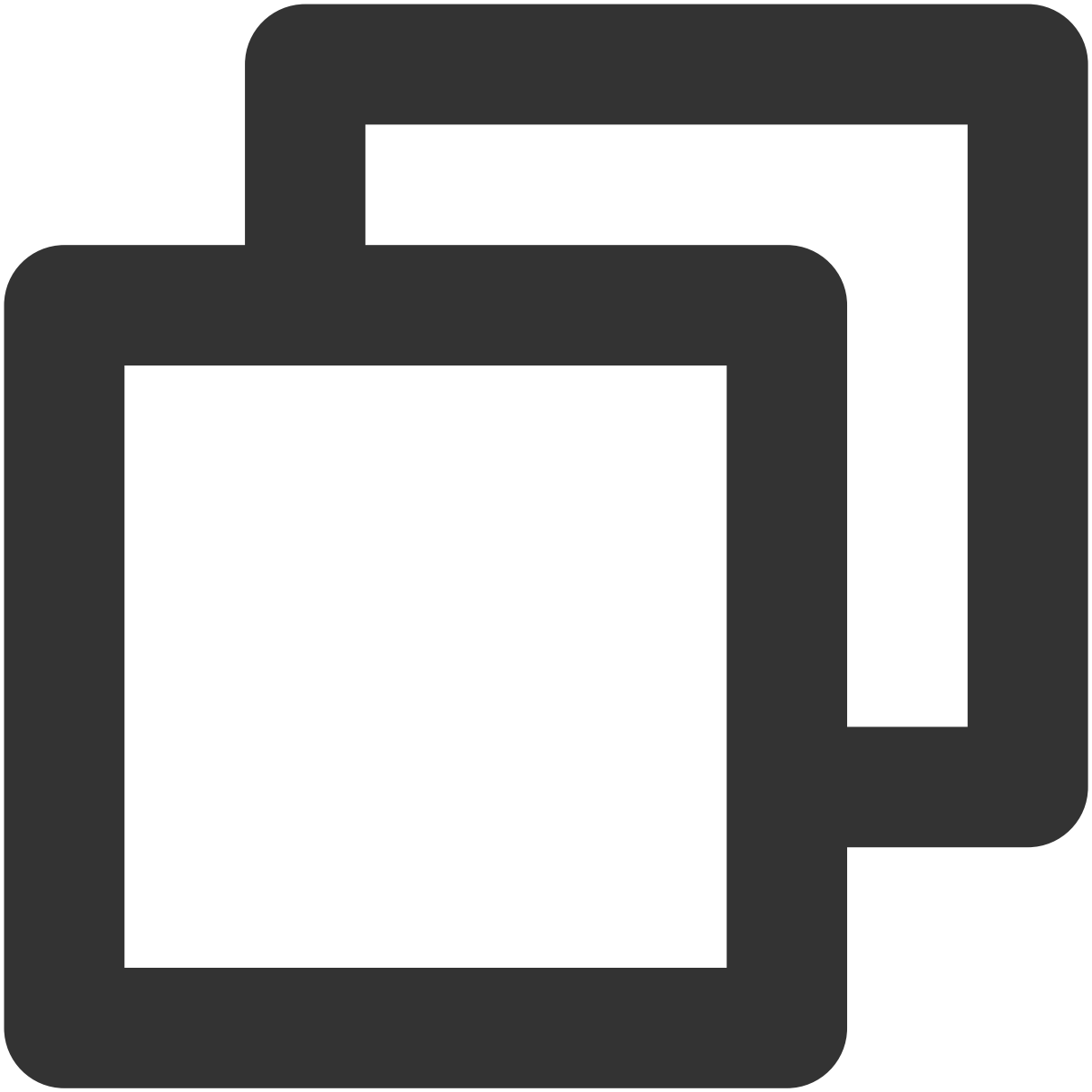
を右クリックし、ポップアップメニューから**Windows PowerShell（管理者）を選択します**。
3. powershellウィンドウでは、次のコマンドを順番に実行して、OSを有効にします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



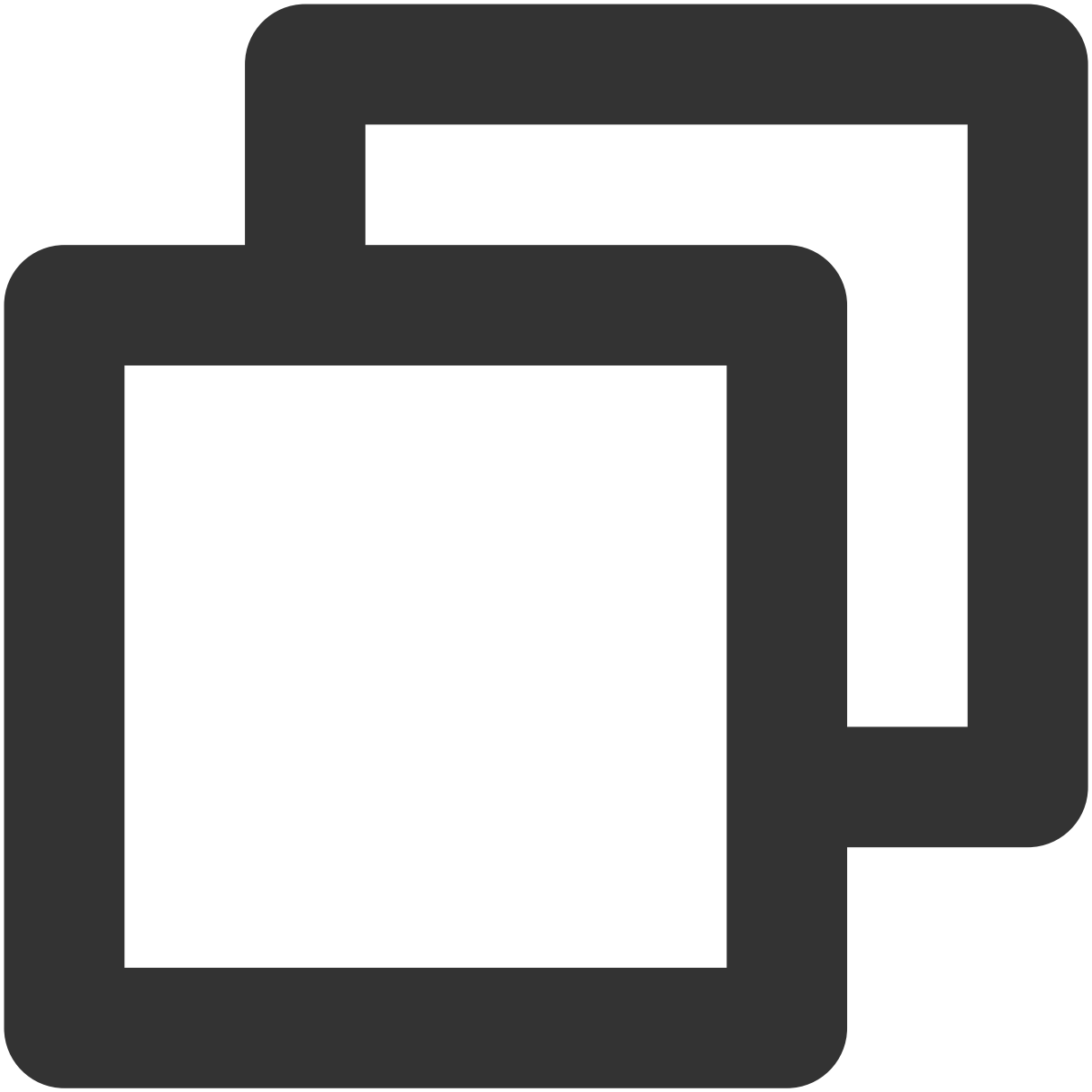
```
slmgr /upk
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



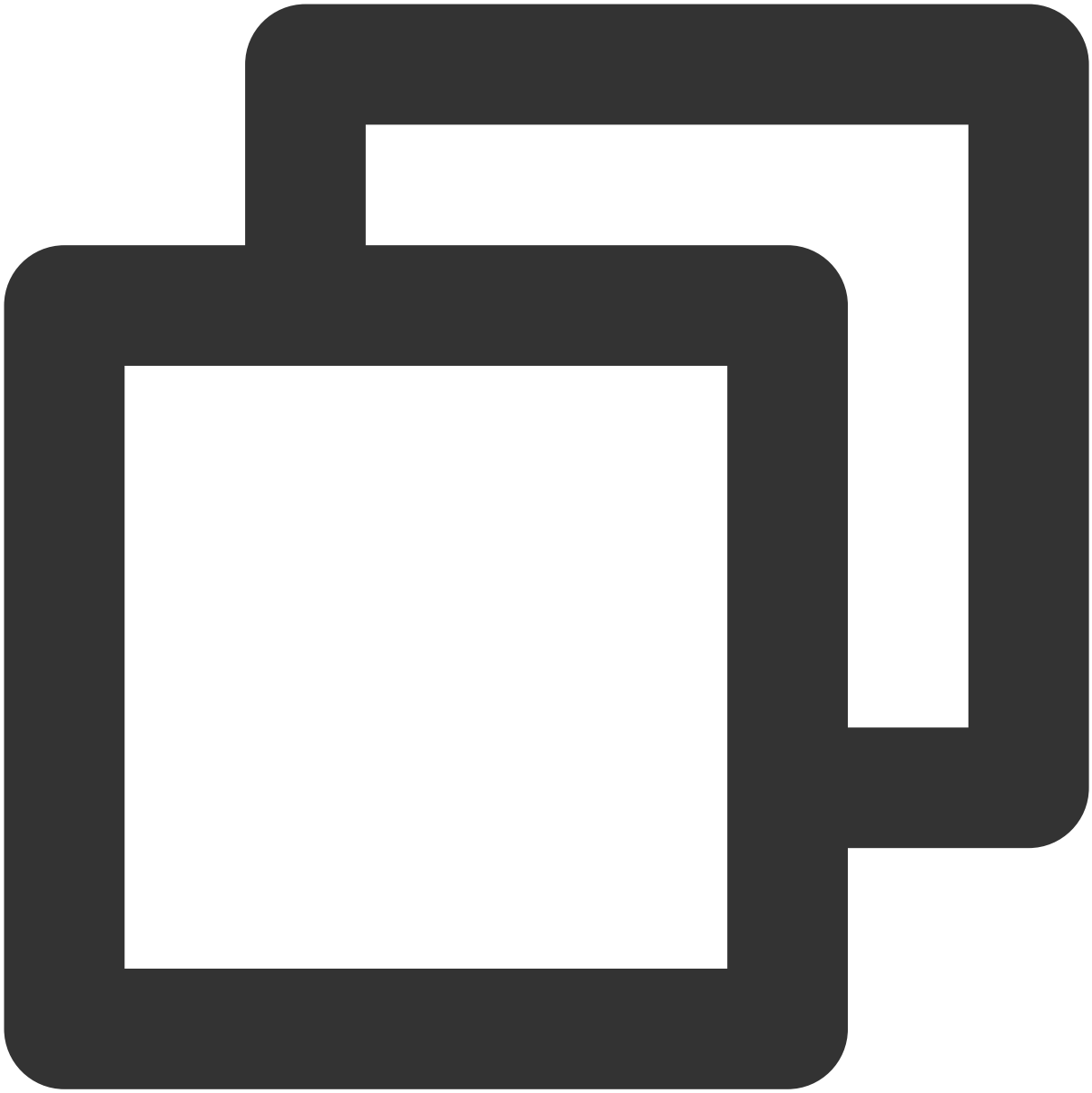
```
slmgr /ipk <ProductKey>
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
slmgr /skms kms.tencentyun.com
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
slmgr /ato
```

`slmgr /ipk <ProductKey>` コマンドの `<ProductKey>` を、対応するOSのバージョンに置き換えてください：

Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition： `489J6-VHDMP-X63PK-3K798-CPX3Y`

Windows Server 2012 R2 Data Center Edition： `W3GGN-FT8W3-Y4M27-J84CP-Q3VJ9`

Windows Server 2016： `CB7KF-BWN84-R7R2Y-793K2-8XDDG`

Windows Server 2019： `WMDGN-G9PQG-XVVXX-R3X43-63DFG`

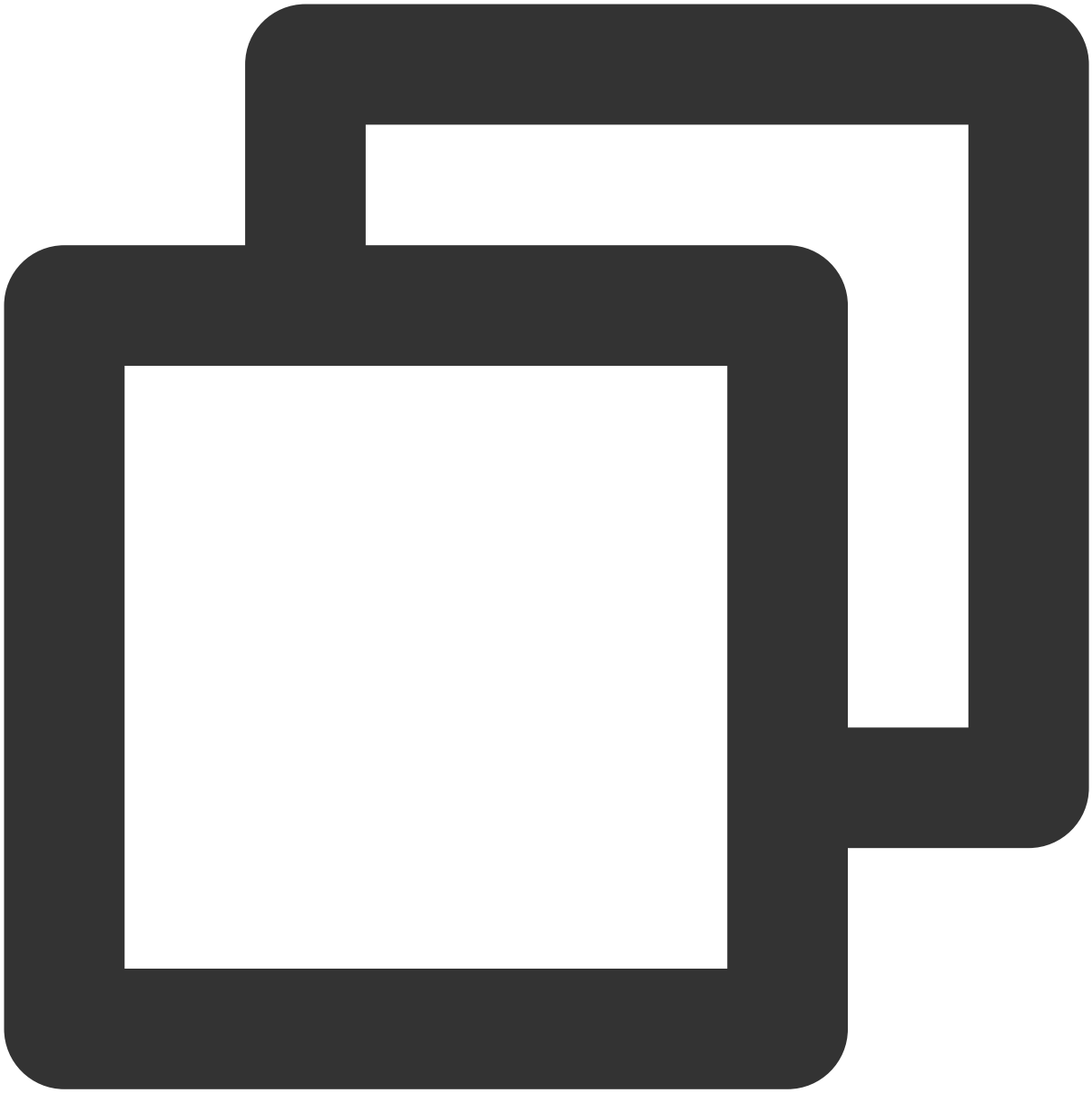
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Windows Server 2022：`WX4NM-KYWYW-QJJR4-XV3QB-6VM33`
ProductKeyの詳細については、キー管理サービス(KMS)クライアントの有効化とプロダクトキー をご参照ください。
4. 設定を有効にするために、CVMをリスタートします。詳細については、インスタンスのリスタート をご参照ください。

関連する質問

Windows OSが有効になっていない一部のシナリオでは、ハイエンドマシンのシステムメモリは2GBに制限され、残りのメモリは「ハードウェア用に予約されたメモリ」の形式で制限されます。その理由は、`HKEY_LOCAL_MACHINE\\System\\CurrentControlSet\\Control\\ProductOptions` レジストリが破損されるためです。次のコマンドを実行して、システムを再度アクティブにするかどうかを決定できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
(Get-ItemProperty HKLM:\\SYSTEM\\CurrentControlSet\\Control\\ProductOptions\\).Prod
```

返された結果が56184などの10000レベルの値である場合、システムを再度有効にする必要はありません。

返された結果が「非有効値：1960」の場合、次の方法を参照して解決してください。

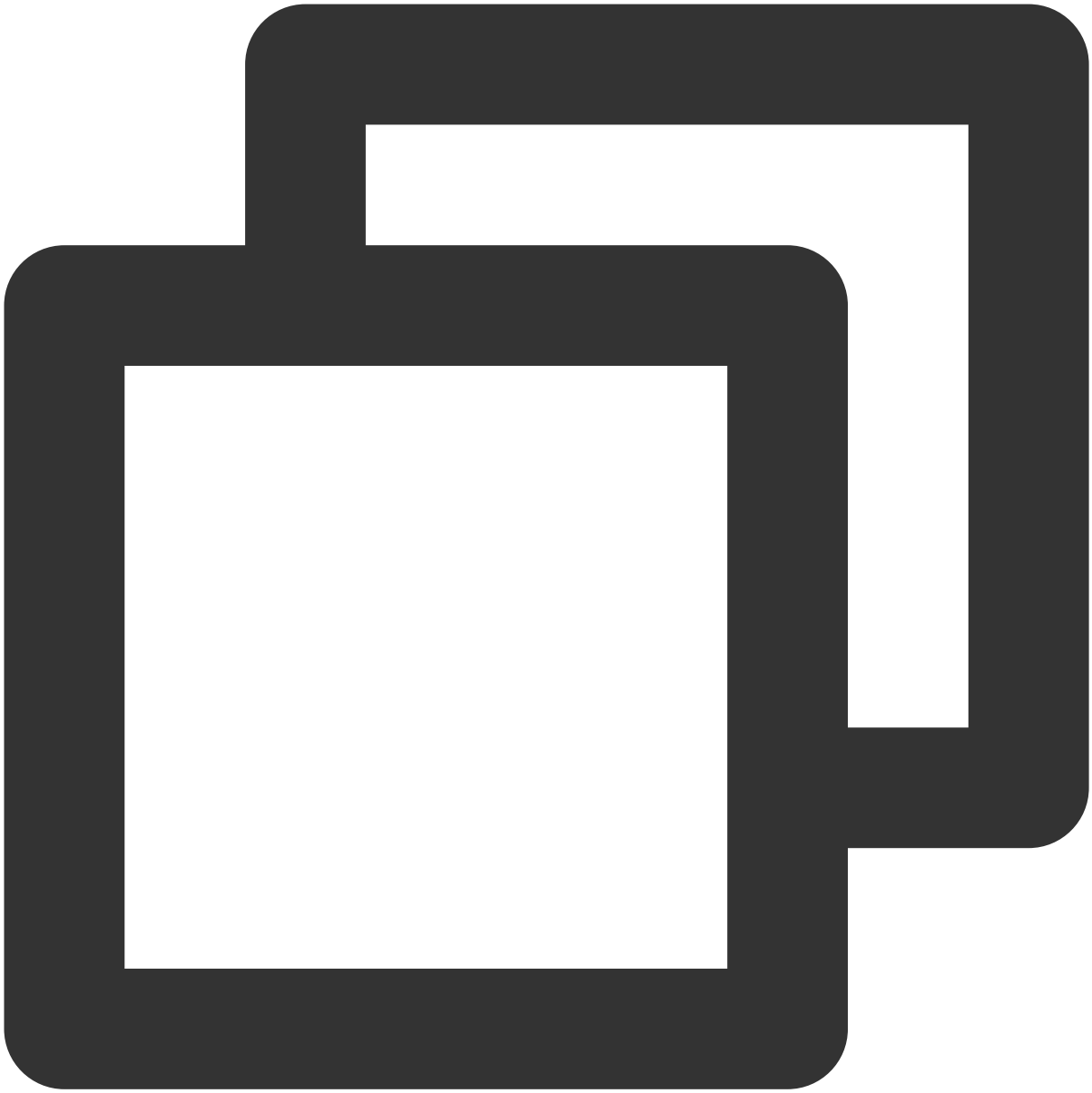
方法1

方法2

方法3

1. 次のコマンドを実行して、システムを有効にします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
slmgr.vbs /ipk <ProductKey>
```

説明：

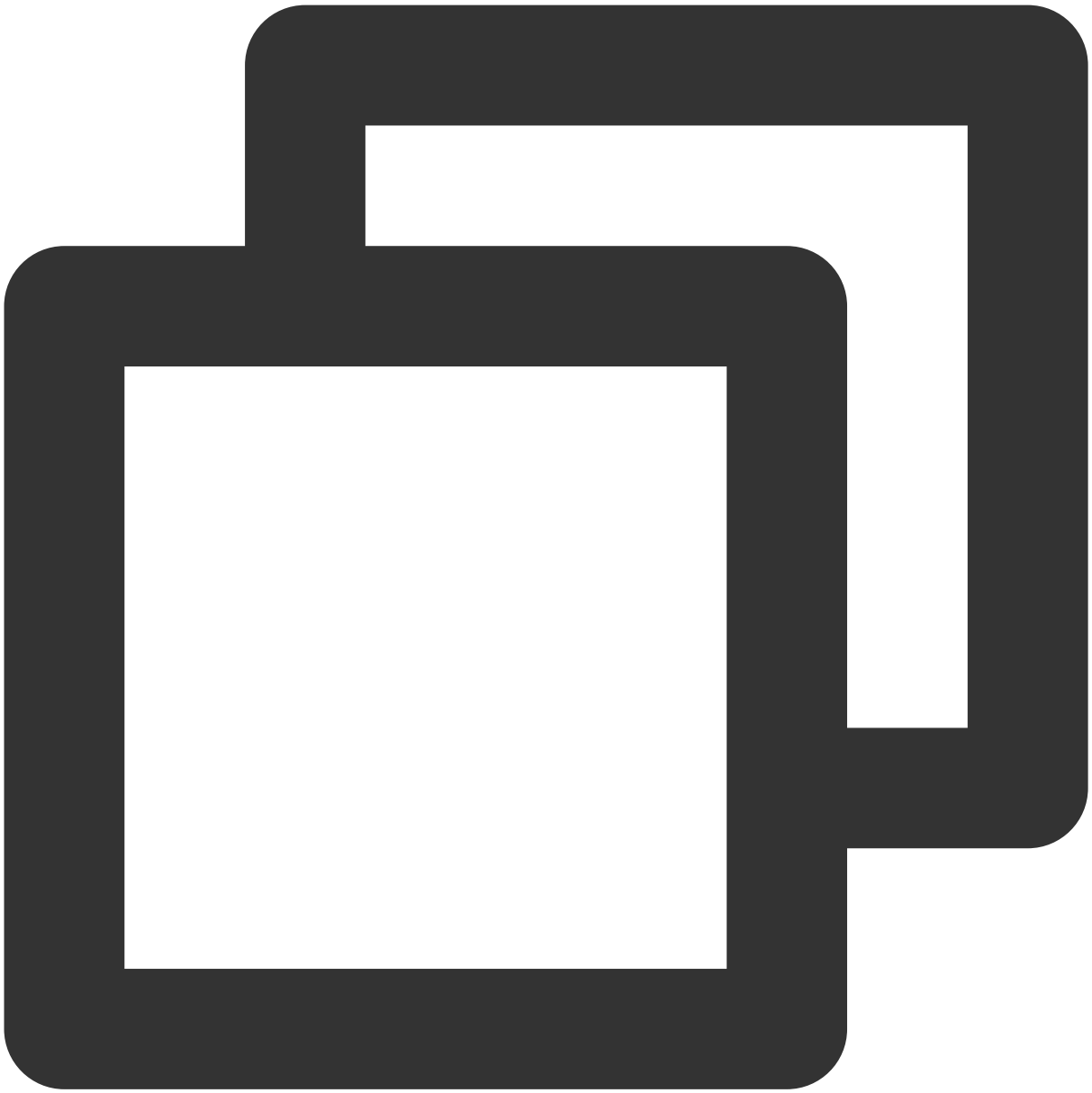
`<ProductKey>` は実際のOSのバージョンに応じて置き換えてください。詳細については、ProductKey をご参照ください。

2. コマンドを実行した後、 `(Get-ItemProperty...` コマンドを繰り返し実行して確認することができます。戻り値は56184になっています。

3. 設定を有効にするために、CVMをリスタートします。詳細については、インスタンスのリスタート をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

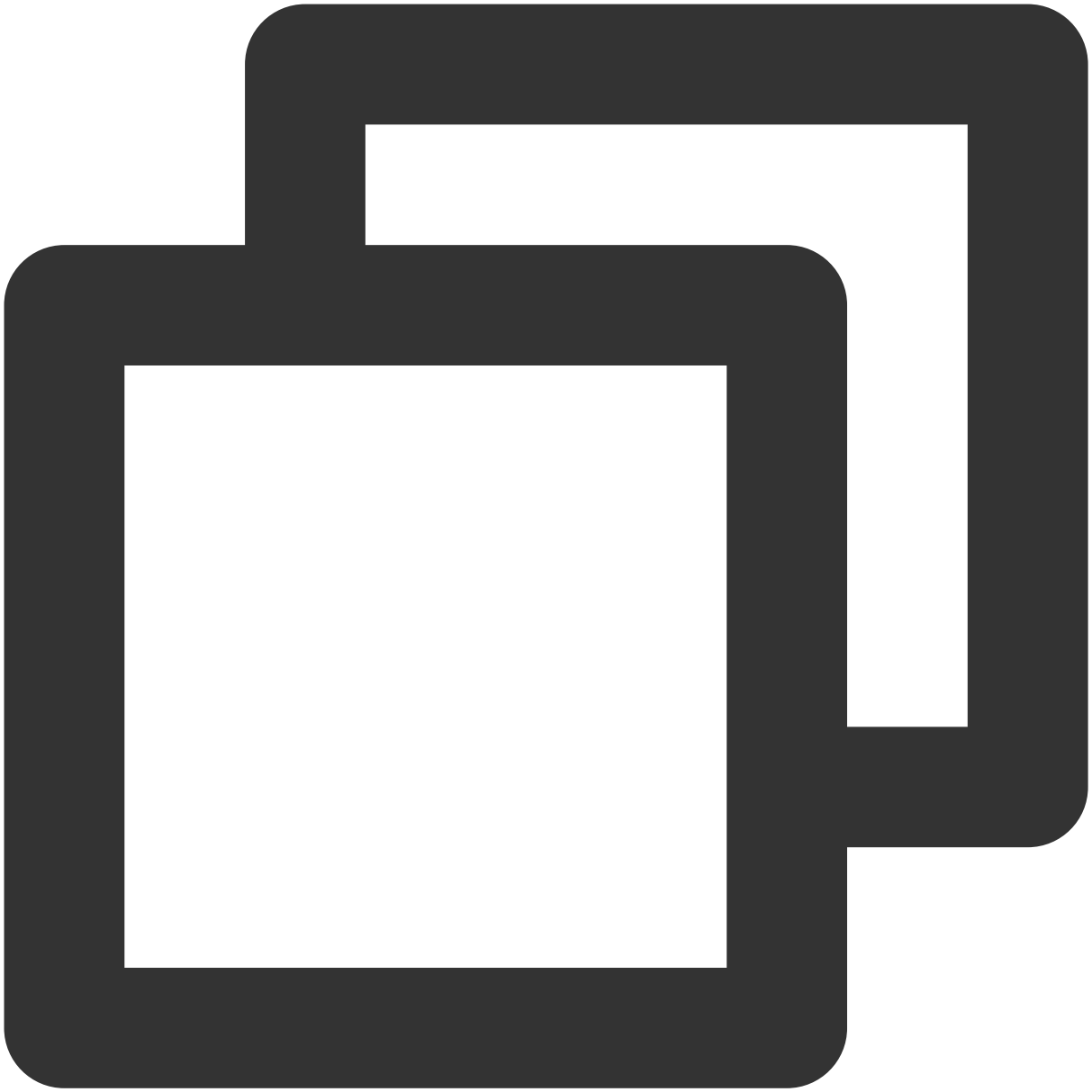
4. 次のコマンドを実行して、システムを有効にします。



```
slmgr.vbs /ato
```

1. 次のコマンドを実行して、リカバーします。

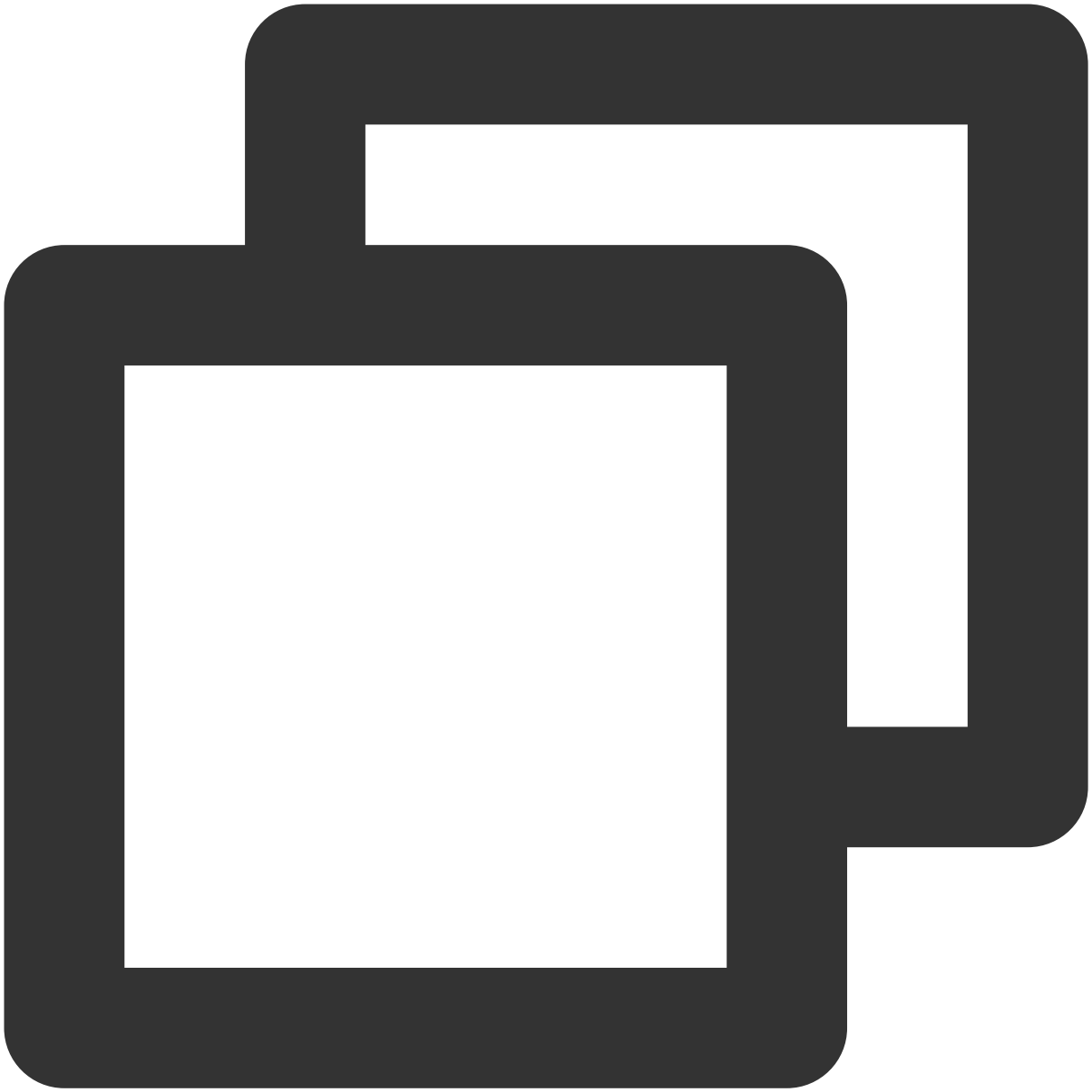
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
slmgr.vbs /rilc
```

2. コマンドを実行した後、 `(Get-ItemProperty...` コマンドを繰り返し実行して確認することができます。戻り値は1960のままです。
3. 次のコマンドを実行して、システムを有効にします、Cloud Virtual Machineのリスタート。

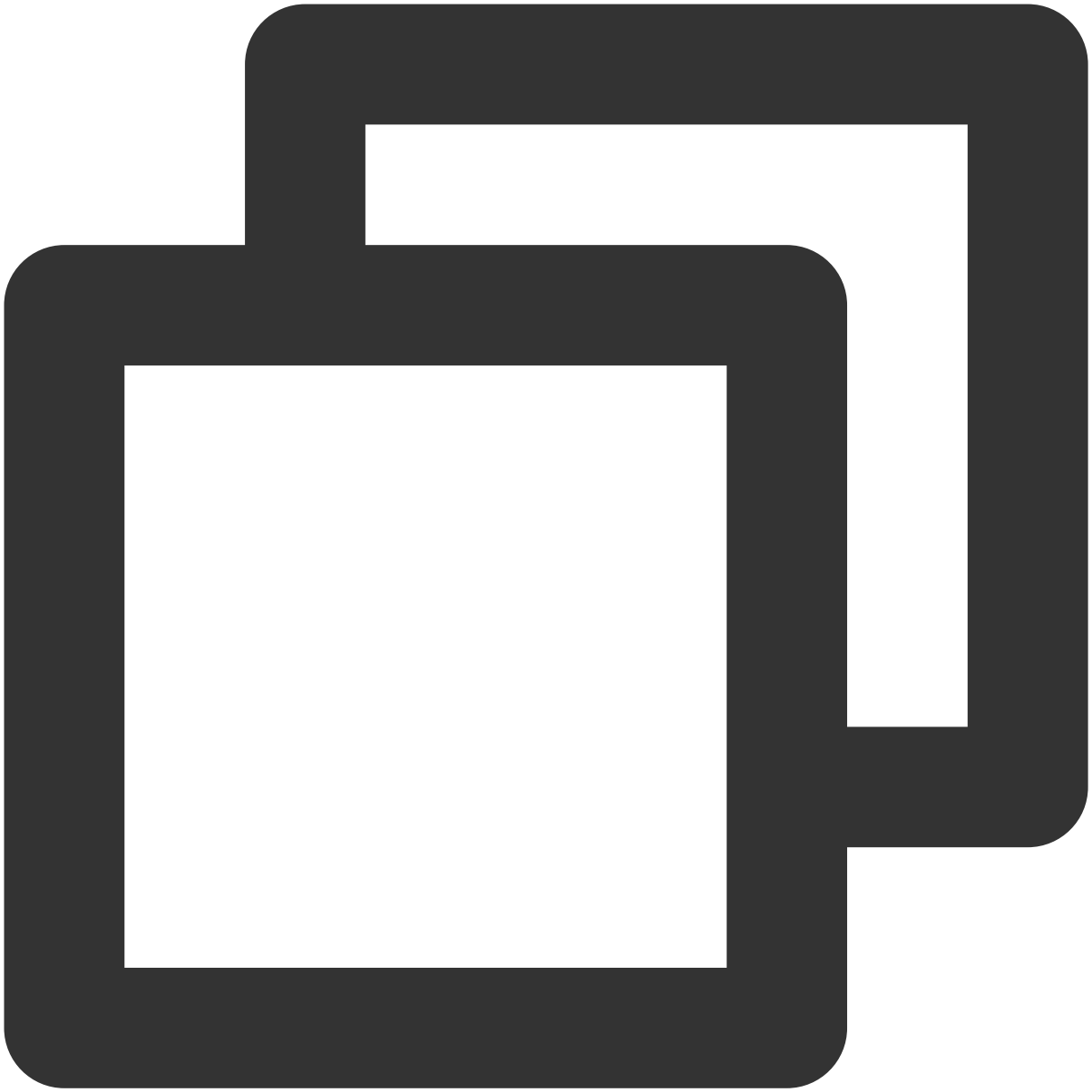
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
slmgr.vbs /ato
```

1. あらゆるmsiプログラムをアンインストールします。
2. `(Get-ItemProperty...` コマンドを繰り返し実行して確認します。戻り値が変わる可能性があります。ただし、システムをリスタートした後でも、メモリ制限は2GBのままです。
3. 次のコマンドを実行して、システムを有効にします、Cloud Virtual Machineのリスタート。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
slmgr.vbs /ato
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Windows Serverシステムアクティベーション

最終更新日：：2022-05-07 15:18:56

Tencent Cloud CVMはKMSを利用して、Windowsサーバーのライセンス認証を行います。

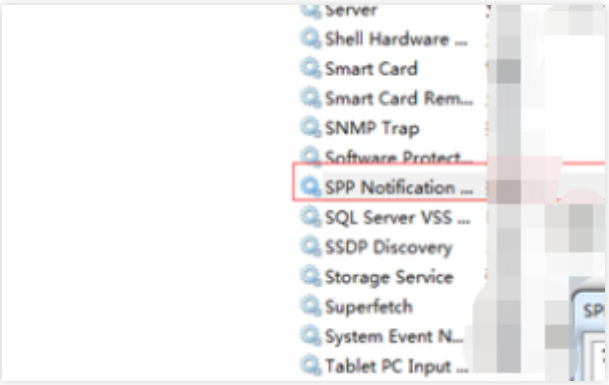
ご注意：

このドキュメントに記載されているアクティベーション方式は、Tencent Cloudが提供するWindows Serverパブリックイメージのみ対応し、カスタムイメージまたは外部ソースからインポートされたイメージには適用されません。

Windows Server 2008とWindows Server 2012はこの方法によるライセンス付与が必要です。Windows Server 2016とWindows Server 2019のパブリックイメージのデフォルト設定のKMSアドレス（kms.tencentyun.com:1668）は正しく、これ以上変更することなく使用できます。

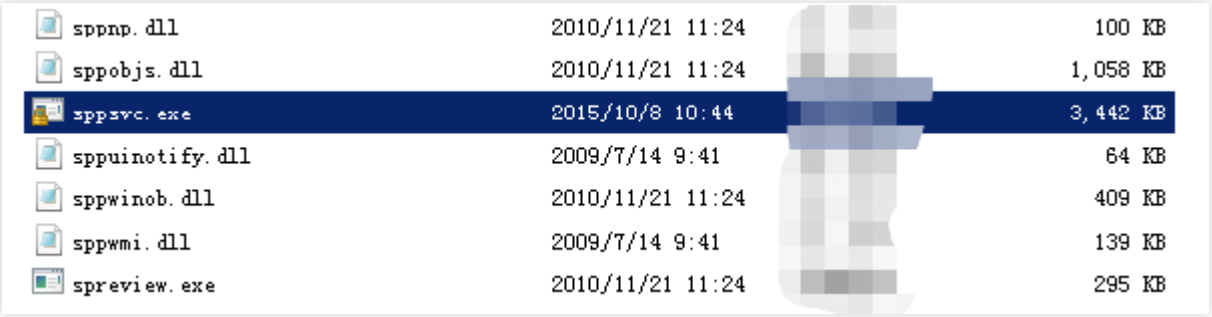
アクティベーション前の注意事項

1. 下図に示すように、**Windows Server 2008**のSPP Notification Serviceはアクティベーション関連サービスの実行に利用されるため、正常に実行していることを保証する必要があります：



2. 一部の最適化ソフトウェアはサービスに関連するアプリケーションの実行権限の変更をブロックする場合があります。例えば、下図に示すように、sppsvc.exeプロセスの実行権限を変更すると、サービスが正常に実行できなくなる場合があります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



Windows CVMをアクティブにする前に、WindowsCVMのサービスおよびその他の重要な機能が正常に実行していることを確認してください。

自動アクティベーション

Tencent Cloudは、Windowsサーバーをアクティブ化するためのスクリプトをカプセル化し、手動アクティベーションの手順を簡素化しました。次の手順でスクリプトを使用してアクティベーションを実行してください：

1. Windows CVMにログインします。
2. スクリプト をダウンロードして実行すると、自動アクティベーションが完了します。

手動アクティベーション

注意事項

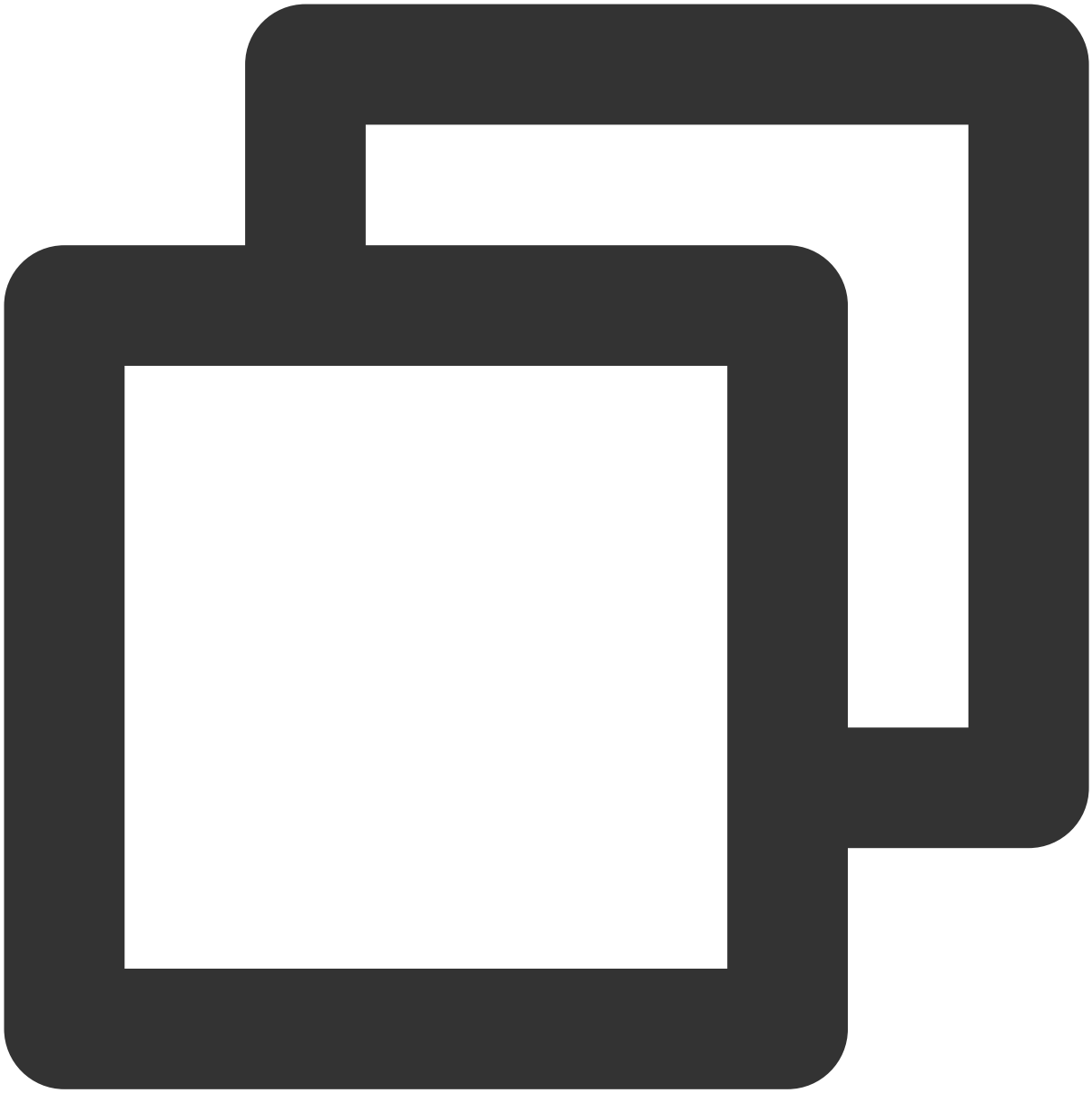
一部のシステムでは、システムクロックに問題がある場合、手動アクティベーション中にエラーが発生する可能性があります。この場合、最初にシステムクロックを同期してください。クロック同期の操作手順は次のとおりです：

説明：

Windows CVMのシステムクロックが正常な場合、直接 アクティベーション手順 に進んでください。

1. Windows CVMにログインします。
2. OSのインターフェースで、**スタート>実行**をクリックし、 `cmd.exe` を入力して、コンソールウィンドウを開きます。
3. コンソールウィンドウで以下のコマンドを順番に実行して、システムクロックを同期します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

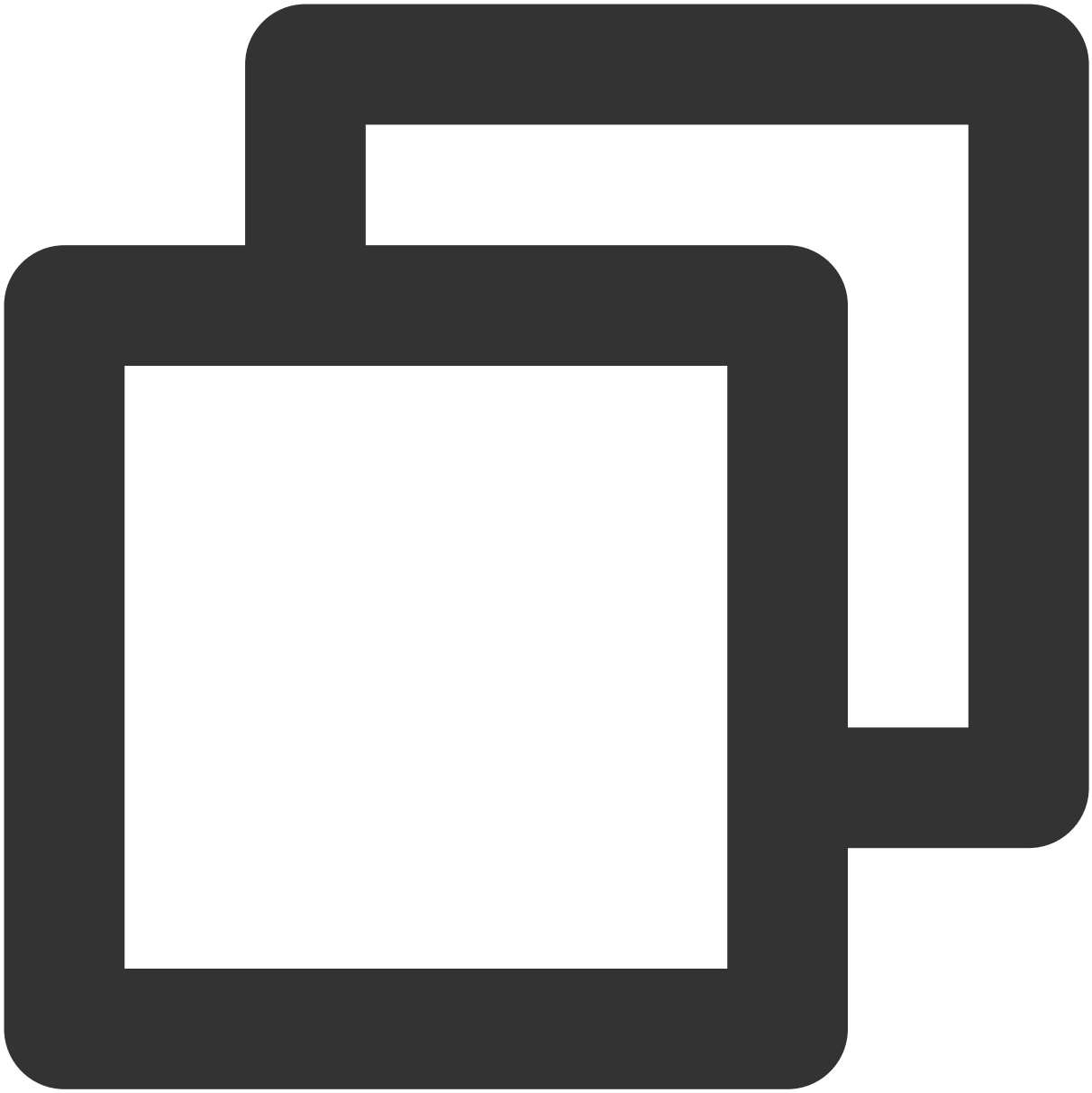


```
w32tm /config /syncfromflags:manual /manualpeerlist:"ntpupdate.tencentyun.com"
w32tm /resync
```

アクティベーション手順

1. Windows CVMにログインします。
2. OSのインターフェースで、**スタート>実行**をクリックし、 `cmd.exe` を入力して、コンソールウィンドウを開きます。
3. コンソールウィンドウで以下のコマンドを順番に実行して、手動アクティベーションが完了します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
cscript /nologo %windir%/system32/slmgr.vbs -skms kms.tencentyun.com:1688
cscript /nologo %windir%/system32/slmgr.vbs -ato
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

システム アップデート

最終更新日：：2022-08-29 15:53:32

ユースケース

本ドキュメントは、 Windows Server 2012 OS を例として使用して、Windowsパッチの更新について説明します。

操作手順

パブリックネットワーク経由で更新を取得する

システムの Windows Updateサービスプログラムを利用して、パッチをインストールすることができます。詳細な操作手順は次の通り：

1. Windows CVM にログインします。
2. **>コントロールパネル>Windows Update**をクリックして、Windows Update ウィンドウを開きます。
3. **更新のチェック**をクリックして、チェックが完了するまでしばらく待ちます。
4. チェックが完了した後、「Windows Update」 中の**n 個の重要な更新が利用可能です**または**n 個のオプションの更新が利用可能です**をクリックします。
5. ポップアップの「インストールする更新プログラムの選択」ウィンドウで、更新プログラムを選択して、**インストール**をクリックします。

更新が完了した後、システム再起動の通知が表示された場合、直ちにCVMを再起動してください。

ご注意：

パッチの更新完了後、CVM を再起動する場合、VNCを介してCVM にログインして監視する必要があります。「Windows 更新プログラムの構成中、コンピュータの電源を切らないでください」または「構成が完了していません」というプロンプトが表示された場合、ハードシャットダウン操作を実行しないでください。強制シャットダウンはCVMにダメージを与える可能性があります。

プライベートネットワーク経由で更新を取得する

CVM がパブリックネットワークに接続できない場合、Tencent Cloud プライベートネットワークのパッチサーバーを利用して更新パッチをインストールできます。 Tencent Cloud の Windows パッチサーバーには、Windows で一般的に使用されるほとんどのパッチ更新プログラムが含まれますが、ハードウェアドライバーパッケージや一部利用頻度が低いサーバー更新パッケージは含まれていません。一部利用頻度が低いサービスはTencent Cloud

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

プライベートネットワークのパッチサーバーで見つからない場合があります。
Tencent Cloud プライベートネットワークのパッチサーバの利用方法は以下の通り：
1. Windows CVM にログインします。
2. IE ブラウザを介して、Tencent Cloudプライベートネットワークセットアップツール（Tencent Cloud プライベートネットワークの設定ツール（wusin.bat）にアクセスしてダウンロードします。
wusin.bat ダウンロードURLは： `http://mirrors.tencentyun.com/install/windows/wusin.bat` です
3. 管理者コマンドラインツール（CMD）を利用して、wusin.batを開きます。
説明：
IEを介して直接 wusin.bat ツールを実行する場合、コンソールウィンドウが自動で閉じられ、出力情報を確認することができません。
Tencent Cloud プライベートネットワークのWindows パッチサーバーを利用する必要がなくなった場合は、クリーンアップツール「wusout.bat」をダウンロードしてクリーンアップすることもできます。操作方法は下記の通り：
1. Windows CVM にログインします。
2. IEブラウザを介してTencent Cloud プライベートネットワークのクリーンアップツール（wuout.bat）をアクセスしてダウンロードします。
wuout.bat ダウンロードURLは： `http://mirrors.tencentyun.com/install/windows/wusout.bat` です
3. 管理者コマンドラインツール（CMD）を利用して、wusout.batを開きます。
説明：
IEを介して直接 wusout.bat ツールを実行する場合、コンソールウィンドウが自動で閉じられ、出力情報を確認することができません。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

システムのシャットダウン

最終更新日：：2021-10-14 10:33:01

CVMシャットダウンプロセス分析

シャットダウンプロセス

説明：

関連する操作については、インスタンスのシャットダウン ドキュメントをご参照ください。

Tencent Cloud Windowsインスタンスのシャットダウンプロセスは下記の通り：

1. ホストのlibvirtはshutdownコマンドをqmpプロトコルを通してqemuコンポーネントに転送します。

2.qemuコンポーネントは、acpiを中断することによってシャットダウンコマンドをCVMに転送します（詳細については、vmcsに関連する技術ドキュメントをご覧ください）。

2. シャットダウン信号を受信した後、Windowsインスタンスはアプリケーションとサービスプロセスを終了します。

3. コアサービスプロセスを停止します。

4. 電源を切ります。

説明：

その中、ステップ３とステップ４は、システム設定によって、各アプリケーションとサービスの停止順序が異なる可能性があります。

Windowsはクローズドソースシステムであり、いくつのAPIを提供することによってカーネルモードおよびユーザーモードのプログラムがシャットダウンプロセスに関与できるようにします。同時にWindows自体の一部実行中のサービスがシャットダウンプロセスに影響するため、コンピューターがシャットダウンできなくなります。そのため、Windowsのシャットダウンプロセスは時間がかかる場合があります。

強制シャットダウン

仮想化シナリオでは、メッセージ通知を利用してWindows自体をシャットダウンする以外、他のシャットダウン方法も提供しています。物理マシンの電源を切るのと類似方法であり、このシャットダウン方法を**強制シャットダウン**と呼びます。システム信号によって開始されるシャットダウン操作は、**ソフトシャットダウン**と呼ばれます。強制シャットダウンは、次の2つの側面でWindowsとユーザーエクスペリエンスに影響を与える可能性があります。

1. 強制シャットダウンは、一部のサービスとアプリケーションを中断したため、これらのプログラムが正常に動作しない可能性があります。例えば、保存していないドキュメント、完了していないWindowsUpdateプロセスなど。

2. WindowsのNTFSシステム（または以前のFAT32などのシステム）はシャットダウンプロセス中にいくつかの重要なデータを書き込むため、 強制終了によってこれらの重要なデータがディスクに書き込めないと、WindowsがNTFSファイルシステムが破壊していると見なす可能性があります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

上記の理由に基づき、Tencent Cloudユーザーは**ソフトシャットダウンを利用**してWindows インスタンスをシャットダウンすることを推薦します。

コンピューターを正常にシャットダウンできない場合の原因

Windowsシステムにいくつかの問題があるため、シャットダウンプロセスが影響を受け、シャットダウンできない場合があります。
1. WindowsUpdateプロセスにより、シャットダウンにかかる時間が長くなる場合があります。 Windowsシステムは、シャットダウンプロセス中にパッチ操作を実行し、「コンピューターの電源を切ったり、電源コードのプラグを抜いたりしないでください」などのメッセージを表示する場合があります。
2. Windowsシステムで「シャットダウンイベントトラッカー」メカニズムが有効になっていて、システムのサービスまたはドライバープログラムを実行するとエラーが発生してシャットダウンする必要がある場合、システムは設定によって、ユーザーにプロンプトボックスを表示するか、エラーの説明を入力させて、ユーザーがこれらの操作を完了してから、電源を切ります。システムは、シャットダウンする前に、これらの操作が完了するのを待ちます。
3. Windowsはユーザーがシステムにログインしていない場合、シャットダウンを許可しないように設定します。この場合、仮想化ホストから送信されたソフトシャットダウンコマンドはWindowsによって破棄されるため、シャットダウンすることができません。
4. Windowsをシャットダウンする時、すべてのサービスとアプリケーションプにメッセージをブロードキャストします。これらのプログラムがこのメッセージを受信した後、肯定的な応答を返さない場合、シャットダウン処理は実行されません。この場合、Windowsは関連設定を行ってこの応答プロセスを無視します。
5. 電源管理の設定に関連する操作で、**パソコンの電源が落ちるときのWindowsの対処法**を無視するかまたは操作しないように設定する場合、Windows は仮想ホストのシャットダウンイベントを無視します。
6. Windowsは電源管理の設定によってスリープ状態になる時、シャットダウンイベントを処理しません。
7. Windowsシステムに悪意のあるソフトウェアをインストールした場合、又はトロイの木馬、ウイルスなどを感染した場合、Windowsシステム自体は破壊されたため、Windowsシャットダウンがブロックされる可能性があります。

Tencent CloudはWindowsパブリックイメージをリリースする際に、上記のほとんどのシナリオを最適化して、ソフトシャットダウンをスムーズに完了できるようになりました。ただし、これらの最適化対策では、Windowsがウイルス又はトロイの木馬を感染した場合やOSが破壊された場合などのシナリオを解決できません。また、ユーザーのWindowsインスタンスの関連設定を再度調整しても、ソフトシャットダウンがスムーズに実行することを保証できません。
強制シャットダウンにはリスクがあるため、どうしても必要な場合のみ強制シャットダウンを実行することを推薦します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

高性能電源管理を設定する

最終更新日：：2023-01-13 17:01:59

概要

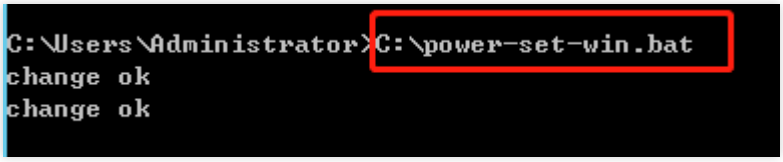
Windows Server OSでは、インスタンスのソフトシャットダウンをサポートするように、高性能の電源管理を設定する必要があります。それ以外の場合は、CVMコンソールでのみCVMインスタンスを強制的にシャットダウンできます。このドキュメントでは、Windows Server 2012のOSを例として電源管理の設定方法を説明します。

操作説明

電源管理を変更するには、コンピューターを再起動する必要はありません。

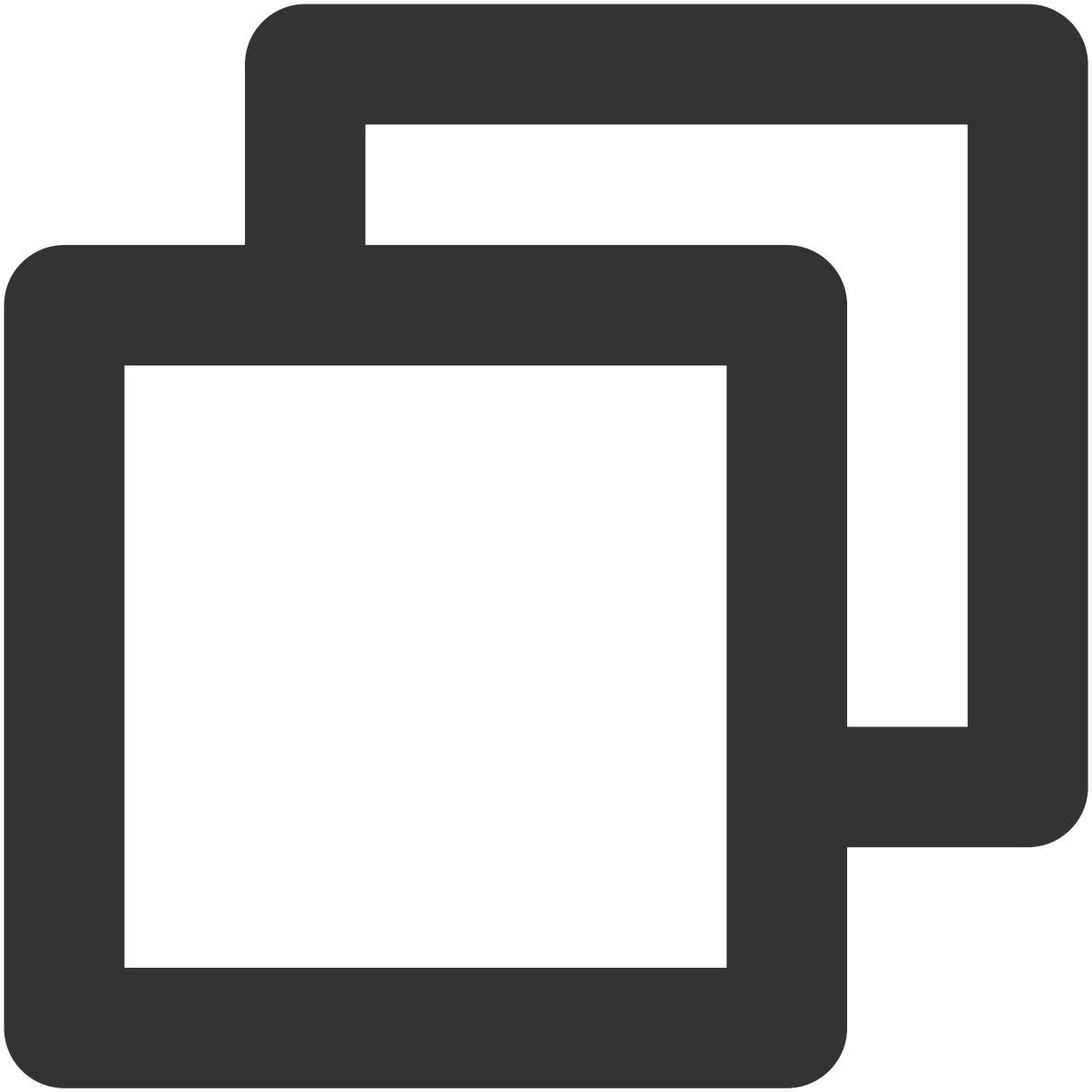
操作手順

1. RDPファイルを使用してWindowsインスタンスにログイン（推奨）します。または実際の操作方法により、リモートデスクトップ接続を使用してWindowsインスタンスにログイン することもできます。
2. IEブラウザを介してTencent Cloudプライベートネットワークにアクセスし、Tencent Cloudの電源変更と設定ツールをダウンロードします。
ダウンロードアドレス： `http://mirrors.tencentyun.com/install/windows/power-set-win.bat` です
たとえば、Tencent Cloudの電源変更と設定ツール（power-set-win.bat）をC:ドライブにダウンロードします。
3. 下図に示すように、管理者コマンドラインツール（CMD）を使用してpower-set-win.batを開きます。



4. 次のコマンドを実行して、現在の電源管理ポリシーを確認します。

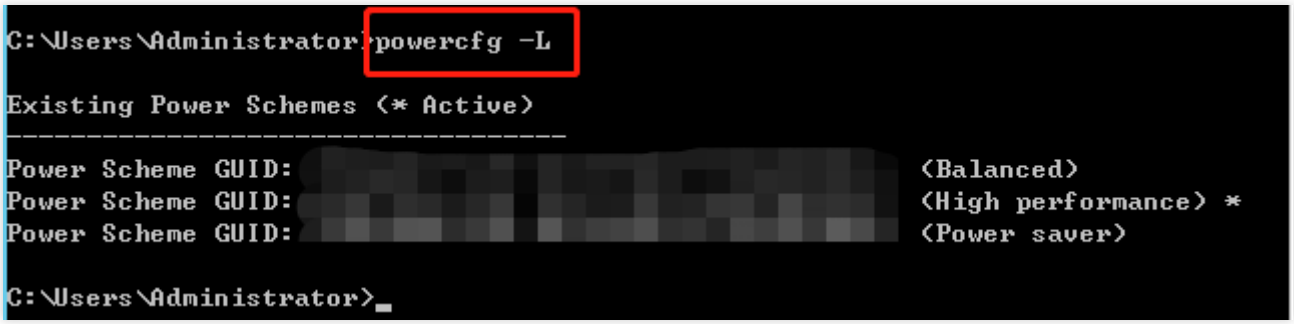
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
powercfg -L
```

次の結果が返されます。

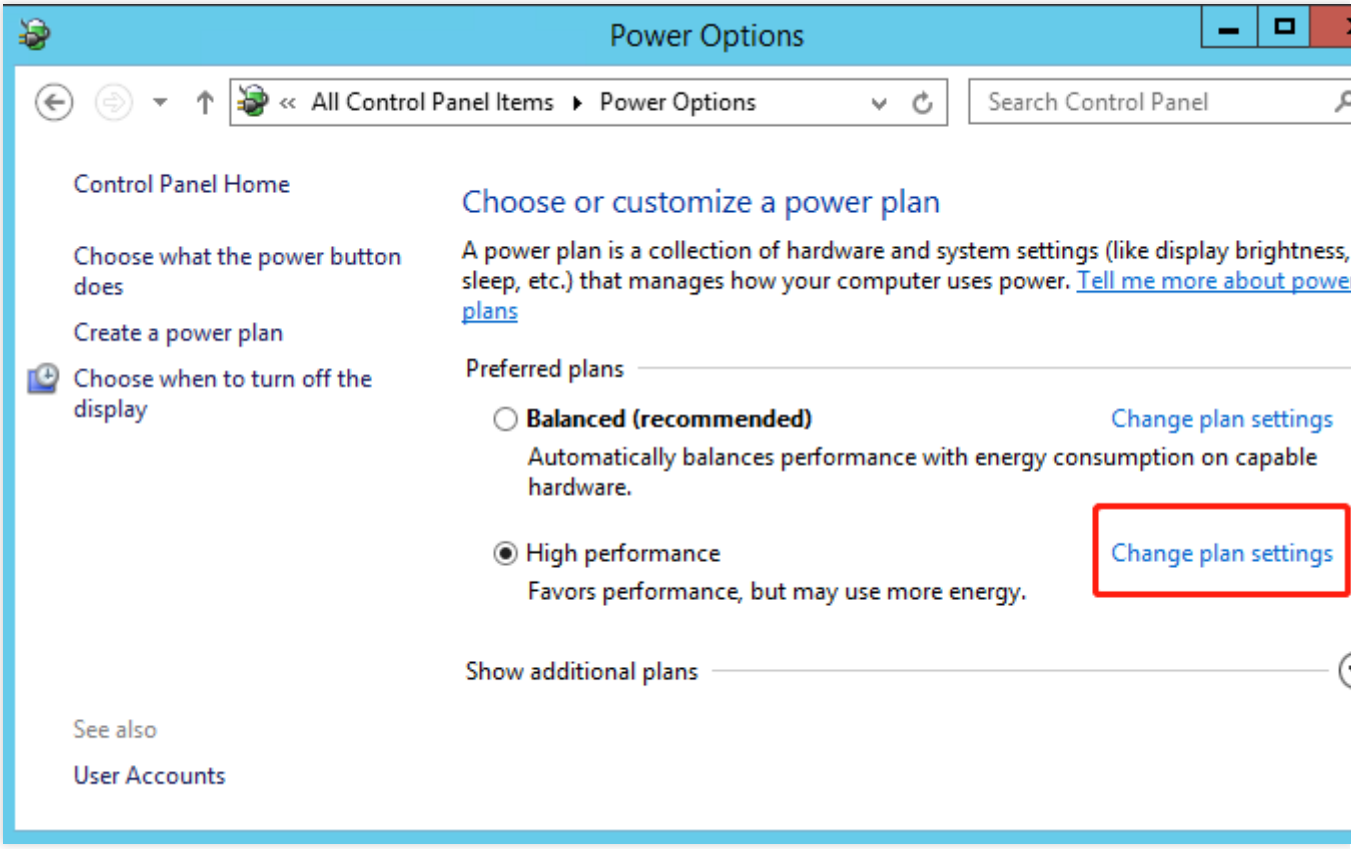
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



5. OS画面で、

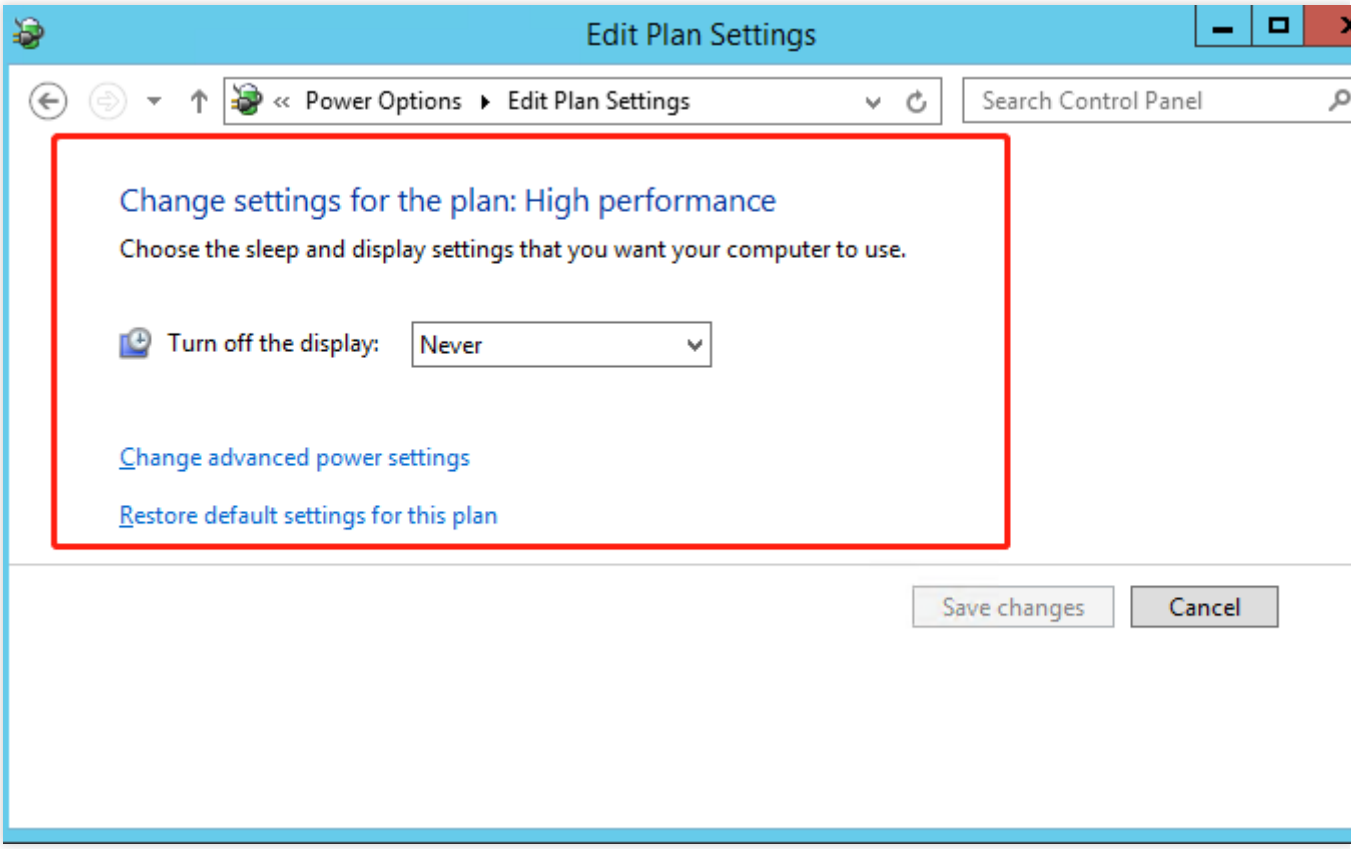
> コントロールパネル > システムとセキュリティ > 電源オプション をクリックすると、電源オプションウィンドウが表示されます。

6. 下図に示すように、電源オプションウィンドウで**プラン設定の変更**をクリックします。



7. 下図に示すように、表示されている「プラン設定の編集」画面でディスプレーとディスクのスリープ時間を変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Windowsリカバリモード

最終更新日：：2021-08-11 16:33:37

Windows リカバリーモードの概要

Windowsシステムリカバリーモード（Recovery）とは、Windowsが自動修復機能を使用することを指します。何らかのシステムの問題を検出し、引き続き使用するとシステムが損傷すると考えられる場合、Windowsを起動せずに、システム回復オプションに進み、ユーザーに修復、バックアップまたはシステムの復元などの処理を行うモードが提供されます。
Windows のシステム回復オプションには、「スタートアップ修復」、「システムの復元」、「Windows メモリ診断ツール」などのいくつかのツールが含まれています。 これらのツールを使用して、問題の修復、データのバックアップ、およびシステムの復元などの操作を行うことができます。
ユーザーがCloud Virtual Machineにリモートログインできず、コンソールからCVMにログインした後に下図の状態が出現した場合は、Windows CVMがリカバリーモードに入ったことを意味します。

リカバリーモードに入る原因

リカバリーモードに入る一般的な原因は次のとおりです。
Windowsの実行中またはシャットダウン中に、強制的に電源を切った場合。これには、コンソールで実行する強制シャットダウン操作を含みます。不注意のシャットダウンにより、システムが一部の重要データを失い、リカバリーモードに入ることがあります。
WindowsUpdate中に、電源が切れた場合。更新中の重要データが失われ、リカバリーモードに入ります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

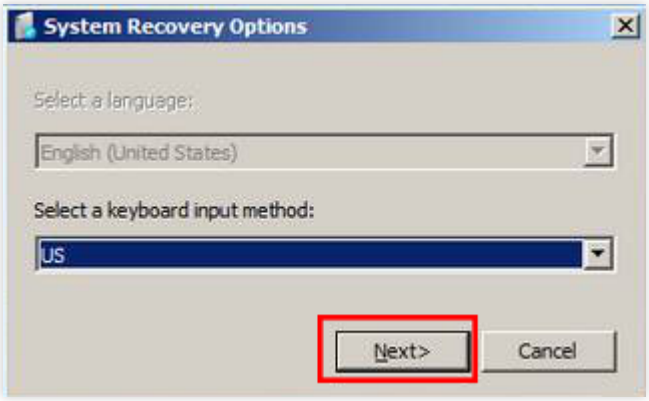
システムがトロイの木馬またはウィルスによって損傷した場合。
Windowsのコアサービスバグ。Windowsがリスクを自動検出し、リカバリーモードに入ります。
システムが重要データを失うか、またはシステムが損傷した場合。ユーザーの誤操作によってシステムファイルが損傷した場合、システムがリカバリーモードに入ることがあります。

予防措置

Tencent Cloudはユーザーにより次の予防措置を行うようお勧めします。
シャットダウン時にコンソールを開き、Windowsのシャットダウンプロセスを確認します。Tencent Cloudソフトシャットダウンはタイムアウトメカニズムを採用しており、ソフトシャットダウン実行後の所定時間内にシステムがシャットダウンされない場合は、エラーが返されます。シャットダウンプロセスに時間がかかるか、またはWindowsUpdateが実行される場合は、強制的にシャットダウンせず、CVMのシャットダウンを待ちます。シャットダウン失敗のシナリオ ドキュメントを参照することをお勧めします。
システムにトロイの木馬やウィルスなどの異常なプログラムやプロセスが存在しないかどうかをチェックします。
システム管理とウィルス対策ソフトが正常に動作しているかどうかをチェックします。
Windowsの更新パッケージ（特に一部の重要な更新とセキュリティ更新）を速やかに更新します。
システムイベントログを定期的にチェックし、コアサービスにエラーがないかどうかを確認します。

ソリューション

Windowsがリカバリーモードに入った場合、ユーザーは起動と実行の継続、または自動修復を試すことができます。Windowsは軽微な問題を自動修復することができます。次の操作を実行してください。
1. CVMコンソール からCVMにログインします。
2. 表示されるリカバリモードページで、【Next】をクリックします。次の図に示すように：



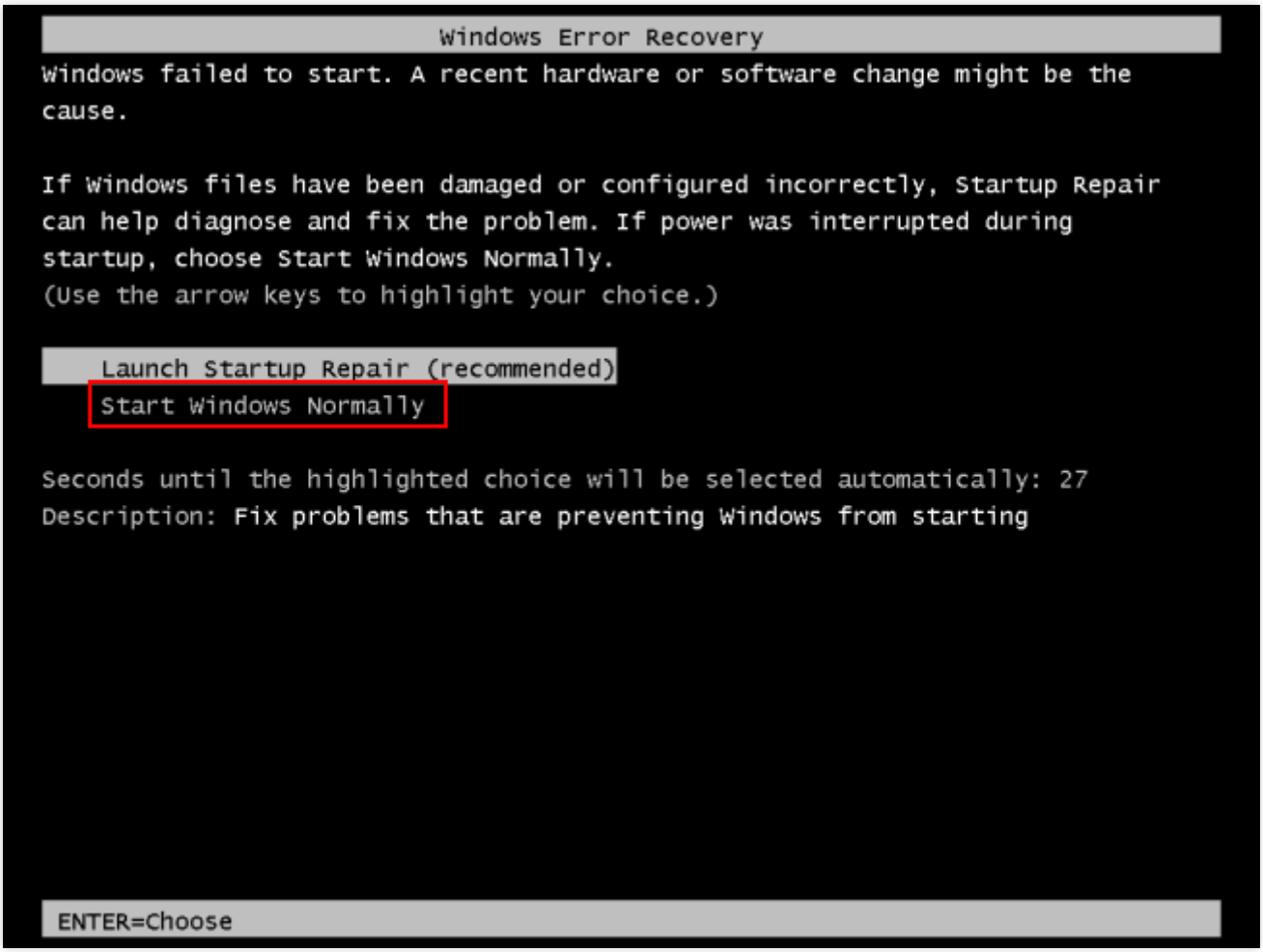
3. 「システム回復オプション」 画面が表示されたら、【Next】をクリックし、デフォルトのソリューションを使用します。次の図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 【Restart】をクリックし、すぐに【F8】キーを押します。次の図に示すように：

5. 【Start Windows Normally】を選択します。次の図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



Windowsが正常に起動しない場合は、コンソールにシステムを再インストールしてください。より詳細な説明をご覧になる場合は、コンソールを介してシステムの再インストール ドキュメントをご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Virtio ENIドライバーの更新

最終更新日：：2023-01-13 17:15:01

概要

Tencent Cloud CVM Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016およびWindows Server 2019は、Virtio ENIドライバーをインストールすることにより、仮想化ハードウェアのネットワークパフォーマンスを最適化します。Tencent Cloudは、パフォーマンスの向上とトラブルシューティングのため、ENIドライバーを継続的に改善します。ここでは、Virtio ENIドライバーを更新し、ドライバーのバージョンを確認する方法についてご説明します。

前提条件

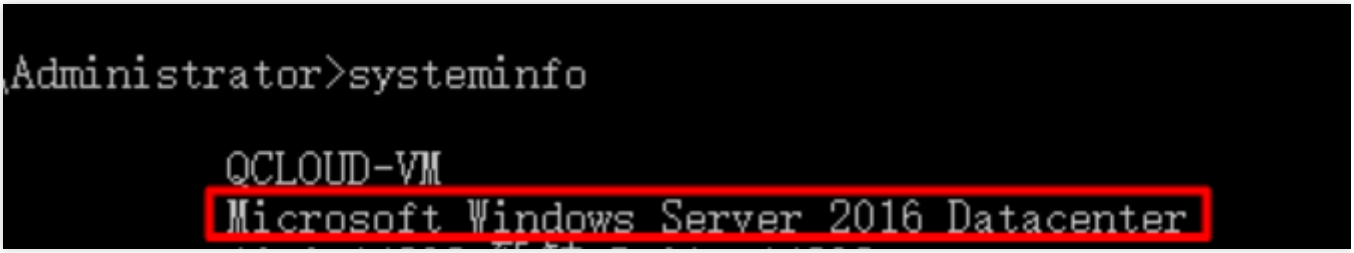
Windows CVMにログインしていること。

操作手順

システムのバージョン情報を確認する

システムのバージョン情報は下記の方法を通して確認できます：
1. CVMにログインし、

を右クリックし、表示されたメニューから**実行**を選択します。
2. 開いた「実行」ウィンドウに `cmd` と入力して**Enter**を押します。
3. 開いた「cmd」ウィンドウで `systeminfo` コマンドを実行すると、システム情報が確認できます。
今回のシステムバージョンは「Windows Server 2016データセンター版64ビット英語版」を例としているため、下図のような情報が取得されます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Virtio ENIドライバーの更新方法

ご注意：

更新中はネットワークが瞬断しますので、更新前に業務に影響が出ないかご確認ください。更新後はコンピュータを再起動する必要があります。

1. CVMのブラウザから、OSのバージョンに適したVirtio ENIドライバーのインストールファイルをダウンロードします。

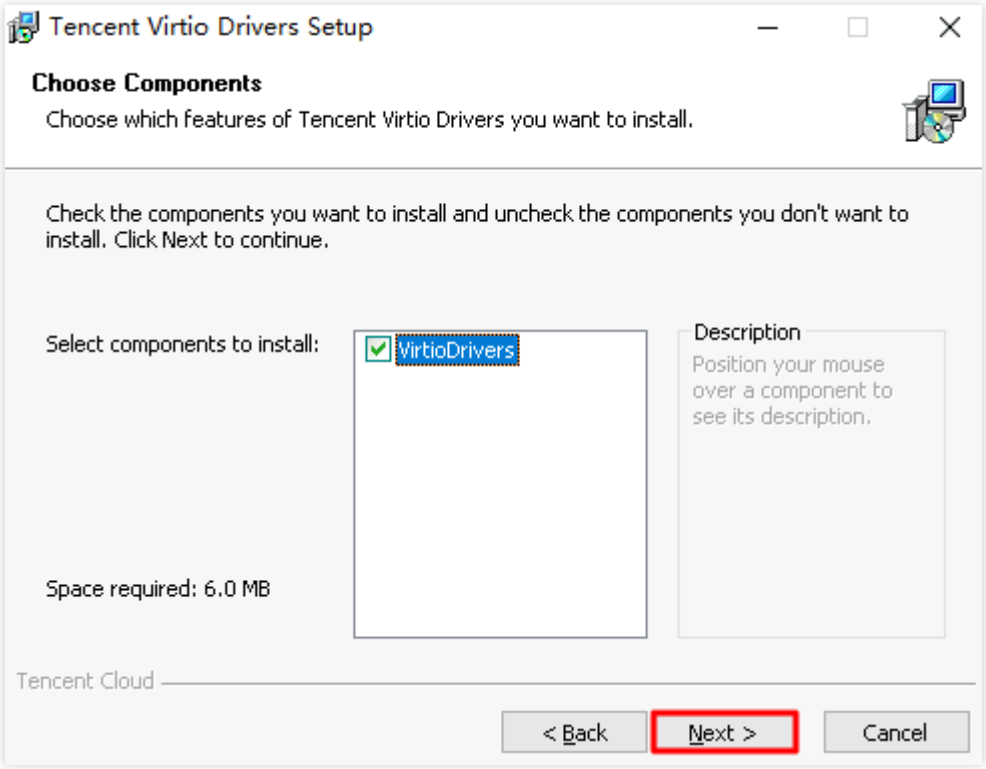
Virtio ENIドライバーのダウンロードアドレスは次のとおりです。実際のネットワーク環境に応じてダウンロードしてください。

パブリックネットワークのダウンロードアドレス： `http://mirrors.tencent.com/install/windows/virtio_64_1.0.9.exe`

プライベートネットワークのダウンロードアドレス： `http://mirrors.tencentyun.com/install/windows/virtio_64_1.0.9.exe`

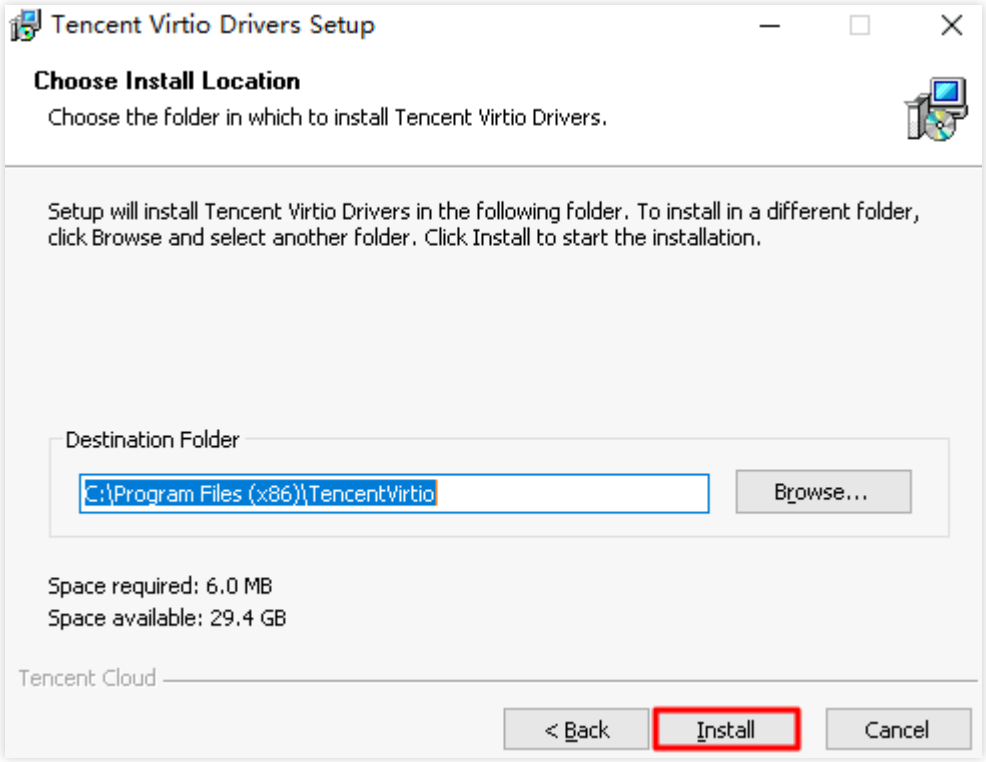
2. ダウンロードが完了したら、ダブルクリックでインストーラーを起動し、**Next**をクリックします。

3. デフォルトで「VirtioDrivers」にチェックを入れたまま、**Next**をクリックします。下図のとおりです。



4. インストール先を選択し、**Install**をクリックします。下図のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



5. 表示されたセキュリティプロンプトで、「「Tencent Technology(Shenzhen)Company Limited」からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックを入れ、**インストール**をクリックします。
インストール時に次のポップアップボックスが表示された場合は、**このドライバーソフトウェアを常にインストールする**を選択してください。
6. プロンプトに従ってコンピューターを再起動して更新を完了します。

ドライバーのバージョンを確認する

1.

を右クリックし、表示されたメニューから**実行**を選択します。
2. 開いた「実行」ウィンドウに**ncpa.cpl**と入力して**Enter**を押します。
3. 開いた「ネットワーク接続」ウィンドウで、「イーサネット」のアイコンを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
4. 表示された「イーサネットのプロパティ」ウィンドウで、**構成**をクリックします。
5. 「Tencent VirtIO Ethernet Adapterプロパティ」ウィンドウで、**ドライバー**タブを選択すると、現在のドライバーのバージョンが確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

SID操作説明を修正する

最終更新日：：2023-02-23 17:22:46

ユースケース

セキュリティ識別子(SID)はWindows OSにおいてコンピューターとユーザーを識別します。同一イメージに基づいて作り出されたCVMインスタンスのSIDが同じであるため、ドメインに参加できない問題を引き起こす可能性があります。Windowsドメイン環境を構築したい場合、ドメインに参加できるためにSIDを修正する必要があります。
このドキュメントは、 Windows Server 2012 OSのCVMを例として、システムに付属しているsysprep及びsidchgツールを使用して、SIDを修正する方法について説明します。

注意事項

本説明では Windows Server 2008 R2 、Windows Server 2012 及び Windows Server 2016にのみ適用しています。
一括でSIDを修正する必要がある場合、カスタマイズイメージ（「sysprepを実行してイメージを作成する」を選択する）を作成することにより修正できます。
SIDの修正によりデータの損失やシステムの破損などの問題が発生する可能性があるため、事前にシステムディスクのスナップショットまたはイメージを作成することを推奨します。

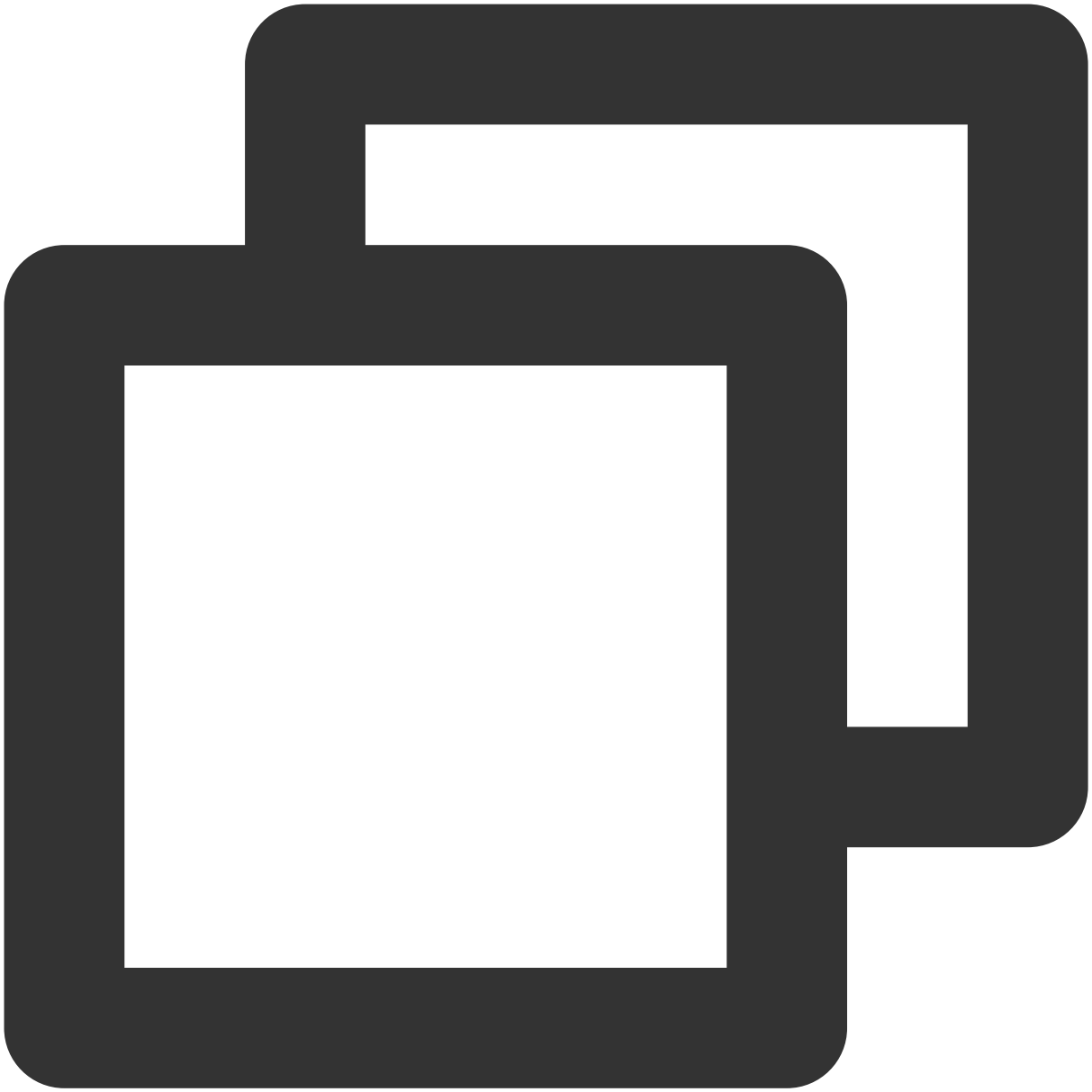
操作方法

sysprepを使用してSIDを変更する

ご注意：
sysprepを使用してSIDを変更した後、IP構成情報などを含む多くのシステムパラメーターを手動でリセットする必要があります。
sysprepを使用してSIDを変更した後、C:\\Users\\Administratorがリセットされ、システムディスクデータの一部が消去されるため、データをバックアップしてください。
1. VNC を使用してCVMにログインする。
2. OSインターフェースで、

＞**実行**を右クリックし、**cmd**を入力し、**Enter**を押して、管理者コマンドラインツールを開きます。
3. は、管理者コマンドラインで、以下のコマンドを実行して、現在のネットワーク設定を保存します。

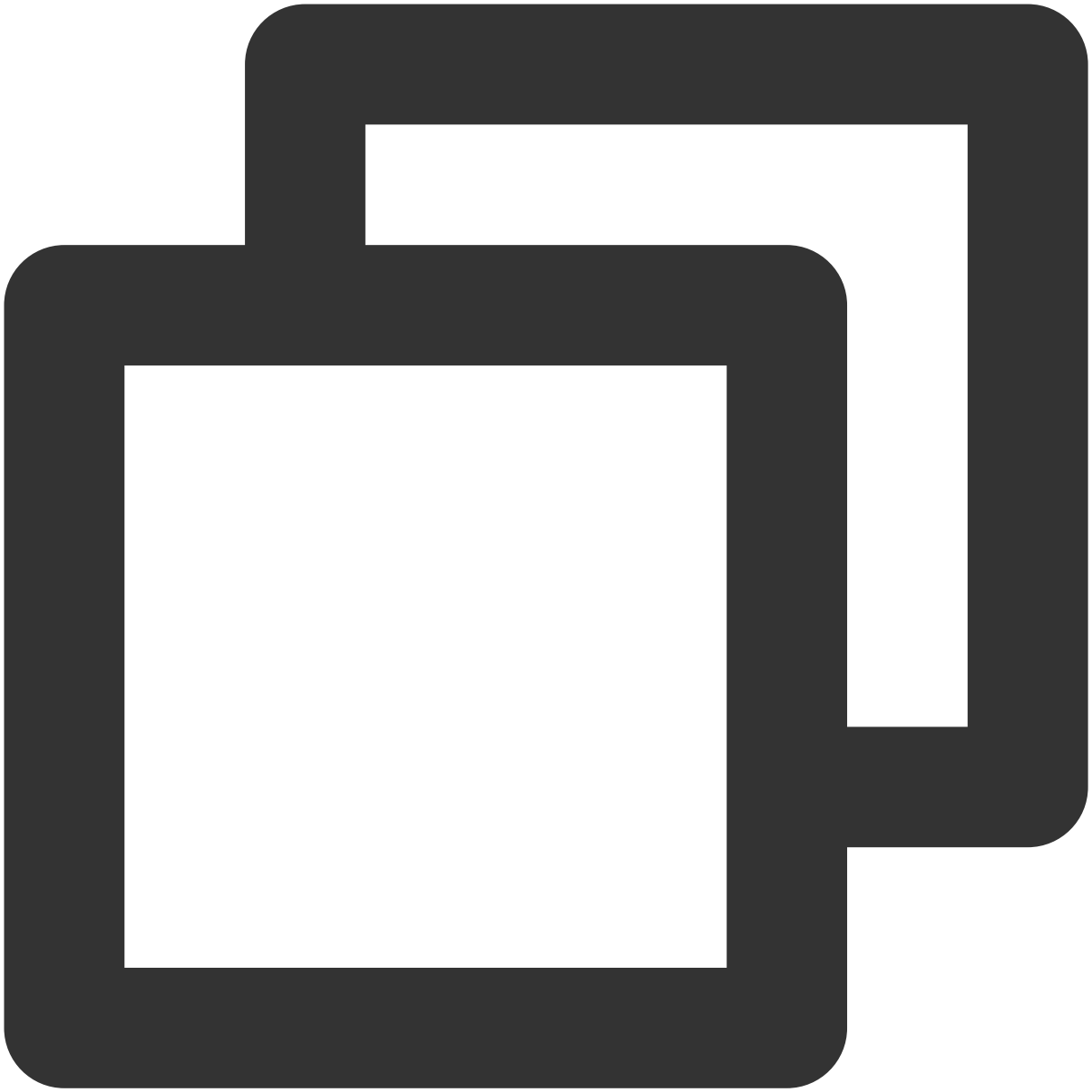
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
ipconfig /all
```

4. 管理者コマンドラインで、以下のコマンドを実行して、 sysprepツールを開きます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

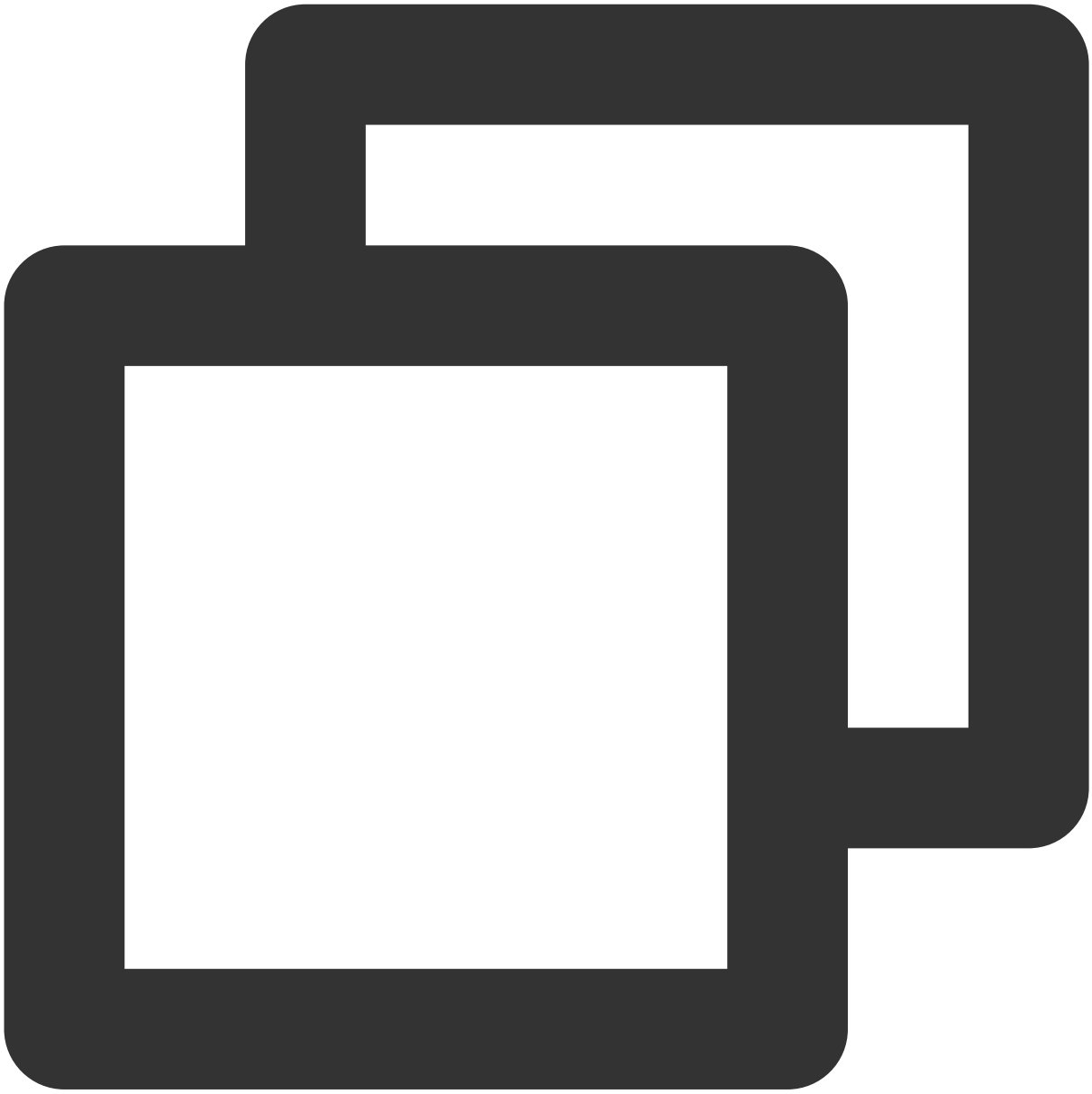


```
C:\\Windows\\System32\\Sysprep\\sysprep.exe
```

5. 開いた「システム準備ツール 3.14」ウインドウで、以下の設定を行います。
システムクリーンアップ操作システムのアウトオブボックスエクスペリエンス（OOBE）に入る**に設定し、「全般」にチェックを入れます。
シャットダウンオプションを**再起動**に設定します。
6. **確定**をクリックし、システムが自動的に再起動します。
7. 起動された後、ガイドに従って設定（例えば言語の選択、パスワードのリセットなど）を完成させます。
8. OSインターフェースで、

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

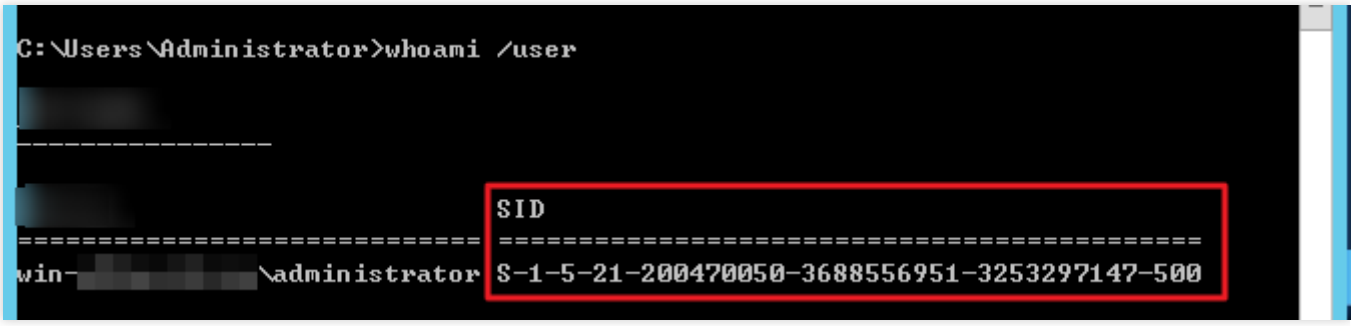
> **実行**を右クリックし、**cmd**を入力し、**Enter**を押して、管理者コマンドラインツールを開きます。
9. 以下のコマンドを実行して、 SIDが変更されたことを確認します。



```
whoami /user
```

次のような情報が返されると、SIDが変更されたことを示します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



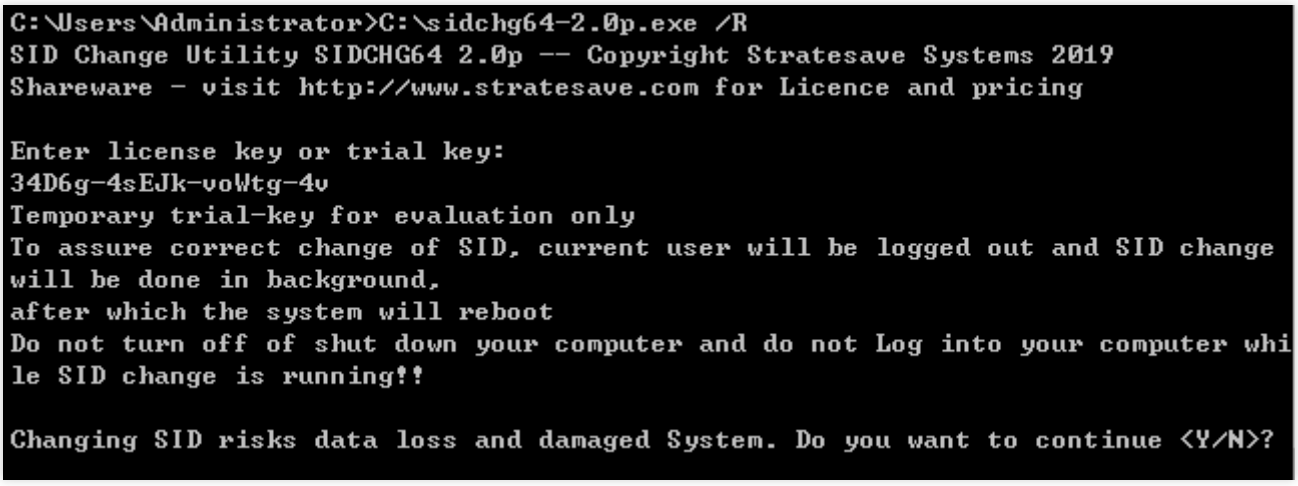
10. 手順3 で保存されたネットワーク構成情報に従って、、ENIの関連情報（例えば、IPアドレス、ゲートウェイアドレス、DNS など）を再設定します。

sidchg を使用してSIDを変更する

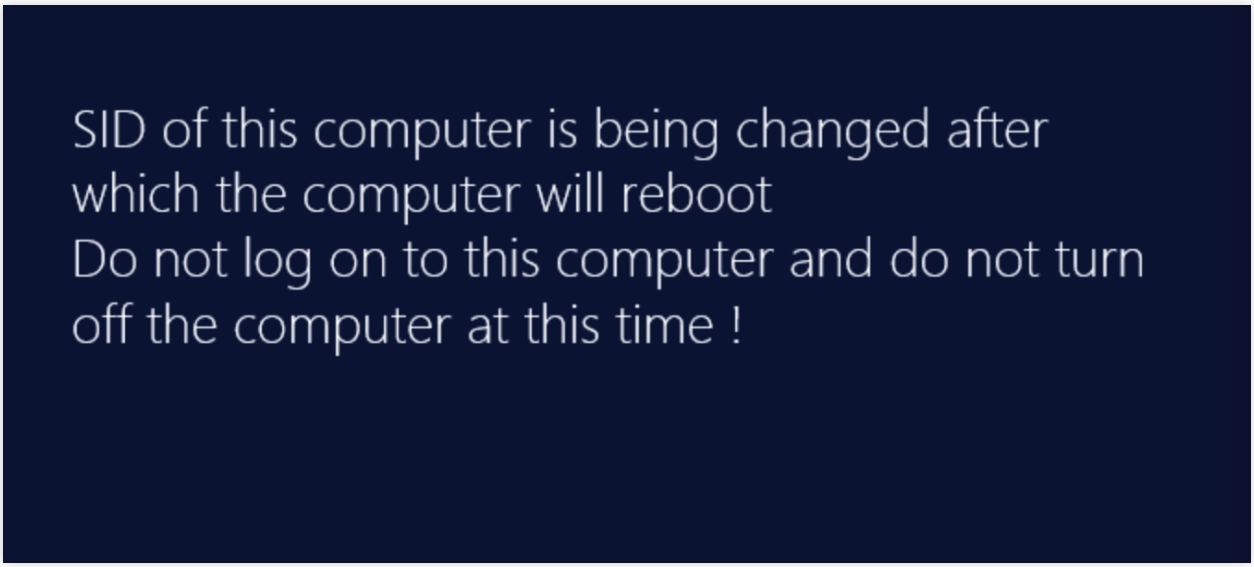
1. CVMにログインします。
2. IEブラウザでsidchgツールにアクセスしてダウンロードします。
sidchgツールのダウンロードアドレス： `http://www.stratesave.com/html/sidchg.html` です
3. 管理者コマンドラインツールを使用して、以下のコマンドを実行して、sidchgツールを開きます。下図に示すように：
例えば、sidchgツールは C: ディスクに保存され、名称は sidchg64-2.0p.exeとなります。

その中で、 `/R` は修正した後自動的に再起動することを示し、 `/S` は修正した後閉じることを示し、使用の詳細情報は SIDCHG の公式説明 をご参照ください。
4. インターフェースでの提示に従って、 license keyまたはtrial keyを入力し、 **Enter**を押します。
5. インターフェースの提示に従って、**Y**を入力し、**Enter**を押します。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



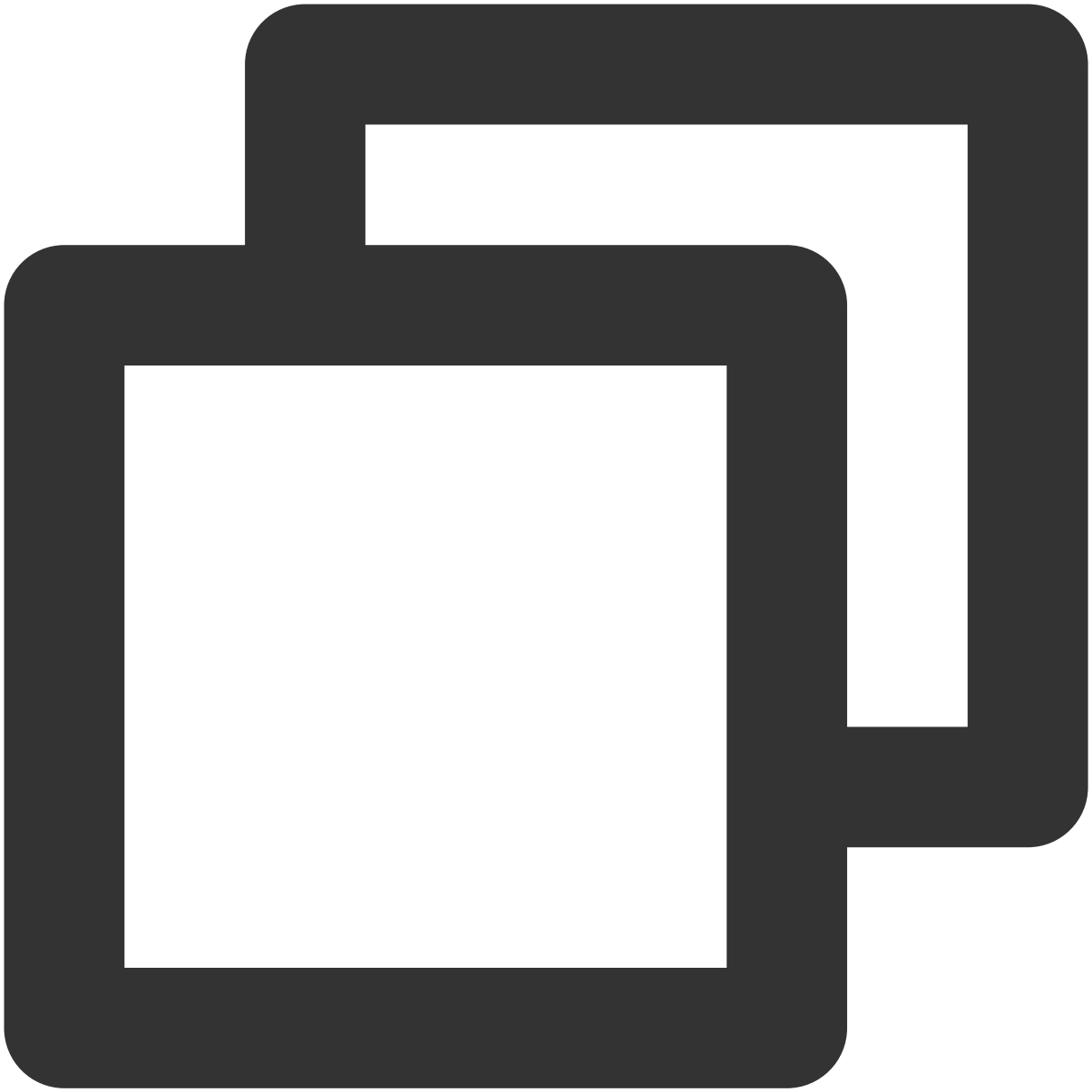
6. SIDを修正するためのプロンプトボックスで、**確定**をクリックし、SIDのリセットを行います。下図に示すように：
リセットプロセス中に、システムが再起動されます。



7. 起動完了後、

> **実行**を右クリックし、**cmd**を入力し、**Enter**を押して、管理者コマンドラインツールを開きます。
8. 以下のコマンドを実行して、SIDが変更されたことを確認します。

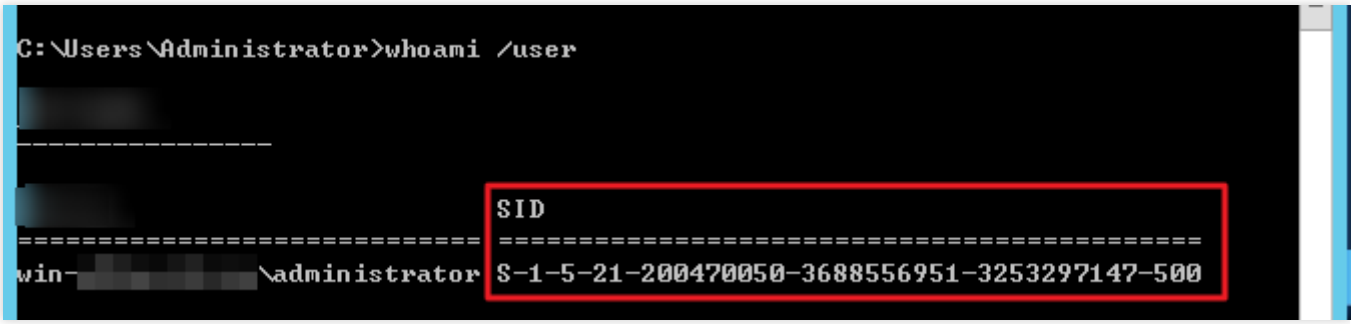
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
whoami /user
```

次のような情報が返されると、SIDが変更されたことを示します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

VNC解像度の変更

最終更新日：：2022-03-24 10:56:41

概要

ここでは、CVMコンソールでインスタンスのVNCログイン時の表示解像度を調整する方法についてご紹介いたします。
Windowsシステムイメージの場合、VNCの解像度が低すぎると、一部のプロジェクトの正常な表示に影響が生じたり、一部のアプリケーションが開けなくなったりすることがあります。解像度を変更することで、これらの問題を回避することができます。
一部のLinuxシステムイメージではVNCのデフォルト解像度が低く、例えばCentOS 6のVNCのデフォルト解像度は720 * 400しかありません。grubパラメータを変更することで、Linuxシステムイメージの VNC解像度を1024 * 768に設定できます。
説明：
Linuxシステムイメージには様々なタイプがあり、CentOS 7、CentOS 8、Ubuntu、Debian 9.0などの比較的新しいシステムイメージでは、VNCのデフォルト解像度は1024 * 768となっており、解像度を変更する必要はありません。

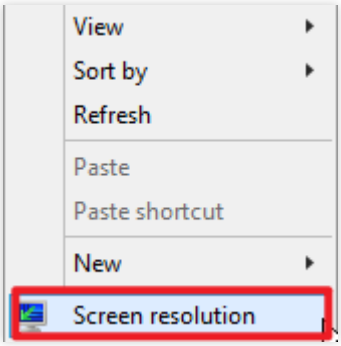
前提条件

すでにVNCを使用してインスタンスにログインしていること。ログインしていない場合は、次のドキュメントを参照して操作することができます。
VNCによるWindowsインスタンスのログイン
VNCによるLinuxインスタンスにログインする。

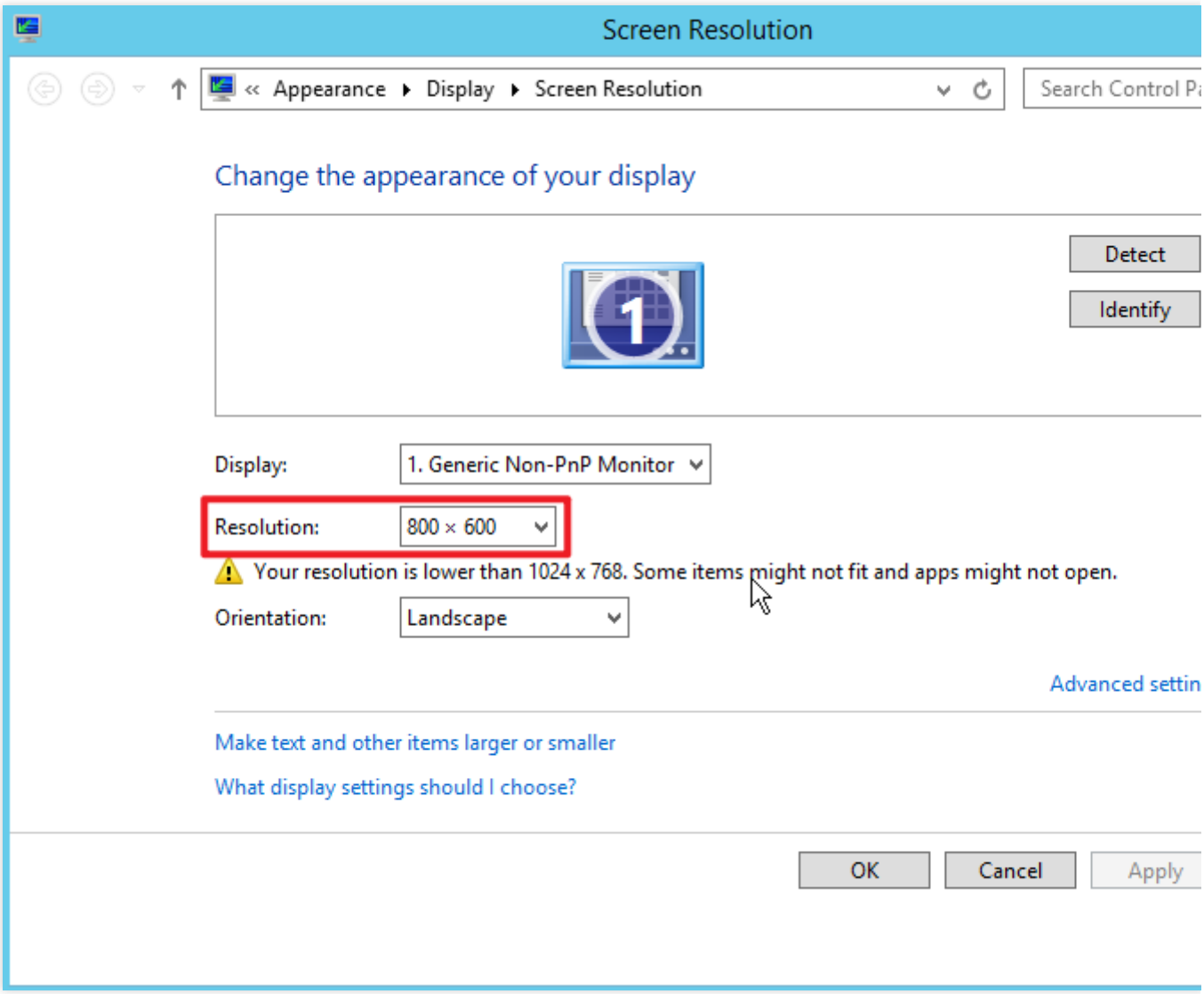
操作手順

Windowsインスタンス
Linuxインスタンス
説明：
ここでは、Windows Server 2012中国語版のシステムイメージを例として、Windowsインスタンスの VNC解像度を変更する方法をご説明いたします。
1. 下図に示すように、OSインターフェース上で右クリックし、**ディスプレイの解像度**を選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



2. 下図に示すように、表示されたディスプレイの解像度ウィンドウで、**解像度**の大きさを設定し、**適用**をクリックします。



3. ポップアップしたダイアログボックスで、**変更を維持する**をクリックします。

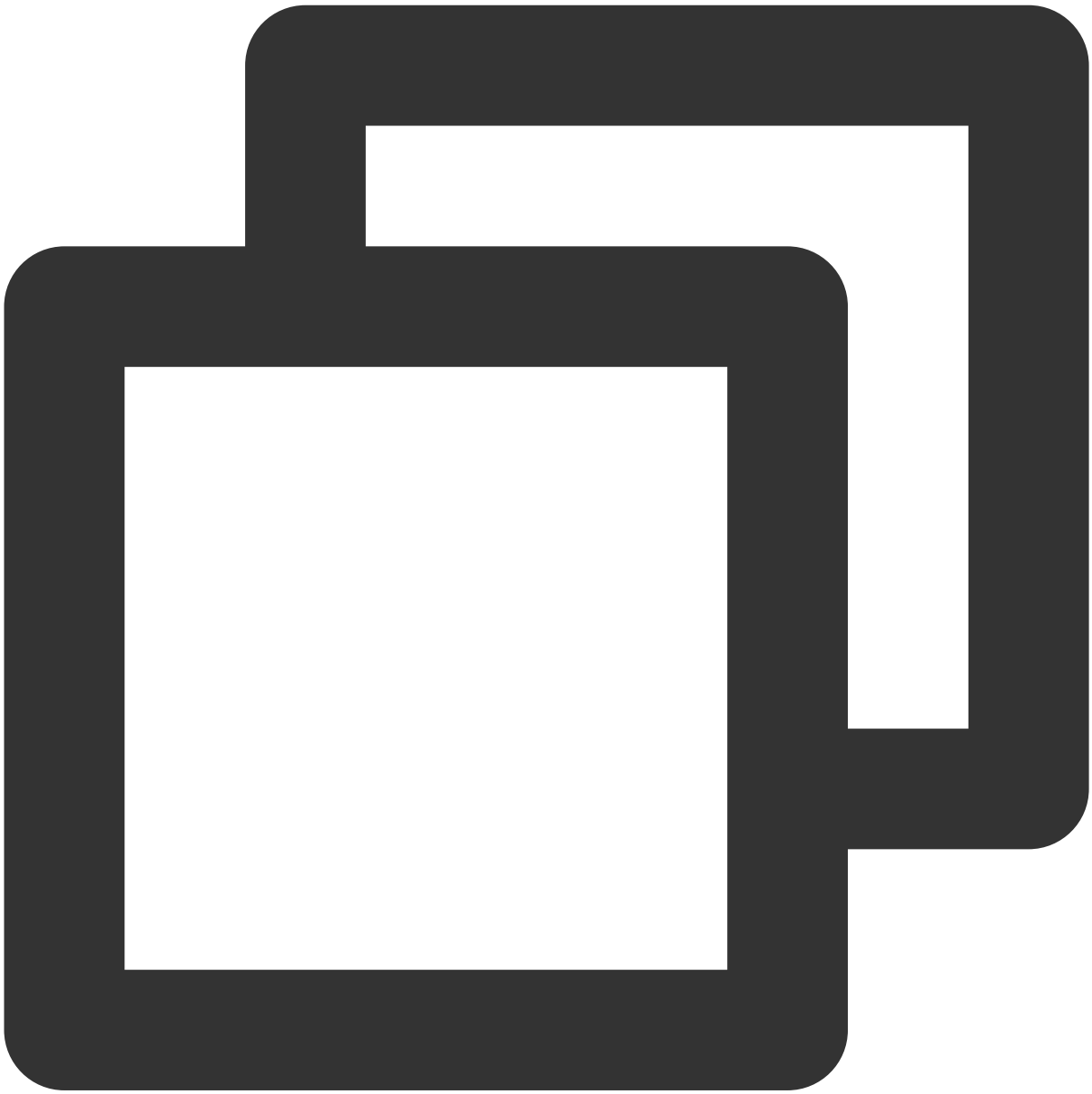
4. **OK**をクリックし、ディスプレイの解像度ウィンドウを閉じます。

ここでは、CentOS 6およびDebian 7.8を例として、VNC解像度を変更する方法をご説明いたします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CentOS 6

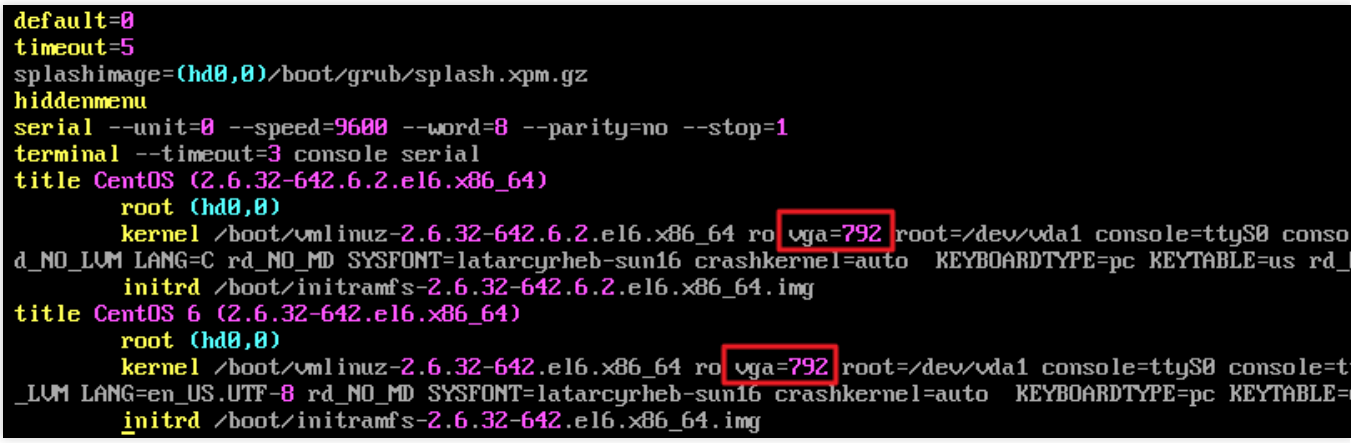
CentOS 6システムイメージでは、VNCのデフォルト解像度は720 * 400です。grub起動パラメータを変更することで、VNC解像度を1024 * 768に設定できます。設定の方法は次のとおりです。
1. OSインターフェース上で次のコマンドを実行し、 `grub.conf` ファイルを開きます。



```
vim /etc/grub.conf
```

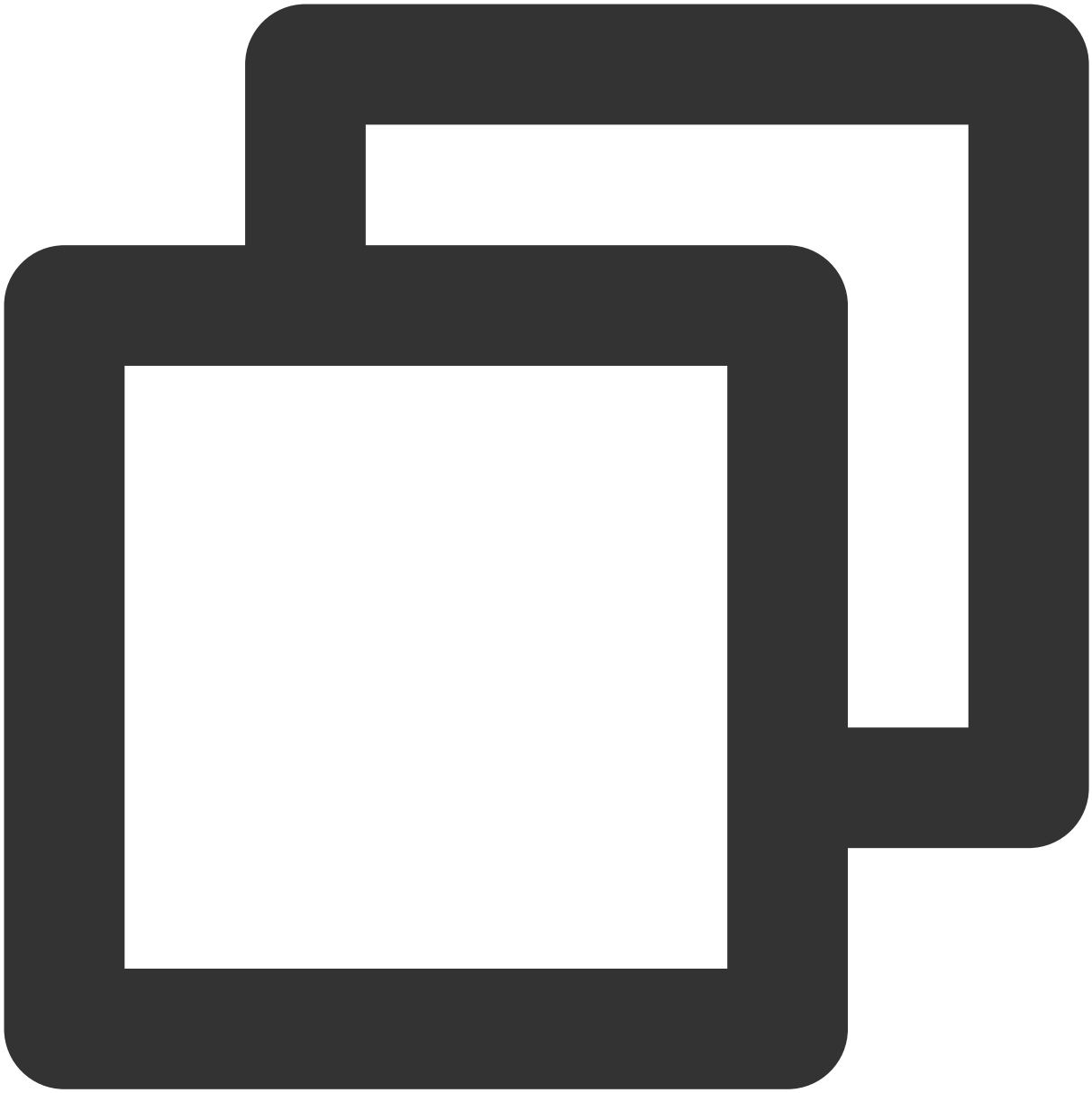
2. 下図に示すように、**i**キーを押して編集モードに切り替え、 `grub` パラメータ値に `vga=792` を追加します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



3. **Esc**を押し、**:wq**を入力して、ファイルを保存して戻ります。
4. 次のコマンドを実行し、CVMを再起動します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

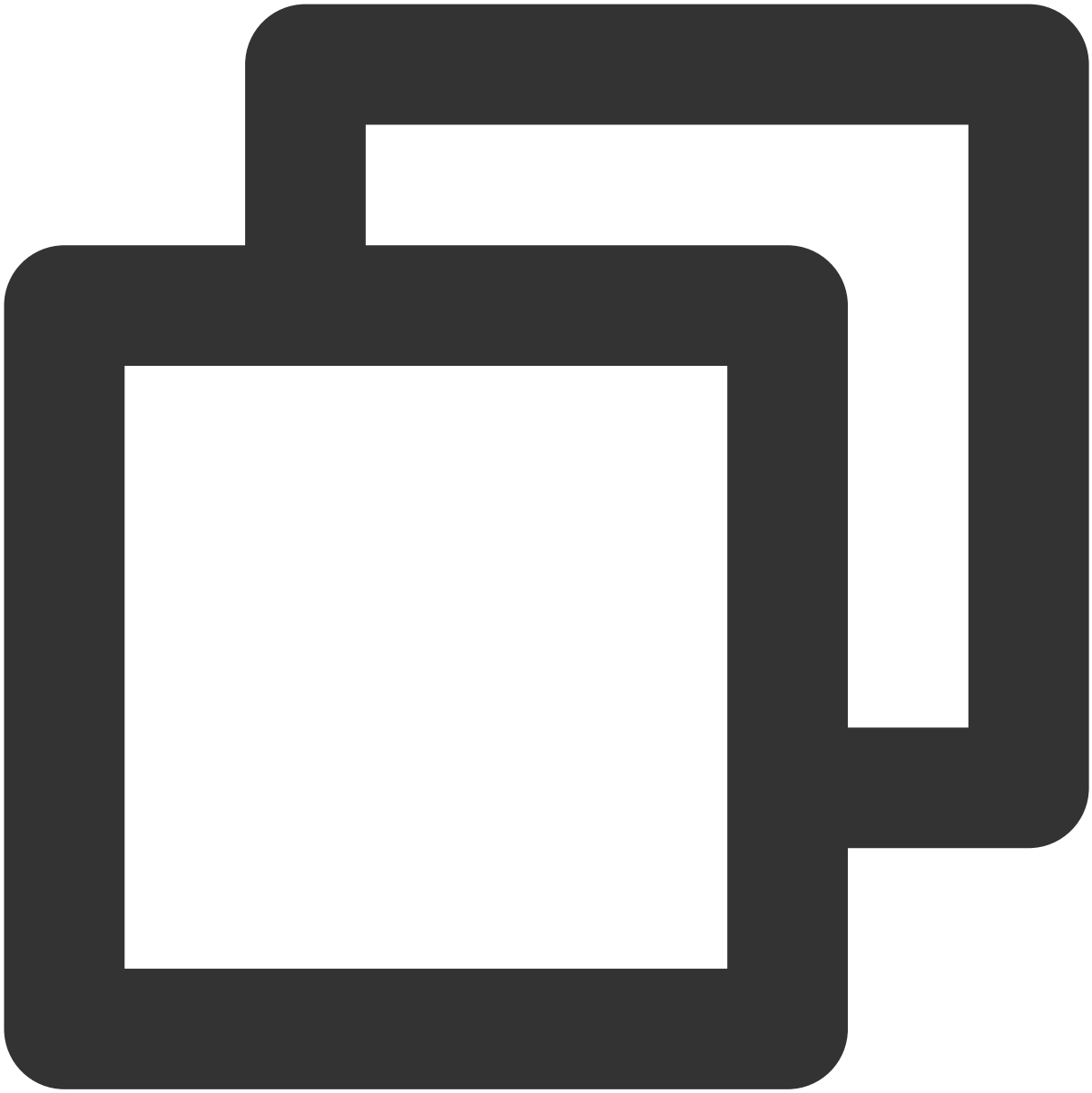


```
reboot
```

Debian 7.8

Debian 7.8およびDebian 8.2システムイメージのVNCのデフォルト解像度は720 * 400です。grub起動パラメータを変更することで、VNC解像度を1024 * 768に設定できます。設定の方法は次のとおりです。
1. OSインターフェース上で次のコマンドを実行し、grubファイルを開きます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



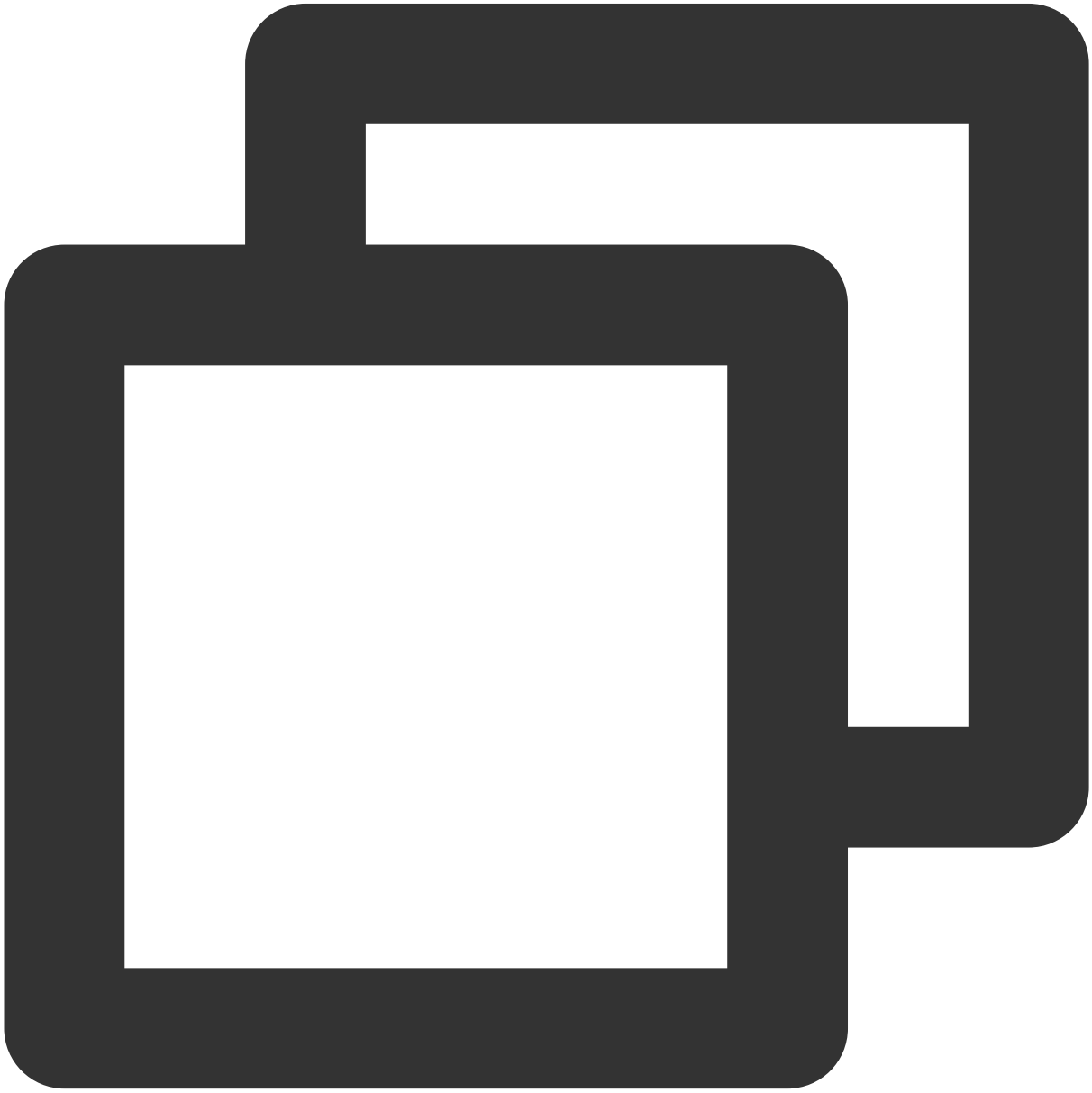
```
vim /etc/default/grub
```

2. 下図に示すように、**i**キーを押して編集モードに切り替え、 `GRUB_CMDLINE_LINUX_DEFAULT` パラメータ値の後に `vga=792` を追加します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
GRUB_DEFAULT=0
GRUB_TIMEOUT=5
GRUB_DISTRIBUTOR=`lsb_release -i -s 2> /dev/null || echo Debian`
GRUB_CMDLINE_LINUX_DEFAULT="crashkernel=1800M-4G:128M,4G-:168M panic=5 vga=792"
GRUB_CMDLINE_LINUX="console=ttyS0,9600n8 console=tty0"
GRUB_SERIAL_COMMAND="serial --speed=9600 --unit=0 --word=8 --parity=no --stop=1"
```

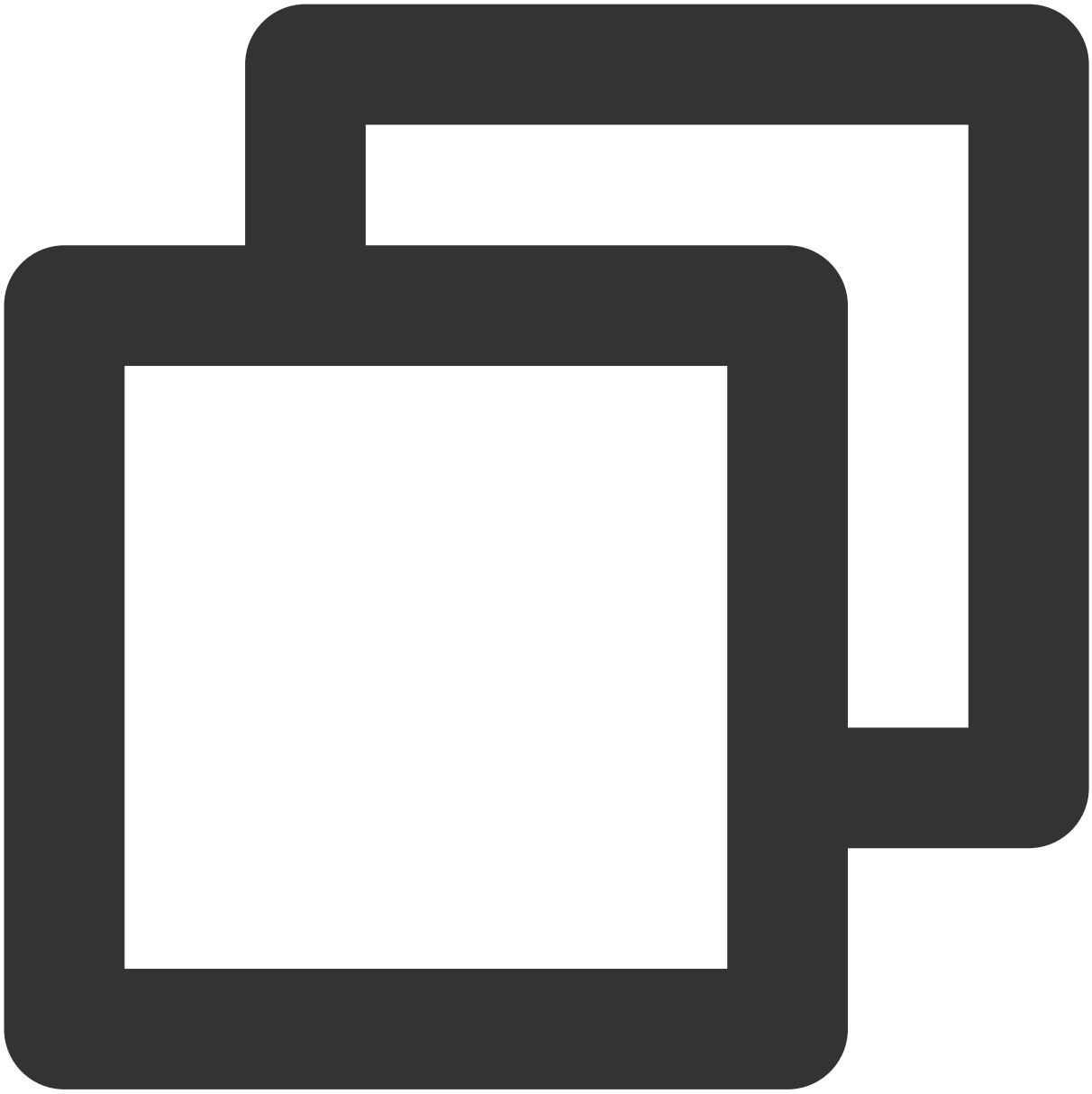
3. **Esc**を押し、**:wq**を入力して、ファイルを保存して戻ります。
4. 次のコマンドを実行し、`grub.cfg` ファイルを更新します。



```
grub-mkconfig -o /boot/grub/grub.cfg
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. 次のコマンドを実行し、CVMを再起動します。



```
reboot
```

付録

Linuxインスタンスの解像度とVGAのパラメータ対照表は次のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

解像度	640 * 480	800 * 600	1024 * 768
VGA	786	789	792

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Sysprepを使用してドメイン内のCVMの一意のSIDを維持する

最終更新日：：2020-07-21 18:19:57

ユースケース

インスタンスをドメインに参加させ、ドメインアカウントを使用してWindows CVMにログインする必要があるユーザーの場合、カスタマイズイメージを作成する前に、Sysprep操作を実行してドメイン内の一意のSIDを確認する必要があります。そうしないと、カスタマイズイメージによって作成されたCVMと元のインスタンスに同じSIDなどの同一の情報が含まれているため、インスタンスをドメインに参加させることができません。ご利用のWindows CVMがドメインに参加させる必要がない場合は、この操作をスキップしてください。
このドキュメントでは、Windows Server 2012 R2 64ビットOSを例に、Windows OSでSysprepを実行して、Windows CVMがドメインに参加させた後にSIDを一意にする方法を説明します。
Sysprepの詳細については、`https://technet.microsoft.com/zh-cn/library/cc721940(v=ws.10).aspx` をご参照ください。

注意事項

Windows CVMは、正規のWindows OSであり、アクティブ化されている必要があります。
Windows CVMが非パブリックイメージによって作成されている場合、当CVMは元のイメージに付属するSysprepバージョンのみをサポートし、Sysprepは常に `%WINDIR%\\system32\\sysprep` ディレクトリから実行する必要があります。
残りのWindowsリセットカウントが1以上である必要があります。そうでない場合、Sysprepをカプセル化できません。
`slmgr.vbs / dlv` コマンドを実行することで、残りのWindowsリセットカウントを確認できます。
Windows CVMのCloudbase-Initアカウントは、Cloudbase-Initエージェントプログラムの組み込みアカウントであり、CVMの起動時にメタデータを取得し、関連する設定を実行するために使用されます。このアカウントを変更または削除するか、エージェントプログラムCloudbase-Initをアンマウントすると、このCVMで作成されたカスタマイズイメージによって生成されたCVMが初期化されるときに、カスタマイズ情報が失われる可能性があります。したがって、Cloudbase-initアカウントを変更または削除することはお勧めしません。

前提条件

管理者として Windows CVMにログイン しました。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

すでに Windows CVMにCloudbase-Initをインストール しました。

操作手順

1. OSのインターフェースで、

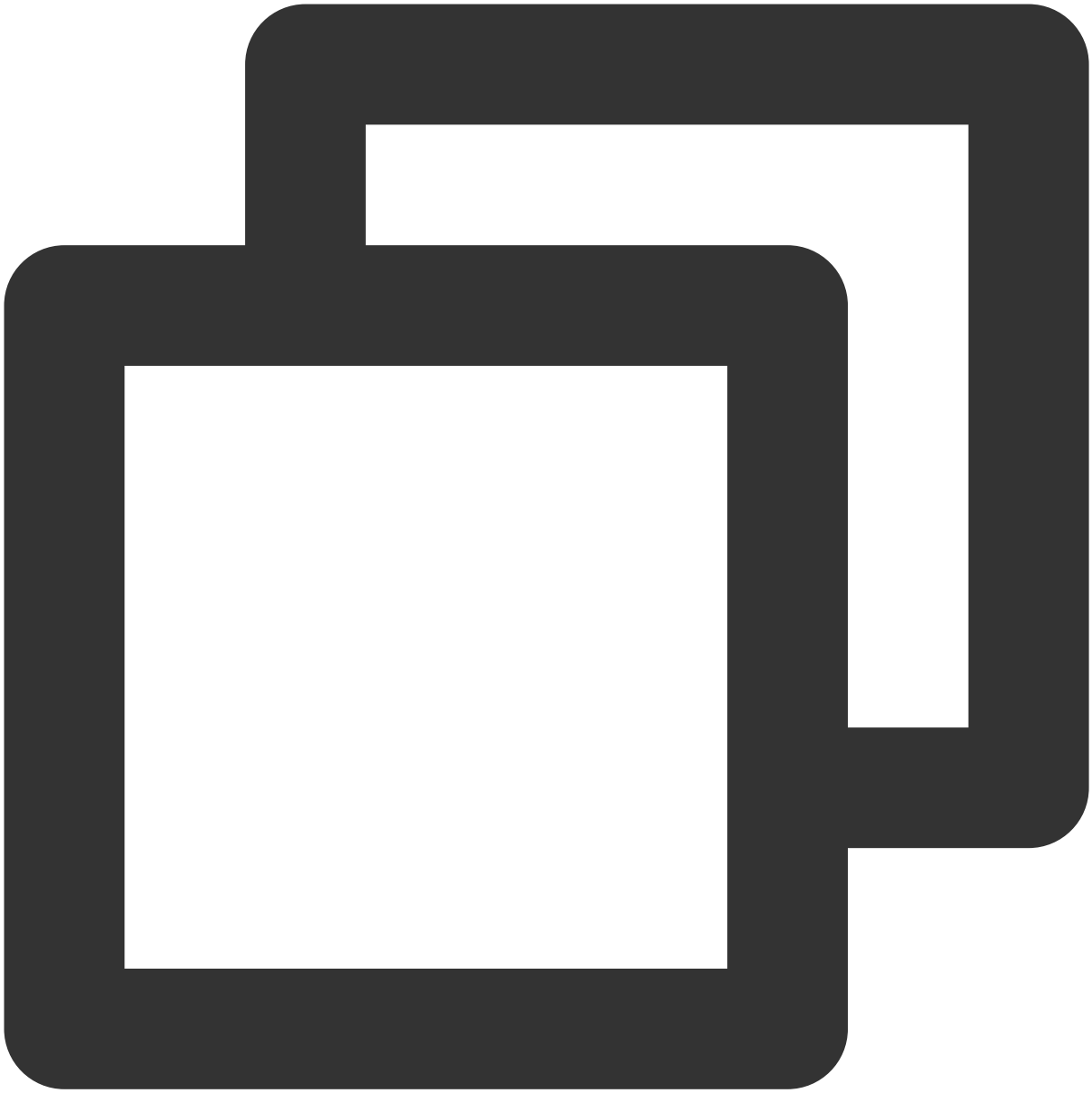
をクリックして、Windows PowerShell画面を開きます。

2. Windows PowerShellウィンドウで次のコマンドを実行して、Cloudbase-initツールのインストールパスに入ります。

説明：

Cloudbase-initツールが `C:\\Program Files\\Cloudbase Solutions\\` ディレクトリにインストールされていると仮定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
cd 'C:\\Program Files\\Cloudbase Solutions\\Cloudbase-Init\\conf'
```

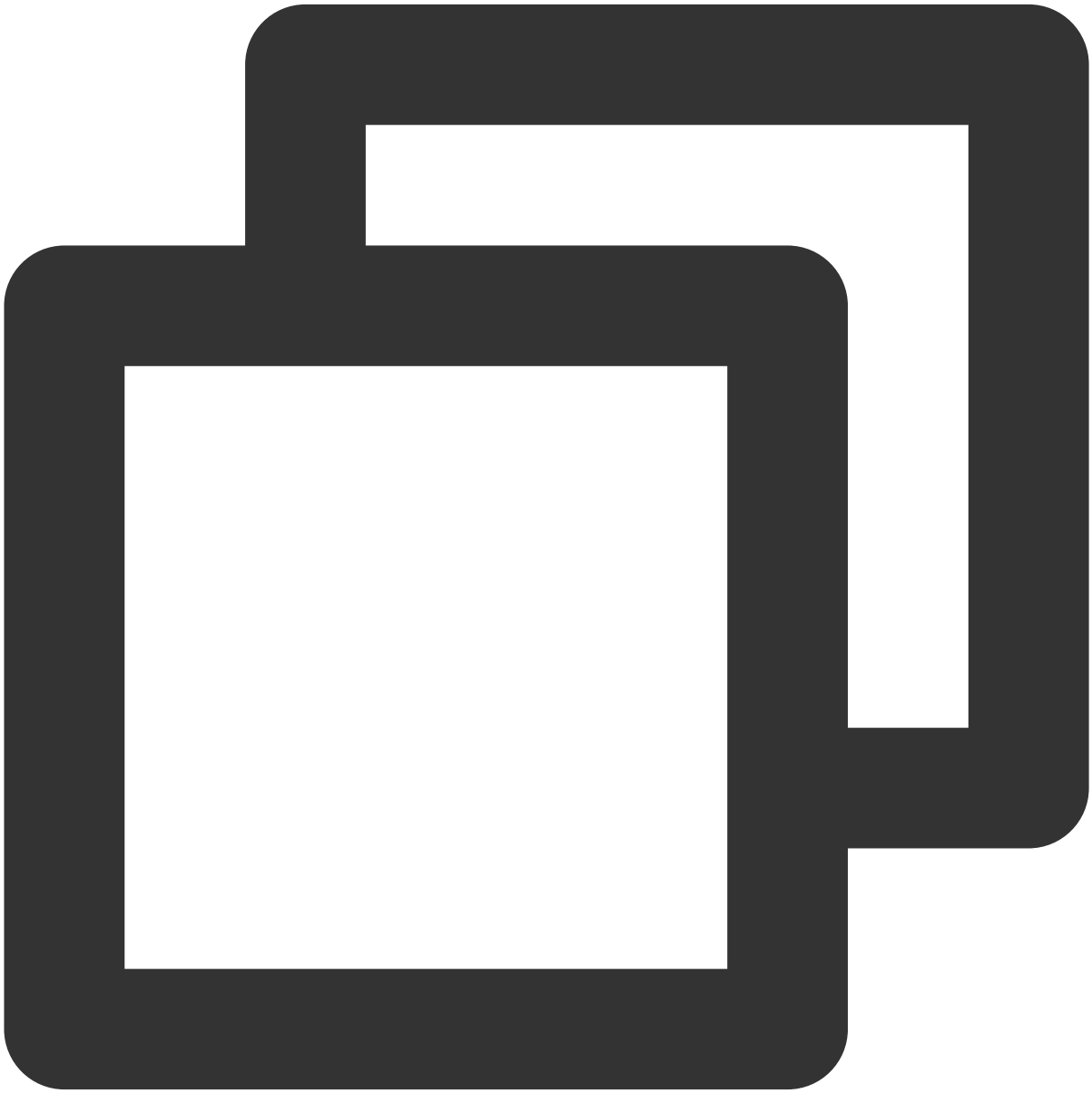
3. 次のコマンドを実行して、Windowsシステムをカプセル化します。

説明：

次のコマンドを実行する際に、コマンドに `/unattend:Unattend.xml` を含める必要があります。そうしないと、現在ご利用のCVMのユーザー名、パスワードなどの重要な設定情報がリセットされます。以降このイメージを使用してCVMを作成するときに、ログイン方法として「Follow image」を選択した場合、 CVMの起動後に CVMのユーザー名とパスワードを手動でリセットする必要があります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

以下のコマンドを実行すると、CVMは自動的にシャットダウンします。後でこのイメージを使用して作成された各CVMに一意のSIDがあることを確保するために、カスタマイズイメージを作成する前にCVMを再起動しないでください。再起動すると、コマンドは現在のCVMに対してのみ有効です。
Windows Server 2012およびWindows Server 2012 R2 OSの場合、次のコマンドを実行すると、 このCVMのアカウント（Administrator）とパスワードが削除されます。CVMを再起動した後、アカウントとパスワードをリセットし、新しくパスワードを適切に保管してください。詳細については、インスタンスのパスワードのリセット をご参照してください。



```
C:\\Windows\\System32\\sysprep\\sysprep.exe /generalize /oobe /unattend:Unattend.xm
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. カスタマイズイメージの作成 を参照して、Sysprep操作を実行したCVMインスタンスをイメージに作成し、そのイメージを使用してCVMインスタンスを作成します。
このように、新規作成されたすべてのCVMインスタンスは、ドメインに参加した後、一意のSIDを持つようになります。

说明：

`whoami /user` コマンドを実行すると、 CVMのSIDを確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Linuxインスタンスにatopモニタリングツールを使用する

最終更新日：：2022-07-12 10:42:40

概要

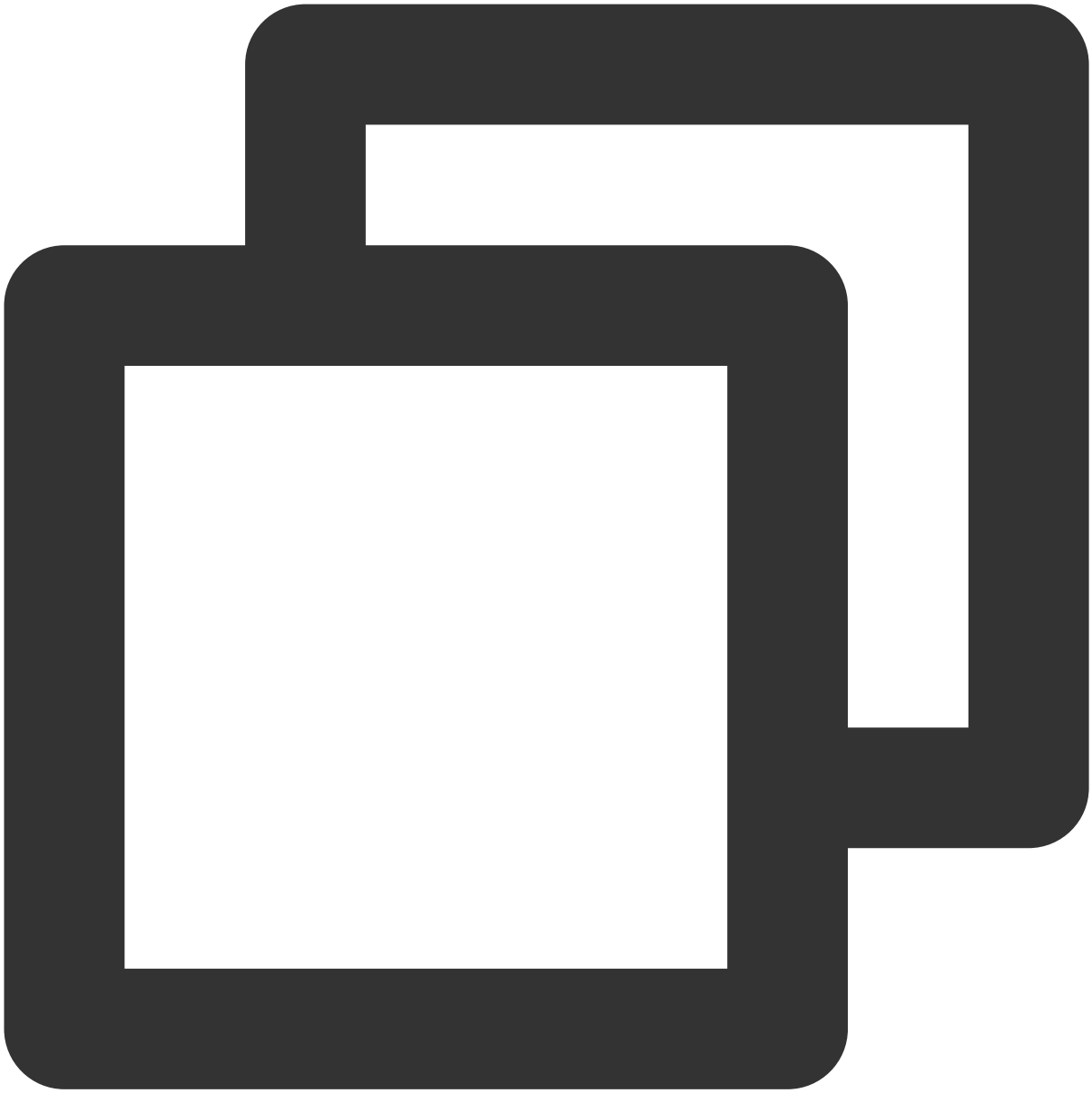
atopはLinuxシステムのリソースとプロセスの監視に用いられるツールのひとつであり、一定の頻度でシステムの実行状態を記録し、システムのリソース（CPU、メモリ、ディスクおよびネットワーク）の使用状況およびプロセス実行状況データを収集するとともに、ログファイルの形式でディスク内に保存します。インスタンスに問題が生じた際に、対応するatopログファイルを取得して分析に用いることができます。
ここでは、OSがCentOS 7.9のCVMを例にとり、atopモニタリングツールの使用方法についてご紹介します。

操作手順

atopのインストール

1. 標準方式を使用してLinuxインスタンスにログイン（推奨）します。
2. 以下のコマンドを実行し、atopをインストールします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



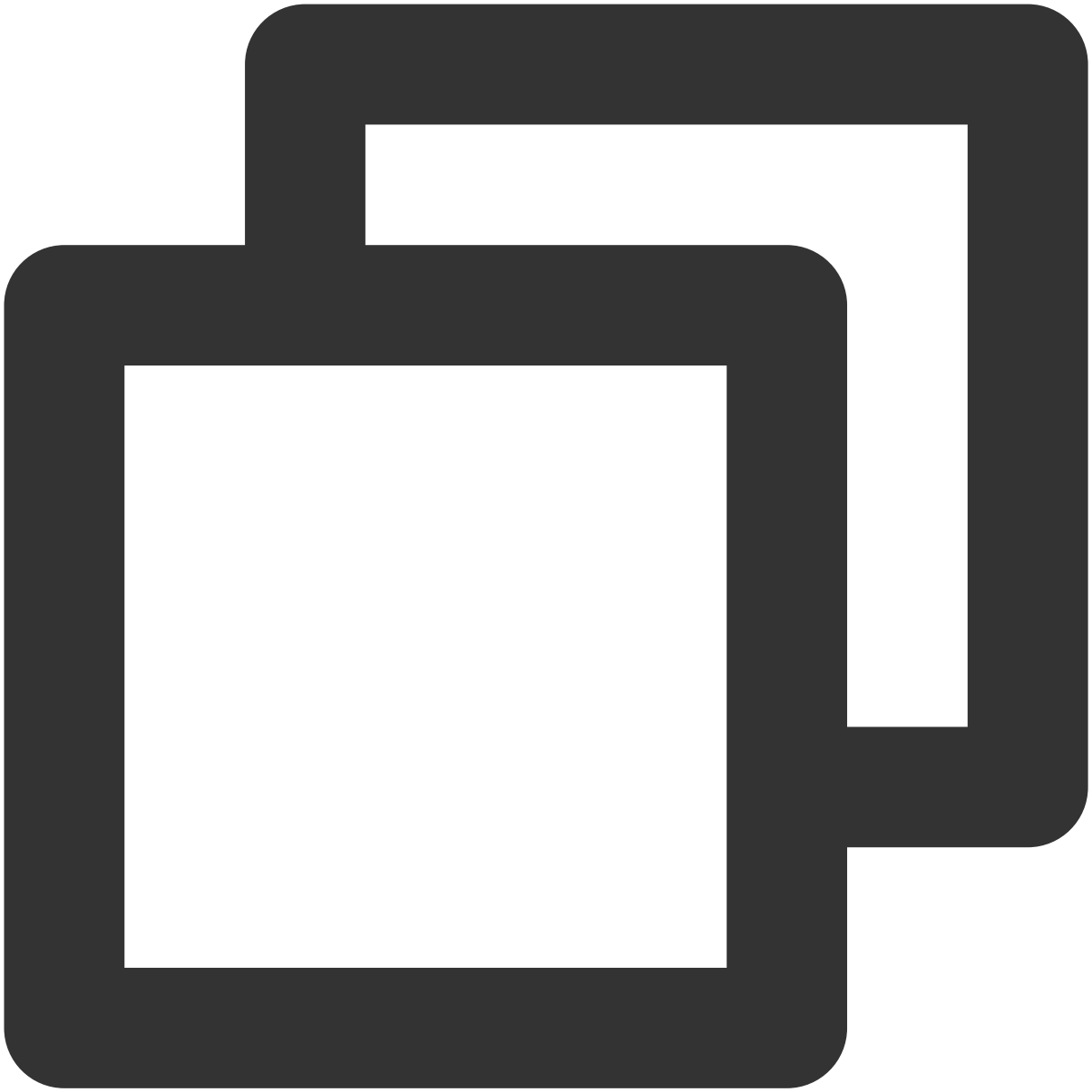
```
yum install atop -y
```

画面に `Complete!` というメッセージが表示された場合は、インストールが成功したことを表します。

atopの設定と起動

以下の手順を参照し、atopのモニタリング間隔とログ保存期間を設定します。
1. 以下のコマンドを実行し、VIMエディタを使用してatop設定ファイルを開きます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/sysconfig/atop
```

2. iを押して編集モードに入り、以下の設定を変更します。

`LOGINTERVAL=600` を `LOGINTERVAL=30` に変更することは、デフォルトのモニタリング間隔である600sを30sに変更することを表します。30sへの変更をお勧めしますが、実際の状況に応じて変更することが可能です。

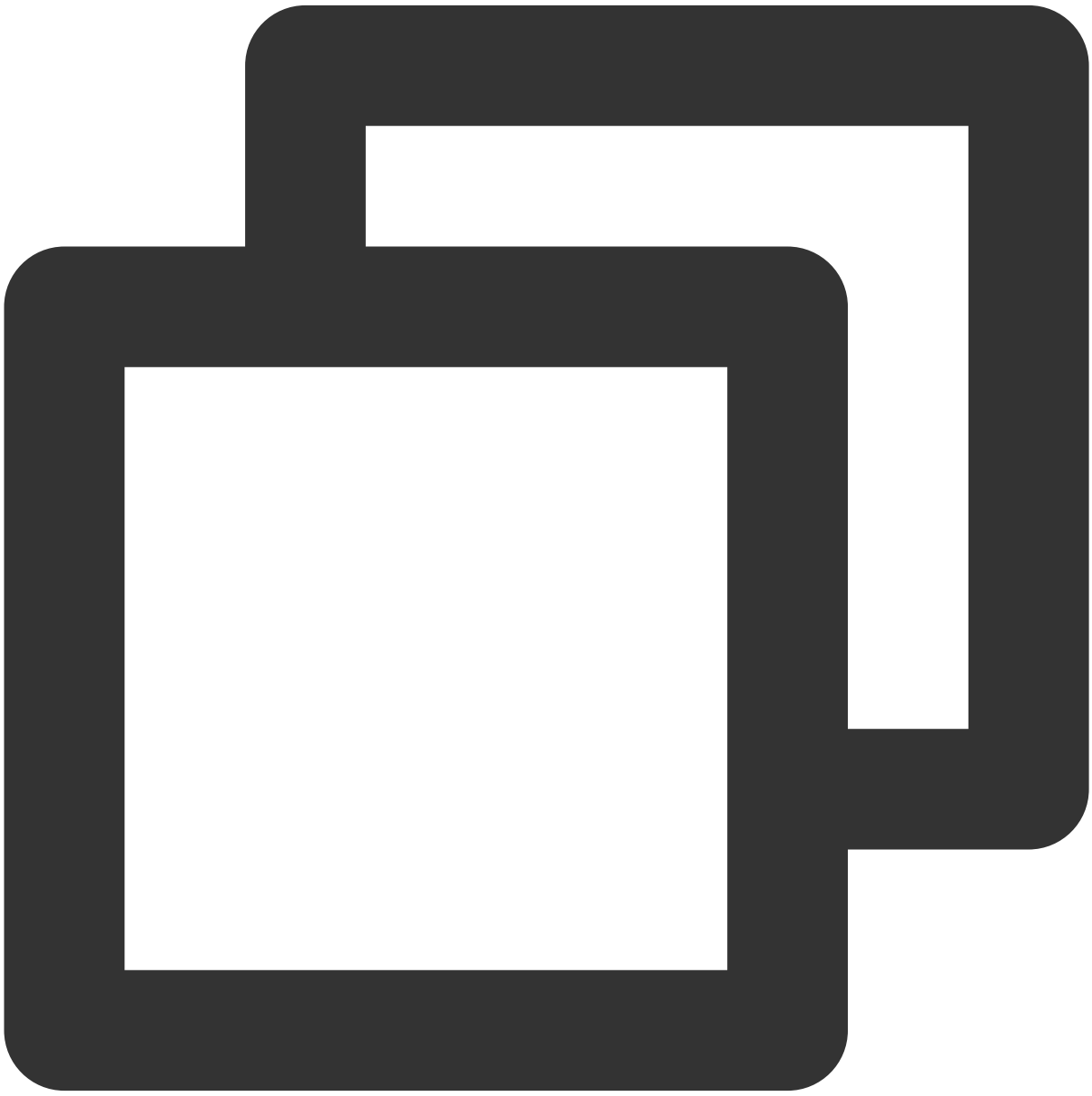
`LOGGENERATIONS=28` を `LOGGENERATIONS=7` に変更することは、デフォルトのログ保存期間である28日間を7日間に変更することを表します。atopを長時間実行するとディスク容量を多く占有してしまうため、7日間への変更をお勧めしますが、実際の状況に応じて変更することが可能です。

変更が完了すると以下のようになります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
LOGOPTS=""
LOGINTERVAL=30
LOGGENERATIONS=7
LOGPATH=/var/log/atop
```

3. **Esc**を押して**:wq**を入力し、変更を保存してからエディタを終了します。
4. CentOS 7およびそれ以降のバージョンでは、以下のコマンドを実行してatopを起動することができます。

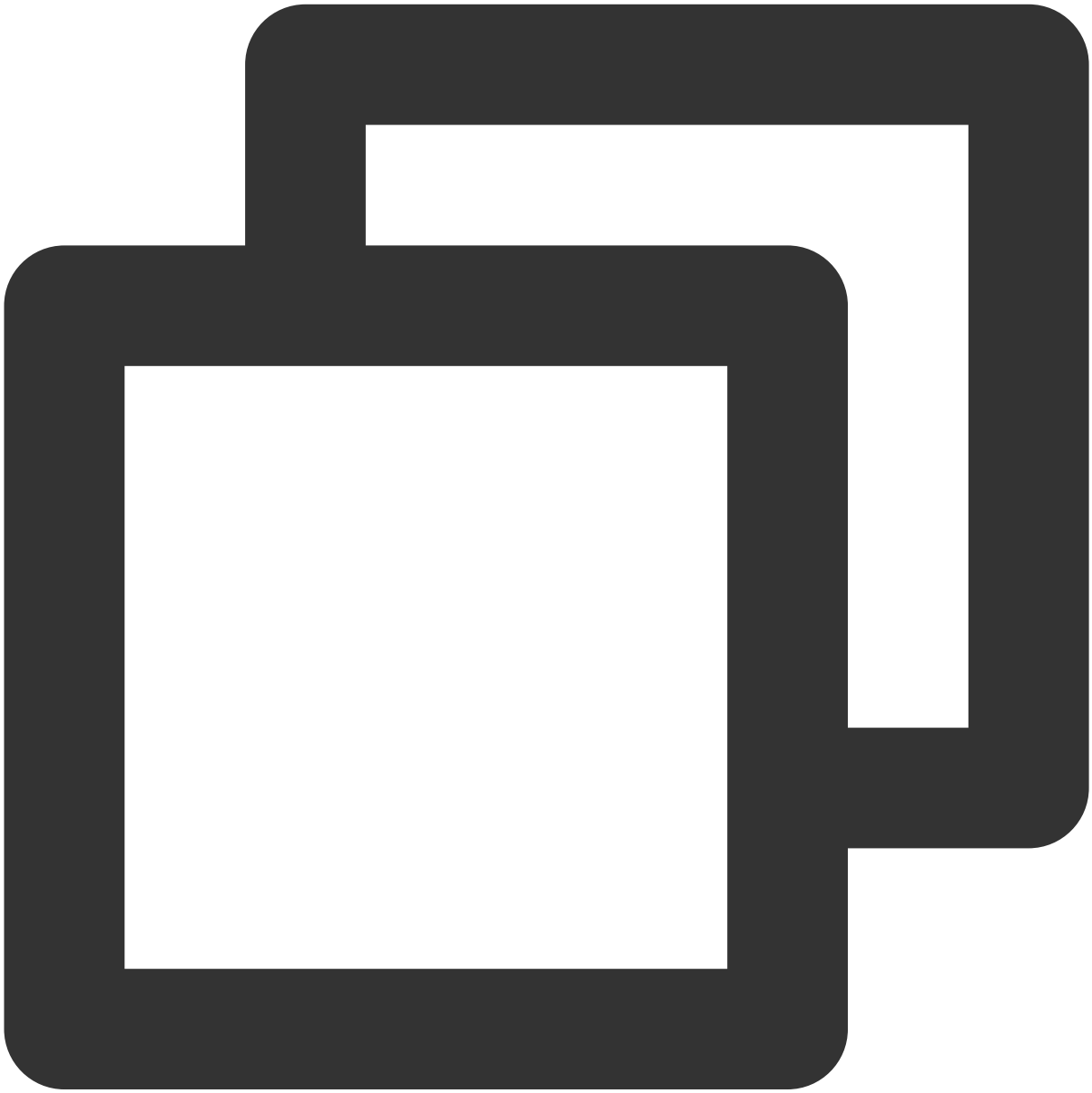


```
systemctl restart atop
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

atopの分析

atopの起動後、収集されたデータは `/var/log/atop` ディレクトリのログファイル内に記録されます。実際のログファイル名を取得し、以下のコマンドを実行してログファイルを確認するとともに、atopでよく使用するコマンド および システムリソースモニタリングフィールドの説明 を参照して分析を行ってください。



```
atop -r /var/log/atop/atop_2021xxxx
```

atopでよく使用するコマンド

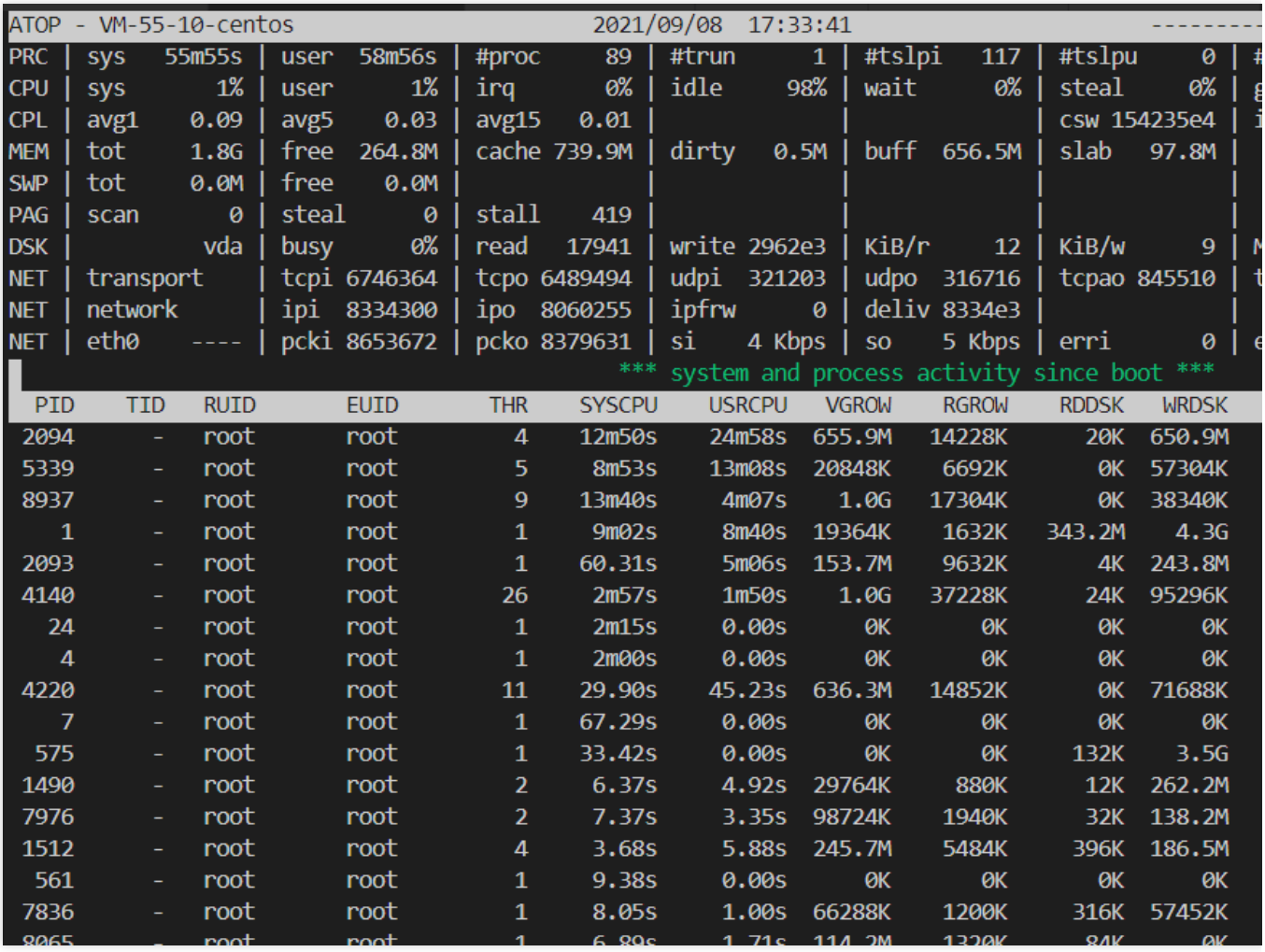
ログファイルを開いた後、以下のコマンドを使用して必要なデータをフィルタリングできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

c：プロセスのCPU使用率に応じて降順でフィルタリングします。
m：プロセスのメモリ使用率に応じて降順でフィルタリングします。
d：プロセスのディスク使用率に応じて降順でフィルタリングします。
a：プロセスのリソース全体使用率に応じて降順でフィルタリングを行います。
n：プロセスのネットワーク使用率に応じて降順でフィルタリングを行います（このコマンドを使用するには別途カーネルモジュールのインストールが必要なため、デフォルトではサポートしていません）。
t：次のモニタリングポイントにジャンプします。
T：ひとつ前のモニタリングポイントにジャンプします。
b：時間を指定します。形式はYYYYMMDDhhmmです。

システムリソースモニタリングフィールドの説明

下の図は一部のモニタリングフィールドおよび数値です。数値はサンプリング間隔に基づいて取得したもので、参考用です。



主なパラメータの説明は次のとおりです。
ATOP行：ホスト名、情報サンプリング日および時間。
PRC行：プロセス全体の実行状況。

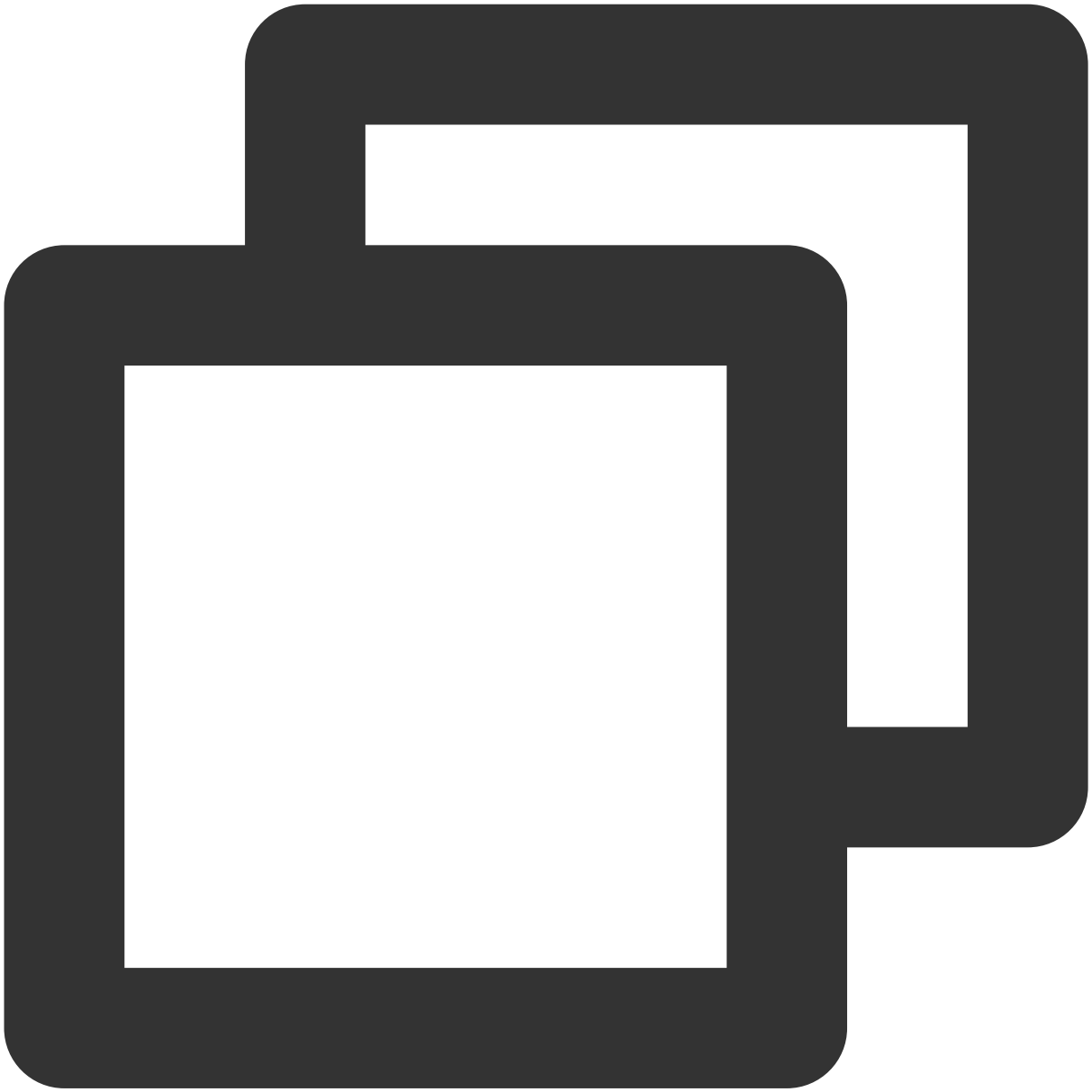
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

sysおよびuser：CPUがプロセスの処理に使用された際、プロセスがカーネルステータスおよびユーザーステータスにおいてCPUを占有した時間の比率。
#proc：プロセスの総数。
#zombie：ゾンビプロセスの数。
#exit：Atopのサンプリング間隔の間に終了したプロセスの数。
CPU行：CPU全体（マルチコアCPUを1つのCPUリソースとする）の使用状況。CPU行の各フィールドの数値を合計した結果はN00%となります。NはCPUコアの数です。
sysおよびuser：CPUがプロセスの処理に使用された際、プロセスがカーネルステータスおよびユーザーステータスにおいてCPUを占有した時間の比率。
irq：CPUが処理の中断に使用された時間の比率。
idle：CPUが完全にアイドル状態にあった時間の比率。
wait：CPUが「プロセスのディスクIO待機によりアイドル状態となった」時間の比率。
CPL行：CPU負荷状況。
avg1、avg5およびavg15：過去1分、5分および15分における実行キュー内の平均プロセス数。
csw：コンテキストスイッチの回数。
intr：中断発生の回数。
MEM行：メモリの使用状況。
tot：物理メモリの総量。
cache ：ページキャッシュに使用されているメモリサイズ。
buff：ファイルキャッシュに使用されているメモリサイズ。
slab：システムカーネルが占有するメモリサイズ。
SWP行：スワップ領域の使用状況。
tot：スワップエリアの総量。
free：スワップ領域の空き容量。
PAG行：仮想メモリのページング状況
swinおよびswout：スワップインおよびスワップアウトされたメモリページ数。
DSK行：ディスク使用状況。各ディスクデバイスがそれぞれ1列に対応します。sdbデバイスがあれば、DSK情報を1行追加します。
sda：ディスクデバイスのラベル。
busy：ディスクがビジーだった時間の比率。
readおよびwrite：読み取り、書き込みのリクエスト数。
NET行：複数列のNETでネットワークの状況を表示します。これにはトランスポート層（TCPおよびUDP）、IP層および動作中の各ネットワークポート情報が含まれます。
xxxxxi：各層または動作中のネットワークポートの受信パケット数。
xxxxxo：各層または動作中のネットワークポートの送信パケット数。

atopの停止

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

業務環境下でatopを長時間実行することはお勧めしません。問題の原因調査が完了すればatopを停止することができます。CentOS 7およびそれ以降のバージョンでは、以下のコマンドを実行してatopを停止することができます。



```
systemctl stop atop
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Linuxインスタンスの基本的なカーネルパラメータの概要

最終更新日：：2021-01-18 11:37:48

Tencent Cloudは、Linuxパブリックイメージにデフォルト構成を提供しますが、sysctlの構成は高度にパーソナライズされているため、ユーザーが自分のビジネス特性に従ってsysctlを個別に構成することをお勧めします。このドキュメントでは、Tencent Cloud Linuxパブリックイメージのデフォルト構成および最適な構成について説明し、必要に応じて手動で調整するのに役立ちます。

説明：

「初期設定」項目で「-」と表示されているパラメータは、公式イメージのデフォルト構成を使用しています。sysctl -wコマンドを使用して、構成を一時的に有効にするだけですが、/etc/sysctl.confに書き込まれた構成は永続的に有効になります。

ネットワーク関連

パラメータ	説明
net.ipv4.tcp_tw_recycle	このパラメーターは、TIME_WAIT接続をすばやくリサイクルするために使用されます。無効にする場合は、カーネルはパケットのタイムスタンプをチェックしません。有効にする場合は、カーネルはパケットのタイムスタンプをチェックします。タイムスタンプが単調に増加していない場合にパケット損失が発生する可能性があるため、このパラメータを有効にすることはお勧めしません。Linux のカーネルパラメータ net.ipv4.tcp_tw_recycle は、バージョン4.12から廃止されました。
net.core.somaxconn	このパラメーターは、

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	ACCEPTキューがない場合に、3ウェイ・ハンドシェイクの終了時にEstablished状態を定義するために使用されます。 ACCEPTキューが長い場合は、クライアントの処理速度が遅いか、短時間で新しい接続がバーストしていることを示します。net.core.somaxconnの設定値が低すぎると、サーバーがSYNパケットを受信し、somaxconnテーブルがいっぱいになると、新しいSYN接続が破棄されるため、パケット損失が発生する可能性があります。複数の業務を同時進行させなければいけない場合、net.core.somaxconnの設定値を増やすことができますが、遅延が長くなる可能性があります。
net.ipv4.tcp_max_syn_backlog	このパラメーターは、SYN_RECVキュー内の接続の最大量を決定します。一般的なシンフラッド攻撃から防御するために使用されます。ただし、tcp_syncookies = 1の場合、SYN_RECVキュー内の接続数が上限を超えます。
net.ipv4.tcp_syncookies	このパラメータは、SYN Cookieが有効かどうかを決定し、一部のSYN攻撃を防ぎます。有効にすると、

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	SYNキューがオーバーフローしたときに接続を確立できます。ただし、SHA1は、このパラメータを有効にした後にCookieを検証するために使用されるため、理論的にはCPU使用率が増加します。
net.core.rmem_defaultnet.core.rmem_maxnet.ipv4.tcp_memnet.ipv4.tcp_rmem	これらのパラメーターは、受信データのキャッシュサイズを設定するために使用されます。サイズを高く設定しすぎるとメモリリソースが浪費される可能性があり、サイズを低く設定しすぎるとパケット損失が発生する可能性があります。自身のビジネスが高並列接続に属しているのか、並列性の低い高スループットの状況に属しているのかを判断し、構成を最適化することをお勧めします。 rmem_default：理論的に最適な構成ポリシーは、帯域幅/RTT の積（帯域幅遅延積）です。 rmem_max構成は、rmem_defaultの約5倍です。 tcp_memはシステム全体でTCP が消費できるメモリの最大値。通常、CVMの使用可能なメモリの3/32、1/8、または3/16に自動的に設定されます。パラメータtcp_memおよびrmem_defaultは、同時

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	接続する最大数を決定します。
net.core.wmem_defaultnet.core.wmem_maxnet.ipv4.tcp_wmem	これらのパラメーターは、データ送信キャッシュを構成するために使用されます。通常、Tencent Cloudプラットフォームでのデータ送信にボトルネックはなく、構成は必要ありません。
net.ipv4.tcp_keepalive_intvlnet.ipv4.tcp_keepalive_probesnet.ipv4.tcp_keepalive_time	これらのパラメータはTCP KeepAliveに関連しており、デフォルトは75/9/7200です。デフォルト設定では、TCP接続が7,200秒間アイドル状態になるとカーネルが検出を開始し、9回の検出失敗（毎回75秒）後にRSTを送信します。サーバーにとってデフォルト値が高すぎます、ビジネスに応じて30/3/1800に調整できます。
net.ipv4.ip_local_port_range	このパラメーターは、使用可能なポート範囲を構成するために使用されます。必要に応じて調整できます。
tcp_tw_reuse	このパラメーターは、新しいTCP接続でTIME_WAIT状態のソケット再利用することを許可します。これにより、固定ポートを使用するリンクをすばやく再起動できますが、NATベースのネットワークにリスクを伴う

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	可能性があります。カーネルの上位バージョンは0/1/2の3つの値に変更され、2に構成されます。
net.ipv4.ip_forwardnet.ipv6.conf.all.forwarding	このパラメーターは、IP転送を指定するために使用されます。Dockerのルーティング転送シナリオで1に構成できます。
net.ipv4.conf.default.rp_filter	このパラメータは、受信したデータパケットに対するENIのリバースパス検証ルールを指定するために使用されます。0、1（RFC3704で定義された厳密なモード、推奨され）、2に設定できます。RFC3704 における現在の推奨プラクティスは DDos 攻撃によるIPスプーフィングを回避するために厳密モードを有効にすることです。
net.ipv4.conf.default.accept_source_route	CentOSの公式Webサイトの推奨事項によると、ソースルーティング情報を含むIPパケットはデフォルトで受け入れられません。
net.ipv4.conf.all.promote_secondariesnet.ipv4.conf.default.promote_secondaries	このパラメータは、元のプライマリIPアドレスが削除された後にセカンダリIPアドレスがプライマリIPになるかどうかを指定するために使用されます。
net.ipv6.neigh.default.gc_thresh3net.ipv4.neigh.default.gc_thresh3	ARP キャッシュに保存

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	されるエントリ数のハードな最大値。キャッシュのエントリがこの数を越えると、ガベージ・コレクタはただちに実行されます。

メモリ関連

パラメータ	説明	初期設定
vm.vfs_cache_pressure	既定値は 100で、このパーセント値はカーネルがディレクトリとiノードオブジェクトのキャッシュに使用されるメモリを再利用するときの傾向を制御します。vfs_cache_pressureを100より大きくすると、カーネルはdentryとiノードキャッシュのメモリをより積極的に再利用するようになります。多くのカールベースのビジネスでは、dentryの蓄積により、メモリが一杯になり、OOMやカーネルのバグなど、想定外の問題が発生する可能性があります。再利用の頻度とパフォーマンスのバランスをとるために、250に設定することをお勧めします。必要に	250

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	応じて調整できます。	
vm.min_free_kbytes	このパラメーターは、起動時にシステムの使用可能な物理メモリMEMに従って自動的に計算されます：4 * sqrt（MEM）。min_free_kbytes を使用して、カーネルスレッドで使用するための最小キロバイト数の空きメモリを保持するように強制します。この値を大きく設定する必要はありません。サーバーがパケットのマイクロバーストを受信すると、OOM状態が発生する可能性があります。高構成サーバーでは、デフォルトで vm.min_free_kbytes を合計メモリの約1%になるように構成することをお勧めします。	-
kernel.printk	printkの出力レベルを指定します。printkはカーネル内でのロギング（情報出力）のために使用しますが、その情報量を制御できます。デフォルトの構成は5以上です。	5 4 1 7
kernel.numa_balancing	このパラメータ	0

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	は、カーネルがプロセスデータを対応するNUMAノードに自動的に移動できることを示していますが、効果が良くない、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。Redisユースケースでこのパラメータを有効にすることができます。	
kernel.shmallkernel.shmmax	Linux プロセスが仮想アドレス空間に割り当てることができる1つの共有メモリーセグメントの最大サイズをバイト単位で定義します。 システム全体で使用できる共有メモリーページの合計を定義します。	kernel.shmmax=68719476736kernel.shmall=4294967296

プロセス関連

パラメータ	説明	初期設定
fs.file-maxfs.nr_open	これらの2つのパラメーターはそれぞれ、システム内のすべてのプロセスと単一プロセスが同時にオープンできるファイル数の最大値を制御します。 file-maxは、OS起動時に自動的に構成され、約100,000/GBです。 nr_openのデフォルト値は 1,048,576であり、このパラメーターはユーザーモード環境で開くことができる最大ファイル数が制限されます。通常、この値は変更しないでください。最大オープンファイル数を変更するに	ulimitが開いているファイルの数は100001です。fs.nr_open=1048576

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	は、/etc/security/limits.conf 構成ファイルで ulimit -nパラメーターを構成してください。	
kernel.pid_max	このパラメーターは、システム内のプロセスID(PID)の最大値を指定します。公式イメージのデフォルト値は32768で、必要に応じて調整できます。	-
kernel.core_uses_pid	この構成により、コアダンプファイルの生成時にpidが含まれるかどうかが決まります。	1
kernel.sysrq	このパラメータを有効にした後、/proc/sysrq-triggeで関連する操作を実行できます。	1
kernel.msgmnbkernel.msgmax	kernel.msgmaxパラメータはメッセージキューでの単一メッセージの最大許容サイズをバイト単位で定義します。	65536
kernel.softlockup_panic	ソフトロックアップが検出されたときにカーネルでパニックを発生させるどうかを制御します。kdump構成に基づいてvmcoreが生成され、ソフトロックアップの原因を分析するために使用できます。	-

IO関連

パラメータ	説明	初期設定
vm.dirty_background_bytes vm.dirty_background_ratio vm.dirty_bytes vm.dirty_expire_centisecs vm.dirty_ratio vm.dirty_writeback_centisecs	これらのパラメーターは主に、ディスクに書き戻されるIOポリシーを構成するために使用されます。 dirty_background_bytes/dirty_bytesと dirty_background_ratio/dirty_ratioは、それぞれメモリダーティページしきい値の絶対数と比率に対応します。一般的に、ratioが指定されます。 dirty_background_ratio は、パーセントの値を定義します。ダーティーデータのwriteout は (pdflush 経由で) ダーティーデータがメモリ合計のこのパーセントを占める際にバックグラウンドで開始されます。デフォルト値は10です。 dirty_ratioはpdflushが書き込みを始めるまでのダーティページの最大割合です。メモリ全体の中でダーティページの割合がこの値を超える	-

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	と、すべてのダーティデータをディスクに書き込む必要があります。ダーティデータがディスクに書き込まれるまですべての新しいIOがブロックされます。システムは最初にvm.dirty_background_ratioの条件に到達し、次に flushプロセスをトリガーして非同期ライトバック操作を実行します。この時点でも、アプリケーションプロセスは書き込み操作を実行できます。vm.dirty_ratioパラメーターで設定された値に達すると、OSはダーティページを同期的に処理し、アプリケーションプロセスをブロックします。 vm.dirty_expire_centisecs はダーティーデータがディスクに書き戻されるまでにページキャッシュにとどまる時間を1/100 秒単位で指定します。 vm.dirty_writeback_centisecsはディスクキャッシュのフラッシュが開始される頻度、単位は1/100秒です。	

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Linux メンテナンス
ソフトウェアのインストール
CentOS 環境で YUMを利用してソフトウェアをインストールする

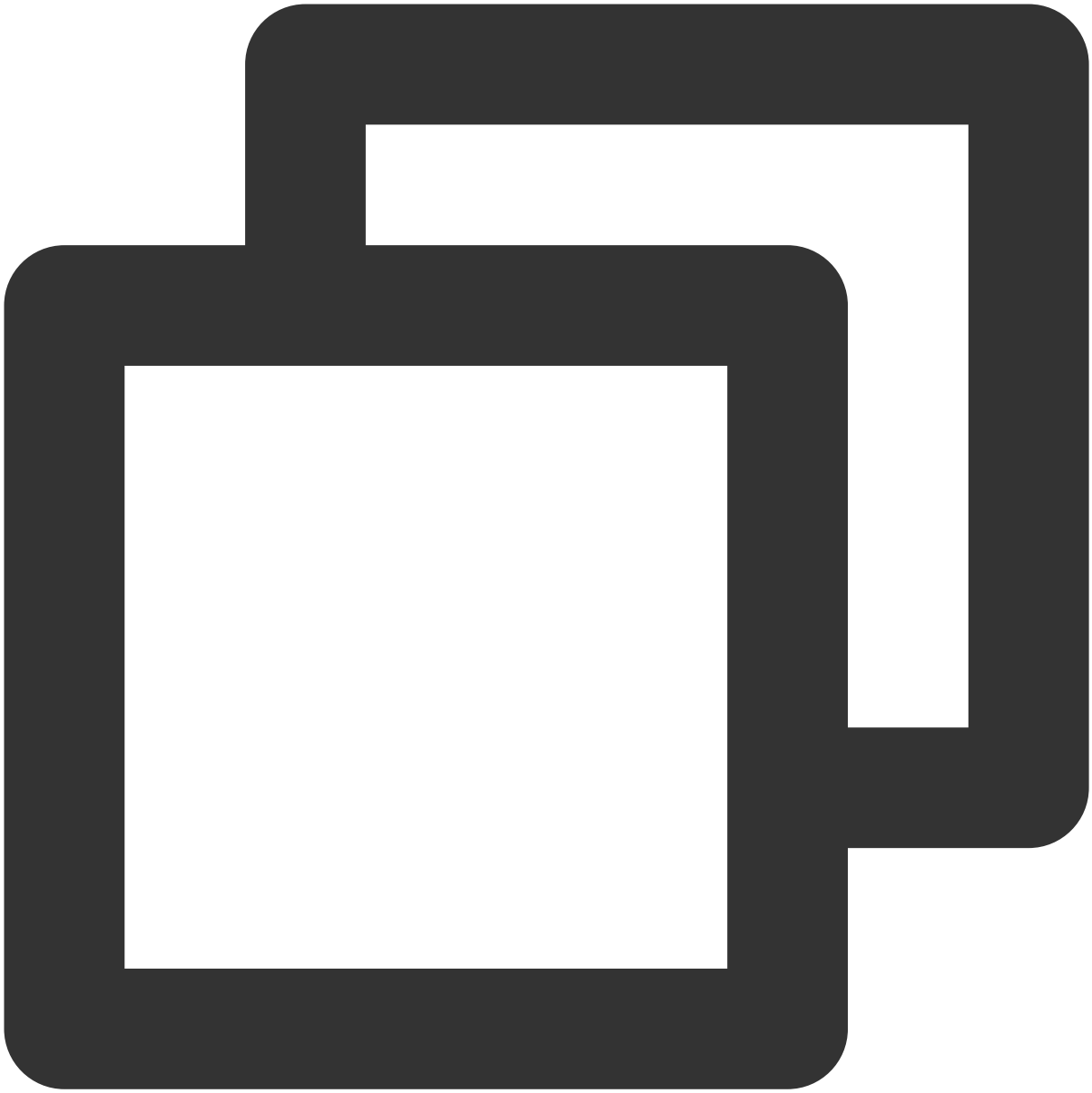
最終更新日：：2019-12-31 10:02:29

ユーザーにCVM上のソフトウェアのインストール効率を向上させ、ソフトウェアのダウンロードとインストールのコストを減らすため、Tencent CloudはYumのダウンロードソースを提供します。CentOS環境でユーザーがYUMを利用して迅速にソフトウェアをインストールできます。
Yumのダウンロードソースに対して、ソフトウェアソースを追加する必要がなく、直接ソフトウェアパッケージをインストールできます。

1. インストール手順

1. rootの権限で、下記のコマンドによりソフトウェアをインストールします：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



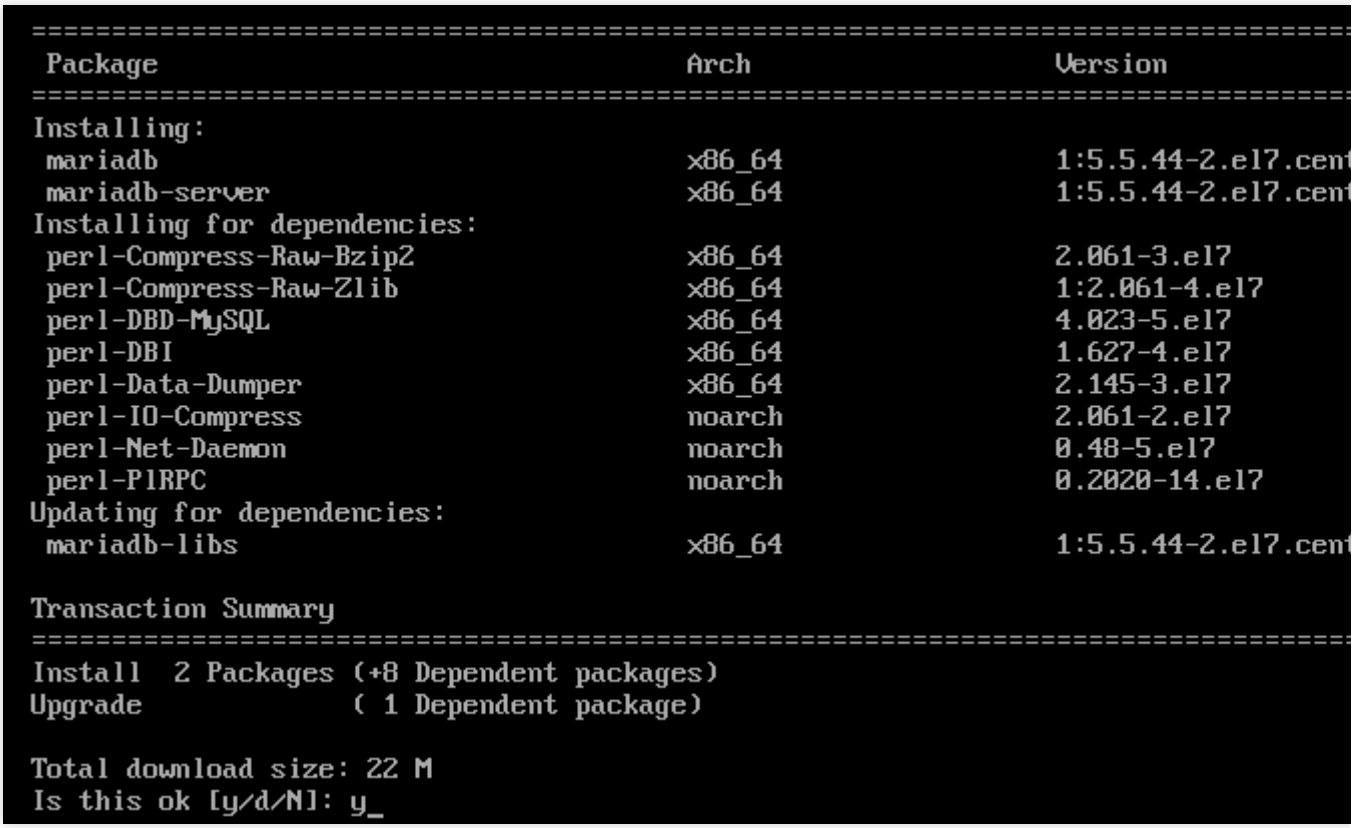
```
yum install [nginx][php][php-fpm][mariadb][mariadb-server][mysql][mysql-server]...
```

説明：

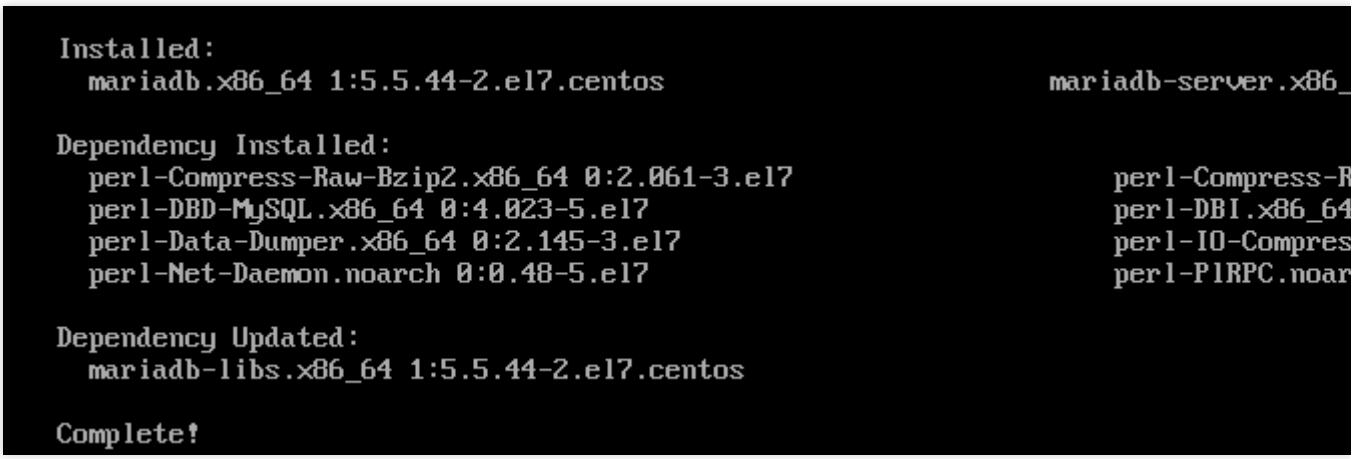
CentOS 7以降、MariaDBはyumソースのデフォルトのデータベースインストールパッケージになり、CentOS 7以上のシステムでyumを利用してMySQLパッケージをインストールするとMySQLが使用できません。完全に交換性のあるMariaDBを使用するのを選べます、又は こちら を参考してより低いバージョンのMySQLをインストールします。

2. システムは自動的に関連するソフトウェアパッケージと依頼関係を検索し、さらにインターフェースで検索したソフトウェアパッケージが適切かどうかを確認するのをユーザーに提示します。下図に示すように：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



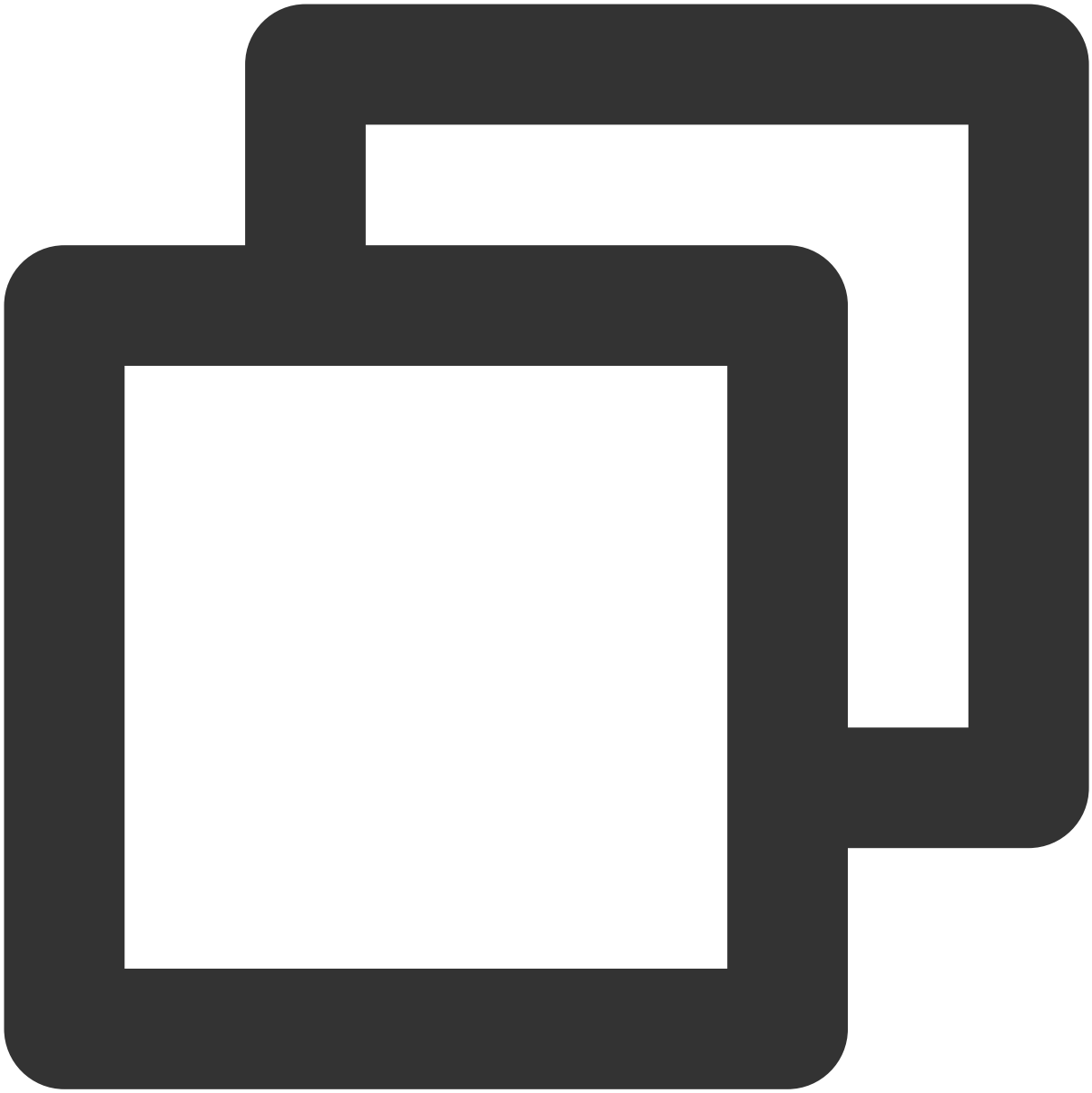
3. 「y」を入力して確認した後、ソフトウェアをインストールします。インストールが完了した後「Complete」が提示されます、下図に示すように：



2. インストールしたソフトウェア情報を確認する

ソフトウェアをインストールした後、以下のコマンドによりソフトウェアパッケージの詳細インストールディレクトリを確認できます。

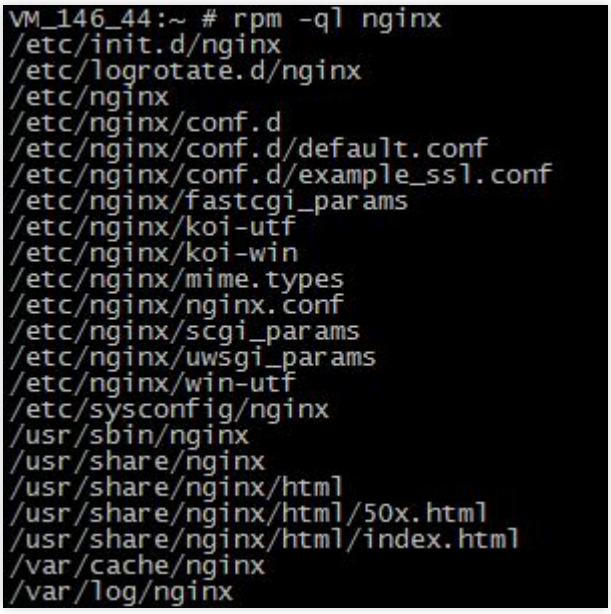
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
rpm -ql
```

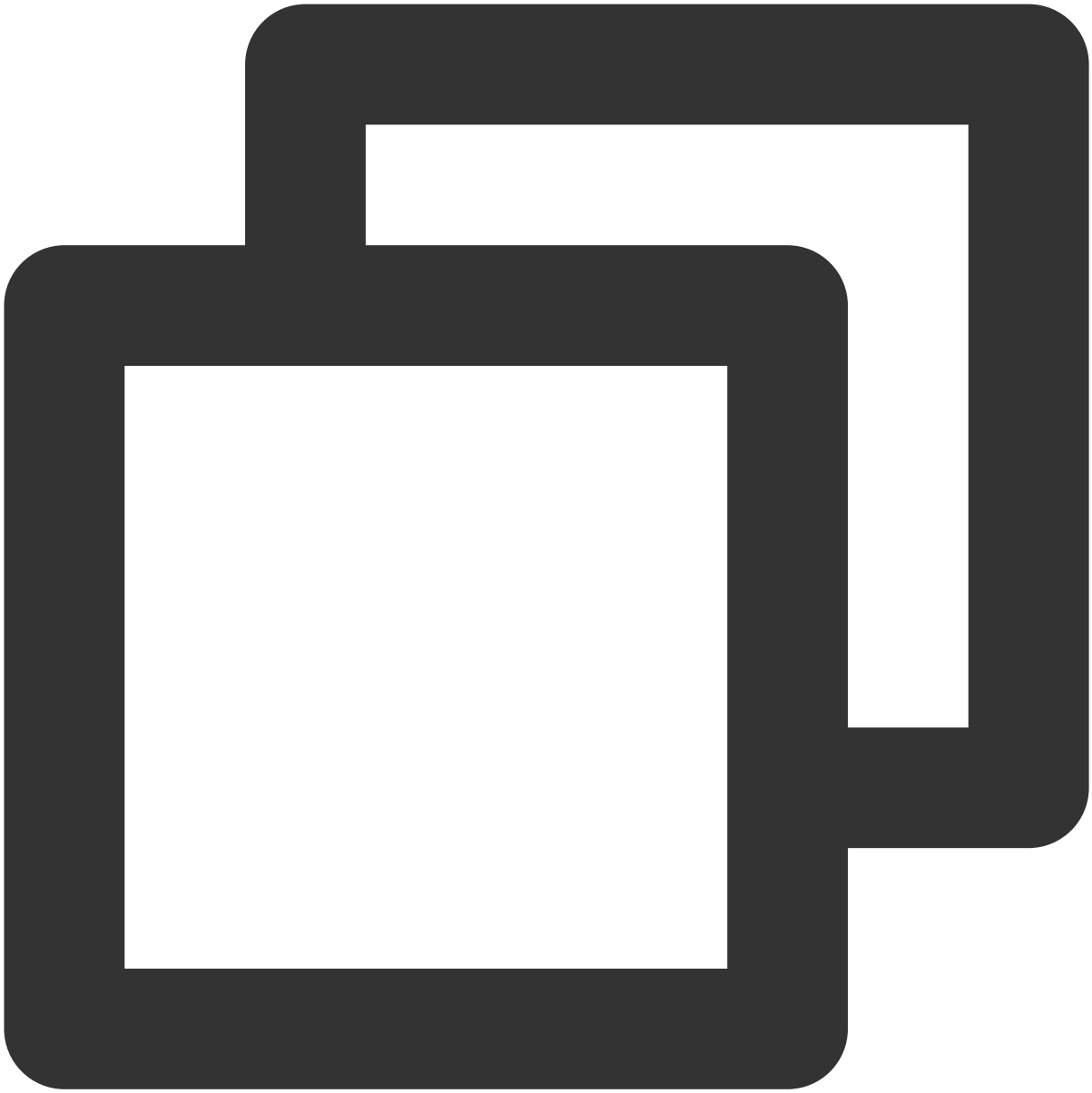
nginxのインストールディレクトリを確認することを例として：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



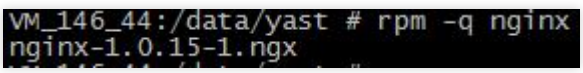
以下のコマンドによりソフトウェアパッケージのバージョン情報を確認することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
rpm -q
```

nginxのバージョンを確認することを例とします（実際のバージョンはこのバージョンと異なる可能性があり、実際にクエリーしたバージョンを基準にしてください）：



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ファイルをアップロード/ダウンロードする Windows の CVM は WinSCPを利用してファイルをアップロード/ダウンロードする

最終更新日：：2020-01-08 11:31:08

ユースケース

WinSCPは、Windows環境でSSHを利用するオープンソースグラフィカルSFTPクライアントであり、SCPプロトコルもサポートします。WinSCPの主な機能は、ローカルとリモートコンピューター間でファイルを安全にコピーすることです。 FTPを使用してコードをアップロードすることと比較して、WinSCPはサーバー側で設定を行うことなく、サーバーのアカウントとパスワードを使用してサーバーに直接アクセスできます。

前提条件

ローカルコンピューターでWinSCPクライアントをダウンロードしてインストールしました。（ダウンロードURL：公式ウェブサイト から最新バージョンを取得することをお勧めします）。

操作手順

WinSCP にログインする

1. WinSCPを開くと、「WinSCPログイン」ダイアログボックスが表示されます。以下に示すように：
2. ログインパラメータを設定する：
プロトコル：SFTPまたはSCPを選択します。
ホスト名：CVMのパブリックIPアドレスです。CVMコンソール にログインして、該当CVMのパブリックIPアドレスを確認できます。
ポート：デフォルトは22です。
パスワード：CVMアカウントのパスワードです。
ユーザー名：CVMのシステムユーザー名です。
SUSE/CentOS/Debian OS：root
Ubuntu OS：ubuntu
3. **ログイン**をクリックして、「WinSCP」ファイル転送インタフェースに入ります。以下に示すように：

ファイルのアップロード

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1.「WinSCP」ファイル転送インターフェイスの右側のペインで、ファイルを保存するサーバーのディレクトリ(「/ user」など)を選択します。
2.「WinSCP」ファイル転送インターフェイスの左ペインで、ローカルコンピューターのファイルが保存されているディレクトリ(「F:\\SSL certificate\\Nginx」など)を選択し、転送するファイルを選択します。
3.「WinSCP」ファイル転送インターフェースのメニューバーで、**アップロード**をクリックします。
ポップアップの「アップロード」ダイアログボックスで、アップロードするファイルとリモートディレクトリを確認し、**確定**をクリックして、ローカルコンピューターからCVMにファイルをアップロードします。

ファイルのダウンロード

1.「WinSCP」ファイル転送インターフェイスの左側のペインで、サーバーでファイルを保存するディレクトリ（「F:¥SSL Certificates¥Nginx」など）を選択します。
2.「WinSCP」ファイル転送インターフェイスの右側のペインで、ローカルコンピュータのファイルス保存ディレクトリ(「/ user」など)を選択し、転送するファイルを選択します。
3.「WinSCP」ファイル転送インターフェースのメニューバーで、**ダウンロード**をクリックします。
ポップアップの[ダウンロード]ダイアログボックスで、ダウンロードするファイルとリモートディレクトリを確認し、**確定**をクリックして、CVMからローカルコンピューターにファイルをダウンロードします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Windows のCVMが FTPを利用してファイルをアップロードする

最終更新日：：2020-12-30 10:56:10

ユースケース

このドキュメントでは、FTPチャネルを使用してローカルサーバーからCVMにファイルをアップロードする方法を説明します。

前提条件

CVMに FTPサービスの構築を実施しました。

操作手順

1. CVMにログインします。
2. オープンソースソフトウェアFileZillaをダウンロードしてインストールします。
説明：
バージョン3.5.3のFileZillaを使用してFTPアップロードすると、アップロードの失敗やその他の問題が発生するため、公式WebサイトからFileZillaのバージョン3.5.1または3.5.2を入手して使用することをお勧めします。
3. FileZillaを開きます。
4. FileZillaウィンドウで、ホスト、ユーザー名、パスワード、ポート情報などを入力し、**クィック接続**をクリックします。 以下に示すように：
構成情報の説明：
ホスト：CVMのパブリックIPです。 CVMコンソール のインスタンス管理画面で、該当CVMのパブリックIPを確認できます。
ユーザー名：FTPサービスの構築 で設定されたFTPユーザーのアカウントです。 図では、「ftpuser1」を例として説明します。
パスワード：FTPサービスの構築で設定されたFTPユーザーアカウントのパスワードです。
ポート：FTPの監視ポートです。デフォルトは** 21 **です。
5.左下の「ローカルサイト」ウィンドウで、アップロード対象のローカルファイルを右クリックし、**アップロード**を選択してLinux CVMにファイルをアップロードします。以下の図に示すように：
説明：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CVM FTPチャネルは、アップロードしたtarアーカイブを自動解凍する機能またはtar パッケージを削除する機能をサポートしていません。
リモートサイトのパスは、Linux　CVMにファイルをアップロードするためのデフォルトパスです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

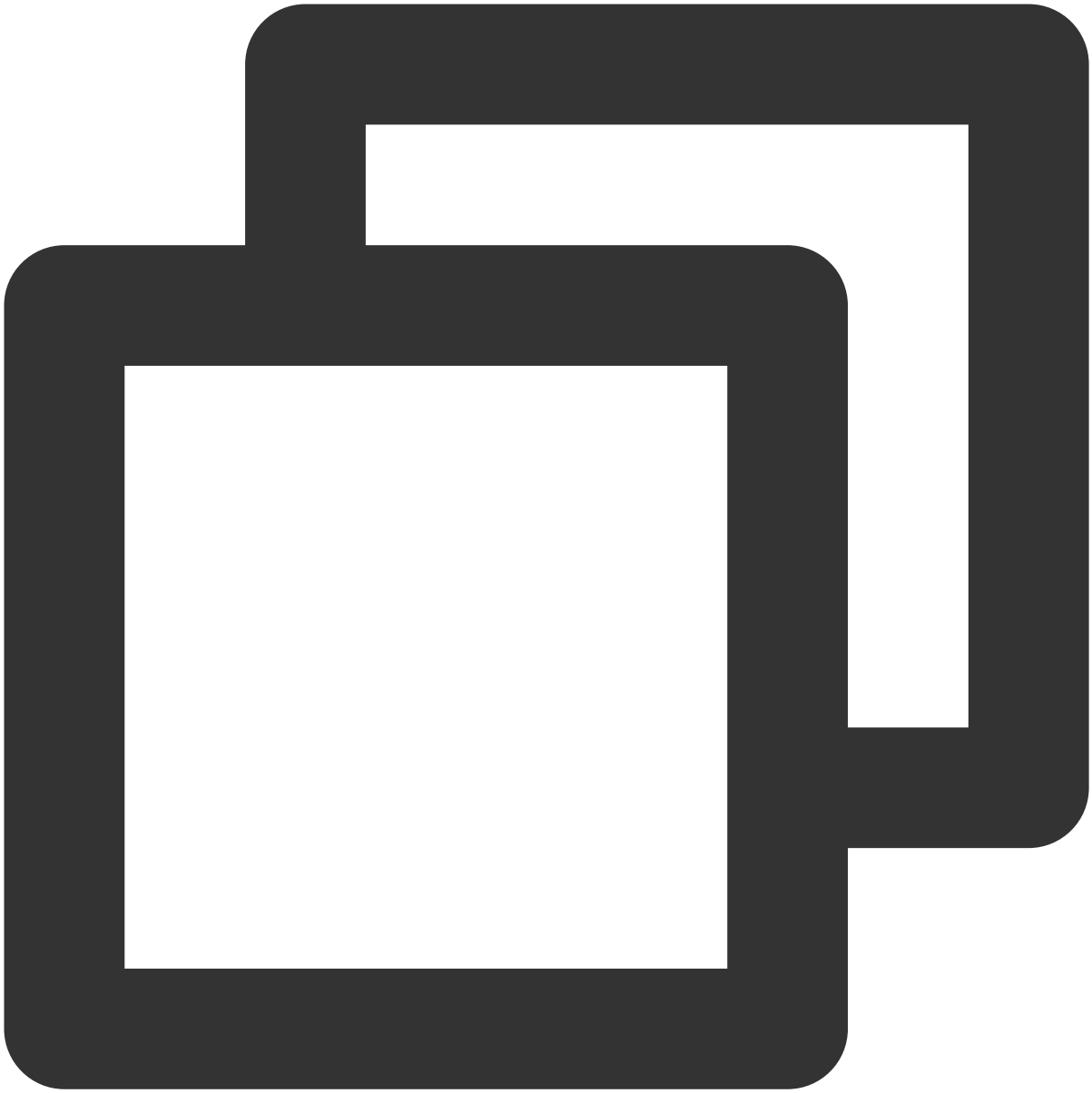
データディスクをマウントする
Windows を Linux にリインストールした後、元NTFS 形式のデータディスクを読み書きする

最終更新日：：2020-01-08 11:32:52

通常、WindowsファイルシステムはNTFSまたはFAT32形式であり、Linuxファイルシステムの形式はEXTシリーズです。OSがWindowsからLinuxへリインストールした後、OSの種類が変更され、データディスクは元の形式のままです。リインストールしたOSはデータディスクのファイルシステムにアクセスできない可能性があります。リインストールしたLinux CVMで以下の操作を実行することにより元のWidowsシステムのデータディスクのデータを読み取ることができます。

1. Linuxシステムで以下のコマンドを使用してntfsprogsをインストールすると、LinuxがNTFSファイルシステムを利用できるようにします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
yum install ntfsprogs
```

2. Windowsのデータディスクを Linux CVMにマウントします。データディスクが既にマウントされている場合は、この手順をスキップしてください。
Tencent Cloudのコンソールにログインして、【CVM】-【Cloud Block Storage】タブに入り、マウント対象のWindowsデータディスク**詳細** - **クラウドホストにマウントする**ボタンをクリックします。ポップアップボックスでリインストール後のLinux CVMを選択して、【OK】ボタンをクリックします。
3. コマンド `parted -l` を使用して、Windowsからマウントされたデータディスクを確認します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
Model: Virtio Block Device (virtblk)
Disk /dev/vde: 21.5GB
Sector size (logical/physical): 512B/512B
Partition Table: gpt

Number  Start   End     Size    File system  Name
 1      17.4kB  134MB   134MB                Microsoft reserved partitio
 2      135MB   3331MB  3196MB  ntfs         Basic data partition
```

4. コマンド `mount -t ntfs-3gデータディスクパスマウントポイント` を使用してデータディスクをマウントします。

```
[root@VM_127_193_centos ~]# mount -t ntfs-3g /dev/vde2 mnt
[root@VM_127_193_centos ~]# ls mnt/
$RECYCLE.BIN  test.txt
```

5. このファイルシステムを認識できるため、マウントされたデータディスクをLinuxシステムによって直接読み書きできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

その他
Linux CVMを設定して単一ユーザーモードに進む

最終更新日：：2022-10-24 15:22:26

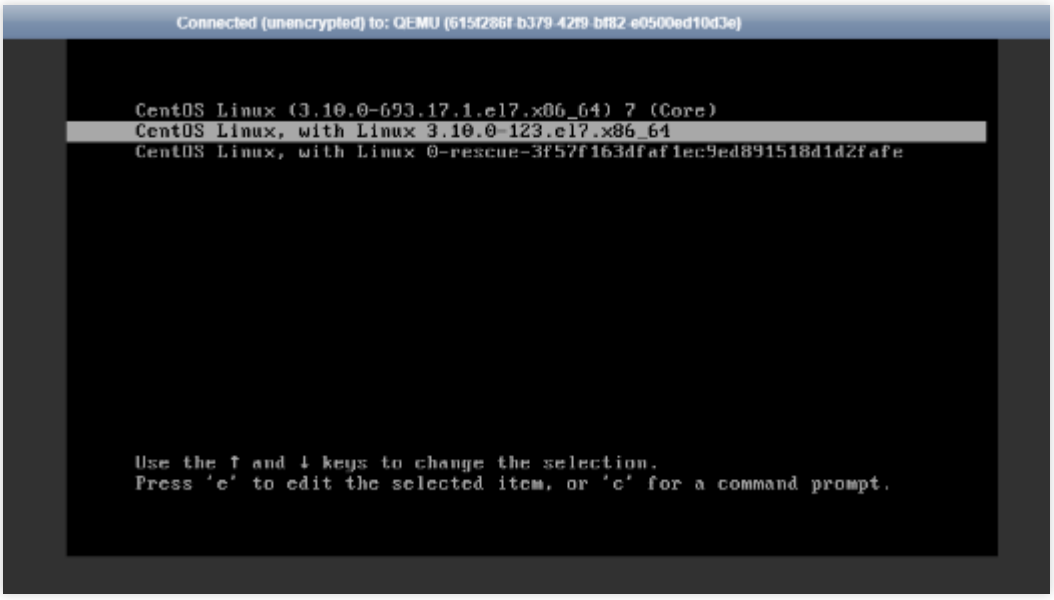
操作シナリオ

Linuxユーザーは一部のケースで、単一ユーザーモードで特殊な操作またはメンテナンス関連の操作を実行する必要があります。例えば、パスワード管理の実行、sshd破損の修復またはディスクマウント前にメンテナンス作業を実行する必要がある場合などです。このドキュメントでは主要なLinuxオペレーティングシステムで単一ユーザーモードの操作に進む手順について説明します。

操作手順

1. CVMコンソールから、VNCを使用してCVMにログインします。詳細については、VNCを使用してLinuxインスタンスにログイン をご参照ください。
2. VNCのログインインターフェースで、左上隅の**リモートコマンドの送信>Ctrl-Alt-Delete**を選択して、ポップアップウィンドウで**OK**をクリックします。
3. リンク失敗のメッセージが表示される時は、直ちにページをリフレッシュして上下キー（↑↓）を押し、システムがgrubメニューで止まるようにします。下図に示すとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



4. **e**を押してgrubモードに入ります。

5. grubモードに入ってから、実際に使用するOSタイプに基づいて、以下のように異なる操作手順を選択する必要があります。

CentOS 6.x

CentOS 7.x

CentOS 8.0

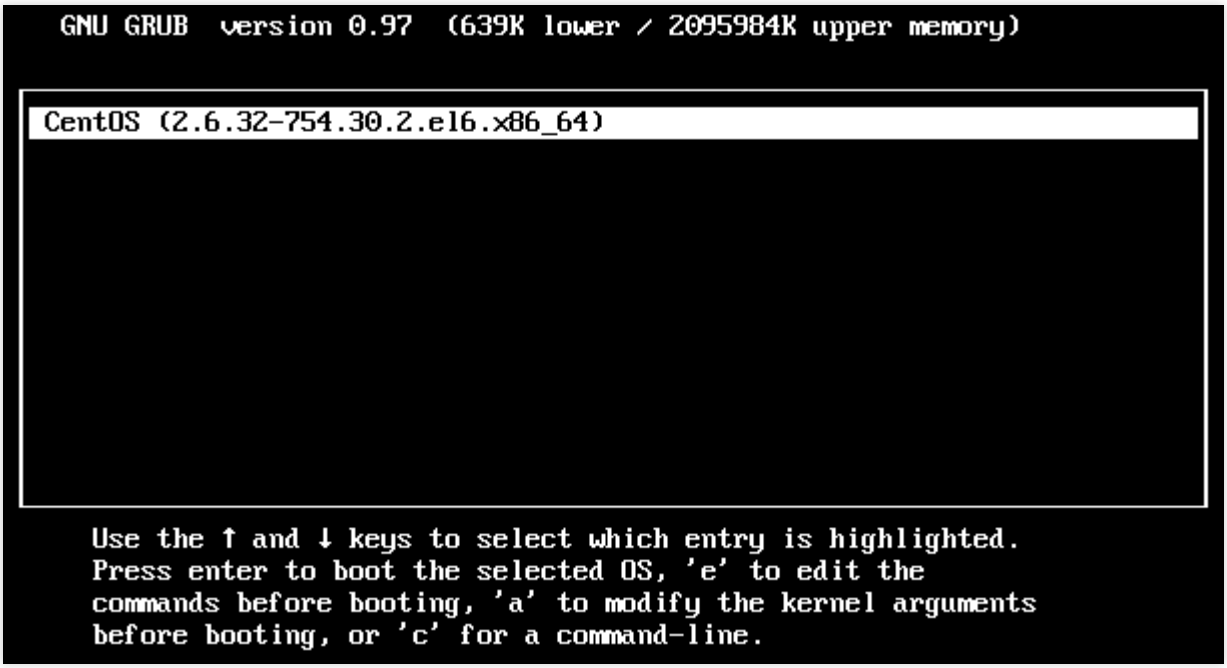
Ubuntu または Debian

SUSE

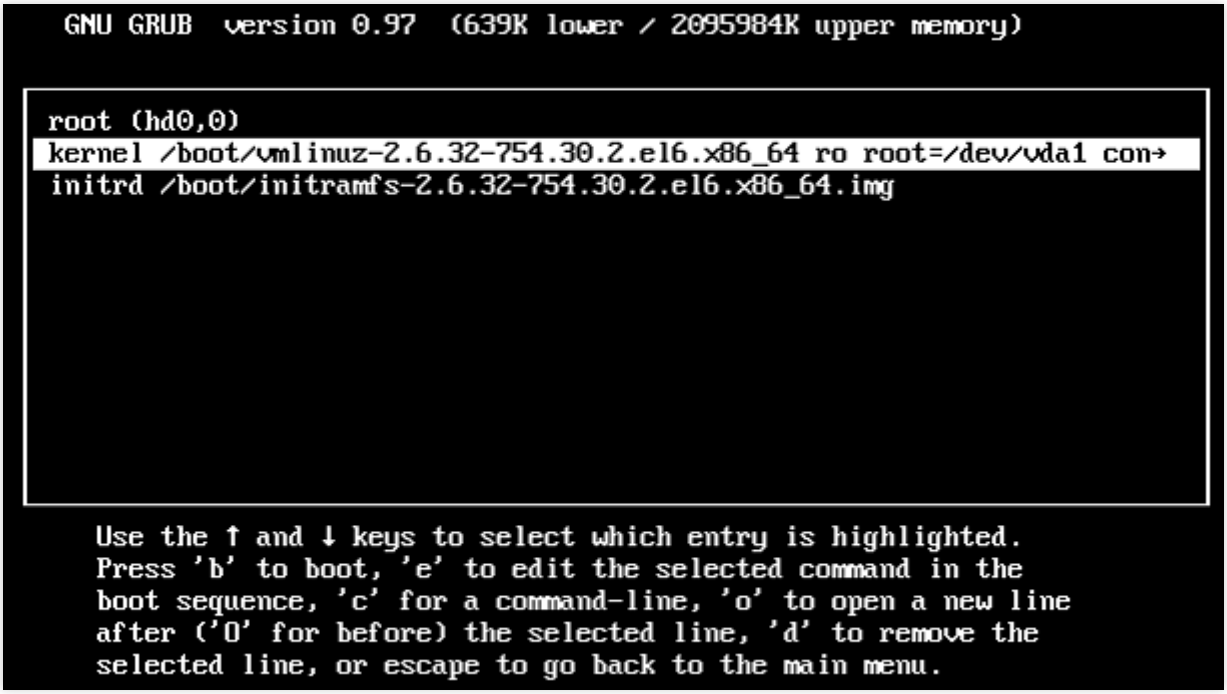
tlinux

1. grubモードのインターフェースで、下図のようにカーネルを選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

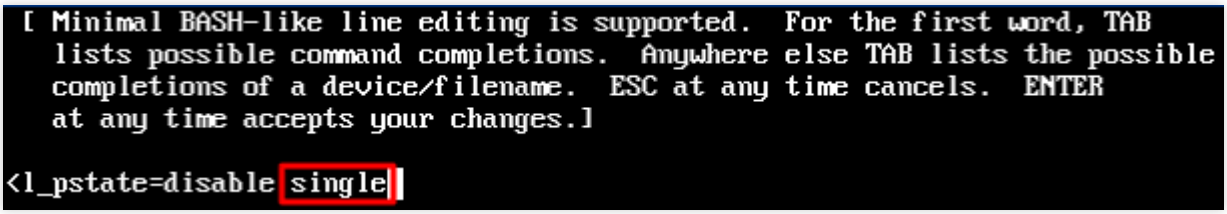


2. **e**を押してカーネル編集インターフェースに入り、↑↓キーを使用して**kernel**のある行を選択し、再び**e**を押します。下図のようになります。

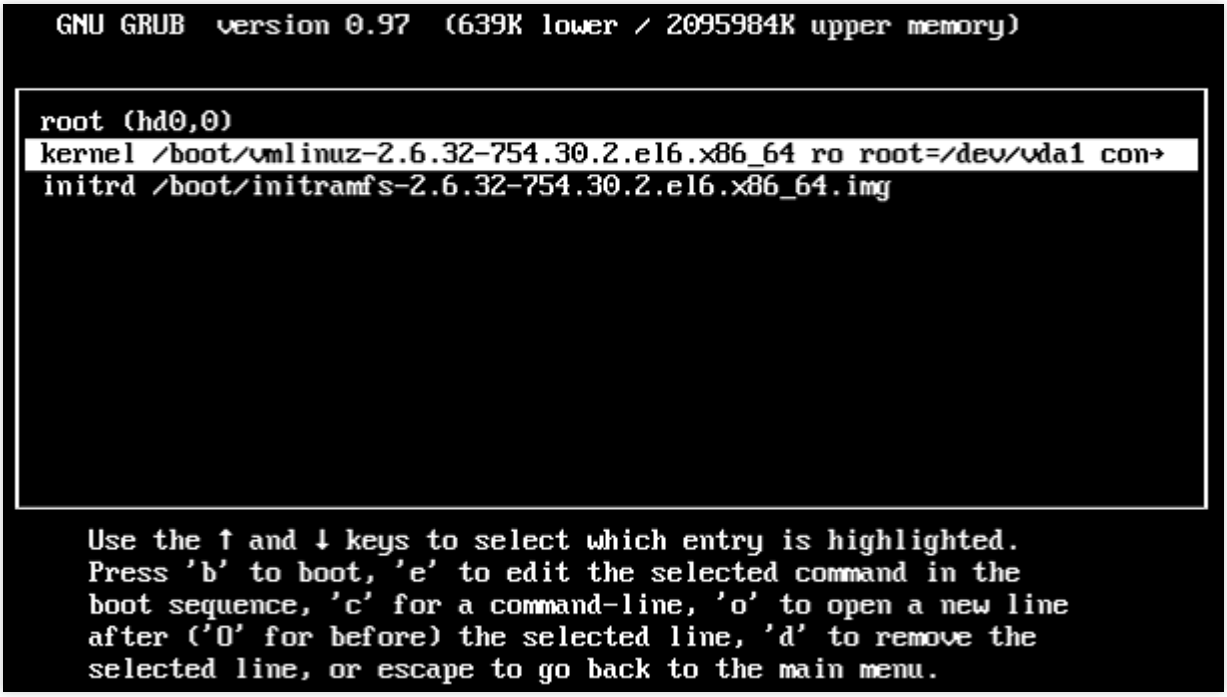


3. 行末に**single**を入力します。下図のとおりです。

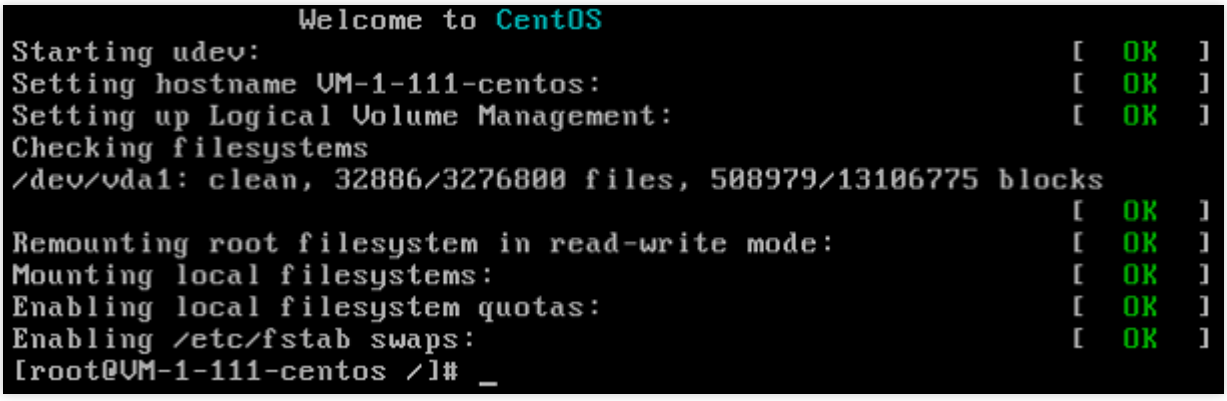
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



4. **Enter**を押して入力を確認してから、**b**を押して現在選択中の起動コマンドラインを開始すると、単一ユーザーモードに入ることができます。下図のとおりです。



下図のように表示されれば、単一ユーザーモードが開始されています。

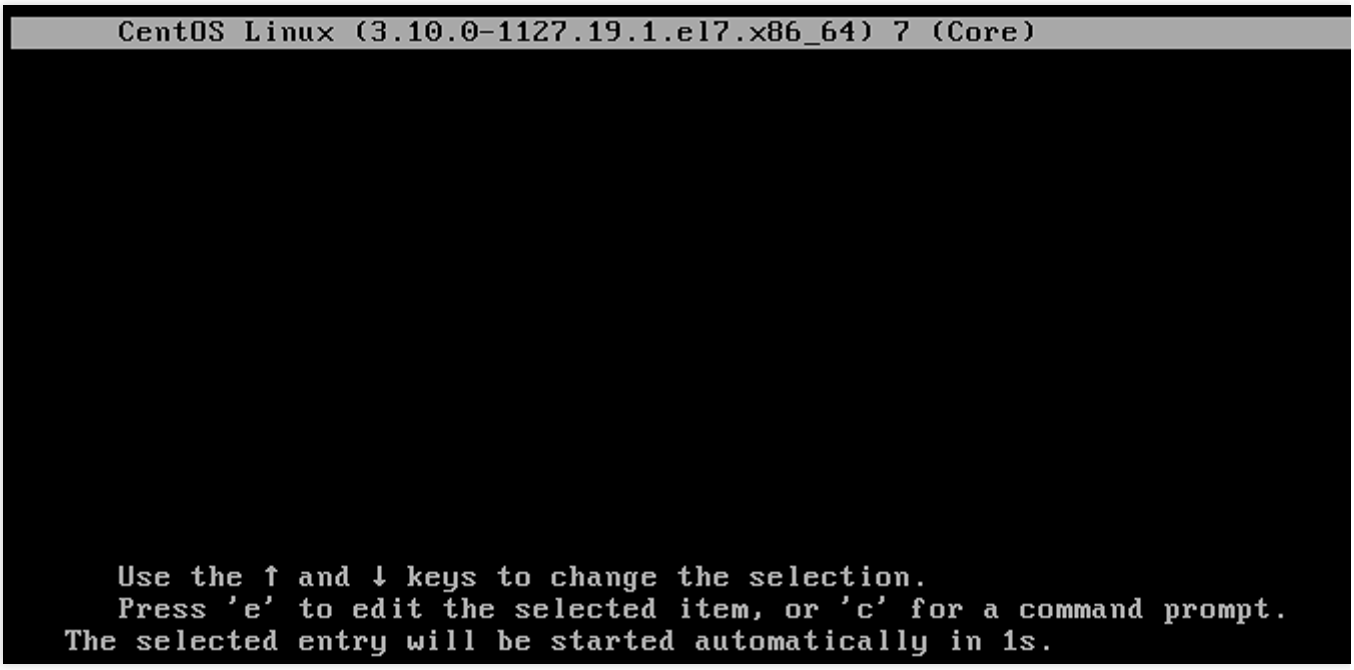


説明：

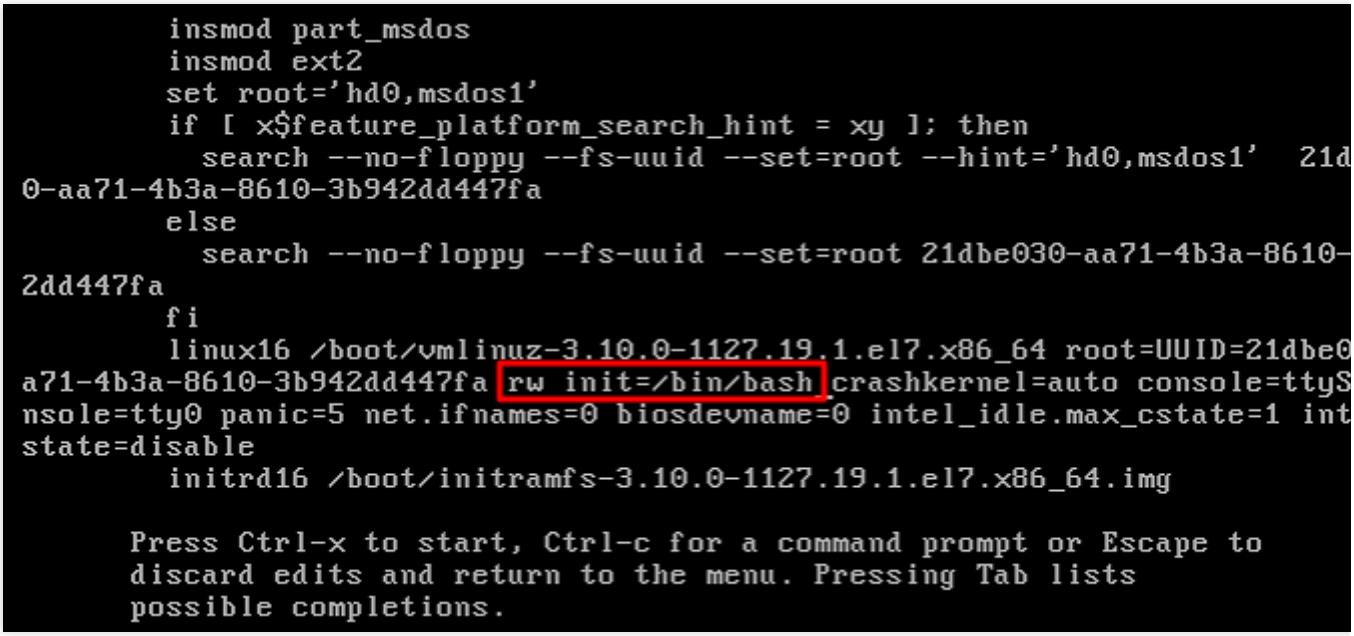
`exec /sbin/init` コマンドを実行して、単一ユーザーモードを終了することができます。

1. grubモードのインターフェースで、下図のようにカーネルを選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

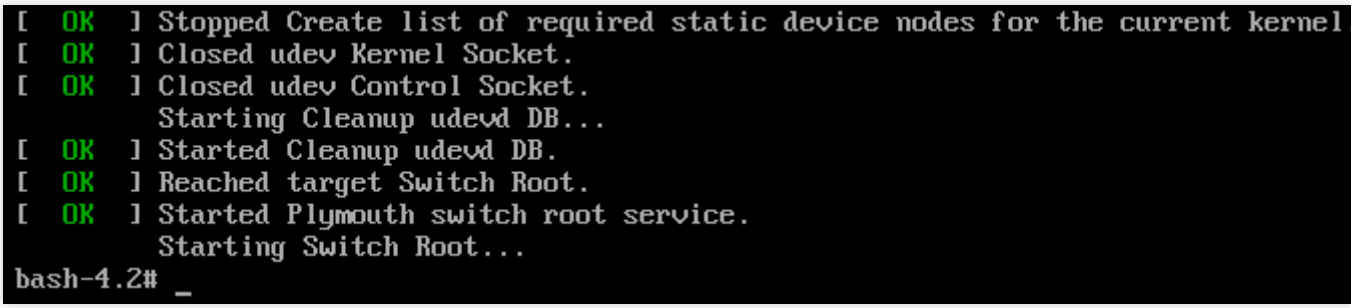


2. **e**を押してカーネル編集インターフェースに入り、↑↓キーを使用してlinux16開始行まで移動し、`ro` を `rw init=/bin/bash` または `/usr/bin/bash` に変更します。下図のとおりです。



3. **Ctrl+X**を押し、単一ユーザーモードを起動して入ります。
下図のように表示されれば、単一ユーザーモードが開始されています。

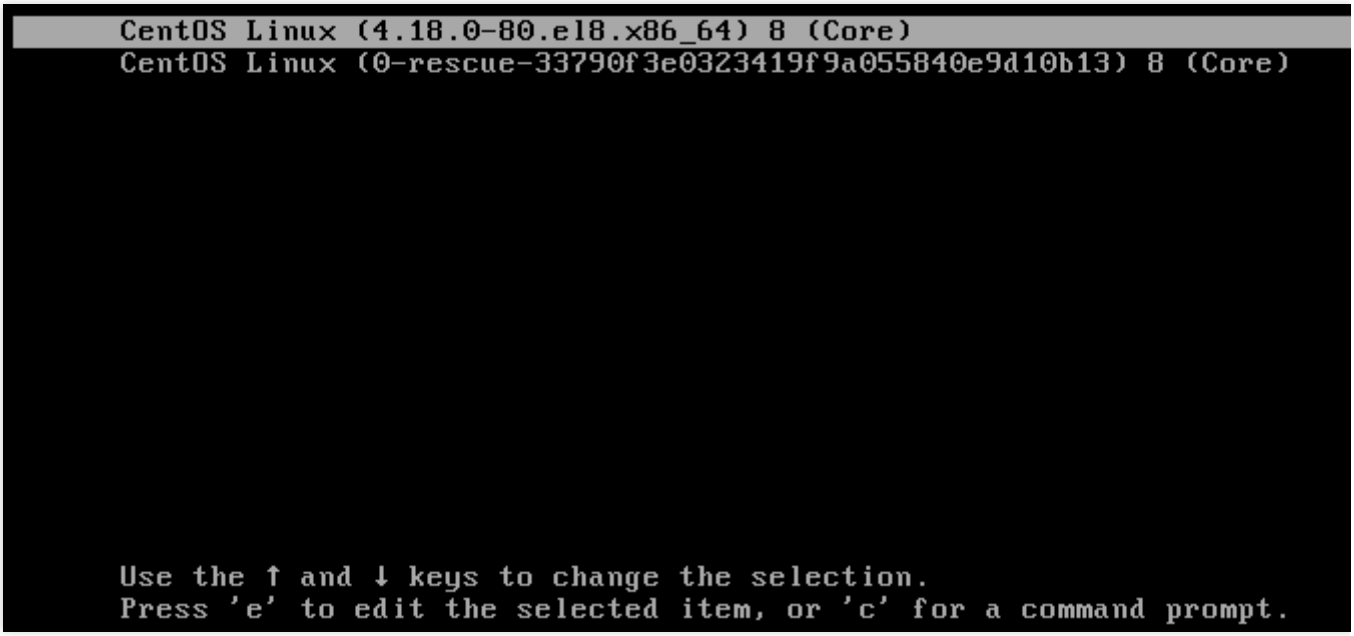
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



説明：

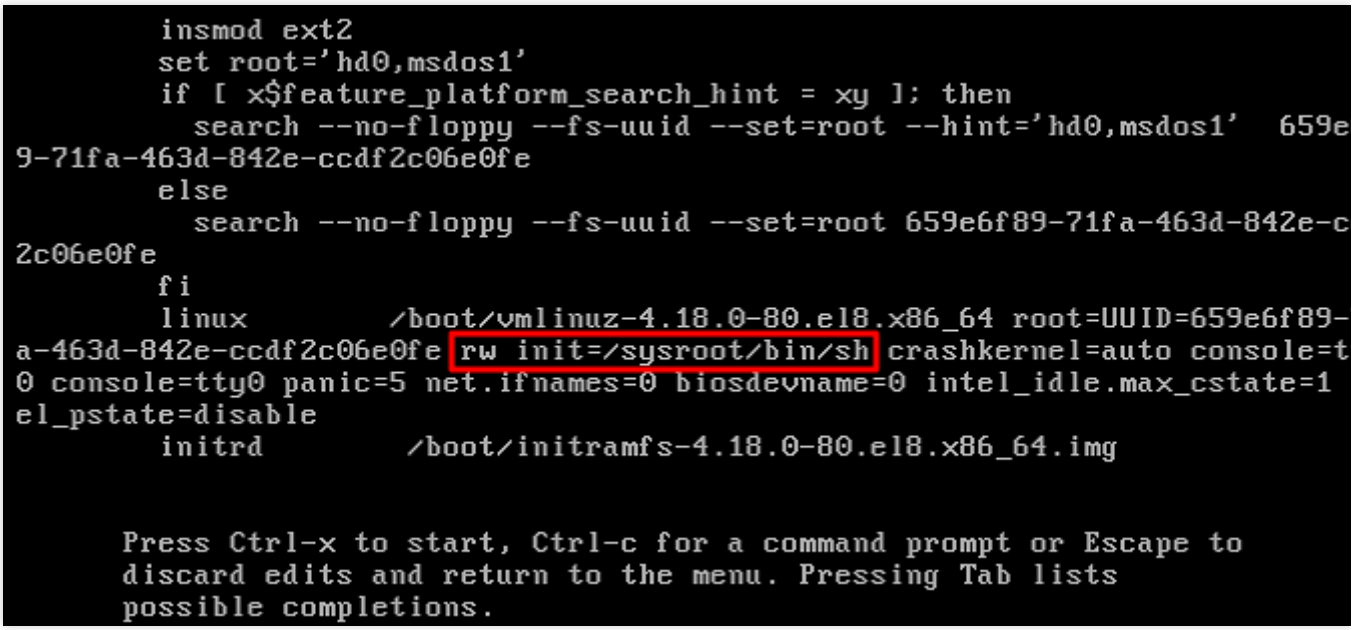
`exec /sbin/init` コマンドを実行して、単一ユーザーモードを終了することができます。

1. grubモードのインターフェースで、下図のようにカーネルを選択します。

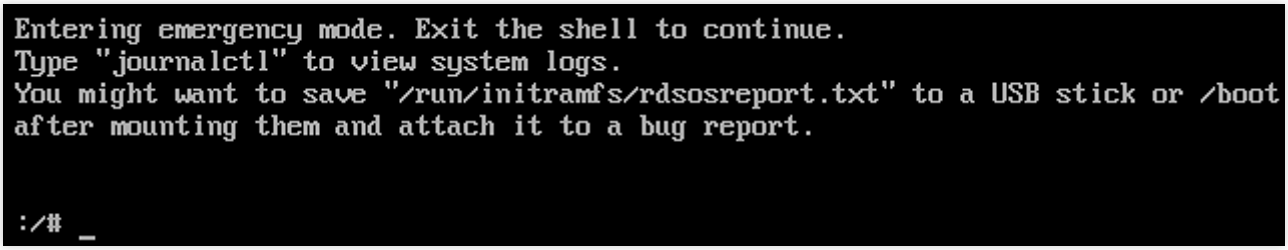


2. **e**を押してカーネル編集インターフェースに入り、↑↓キーを使用してlinux開始行まで移動し、 `ro` を `w init=/sysroot/bin/bash` に変更します。下図のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



3. **Ctrl+X**を押し、単一ユーザーモードを起動して入ります。
下図のように表示されれば、単一ユーザーモードが開始されています。

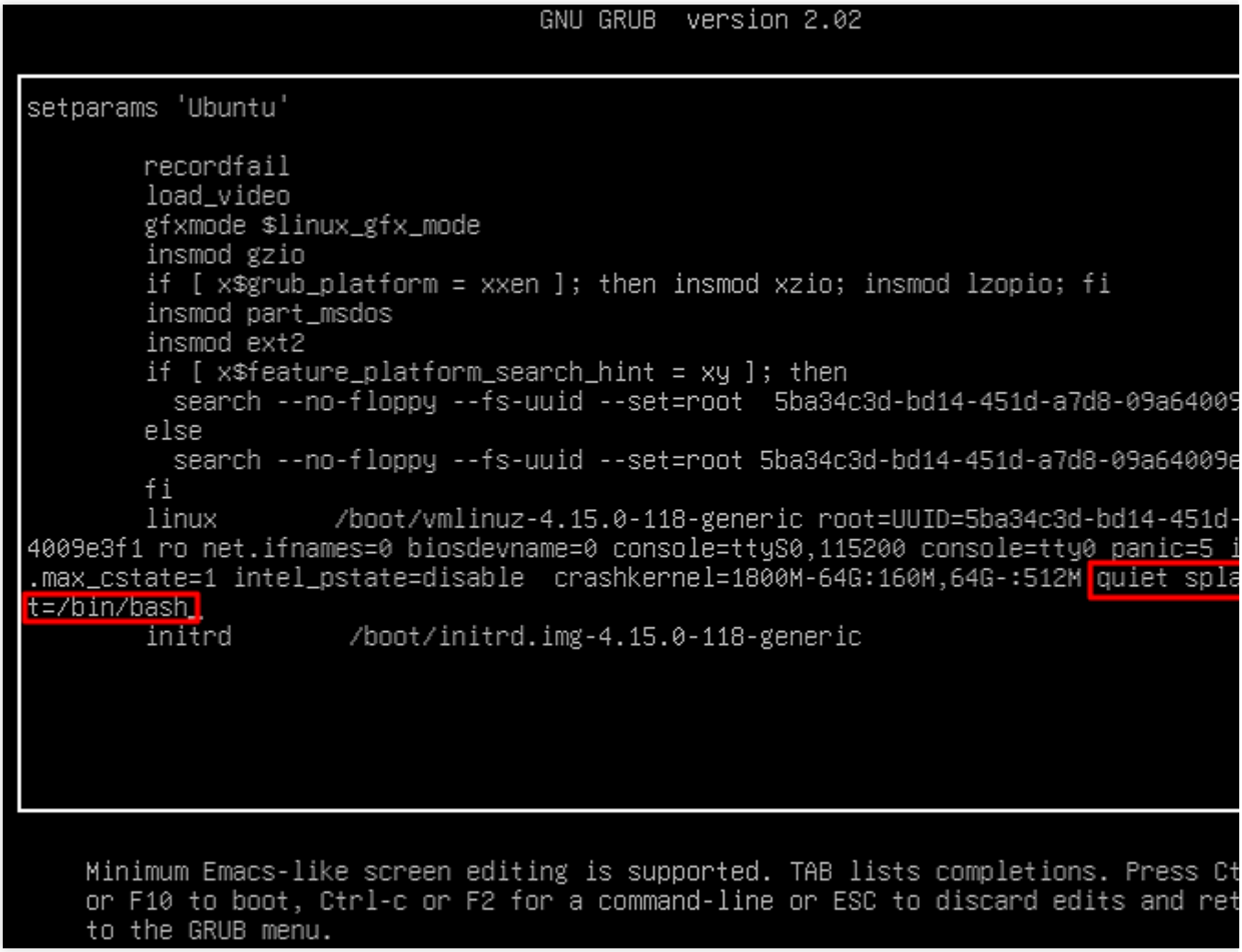


1. grubモードのインターフェースで、下図のようにカーネルを選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

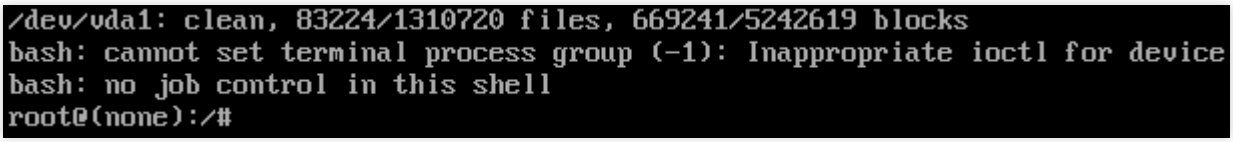
2. **e**を押してカーネル編集インターフェースに入り、↑↓キーを使用してlinux開始行まで移動し、行末に `quiet splash rw init=/bin/bash` を追加します。下図のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



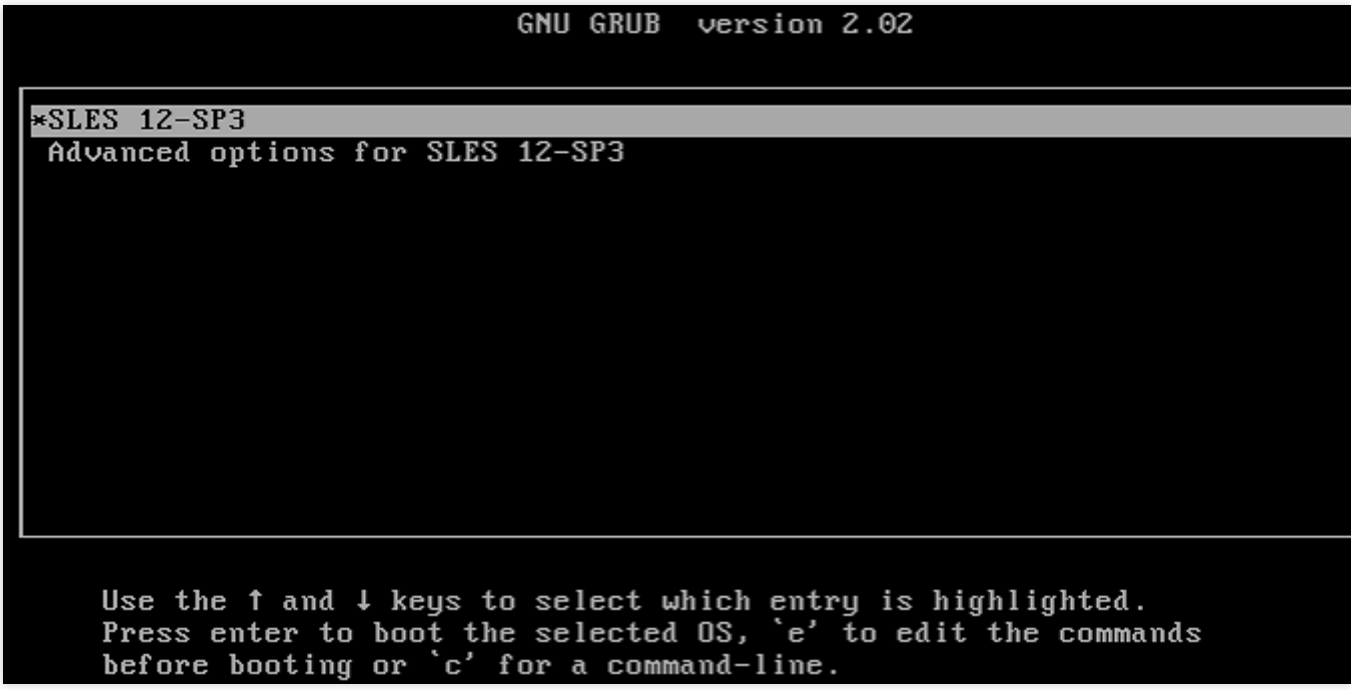
3. **Ctrl+X**を押し、単一ユーザーモードを起動して入ります。

下図のように表示されれば、単一ユーザーモードが開始されています。

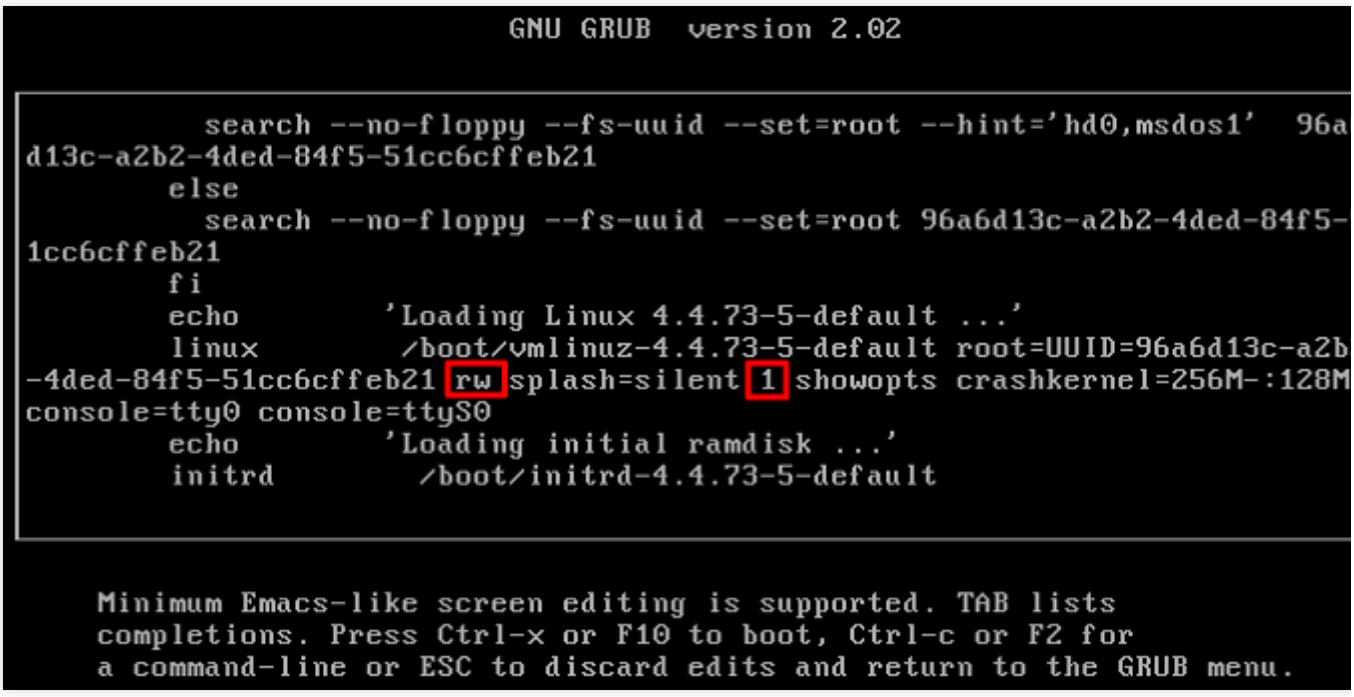


1. grubモードのインターフェースで、下図のようにカーネルを選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



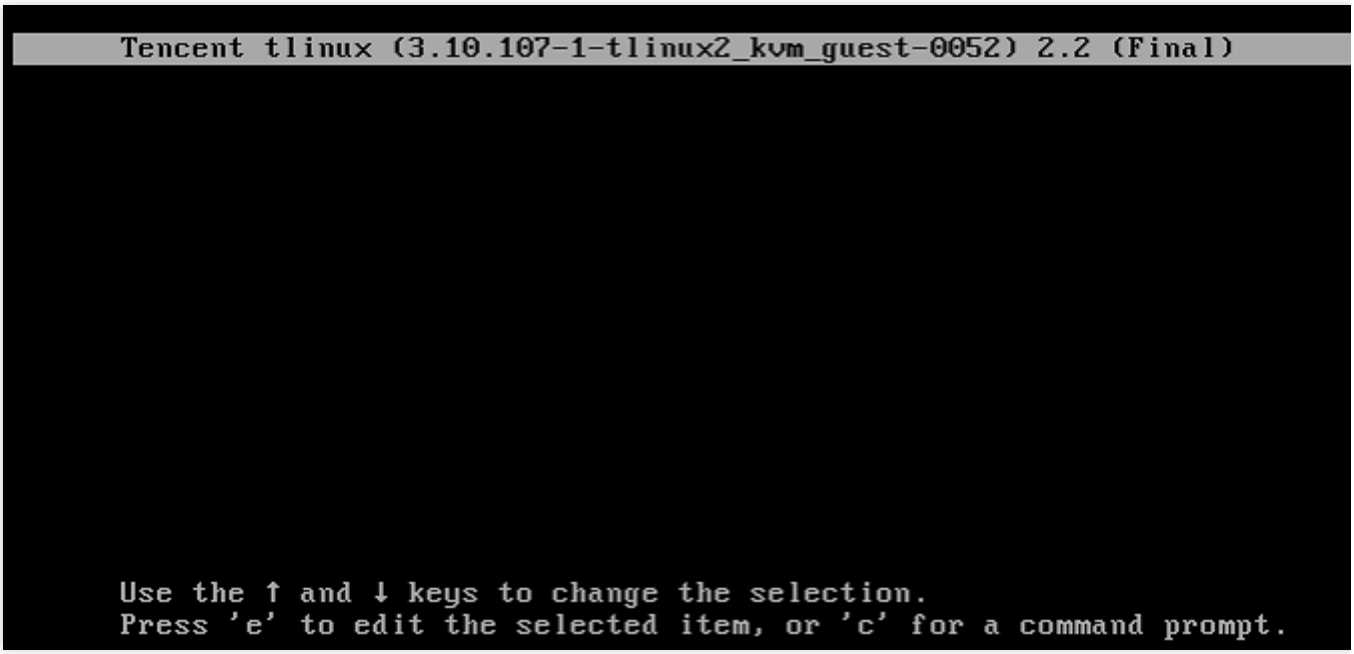
2. **e**を押してカーネル編集インターフェースに入り、↑↓キーを使用してlinux開始行まで移動し、 `splash` パラメータの前に `rw` を追加し、後ろに `1` を加えます。下図のとおりです。



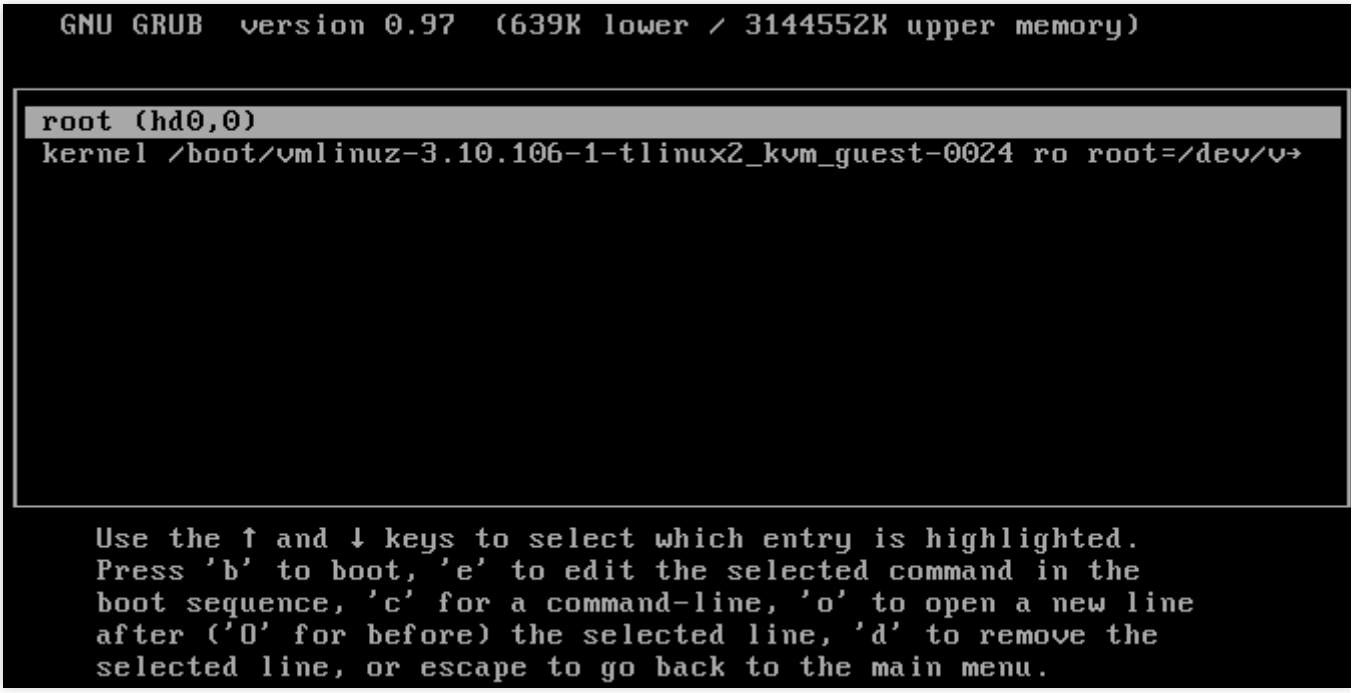
3. **Ctrl+X**を押し、単一ユーザーモードを起動して入ります。

1. grubモードのインターフェースで、下図のようにカーネルを選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

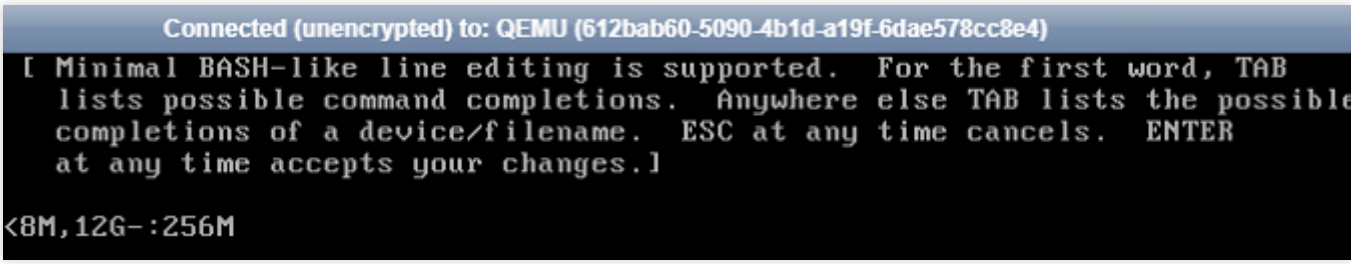


2. **e**を押してカーネル編集インターフェースに入り、↑↓キーを使用して**kernel**のある行を選択し、再び**e**を押します。下図のようになります。



3. 行末、つまり256Mのスペースの後に `1` が追加されます。下図のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



4. **Enter**を押すと、単一ユーザーモードに入ることができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

レスキューモードの使用

最終更新日：：2022-05-06 14:57:08

概要

CVMOSの使用中に、マシンgrubガイドファイルの消失、システムキーファイルの欠落、lib動的ライブラリファイルの破損/欠落などの問題が発生した場合は、OSが修復を完了するためにシングルユーザーモードを開始できない可能性があります。この場合はCVMレスキューモードを使用してシステムを修復する必要があります。ここではCVMコンソールを介してレスキューモードを使用する方法について説明します。

操作手順

レスキューモードの開始

ご注意：

レスキューモード開始前に、誤操作などによる影響を防止するため、インスタンスをバックアップすることを強くお勧めします。CBSでは スナップショットの作成 を介してバックアップでき、ローカルシステムディスクでは カスタムイメージの作成 を介してイメージをバックアップできます。

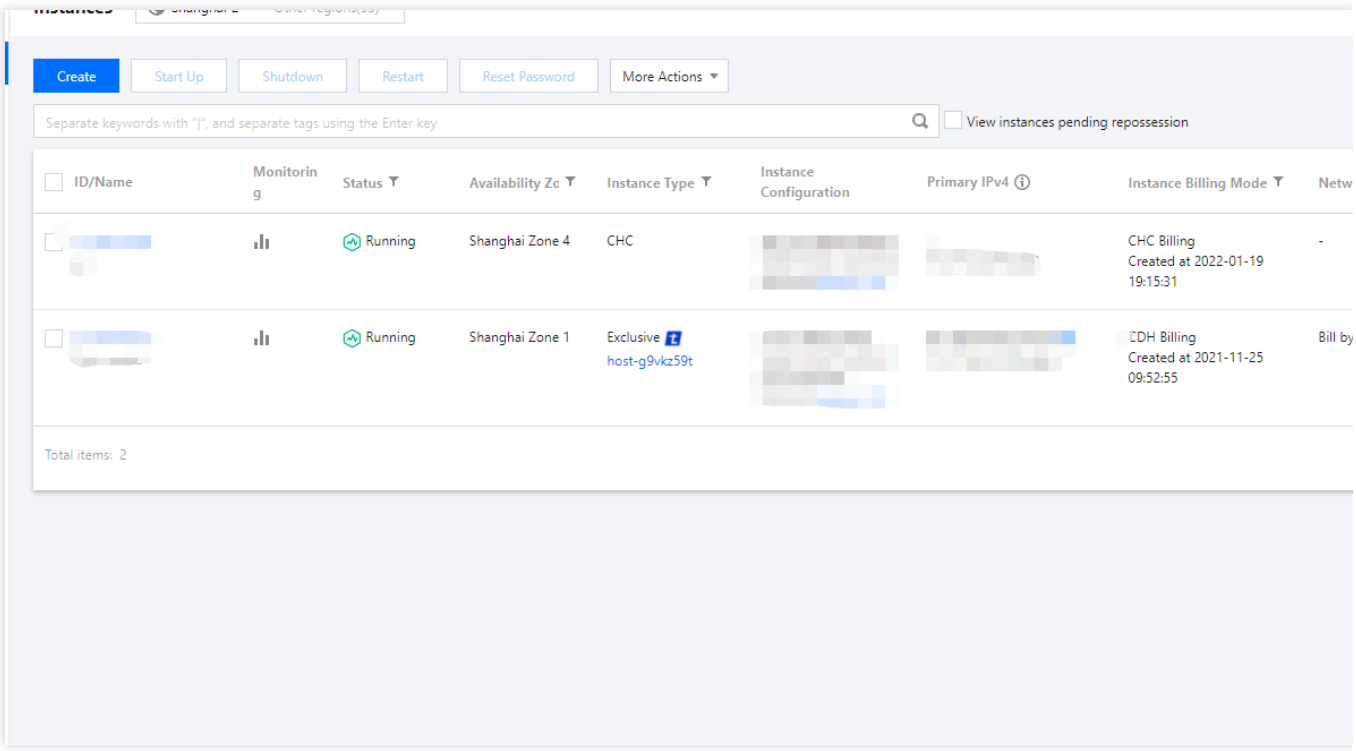
1. CVMコンソール にログインします。
2. インスタンス管理ページで、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストモード

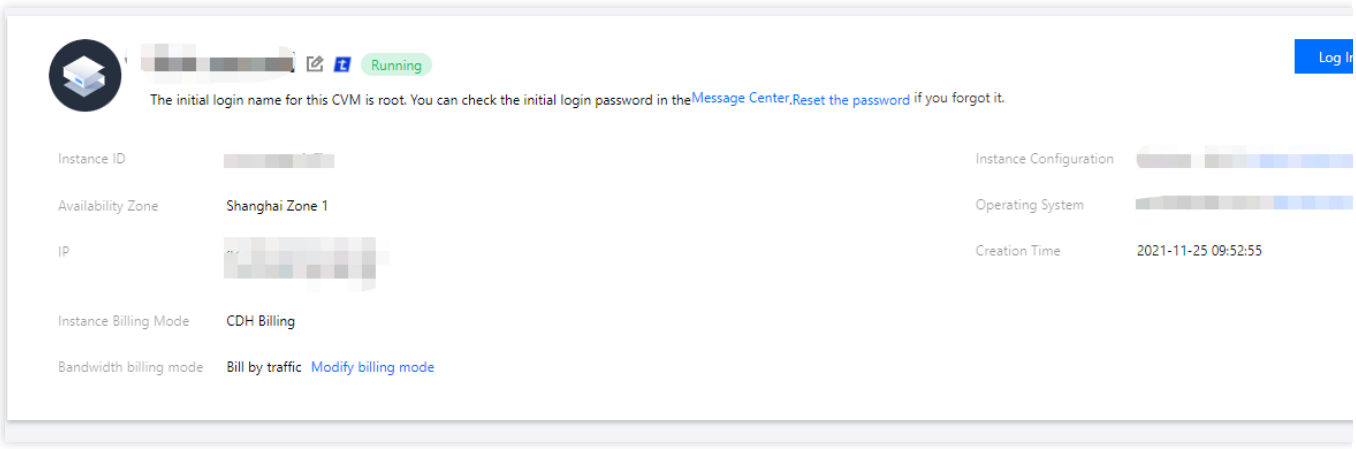
タブモード

下図に示すように、インスタンスが配置される行右側の**その他 > 運用保守と検査 > レスキューモードの開始**を選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



下図に示すように、インスタンスが配置されるタブを選択し、右上方の**その他操作 > 運用保守と検査 > レスキューモードの開始**を選択します。



3. 下図に示すように、ポップアップした「レスキューモードの開始」ウィンドウで、レスキューモード中にインスタンスにログインするためのパスワードを設定します。

ご注意：

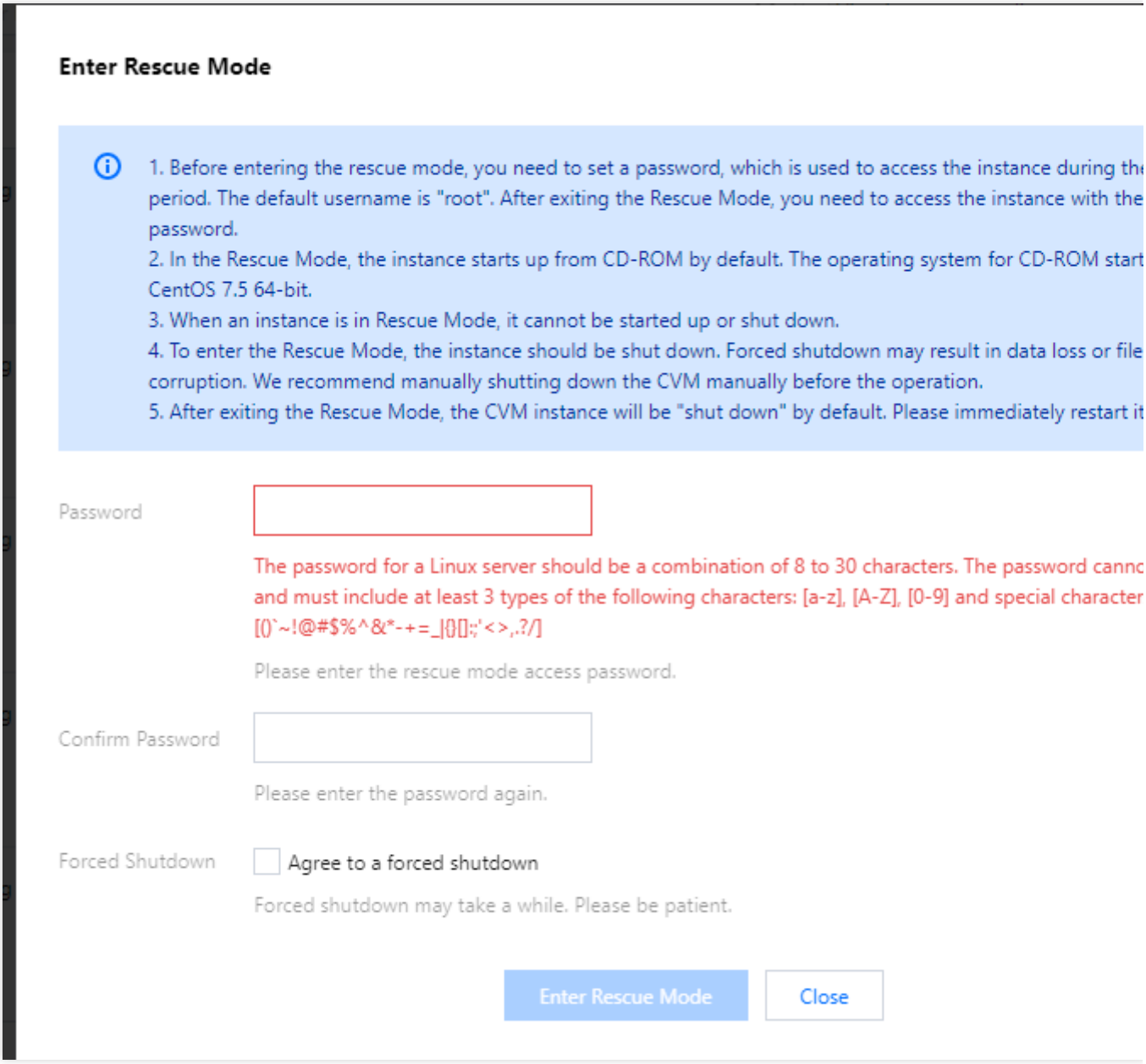
現在、レスキューモードはLinuxインスタンスのみをサポートしており、Windows インスタンスをサポートしていません。Windowsインスタンスを操作してレスキューモードを開始する場合は、デフォルトでLinuxレスキューモード（CentOS 7.5 64ビット）になります。

レスキューモードでのインスタンスユーザー名はデフォルトで `root` です。

インスタンスはシャットダウン状態でのみレスキューモードを開始できます。強制シャットダウンはデータの消失やファイルシステムの破損を引き起こす可能性がありますので、ここではインスタンスをシャットダウンした後

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

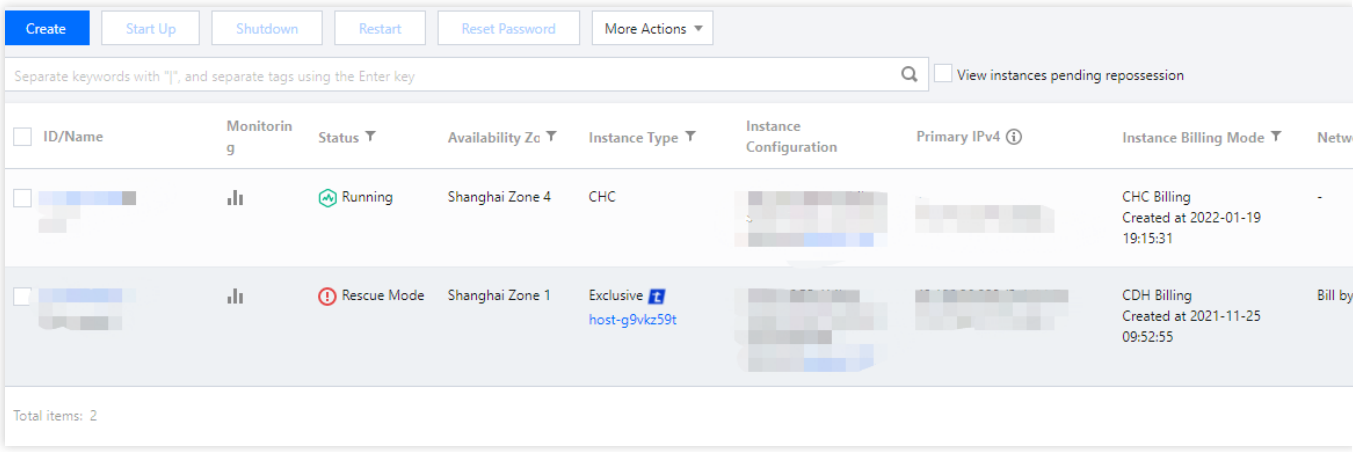
に操作することをお勧めします。インスタンスのシャットダウン操作については、インスタンスのシャットダウンをご参照ください。



4. **レスキューモードの開始**をクリックします。

このとき、インスタンスがレスキューモードに入っていることを確認できます。下図に示すように、インスタンスの状態が表示されたら、正常にレスキューモードに入ったことを意味します。次の手順を参考に、できる限り早急にインスタンスを修復してください。

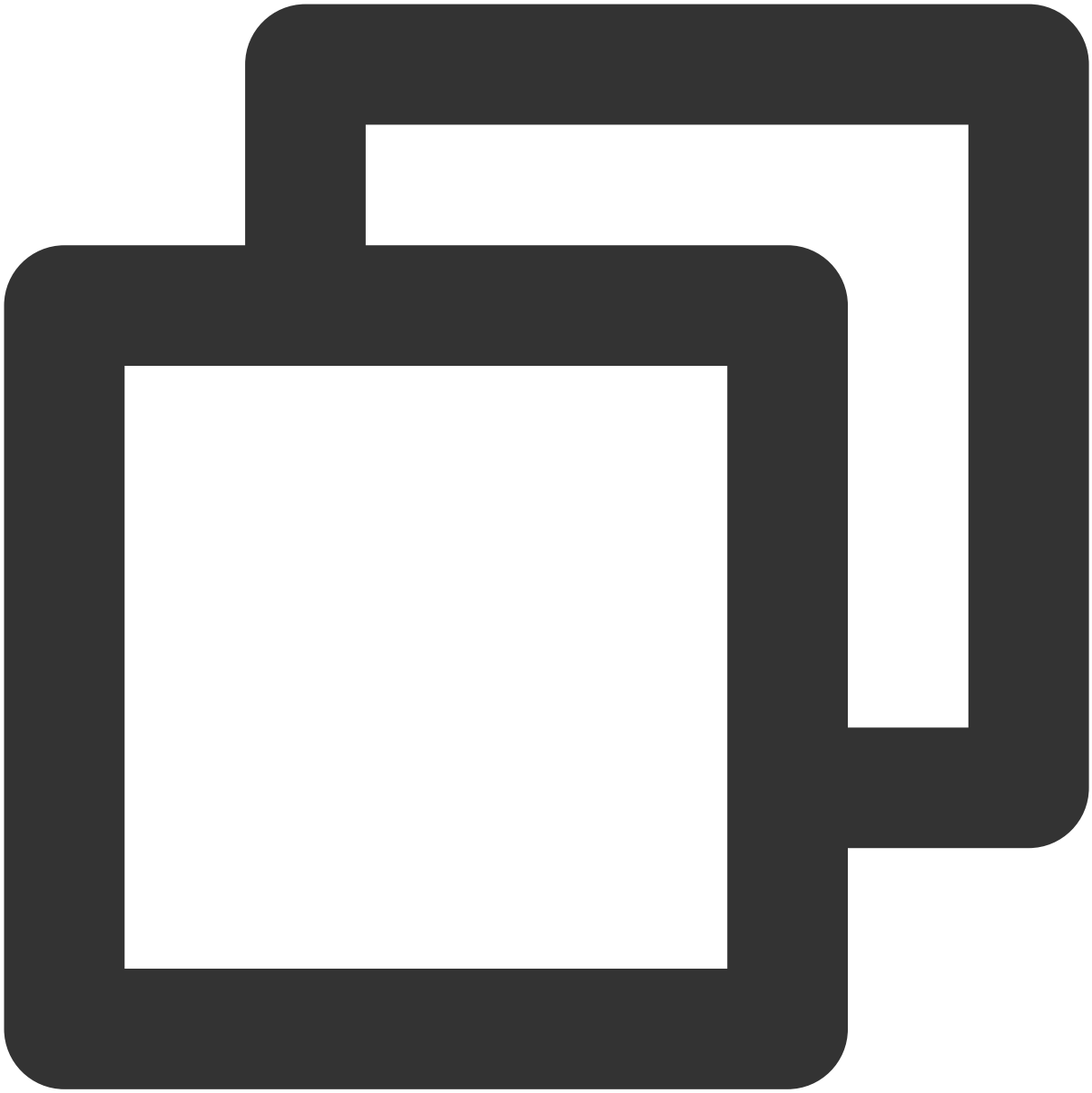
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



レスキューモードを使用してシステムを修復します

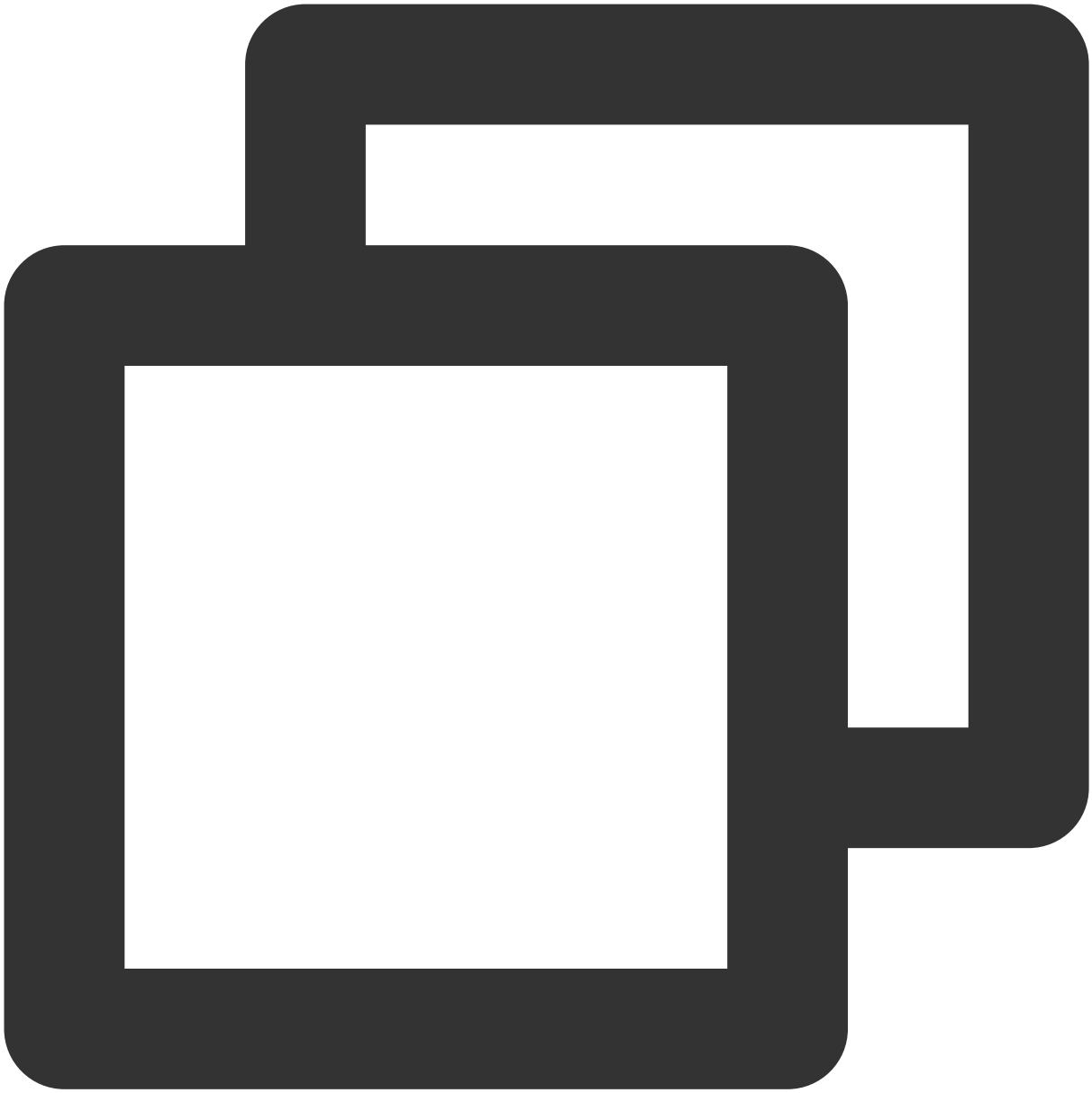
1. `root` アカウントおよび 手順3 で設定したパスワードを使用し、次の方式でインスタンスにログインします。
インスタンスにパブリックIPが有る場合は、SSHを使用してLinuxインスタンスにログイン をご参照ください。
インスタンスにパブリックIPがない場合は、VNCを使用してLinuxインスタンスにログイン をご参照ください。
2. ログインに成功したら、次のコマンドを順に実行してシステムディスクのルートパーテーションをマウントします。
レスキューモードでのインスタンスのシステムディスクデバイス名は `vda` 、ルートパーテーションは `vda1` で、デフォルトではマウントされていません。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
mkdir -p /mnt/vm1
```

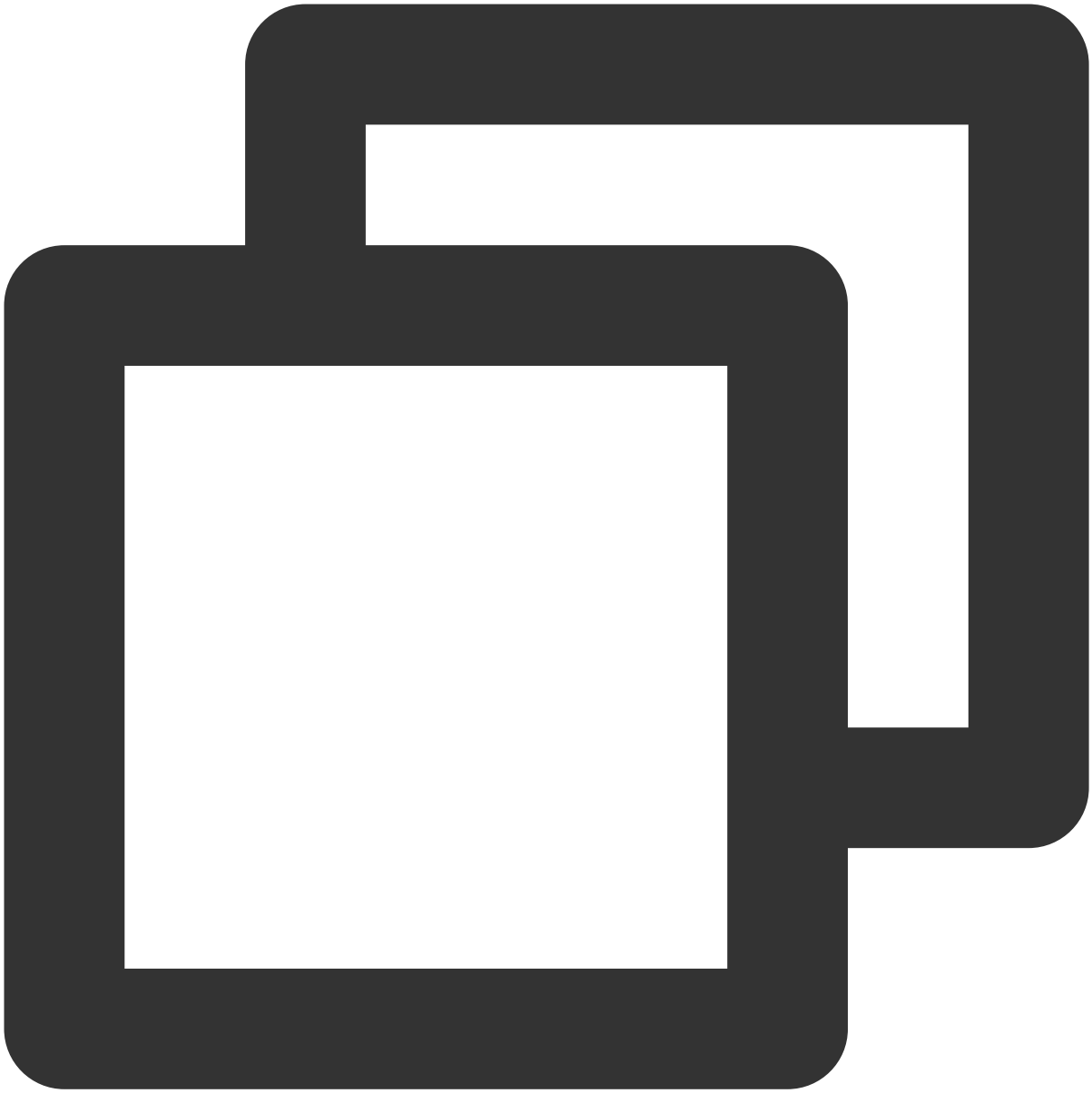
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
mount /dev/vda1 /mnt/vm1
```

マウントに成功したら、ルートパーテーション内のデータを操作できるようになります。`mount -o bind` コマンドを使用して元のファイルシステムのサブディレクトリの一部をマウントし、かつ `chroot` コマンドを使用して指定のルートディレクトリでコマンドを実行することもできます。具体的な操作コマンドは次のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

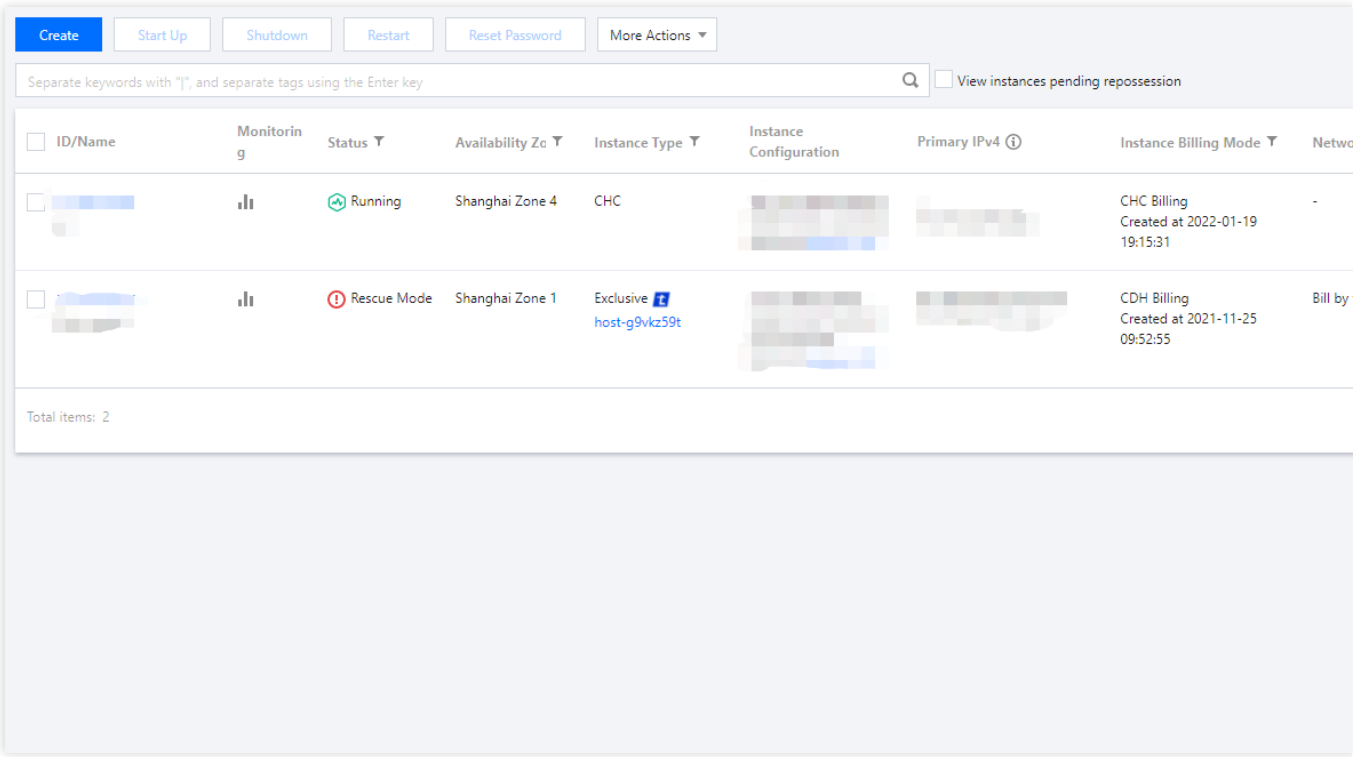


```
mount -o bind /dev /mnt/vm1/dev
mount -o bind /dev/pts /mnt/vm1/dev/pts
mount -o bind /proc /mnt/vm1/proc
mount -o bind /run /mnt/vm1/run
mount -o bind /sys /mnt/vm1/sys
chroot /mnt/vm1 /bin/bash
```

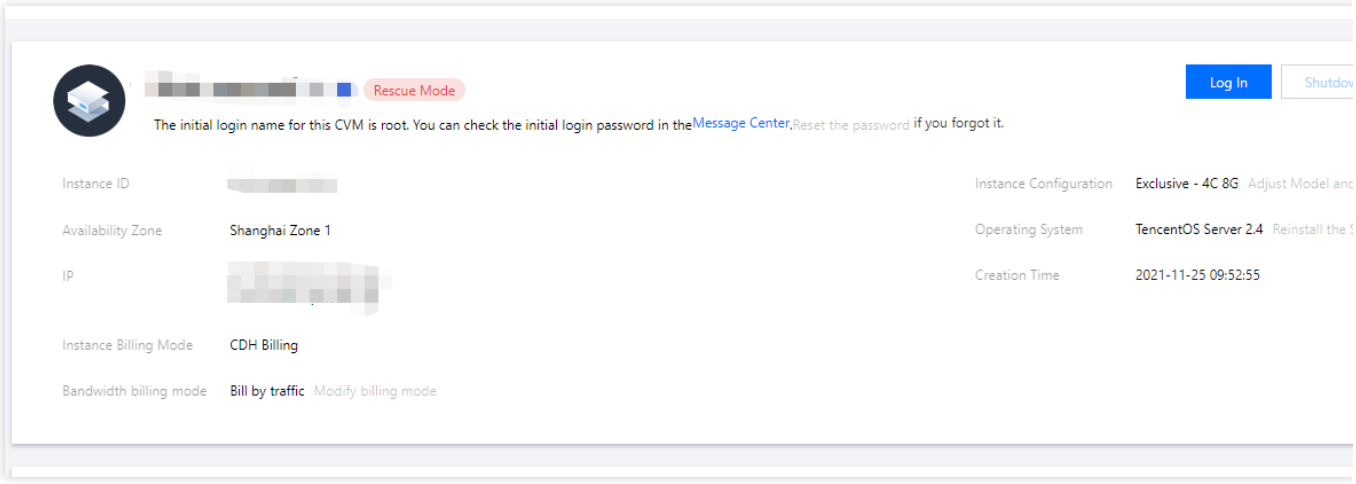
レスキューモードの終了

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. インスタンスの修復が完了したら、実際に使用するビューモードに応じて、次の手順に従いレスキューモードを終了します。
リストモード
タブモード
下図に示すように、インスタンスが配置される行右側の**その他 > 運用保守と検査 > レスキューモードの終了**を選択します。



下図に示すように、インスタンスが配置されるタブを選択し、右上方の**その他操作 > 運用保守と検査 > レスキューモードの終了**を選択します。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. インスタンスがレスキューモードを終了すると、シャットダウン状態になります。インスタンスの起動 を参考に起動すれば、使用を再開できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

複数ユーザーによるWindows CVMへのリモートログインを許可するように設定する

最終更新日：：2022-03-24 14:55:12

概要

このドキュメントではWindows Server 2016 R2 OS CVMを例に、Windows Cloud Virtual Machine（CVM）への複数ユーザーのリモートログインを設定する方法について説明します。

ご注意：

マイクロソフトが提供する複数ユーザーリモートログイン機能の試用期間は120日であり、複数ユーザーログインライセンス（RDS CALs）を未購入の場合は、試用期間終了後にリモートデスクトップを介してCVMにログインできなくなり、mstsc/adminコマンドでのみログインできます。Windows Serverはデフォルトで2人のユーザーが同時ログインでき、ほとんどのニーズを満たすことができます。実際のビジネスシーンを踏まえて評価し、複数ユーザーリモートログインを設定する必要性が非常に高い場合は、このドキュメントを参考に操作してください。

操作手順

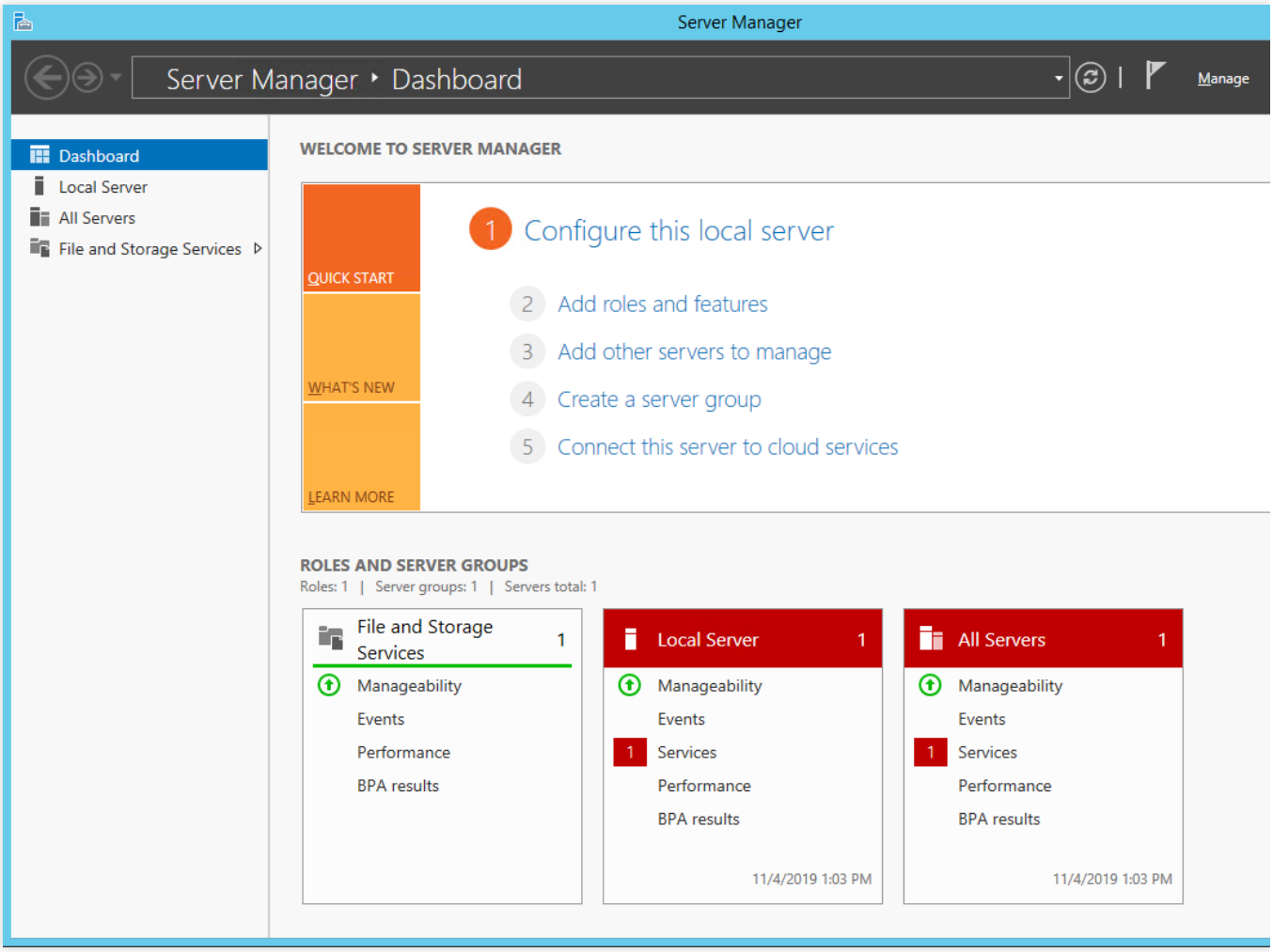
リモートデスクトップサービスの追加

1. Windows CVMにログインします。
2. 下図のように、OSのインターフェースで

をクリックし、ポップアップしたインターフェースで

を選択して、「サーバーマネージャー」を開きます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

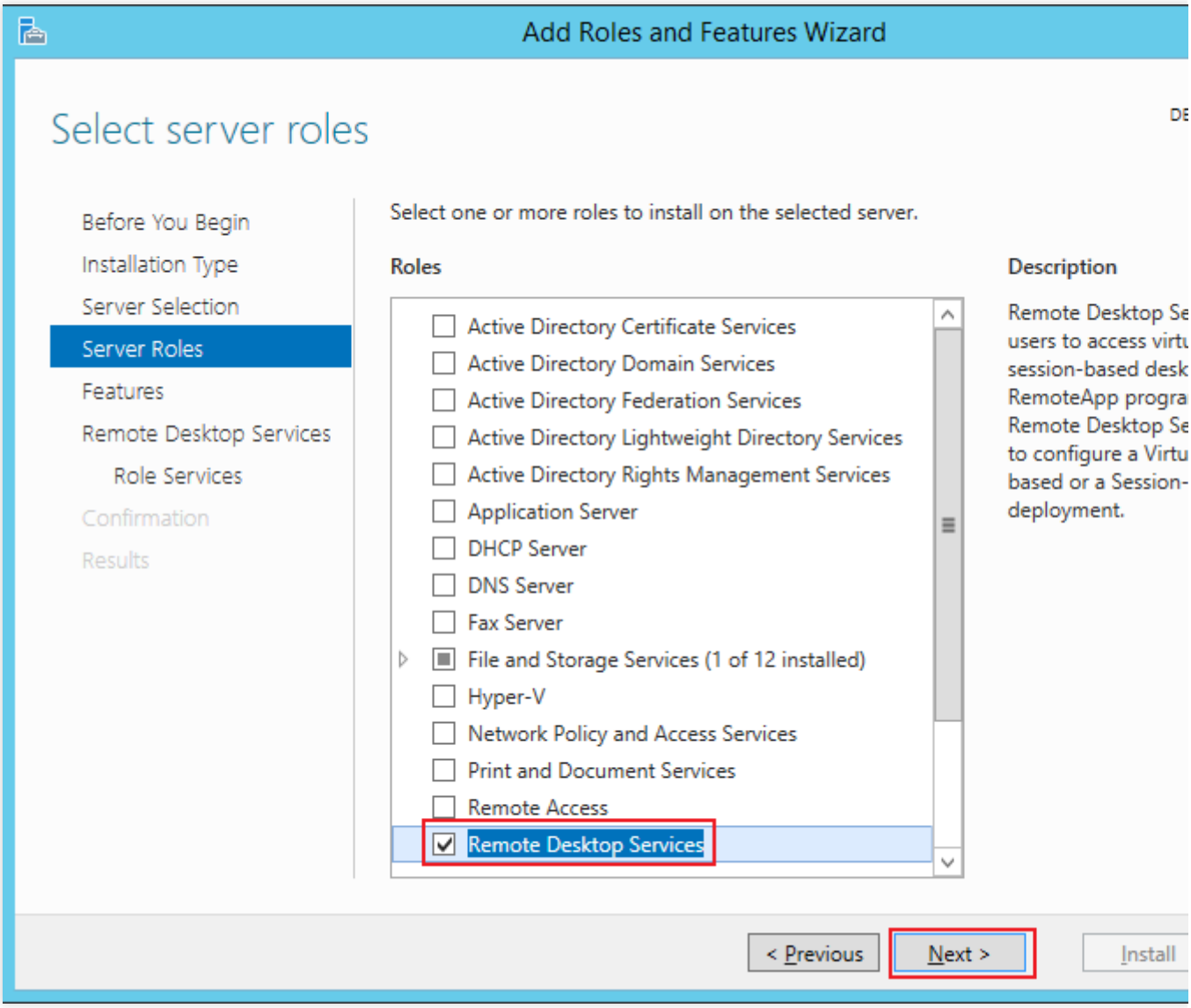


3. **ロールと機能の追加**をクリックすると、「ロールと機能の追加ウィザード」ウィンドウがポップアップします。

4. 「ロールと機能の追加ウィザード」ウィンドウで、デフォルトのパラメータを維持したまま、**次へ**を3回続けてクリックします。

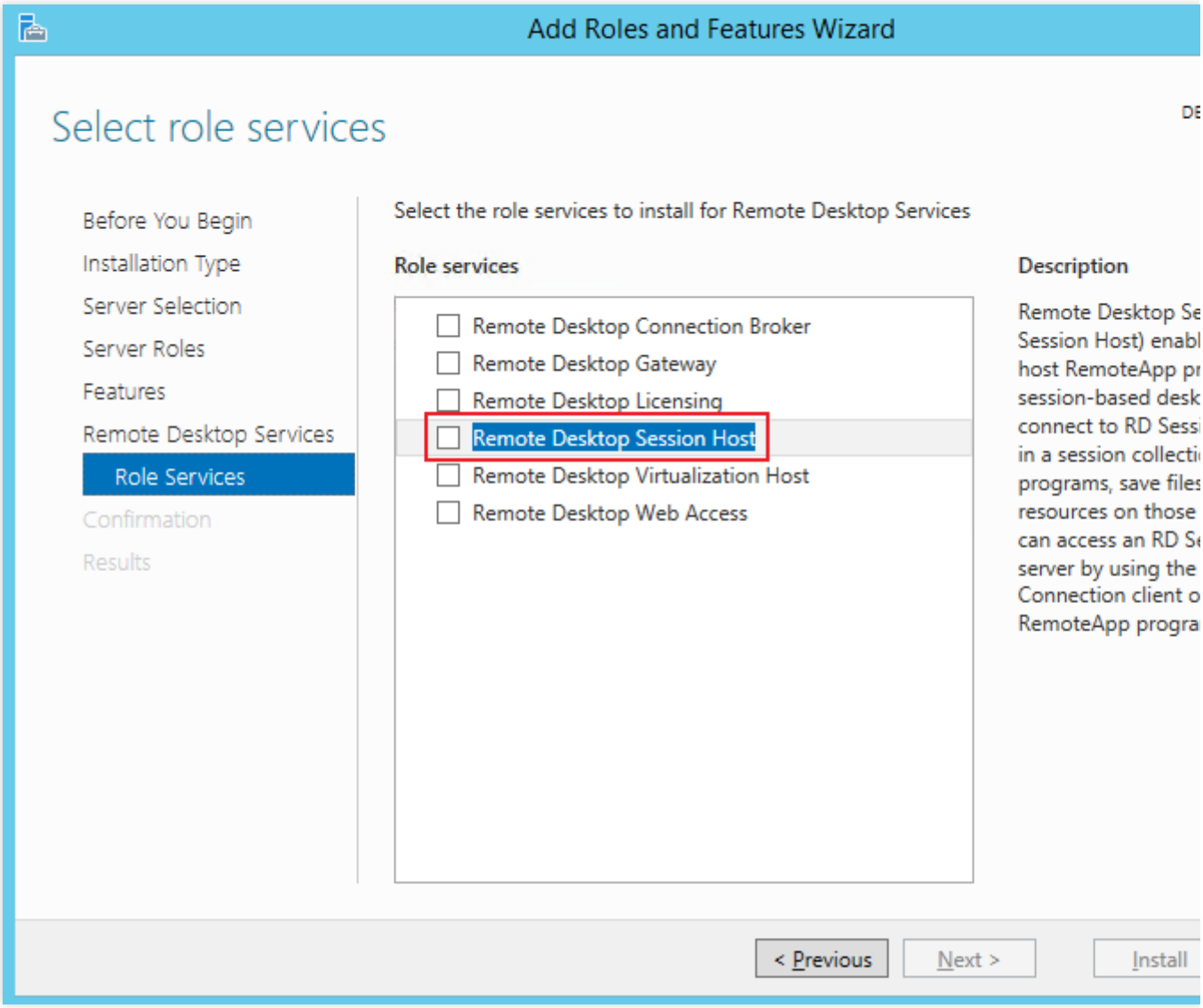
5. 下図のように、「サーバーロールの選択」インターフェースで、「リモートデスクトップサービス」にチェックを入れ、**次へ**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



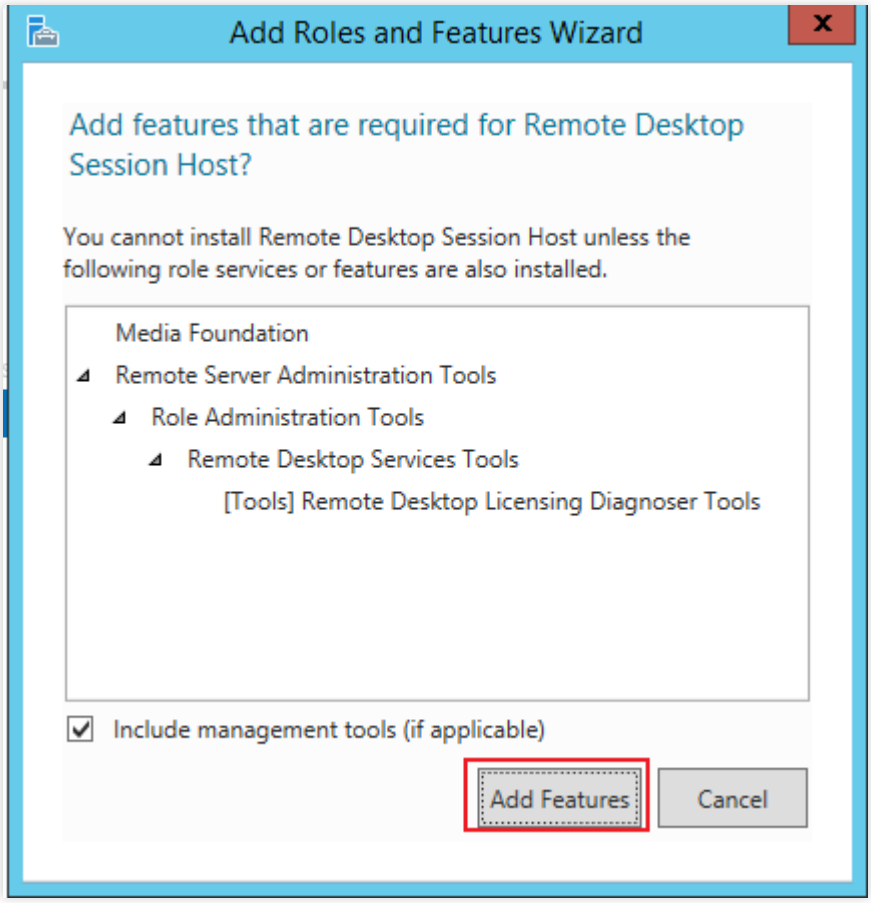
6. デフォルトのパラメータを維持したまま、**次へ**を2回続けてクリックします。
7. 下図のように、「ロールサービスの選択」インターフェースで、**リモートデスクトップセッションホスト**にチェックを入れます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



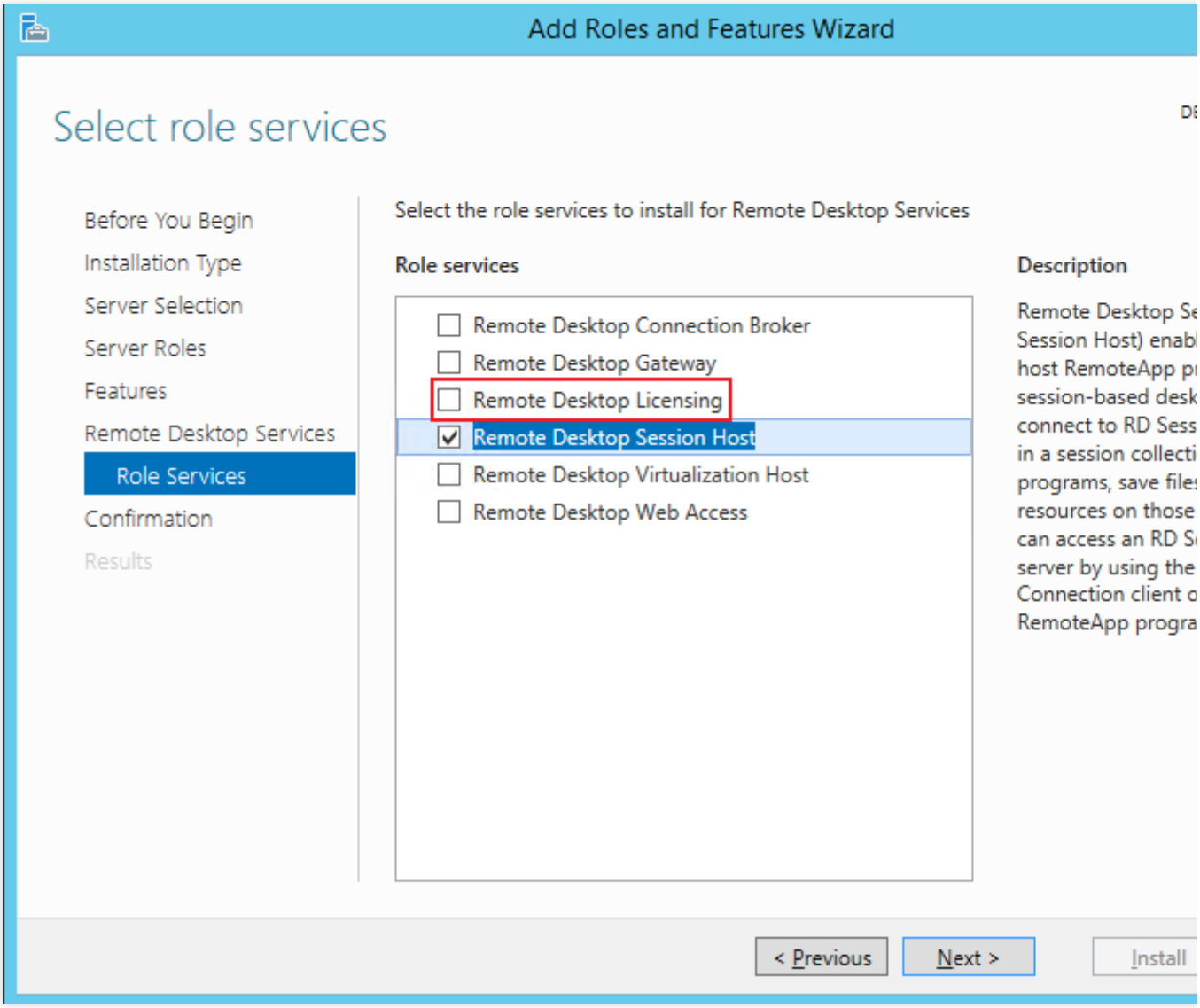
8. 下図のように、「リモートデスクトップセッションホストに必要な機能の追加」ダイアログボックスがポップアップします。ダイアログボックスで、**機能の追加**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



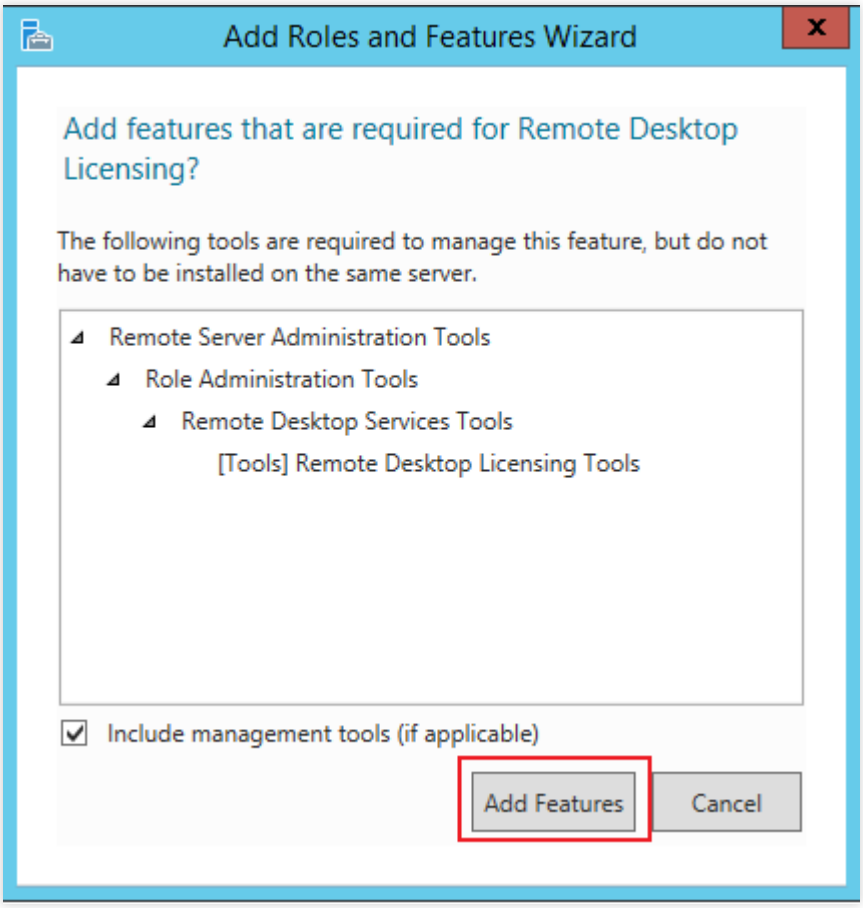
9. 下図のように、「ロールサービスの選択」インターフェースで、「リモートデスクトップの権限承認」にチェックを入れます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



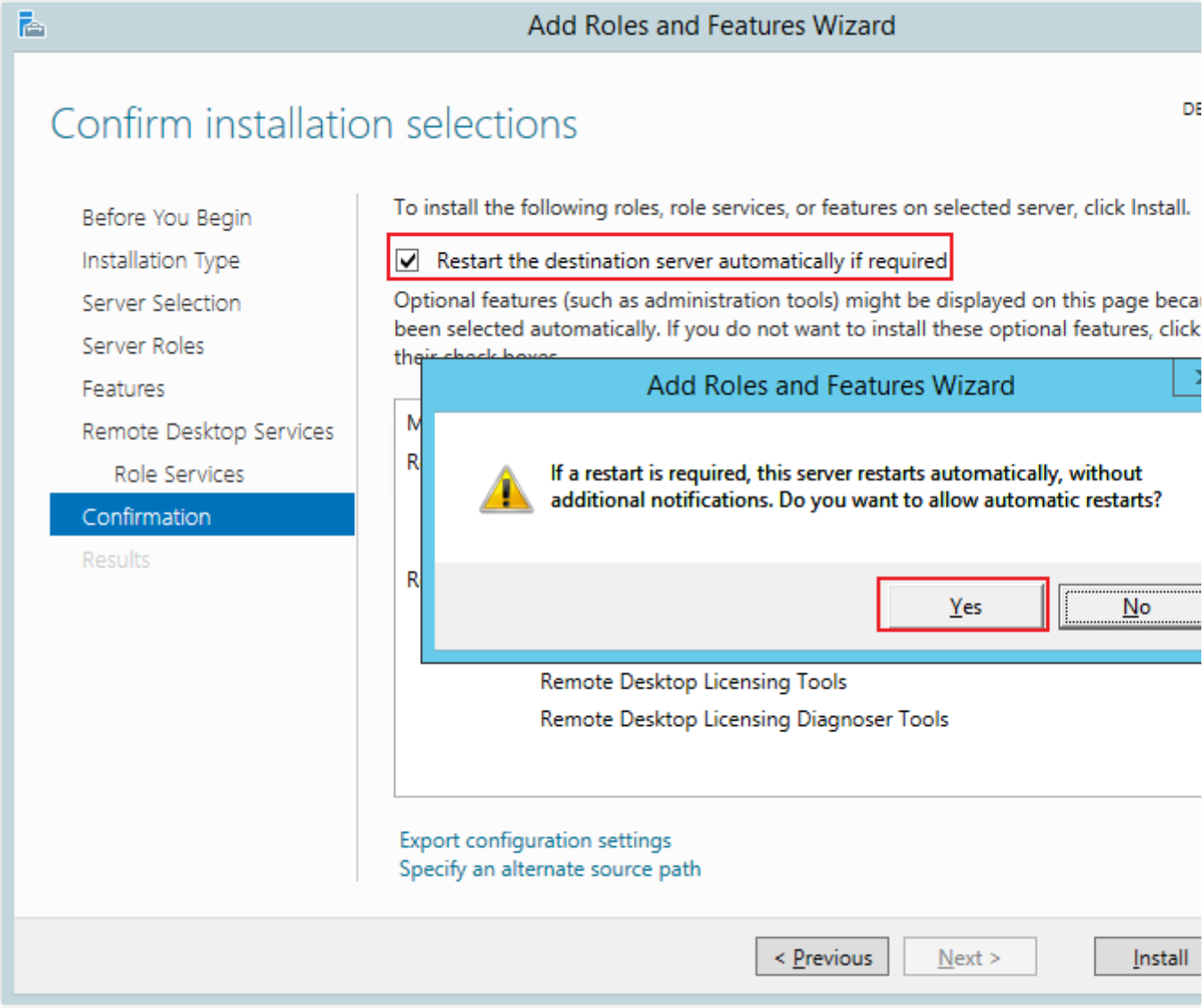
10. 下図のように、「リモートデスクトップの権限承認に必要な機能の追加」ダイアログボックスがポップアップします。ダイアログボックスで、**機能の追加**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



11. **次のステップ**をクリックします。
12. 下図のように、「必要に応じて、ターゲットサーバーを自動的に再起動する」にチェックを入れ、ポップアップしたダイアログボックスで**はい**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



13. **インストール**をクリックし、リモートデスクトップサービスのインストールが完了するのを待ちます。

複数ユーザーログインライセンスの申請

1. OSのインターフェースで

をクリックし、ポップアップしたインターフェースで

を選択して、「サーバーマネージャー」を開きます。

2. 「サーバーマネージャー」ウィンドウで、右上コーナーの**ツール** > **Remote Desktop Services** > **リモートデスクトップ権限承認マネージャー**を選択します。

3. ポップアップした「RD権限承認マネージャー」ウィンドウで、サーバーがある行を右クリックし、**サーバーのアクティブ化**を選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. ポップアップした「サーバーアクティブ化ウィザード」ウィンドウで、**次へ**をクリックします。
5. 接続方法」の設定で、このドキュメントでは「Webブラウザ」を選択し、**次へ**をクリックします。
実際の状況を踏まえて他の接続方法を選択できます。
6. 「ライセンスサーバーのアクティブ化」で、製品IDを記録し、リモートデスクトップ権限承認ウェブサイト にアクセスします。
7. 、リモートデスクトップ権限承認ウェブサイトで、「ライセンスサーバーの有効化」を選択し、**次へ**をクリックします。
8. ステップ6 で取得した製品IDを入力し、実際の状況に基づき企業情報を記入した後、**次へ**をクリックします。
9. 入力情報に誤りがないことを確認した後、**次へ**をクリックします。
10. ライセンスサーバーIDを記録し、**はい**をクリックします。
11. 直前の手順で取得したライセンスサーバーIDを入力し、必要に応じて権限承認情報を選択して、企業情報を記入した後、**次へ**をクリックします。
このドキュメントでは権限承認情報に例として「企業プロトコル」を選択します。
12. 製品タイプを選択し、数量およびライセンス権限承認情報を入力します。
説明：
マイクロソフト公式サイト に移動し、カスタマーサービスに連絡してRDS CALsライセンスを購入します。
13. 情報に誤りがないことを確認した後、**次へ**をクリックします。
14. キーパックIDを取得し記録します。
15. **終了**をクリックします。

リモートデスクトップサービスライセンスサーバーのアクティブ化

1. OSのインターフェースで

をクリックし、ポップアップしたインターフェースで

を選択して、「サーバーマネージャー」を開きます。
2. 「サーバーマネージャー」ウィンドウで、右上コーナーの**ツール** > **Remote Desktop Services** > **リモートデスクトップ権限承認マネージャー**を選択します。
3. ポップアップした「RD権限承認マネージャー」ウィンドウで、サーバーがある行を右クリックし、**サーバーのアクティブ化**を選択します。
4. ポップアップした「サーバーアクティブ化ウィザード」ウィンドウで、**次へ**をクリックします。
5. 「接続方法」の設定で、このドキュメントでは「Webブラウザ」を選択し、**次へ**をクリックします。
実際の状況を踏まえて他の接続方法を選択できます。
6. 「ライセンスサーバーのアクティブ化」で、ステップ10 で取得したライセンスサーバーIDを入力し、**次へ**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

7.「サーバーアクティブ化ウィザード」ウィンドウに「サーバーアクティブ化ウィザードを完了しました」と表示されたら、**次へ**をクリックし、ライセンスインストール手順に進みます。

RDSクライアントアクセスライセンスのインストール

1.「ライセンスインストールウィザード」ページで、ライセンスサーバー情報を確認し、**次へ**をクリックします。
2.「クライアントライセンスキーパックの取得」で、 ステップ14 で取得したライセンスサーバーIDを入力し、**次へ**をクリックします。
3.「ライセンスインストールウィザード」ウィンドウに「ライセンスインストールウィザードを完了しました」と表示された場合は、ライセンスのインストールに成功したことを意味します。

リモートデスクトップセッションホスト権限承認サーバーの設定

1. OSのインターフェースで

をクリックし、ポップアップしたインターフェースで

を選択して、「サーバーマネージャー」を開きます。
2.「サーバーマネージャー」ウィンドウで、右上コーナーの**ツール** > **Remote Desktop Services** > **リモートデスクトップ権限承認診断プログラム**を選択し、現在のサーバー状態を確認します。
3. OSのインターフェースで

を右クリックし、ポップアップメニューで**実行**を選択します。
4.「実行」ウィンドウで、**gpedit.msc**を入力し、**Enter**を押して、コンピューターローカルグループポリシーを開きます。
5. 左側ナビゲーションツリーで、**コンピューターの設定** > **管理テンプレート** > **Windowsコンポーネント** > **リモートデスクトップサービス** > **リモートデスクトップセッションホスト** > **権限承認**を選択し、「指定のリモートデスクトップライセンスサーバーを使用する」をダブルクリックして開きます。
6. ポップアップした「指定のリモートデスクトップライセンスサーバーを使用する」ウィンドウで、「有効化済み」を選択し、オプションの「使用したいライセンスサーバー」の入力には、CVMパブリックIPまたはホスト名を入力できます。設定完了後、**OK**をクリックします。
7.「リモートデスクトップライセンスモードの設定」をダブルクリックして開きます。
8. ポップアップした「設定リモートデスクトップライセンスモード」ウィンドウで、「有効化済み」を選択し、RDセッションホストサーバーのライセンスモードを「ユーザーごと」に指定します。設定完了後、**OK**をクリックします。
9. CVMを再起動します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

これで複数ユーザーリモートログイン設定は完了です。

参考資料

License your RDS deployment with client access licenses (CALs)
Activate the Remote Desktop Services license server
Install RDS client access licenses on the Remote Desktop license server

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Cloud Virtual Machineのデフォルトのリモートポートの変更

最終更新日：：2022-12-27 17:07:54

ユースケース

CVMのデフォルトポートは、悪意のあるソフトウェアによるスキャンや攻撃の影響を受けやすくなっています。ポート攻撃が原因でCVMにリモート接続できなくなることを防ぐために、CVMのデフォルトのリモートポートを一般的でないポートに変更して、CVMのセキュリティを確保することができます。
ポートの変更を有効にするには、サービスポートの変更が、セキュリティグループルールとCVMで変更を同期する必要があります。次の操作では、CVMのデフォルトのリモートポートを変更する方法について説明します。
CVMのOSの種類に応じて、対応する変更方法を選択してください。
-[Windows CVMのデフォルトのリモートポートを変更する]（#ModifyWindows CVMPort）
-[Linux CVMのデフォルトのリモートポートを変更する]（#ModifyLinux CVMPort）

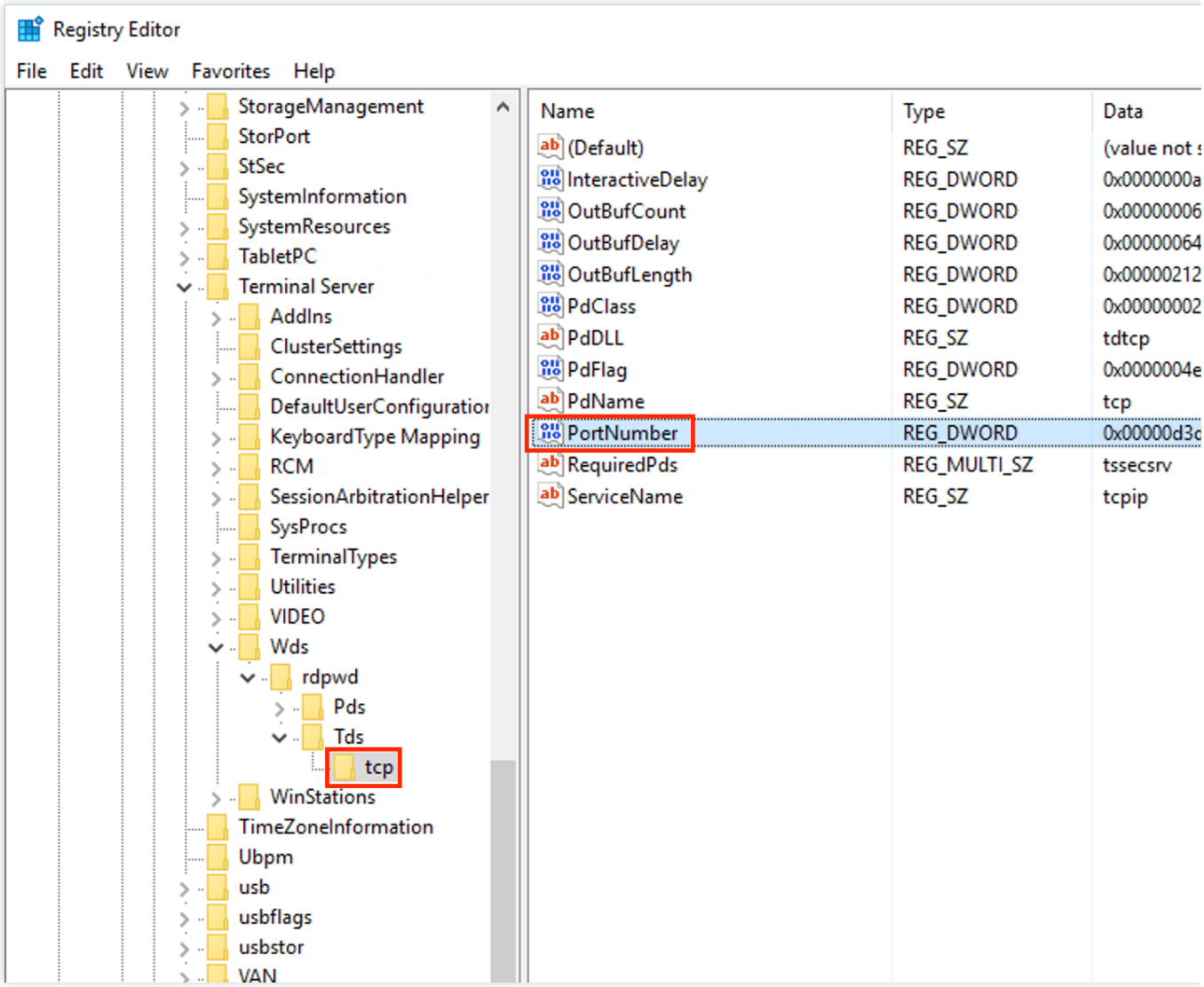
操作手順

Windows CVMのデフォルトのリモートポートを変更する

説明：
以下の操作は、Windows Server 2012 OSを例として説明し、操作手順は、OSと言語によって若干異なる場合があります。
1. VNCを使用してWindowsインスタンスにログイン します。
2. OSの画面で、

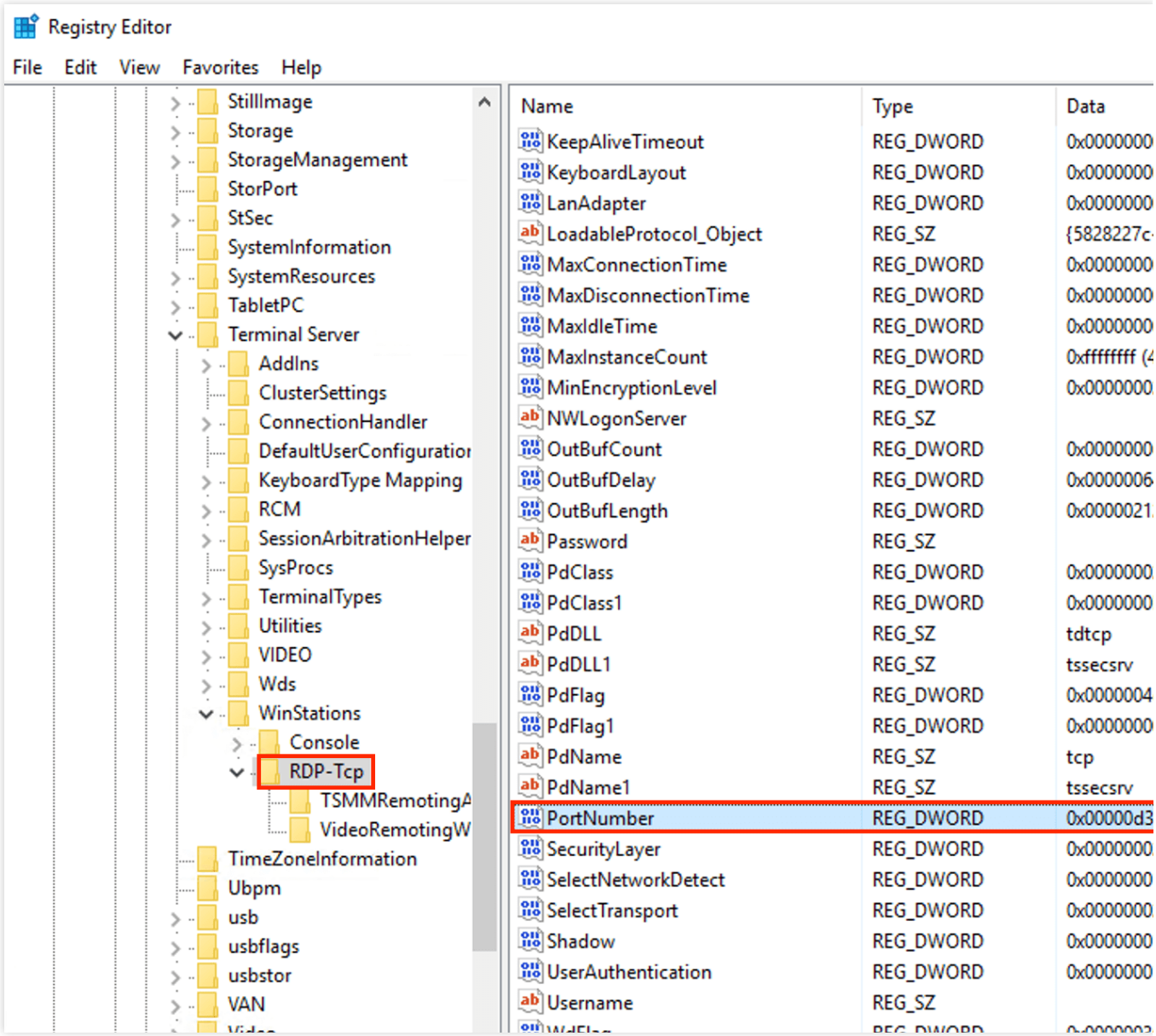
をクリックして、「Windows PowerShell」ウィンドウを開きます。
3. 「Windows PowerShell」画面で、**regedit**を入力して、**Enter**キーを押して、「レジストリエディタ」を開きます。
4. 左側のレジストリナビゲーションで、【HKEY_LOCAL_MACHINE】>【SYSTEM】>【CurrentControlSet】>【Control】>【Terminal Server】>【Wds】>【rdpwd】>【Tds】>【tcp】ディレクトリの順で展開します。
5.
【tcp】中のPortNumberを見つけて
、以下に示すように、PortNumberデータ（すなわち3389のポート番号）を0～65535間の未使用ポートに変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



6. 左側のレジストリナビゲーションで、【HKEY_LOCAL_MACHINE】>【SYSTEM】>【CurrentControlSet】>【Control】>【Terminal Server】>【WinStations】>【RDP-Tcp】ディレクトリの順で展開します。
7. 【RDP-Tcp】中のPortNumberを見つけ、【RDP-Tcp】中のPortNumberデータ（ポート番号）を【tcp】中のPortNumberデータ（ポート番号）と同じポート番号に変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

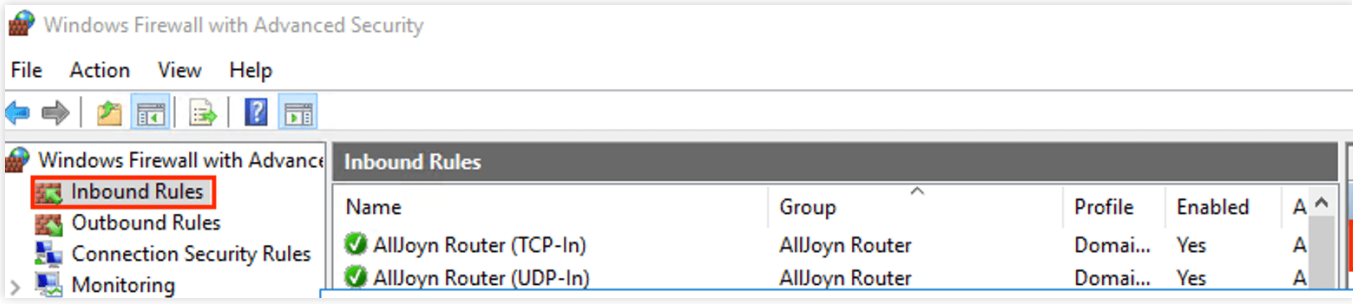


8. （オプション）CVMでファイアウォールが有効になっている場合は、新しいポートをファイアウォールに追加して、接続を許可するように設定する必要があります。

8.1 「Windows PowerShell」ウィンドウで、**wf.msc**を入力して、**Enter**キーを押して、「セキュリティが強化されたWindowsファイアウォール」ウィンドウを開きます。

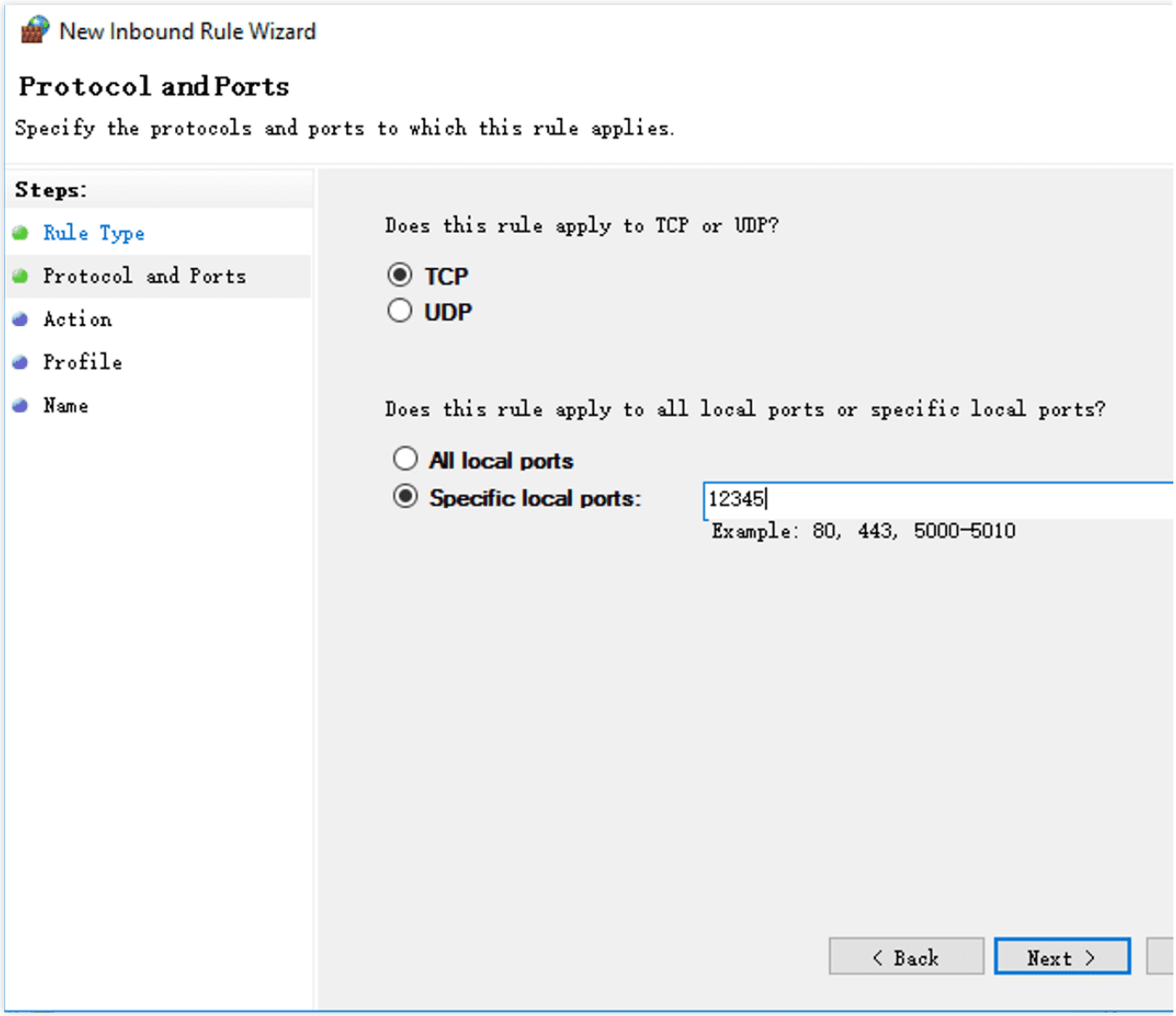
8.2 「セキュリティが強化されたWindowsファイアウォール」ウィンドウで、以下に示すように、**インバウンドルール**を選択し、**新規ルール**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



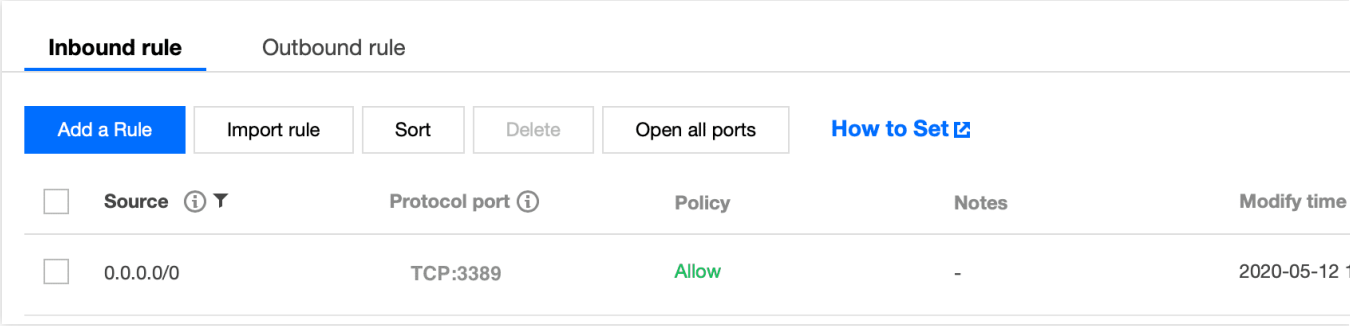
8.3 「新規のインバウンドルールウィザード」ウィンドウで、**ポート** をオンにして **次へ** をクリックします。

8.4 「新規のインバウンドルールウィザード」ウィンドウの「プロトコルとポート」ステップで、以下に示すように、【TCP】を選択して、**特定のローカルポート**に ステップ5 で設定されたポート番号を入力して、**次へ**をクリックします。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

8.5 「新規のインバウンドルールウィザード」ウィンドウの「操作」ステップで、**接続を許可する**を選択し、**次へ**をクリックします。
8.6 「新規のインバウンドルールウィザード」ウィンドウの「設定ファイル」ステップで、デフォルト設定のままにして、**次へ**をクリックします。
8.7 「新規のインバウンドルールウィザード」ウィンドウの「名前」ステップで、ルール名を入力し、**完了**をクリックします。
9. 「Windows PowerShel」ウィンドウで **diskmgmt.msc を入力し、 Enter** キーを押して「サービス」ウィンドウを開きます。
10. 「サービス」ウィンドウで、【Remote Desktop Services】を右クリックし、**再起動**を選択して、リモートログインサービスを再起動します。
11. セキュリティグループルールの変更 を参照し、プロトコルポートが「TCP:3389」のセキュリティグループルールを ステップ5 で設定されたポート番号に変更します。

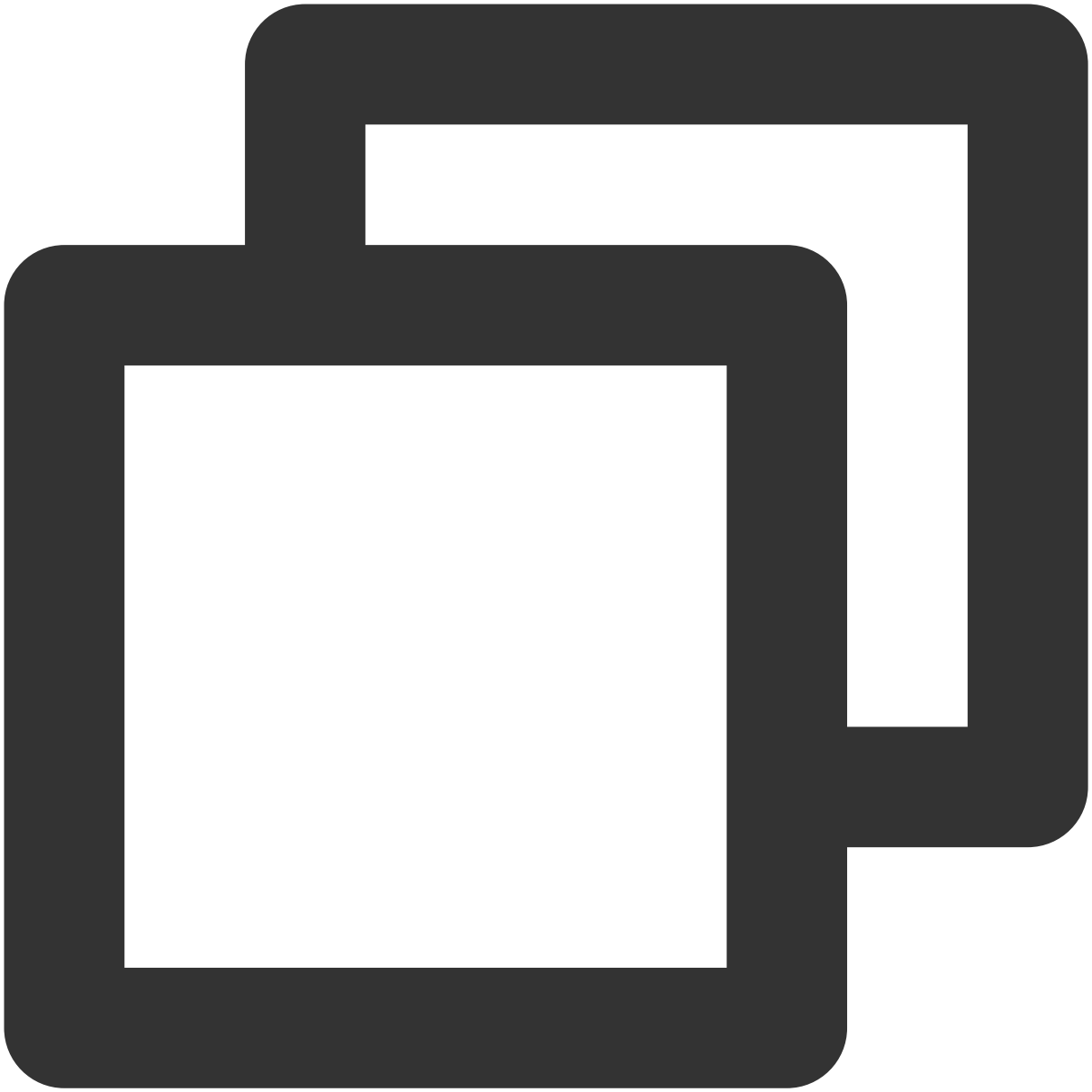


Linux CVMのデフォルトのリモートポートを変更する

説明：

Linux CVMのデフォルトのリモートポートを変更する前に、SSHポート番号を追加して、新しいポートがCVMに正常に接続されているかどうかをテストしてから、デフォルトポート22をを削除することをお勧めします。これにより、新しいポートがCVMに接続できない場合は、デフォルトポート22を使用してCVMに接続できます。
以下の操作は、CentOS 7.3 OSを例として説明し、操作手順は、OSと言語によって若干異なる場合があります。
1. VNCを使用してLinuxインスタンスにログイン します。
2. 次のコマンドを実行して、設定ファイルを変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/ssh/sshd_config
```

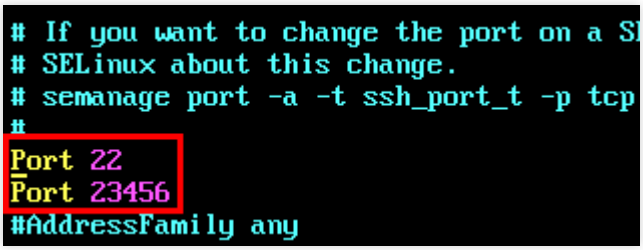
3.

iを押して編集モードに切り替え

、新しいポートを追加し、以下に示すように、 `#Port 22` の下に `Port new port number` を追加して、 `Port 22` のコメントを削除します（つまり、その前の `#` を削除します）。

例： `Port 23456` を追加します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



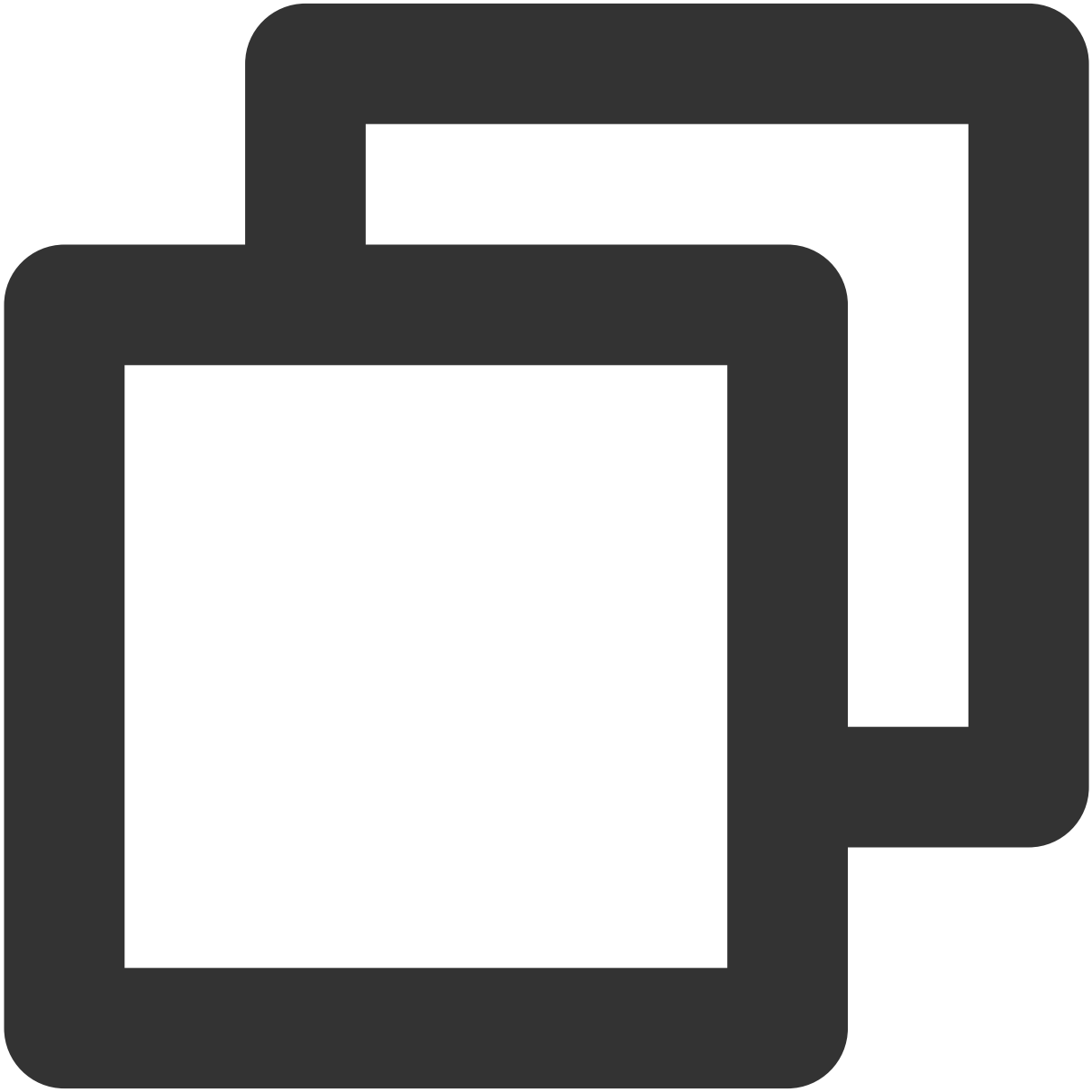
4. **Esc**キーを押して、：**wq**を入力し、内容を保存して戻ります。
5. 以下のコマンドを実行して、変更後の構成を有効にします。

```
systemctl restart sshd.service
```

6. （オプション）ファイアウォールを設定します。

CentOS 7より前のバージョンを使用するLinux CVMでは、デフォルトでiptablesサービスをファイアウォールとします。CVMにiptablesルールが設定されている場合、次の操作を実行してファイアウォールを設定する必要があります。

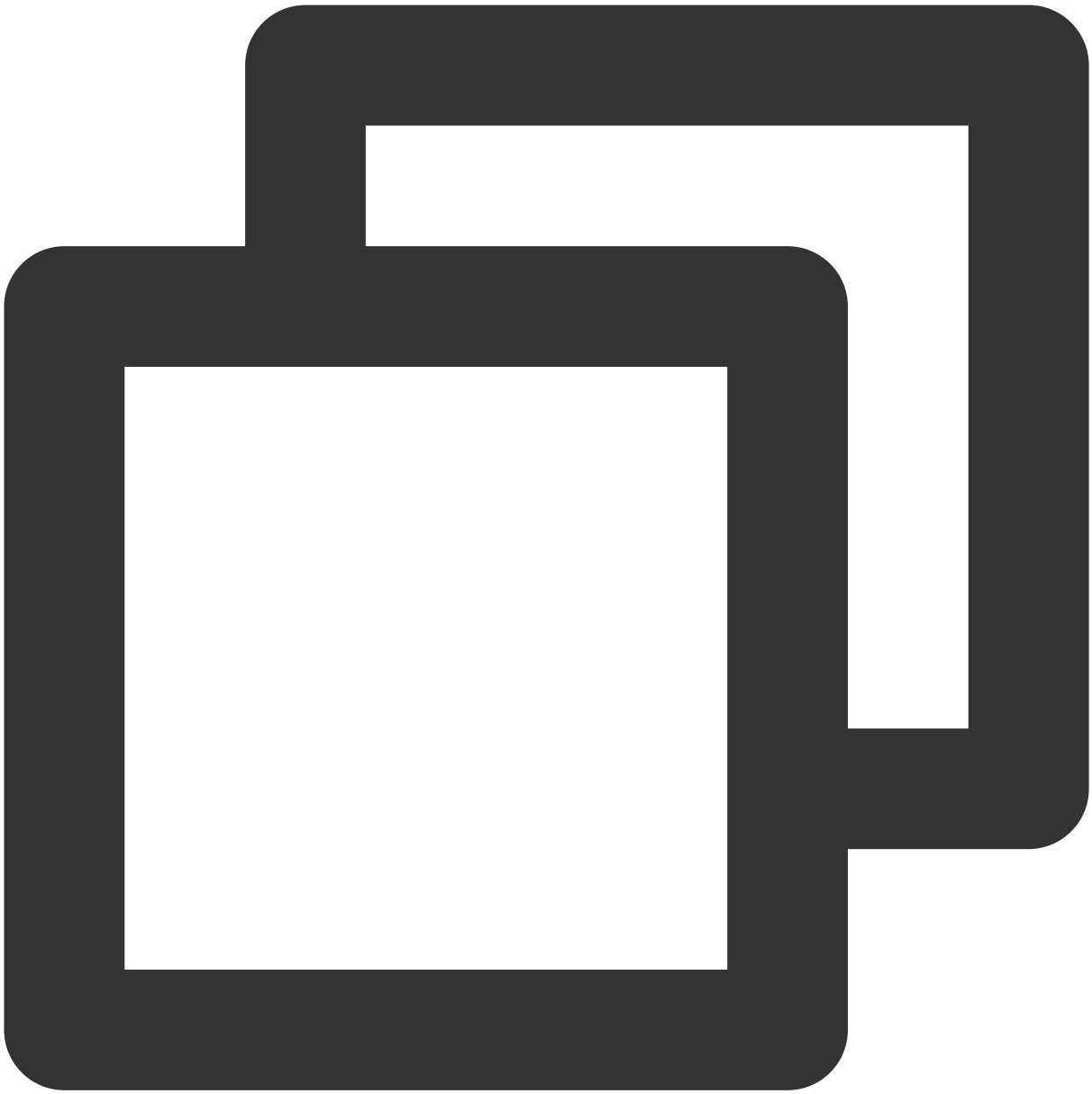
6.1.1 次のコマンドを実行して、ファイアウォールを設定します。



```
iptables -A INPUT -p tcp --dport 新しいポート番号 -j ACCEPT
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

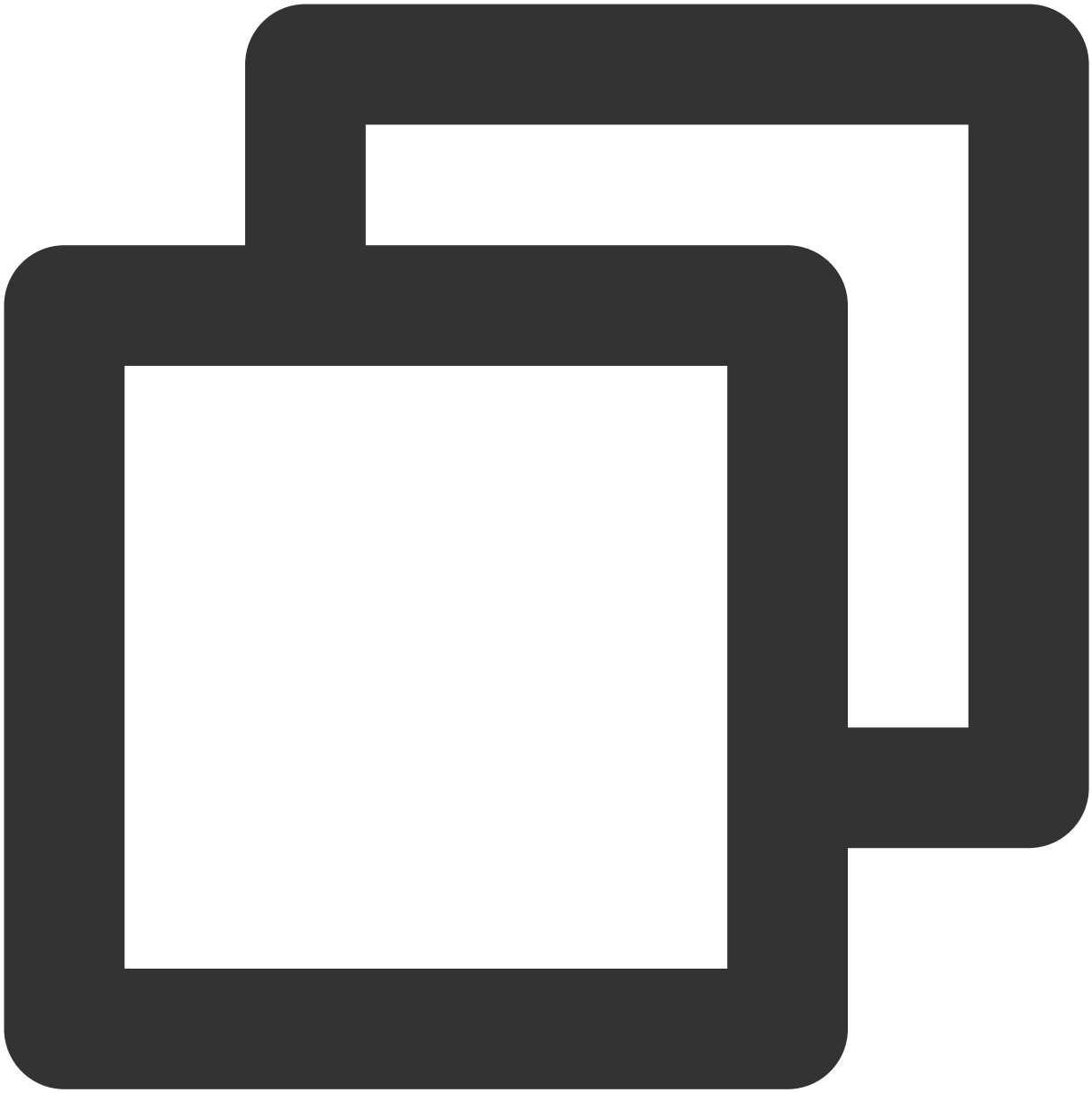
たとえば、新しいポート番号が23456の場合、次のコマンドを実行します。



```
iptables -A INPUT -p tcp --dport 23456 -j ACCEPT
```

6.1.2 次のコマンドを実行して、ファイアウォールを再起動します。

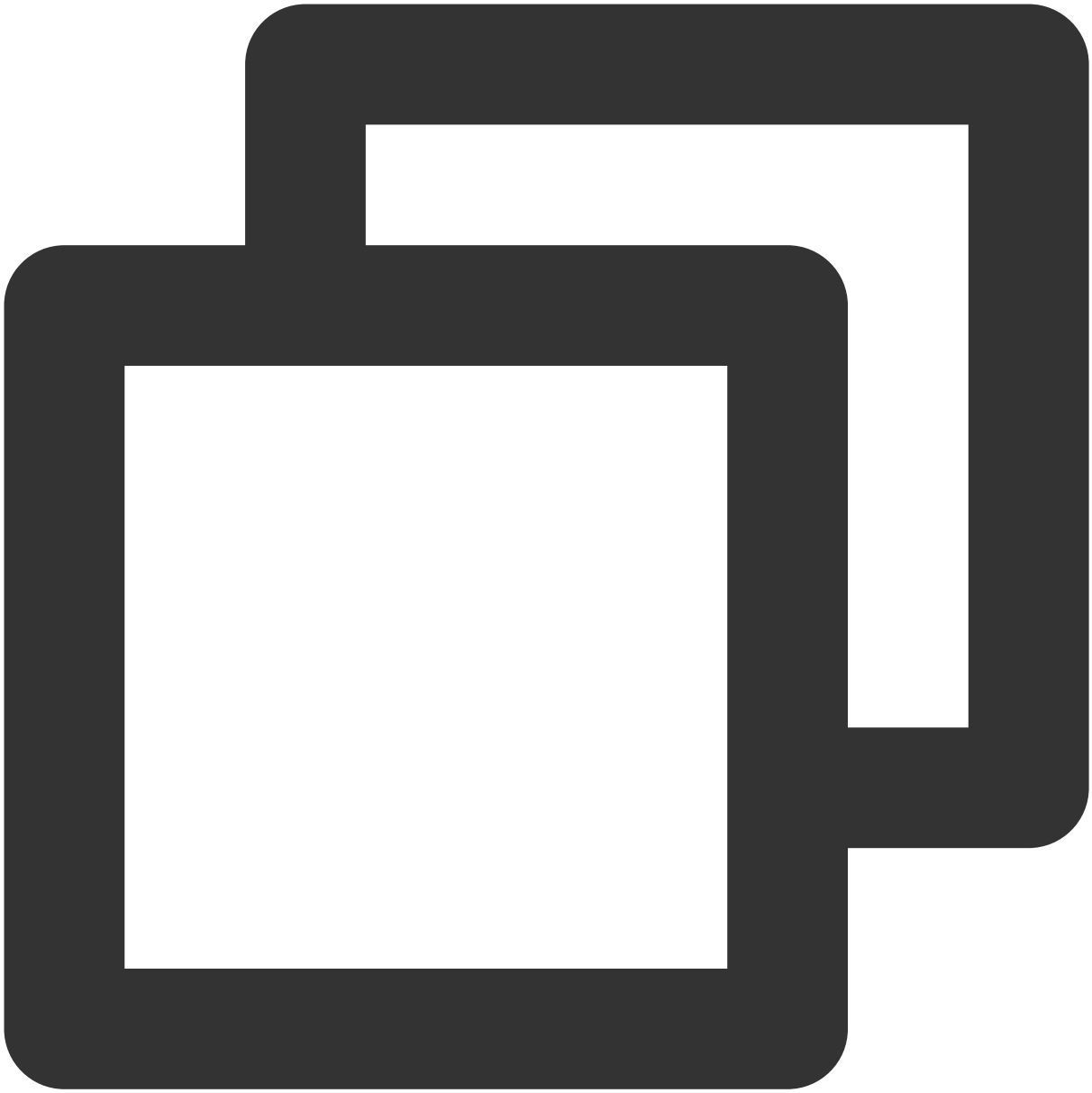
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
service iptables restart
```

CentOS 7以降のバージョンを使用するLinux CVMでは、デフォルトでFirewalldサービスをファイアウォールとします。CVMでfirewalld.serviceが有効になっている場合は、次の操作を実行してファイアウォールを設定する必要があります。
以下のコマンドを実行して、[ステップ3]（#Linux_step03）で新しく追加されたポート番号を開放します。

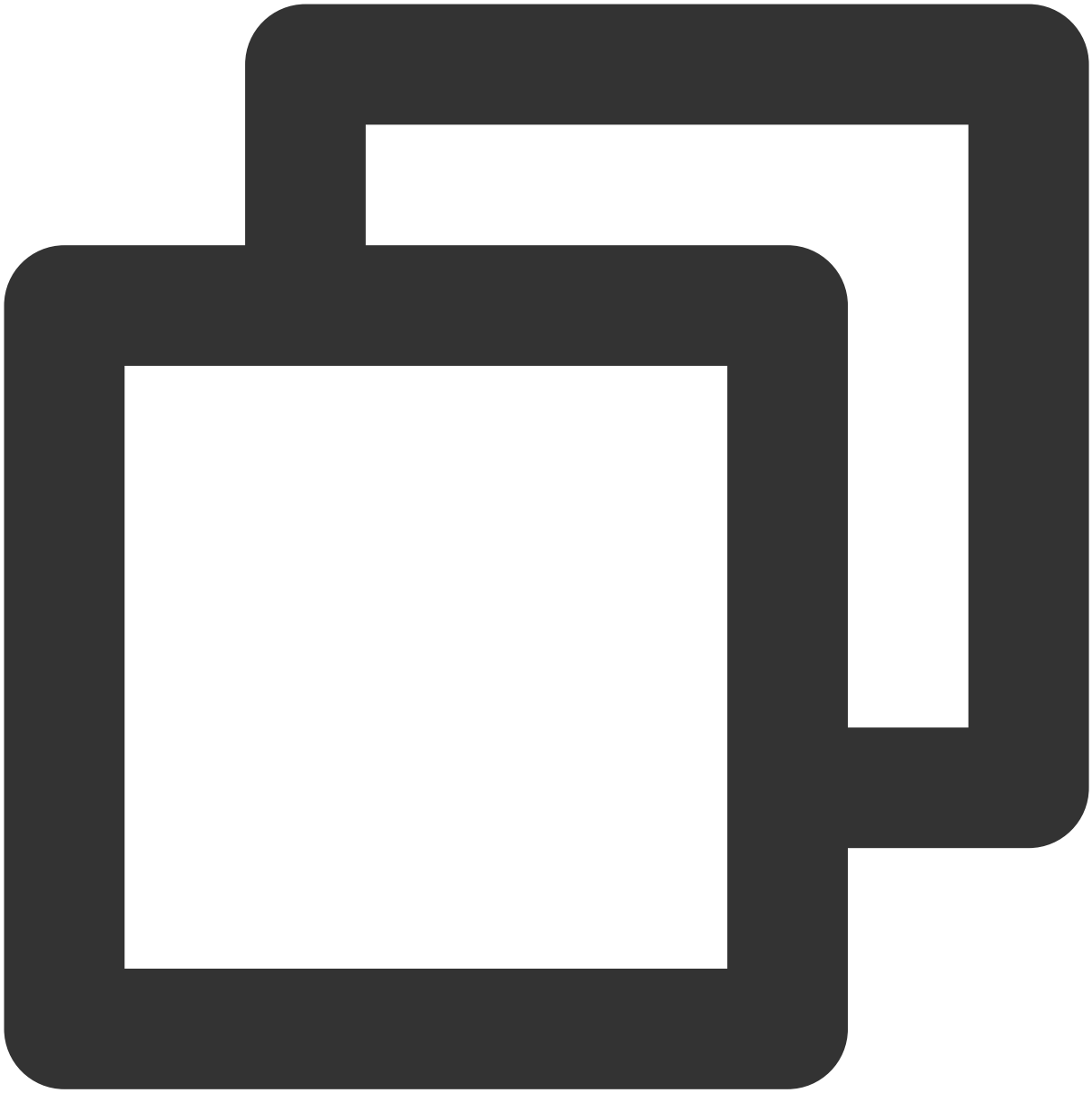
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
firewall-cmd --add-port=新しいポート番号/tcp --permanent
```

たとえば、新しく追加されたポート番号が23456の場合、次のコマンドを実行します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

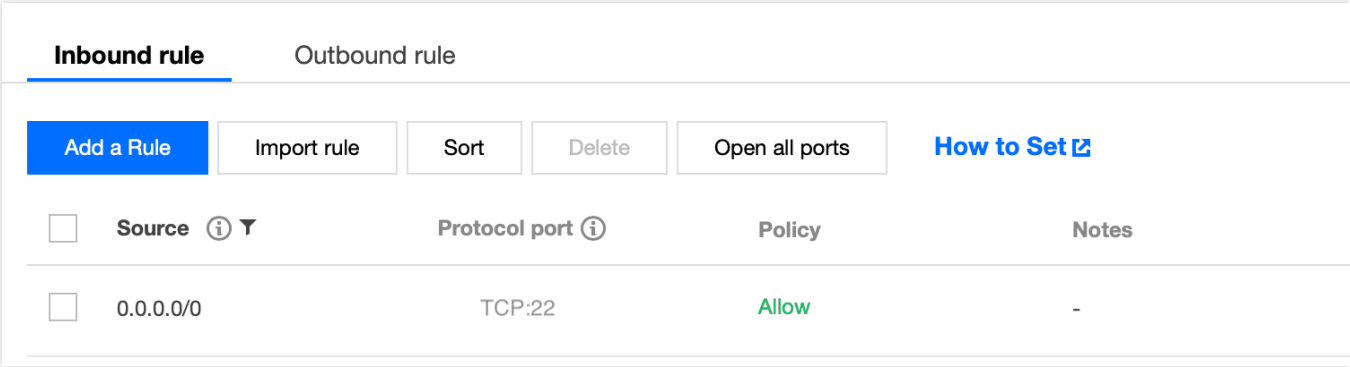


```
firewall-cmd --add-port=23456/tcp --permanent
```

返される結果が `success` の場合、ポートは正常に構成されています。

7. [セキュリティグループルールの変更]（https://www.tencentcloud.com/document/product/213/34825）を参照し、プロトコルポートが「TCP：22」のセキュリティグループルールを[ステップ3]（#Linux_step03）で新しく追加されたポート番号に変更します。

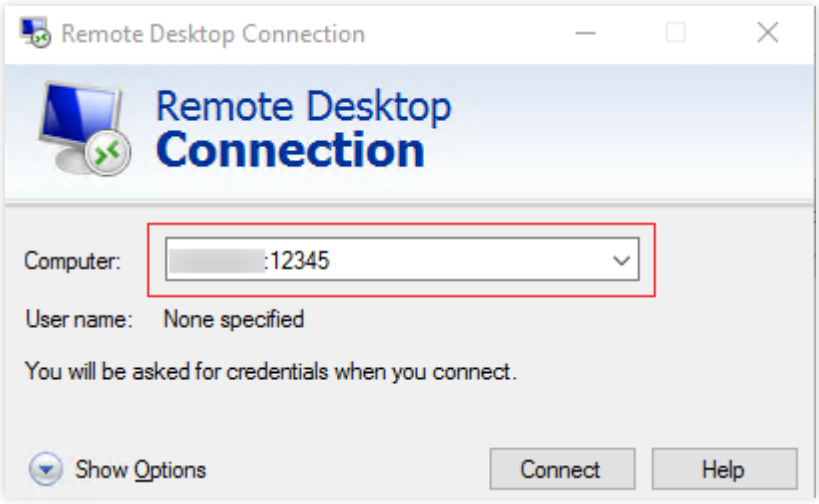
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



検証操作

Windows CVMの検証

1. ローカルコンピュータがWindows OSの場合を例として、リモートデスクトップ接続ダイアログボックスを開きます。
2. 次の図に示すように、**コンピュータ**の後に `Windows サーバーのパブリックIP：変更後のポート番号` を入力して、【接続】をクリックします。



3. 画面の指示に従って、インスタンスの管理者アカウントとパスワードを入力し、【OK】をクリックします。Windows CVMのOSインターフェイスが表示された場合は、接続が確立されています。

説明：

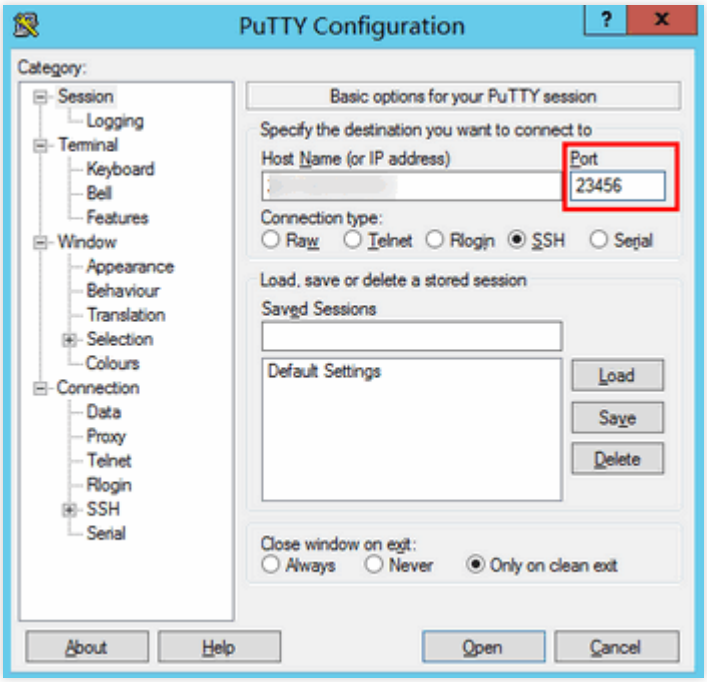
RDPファイルを使用してWindows CVMにログインする場合は、以下に示すように、先にRDPファイルの `full address：s` パラメータを変更してください。

Linux CVMの検証

1. リモートログインソフトウェア「PuTTY」を例として、PuTTYクライアントを開きます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

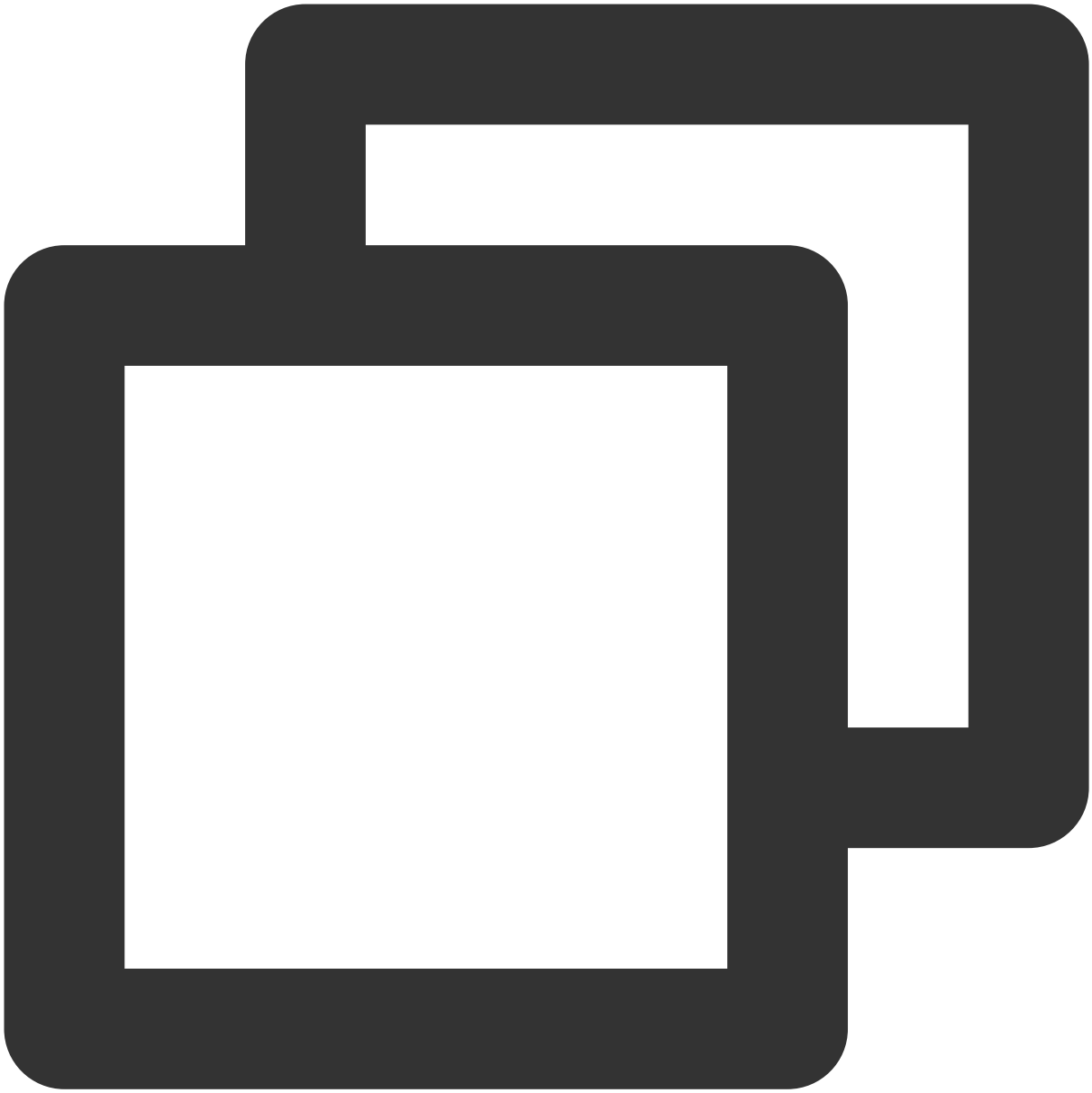
2. PuTTY Configurationウィンドウで、以下に示すように、Linux CVMのパブリックIPを入力し、【Port】を新しいポート番号に設定して、【Open】をクリックします。



3. 画面の指示に従って、Linux CVMのユーザー名とパスワードを入力し、**Enter**キーを押します。
次の画面に進むと、接続が確立されています。

4. 新しいポートを使用してLinux CVMに正常に接続した後、以下のコマンドを実行して、デフォルトのポート22をコメントアウトします。

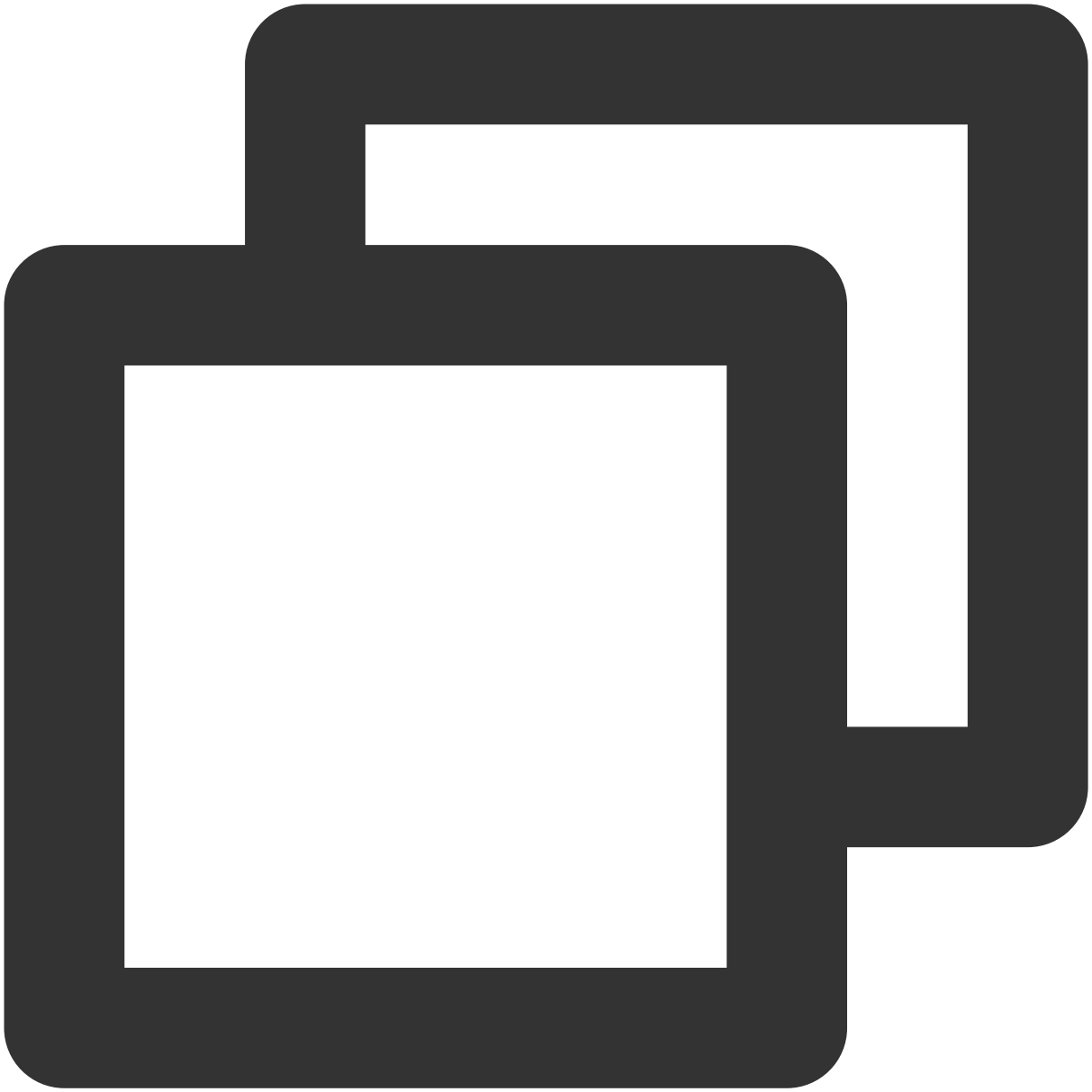
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
vim /etc/ssh/sshd_config
```

5. **i**を押して編集モードに切り替え、 `Port 22` の前に `#` を入力して、当該ポートをコメントアウトします。
6. **Esc**キーを押して、**：wq**を入力し、内容を保存して戻ります。
7. 以下のコマンドを実行して、変更後の構成を有効にします。次回ログインする際、新しいポートを使用してリモートでLinux CVMにログインしてください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
systemctl restart sshd.service
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

インスタンスログイン記録の取得

最終更新日：：2022-07-07 11:31:08

操作シナリオ

ここでは、CVMのユーザーログイン記録を取得し、有効な障害特定およびセキュリティ分析に役立てる方法についてご説明します。

操作手順

Linuxインスタンス

Windowsインスタンス

説明：

ここでは、LinuxインスタンスのOSがTencentOS Server 3.1 (TK4)である場合の例を示します。OSのバージョンが異なると手順も異なる場合がありますので、実際の状況に応じて操作してください。

1. 標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログイン します。
2. 次の情報を参照し、必要に応じてユーザーログイン情報を確認します。

説明：

ユーザーログイン情報は、通常は `/var/run/utmp` 、 `/var/log/wtmp` 、 `/var/log/btmp` 、 `/var/log/lastlog` などのファイルに記録されています。

`who` コマンドを実行し、 `/var/run/utmp` で現在ログインしているユーザーの情報を確認します。下図のような結果が返されます。

```
[root@VM-0-50-centos ~]# who
root     pts/0        2022-05-10 11:15 (81.69.102.31)
```

`w` コマンドを実行し、 `/var/run/utmp` で現在ログインしているユーザー名を確認し、そのユーザーが実行中のタスクを表示します。下図のような結果が返されます。

```
[root@VM-0-50-centos ~]# w
 11:36:28 up 39 min,  1 user,  load average: 0.00, 0.00, 0.00
USER     TTY      FROM             LOGIN@   IDLE   JCPU   PCPU WHAT
root     pts/0    81.69.102.31     11:15    0.00s  0.01s  0.00s w
```

`users` コマンドを実行し、 `/var/run/utmp` で現在ログインしているユーザー名を確認します。下図のような結果が返されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
[root@VM-0-50-centos ~]# users
root
```

`last` コマンドを実行し、 `/var/log/wtmp` で、システムに現在ログインしている、および過去にログインしたユーザーの情報を確認します。下図のような結果が返されます。

```
[root@VM-0-50-centos ~]# last
root     pts/0        [redacted]     Tue May 10 11:15   still logged in
root     pts/0        [redacted]     Tue May 10 11:14 - 11:14  (00:00)

wtmp begins Tue May 10 11:14:11 2022
```

`lastb` コマンドを実行し、 `/var/log/btmp` で、システムへのログインに失敗したすべてのユーザーの情報を確認します。下図のような結果が返されます。

```
[root@VM-0-50-centos ~]# lastb
root     ssh:notty    [redacted]     Tue May 10 11:15 - 11:15  (00:00)

btmp begins Thu Oct 12 14:24:00 2034
```

`lastlog` コマンドを実行し、 `/var/log/lastlog` で、ユーザーが最後にログインした際の情報を確認します。下図のような結果が返されます。

```
[root@VM-0-50-centos ~]# lastlog
Username         Port     From             Latest
root             pts/0    [redacted]       Tue May 10 11:15:14 +0800 2022
bin                                        **Never logged in**
daemon                                     **Never logged in**
adm                                        **Never logged in**
lp                                         **Never logged in**
sync                                       **Never logged in**
```

`cat /var/log/secure` コマンドを実行し、ログイン情報を確認します。下図のような結果が返されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
[root@VM-0-69-centos ~]# cat /var/log/secure

May 10 14:25:36 VM-0-69-centos sshd[1075]: Received signal 15; terminating.
May 10 14:25:36 VM-0-69-centos sshd[2436]: Server listening on 0.0.0.0 port 22.
May 10 14:25:36 VM-0-69-centos sshd[2436]: Server listening on :: port 22.
May 10 14:25:42 VM-0-69-centos sshd[2484]: pam_unix(sshd:auth): authentication
 tty=ssh ruser= rhost=[redacted]  user=root
May 10 14:25:42 VM-0-69-centos sshd[2484]: pam_succeed_if(sshd:auth): requireme
er "root"
May 10 14:25:44 VM-0-69-centos sshd[2484]: Failed password for root from [redacted]
May 10 14:25:46 VM-0-69-centos sshd[2484]: Received disconnect from [redacted]
May 10 14:25:46 VM-0-69-centos sshd[2484]: Disconnected from authenticating use
6 [preauth]
May 10 14:25:51 VM-0-69-centos sshd[2519]: Accepted password for root from [redacted]
May 10 14:25:51 VM-0-69-centos systemd[2541]: pam_unix(systemd-user:session): s
 (uid=0)
May 10 14:25:51 VM-0-69-centos sshd[2519]: pam_unix(sshd:session): session oper
May 10 14:25:51 VM-0-69-centos sshd[2519]: pam_lastlog(sshd:session): corruptio
May 10 14:25:51 VM-0-69-centos sshd[2519]: error: lastlog_get_entry: Error reac
ecting 292, got 1
```

説明：

ここでは、WindowsインスタンスのOSがWindows Server 2012 R2中国語版である場合の例を示します。OSのバージョンが異なると手順も異なる場合がありますので、実際の状況に応じて操作してください。

1. 標準方式を使用してWindowsインスタンスにログイン します。
2. OSの画面で、

をクリックし、サーバーマネージャーを開きます。

3. 「サーバーマネージャー」ウィンドウで、右上の**ツール** > **イベントビューア**を選択します。
4. ポップアップした「イベントビューア」ウィンドウで、左側の**Windowsログ** > **セキュリティ**を選択し、右側の**現在のログをフィルタリング**をクリックします。
5. ポップアップした「現在のログをフィルタリング」ウィンドウで、「<すべてのイベントID>」に `4648` を入力し、**OK**をクリックします。
6. 「イベントビューア」ウィンドウで、フィルタリング条件に合致するログをダブルクリックします。
7. ポップアップした「イベントのプロパティ」ウィンドウで、**詳細情報**をクリックすると、クライアント名およびクライアントアドレス、およびイベント記録時間などの情報を確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.